

OMICHI

2018 年報

目 次

1. 巻頭言	3
2. 全体報告	6
(1) 長期経営方針、中期経営戦略、法人年表、法人組織図	7
(2) 各施設概況	14
(3) 施設別・職種別 人員一覧表	16
(4) 総会資料	18
3. 各施設報告	23
(1) 森之宮病院	25
(2) ボバーズ記念病院	257
(3) 帝国ホテルクリニック	319
(4) 大道クリニック	331
(5) 森之宮クリニック	339
(6) 介護老人保健施設 グリーンライフ	351
(7) 在宅事業部	371
(訪問看護ステーションおおみち、訪問看護ステーション東成おおみち、 ケアプランセンター城東おおみち、ケアプランセンター東成おおみち、レンタルケアおおみち)	
4. 法人内教育研修活動実績	392
(1) 本部（本部法人外研修参加状況・新入職員研修・キャリア入職者研修・ 昇進者研修・未来創造プロジェクト）	393
(2) 神経リハビリテーション研究部	400
(3) ボバーズ講習会活動	404
(4) 健康教室	408
5. 学術業績一覧	412
(1) 学会発表	413
(2) 講演会・研修会講師	426
(3) 論文発表	438
(4) 著書	444
(5) 研究助成金	448
6. 法人内表彰授与実績	452

1. 卷 頭 言

社会医療法人大道会の年報は昨年度より電子化され、よりタイムリーに幅広く法人の活動を報告できるようになった。今年度はカラーのグラフや写真を導入するなど、より読みやすく伝わりやすいようリニューアルを試みた。2018年度のトピックスとは、なんと言っても、新生ボバース記念病院のスタートであろう。10月には改装が完了し、2階が小児、3階が成人の脳性麻痺を主たる対象とした障害者病棟（障害者施設等入院基本料10:1）として、98床が全面オープンした。また長年使用していなかった手術室も改装され、小児手術症例も月々増加している。2階病棟は森之宮病院の3階病棟が丸々移動した形となった。その取り組みの中で医師、療法士や看護師の異動も多くあったが、改装期間を新たな病院機能発揮に向けた人事交流や研修に活用したことは、今後の法人の発展につながる重要な布石と期待している。

森之宮病院では、10月から12月の短期間で、3階病棟の小児から成人仕様への改修を完了し、1月より一般急性期入院料1としての算定を開始し、2019年7月からの地域包括ケア病棟入院料2算定に向けた実績を積み上げつつある。同時に3階病棟のリハ室では、成人対象の医療保険による外来リハ、介護保険による通所リハも開始され、退院後のフォローアップ体制の充実が図られた。また、二期工事として5床の透析室が2019年5月に完成予定である。ボバース記念病院は、10月のリニューアルと同時に長年の懸案であった電子カルテシステムが導入された。法人としてのシームレスな連携のために、患者IDが両院で統一された。また、大阪府の助成を受けて登録医と森之宮病院の画像連携システムも構築され、今後の診療情報共有のためのインフラが整備された。大道クリニックでは、ボバース記念病院が担っていた内科・整形外科の外来機能を引き継いだ。睡眠時無呼吸症候群に対する診療は順調に拡大し、非侵襲的呼吸管理の対象患者も増加した。グリーンライフでは、本来の中間施設としての役割を果たすべく、強化型老健の要件を確実に積み上げている。在宅事業部では、大道会の地域包括ケアシステムの要として、森之宮団地内に健康ステーション「まなぶ」を2019年4月にオープンする準備が整った。今後、地域住民に対するサービス拡大を目指し、人員および内容を充実させていく。帝国ホテルクリニックでは、人間ドック学会の施設機能評価において、優良施設としての認定を更新した。森之宮病院との上部消化管内視鏡検査や森之宮クリニックとのPET検診などの法人内連携も推進している。森之宮クリニックでは、2017年3月の大阪国際がんセンター移転の影響の中、依頼件数は回復基調となった。血管炎やアミロイドなど新規検査やインバンドへの対応など、新たな取り組みも始まっている。

高度で先進的な医療を目指して、新規治療の導入や研究活動も活発に行われている。森之宮病院の心臓血管センターでは、ステントグラフトや末梢動脈血管内治療デバイスの国際治験を順調に継続している。神経リハビリテーション研究部では、厚労省や国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の助成を受けて、脳卒中や脊髄小脳変性症に対するニューロフォードバック治療の開発を行っている。国立情報通信研究機構（NICT）の委託事業では、国際電気

通信基礎技術研究所（ATR）と人工筋肉を用いた上肢・歩行治療用リハビリテーションロボットの開発が順調に進んでいる。小児神経科においても早産児核黄疸や生育医療に関する厚労科研、AMED 事業を受託し、精力的に研究を進めている。なお、活動の詳細に関しては、各施設からの報告をご覧ください、忌憚のないご意見、ご指導、ご鞭撻を賜れば幸いである。

社会医療法人大道会副理事長・森之宮病院院長代理 宮井 一郎

2. 全 体 報 告

- (1) 長期経営方針
中期経営戦略
法人年表
法人組織図
- (2) 各施設概況
- (3) 施設別・職種別 人員一覧表
- (4) 総会資料

(1) 長期経営方針

中期経営戦略

法人年表

法人組織図

2010年1月1日

大道会グループ 長期経営方針

1. 長期経営方針とは

長期経営方針は、大道会グループ(社会医療法人大道会・社会福祉法人山水学園)の各病院・施設が、将来に向けてあるべき姿を実現するための「事業目的推進の指針」ともいうべきものである。

2. 長期経営方針の役割

- (1) 激変する環境のもとで良質の保健・医療・福祉を確保するための経営戦略確立の際の指針とする。
- (2) 日常業務の問題解決の拠り所とし、意思決定を行う際の判断基準とする。
- (3) グループの戦略を統合し、限られた経営資源を有効に配分するための基準とする。

3. 長期経営方針～内容～

〈理念と行動モットー〉

理念

- 社会から信頼される病院・施設づくり
- 安定した経営基盤の確立
- 職員の福祉向上と人材育成

病院・施設は、常に人間の尊い生命に関連していることを意識して、倫理に基づいた適切な診断・治療・介護を行うことを使命とする。また地域社会に対しては地域住民の健康の維持向上に貢献すること、職員に対しては生活の維持向上を図ることが求められる。つまり顧客(患者様、ご利用者、お客様)・地域社会・職員への適正なバランスを保った対応を果たしながら奉仕すること、はじめてグループの使命を遂行したことになる。さらに病院・施設経営の真の意義は、こうした使命と適正な利潤確保の調和を図るところに存在するものと確信する。

行動モットー

- 親切丁寧に
- よく説明する
- 待たせない
- 連携する

病院・施設経営を進めていく上で最も大切なものは「人」である。当グループは人間性尊重を基本とし、目標・方針への職員個々の参画と共感を得て、働きがいのある職場づくりをめざすものである。

我々は職員のあるべき姿として以下のことを相互に確認し、このような職員によって病院・施設が構成されるように努めなければならない。

- 責任を重んじる職員
- 自己啓発に努力する職員
- 協同の精神を重んじる職員
- 節度を守る職員
- 自己管理のできる職員
- 原価意識のある職員

特に管理職(医師、歯科医師含む)に対しては、以上に加えて以下の要件を備えることを要請する。

- 判断力(洞察)
- 知 性(教養)
- 決断力(勇気)
- 独創性(着想)
- 統率力(掌握)
- 協調性(親和)
- 行動力(実行)
- 公正性(評価)

〈事業目標〉

- (1) グループとしての健全性・収益性・生産性の観点から、経営のバランス面に留意しつつ、強固な経営体質と柔軟な経営組織をめざす。
 - ア. 健全性とは、分権化と責任範囲の明確化・実効化を通じ、適正利益を重視した事業展開を図ることである。
 - イ. 収益性とは、地域社会でリーダーシップのとれる病院・施設として、良質な保健・医療・福祉を提供するのに必要な設備・研究費や、事業の先行投資を可能にする収益力の確保を図ることである。

- ウ. 生産性とは、診療部門並びにグループ内各施設・部門にわたり、将来の変化に対応した高度技術の研鑽など、生産性の向上に努めることである。
- (2) 人材の組織的育成・活性化を図ると共に、個人の創造性発揮を目指す。
- ア. 職員が働きがいを感じ、創造性と能力を十分に発揮できる場を提供する。
 - イ. 事業拡大・職種の多様化に備え、人材の鍛錬・育成、ローテーションによる継続的活性化を図ると共に、外部人材の活用も積極的に推進する。
- (3) 今後予想される保健・医療・福祉関連諸構造の変革に対して積極的・革新的に取り組むことにより、将来に向けた永続的な発展を図る。
- ア. 激動する環境情勢の底流を的確にとらえ、病院・施設経営の進むべき方向を示す企画・調査力の充実に努める。
 - イ. 事業の運営を戦略主導型とする。各病院・施設は、長期的視野のもとにそれぞれの独自性を指向し、管理職(医師・歯科医師含む)はその構築と完遂に努める。

〈その他〉

長期経営方針は、3年～5年毎に定めるグループの中期経営戦略、年度毎に各病院・施設で定める年度事業計画によって、具体的に実践する。

中期経営戦略

社会医療法人 大道会

2010年1月1日をもって社会医療法人に認定され、社会的責任も大きなものとなっている。大道会グループとして長期経営計画に掲げる使命『倫理に基づいた適切な診断・治療・介護の提供、地域住民の健康の維持・向上への貢献』を果たすため、向こう5年の中期経営戦略を策定する。

2010年からの5年間は課題解決能力の強化・人事制度の全面改訂といった組織力の強化を図る5年間であった。2015年からの5年間は2025年をいかに乗り切るか、大道会の保健・医療・介護・福祉提供体制の再構築が最重点課題となる。

1. 経営組織運営

(1) 経営健全性の確保

- ア．施設・設備・機器の更新を前提とした利益水準を検証し、これを確保する
- イ．法人事業計画・施設別事業計画を作成評価し、結果をフィードバックする事により、経営改善につなげる
- ウ．利益は発展のための投資並びに、職員の待遇改善などに適正に還元していく
- エ．内外の情報の収集・分析を行い、経営企画機能を強化する

(2) 経営透明性の確保

- ア．経営情報の開示基準を明確にする

(3) 組織運営の指針

- ア．社会医療法人として企業コンプライアンスを重視した組織運営を行う
- イ．リハビリテーション・在宅・介護など施設間の横断的な関係が不可欠な分野において、権限・責任体制を明確化する
- ウ．企業規模・事業内容に見合う決裁権限規定を整備する

2. 職員の福祉向上と人材育成

(1) 職員の成長・組織の活性化を目的に全面リニューアルする新人事制度の定着を図る

(2) 働く環境の整備や制度の改善の推進

- ア．職員参加型の福利厚生施策の検討を行う
- イ．育児休業支援施策の検討を行う
- ウ．ES指標を定期的に評価し職員満足度の向上につなげる

(3) 研究研修費の予算化

- ア．研修目的の明確化並びにその効果のフォローアップを行い、柔軟な予算配分を検討する

(4) 計画的な人事異動の定着

- ア．直接部門・間接部門それぞれにおいて、中長期的な人材育成を目的として人事異動を定着させる

(5) 教育体制の再構築

- ア．新人事制度に定める人材要件を満たすべく階層別教育プログラムを整備する
イ．2010年より取り組んでいる課題解決能力の強化を管理職から一般職へ拡大してゆくことにより組織力の強化を継続する

3. 医療・介護・福祉提供体制の再構築

(1) 経営戦略策定プロジェクトの加速

- ア．大道会流の地域包括ケアシステムを構築する
イ．小児から成人まですべての年齢層の脳性麻痺患者への医療提供体制を確立する
ウ．法人全体のリハビリテーション提供体制を一元化し、在宅を含めた地域の医療水準向上に貢献する

(2) 専門性の高い医療提供体制の拡充

- ア．リハビリテーション, 心臓血管センター, 乳腺外科, 障害者歯科を始めとする専門性の高い医療提供体制の拡充と、採算性向上の両立を図る
イ．森之宮クリニックにおける質の高い癌画像診断の充実及び新規事業分野の検討を進める
ウ．予防医療の分野においては、適正な機器更新を図るなどして診断精度の維持向上に努める
エ．森之宮病院・ボバース記念病院の病院機能再編を図る

(3) 森之宮病院における休日夜間の救急受入体制の拡充

4. 検討課題

- (1) 2018年度の医療・介護診療報酬同時改定への適切な対処
(2) 2018年度より義務化される会計監査への適切な対応
(3) 2017年移転予定の成人病センターとの連携強化
(4) 大道病院跡地の有効活用

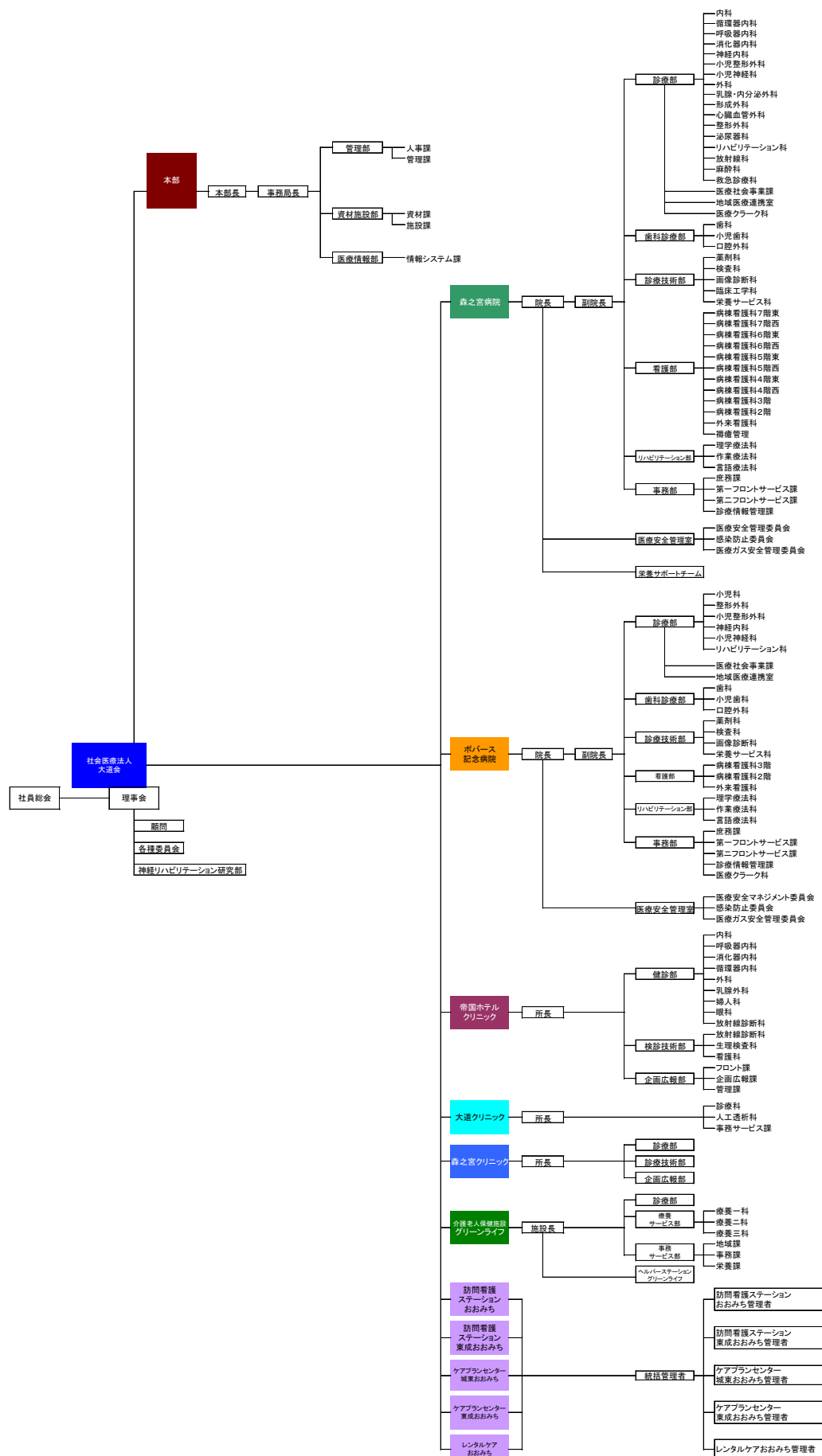
以上

～ 法人年表 ～

- 1954年 4 月 大阪市城東区に大道医院 開設
 1957年 7 月 大道医院を大道病院として開設
 1971年 4 月 医療法人 認可
 1976年 2 月 院内保育所を開設
 1979年 7 月 職員研修会館 建設
 1982年 6 月 ボバース記念病院 開設
 1996年 3 月 帝国ホテルクリニック 開設
 1996年 11月 訪問看護ステーションおおみち 開設
 1997年 3 月 特定医療法人 承認
 1997年 8 月 ボバース記念病院が医療機能評価機構から認定される(全国初)
 1998年 9 月 老人保健施設グリーンライフ 開設
 1999年 8 月 社会福祉法人 山水学園 継承
 ・特別養護老人ホーム サンローズオオサカ
 ・東成山水学園(保育園)
 1999年 10月 神経リハビリテーション研究部 設立
 2001年 10月 居宅介護支援事業所 医療法人大道会ケアプランセンター 開設
 2002年 10月 大道会ケアプランセンターと訪問看護ステーションおおみち
 第2栄泉ビルへ移転
 2003年 4 月 訪問看護ステーション東成おおみち 開設
 ケアプランセンター東成おおみち 開設
 2003年 6 月 大道クリニック 開設(大道病院 人工透析科 廃科)
 2005年 4 月 訪問看護ステーション中央おおみち 開設
 ケアプランセンター中央おおみち 開設
 2006年 3 月 大道病院 閉院
 2006年 4 月 森之宮病院・森之宮クリニック 開院
 2006年 9 月 ボバース記念病院 院内全面改修工事 開始
 2007年 3 月 ボバース記念病院 院内全面改修工事 終了
 2007年 11月 レンタルケアおおみち 開設
 2010年 1 月 社会医療法人 認定
 2010年 1 月 ケアプランセンター中央おおみち 閉鎖
 (特定事業所取得による東成への統合の為)
 2010年 12月 訪問看護ステーション中央おおみち 閉鎖
 2011年 1 月 訪問看護ステーションおおみち 森之宮営業所 開設
 2011年 2 月 ケアプランセンター城東おおみちに改称
 (ケアプランセンターおおみち)
 2011年 9 月 ケアプランセンター東成おおみち・訪問看護ステーション
 東成おおみち 事業所移転(ジョイフル遠山)
 2013年 3 月 ヘルパーステーショングリーンライフ 開設
 2013年 4 月 ボバース記念病院 医療型短期入所事業 開始
 2014年 10月 大道会創業60周年記念式典 開催(於:帝国ホテル大阪)
 2015年 8 月 訪問看護ステーションおおみち森之宮営業所 閉鎖
 2016年 7 月 東中浜ケアプランセンター 開設
 2018年 6 月 東中浜ケアプランセンター 閉鎖
 2018年 10月 ボバース記念病院 新体制にて診療開始(脳性まひセンター)
 2019年 1 月 訪問リハビリテーション グリーンライフ 開設
 2019年 3 月 ケアプランセンター東成おおみち 閉鎖

社会医療法人 大道会 組織図

2019.3.31 現在



(2) 各施設概況

各施設概況

2019.3.31 現在

施設の種類	施設の名称	所在地	設立年月日	病床数	職員数	施設長名
病 院	森之宮病院	大阪市城東区森之宮2丁目1番88号	2006.4.1	355	735	大道 道大
病 院	ボバース記念病院	大阪市城東区東中浜1丁目6番5号	1982.6.1	98	217	荒井 洋
医療施設	帝国ホテルクリニック	大阪市北区天満橋1丁目8番50号 帝国ホテル大阪3階	1996.3.15	0	49	鍵谷 俊文
診療所	大道クリニック	大阪市城東区東中浜1丁目4番25号	2003.6.1	3	45	足立 典夫
医療施設	森之宮クリニック	大阪市東成区中道1丁目3番15号	2006.4.1	0	30	細木 拓野
介護老人 保健施設	介護老人保健施設 グリーンライフ	大阪市城東区東中浜9丁目3番9号	1998.9.25	100	76	濱田 和孝
ヘルパー ステーション	ヘルパーステーション グリーンライフ	大阪市城東区東中浜9丁目3番9号	2013.3.1	0	7	濱田 和孝
指定 訪問看護事業	訪問看護ステーション おおみち	大阪市城東区東中浜1丁目2番17号 第2栄泉ビル2階202号	1996.11.1	0	25	植田 恵子
指定 訪問看護事業	訪問看護ステーション 東成おおみち	大阪市東成区東中本2丁目9番26号 ジョイフル遠山1階	2003.4.1	0	15	竹島 祐代
居宅介護支援 事業所	ケアプランセンター 城東おおみち	大阪市城東区東中浜1丁目2番17号 第2栄泉ビル2階201号	2001.10.1	0	4	大津 圭祐
居宅介護支援 事業所	ケアプランセンター 東成おおみち	大阪市東成区東中本2丁目9番26号 ジョイフル遠山1階	2003.4.1	0	3	河野 一郎
福祉用具貸与・ 販売事業	レンタルケアおおみち	大阪市城東区東中浜1丁目2番17号 第2栄泉ビル2階201号	2007.11.1	0	3	吉浦 久美子

(3) 施設別・職種別 人員一覧表

施設別・職種別 人員一覧表

2019.3.31 現在

施設名等	医師			歯科医師			看護師			准看護師			看護助手		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
森之宮病院	34	5	39	2	2	4	10	251	261		11	11	2	22	24
ボバース記念病院	6	6	12	2	1	3	2	55	57		2	2	1	5	6
帝国ホテルクリニック	1	1	2					6	6						
大道クリニック	3		3					17	17		5	5		3	3
森之宮クリニック	2		2					6	6						
介護老人保健施設 グリーンライフ	1		1				1	11	12		2	2	1	7	8
訪問看護ステーションおおみち							1	12	13						
訪問看護ステーション東成おおみち							2	8	10						
ケアプランセンター城東おおみち															
ケアプランセンター東成おおみち															
レンタルケアおおみち															
本部事務局															
神経リハビリテーション研究部															
出向者							1	1		1	1				
合計	47	12	59	4	3	7	16	367	383		21	21	4	37	41

施設名等	保健師			介護福祉士			理学療法士			作業療法士			言語聴覚士		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
森之宮病院				7	23	30	41	44	85	21	35	56	10	25	35
ボバース記念病院					6	6	12	22	34	12	14	26	2	7	9
帝国ホテルクリニック		3	3												
大道クリニック															
森之宮クリニック															
介護老人保健施設 グリーンライフ				14	25	39	3	1	4	2	3	5		1	1
訪問看護ステーションおおみち							2	3	5	2		2		2	2
訪問看護ステーション東成おおみち							2		2		1	1			
ケアプランセンター城東おおみち															
ケアプランセンター東成おおみち															
レンタルケアおおみち															
本部事務局															
神経リハビリテーション研究部							1		1						
出向者				1	1	2		1	1						
合計		3	3	22	55	77	61	71	132	37	53	90	12	35	47

施設名等	臨床心理士			薬剤師			臨床検査技師			診療放射線技師			臨床工学技士		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
森之宮病院		1	1	1	17	18	3	18	21	14	4	18	8	3	11
ボバース記念病院		5	5		2	2	1	5	6	3		3			
帝国ホテルクリニック								11	11	1	5	6			
大道クリニック							2	1	3				3	1	4
森之宮クリニック				1		1				4	1	5			
介護老人保健施設 グリーンライフ					1	1									
訪問看護ステーションおおみち															
訪問看護ステーション東成おおみち															
ケアプランセンター城東おおみち															
ケアプランセンター東成おおみち															
レンタルケアおおみち															
本部事務局															
神経リハビリテーション研究部		1	1												
出向者															
合計		7	7	2	20	22	6	35	41	22	10	32	11	4	15

施設名等	管理栄養士			歯科衛生士			歯科技工士			保育士			M S W		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
森之宮病院		11	11		6	6	1	1	2				1	15	16
ボバース記念病院		2	2		6	6	1	1	2		2	2		3	3
帝国ホテルクリニック															
大道クリニック															
森之宮クリニック															
介護老人保健施設 グリーンライフ		1	1										1	2	3
訪問看護ステーションおおみち															
訪問看護ステーション東成おおみち															
ケアプランセンター城東おおみち															
ケアプランセンター東成おおみち															
レンタルケアおおみち															
本部事務局															
神経リハビリテーション研究部															
出向者													1		1
合計		14	14		12	12	2	2	4		2	2	3	20	23

施設名等	M S			秘書			ケアマネジャー			事務・その他			総合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
森之宮病院		9	9		5	5				7	65	72	162	573	735
ボバース記念病院		3	3		1	1				7	20	27	49	168	217
帝国ホテルクリニック										4	17	21	6	43	49
大道クリニック										2	8	10	10	35	45
森之宮クリニック										3	13	16	10	20	30
介護老人保健施設 グリーンライフ							1		1	2	3	5	26	57	83
訪問看護ステーションおおみち										1	2	3	6	19	25
訪問看護ステーション東成おおみち											2	2	4	11	15
ケアプランセンター城東おおみち							1	3	4				1	3	4
ケアプランセンター東成おおみち							1	2	3				1	2	3
レンタルケアおおみち											3	3		3	3
本部事務局										29	21	50	29	21	50
神経リハビリテーション研究部													1	1	2
出向者										1		1	3	4	7
合計		12	12		6	6	3	5	8	56	154	210	308	960	1,268

(4) 総会資料

2018年度 総会報告

法人活動報告(自 2018年4月1日～至 2019年3月31日)

—2018年—

- 4月 1日 創立64期、社会医療法人8期目スタート
- ・ 今期は医療を取り巻く内外の環境が一段と厳しくなる
 - ・ 診療報酬・介護報酬の同時改定
 - ・ 法人再編に伴う多大な出費（建築改修費、電子カルテ費用）
（ボバース記念病院の機能を小児神経・小児整形に特化）
（森之宮病院の小児病棟を地域包括ケア病棟に変更）
 - ・ 1998年時のプロジェクト（森之宮病院・森之宮クリニック開設・ボバース記念病院全面改装）以来の赤字は不可避
しかし、これらは次の飛躍のための投資である
“入るを量り、出るを制す”
「少しでも圧縮する努力」の原点で組織を挙げて取り組む
- 大阪府放射線技師会 役員人事
- ・ 森之宮病院 診療技術部 田中部長が会長に就任
- 4月 3日 4月度理事会
- ・ 理事長、各施設長より新年度の抱負
- 4月 13日 日経ヘルスケア 4月号
- ・ 特集「徹底分析 2018年度 診療報酬改定『回復期入院』」
 - ・ 宮井副理事長（回復期リハ病棟協会副会長）執筆
- 5月 10日 5月度経営情報会議
- ・ 4月度法人及び各施設 医業収支実績速報
- 5月 23日 大阪府私立病院協会 第41回定時総会
- ・ 会長：生野 弘道（社会医療法人弘道会 理事長）
副会長：大道 道大（当法人理事長）他3名決定
- 5月 29日 2018年度定時社員総会
- ・ 会場：帝国ホテル大阪
 - ・ 議事
 - ①2017年度（第47期）法人及び各施設 事業活動報告
 - ②2017年度（第47期）事業報告、収支報告及び決算決定
- 6月 7日 6月度経営情報会議
- ・ 5月度法人及び各施設 医業収支実績速報
- 6月 15日 城東税務署より感謝状授与

- 6月 19日 モニター会開催
・新役員決定
- 7月 3日 7月度理事会
・理事長挨拶
6月から医療広告ガイドラインが実施された
医療情報のデータ基盤について医療と介護の情報連携を目指している
番号制度について個人番号が国民に付与されている
保険証の番号に2桁の枝番が付与される見通し
介護保険はもともと個人番号なので、そのまま使用
- 8月 6日 8月度経営情報会議
・2018年度修正医業収支計画
- 9月 3日
7日 源泉所得税に関する税務調査
- 10月 1日 新生ボバース記念病院 診療開始
・院内改修も完成（1～3階改修、手術室・エレベーター新設）
・小児期・青年期発症の運動障がいを持つ方々に対して、生涯にわたり一貫した医療を提供する病院として生まれ変わった
- 10月 22日 10月度理事会
・理事長挨拶
医療を取り巻く中央情勢、大阪の状況
- 10月 31日 2018年度 事業計画中間報告会
・会場：森之宮病院2階ウッディホール
・出席対象者：医師、科課長以上の管理職
・発表者：各施設事務管理者
- 11月 11日 グリーンライフ開設20周年記念式典 & 祝賀会
・出席者：100名以上（外部：50名、法人：理事長、会長、天野常務理事 他）
- 11月 12日 11月度経営情報会議
・プレゼン「新・ボバース記念病院の現状と課題」（荒井院長）
- 12月 6日 12月度経営情報会議
・11月度法人及び各施設 医業収支実績速報
- 12月 25日 年末理事会
・会場：帝国ホテル大阪 22階 パイシーズの間
・議事

①理事長挨拶

②ボバース記念病院の「理念基本方針」策定

12月 29日 年末互礼会

- ・ 会場：森之宮病院 2F ウッディホール
- ・ 司会：吉田統括部長
- ・ 挨拶：宮井副理事長
- ・ 一本締め：福岡法人総看護部長、看護部管理職

—2019年—

1月 4日 新年互礼会

- ・ 会場：森之宮病院 2F ウッディホール
 - ・ 司会：前田事務局長
 - ・ 挨拶：大道理事長
 - ・ 一本締め：森之宮病院診療技術部 田中部長
- 新年理事会

2月 7日 2月度経営情報会議

- ・ プレゼン「森之宮病院3階 地域包括ケア病棟について」
（佐々木医師をはじめ、関係各位より具体的な説明）
- ・ 1月 医業収支実績速報

3月 5日 昇進理事面接

- ・ 上半昇進対象者 昇進可否試験及び理事面接
- ・ 部長1名、科課長4名、主任12名→17名全員の昇進が内定

3月 25日 2018年度事業計画及び2019年度事業計画発表会

- ・ 会場：森之宮病院2階ウッディホール
- ・ 出席対象者：医師、科課長以上の管理職
- ・ 発表者：各施設事務管理者

3月 27日 2019年度新入職員入職式

- ・ 会場：森之宮病院2階ウッディホール
 - ・ 新入職員：69名
- 新人集合研修 開始
- ・ 研修期間：2019年3月26日～29日

3月 29日 2018年度 定時社員総会 理事会

- ・ 会場：帝国ホテル大阪
- ・ 第1部：総会及び理事会合同開催
- ・ 第2部：懇親会

3. 各施設報告

- (1) 森之宮病院
- (2) ボバース記念病院
- (3) 帝国ホテルクリニック
- (4) 大道クリニック
- (5) 森之宮クリニック
- (6) 介護老人保健施設 グリーンライフ
- (7) 在宅事業部
 - 訪問看護ステーションおおみち
 - 訪問看護ステーション東成おおみち
 - ケアプランセンター城東おおみち
 - ケアプランセンター東成おおみち
 - レンタルケアおおみち

(1) 森之宮病院

目次

1 概要	29
(1) 理念	29
(2) 沿革	30
(3) 組織図	46
① 病院組織図	
② 会議・委員会組織図	
(4) 学会認定など	48
2 活動報告	49
(1) 診療部	49
① 総合内科（呼吸器内科・消化器内科含む）	49
② 外科	50
③ 心臓血管センター（心臓血管外科、循環器内科）	52
④ 乳腺センター（乳腺・内分泌外科、形成外科）	56
⑤ 神経内科・リハビリテーション科	58
⑥ 整形外科	60
⑦ 泌尿器科	61
⑧ 放射線科	63
⑨ 麻酔ペインクリニック科	64
⑩ 救急診療科	65
⑪ 医療社会事業課	66
⑫ 地域医療連携室	72
⑬ 医療クラーク科	75
(2) 歯科診療部（小児歯科、口腔外科、障害者歯科）	78
(3) 看護部	80
(4) リハビリテーション部	104
(5) 診療技術部	119
① 薬剤科	119
② 検査科	122
③ 画像診断科	125
④ 臨床工学科	138
⑤ 栄養サービス科	139

目 次

(6) 事務部	143
① 庶務課	143
② 第一フロントサービス課	143
③ 第二フロントサービス課	143
④ 診療情報管理課	144
(7) 委員会活動	148
① 感染防止委員会	148
② 医療安全管理委員会	150
③ 褥瘡委員会	157
④ NST 委員会	158
⑤ 教育研修・図書委員会	161
⑥ 倫理委員会	162
⑦ 治験審査委員会	164
⑧ 医薬品等審議会	170
(8) 地域包括ケアシステム構築に対する取組み	172
3 統計	177
(1) 退院患者統計	177
ア. 退院患者数に関する資料	
(ア) 診療科別 月別患者数	186
(イ) 病棟別 月別患者数	188
(ウ) 診療科別 月別平均在院日数	189
(エ) 病棟別 月別平均在院日数	190
(オ) 診療科別 月別死亡患者数	191
(カ) 病棟別 月別死亡患者数	192
(キ) 診療圏別 患者数	193
(ク) 診療科別 退院後の転帰	198
(ケ) 病棟別 退院後の転帰	199
(コ) 病棟別 自宅復帰率	200
(サ) 病棟種別 自宅復帰率	201
(シ) 診療科別 自宅復帰率	202
(ス) 診療科別 退院後の医療	203
(セ) 病棟別 退院後の医療	204
(ソ) 診療科別 年齢階層別患者数	205
(タ) 紹介元医療機関別件数	206
(チ) 診療科別 紹介元医療機関別件数	209
(ツ) 紹介先医療機関別件数	214
(テ) 診療科別 紹介先医療機関別件数	218

目 次

イ. 疾病に関する資料..... 224

 (ア) 疾病別 診療科別患者数 224

 (イ) 疾病別 在院日数別患者数 225

 (ウ) 疾病別 年齢階層別患者数 226

 (エ) 診療科別 疾病頻度順 227

(2) 手術患者統計 239

 ① 退院時診療科別 退院月別 手術患者数 239

 ② 退院時診療科別 在院期間別 手術患者数 241

 ③ 手術分類別 年齢階層別 手術患者数 242

 ④ 手術分類別 在院期間別 手術患者数 246

 ⑤ 退院時診療科別 手術頻度順 250

※対象：2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）に退院された患者

※主たる手術のみを対象としております。

※手術分類は、Kコードを基にしております。

〔Kコード…診療報酬点数表における手術の部の区部番号として各術名の出現順に付された記号・数字〕

1. 概要

(1) 理念

森之宮病院の理念

地域に信頼される、高度で安全な医療を提供します。

生活機能の向上に導く、質の高いリハビリテーション・ケアを提供します。

森之宮病院の基本方針

社会医療法人として、地域医療・救急医療に貢献します。

医学的根拠に基づいた、適切な医療を提供します。

医療の安全性を重視した、安全文化を定着させます。

受診される方やご家族の権利と希望を尊重した、説明と同意に努めます。

人間性と技術にすぐれた人材育成のため、教育と研究を推進します。

地域との連携を密にし、医療・介護の垣根を越えた地域包括ケアシステムを構築します。

森之宮病院回復期リハビリテーション病棟の理念

生活機能の向上に導く、質の高いリハビリテーション・ケアを提供します。

森之宮病院回復期リハビリテーション病棟の基本方針

受診される方やご家族の権利と希望を尊重します。

医師、看護・介護職、セラピスト、ソーシャルワーカーなどの医療チームが一体となって、リハビリテーション・ケアを提供します。

客観的な評価に基づいた個別性の高いリハプログラムを提供します。

退院後の生活につながる治療・ケアを行い、生活機能の向上を目指します。

安全なリハビリテーション・ケア提供のため、適切な全身管理や転倒予防などに努めます。

退院後の生活を支援するため、地域の医療、介護、福祉サービスと連携し地域包括ケアシステムを構築します。

各職種が高い専門技術を提供できるよう研鑽します。

(2) 沿革

年・月	沿 革
2006.4	<p>社会医療法人 大道会 森之宮病院開設 建 物 地下1F 地上8F 面 積 6,230.94㎡ 延床面積 23,059.29㎡</p> <p>(内科 神経内科 呼吸器科 消化器科 循環器内科 小児科 外科 整形外科 心臓血管外科 泌尿器科 放射線科 リハビリテーション科 麻酔科) 13診療科</p> <p>大阪市城東区森之宮2丁目1-88号 電話番号 06-6969-0111 FAX 番号 06-6969-8001</p> <p>院 長 大道道大 院長代理 宮井 一郎 副 院 長 岸本 亮・柴田 徹 看護部長 村上 徳代 診療技術部部長 竹下 誠一 リハビリテーション部長 永島 智里 事務部長 黒川 健蔵</p> <p>3F 49床 4東 40床 4西 40床 5東 40床 5西 40床 6東 40床 6西 40床 7東・7西は31床 個室 77床スタート 9病棟 351床</p> <p>外来診療は4月3日よりスタート 施設内全館禁煙 コージェネレーション採用 地下水利用 入院食事はクックチル導入 SPD 採用 自動精算機 再診受付機導入 地下駐車場 71台運用</p> <p>心臓血管センター開設 循環器内科 心臓血管外科担当</p> <p>病院開設許可申請書 大阪社会保険事務局提出 病院開設届出 大阪保健所 病院構造設備使用許可申請書 大阪市保健所 保険医療機関指定 医療機関コード 44-0,572,3 指定期間 2006年4月1日から2012年3月31日</p> <p>公害医療機関指定 大阪市・東大阪市・尼崎市 労災指定医療機関 指定病院番号 2702380 生活保護法に基づく医療機関の指定 生活保護法に基づく介護機関の指定 結核予防法医療機関指定 被爆者一般疾病医療機関指定 大阪市健康審査事業取り扱い医療機関 大阪市乳幼児精密健康審査取り扱い医療機関 小児慢性特定疾患治療研究事業取り扱い医療機関 大阪市・大阪府・神戸市・高槻市・兵庫県・東大阪市・岐阜県 指定自立支援医療機関指定</p>

年・月	沿 革
	<p>指定自立支医療機関（精神通院医療）指定 指定自立支援医療機関（更生・育成医療）指定医療機関 大阪中央労働基準監督所 X線装置設置届 一式 近畿総合通信局に高周波利用設備届出 MRI 装置一式</p> <p>消 防 計 画 書 届 大阪市城東消防署 防火管理者届出 大阪市城東消防署</p> <p>電子カルテ・オーダーリングシステム稼動 主ベンダー フィリップス株式会社 マルチスライス CT 16列 MRI 1.5テスラ フィリップス社 大阪大学医学部附属病院管理型臨床研修協力病院 独立法人 国立病院機構 大阪医療センター研修協力</p> <p>2006年度公募研究助成 循環器病研究振興財団 小児神経科専門研修施設認定 日本脳卒中学会認定研修教育病院 日本整形外科学会専門医制度による研修施設認定</p> <p>健康保険関係施設基準一覧 入院時食事療養費（Ⅰ） 給食委託業者は日米クック(株) ◆基本診療関係 4月1日届出受理 電子化加算 第100276号 一般病棟入院基本料 第225号 療養病棟入院基本料 第49号 救急医療管理加算 第100107号 診療録管理加算 第108号 看護補助加算 第225号 夜間勤務看護加算 第135号 4西病棟 40床 療養環境加算 一般病棟311床対象 第115号 療養病棟療養環境加算1 第3号 栄養管理加算 第100468号 褥瘡患者管理加算 第259号 亜急性期入院医療管理料 第4号 8床 遡及 ◆特掲診療科施設基準関係 4月1日届出受理 開放型病院共同指導料 第12号開放病床30床 薬剤管理指導料 第50号 検体検査管理加算Ⅰ 第74号 画像診断管理加算1 第88号 単純CT撮影及び単純MRI 第100号 心大血管疾患リハビリテーション科1 第100011号 脳血管疾患等リハビリテーション料1 第100021号 運動器リハビリテーション料1 第100302号 呼吸器リハビリテーション料1 第100130号 医科点数表第2章10部主旨視④4術の通則 第100169号 ◆4月1日 開院後に入院病床利用率 90%以上達成</p>
2006.5	<p>健康保険関係施設基準追加申請 歯科開設申請 5月1日受理 歯科診療部部長 旭 吉直 歯科 保険医療機関指定 医療機関コード 44-6,572,3 歯科 生活保護法に基づく医療機関の指定 歯科 生活保護法に基づく介護機関の指定 歯科 労災医療機関指定 歯科診療 5月1日開始</p>

年・月	沿 革
2006.6	<p> 歯科 小児歯科 歯科 口腔外科 ◆基本料関係 5月1日届出受理 障害者施設等入院基本料 3F 病棟 49床 回復期リハビリテーション病棟入院料 4西 40床 第48号 一般病棟入院基本料 変更 病床 262床 ◆特掲診療科施設基準関係 5月1日届出受理 歯科疾患総合指導料 第3号 歯科治療総合医療管理料 第1771号 神経磁気診断 第4号 麻酔管理料 第236号 補鉄物維持管理料 第6486号 </p> <p> 健康保険関係施設基準追加申請 入院基本料関係で再編成申請 内訳 障害者病棟入院基本料 3F 49床 回復期リハビリテーション病棟入院基本料 4西・4東 一般病棟入院基本料 5東・5西・6東・6西・7東・7西 ◆基本料関係 6月1日届出受理 臨床研修病院入院診療加算 協力型 第77号 特殊疾患入院施設管理加算 3F 病棟 49床対象 第103号 回復期リハビリテーション病棟入院料 4東 40床追加 ◆特掲診療科施設基準関係 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算 第36号 脊髄刺激装置植え込み術又は脊髄刺激装置交換術 第62号 ペースメーカー移植術、ペースメーカー交換術 第243号 </p> <p> 6月12号 発売 AERA 森之宮病院掲載 タイトル: リハビリ進化 常識くつがえす </p>
2006.7	<p> 健康保険関係施設基準追加申請 入院基本料関係で再編成申請 内訳 障害者病棟入院基本料 3F 7西申請 80床 回復期リハビリテーション病棟入院基本料 5東・5西追加 回復期病棟は4病棟 120床 一般病棟入院基本料病棟は6東・6西・7東 111床 ◆基本料関係 7月1日届出受理 療養環境加算 対象病床変更 5病棟 191床変更 回復期リハビリテーション病棟入院基本料 2病棟追加 </p>
2006.8	<p> 健康保険関係施設基準追加申請 ◆基本料関係 8月1日届出受理 特殊疾患入院施設管理加算 追加7西病棟 40床 ◆特掲診療科施設基準関係 外来化学療法加算 ベッド5床 画像診断管理加算 2 変更申請 </p>
2006.10	<p> 健康保険関係施設基準追加申請 ◆基本料関係 10月2日届出受理 一般病棟入院基本料 13対1入院基本料→10対1入院基本料ランクアップ ◆特掲診療科施設基準関係 特殊CT撮影及び特殊MRI撮影 加算申請 医療法の病床区分変更 </p>

年・月	沿 革
	4西一般40床に変更 (医療法上、療養病床を一般病床に変更する手続きを行った。全病床が一般病床になる。)
2006.10	日本麻酔学会麻酔科認定病院 施設番号7626-0 認定番号1271
2006.11	日本小児神経学会小児神経科専門医研修認定施設 2006年11月1日～2011年10月31日 登録番号 第2010号 マンモグラフィ検診施設認定 施設認定登録番号 第937号 2006年11月1日～2009年10月31日 臨床研修協力施設証交付 大阪医療センター 2006年11月24日 厚生労働省発医政大124002号 施設番号066729 森之宮病院リハビリテーション看護講習会開催(看護部主催)
2006.12	健康保険関係施設基準追加申請 ◆特掲診療科施設基準関係 12月1日届出受理 地域連携診療計画退院時指導料 連携先 関西電力病院 社団法人 日本サインデザイン協会より森之宮病院 第40回 SDA 賞において 地区デザイン受賞
2007.2	日本経済新聞社 朝刊 回復期リハビリテーション特集 2/11 脳卒中などの回復期リハビリ治療成績編 3A 2/18 脳卒中など回復期リハビリ治療法編 2位ランク NHK 総合テレビ 「生活ホットモーニング」 2007年3月14日 森之宮病院のリハビリテーション取り組みが紹介される
2007.4	健康保険関係施設基準追加申請 回復期リハビリテーション病棟入院料変更 4棟160床⇒3棟120床(4東・4西・5西) 障害者病棟等入院基本料追加変更 障害80床⇒障害120床(3F・5西・7西) 特殊疾患入院施設管理加算 2棟80床⇒3棟120床 療養環境加算 5棟142床⇒6棟174床
2007.5	健康保険関係施設基準追加申請 経皮的中心隔心筋焼灼術 大動脈バルーンパンピング法 CT 撮影装置 16列⇒64列にバージョンアップ
2007.6	障害者歯科臨床経験施設指定 日本障害者歯科学会 日本歯科麻酔学会認定医研修機関 日本歯科麻酔学会 病院開設許可及び開設届出中一部変更届 B1F 清潔リネン庫を解剖室に変更 ステントグラフト実施施設証明を受ける 実施基準管理委員会 朝日新聞 6/6 心臓血管外科手術成功記事紹介
2007.7	日本医療機能評価機構訪問審査受審 7/17～19 DPC 調査協力病院として申請
2007.8	週間朝日(8/24日発売)医療シリーズ 回復期リハビリテーションガイド 森之宮病院紹介記事掲載

年・月	沿 革
2007.10	森之宮病院リハビリテーション看護講習会開催（看護部主催）
2007.11	健康保険関係施設基準申請 一般病棟入院基本料 103床 7対1 受理 第14回 大阪・心ふれあいまちづくり賞 森之宮病院が大阪市長特別賞を受賞 第14回 大阪病院学会開催 11月11日 グランキューブ 大道院長が学会実行委員長を務める
2008.1	救急医療機関指定更新 2011年1月25日まで指定期間
2008.2	NHK スペシャル「闘うリハビリ」森之宮病院の取り組みが全国放映 2/10 2009年2月 全国回復期リハビリテーション研究大会 第14回大阪開催決定 宮井院長代理が大会会長 準備事務局開設
2008.3	日本医療機能評価機構認定施設通知 VO.5
2008.4	健康保険関係施設基準申請（2008年診療報酬改定に伴う） ◆特掲診療料 医療機器安全管理料 1 検体検査管理加算 1 検体検査管理加算 2 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算 画像診断管理加算 2 冠動脈CT撮影加算 心臓MRI撮影加算 集団コミュニケーション療法料 医科点数表第2章第10部の通則5及び6に掲げる手術 外来化学療法加算 1 神経学的検査 ◆基本診療料 医師事務作業補助体制加算 100対1 退院調整加算 後期高齢者退院調整加算 回復期リハビリテーション料 1 重症回復加算 法人事業計画評価推進委員会（宮井委員長）が発足 あずさ監査法人による内部監査の実施 認定研修歯科診療施設となる
2008.4	特定医療法人 大道会 理事長交代 大道 学会長 大道 道大理事長の新体制スタート
2008.8	米国カンサス大学医療センター加齢研究所長 NUDE 博士来院 職員対象に記念講演を行なう 第21回日経ニューオフィス賞 アメニティー賞受賞する 読売新聞「病院の実力」にて心臓血管センターの治療実績を紹介

年・月	沿 革
2008.9	<p>戦略的創造研究推進事業「さがけ」にて神経リハビリテーション研究部、服部医師の研究が採択される（脳機能の解読と制御）</p> <p>大阪中央労働基準監督署による時間管理に関する立入調査</p> <p>第25回日本リハビリテーション医学会近畿地方学術集会を開催（大会長 宮井院長代理，9/6）</p>
2008.10	<p>健康保険関係施設基準追加申請 入院基本料等の変更を行なう 一般病棟 7対1 111床⇒135床 障害者病棟 73床⇒49床</p> <p>大道院長、関西ホスピタルショー 2008の副委員長を務める</p> <p>森之宮病院リハビリテーション看護講習会開催（看護部主催）</p>
2008.11	<p>「大阪から肺がんをなくす会 市民講座」を開催する</p> <p>大道院長、総務省・（財）テレコム先端技術支援センター主催 「第3回ユビキタス先端医療シンポジウム」にて講演</p>
2009.2	<p>全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 第13回研究大会 in 大阪 （2/14, 15） 宮井院長代理が大会長を務める（参加者1700人）</p> <p>診療科目を追加する（乳腺・内分泌外科）</p> <p>近畿厚生局による適時調査を受ける</p>
2009.4	<p>宮井院長代理 NHK「ためしてガッテン」に出演 「歩けた！話せた！脳がめざめる新発想介護術」（4/8）</p>
2009.5	<p>外部の看護師合同説明会 in 大阪（梅田アウラホール）に参加</p> <p>大道院長が城東納税協会理事となる</p>
2009.9	<p>新指導大綱による「集団的個別指導」を受ける</p>
2009.10	<p>大道院長、関西ホスピタルショー 2009の副委員長を務める</p> <p>森之宮病院リハビリテーション看護講習会開催（看護部主催）</p>
2009.11	<p>高機能歯科パノラマ撮影装置（朝日レントゲン）を増設</p>
2009.12	<p>手術室を改修と同時に高機能血管撮影装置（島津製作所 UD150G-40）を導入。 心臓血管外科手術の充実をはかる</p>
2010.1	<p>社会医療法人に認定される （要件は森之宮病院における救急医療）</p>
2010.3	<p>大道院長が（社）日本病院会副会長に選出される</p> <p>心臓血管外科、加藤医師が TBSTV「これが世界のスーパードクター 12」（3/30）で紹介される</p>
2010.4	<p>明細がわかる領収書の発行を開始する 診療報酬改訂新規取得基準</p>

年・月	沿 革
	障害者歯科医療連携加算、救急医療管理加算、急性期看護補助体制加算（50対1）、 医療安全対策加算2、急性期病棟等退院調整加算1、救急搬送患者地域連携受入加算、 回復期リハビリテーション病棟入院料注3に掲げる休日リハビリテーション提供体制加算、 同、注4に掲げるリハビリテーション充実加算、 亜急性期入院医療管理料注2に掲げるリハビリテーション体制加算、 がん性疼痛緩和指導管理料、医薬品安全性情報等管理体制加算、センチネルリンパ節生検、 抗悪性腫瘍剤処方管理加算、運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、透析液水質確保加算、 歯科技工加算、乳がんセンチネルリンパ節加算
2010.5	看護部・リハ部合同管理職研修を開始（担当：（有）パスカル） （以降マネジメント研修の開始となる）
2010.6	大阪府立成人病センターと医学研究 研究名：CTOS 法を用いたがんの治療感受性試験
2010.7	2階に外来化学療法室を充実設置
2010.9	2階リカバリーを一般病棟（6床） 3階 49床⇒43床へ変更する 5西病棟 亜急性期病床 16床⇒24床へ変更する 2F 6床 3F 43床 4東 40床 4西 40床 5東 40床 5西 40床 6東 40床 6西 40床 7東・7西は31床 個室 76床スタート 10病棟 351床
	近畿厚生局による麻薬管理状況調査（指摘事項なし）
2010.10	宮井院長代理が法人副理事長の任命を受ける みなし事業所として介護保険による訪問リハビリテーションを開始 大道院長、関西ホスピタルショー 2010の副委員長を務める 森之宮病院リハビリテーション看護講習会開催（看護部主催）
2011.1	日本内科学会教育関連施設認定 救急医療機関指定更新 2014年1月25日まで指定期間
2011.4	東日本大震災に対し大阪府私立病院協会経由で義援金拠出 大阪府受入困難患者支援事業で補助金が交付開始
2011.5	事務系・診技部・歯科に対するマネジメント研修開始（担当：パスカル）
2011.7	大阪府新人看護職員研修事業補助金申請開始する。
2011.8	「情報公開レベル優良医療施設」に認定される 日本 HIS 研究所による病院広報・情報公開審査会により 「はとほあと」評価レベル4に認定される

年・月	沿 革
	給食委託業者を変更する 日米クック(株)⇒日清医療食品(株)
	大道院長が第52回日本人間ドック学会の大会長を務める(8/25,26)。
2011.9	NHK スペシャル「脳がよみがえる～脳卒中・リハビリ革命」にて森之宮病院の取り組みが紹介される
2011.10	大道院長が大坂病院学会の副学会長を務める
2011.11	日本口腔外科学会認定関連研修施設
2012.2	電子カルテシステム更新
2012.4	診療報酬・介護報酬改訂 診療報酬改訂で新規及び出し直し施設基準 一般病棟入院基本料(7対1入院基本料)(2F・5西・6東・6西・7東) 急性期看護補助体制加算(25対1・看護補助者5割以上) 急性期夜間看護補助体制加算(50対1) 看護職員夜間配置加算 回復期リハビリテーション病棟入院料1(7西) 31床 回復期リハビリテーション病棟入院料2(4西・4東・5東) 120床 亜急性期入院医療管理料(5西:24床) 感染防止対策加算1 感染防止対策地域連携加算 患者サポート体制充実加算 DPC データ提出加算1 輸血管管理料Ⅱ 院内トリアージ実施料 夜間休日救急搬送医学管理料 外来リハビリテーション診療料 CT 透視下気管支鏡検査加算 大腸 CT 撮影加算 心大血管・脳血管・運動器・呼吸器リハの初期加算 CT 撮影及び MRI 撮影(所謂64列 CT) 人工肛門・人工膀胱造設補助前処置加算 退院調整加算 救急搬送患者地域連携紹介加算 救急搬送患者地域連携受入加算(医療機関の追加)
2012.6	回復期リハビリテーション病棟入院料1(4西・7西) 71床 回復期リハビリテーション病棟入院料2(4東・5東) 80床
2012.8	回復期リハビリテーション病棟入院料1(4東・4西・7西) 111床 回復期リハビリテーション病棟入院料2(5東) 40床
2012.11	第24回 NPO 法人日本リハビリテーション看護学会学術大会(11/10, 参加者750名) 福岡看護部長が大会長を務める
2013.2	JET (Japan Endovascular Treatment Conference) に小倉記念病院、関西労災病院、岸和田徳州会病院とともにライブ中継及びビデオ中継に参加。(循環器内科・心臓血管外科)
2013.2	手術室2に外科用 X 線テレビ WHA-50N/S を設置
2013.3	2階当直室の改修(5室⇒4室)。プライバシーに配慮した設計とする。

年・月	沿 革
2013.3	3階病棟内にリハビリテーション室を設置（32.91㎡） 上記による病院内リハビリテーション室の総面積は1,035.87㎡となる。
2013.4	大阪市より障害者歯科診療施設補助金申請が受理される。 福岡看護部長が大阪府私立病院協会看護部長会会長に就任。
2013.5	宮井院長代理が一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会会長に就任。
2013.7	日本医療機能評価機構 更新審査 主：リハビリテーション病院 副：一般病院2 付加機能：回復期リハ
2013.8	日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会よりエキスパンダー実施施設認定（一次再建、二次再建）
2013.8	近畿厚生局より 人工乳房及び組織拡張器（乳房用）使用 の施設基準が受理される。
2013.9	標榜科目に形成外科を追加する。 大阪府より中核的二次救急医療機関応需能力強化支援事業として9,464,000円の補助金支給が採択される。
2013.10	大阪府より乳がん検診基盤事業補助金として10,000,000円の交付が決定される。 日本医療機能評価機構より認定を受ける ① 主たる機能種別：リハビリテーション病院 ② 副機能種別：一般病院2 ③ 付加機能：リハビリテーション機能
2013.10	日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会よりインプラント実施施設認定（一次一期再建、一次二期再建、二次再建）
2014.1	二次救急病院の認定を更新する。（2014/1/26～2017/1/25） デジタル式乳房用X線診断装置（FDR MS-2000）フジフィルム（株）を導入する。
2014.4	循環器専門医研修関連認定施設 泌尿器科専門医教育施設更新 診療報酬改定が行われる。 亜急性期入院医療管理料（24床）を辞退。 一般病棟入院基本料（7対1）病床 133床（5棟）⇒157床（5棟） 回復期リハビリテーション病棟入院料1 111床（3棟） 回復期リハビリテーション病棟入院料2 40床（1棟） 障害者施設等入院基本料（10対1） 43床（1棟） 合計 351床（10棟）で運営をする。 大阪府受入困難事案患者受入医療機関補助金 \369,000円 確定通知が届く。
2014.5	大阪府新人看護職員研修事業補助金 \369,000円 確定通知が届く。 大阪市障がい児（者）歯科診療施設補助金 \2,170,000円 確定通知が届く。 大阪市救急患者受入業務委託費 \957,328 振込通知が届く。

年・月	沿 革
2014.6	集団コミュニケーション療法の辞退届けを近畿厚生局に提出、受理される。
2014.8	「大阪府傷病者の搬送及び受入の実施基準」改正案についての研修会に参加する。 救急病院等に規定される年に一回以上参加する研修会。（統括部長出席）
2014.9	病棟薬剤業務実施加算の算定を開始する。（一般病棟）
2014.10	医療施設静態調査を厚生労働省へ報告を行う。 日本口腔外科学会研修施設の認定を受ける。
2014.10	診療報酬改定による経過措置基準について届出直しを行う。 一般病棟入院基本料7対1 看護職員夜間配置加算 急性期看護補助体制加算 妥結率に関する報告 日本口腔外科学会より歯科口腔外科認定研修施設の認定を受ける。
2014.11	病床機能報告制度に基づき、厚生労働省に報告を行う。
2014.12	日本形成外科学会より乳房増大用エキスパンダー／インプラント実施施設の認定を受ける。 厚生労働省院内感染対策サーベイランス（JANIS）事業に参加する。
2015.2	近畿厚生局より施設基準受理通知 感染防止対策加算1（感染防止対策地域連携加算届出有） 在宅療養後方支援病院 循環器内科：川崎医師による JET での LIVE 中継を行う。
2015.2	医師事務作業補助体制加算2 75対1⇒50対1 上位施設基準取得する 大阪府健康医療部より2014年度大阪府新人看護職員研修事業補助金申請の対象病院は300床未満である旨の通知が届く。（当院は351床のため2014年度は該当せず） 次年度の申請案内を待つこととなる。
2015.3	大阪府救急搬送患者受入促進事業費補助金が確定する。（＼418,000円）
2015.4	介護保険報酬が改定される。 大阪府救急搬送患者受入促進事業補助金 418,000円が交付される。
2015.5	日本医療機能評価機構へ「期中の確認」を提出する。 近畿厚生局より、がん患者リハビリテーション料が受理される。
2015.6	大阪市域二次救急患者受入業務委託料 947,933円が交付される。
2015.6	朝日放送『おはよう朝日です』にて大動脈解離について心臓血管外科：加藤部長が出演。
2015.7	近畿厚生局による集团的個別指導に出席する。（大道理事長・上田事務部長）7/23 エル大阪にて。 2009/9,2012/7に続いて3回目となる。 歯科レセプト伝送を実施。（医科・歯科両方実施となる） 大阪府救急・災害医療情報システムへの協力に対する報奨金通知（427,270円）

年・月	沿 革
2015.9	日本医療機能評価機構へ提出した「期中の確認」における「転倒転落」に関して機構機関紙への掲載依頼を了承する。
2015.10	「森之宮地域におけるスマートエイジングシティの理念を踏まえたまちづくり協定」の締結（森之宮病院・城東区役所・UR 都市機構）
2015.11	大阪市保健所による2015年度立入検査が行われる。 指摘事項等一切無しの検査結果通知を受け取る。
2015.11	第18回 大阪病院学会において大道院長が学会長を務める。（11/15 グランキューブ大阪）
2015.11	厚生労働省への病床機能報告を終える。
2015.12	近畿厚生局へ医療安全対策加算1（2⇒1上位基準）を申請、受理される。
2016.1	「モーリンハウス」在宅療養・介護・リハビリモデルルームを UR 内に開設する。 上記内容を毎日新聞に掲載。
2016.2	近畿厚生局による適時調査を受ける。（前回2：2009.2） 「モーリンハウス」の運営を NHK「ニュースほっと関西」にて放映される。（関西ローカル）
2016.3	CPC（臨床病理症例検討会）を開催する。 「解離性大動脈瘤で食道穿孔を呈した1例」 主治医：心臓血管外科 赤井淳医師 病理診断：大阪府立成人病センター 病理科 松本滯華医師 大阪府救急搬送患者受入促進事業費補助金の交付決定通知が届く。（1,634,000円） 「モーリンハウス」の運営を NHK「おはよう日本」にて放映される。（全国ネット）
2016.4	診療報酬改定
2016.5	病床数の変更 3F 病棟：43床⇒47床 病院全体：351床⇒355床 （BHP：102床⇒98床へ） 第7回ニューロリハビリテーション学会学術集会（神戸）開催される 大会長：宮井副理事長 実行委員長：服部部長 大阪府新人看護職員研修事業補助金が交付される。（755,000円）
2016.6	ADL 維持向上等体制加算取得（6東病棟） 大阪市二次救急患者受入業務委託契約に係る委託料が振り込まれる。（1,202,145円）
2016.7	新「病院理念・運営方針」を策定する。 施設基準定例報告を行う。（近畿厚生局）
2016.8	一般病棟入院基本料7対1（5棟157床）の出し直しが受理される。（近畿厚生局） 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテストが受理される。（近畿厚生局）
2016.9	認知症ケア加算（2）が受理される。（近畿厚生局）
2016.10	集団コミュニケーション療法が受理される。（近畿厚生局） 医薬品納入に関する妥結率を報告する。（近畿厚生局）

年・月	沿 革
	病床機能報告制度に基づき報告様式1を提出する。(厚生労働省)
	Omichi Navi 運用開始。(人事運用システムのデジタル化)
2016.11	2016年度 大阪市保健所による立ち入り検査が行われる。 有志主催による小運動会を開催する。(城陽中学に於いて)
2016.12	開院10周年記念 オープンホスピタルを開催する。 1階こもれび広場に無料 Wi-Fi を設置しサービスを開始する。
2017.1	2016年度病床機能報告を終える。 救急科受理 増茂医師・救急科医師で登録
2017.3	食と健康寿命の延伸「食べる楽しみをいつまでも」 地域創成戦略事業コンソーシアムの 一環として開催する。 回復期リハビリテーション病棟の基本方針を改定
2017.4	(元) 国立浜松医科大学泌尿器科 大園誠一郎教授が診療部顧問として入職する。 薬剤科にてクリーンベンチの運用を開始する。
2017.4	診療部長交代 北田医師→大沢医師 備蓄食(非常時の職員用)の試食会を行う。 韓国セブランス病院より見学 医師をはじめ病院スタッフ15名。 病院事業計画発表会 主任以上の管理職が参加
2017.5	2017.12実施の職員満足度調査結果を電子カルテ・トップページにて共有 ふれあい看護体験1名受入をする。 森之宮病院、ボバース記念病院の病院間における感染防止合同カンファレンスを行う。 大阪脳卒中連携ネットワークコア会議をウッディホールにて開催 互助会新人歓迎会が帝国ホテルにて開催される
2017.6	城陽中学2年生(5名)、職場体験(6/8～6/9) 『医療・介護現場の課題解決型リーダー育成メソッド』が日経 BP 社より出版 院内レクリエーション 第1回観賞会 合唱集団「Ensemble Musicus」による合唱。 循環器内科:川崎 Dr による LIVE(6/17～6/18) 大阪府医療勤務改善支援センター研修に参加
2017.7	脳性麻痺治療セミナーを開催する。(7/7～7/10) 第67回日本病院学会で、課題解決に関する取り組みのシンポジウムを開催

年・月	沿 革
	当法人よりシンポジウムにて「組織の課題解決スキルを高める仕組み～課題解決手法の共通言語化とマトリクストレーニングシステムの構築～」を発表した。 2日間で、法人全体での発表は22演題、森之宮病院から11演題
2017.7	1日看護師体験開催 私立好文学園女子高等学校より5名
2017.8	医師事務体制補助加算2 40対1→30対1に変更
2017.9	日本医療機能評価機構における認定更新審査を実施(9/6-9/8) 城東消防隊と救急懇談会を行う 院内レクリエーション 第2回観賞会 「沖縄の唄ライブ」主演:ザ・チャービラズ 城東区防災訓練(蒲生公園)に地域消防協議会メンバーとして5名参加 大阪脳卒中連携ネットワークコア会議をウッディホールにて開催
2017.10	中外医学社より宮井一郎森之宮病院院長代理が編著を務め、大道会神経リハビリテーション研究部の研究員らが執筆した『脳卒中の神経リハビリテーション 新しいロジックと実践』が出版 ステップアップキャンプの開催(森之宮病院・ボバース記念病院の小児外来通院中の児童対象) 血管造影装置を最新機種に更新(フィリップス社製・Azurion7シリーズ12C) 消防設備保守点検実施 2017年度病床機能報告様式1を提出 第1回森之宮病院で乳がんについて知ろう!! ピンクリボン with 森之宮病院 開催 近畿厚生局へ「妥結率に係る報告」「回復期リハビリテーション病棟入院料における実績指数等に係る報告」「向精神薬多剤投与に関する状況の報告」の提出 院内不在者投票、最高裁判所裁判官国民審査 実施
2017.11	医療法届け出提出(使用許可申請・従事者変更) 城東区保健福祉センター 事業計画中間報告会を実施 2017年度 大阪市保健所による立ち入り検査が行われる。 大阪病院学会が大阪国際会議場にて開催 病院から20演題発表 院内レクリエーション委員会主催 第3回観賞会 クラシックコンサート 森之宮病院主催 中運動会 職員とその家族約130人が参加 法人ヘルスケア講演会 第1部 シンポジウム「組織の課題解決スキルを高める仕組み」 第2部 演題発表(6演題) 城東区医師会講演「救急医療について」 救急診療科 増茂医師 スマートエイジング・シティ具体化手法セミナー&3地域見学ツアーを開催 「森之宮セミナー・現地見学」講演及び UR モデルルームの説明と見学

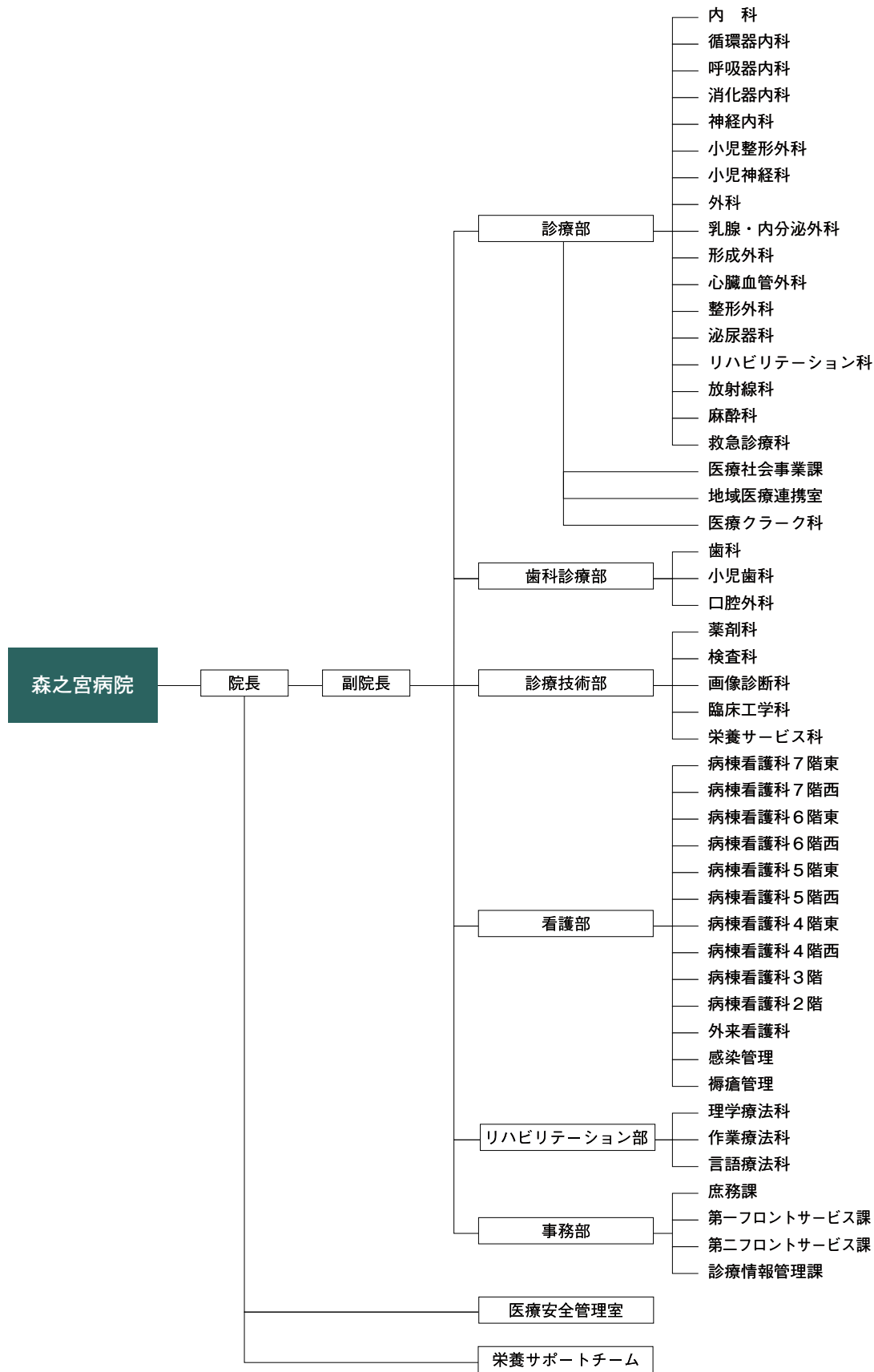
年・月	沿 革
2017.12	<p>大阪マラソン開催 救急対応</p> <p>ノロ発生 地下厨房の初期化（殺菌消毒）</p> <p>勤怠システム「勤次郎」の導入</p>
2018.1	<p>乳腺センター（乳腺・内分泌外科、形成外科）のホームページリニューアル</p> <p>登録医総会を帝国ホテルクリニックにて開催</p> <p>医療法届け出提出（使用許可申請・従事者変更）</p> <p>CP（小児脳性麻痺）講演会 開催</p>
2018.2	<p>毎日放送「医のココロ」の“シリーズ：脳と健康長寿（脳を守る、活かす、蘇らせる）”で『脳を活かす①脳機能が回復する!？』をテーマに森之宮病院 宮井一郎 院長代理が出演</p> <p>JET（Japan Endovascular Treatment Conference）2018 ライブ中継（2/24～25）（循環器内科・心臓血管外科）</p>
2018.3	<p>集团的個別指導（エル大阪） 診療報酬改定の概要</p>
2018.4	<p>第1回 こもればカフェ開催</p> <p>Web Live Seminar 聴講「最大で最強の地域包括ケア病棟」（芳珠記念病院・仲井培雄理事長）</p> <p>院内勉強会（診療報酬改定）</p> <p>宮井副理事長が「日経ヘルスケア 徹底分析 2018年度診療報酬改定」を執筆</p>
2018.5	<p>CP 講演会「脳性麻痺の方の家族の心理的問題」講師：小松臨床心理士</p> <p>リハビリテーション看護学会研修会</p> <p>第2回 こもればカフェ</p> <p>院内勉強会（認知症ケア）</p> <p>森之宮フェスティバル（森之宮小学校）お手伝い参加</p> <p>防災訓練実施</p>
2018.6	<p>第3回こもればカフェ</p> <p>LEVEL5（循環器ライブ） 6/16～6/17</p> <p>大阪府北部地震対応</p> <p>院内レク「2018年度第1回鑑賞会」</p> <p>森之宮地域防災訓練（森之宮小学校）</p>
2018.7	<p>届出（近畿厚生局）：看護補助加算、夜間看護体制加算</p> <p>近隣医療機関 夏のご挨拶（理事長、地域連携室課長）</p> <p>web セミナー受講：Agin in Place</p> <p>「住み慣れた地域で暮らし続ける」を実現する移行期支援 講師：宇都宮宏子</p> <p>院内勉強会（感染防止委員会）</p> <p>集团的個別指導（高石市）</p> <p>大雨による帰宅困難者2名対応</p> <p>院内勉強会（NST）</p> <p>院内勉強会（医療安全管理委員会）</p> <p>第4回 こもればカフェ</p> <p>ストレスチェック 7/24～7/31</p> <p>国保再審査面談（循環器内科医師が出席）</p> <p>台風関連：職員の出社に大きな支障はなし</p> <p>施設基準定例報告（近畿厚生局）</p>

年・月	沿 革
2018.8	<p>第5回 こもればカフェ 脳性まひ講演会 一般病棟入院基本料届出（経過措置）</p>
2018.9	<p>第6回 こもればカフェ 台風21号の対応 病院開設許可事項中一部変更許可申請（大阪市保健所） リハ・ケア合同大会 in 大阪2020実行委員会 使用前検査立会い（大阪市保健所）3階⇒2階：2床移動 ※9/29 付け認可</p>
2018.10	<p>第7回 こもればカフェ 病院開設許可事項中一部変更許可申請：許可 ※9/26付 <3階改修、2階への病床移設> 第25回リハビリテーション看護講習会 施設基準辞退届：近畿厚生局 ①障害者施設等入院基本料（夜間看護体制加算・看護補助加算） ②特殊疾患入院施設管理加算 診療科目標榜変更届：大阪市保健所、近畿厚生局 「小児科」削除 事前提出書類（→大阪市保健所）※10/22 立入検査 病院見学：京都市立病院協会看護部会36名（事務局含む）※理事長、看護部幹部が対応 院内全体研修会「感染勉強会」 ①自然災害と感染管理（何を見据え、どう備えていくのか）ICN：吉田科長 ②免疫のお話し（働く細胞）検査科：石田科員 第2回 ピンクリボンイベント（WH）※35名ご来場 大阪市保健所による立入検査（医療監視）※指摘事項なし 大阪脳卒中医療連携ネットワーク10周年記念イベント参加 大阪総合医療センターにて</p>
2018.11	<p>自衛消防訓練実施（城東消防署監修） 院内勉強会（CS委員会）「お互いに心地良い接遇・対応」 第8回 こもればカフェ 施設紹介：MC、講演：生活期のリハビリテーション 病院事業計画中間報告会 大阪赤十字病院ご来訪 6名（医療安全管理委員会） ※医療安全対策地域連携加算に係る相互チェック 宮井副理事長「日経産業新聞 日経電子版 念じるだけでリハビリ効果 ここまで来た脳技術」掲載 宮井副理事長「ニュース630 京いちにち 特集 京都クローズアップ」（NHK 総合）に出演</p>
2018.12	<p>第9回こもればカフェ ※参加者20名（過去最多） ①施設紹介「森之宮病院 新3階病棟について」 ②「医療相談に寄せられる相談・活動紹介」 ③お茶会 研修会：情報セキュリティ 院内勉強会「地域包括ケア」 内科後送病院 22時～（翌6時） 社会医療法人要件適合検査（大阪市保健所）※合格 3階改修後 病棟使用許可申請立会い（大阪市保健所）※合格 3階改修後 病棟使用許可日（口頭） 登録医内覧会：地域包括ケア病棟 病院職員永年勤続表彰（勤続20年：6名）※大阪府病院協会 旭 吉直、津吹 将治、庄野 高弘、中窪 美佐緒、永井 千尋、阿部 みゆき 宮井副理事長 「日 EU・ニュースレター 2018年12月号（日欧産業協力センター）」に掲載</p>
2019.1	<p>近畿厚生局への届出（1/4：開庁日） ①急性期一般病棟入院料1 ※病床数変更（増床）届：157床→204床） ②急性期看護補助体制加算25対1（看護補助者5割以上） ③夜間50対1看護補助体制加算 ④療養環境加算 ⑤認知症ケア加算2 ⑥入退院支援加算1 ⑦病棟薬剤業務実施加算</p>

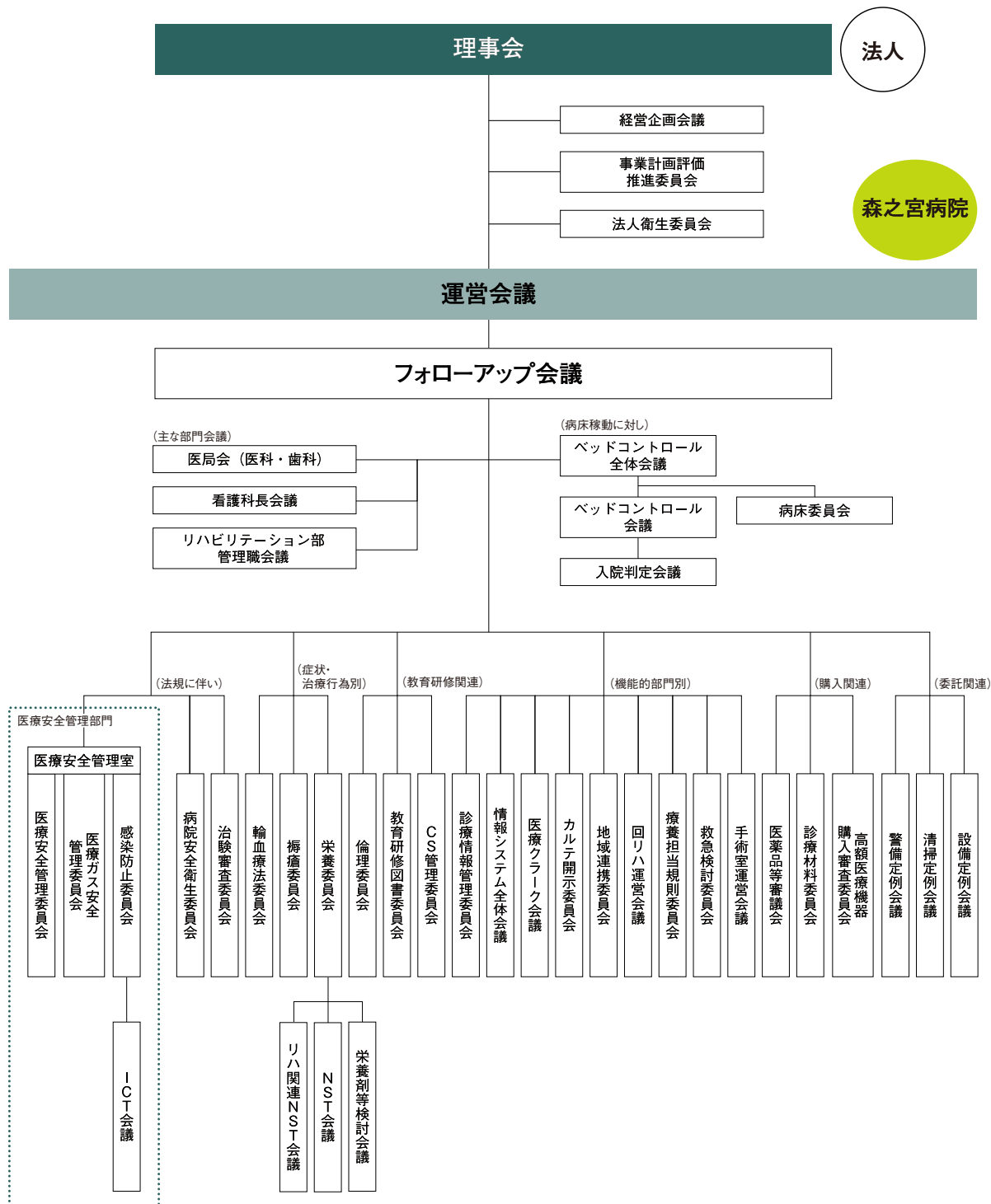
年・月	沿 革
2019.2	<p>⑧室料差額ベッド代 ※301号、306号→5,400円 302号→11,800円 3階改修 2期工事開始 通所リハ（3階）運用開始 電子カルテ停止（更新のため） ※1/12（土）18時～1/13（日）6時 院内全体研修会（医療安全） 近医年始挨拶回り（小竹クリニック、大道医院） 第10回 こもればカフェ ※参加者：13名 城東区医師会新年互礼会 （理事長、佐々木部長、長谷川医師、藤井副部長、杉浦課長、水谷課長、吉田） 医療安全基礎研修会 城東防災講習会（森之宮地区）講演：藤井副部長・和田課長、参加：吉田・宮城</p> <p>NPO 医療講演会 第11回 こもればカフェ 院内勉強会「理事長を交えて、楽しい多職種連携について知ろう！」講師：大道理事長 2018年度 城東区医療防災フォーラム「城東区の医療防災について考える」 自主防災取組報告（吉田）</p>
2019.3	<p>大阪脳卒中医療連携ネットワーク全体会議（ウッディーホール） ※参加者：130名 第11回 グリーンライフ ボバース記念病院歯科診療部 合同実践報告会（ウッディーホール） 登録医総会（帝国ホテル） 第12回こもればカフェ ①施設紹介：阪神調剤 ②内覧会：通所リハ 新人健診 CPC（臨床病理症例検討会）開催（講演：浜本雄一郎先生・大阪国際がんセンター） ※22名参加 病理解剖：1件（大阪国際がんセンター病理医師2名）</p>

(3) 組織図

① 病院組織図



② 会議・委員会組織図



(4) 学会認定など

○ 学会認定

日本医学放射線学会 放射線科専門医特殊修練機関
 日本がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設画像認定証
 日本がん治療認定医機構 認定研修施設
 日本形成外科学会 乳房増大エキスパンダーおよびインプラント実施施設
 日本外科学会 外科専門医制度修練施設
 日本口腔外科学会 認定関連研修施設認定（森之宮病院歯科診療部）
 日本口腔外科学会 認定研修施設（森之宮病院口腔外科）
 日本歯科麻酔学会 研修機関認定
 日本循環器学会 循環器専門医研修施設
 日本障害者歯科学会 臨床研修施設
 日本消化器内視鏡学会 専門医制度指導施設
 日本消化器病学会 専門医制度認定施設
 日本小児神経学会 小児神経専門医制度研修施設
 日本神経学会 専門医制度教育施設
 日本整形外科学会 専門医制度研修施設
 日本内科学会 認定医制度教育関連病院
 日本乳癌学会 認定医・専門医制度認定施設
 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 インプラント実施施設
 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 エキスパンダー実施施設
 日本脳卒中学会 専門医認定制度 研修教育病院
 日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医教育施設
 日本麻酔科学会 麻酔科認定病院
 日本リハビリテーション医学会 研修施設
 日本老年歯科医学会 専門医研修施設
 一般社団法人日本循環器学会 IT/Database 委員会 認定書
 関連10学会構成日本ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部ステントグラフト実施施設
 関連10学会構成日本ステントグラフト実施基準管理委員会 腹部ステントグラフト実施施設
 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設修練責任者 加藤雅明
 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設

○ その他

日本医療機能評価機構認定病院（2013年）
 マンモグラフィ（乳房エックス線写真）検診施設
 臨床研修協力施設（大阪大学医学部附属病院）
 臨床研修協力施設（国立病院機構 大阪医療センター）
 2018年度 NCD 施設会員登録

2. 活動報告

(1) 診療部

① 総合内科(呼吸器内科・消化器内科含む)

ア. スタッフ及び診療体制について

岸本(副院長) 北田 酒井 福田 小竹 長谷川(9月より) 佐々木(10月より)
高尾(非常勤)

(ア) 外来担当(専門外来や関連施設への出向も含めて)

岸本:4単位 北田:5.5単位 酒井:2単位 福田:2単位
佐々木:3単位 長谷川:1単位 小竹:1単位 高尾:1単位

(イ) 病棟

酒井、福田、小竹、佐々木、長谷川が中心になって病棟管理を行っている。

(ウ) 検査

上部消化管内視鏡検査:金曜日を除く月～土曜日の午前
(水曜日:非常勤医師、土曜日:消化器外科医師)
下部消化管内視鏡検査:火・木・金曜日の午後
ERCP や気管支鏡検査も随時行っている。

イ. 診療内容

総合内科は一般内科、呼吸器、消化器の専門医でスタッフが構成されている。
医療内容の高度化に伴い、各専門分野医師の担当する疾患の細分化が進む一方、高齢化の進展で複数の疾患を持った患者が増加している。その中で、一般内科医として、広い視野で、幅広く、臓器を横断的に診る初期診療を行い、必要に応じて、継続的医療を全人的に提供することを目指している。勿論、専門領域では、気管支鏡検査、胃や大腸の内視鏡検査や超音波検査、肺機能検査などを行い、全身のCT検査、MRI検査などと組み合わせて信頼の高い診断を行っている。

ウ. 治療実績

(ア) 疾患別入院患者数や在院日数などは別項を参照

(イ) 外来患者数 別項参照

呼吸器外来の主な疾患
在宅酸素療法 24例
SAS 20例

(ウ) 検査

内視鏡検査処置件数 1,366件
主な検査の内訳
胃カメラ 1,016件
大腸ファイバー 299件
大腸 EMR 31件

気管支鏡検査	4件
その他	16件

エ. 教育研修

日常業務の繁忙のため、まとまった研究は出来ていないが、日本内科学会教育関連病院として、内科学会に症例報告を行い、又、各自の専門領域の学会等に積極的に参加し、新しい情報を得るように努めている。カンファレンスとして、問題のある患者についてのカンファレンスを適宜行っている。

オ. 今後の展望

日本内科学会教育関連病院、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化器病学会認定施設に認定され、2018年度より始まる内科新専門医制度の阪大グループの連携施設に入り、教育施設としてさらに充実をはかり、若い人に魅力ある施設として足場を固めたい。2018年には、包括ケア病棟も新設される予定で医療・介護・福祉等と連携を進め、在宅医療や地域完結型の医療を推進する予定である。

② 外科

ア. スタッフ・診療体制

森之宮病院外科は常勤医師3名（大道理事長、大沢部長、小倉医師）と非常勤医師2名で外来診療を行っている。外科では、消化器系の癌、腹部の救急疾患や一般外科疾患に対応している。予定手術は月曜、木曜に行い、緊急手術にも対応している。

イ. 診療内容

（ア）消化器癌について

主に、胃癌、大腸癌などの消化器癌の手術を、年間30～40件行っている。85歳以上の超高齢者も多く、丁寧な診療と標準手術を行うことを心がけている。胃癌の手術では、胃切除後の小胃症状を改善するため、症例により小腸を用いた代用胃再建手術を行い、良好な経過をたどっている。大腸癌は進行癌であっても、積極的に腹腔鏡下の切除を行っている。手術前後の、身体的心理的な障害を最小限にするため、がんのリハビリテーションをおこなっている。手術前から歯科での口腔ケア、NSTによる栄養管理を開始。リハスタッフによるADLの評価と、体力低下予防のリハビリを開始している。手術後は、多職種の介入により、早期離床、栄養改善のためのケアを行っている。進行・再発癌では、エビデンスのある化学療法の中から、副作用の少ない治療を採用し、効果と副作用を十分説明し、実施している。終末期がん患者に対しても、QOLの高い生活が送れるよう、疼痛緩和、栄養管理、緩和的リハをおこない、退院と自宅療養を支援している。退院後も病状が悪化すれば、希望により入院の上、終末期を最後まで手厚いケアを行うよう心がけている。

（イ）腹部救急疾患について

腹部救急は、夜間も外科当直医診察の上で、24時間体制で対応している。消化管穿孔、腸管・臓器の絞扼・壊死、多量の消化管出血の多くは早急な手術

あるいは、内視鏡処置が必要となる。問診と診察を十分おこない、最新の診断手技により、手術の必要性を迅速に判断し、的確な手術を行うように努力している。急性虫垂炎、急性胆嚢炎も重症度に応じて、早期腹腔鏡下手術を行い、良好に経過している。夜間手術は、できるだけ当院で対応しているが、近隣の高次救急医療機関と連携のうえ、対応していただくこともある。

(ウ) 内視鏡的胃瘻造設術 (PEG)

近年の急激な高齢化により、脳梗塞後遺症・認知症・誤嚥性肺炎等で、嚥下障害を併発して、胃瘻造設が必要となる患者さんが増加している。当科では、年間約50件の内視鏡下胃瘻造設術 (PEG) を施行している。胃瘻については、その継続的な効果と本人にとっての益を常に吟味し、適応を決定している。胃瘻造設前後には全例 CT 検査を施行し、合併症のない安全な胃瘻造設を心がけている。

(エ) 一般外科疾患、創傷 (外傷、熱傷、褥瘡) について

その他手術件数の多い疾患は、胆嚢炎、虫垂炎、ヘルニアなどで、いずれも、最新の標準手術を施行している。開腹手術では、手術野感染 (SSI) の予防が重要である。創縁ドレープ、持続吸引ドレーンと腹壁洗浄器を使用、真皮連続縫合を採用し、ほとんど創感染はなくなっている。外傷や、熱傷などの、創傷治療は、消毒とガーゼで傷を固めず、創傷保護剤を用いて患者さんに疼痛の少ない、優しい治療を心がけている。

ウ. 治療実績

2018年 外科手術133例 (手術室)

	疾 患	術 式	総数
上部消化管	胃癌	幽門側胃切除	5
		胃空腸バイパス	2
	十二指腸潰瘍穿孔	大網被覆縫合	2
胆道系	急性胆嚢炎	開腹胆嚢摘出術	9
		腹腔鏡下胆嚢摘出術	8
	胆石症 / 慢性胆嚢炎	腹腔鏡下胆嚢摘出術	12
小腸	イレウス	癒着剥離	3
		腹腔鏡下癒着剥離	1
下部消化管	上行結腸癌	腹腔鏡下右半結腸切除	1
		右半結腸切除	7
		回腸横行結腸吻合	2
	横行結腸癌	横行結腸切除	1
	下行大腸癌	Hartmann 手術	1
	S 状結腸癌	S 状結腸切除	3
	直腸癌	前方切除	4
		ハルトマン	1
		腹腔鏡下低位前方切除	1
		経肛門切除	1

	疾 患	術 式	総数
下部消化管	壊死性閉塞性大腸炎	結腸全摘	1
	直腸脱	直腸脱切除	1
	人工肛門状態	人工肛門閉鎖	1
	急性虫垂炎	開腹	5
		腹腔鏡	12
	虫垂憩室穿孔	開腹	1
		腹腔鏡	1
	盲腸憩室穿孔	盲腸切除、S状結腸切除	1
腹壁	鼠径ヘルニア	クーゲル	37
		メッシュ	1
	大腿ヘルニア	クーゲル	1
その他	嚥下障害・誤嚥性肺炎	CV ポート造設	7

エ. 教育研修

教育研修については、実績があまりないが、院内研修会や、地域連携室主催の登録医総会では過去に、腹部救急、胃癌治療、化学療法、胃瘻などをテーマに講演を行った。日本外科学会、消化器外科学会、消化器内視鏡学会等学会に参加し、最新の知識習得を図っている。

オ. 今後の展望

病棟業務、手術は常勤医2人体制のため、夜間の救急は基幹病院に依頼することもあるが、今後は、登録医からの要望にも迅速に対応する予定である。4K 腹腔鏡手術システムと最新型の NBI・拡大内視鏡も導入し、精密な手術が可能になった。腹腔鏡手術件数も増やしたい。消化器内視鏡は、消化器内科との関係を密とし、消化器癌のより精密な検査で癌の早期発見症例を増やしたい。外科診療の質向上を目的として、NCD データベースに参加している。手術件数とさらに診療の質的向上を図りたい。

③ 心臓血管センター（心臓血管外科、循環器内科）

ア. スタッフ・診療体制

大久保 修和 心臓血管センター部長（1979年 大阪大、日本外科学会指導医、心臓血管外科指導医、腹部ステントグラフト(S-G) 実施医）
 加藤 雅明 心臓血管外科部長（1983年 愛媛大、心臓血管外科指導医、胸部・腹部 S-G 指導医）
 元木 学 心外医員（2000年 大阪市立大、外科専門医、循環器専門医、心臓血管外科専門医、胸部・腹部 S-G 指導医）
 赤井 淳 心外医員（2003年 東京大、2018年4月～。外科専門医、胸部・腹部 S-G 指導医）
 木村 賢 心外医員（2012年 東京大、2018年4月～2019年3月。外科専門医）
 川崎 大三 循環器内科部長（1997年 兵庫医大、内科認定医、循環器専門医、日本 Intervention 治療学会専門医）
 福永 匡史 循内医員（2005年 兵庫医大、2015年4月～。

名方 剛	内科認定医、循環器専門医、日本 Intervention 治療学会認定医） 循環医員（2004年 兵庫医大、2016年10月～。
藤原 玲子	内科認定医、循環器専門医、日本 Intervention 治療学会認定医） 循環医員（2007年 京都府立医大、2016年4月～。 循環器専門医、心臓リハビリ指導士）
山上 将央	循環医員（2010年関西医大、2017年4月～。循環器専門医）
西庵 邦彦	循環医員（2017年兵庫医大、2018年7月～）

外来 心臓血管外科：大久保（月・金・奇数週木 午前）

加藤（水 午前、木 午後、土 午前（不定期）

元木（水 午後、土 午前）

循環器内科：川崎（月 午前・午後、火 午前）

福永（金 午前、偶数週木 午前）

名方（月 午後）、藤原（火 午後）

施設基準：日本外科学会外科専門医制度修練施設

心臓血管外科専門医認定機構関連施設

ステントグラフト実施管理委員会認定施設

循環器専門医研修施設

日本外科学会指導医 1名 外科専門医 3名

心臓血管外科指導医 2名 専門医 2名

循環器専門医 6名 内科認定医 4名

ステントグラフト指導医 3名

イ. 診療内容

循環器内科は本年度より西庵が加わり、末梢血管疾患のカテーテル治療を中心に、冠動脈疾患・弁膜症・心不全・不整脈などの循環器疾患を診療している。川崎は兵庫医大での経験を基に、臨床・学会・講演・Live など、情報の発信と啓蒙活動に熱心に取り組んでいる。

心臓血管外科は加藤を中心に、大血管疾患に対する治療を特化して行っており、大動脈瘤に対するステントグラフト治療は全国でも有数の high volume center を維持し、若い血管外科医の“教育センター”として機能している。一方で患者は高齢者の割合が多く、合併症の多い症例、病態が複雑な手術困難症例が集まり、治療は濃密、煩雑を極めている。

心臓リハビリ指導士である藤原は、心外術後患者、急性心筋梗塞治療後、心不全回復期、ASO の術前からの運動リハなどの心大血管リハビリを、大久保と共に看護師・リハビリ技師の協力の下、集団・個別を含んで6階西病棟リハビリ室において行っている。

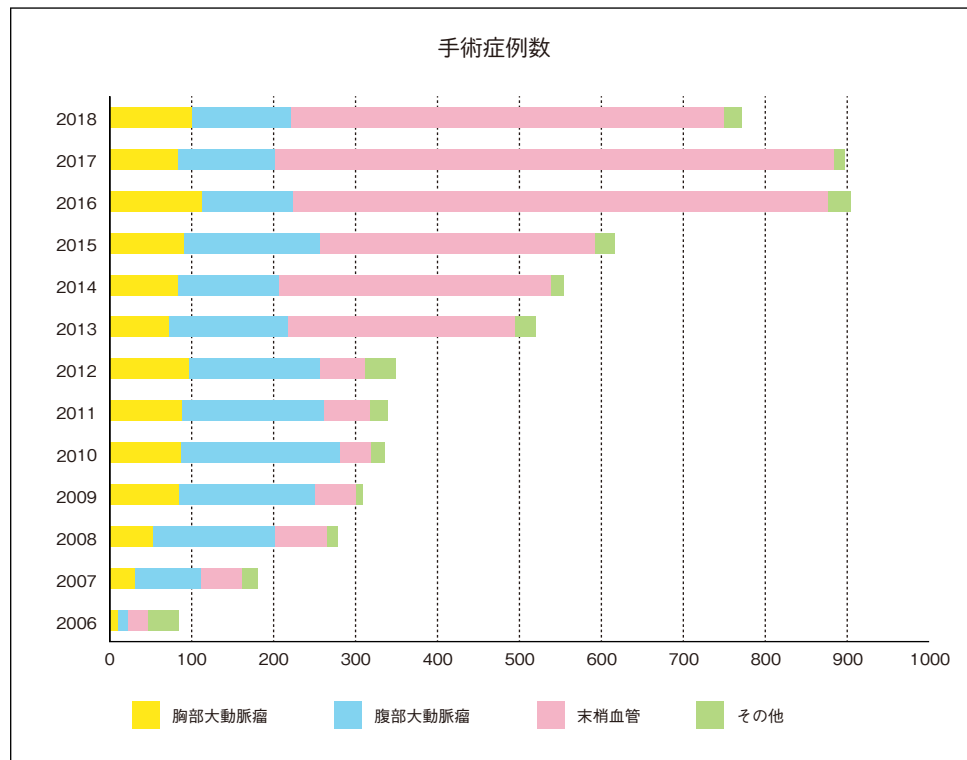
ウ. 治療実績

（ア）外来患者数：初診患者数は680名で、延べ再診患者数は6,926名であった。

（イ）手術件数（2006年は4月～12月、2007年以降は1月～12月の総計）

2007年4月から腹部大動脈瘤治療用の、2008年から胸部大動脈瘤治療用のス

テントグラフトが市販されるようになり、それぞれの症例数が激増した。さらに2009年12月に Hybrid 手術室が完成し術中の画像診断が飛躍的に向上した。この結果ステントグラフト内挿術での細かい操作や長時間の透視が可能となり、手術症例数の増加につながった（図：手術症例数参照）。また2013年からの末梢血管疾患の増加は主として循内症例である。



2018年度は胸部大動脈瘤 100例（△17）（開心術8例▼3）、腹部大動脈瘤 121例（△3）、末梢血管疾患528例（▼155）、その他22例（△9）、総計771例（▼126）。

胸部大動脈瘤症例は主として紹介により推移している。TAA、DAA に対する TEVAR は微増。ほとんど弓部主要分枝をまきこんだ弓部大動脈瘤であり Debranching や Branched graft を多用（70%）する状態で、これに合わせて Real Chimney 法を取り入れている。さらにいち早く胸部大動脈瘤用枝付きステントグラフトを使用する機会に恵まれ、徐々に症例数を増やしている状況である。上行大動脈に部分遮断せずに人工血管を吻合する Real Chimney 法が確立してきて安定した結果が得られるようになった。

腹部大動脈瘤症例はこの数年ステントグラフト内挿術の普及により実施施設が増加し、当院での総数は減少傾向である。しかし、腹部主要分枝を巻き込んだ症例に対する開窓つきステントグラフトや分枝つきステントグラフトを用いた治療により他の実施施設とは差別化されている。分枝付き、開窓つきステントグラフトを使用する症例は全体の20%になっている。また大動脈カテーテル治療の先行施設としての多くの経験が超高齢者、合併症の多い患者様、Hostile Abdomen 症例など、開腹手術が困難な場合でもカテーテル治療を可能としている。

循環器内科は末梢血管、特に閉塞性動脈硬化症が対象であるが、血管形成術（PTA）、Stenting を第一選択とし、場合により血管外科との Collaboration で

バイパス手術も取り入れて治療している。特に腎機能低下症例に対する血管形成術においては、造影剤の代わりに炭酸ガス(CO₂)を用いた造影を行って、腎機能も血管形成の Quality も落とすことなく治療を遂行している。2018年度は症例数が減少となっている。これは2017年度までは1症例に複数病変があった場合、1加療で1病変加療を基本として加療をしてきた。2018年度から1回の加療ですできるだけ多くの病変を加療する方針に変更したため症例数としては減少しているようにみえる結果となっている。しかし、治療した病変箇所については2017年とほぼ同等数であった。

新たに2015年7月からは、主として急性大動脈解離 Stanford Type B に対する急性期治療を目的に「大動脈疾患 HOT LINE」を設置、ドクターカーも運用する事により、大動脈疾患救急例も受け入れる事になった。大動脈疾患 HOT LINE : 06-6969-9673

エ. 教育研修

(ア) 業績(学会発表・論文・著書など): 別項掲載

(イ) 研修: スtentグラフトの臨床を研修しようという若い医師は、全国の大学医局、病院施設から公募で集まり、当科での1年間の臨床トレーニングで実施医はもちろん、指導医の資格が取得できるようになっている。循環器内科ではセミナーやwork-shopを開催し、全国からの見学医師も多く集まり、当センターの存在を発信し続けている。

オ. 今後の展望

循環器内科は主として末梢血管疾患を治療対象としている。症例数が増加しており、末梢血管用のstentやDE balloonなどの治験も進行中である。新たに罹病血管組織を病理学的に分析し、再狭窄・閉塞などの病態解明を行っていく予定である。

心臓血管外科に関しては、腹部のFenestrated stent-graftの手技は安定し、症例数は増加している。今後は近位弓部大動脈瘤(慢性解離を含む)で主要分枝を含んだ胸部病変に対するTEVARを行うため、Branched stent-graftを積極的に取り入れて行く。

腹部大動脈瘤に対してカテーテル治療を施行した症例で、遠隔期におけるType II Endoleakが問題になってきている。Type II ELそのものに対する治療を行う(側副血行路コイル塞栓術)一方、初回手術時にType II ELの元となる下腸間膜動脈、腰動脈をコイル閉塞することを積極的に行っている。また初回治療時にトラネキサム酸の抗プラスミン作用に期待して、Type II ELの発生を抑制できないか治験を行っている。

胸部大動脈瘤治療時において、重篤な合併症となる脳梗塞の発生について、大動脈壁の汚さ(粥腫や壁在血栓の存在など)を一定の基準で測定、可視化できれば、術中の対策が考慮しやすいと考え、まずShaggy Aortaの定義と程度の数量化に着手している。新しい治験としては当センター全体で、「末梢動脈に対する小口径stentグラフト」を導入している。主として大腿動脈の動脈硬化性病変に対しての良好な術後成績が期待される。

④ 乳腺センター（乳腺・内分泌外科、形成外科）

ア．スタッフ・診療体制

（ア）スタッフ

丹治 芳郎 乳腺センター部長（日本外科学会専門医・指導医・日本乳癌学会
乳腺専門医・指導医・精中委マンモグラフィ読影認定医・日本がん
治療認定医機構認定医・暫定教育医・日本消化器内視鏡学会専
門医・指導医・日本消化器病学会専門医・指導医・日本医師会認
定産業医・近畿外科学会評議員・医学博士・難病指定医）

藤原 貴史 形成外科（日本形成外科学会専門医・日本創傷外科学会専門医・
日本乳癌学会乳腺認定医・精中委マンモグラフィ読影認定医・日本
がん治療認定医機構認定医・医学博士）

非常勤医師3名

（イ）診療体制

㊦ 外来診察

月（午前・午後）、火（午前・午後）、木（午前）、金（午前・午後）

【原則予約制】

水（午前）【クローズド】

① 外来検査

乳腺・甲状腺超音波検査：診察時随時

マンモグラフィ：随時【予約制】

エコーガイド、ステレオガイド下マンモトーム検査：火（午後）【予約制】

MR マンモグラフィ：随時【予約制】

㊧ 手術：月・木

イ．診療内容

乳腺および甲状腺の疾患を主体に診療を行っている。検診から検査診断、治療まで、最新の機器を用い、最新のエビデンスに基づいて診療を行っている。

乳腺の診療では、高解像度モニターならびマンモグラフィ・ビューアーと、エラストグラフィを装備した高解像度超音波検査装置を診察室に設置し、高精度の診断を迅速に行えるようになっている。そのほか、ステレオ・ガイド下マンモトーム生検装置、超音波ガイド下マンモトーム、MR マンモグラフィなどを備え、当院放射線科と連携して高度の乳腺検査が行える体制となっている。乳癌の治療では、手術療法、化学療法、内分泌療法、分子標的治療、放射線治療などエビデンスに基づいた治療を大阪大学乳房再建医学講座（形成外科）、大手前病院放射線科などと連携して行っている。手術においては、センチネル・リンパ節生検や一期的乳房再建を取り入れ、根治性を損なうことなく、術後合併症の少ない、整容性（美容的）に優れた手術を実施している。他院手術例の二期的再建や、シリコン・インプラントによる再建も行っている。薬物治療では、化学療法室を乳腺外科外来内に設置し、内分泌療法、化学療法、分子標的治療など、術前、術後の補助療法を始め、進行再発乳癌に対する治療を、安全かつ快適な環境下を実施している。

ウ．診療実績

(ア) 外来診療実績 2018/1/1 ～ 2018/12/31

外来患者数:5,817名

マンモトーム生検:27件

外来化学療法室治療数:424件

(イ) 入院診療実績 2018/1/1 ～ 2018/12/31

入院患者数:178名

(ウ) 手術実績:主な手術件数 2018/1/1 ～ 2018/12/31

乳癌手術	乳腺部分切除術 (Bp、Bq)		12
	乳房切除 (Bt、SSM、NSM)		18
	センチネル・リンパ節生検		25
	腋窩リンパ節郭清		6
乳房再建	同時再建	広背筋皮弁	6
		組織拡張器	6
		植皮	1
	他施設乳癌術後再建	広背筋皮弁 + 脂肪注入	3
		組織拡張器	11
		組織拡張器 + 脂肪注入	1
	インプラントへの入替のみ		14
	インプラントへの入替 + 脂肪注入		52
	乳輪乳頭形成		10
	脂肪注入		6
	インプラントによる豊胸		0
乳腺良性腫瘍	乳管腺葉区域切除		0
	良性腫瘍切除		4
甲状腺			0
その他			10

エ．教育研修

(ア) CTOS 法による乳癌組織培養と制癌剤感受性試験

大阪国際がんセンター生化学部と共同研究

(イ) 学会発表 (詳細は学術業績一覧 参照)

オ．今後の展望

(ア) 再建手術ができる施設としてさらに乳癌の根治性と整容性に優れた手術をすすめる。

(イ) 健診業務を通して乳癌の早期発見の推進

カ．その他

(ア) 施設認定

日本乳癌学会認定施設

日本外科学会専門医制度修練施設

日本がん治療認定医機構認定教育施設
検診マンモグラフィ認定施設

⑤神経内科・リハビリテーション科

ア. 診療スタッフ

- 宮井 一郎
- 院長代理（日本神経学会認定神経内科専門医・指導医、日本内科学会認定医・指導医、日本リハビリテーション医学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医・指導医）
- 矢倉 一
- リハビリテーション科部長（日本神経学会認定神経内科専門医、日本神経学会指導医、日本内科学会認定医・指導医、日本リハビリテーション医学会専門医・指導医）
- 畠中 めぐみ
- 神経内科部長（日本神経学会認定神経内科専門医、日本神経学会指導医、日本内科学会認定総合内科専門医、日本内科学会指導医、日本リハビリテーション医学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、日本感染症学会認定インфекションコントロールドクター）
- 長廻 倫子
- （日本神経学会認定神経内科専門医、日本内科学会認定医・指導医、日本リハビリテーション医学会専門医）
- 河野 悌司
- （日本神経学会認定神経内科専門医・指導医、日本内科学会認定総合内科専門医・指導医、日本リハビリテーション医学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医）
- 吉岡 知美
- （日本内科学会認定総合内科専門医・指導医、労働衛生コンサルタント）
- 藤本 宏明
- （日本神経学会認定神経内科専門医、日本内科学会専門医・指導医、日本リハビリテーション医学会専門医・指導医、産業医）
- 乙宗 宏範
- （日本内科学会認定内科医、日本神経学会認定神経内科専門医、日本リハビリテーション医学会専門医）

イ. 診療方針と特徴

脳卒中を中心に、神経リハビリテーションに特化した質の高い入院加療を行っている。大半が発症後2か月以内の脳卒中を対象とする回復期リハビリテーション病棟での入院加療である。神経学とリハビリテーション医学を融合した神経リハビリテーションを特徴としており、1982年の旧ボバース記念病院開院時から蓄積した膨大な治療経験をもとに、機能回復を高めるための治療を脳科学の立場から追及している。経験豊富な200名近い療法士、リハビリテーションに精通した看護・介護スタッフ、神経心理士および医療ソーシャルワーカーを含めた多職種が連携して、スムーズな在宅復帰をめざしている。退院後は、地域の対象患者には大道会内に設置された在宅事業部と協力し、法人内の在宅サービスを利用して機能維持ができるよう在宅ケアにも取り組んでいる。

外来診察表

診療時間		月	火	水	木	金	土
受付時間	AM 8:30 ~ 11:30	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
診察時間	AM 9:00 ~ 12:00						

※脳血管疾患の入院リハビリテーションの相談診察のための外来で予約制。

ウ. 入院患者数

2018年度 642名（男性362名、女性280名、平均年齢 67.5歳）

疾患の内訳 脳梗塞290名、脳出血173名、くも膜下出血45名、頭部外傷41名、AIDP/CIDP等10名、SCD/MSA等28名等

回復期リハビリテーション病棟に入院した脳卒中患者は505名（男性287名、女性218名、平均年齢 62.5歳、）で、発症後平均37日で当院へ入院し、リハビリテーション加療を行った。平均入院期間は92日で、自宅復帰患者は324名（自宅復帰率:64.2%）で、在宅復帰等の基準の設定された病棟への転院を加えた在宅復帰患者は402名（在宅復帰率:79.6%）であった。（ただし、平均入院期間は合併症で転院し加療後再入院した場合、回復期リハビリテーション病棟入院してから、再入院後に当院退院する期間までと定義した）

日常生活機能評価10点以上は218名（33.9%）と重症度の高い患者の入院は昨年同様であった。

合併症のため転棟・転院した患者は、胃瘻やCVポート造設など処置目的の転院・転棟は25名（22名）。腱延長術目的の転棟は3名であった。その他転院・転棟は76名（25名）で、前年度の約3倍であった。内訳は、脳卒中再発14名（3名）、その他中枢疾患16名（1名）、急性胆嚢炎等の消化器疾患17名（5名）、循環器疾患7名（3名）、呼吸器疾患9名（1名）等であり（カッコ内は転棟患者）、3名は複数回の転院であった。リハビリテーションは、理学療法・作業療法・言語療法を1日平均7.9単位（最大9単位、1単位:20分）、365日提供した。

入院リハビリテーションの効果を日常生活動作評価尺度の一つであるFIM（126点満点）で示すと、入院時平均65.5点より退院時平均90.3点と改善した。同様に運動項目（91点満点）は、入院時44.7点から退院時64.8点に、認知項目（35点満点）は入院時20.8点から25.5点に改善した。

また、今年度より導入されたリハ実績指数（疾患ごとに定められた入院期間でのFIM運動項目の改善度）は47.2（全例を対象とした場合、40.1）であった。

エ. 他病院との連携

下記に示すような多数の急性期病院と脳卒中地域連携パス等のツールを用いてより円滑に脳卒中患者を中心に、適切な入院リハビリテーションを提供できるように努めている。

脳卒中地域連携パスを通しての入院患者は、今年度は48.2%であった。

矢木脳神経外科病院	65名	済生会野江病院	26名
富永病院	59名	JCHO 大阪病院	14名
大阪医療センター	55名	国立循環器病研究センター	11名
大阪警察病院	55名	医誠会病院	10名
大阪赤十字病院	55名	河内総合病院	10名
北野病院	34名	大阪府急性期総合医療センター	9名
大手前病院	32名	東大阪市立総合医療センター	8名
大阪市立総合医療センター	28名	住友病院	7名
合 計			642名

大阪脳卒中医療連携ネットワークに参加し、脳卒中地域連携パスを通じての各急性期病院、回復期リハビリテーション病院、療養型病院や開業医が集まっての全体会議を

主導し、各病院との連携を緊密にするように努めている（第1回全体会議2018年6月13日、第2回全体会議2018年10月10日、第3回全体会議2019年3月6日。第1回、第2回は大阪市立総合医療センターにて、第3回は森之宮病院にて開催）。

オ. 教育・研修

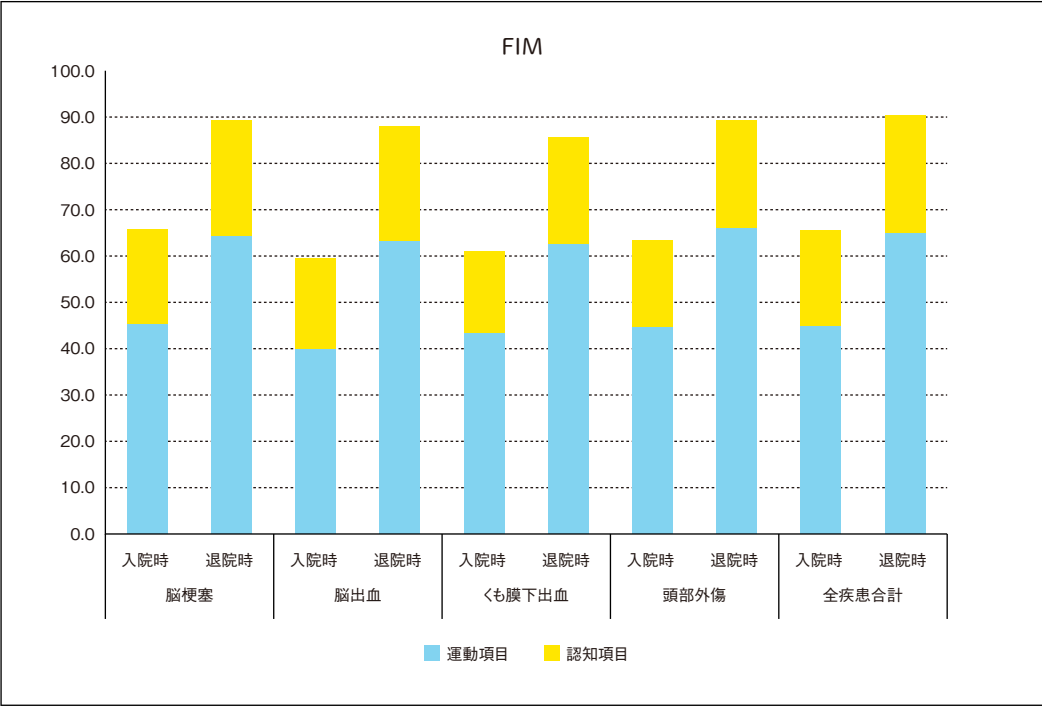
教育研修病院として、大阪大学からの学生に臨床医学教育を行い、卒後教育（臨床研修協力型病院として大阪大学と国立病院機構大阪医療センターの初期研修医への指導を行っている（今年度は、大阪大学より医学生7名、研修医1名。大阪医療センターより研修医4名）。

毎週水曜日に抄読会を開催し、最新の知見を習得している。また、同日に全患者を対象に症例検討会を行い、患者へのより効果的な医療の提供に努めている。

各病棟では、療法士や看護師や医療ソーシャルワーカーら多職種と定期的にカンファレンスを行い、すべての患者の情報共有に努めている。

カ. 研究実績

神経リハビリテーション研究部として、厚労省、文科省、科学技術振興機構などから競争的研究補助金を獲得して臨床研究を行っている。別項参照



⑥ 整形外科

ア. スタッフおよび診療体制

スタッフは常勤医1名と非常勤医3名となっている。

イ. 診療内容

(ア) 外来

外来診察は、午前診を木曜日、金曜日および隔週の土曜日で、午後診を火曜日、水曜日と木曜日で行っている。

(イ) 入院

入院症例の内訳としては、約半数が手術症例で、残りが保存的加療症例である。

ウ. 治療実績

(ア) 外来

2018年度の外来患者数は初診が521人で再診が3196人であった。月平均316人の外来患者数となっている。

(イ) 入院

2018年度の延べ入院患者数は4723人で、一日平均13人となっている。

(ウ) 手術

2018年度の手術件数は86件であった。手術の内容としては、高齢化社会を反映し、大腿骨頸部骨折等の骨粗鬆症関連骨折が大半となっている。

エ. 教育研修

当院の整形外科は日本整形外科学会の研修指定病院となっており、常勤医は専門医資格を有している。各専門学会に参加し知識の習得を図っている。

オ. 今後の展望

もっとも多い高齢者に多い大腿骨頸部骨折に対しては、受傷後早期に手術が行えるように麻酔科および内科とも協力体制をとっている。今後も近隣の連携医院の先生方からの御紹介には、さらに最善を尽くして受け入れていく方針である。

⑦ 泌尿器科

ア. スタッフ・診療体制

大園 誠一郎 (日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本腎臓学会専門医・指導医、日本透析医学会専門医・指導医、日本泌尿器科学会評議員、日本癌治療学会監事、日本女性骨盤底医学会理事、日本性機能学会理事、腎癌研究会会長 BCG 注入療法研究会代表世話人)

山田 篤 (日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本透析医学会専門医、日本排尿機能学会認定医)

塩見 努 (非常勤医師)

石橋 道男 (非常勤医師)

外来診療は月～木曜日に行っており、金曜日が手術日となっている。

土曜日の外来は塩見が担当しており、主に二分脊椎や脊髄損傷患者の神経因性膀胱に対しての尿路管理を行っている。

イ. 診療内容

森之宮病院泌尿器科は従来、二分脊椎や脊髄損傷、脳卒中後の神経因性膀胱の患者が多かった。しかし、近年は泌尿器がん、尿路結石、感染症等の疾患に対しても、

積極的に入院を受け入れ、手術、化学療法等をおこなっている。

ウ．治療実績

(ア) 入院統計

入院実人数は 186 名であった。

(イ) 手術統計

腎尿管

腹腔鏡下腎尿管全摘術	2 例
経尿道的腎尿管結石碎石術	19 例
腎尿管鏡下生検術	1 例

膀胱・尿道

経尿道的膀胱腫瘍切除術	17 例
経尿道的膀胱結石碎石術	3 例
尿道狭窄切開術	1 例
膀胱瘻増設術	1 例
膀胱水压拡張術	1 例

陰囊・陰茎

精巣固定術	1 例
包皮環状切開	1 例

前立腺

経尿道的前立腺切除術	8 例
前立腺針生検	24 例
経皮的放射線治療用金属マーカー留置術	18 例

エ．教育研修

当院の泌尿器科は日本泌尿器科学会の専門医教育関連施設に認定されている。これを維持するためには日本泌尿器科学会の指導医が必要で、毎年日本泌尿器科学会総会や排尿機能学会、透析医学会総会には積極的に参加している。

また、最新の情報習得のために「臨床泌尿器科」と「Journal of Urology」を定期購読している。

オ．今後の展望

2018 年 11 月より大阪重粒子センターと連携して、前立腺癌に対して経皮的放射線治療用金属マーカー留置術を開始した。順調に施行できており、今後も紹介、手術とも増加すると思われる。今後も開業医と連携をとり逆紹介も積極的に行っていききたい。

手術に関しても、外来患者の増加にともない尿路結石、泌尿器がん手術が増加している。当院での手術を希望される患者さんに対しては積極的に治療、手術を行っていききたい。他科入院患者の排尿コントロール紹介件数も増加してきており重要な当科の役割となっている。

⑧ 放射線科

ア. スタッフ紹介

(ア) 常勤医師

- ㊦ 土井 健司 1993年大阪医科大学卒業。大阪医科大学臨床教育准教授。
日本医学放射線学会 診断専門医、日本核医学会専門医、PET 読影認定医、マンモグラフィー読影認定医。
- ㊧ 有本 博 1998年大阪医科大学卒業。日本医学放射線学会 診断専門医、マンモグラフィー読影認定医、PET 読影認定医。

(イ) 診療体制:常勤医師2名、非常勤読影医師11名:大阪医科大学7名、その他4名。

イ. 診療内容

- (ア) 当科では主に CT、MRI、TV 透視検査、マンモグラフィーの読影とレポート作成、生理検査室にて腹部超音波検査の指導を行っている。近隣開業医の先生方から検査依頼を受け、紹介患者に対する問診と読影も積極的に行っている。大阪府立成人病センターより定期的に検査紹介を受け、撮影・読影業務を行っている。また、2010年8月より放射線専門医2名体制となり、CT 下生検や血管造影検査に対応可能となっている。
- (イ) PET - CT 検査が必要な場合、同じ医療法人施設森之宮クリニックにて検査を行い、放射線治療が必要な場合は大阪医科大学など関連医療施設をご紹介している。逆に同じ医療法人内の帝国ホテルクリニックや森之宮クリニックからの CT、MRI の検査依頼を受けている。
- (ウ) 検査機器:CT は2006年より64列 MDCT (フィリップス Brilliance 64)、MRI は開設時より1.5テスラ MRI (フィリップス Intera Achieva Nova) が稼働している。PACS は2010年更新し、FUJI Synaps が稼働し、F-Report システムにてレポート作成を行っている。3D ワークステーションは Teraricon Aq net と、FUJI Vincent を導入している。CT、MRI 検査は常時造影検査対応可能としている。

ウ. 検査実績

2018年度検査件数

	院内	院外	合計
CT	8,345	7,162	15,507
MRI	2,165	3,279	5,444
合計	10,510	10,441	20,951

2017年度検査件数

	院内	院外	合計
CT	7,997	6,159	14,156
MRI	2,204	3,164	5,368
合計	10,201	9,323	19,524

エ. 教育研修

- (ア) 大阪医科大学放射線医学教室の日本放射線学会専門医修練協力機関であり、現在週3回、3名の放射線科医に対して読影指導を行っている。
- (イ) 大阪医科大学の選択臨床実習指定病院となり、学生の希望あれば6回生の学外臨床実習を担当し、毎年1名～2名/4週間の学生指導を担当している。
- (ウ) 地域の開業医の先生方に画像検査をご利用いただくため、非定期的に学術講演を行い、画像診断に対する理解を広めている。また、関連大学病院である大阪医科大学放射線医学教室と定期的にカンファレンス(北大阪カンファレンス)を行っている。

オ. 今後の展望

- (ア) スtentグラフト治療、循環器診療を支援するために3Dワークステーションの更新を行った。迅速な3D画像提供を目指している。
- (イ) 安全で安心できる画像検査を提供するために、医師・技師・看護師とのチーム医療連携を強め、年に数度、模擬患者による院内救急デモンストレーションを行っている。
- (ウ) 今後も病診連携を強化し、地域の画像診断センターとしての役割を務めるために、講演会や登録医総会などで直接依頼医と交流を保つ。
- (エ) 専門医修練協力機関として学会発表を通じて学術レベルの向上を目指す。

⑨ 麻酔ペインクリニック科

ア. スタッフ・診療体制

(ア) スタッフ

鈴木 高広(日本麻酔科学会指導医)

川合 祐介(日本麻酔科学会指導医)

植田 一吉(日本麻酔科学会指導医)

(イ) 体制

予定手術 月曜日 - 金曜日

外来診察(ペインクリニック 担当:鈴木) 毎週土曜日

イ. 診療内容

- ・手術麻酔
- ・ペインクリニック

ウ. 診療実績

- (ア) 麻酔科管理症例(2018年度)956件(内 緊急手術63件)

内訳（小児整形外科126件、心臓血管外科症例301件、消化器外科137件、
乳腺外科128件、泌尿器科81件、整形外科85件、形成外科23件、歯科口
腔外科18件、麻酔科57件）

（イ）ペインクリニック症例数（2018年度）

硬膜外ブロック	146件
神経根ブロック	907件
交感神経節ブロック	33件
その他（末梢神経ブロックなど）	211件

（ウ）経皮的内視鏡下脊椎手術（PED, PELF 他） 60件

（エ）脊髄刺激電極挿入術 2件

エ. 教育研修

- ・日本麻酔科学会総会、関西地方会
- ・日本臨床麻酔学会
- ・日本ペインクリニック学会総会、関西地方会
- ・日本心臓血管麻酔学会 他
- ・ASA (American Society of Anesthesiologists)
- ・IARS (International Anesthetic Research Society)
- ・IASP (International Association for Study of Pain)

オ. 今後の展望

- ・24時間365日の手術対応を維持する
- ・効率的なICU運用
- ・SCS（硬膜外刺激電極挿入術）の症例増
- ・経皮的内視鏡下脊椎手術の症例増

⑩ 救急診療科

ア. スタッフ及び診療体制について

増茂 功次（日本救急医学会救急科専門医）

○外来担当

【時間内】

内科：月・水・第1土・第5土 ①増茂

火・木・金・第2-4土 ①非常勤医師 ②増茂

外科：外科系常勤医師当番制（整形外科、小児整形外科、消化器外科）

【時間外】

内科、外科：常勤医師、非常勤医師

イ. 診療内容

主に近隣地域の Walk in 患者、診療所からの紹介での救急受診を含めた1次・2次救急を24時間体制で受け入れている。

可能な限り救急受診を受け入れ、適切な初期対応・初期診断・初期治療を行い、必要時は専門医へ引き継ぎを行っている。

当院での継続診療・加療困難症例に関しては近隣への専門施設へ対応依頼している。

ウ. 診療実績

救急外来利用総数 4,973件
 自己来院 3,348件
 救急車搬入 1,505件
 (時間外救急車搬入 1,007件)

エ. 教育研修

現在は救急専任従医1名ということもあり大々的な勉強会等はできていないが、適宜、スタッフには救急外来初期対応に関して振り返りや指導を行っている。

また症例によっては他科との協議を行い、知識を深めていけるように努めている。

オ. 今後の展望

救急指定病院としての時間外救急搬送件数750件/年は最低条件とし、定期的に救急検討会を行っており、当院における救急環境整備に努めている。

城東区を中心とした近隣地域の1次・2次救急を担う病院として時間内外問わず、救急搬送件数を増やしていきたい。

⑪ 医療社会事業課

ア. スタッフ

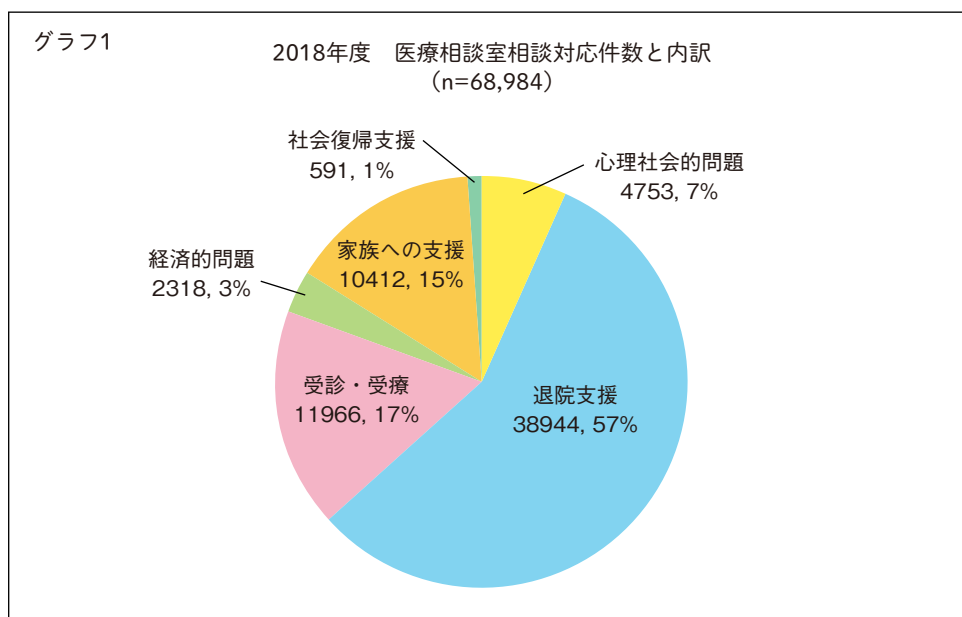
副部長 藤井 由記代 主任 佐藤 美香・辻田礼子(5月退職)
 課員 周藤 江里子・内藤 沙織(育休)・久繁 迪子・枝川 奈朋佳・沼田 みゆき(～6月まで育休)・西村 紫乃(～4月まで育休)・河野 真由子(7月退職)・岡 沙紀(育休)・高井 一貴・藤原 恵子・丸田 加奈子・森田 麻琴(7月退職)・深川 奏美・安川 恵菜(5月～異動)・二木 瑞穂・鷺山 恵美・山本 佑香

イ. 業務実績

(ア) 相談支援

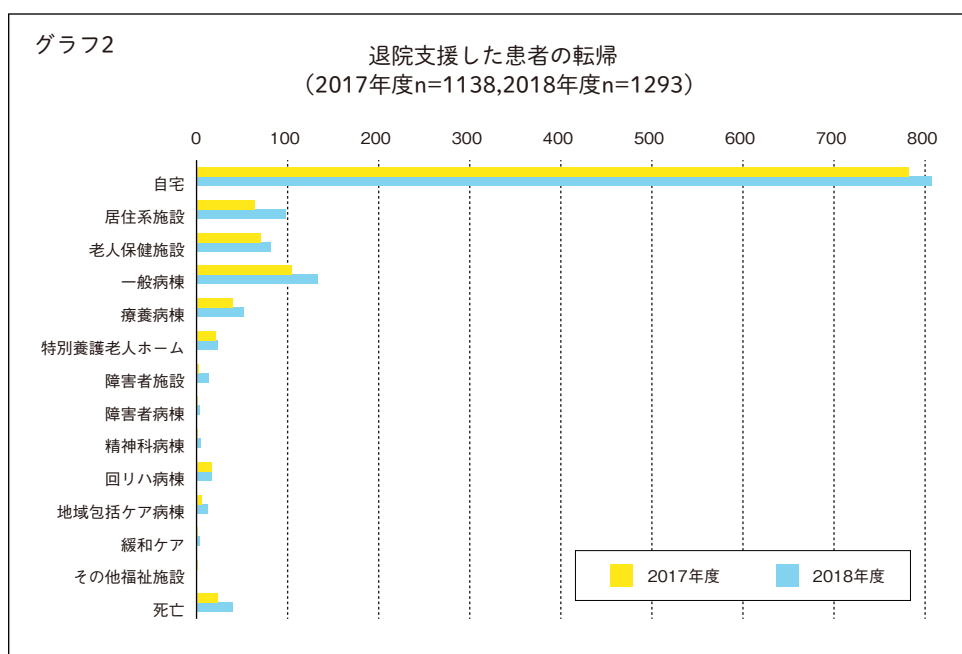
2018年度の相談対応件数は68,984件となり、昨年度比100.7%と同等であった。各相談内容別の内訳はグラフ1を参照いただきたい。相談対応の内訳(昨年度比)は、入退院に関する支援103%・経済的問題への支援145%・心理社会的問題への支援78%・社会復帰支援76%である。

経済的問題への支援件数は増加したが、全体的に入退院を主とした短期間で解決すべき課題への対応を優先し、長期的な暮らしの質への働きかけは低下していることが読み取れる。今後は、暮らしの質・長期的視野にたった支援スキルを高めることも課題である。



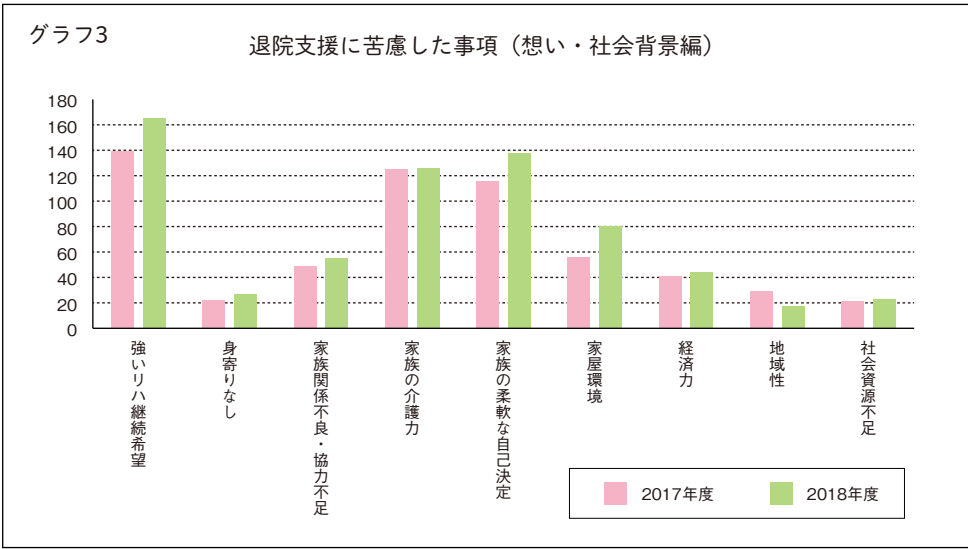
グラフ2に退院支援による転帰を示す。

昨年度と比べ、自宅をはじめ各所への退院支援件数が増加した。中でも居住系施設150%、障害者施設（旧更生施設）460%の増加が著しい。死亡も173%であり、病状が安定しない方への支援も増加している。



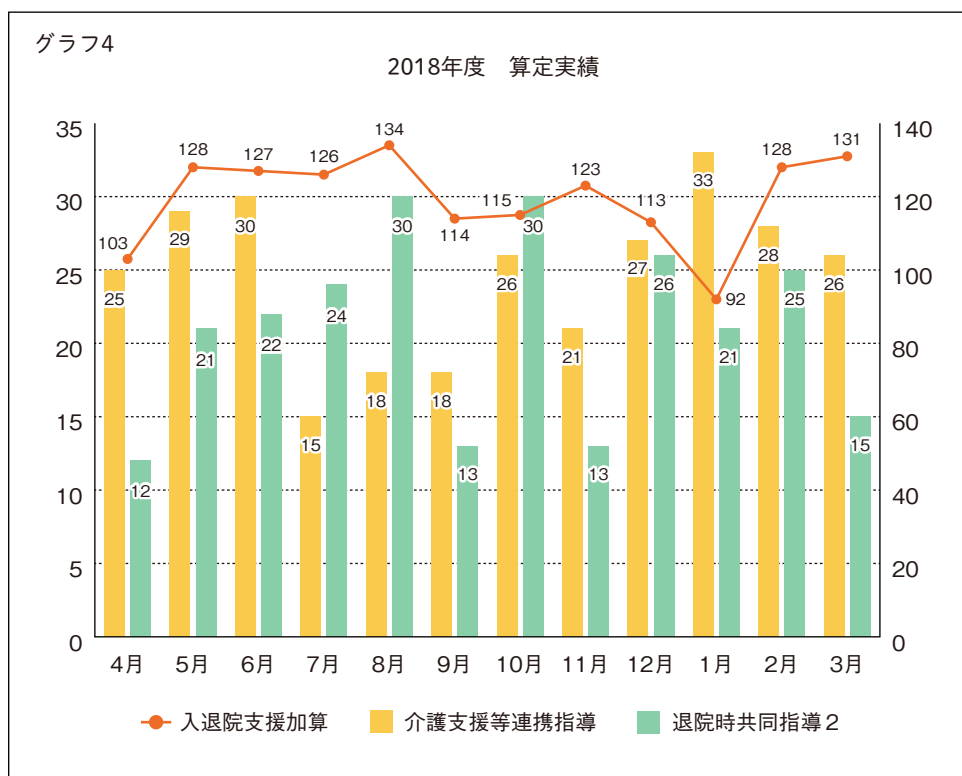
グラフ3からは、昨年度と比べ全体的に退院支援に苦慮した事例が増加したことが分かる。患者・家族が患者・家族の役割遂行よりご自身の暮らし（仕事・希望等）を優先する例も少なくなく、退院支援が複数例難渋した。強いリハ継続希望・家族の柔軟な自己決定の増加件数が多い背景に、当課の支援の課題（次の療養生活に踏み出せるようなイメージづくりや自己決定に向けた支援力の強化）が表れ

ている。今後も同様の傾向は続くことが予想されるが、患者家族の負担感の軽減につながる提案や自己決定を支援するスキルを意識したSV等を強化したい。



（イ）チーム医療

- ⑦ 一般病棟：4病棟に2名の退院支援専任社会福祉士（河野→西村・山本）を配置した。退院支援部門の専任社会福祉士とともに週1回＋不定期のカンファレンス等に参加し、早期スクリーニングや退院支援状況の共有に努めた。看護部主催の退院支援委員会活動には、佐藤・丸田が継続して参加した。
- ⑧ 回復期リハビリテーション病棟：4病棟に専従社会福祉士（久繁・藤原・枝川・鷺山）を配置し、体制強化加算1を算定した。毎日の患者対応だけでなく、各種ミーティング、定期・不定期のカンファレンス・病棟会議への参加、病棟勉強会での講師担当などチーム力の向上に向けて活動した。
- ⑨ 退院支援関連報酬算定（グラフ4）
介護支援等連携指導（昨年度比142%）、退院時共同指導料2（昨年比2100%）、退院時共同指導（保険医共同指導加算・多機関共同指導加算）ともに、各職種の協力を得て増加した。
院内外への働きかけ・運用ルールの見直し等を重ね、算定増につながっている。



(ウ) 課内活動

⑦ 相談室目標：(KJ 法により設定)

- 1: 目的・根拠を大切に、向上心を持って日々学び成長しよう
- 2: 他職種・地域と連携し、信頼関係を構築しよう
- 3: 業務の優先順位を意識し、スピーディーに効率よく取り組もう
- 4: 周囲を見渡し、相手の立場に立って、思いやりを持って助け合おう
- 5: 健康に働くために早めに休もう

① 業務改善活動：下記の2グループ活動を実施

A. お悩み解決グループ (リーダー：周藤)

SW 業務の標準化・スキルアップに向けて活動した。

- a. 患者向け案内文書の更新・新規作成
- b. 課内マニュアル (書類作成依頼など) の更新
- c. 勉強会の企画・準備・実施：年8回
- d. 研究活動：回復期リハビリテーション病棟協会第33回研究大会発表準備
「就労支援に関する一考察」

B. ワークライフバランスグループ (リーダー：久繁)

業務の効率化に向けて活動した。

- a. 課内マニュアル (入院相談など) の更新
- b. 社会資源情報の整理：ファイルの組み換え・書式の更新等

(エ) 院内・法人内活動

- ⑦ 委員会活動：医療安全管理委員会・回りハ病棟運営会議・ベッドコントロール会議・全体ベッドコントロール会議・入院判定委員会・CS委員会・退院支援委員会・施設間連携会議・地域包括 WG
- ⑧ 院内活動：患者サポート体制加算の体制整備、登録医総会への参加等
- ⑨ 法人活動：健康教室の講師、法人再編会議・経営情報会議・課題解決トレーナー研修受講、新人研修・マネジメント研修の講師等

(オ) 院外活動

- ⑦ 地域連携診療計画退院時指導料 (I) 関連
 - A. 大阪脳卒中連携ネットワーク：
 - コア病院として、方針決定・調整業務などに従事。
 - 10周年記念事業の企画・運営。
 - B. 豊能圏域脳卒中連携ネットワークへの参加
- ⑧ 各連携会議参加による連携課題の把握、連携関係の構築
 - A. 城東区在宅医療円滑化ネットワーク多職種連携研修会
 - B. 急性期病院および関係機関への訪問活動
 - C. 城東区医療と介護の連携懇親会
 - D. 城東区地域福祉ビジョン推進チーム高齢者支援専門部会
- ⑨ 森之宮地域
 - A. 地域ケア会議への参加
 - B. 森之宮地域活動協議会への参加
 - C. 縁側カフェへの参加
 - D. スマート・エイジングシティの理念を踏まえたまちづくり協定関連業務
 - a. ネットワーク会議への参加
 - b. 福祉用具体験モデルルームの開設準備・見学案内・管理等
 - c. 大阪府主催スマートエイジング・シティ具体化手法セミナー「食と笑いでココロとカラダにええ感じ」に福祉用具モデルルームを出張開催

(カ) その他

- ⑦ 相談実績の可視化：院内外の会議等で報告し、課題解決に向けて提案した。
- ⑧ 社会活動
 - A. 実習生受け入れ：社会福祉士実習 1名（大阪府立大学）
 - B. 大阪医療ソーシャルワーカー協会：理事（周藤）、研修講師（久繁）
 - C. 回復期リハビリテーション病棟協会：理事・ソーシャルワーカー委員活動（藤井）
 - D. 大阪市在宅医療介護連携推進会議：委員（藤井）

ウ. 教育活動

表1.を参照

エ. 今後の展望

今期は、異動・退職により人員が期初比2割減、かつ在勤職員のうち4割は当課の勤

務経験2年未満の状態で一連の業務を遂行した。課員の奮闘・関係各所の協力により大過なく業務遂行できたことを感謝している。

今後も流動的な運営が見込まれるため、日々のSVや定期的事例検討会を通じた個別事例への対応力の向上、業務指針や行動基準の唱和などを通し、住民の生活背景に目を向けた質のよいSWを提供できる体制づくり、自ら考え実行できる課員の育成を目指したい。

表1

課内研修 開催日	課内研修 テーマ
2018/5/30	①介護保険制度の更新部分 ②身寄りなし・生活保護受給者の支援時の留意事項
2018/6/27、2018/7/25、2018/8/22、 2018/10/24、2019/1/23、2019/2/27、 2019/3/20	事例検討
2018/9/19、2018/9/26、2019/1/30	就労支援

見学日	施設見学先
2018/5/15	だいもつ病院
2018/9/7	老人保健施設グリーンライフ
2018/11/29	竹井医院介護医療院
2019/3/15	老人保健施設アネシス寺田町

研修参加日	院外研修 ※自費参加を含む
2018/4/20	大阪市東部地域医療連絡会たけのこの会「診療報酬について」
2018/4/20	東成区居宅介護支援事業者連絡会
2018/4/28	日本医療社会福祉協会「2018年度診療報酬・介護報酬同時改定」
2018/5/16	大阪 MSW 協会初任者研修
2018/5/30	大阪 MSW 協会初任者研修
2018/6/13	大阪 MSW 協会初任者研修
2018/6/21	大阪府在宅医療・介護連携推進事業研修会
2018/6/21	城東区居宅介護支援事業者連絡会
2018/6/27	大阪 MSW 協会初任者研修
2018/7/3	住み慣れた地域で暮らし続けるを実現する移行期支援
2018/7/10	大阪府私立病院協会クレーム対応について
2018/7/12	ライブシンポジウム 医療連携2018
2018/7/14・15	回リハ協会基礎研修
2018/7/21・22	大阪茨木市における大阪北部地震の生活影響調査
2018/7/24	大阪府私立病院協会住民の健康とコミュニティを支援する
2018/8/25	大阪 MSW 協会退院支援研修
2018/8/30	大阪府 在宅医療・介護連携推進事業研修会
2018/9/20	たこやきの会「地域の医療資源をムダなく使う」（第27回）
2018/9/28	大阪府私立病院協会 医師の働き方改革について
2018/10/3・4	リハビリテーションケア研究大会2018 米子
2018/10/7	人生の最終段階における意思決定支援①
2018/10/27・28	城東区在宅医療・介護連携推進事業 多職種研修会
2018/11/3・4	回リハ協会第25回 SW 研修会（アドバンス研修）

研修参加日	院外研修 ※自費参加を含む
2018/11/15	たこやきの会 「がん患者を地域包括ケアシステムの中で支える～意思決定を行うための連携～」
2018/11/30	第23回大阪高次脳機能障がい就労支援勉強会 「高次脳機能障害の基礎と就労を中心とした障害福祉サービスの内容について」
2018/12/8	高次脳機能障害とリハビリテーション 当事者・家族としてどのように向き合うか～
2018/12/8	大阪 MSW 協会従事者講習会
2018/12/15	大阪 MSW 協会学習会 第12期初任者研修まとめの会
2018/12/3	①たこやきの会連携実務者のためのスキルアップ研修2018 「初任者 関係性を構築するには連携のお作法と業務理解 病院の役割 他」
2019/1/17	東大阪市三医師会主催 MSW との交流
2019/1/19	2018年度高次脳機能障害医療機関等職員研修会
2019/1/28	②たこやきの会 「中堅者 院内連携の強化多職種協働のポイント 連携室職員教育 他」
2019/2/6	③たこやきの会「管理者 地域医療構想一歩先行く地域連携室」
2019/2/9・10・11	医療対話推進者養成セミナー導入編・基礎編
2019/2/19	大阪 MSW 協会学習会 多職種協働による～退院支援看護師との連携実践を通して～
2019/2/21・22	回リハ協会第33回研究大会 in 舞浜・千葉
2019/3/9	増進型福祉セミナー 新しい福祉のあり方☆考えます
2019/3/16	たこやきの会「未来の大阪に向かって私達の役割を認識しよう」
2019/3/24	大阪府南部児童虐待防止医療ネットワーク第11回ネットワーク連絡会
2019/3/27	大阪 MSW 協会学習会 MSW が知っておきたい生活保護制度の知識と活用

⑫ 地域医療連携室

ア. スタッフ・業務時間

医師 1名 看護師 1名 事務員 7名

平日・9時～19時 土曜日・9時～12時30分

上記時間帯以外は、看護管理当直者 PHS へ転送され、24時間対応している。

イ. 業務内容

(ア) 地域医療機関からの検査・受診予約

(イ) 地域医療機関からの救急受診・入院依頼の調整

(ウ) 当院(入院・外来)患者の他院への逆紹介

(エ) 診療情報提供書の管理

(オ) 紹介患者の受診・入院・退院報告

(カ) 心臓血管外科受診・セカンドオピニオン希望患者の対応・相談・予約業務

(キ) 地域医療機関への院内情報の発信などの広報活動(訪問・郵便・HP など)

(ク) 在宅療養後方支援病院に関する業務

(ケ) 登録医・開放型病床に関連する業務

(コ) 地域連携 ICT (もりりんネット) に関連した業務

(サ) 登録医総会開催の運営

2019年3月9日(土) 16:30～19:30

『社会医療法人大道会の在宅生活を支える新しい医療・介護サービスのご案内』

講師：森之宮病院 リハビリテーション部 部長 椎名 英貴

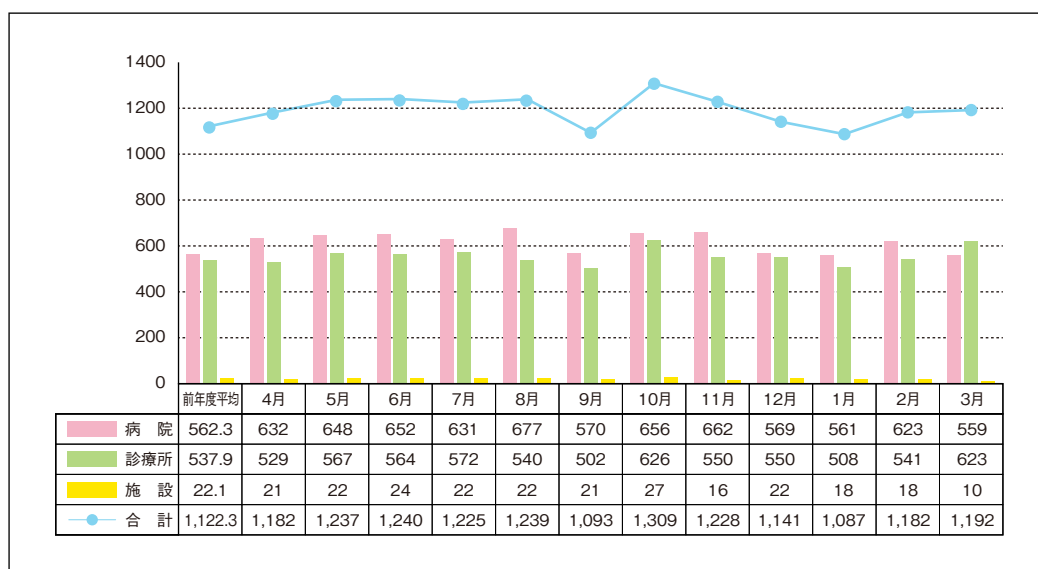
森之宮病院 診療部 医療社会事業課 副部長 藤井 由記代

大 道 会 在宅事業部 統括管理者 安井 学

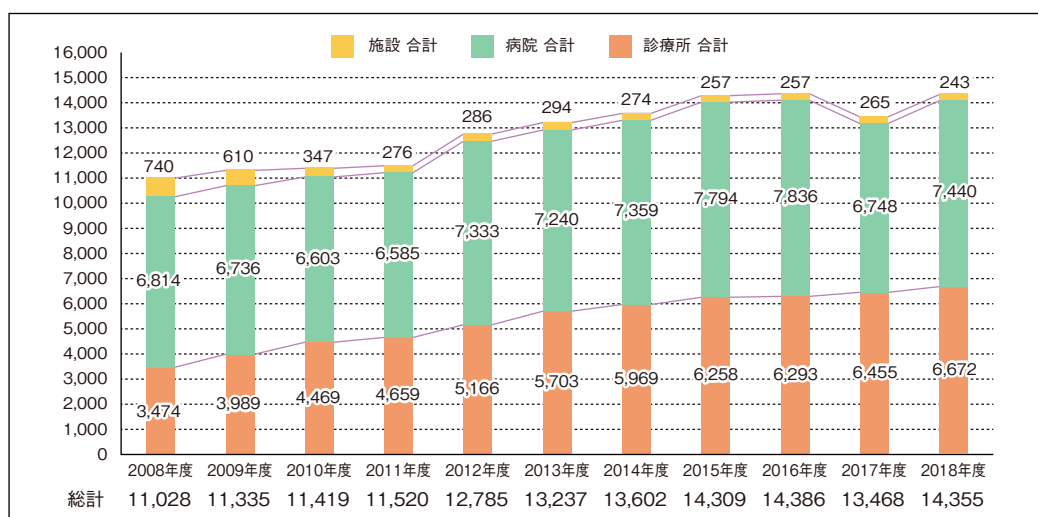
登録医 30名参加。当法人スタッフ 58名参加。

ウ. 業務実績

(ア) 2018年度月別紹介件数



(イ) 年度別紹介件数



エ. 教育研修・院外活動

(ア) 院内研修会

院内で開催される各種研修会に参加。伝達講習を行い、病院職員として必要な技術習得・情報収集に努めた。

(イ) 院外研修会

地域連携に関する各種研修会に参加。知識の向上と他医療機関職員との交流を図った。

(大阪地域医療連携合同協議会)

2018年 9月 第27回『地域の医療資源をムダなく使う』

2018年 11月 第28回『がん患者を地域包括ケアシステムの中で支える
～意思決定を行うための連携～』

2018年 12月 連携実務者のためのスキルアップ研修2018 (初心者)
『関係性を構築するには・連携のお作法と業務理解・病院の役割 他』

2019年 1月 連携実務者のためのスキルアップ研修2018 (中堅者)
『院内連携の強化・多職種協働のポイント・連携室職員教育 他』

2019年 2月 連携実務者のためのスキルアップ研修2018 (管理者)
『地域医療構想・一歩先行く地域連携室』

2019年 3月 第29回『未来の大阪に向かって私たちの役割を認識しよう』

(大阪市東部地域連携実務者連携会)

2018年 4月 第28回『2018年度診療報酬改定について』

2018年 12月 第29回『当院における救急診療の現状について』

(その他)

2018年 5月 大阪国際がんセンター 病診連携ネットワーク講演会

2018年 6月 牧病院・牧整形外科病院 合同地域連携の会

2018年 6月 『Aging in Place (住み慣れた地域で暮らし続ける) を実現する
移行期支援』

2018年 6月 第26回ケアマネ 北部包括 交流会
『さくらネットワーク参加病院より病院別機能・役割の紹介』

2018年 7月 Live Symposium 医療連携『入退院支援のホントの姿』

2018年 9月 入退院支援に関する研修会
『地域包括ケアシステムに急性期病院がどのように取り組むか』

2018年 11月 大阪府診療放射線技師会『接遇研修』

2018年 11月 Live Symposium 医療連携
『認知症の人の心をつなぐ地域連携』

2019年 3月 Live Symposium 医療連携
『地域包括ケア病棟の効果的運用の取り組み』

オ. 今後の展望

2018年度紹介実績は14,355件（前年度13,486件 前年比+6.4%）。昨年は開院以来、初めて紹介件数の減少となったが、今年度は紹介件数が一昨年と同数まで戻った。地域医療連携ネットワークシステムの運用を4月に開始、10月から本格稼働となり、ネットでの検査予約システムを導入した。その効果もあり、診療所からの検査紹介が増加した。引き続き、地域連携システムの運用を継続し、在宅療養後方支援病院として地域医療機関との連携し、患者により良い医療を提供できるように取り組んでいきたい。

⑬ 医療クラーク科

ア. 概要

2008年に、医師の事務的作業負担軽減目的にて設立された。当初は、内科系（一般内科・呼吸器内科・消化器内科）・外科（消化器外科・心臓血管外科一部）のみ対象とし業務を開始。

2010年より、全診療科補助業務を開始。下記補助業務を行っている。

イ. スタッフ・業務体制

所属：診療部

科長：医師が兼任

事務：19名（常勤職員18名、非常勤職員1名）

業務場所：外来・病棟（医師事務作業補助体制上位加算のため）

2019年4月より再編成を行い「内科」「整形外科、泌尿器科」「神経内科、リハビリテーション科」「乳腺・内分泌外科、形成外科」「外科」「循環器内科」「心臓血管外科」と各科担当制を導入

ウ. 業務内容

（ア）電子カルテにおける医師の代わりに行う検査指示等（以下オーダーという）

- ① 代行機能を使用した代行オーダー業務（当科規定に定められたものに限定）
- ② オーダー作成補助業務、確定依頼業務（当科規定に定められたものに限定）

（イ）書類作成

各生命保険会社診断書、介護保険主治医意見書、交通事故診断書、などの代行作成

（ウ）病名登録

外来患者、入院患者に対する、病名登録

（エ）計画書作成・管理

入院診療計画書、リハビリテーション総合実施計画書、廃用症候群評価表の代行作成、及び管理

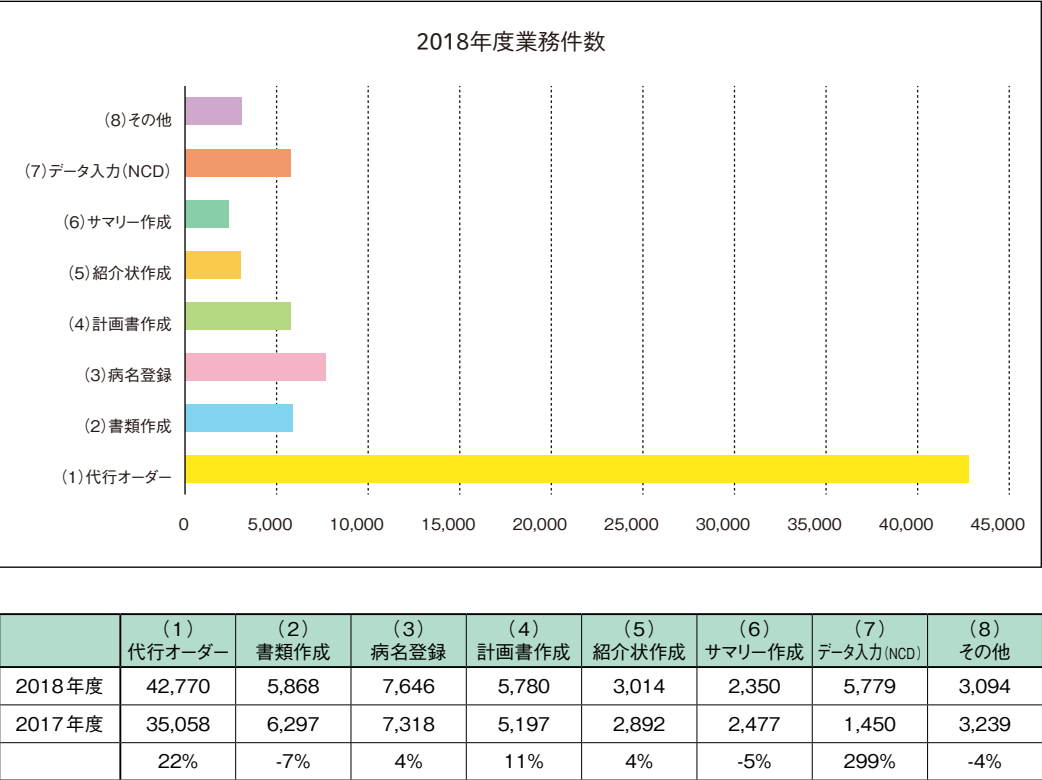
（オ）診療情報提供書（紹介状・報告書）代行作成

- (カ) 退院時サマリー代行作成
- (キ) データベース入力
 - ㊦ NCD (National Clinical Database) 入力
 - ㊩ 全国がん登録入力
 - ㊪ Clinical Indicator 入力・管理
 - ㊫ その他 (例：追跡調査入力など)
- (ク) その他医師依頼業務
 - 単発的に発生する医師が補助を望む業務 (例：手術レポート代行作成など)
- (ケ) 外来診療補助業務 (一部の医師対象)

エ. 業務実績

各診療科での業務量の統一が困難であり、2017年よりチーム体制としたことで、効率が上がり、更なる業務拡大につながった。外来業務に関しては、内科12枠・外科4枠・乳腺内分泌外科6枠・整形外科5枠・循環器内科5枠・泌尿器科5枠と外来診療補助の業務拡大となった。人員増員に伴い病棟業務も代行件数や管理業務の整備を行い、病棟での業務が円滑に行えるようになった。また、病棟・外来に在席することで、看護部・コメディカルの認知度も上がった。外来補助枠の増加と共に代行オーダーの件数に関しても、前年度から22%の増加を認める。また、2017年1月以降は医師事務作業補助者の32時間研修内製化を行い、更なる業務の構築を目指している。

代行業務の実績は以下のとおりである。



オ．教育研修

当科では、下記研修へ参加を行い科内にて情報共有する事により、個人の知識向上に努めている。

（ア）各委員会参加

診療情報管理委員会（毎月1回）、医局会（毎月1回）
外来業務検討委員会（2ヵ月に1回）、教育研修図書委員会（毎月1回）

（イ）院内研修

関連する勉強会に参加

（ウ）科内研修

各担当科情報を伝達共有する場を設け、情報共有に努めている。

（エ）院外研修

大阪府医師会がん登録研修会へ参加
NPO 法人医師事務作業補助者研究会主催 大阪地方会に参加
第8回日本医療秘書学会へ参加
第7回医師事務作業補助研究会全国大会へ参加

（オ）その他

実習生の受け入れ

昨年度より関西女子短期大学から数名受け入れている。今年も指導の機会を担当科員の成長につながった。実習にあたり、他部署の協力のもと成立しており、当科としても今後は他部署からの受け入れも視野に入れ、研修内容などの見直しを行い、良い研修が行えるよう改善していきたい。

カ．今後の展望

（ア）医師事務作業補助体制加算上位基準の取得

外来・病棟での業務を8割以上行うことで、上位加算取得を目指している。それに伴い、更なる医師の事務作業負担軽減・患者満足度への貢献につなげることができると考える。現在、対象となる科員の業務場所を病棟もしくは外来としており、今年度中の上位取得を視野に入れている。

（イ）院内32時間研修

2017年1月より院内にて医療クラーク科の研修を開始している。研修を院内で行うことで、医療クラーク科の業務に必要な能力を再認識する機会となった。この研修は他部署の協力のもと成立している。引き続き、研修内容や研修時間などの見直しを行い、さらにより良い内容で研修が行えるよう改善していきたい。また、科員のスキルアップを行う事で医師が本来の業務に専念出来るよう環境を整える。

(2) 歯科診療部(小児歯科、口腔外科、障害者歯科)

① スタッフ・診療体制

ア. 常勤歯科医師4名、非常勤歯科医師3名。

認定資格:日本歯科麻酔学会専門医、日本障害者歯科学会指導医、日本老年歯科医学会専門医、日本老年歯科医学会専門医制度指導医、日本有病者歯科医療学会指導医、日本蘇生学会指導医、日本口腔外科学会専門医・指導医、日本口腔外科学会認定医、日本口腔診断学会認定医、口腔顔面機能学会認定医、日本小児歯科学会指導医、日本小児口腔外科学会指導医、日本アンチエイジング歯科学会認定医、日本歯科人間ドック学会認定医など。

イ. 歯科衛生士5名、非常勤歯科衛生士1名、歯科技工士2名、歯科受付助手3名。

認定資格:日本障害者歯科学会認定歯科衛生士、日本老年歯科医学会認定歯科衛生士、日本小児歯科学会認定歯科衛生士、日本有病者歯科医療学会認定歯科衛生士、日本歯科麻酔学会認定歯科衛生士。

② 診療内容

当診療部では、病院歯科として一般の歯科医院では治療が困難な症例を主な対象としており、口腔外科はもとより障害者および有病者歯科医療にも積極的に取り組んでいる。このため、車椅子やストレッチャーにも対応可能な広々とした診療室において、主に一般歯科医院や他の病院からの紹介患者、当院の入院患者、当院他科受診患者などに対して、一般歯科治療、小児歯科治療、口腔外科治療などを行っている。また、最近では全身麻酔下の手術や化学療法が予定されている患者に対して周術期の口腔衛生管理を実施している。

障害者有病者歯科医療に力を入れているのは、当院において回復期リハビリテーション、循環器疾患の治療などが行われていて、脳卒中、循環器系疾患、内分泌系疾患などを合併した患者が多数受診するからである。以前より全身麻酔下歯科治療を実施しているため、脳性麻痺、知的障害、自閉症などの障害や疾患が原因で通常の歯科治療が行えない患者の紹介も多い。

口腔外科では主に、難拔牙、炎症性疾患、顎関節疾患、外傷、嚢胞性疾患、口腔腫瘍、唾液腺疾患などの治療を行っている。また、一般の歯科医院で対処困難な心疾患、糖尿病などの基礎疾患を有する患者や骨吸収抑制剤が投与されている患者の拔牙等の観血的処置も多数実施している。抗血栓薬服用中の受診者の観血的処置は、基本的に抗血栓薬の休薬をせずに行っている。また、局所麻酔のみでは対応が困難な場合には短期入院で鎮静下あるいは全身麻酔下に手術を行っている。

③ 治療実績

外来のべ受診者数と紹介数は表1の通りである(表1)。静脈内麻酔下の歯科治療を増やしたため、歯科外来診療室での全身麻酔下歯科治療は減少した(表2)。周術期口腔衛生管理症例は当院の心臓血管センターからの紹介が多い。

外来口腔外科手術としては拔牙が最も多い(表3)。次いで歯根嚢胞摘出術(歯根端切除術)、生検、顎関節脱臼の整復、口腔内外消炎手術、顎骨腫瘍摘出術などが多い結果であった(入院口腔外科手術症例は手術患者統計に記載)。

④ 教育研修

今年度も日本老年歯科医学会、日本病院学会、日本歯科麻酔学会、日本障害者歯科学会、日本口腔外科学会、日本口腔科学会近畿支部学術集会、日本有病者歯科医療学会、口腔顔面神経機能学会に参加し、合計11演題を発表した。また、大阪府歯科医師会雑誌に論文が掲載された。教育活動としては、3校の歯科衛生士専門学校から学生を受け入れて実習を行なっている。

⑤ 今後の展望

後半に日本口腔外科学会指導医が入職し実績を上げている。来年度は診療体制を確立して更に地域の歯科医療に貢献していく。なお、関連学会に積極的に参加して発表を行なっていきたい。

表1. 診療実績

	症例数
外来のべ受診者数	10,417
1日平均	36
初診受診者数	1,132
紹介数	421
入院	292
退院	291

表2. 全身麻酔下歯科治療症例(歯科外来)

	症例数
一般歯科治療	163

表3. 外来手術症例

		症例数
抜歯	埋伏歯抜歯	265
	難抜歯手術	267
	単純抜歯	427
	ヘミセクション	1
生検	生検	47
移植術	歯牙移植術	7
嚢胞性疾患	歯根嚢胞摘出術・歯根端切除術	48
	顎骨嚢胞摘出術	2
良性腫瘍	歯肉・歯槽腫瘍手術	1
	舌腫瘍摘出術	3
	顎骨腫瘍摘出術	15
	その他の部位からの腫瘍摘出術	0
唾液腺	粘液嚢胞摘出術	5
	ガマ腫摘出・開窓術	0
	唾石摘出術(口腔内)	2
	唾液腺腫瘍摘出術	0
外傷	脱臼・亜脱臼歯牙の整復固定術	0
	歯槽骨折非観血的整復術	1
	顎骨折非観血的整復術	0
	骨折固定金属板の撤去手術	0
	口腔内外創傷処理縫合術	7
LKG	口唇外鼻修正術	0
	口蓋裂瘻孔閉鎖術など	0
顎変形	プレート除去	0
その他の形成手術	小帯形成術	6
	舌形成術	0
	骨隆起形成術	0
	歯肉・歯槽骨整形手術	2
	瘢痕拘縮形成術	0

		症例数
歯周外科	歯周外科手術	0
	歯肉弁移動・粘膜移植術	0
炎症	口腔内外消炎手術	15
	デブリードマン	0
	腐骨除去手術	2
	外歯瘻手術	0
	異物除去術	0
上顎洞	口腔上顎洞瘻孔閉鎖術	0
インプラント	インプラント植立術	0
	インプラント摘出術	5
	歯槽部骨移植術	0
	サイナスリフト	0
	歯槽骨延長術	0
	矯正用インプラント植立術	0
TMJ	顎関節脱臼非観血的整復術	21
	関節腔内注射	0
悪性腫瘍	悪性腫瘍切除術	0
	凍結外科療法	0
	その他の悪性腫瘍関連手術	0
その他の手術		0
合 計		1,149

(3) 看護部

看護部長 福岡 幸代

① 目標

- ア．法人再編計画の推進
- イ．看護の質向上
- ウ．WLBについて考え働き続けられる職場の再構築

② 内容と成果

ア．法人再編計画の推進

(ア) 2018年10月3F 小児科病棟のチームはボバース記念病院に異動し、ボバース記念病院からは回復期リハビリテーション病棟のチームが、4東病棟への異動が完結した。

(イ) 10月異動のチームの業務が安全、安心に遂行できるようサポート体制を整えた。

(ウ) 3F 病棟で2019年7月から地域包括ケア病棟スタートに伴う職員の研修や施設見学に参加し看護管理と運営について学びを深めた。

(エ) ボバース記念病院、手術室配属の看護師の研修受け入れをした。

(オ) 法人の看護部合同管理職会を月1回開催して各施設の情報収集と課題に取り組んだ。

イ．看護の質の向上

(ア) ラダー研修の推進では今までの問題点を解決するために研修前の事前ワークと研修終了後の事後ワークを取り入れ課題提出前には各管理所に確認してもらい、自部署のスタッフの知識や技術のレベルの把握に繋げる内容に変更した。

(イ) JNA ラダー導入に向けてのオンデマンド研修を全管理職に実施した。

(ウ) 感染防止対策の徹底で院内感染率の低下につながった。

(エ) 患者満足度調査・職員満足調査を実施し改善した点や問題点が把握できた。

(オ) 接遇委員の活動継続で患者のご意見に真摯に取り組んで、改善に努めた。

ウ．WLBについて考え働き続けられる職場の再構築

(ア) 2018年度の離職率14.5%

退職理由の24%は結婚・介護・育児の理由は20%・多施設に興味がある17%・人間関係20%・その他19%であった。

適時の面接を実施しながら働き続けられる対策の検討を今後も継続していきたい。

(イ) 有給取得は50%を目指し53%とクリアした。しかし退職者や妊娠者に取得の偏りがみられた。

(ウ) 育児・介護制度の利用者は24名

(エ) 時間外勤務各部署間で目標時間を決めて時間外の管理に着手できた。

エ. 災害対策

(ア) 6月18日の大阪北部地震と9月発生の台風21号発生が発生、今まで経験したことのない被害を経験、看護部で対応した問題事案はエレベーターが5時間停止時の対応と、勤務者の確保、また帰宅困難者への対応等を経験、この経験をもとに災害発生時の対応マニュアル・アクションカードの見直しに着手した。

③ 2018年度 看護部実習受け入れ状況

一日看護師体験
宣真高等学校
社会人
城陽中学校(職場体験)

臨地実習
大阪保健福祉専門学校看護通信教育科
香里ヶ丘看護専門学校
小阪病院看護専門学校
四条囃看護専門学校
大阪信愛女学院短期大学
関西女子短期大学 養護保健学科
関西福祉科学大学 養護保健学科
石川大学主催看護管理認定サードレベル
愛知県看護協会主催看護管理認定サードレベル

インターンシップ
大阪信愛女学院短期大学看護学科
梅花女子大学
兵庫県立大学
奈良学園大学
堺看護専門学校
神戸大学
香里ヶ丘看護専門学校
千里金蘭大学
東京医療保険大学
兵庫大学
宝塚大学
森ノ宮医療大学
九州看護福祉大学
太成学院大学
四条囃学園大学
四国大学
畿央大学
安田女子大学
藍野大学
兵庫大学
大阪青山大学
園田学園女子大学
武庫川女子大学
松山看護専門学校
中津看護専門学校
京都医療センター付属看護学校
淀川区医師会看護専門学校
四条囃看護専門学校
東京医師会看護専門学校
済生会野江病院付属看護専門学校
大阪府病院協会看護専門学校
大阪府医師会看護専門学校
小阪病院看護専門学校

④ 2018年度 看護部院外・院内研究発表

テーマ		発表者
院外	非流行期のインフルエンザアウトブレイクから学んだこと ・7回 日本感染管理ネットワーク学術集会	吉田 ひろみ
	同時期に別病院に緊急入院となった高齢夫婦の退院調整で効果的だったこと ～人連携がうまくいった要因～ ・リハビリテーション・ケア合同研究大会米子2018	坂本 理恵
	入浴介助から考える介護福祉士の役割 ～チーム医療の中で私たちにできる事～ ・リハビリテーション・ケア合同研究大会米子2018	阪上 良
	脳血管疾患患者の整容に鏡を取り入れることによる ADL 変化 ・復興リハビリテーション病棟競技会第33回研究大会	松本 香乃 江木 千恵子 吉村 仁美
院内	中心静脈カテーテルのルートに関する取り組み	浅川 星奈
	身体抑制に対するアセスメント	森川 ゆかり
	当院の回復期リハビリテーション病棟における患者の車椅子テーブルを除去する 看護師の判断要素	土田 真緒
	当院における電話対応の現状と今後の課題	太田 黒夏海
	小児病棟での他職種との情報統一 ～患児の情報共有するにあたりアンケート調査 kらの検討を行って	榊井 彩加
	病棟で行っている褥瘡予防対策の有効性	尾崎 美和子
	PNS の導入にて得られた成果と今後の課題	大口 弥生
	食事自立に向けての介入の指標	稲田 凌
	回復期リハビリ病棟での生活環境が与える心理的影響と患者の生活環境に対する 職員の意識と因果関係についての調査	平田 純光
	睡眠障害の患者におけるアロマオイルを使用した際の睡眠効果について	吉原 菜摘

⑤ 2018年度 院外研修参加状況

テーマ	
大阪府私立病院協会研修	39
バリアフリー展・慢性期医療展	31
大阪府看護協会研修	53
リハビリテーションケア合同研究大会	7
回りハ協会 介護研修・看護リーダー研修・チームアプローチ研修	4
病院勤務の医療従事者向け認知症対応力研修	4
回りハ介護研修会	2
介護リーダー研修	2
看護補助者のための医療安全	2
診療報酬・介護報酬説明会	4
回復リハ・日本リハ看護学会合同研修会	5
回復リハ病棟協会研究大会	4
第7回日本感染管理ネットワーク学術集会	1
日本看護協会通常総会	2
重症・医療・看護必要度評価者研修	12
総合計	172

⑥ 各科・病棟

外来科

副部長 正壽 佐和子

ア. スタッフ・業務内容

看護師29名 MS2名

一般外来診療・救急外来診療（二次救急）・化学療法室・内視鏡室・心臓血管カテーテル室・各診療部門・治療室において診療補助業務ならびに看護業務を実施する

イ. 総括

2018年度の外来目標は、WLBの推進、事業計画達成、看護の質向上・顧客満足に向けた取り組みであった。時間外救急車受け入れは、前年度数の1,200件／年を掲げたが、上半期の応需件数が目標値を下回り、1,000件台に留まり、達成に至らなかった。人員配置は夜勤含む常勤・日勤のみ常勤・育児短時間制度利用勤務・パート勤務等々、働き方は多様であるが、各々の力を活かし、業務遂行をチームで相互に支え合うことができた。ボバース記念病院の再編に伴い、小児科外来機能の異動を円滑に実施することができた。

ウ. 各科

(ア) 一般外来

一般外来は予約制であるが、地域に根差した医療機関として、急病対応は積極的に行っている。迅速・的確にトリアージを行い判断した上で、一般外来と救急外来が協力して適切な対応ができるように心がけた。各診療補助業務においては、治療計画が安全に遂行されるように、治療・療養上の説明等、きめ細やかな配慮を心掛けている。また、外来診療に関連する多職種と協力して、外来診療が円滑に実施されるように努めた。診療補助業務だけでなく、患者とその家族から療養相談を、電話を含み多く対応している。看護師の生活指導・在宅療養支援のためのより高い相談・調整能力が求められている。そこで、入院前支援が外来部門から実施できるように体制を整えることができた。外来機能が果たす役割はさらに広がりを見せている。

(イ) 化学療法室

	2017年度	2018年度	対前年比
外来化学療法総件数	479	412	86%
・乳腺外科	419	399	95%
・消化器外科	60	13	21%
・泌尿器科	0	0	-

※当年度の実績は前年比で、減少となっている

化学療法ワーキングは、病棟・薬剤科と共に月例開催、7東病棟とのカンファレンスも継続実施し病棟・外来間の連携に努めた。また、ブレストカウンセラーによる下着相談の開催も継続実施できている。ピンクリボン活動の一環として、院内勉強会の企画・ピンクリボンラリーへの参加を企画・推進した。また、昨日に引き続きJMS2018プログラム（日曜日の乳がん検診推進活動）への参加と、乳がん啓発イベントを行った。他に、化学療法有害事象や新薬に関する勉強会を開催し、

暴露対策をより安全なものへと整備した。

(ウ) 内視鏡室

胃内視鏡	1,016	ERCP、碎石術等	0
上部消化管止血術	14	気管支鏡	4
大腸内視鏡	299	上下部イレウスチューブ挿入	10
大腸 EMR	31	S 状結腸軸捻転整復術	0
下部消化管止血術	14	大腸狭窄拡張ステント	0
胃瘻造設術	58	幽門拡張術	0
胃・腸瘻交換	214	食道内胃内異物除去術	4

帝国ホテルクリニックからの人間ドック内視鏡検査受入れを継続実施した。

(エ) 救急外来

2018年度の時間外救急搬送受入件数目標は1,200件／年を掲げたが、上半期の応需件数が目標値を下回り、1,000件台に留まり、達成に至らなかった。時間外救急病床確保に関しては、4床確保し時間外の応需に対応している。人員配置は、夜間含む看護師2名配置がほぼ完了した。救急専門医師と共に地域貢献できる救急外来として、役割を果たすべくさらに発展できるように努めていきたい。

(オ) 心臓血管カテーテル室

EVT//PTA/PCI/CAG 等 総数657件（7割が下肢動脈閉塞症に対する治療）

ウ. 今後の展望

地域における二次救急医療機関として、また、周辺住民にとって頼りになる医療機関として、引き続き看護の質向上・顧客満足に向けて取り組んでいきたい。

手術室

科長 新井 直子

ア. スタッフ・業務体制

(ア) 科長1名 主任1名 スタッフ11名（産休1名・新入職者1名）中材助手1名

(イ) ボバース記念病院からスタッフ3名受け入れ

(ウ) 夜間、休日待機制 待機者2名 手術時間、件数に合わせて フレックス制度

(エ) 各手術 直接介助看護師 外回り看護師の2名配置

(オ) リーダー・フリー業務・中材業務も兼任

イ. 業務内容

(ア) 心臓血管外科・消化器外科・乳腺外科・整形外科・小児整形外科・泌尿器科
口腔外科・形成外科の手術への対応

(イ) ボバーススタッフの研修

(ウ) 術前・術後訪問

(エ) 中材業務

ウ. 業務実績

2018.4～2019.3までの手術件数 1,840件 緊急手術件数 112件

月別各科手術件数 小児整形外科は10月からボバースへ移行

科 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	15	17	14	18	15	6	17	12	14	12	14	12	166
乳腺外科	10	9	10	13	18	7	18	9	6	6	12	15	133
整形外科	8	8	10	10	12	5	6	5	5	9	4	4	86
小児整形外科	12	10	10	13	23	12				1			81
心臓血管外科	28	30	32	47	38	21	39	45	36	22	29	33	400
泌尿器科	10	5	9	8	9	2	4	12	16	19	22	28	144
歯科 口腔外科	0	0	0	0	1	1	0	2	2	5	5	2	18
形成外科	11	7	4	4	4	5	4	5	2	4	3	2	55
麻酔科	8	8	11	8	4	9	2	9	11	8	10	12	100
循環器内科	60	50	52	59	44	53	55	50	52	51	61	62	649
内科	2	1	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	8
合 計	164	145	152	180	168	121	147	151	144	138	160	170	1,840

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急件数	7	12	7	13	7	7	18	6	8	5	10	12	112

エ. 教育研修

(ア) 個人による外部研修への参加

(イ) ボバーススタッフへの研修

(ウ) 心臓血管外科（毎週月曜日）症例カンファレンスの参加

(エ) 業者による麻酔についての勉強会（3回／年）

オ. 今後の展望

手術件数は1,840件 カテ649件を除くと1,191件。泌尿器科・麻酔科 心臓血管外科は増加傾向。小児整形は10月からボバースへ移動のため手術件数は減少。

来年度はボバース手術室を森之宮病院の第4の手術室と位置しスタッフ研修を行う。専門性が求められる部署であるため、教育に時間を要するが、計画的に教育を進めスキルアップにつなげていく。

2階病棟

科長 新井 直子

ア. スタッフ・業務体制

(ア) 科長1名(手術室兼任)主任2名 スタッフ16名
 内訳(中途入職者2名 新人2名 時短1名)
 日勤 リーダー1名 メンバー3～4名 フリー1名

(イ) 患者数4名以下 夜勤看護師2名 早出1名(6:30～15:15)
 遅出1名(12:15～21:00)

(ウ) 患者数5名以上 夜勤看護師3名

イ. 業務内容

(ア) 各科手術後重症患者及び重症集中治療を必要とする患者の受け入れ・看護

(イ) 入室予定者の入室前訪問

(ウ) 院内で透析が必要な患者の透析処置

ウ. 業務実績

(ア) 利用率 月平均 67.4%

(イ) 透析件数 1,019件

(ウ) 看護必要度 月平均 100%

(エ) 直接入院件 31件

(オ) PCPS件数 2件

エ. 教育研修

(ア) 看護協会教育研修

(イ) 個人による外部研修への参加

(ウ) 勉強会の実施(業者勉強会 PCPS スワンガンツ)

オ. 今後の展望

できればHCU化を目指したい。そのためには人員確保必要だが、妊娠に伴う退職や移動により、夜勤者数の減少。中途入職者、新人スタッフが夜勤に入れるよう教育する。辞めないための指導も重要課題。

2019年度は3階病棟立ち上げにあたり、透析室の移行が確定。透析看護師の研修の受け入れを行い、スムーズな透析室への移行をはかる。

患者の長期化に伴いスタッフのリハビリ力もUPしていく。

4階東病棟

科長 湯川 智子

ア. スタッフ・業務体制

(ア) 看護師18名(うち嘱託1名)、介護福祉士6名(2019.3.31現在)

(イ) 40床の回復期リハビリテーション病棟、2交代勤務、早出・遅出勤務あり

イ. 業務実績

(ア) 回復期リハ入院料1維持

- ・新入院患者重症割合、日常生活機能評価10点以上:35.8%
- ・在宅復帰率:82.0%
- ・退院時重症患者改善率:63.3%

ウ. 教育研修

- ・スキルアップのための院外研修も年間計画通り実施
- ・2018年10月より法人内訪問看護ステーションへ研修、在宅復帰に向けて退院後訪問指導実施。退院指導または地域へ繋いでいくことを視点に置いた看護が提供できるよう努めた
- ・多職種合同勉強会は年間計画通り実施

	テーマ	内容
4月	看護部～一日の業務の流れ～	看護師の業務について
5月	リハからの勉強会	トランスファー
6月	急変時のシミュレーション	急変時の対応について
7月	Drからの勉強会	proportional recovery
8月	リハからの勉強会	車椅子について
9月	Drからの勉強会	パーキンソン
10月	病棟活動(専従)中間報告会	専従活動中間報告
12月	急変時のシミュレーション	急変時の対応について
1月	MSWからの勉強会	チームで行う退院支援
2月	リハからの勉強会	摂食嚥下について
3月	病棟活動(専従)報告会	専従活動報告

エ. 今後の展望

- ・医療チームの一員として、看護の専門性を発揮できるように努める
- ・患者を尊重し、思いやりの心で看護・介護を実践する
- ・患者のQOL向上を目指し介入する

4階西病棟

科長 安福 偉子

ア. スタッフ・業務体制

40床の回復期リハビリテーション病棟。看護体制は13:1、看護補助者は30:1。
看護師19名、介護福祉士5名、看護補助者1名、MS1名(2019.3.31現在)。

イ. 業務内容

病棟目標

- ・回復過程を支援し、高い QOL を実現する看護を提供しよう
- ・退院後の生活に合わせ、更衣・整容・移動の FIM の改善を図ろう
- ・あたたかく、丁寧な言葉遣いで明るい職場環境を築こう
- ・看護記録の効率化を図ろう
- ・複数回転倒を防止し、チューブ類の自己抜去を低減しよう

ウ. 業務実績

- ・回復期リハ入院料1取得維持。
- ・12月で科長が異動
- ・介護福祉士が入浴時の初回評価、毎月の評価、カルテ記載が定着し、継続できている。
- ・病棟での入浴方法について、他職種の理解を深めてもらうために、入浴ツアーを企画し、説明を行うことで入浴方法について多職種で共有することができた。その後、入浴に関する情報交換が増えた。
- ・更衣の自立度、FIM 改善のために、更衣強化する患者を決めて、リハビリでも更衣練習を繰り返して行い、更衣自立に向けた取り組みを行うことができた。

データ報告

＜入院時＞		インシデント	
新入院重症割合	34%	転倒	33 件
＜退院時＞		レベル 3a	肋骨骨折 1 件 (骨折につながるエピソードはなし)
重症患者改善率	53.9%	レベル 3b 以上	0 件
在宅復帰率	78.1%	針刺し	1 件
平均在院日数	81.6 日		
病床稼働率	99.3%		

エ. 教育研修

多職種合同での勉強会を年間計画し、毎月1回実施。

4月	今年度の病棟での取り組みについて
5月	FIM 勉強会
6月	緊急時シミュレーション(痙攣)
7月	退院時アンケート、専従の取り組みについて
8月	介護保険、福祉用具について
9月	地域包括ケア病棟について
10月	転倒対策チームから
11月	食事支援チームから
12月	ADL 向上対策チームから
1月	緊急時シミュレーション(嘔吐)
2月	＜インフルエンザ流行期にて集合勉強会中止＞
3月	チームまとめ、病棟の年間データ報告

オ．今後の展望

- ・基本に戻り、マニュアルを見直し、マニュアルに沿った業務を確認して実施していく
- ・退院後の生活を見据えて、看護介護計画立案、実施、評価を行う
- ・転倒対策、FIM 改善など多職種チーム活動をさらに強化していく

5階東病棟

科長 中島 ゆかり

ア．スタッフ・業務体制

(ア) 看護師 17 名 (うちパート 1 名)、介護福祉士 6 名

(イ) 2 交代勤務、日勤はフレキシブルに早出・遅出勤務を併用

イ．業務内容

40 床の回復期リハビリテーション病棟であり、対象患者は脳卒中を中心に、頭部外傷やギランバレー症候群などによる運動・感覚・高次脳機能・摂食嚥下障害などを後遺、リハビリテーション目的で入院加療されている。また、脊髄小脳変性症のリハビリテーションも行っている。ADL・QOL の向上、生活の再構築を図り、自宅・社会生活への復帰を目指し、多職種からなるチーム医療を展開している。

ウ．業務実績

(ア) 月平均残業時間は 4.5 時間。個人差はあるものの、慢性的な業務超過があった。有休取得率は 69.8%。体調不良等による取得が多く、計画的な取得が困難であった。

(イ) 病棟実績

在宅復帰率	重症改善率	重症者受入	病床稼働率	平均在院日数	FIM 利得
83.5%	71.0%	37.5%	97.2%	78.8 日	41.45

(ウ) インシデント発生は 171 件 (うち転倒 88 件)。
レベル 3b 以上のインシデントの発生はなかった。

エ．教育研修

(ア) 多職種合同勉強会

移乗動作、排泄、FIM、KYT トレーニング、急変対応、倫理カンファ、呼吸リハ等について、多職種で勉強会を実施した
また、転倒ワーキンググループの報告会、グループワークも定期的に実施した

(イ) 病棟勉強会

移乗介助、ポジショニング、排泄、褥瘡等について、看護師・介護福祉士で勉強会を実施した

(ウ) 大阪府看護協会研修参加 3 名、回復期リハビリテーション病棟協会研修参加 3 名、学会発表 2 題、その他の研修への参加も多数あった

オ．今後の展望

- （ア）看護の質の向上を図り、高い QOL を実現する
- （イ）ICF に基づいた目標を多職種で共有し、チーム医療を推進する
- （ウ）計画的な有休・リフレッシュ休暇の取得、働きやすい職場環境の維持
- （エ）転倒対策を強化し、ADL の変化に応じた対策を計画的に実施する

5階西病棟

副部長 福井 真理子

ア．勤務体制

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
看護師数	24	28	26	27	28	26	25	25	25	24	24	25	25.6
看護補助者数	4	5	6	7	8	7	7	7	6	6	6	6	6.3
入職者（看護師）				1	2							1	4.0
退職者（看護師）	1	2		1	1				1				6.0
産休（看護師）					1								1.0
看護師平均残業時間	9.6	5.1	5.2	6.2	5.2	3.1	3.9	3.1	3	5.4	6.6	5.8	5.2
有休取得数	28.5	44.5	19	18.5	48	6.5	47.5	51	21	10	5.5	3.5	307.5

- （ア）看護基準：7：1看護 2交代
看護方式：固定チーム制モジュール型看護方式
- （イ）WLB
 - ㊦ 平均有休取得数率 66.6%
 - ㊧ 平均残業時間 5.2時間
- （ウ）退職の多い年であったが、ボバース再編に伴い主任が1名勤務異動となり、病棟管理職が3名体制となった。
- （エ）香里ヶ丘看護専門学校、四条畷看護専門学校の実習生の受け入れ、インターンシップ、ふれあい体験などの学生の受け入れも並行して行った。

イ. 業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入院数	73	57	63	82	57	55	80	87	68	90	77	80	72
退院数	68	61	63	75	63	51	68	78	77	76	67	77	69
入院患者延べ数	1,018	1,050	965	1,083	1,057	999	1,046	978	982	983	914	1,062	1,011
病床利用率(%)	90.4	89.6	85.7	93.2	90.3	87.5	91.3	88	85.3	85.4	87.6	91.8	88.8
一日平均患者数(人)	36.2	35.8	34.3	37.3	36.1	35	36.5	35.2	34.1	34.2	35	36.7	35.5
平均在院日数(日)	14.5	15.2	15.8	15.3	15.4	16.4	15.8	13.8	12.6	12.4	12.7	12.7	14.4
在宅復帰率	95.52	96.43	93.55	93.1	88.33	94.44	96.39	93.51	97.87	100	87.5	100	94.7
夜勤時間	75.7	69.6	70.5	75.7	74.1	73.9	79.7	77	74.2	82.6	75.5	81.9	75.9
個室徴収率	59.2	67.1	67.1	62.7	74.5	53.6	58.8	58.8	65.3	53.6	55.3	63.1	62
看護必要度%	29.4	34.22	31.77	40.34	36.36	20	21.6	32.82	26.24	25.76	23.28	21.33	28.6
ADL低下率(%)	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3
レベルⅢb事故	1				1				1				3
針刺し事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
平均日当点	45.14	40.12	47.04	44.64	45.71	37.86	44.03	43.81	42.16	47.35	42.74	40.45	43.4

(ア) 診療科別看護の動向について

常勤の整形外科医が1名体制となり、整形外科の患者数・手術件数が減少した。しかしボバース再編にともなう内科医の勤務異動に伴い、整形外科患者の共観体制は充実した。

泌尿器科は重粒子センターと連携し、重粒子線のマーカー留置術を手掛けるようになり、手術患者は増加。週6.7名の患者の患者を受け入れした。また麻酔科の内視鏡によるヘルニア手術の数も増加傾向にあり、術後のリハビリも併せて重症度・看護必要度や患者数の安定化につながった。

(イ) 7:1看護要件について

年間を通しての平均病床稼働率、平均在院日数は安定。患者数の季節変動が大きいので、予定入院数を安定化させ、変動率を低下させることが今後の課題。在宅復帰率は、安定して要件をクリアしているが、地域包括ケア病棟が本格稼働となると、転棟患者数の増加が見込まれるため、来期は気を付けて管理していく必要がある。看護必要度に関しては、後期に要件未達の月が増えた。手術数や救急の受け入れ数に変化はないため、内科の重症患者数の減少が低下の要因であると思われる。

(ウ) 夜勤加算について

看護師数は確保されているが、時短や日勤常勤などの夜勤できない看護師が増え、夜勤加算の要件である72時間は、年間を通してクリアすることができなかった。日勤常勤には遅出や週末出勤を協力依頼し実行に移したがとどかなかった。看護師数の安定確保と夜勤時間調整は来期の大きな課題である。

(エ) インシデントについて

レベル3bの事故の2件は介護骨折であり、セラピストとともに介護骨折に関する勉強会を開催。また看護補助者に関しては、個別でベットから車いすへの移乗方法、

体位交換の指導を実施した。高齢患者増加に伴い少しのことで骨折に至るリスクが高まっているので、今後も患者個々にあった適切なケア方法を周知・共有していく必要あり。また入院時のリスク説明も丁寧に実施していく。

6階東病棟

科長 國生 照子

ア. スタッフ・勤務体制

4月新人看護師4名迎え、病棟全体で育成でき看護師平均28名、介護福祉士2名、看護補助者4名、病棟事務1名のスタッフ体制であった。

残業時間は、平均5.4時間。有休取得率75.6%。

PNS体制向上や課題解決のために、自己の思考過程をコミュニケーションスキルを使って伝えていく必要性を発見し、どう伝えていくか考えていけるスタッフ近づいた。

経験したいことが自信となれるように教育・支援をしていく。

イ. 業務内容・実績

(ア) 昨年同様にカテーテル治療件数下肢・心血管合計302件だった。重症下肢潰瘍患者の入院もあった。業務改善により対応していった。

(イ) 看護必要度は獲得が難しい月もあったが、平均32.9%維持できた。

(ウ) 専従・専任セラピストとの共有により、積極的な離床を勧められた。しかし、治療途中の転院などで berseruindex 低下した状態での退院となってしまうこともあった。

転倒対策も専従・専任セラピストと協働して環境調整を行うことができている。

(エ) 退院後訪問は、1件/月目標だったが達成できなかった。退院に向けた介入もセラピストやMSWと協働しながら行えた。

ウ. 教育研修

褥瘡や高齢者の栄養摂取などについて症例検討会計6回、倫理カンファレンス計6回、デスカンファレンス計3回実施。

病棟OJTに修正を加えて、新人看護師やキャリア入職者へ活用、育成をすすめた。

エ. 今後の展望

(ア) 来年度より透析台数が拡大されるにあたり、今後カテーテル治療目的患者の入院も拡大すると思われる。それに対し、安全で安心な入院生活が過ごせるように病棟全体のスキル向上していく。

(イ) 多職種との協働を心がけ、安全な入院生活の提供と安心して退院できるよう地域と関われるようになる。

(ウ) PNSの改善を行い、離職防止や早期戦力化につなげていく。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院数	67	65	72	79	94	72	68	69	73	54	64	81
退院数	67	69	76	77	101	66	69	72	80	46	60	90
稼働率 %	88.3	88.7	84.3	92.4	83.9	84.7	90.6	90.7	84.4	89.8	88.6	91.4
看護必要度	39.5	37.6	35.1	31.3	21.7	26.9	38	34.3	32.6	26.4	36.9	34.4
カテーテル治療件数	27	19	29	27	16	29	24	24	30	22	28	27
在宅復帰率	93	86.3	97.2	97.1	91.7	93.5	94	94.4	96.1	95.1	91.2	87.9

6階西病棟

科長 松岡 真実

ア. スタッフ・業務体制

看護師数平均25名、補助者数5名。退職は6名、理由は帰郷、結婚、出産、他院での就職希望などであった。

PNS 導入し6年目となる。スタッフ間のコミュニケーション・協調性がとれ、多職種との情報共有がスムーズに行えるようになった。新人看護師・キャリア看護師にもリアルタイムで説明することができ有効稼働できている。指導者だけに負担がかからないようにチームでフォローするという体制も整ってきた。今後の課題として、個々の経験やキャリアを生かしながら協力して病棟業務を時間内に終わらすことができるよう教育・支援していく。

平均時間外勤務は7.2時間であった。

イ. 業務内容

(ア) 心臓血管外科術前・術後の看護・ケア

(イ) EVT 前後の看護・ケア、足病変の看護・ケア、CAG、PCI 前後の看護・ケア

(ウ) 退院支援に向けた調整

(エ) 経験年数に応じた教育・育成・支援

ウ. 業務実績

	入院(人)	退院(人)	在宅復帰率(%)	病床利用率(%)	1日平均患者数(人)	看護必要(%)
4月	66	68	89.70	80.1	32.0	37.35
5月	62	60	96.77	76.8	30.7	34.03
6月	51	51	96.10	82.0	32.8	30.30
7月	51	46	93.50	86.3	34.5	31.80
8月	55	58	91.30	77.7	31.0	33.30
9月	56	46	97.80	74.9	29.9	40.60
10月	57	60	91.70	82.7	33.0	35.90
11月	51	53	94.54	83.0	33.2	34.23
12月	35	47	100	80.6	32.2	35.63
1月	56	47	100	76.7	30.6	34.38
2月	55	53	92.45	80.2	32.0	45.32
3月	48	52	90.38	82.3	32.9	29.80

エ．教育研修

心臓血管外科は複雑な治療が増えているため専門性の向上を図り、また疾患に関する看護を深めていく。また、CLI 患者の看護、認知症看護、退院支援も強化していく。院外研修には6名が参加できた。

今年度は、グループでテーマを決め勉強会・症例検討会を開催。

6月	看護必要度
8月	症例検討会（ペースメーカー患者の看護）
9月	麻薬の取り扱い
10月	症例検討会（脊髄狭窄患者の看護の振り返り）
12月	症例検討会（心不全患者の看護）
2月	急性期病棟における退院支援

オ．今後の展望

（ア） クリニカルラダー研修に参加することで個々のキャリアアップに繋げる

（イ） カテパスを利用し統一した看護・観察・ケアができる

（ウ） 治療が複雑化する心臓血管外科患者の看護・ケアができる

（エ） 事業計画目標からの数値管理

7階東病棟

科長 池田 保子

ア．病棟目標

7東のファンを増やそう

（ア） 法人再編成計画の推進

（イ） 看護の質向上

（ウ） WLBについて考え働き続けられる職場の再構築

イ．業務実績

（ア） 稼働率84.7%

看護必要度33%

在宅復帰率92.3%

退院後訪問指導6件

（イ） 3階病棟異動スタッフの研修受け入れを実施した。

（ウ） 4月は3人主任体制となったが、9月末で1名退職し2名体制に戻った。担当委員会の負担が大きい。

(エ) 個々の目標に合った研修参加を促しているが参加率は50%。
病棟で6月に看護必要度テストを実施。

(オ) インシデントレベル3a2件、3b1件、医療安全委員会も入った話し合いを実施

(カ) 中堅看護師が退職6名、産休3名で補充が追いつかず、時間外が増加し時短者にも負担がかかった。

ウ. 教育研修

	テーマ	内容
4月	診療報酬改定	診療報酬改定項目の説明
5月	せん妄	せん妄の予防・対策について知識を深める
6月	栄養の基本	栄養、経腸栄養について理解を深める
7月	経腸栄養②	経腸栄養の知識を深める
8月	退院支援	病棟看護師として退院支援に向けての関わり方
9月	化学療法	化学療法看護
10月	口腔ケア	口腔ケア
11月	放射線療法	乳癌患者の放射線療法について
12月	クロストリジウム	クロストリジウムについて理解を深める
1月	透析	透析治療と看護
2月	EVT	EVTについて振り返り
3月	看護記録	ケア、実践が見える看護記録

エ. 今後の課題

(ア) 看護師の早急の補充とともに看護補助者も2名定年予定であり、早期の補充が必要。

(イ) 乳腺外科の系統だった研修によりスタッフレベルを引き上げる。

7階西病棟

副部長 柴田 まゆみ

ア. 病棟目標

(ア) 法人再編計画の推進

(イ) 看護の質を高める

(ウ) 働きやすい職場環境作り

イ. 業務実績

回復期リハ病棟入院料1維持継続達成

在宅復帰率	重症患者改善率	入院時重症患者	FIM 実績指数	病床稼働率
88%	51%	31%	50.31 点	96.3%

(ア) インシデント発生123件(うち転倒58件・複数回転倒患者が2名)レベル3b以上は0件。

針刺し事故1件。患者院内感染0件。院内褥瘡発生0件。テア発生0件

(イ) 人材育成:新人に対しては、日勤業務・夜勤業務等、本人・指導者・管理者間で確認しながら業務拡大に繋げた。指導を受けながらであるが、入院から退院までのプライマリー看護師としての役割を担う段階に到達できた。また、技術面でのトランスファーに対して、経年別に指導目標や具体的な指導方法を明確にすることができた。

2年目以降のスタッフに対しては、ラダー研修・院内外での研修に計画的に参加し、学びの機会を作ることができた。

(ウ) 多職種共同での取り組み

㊦ FIM ワーキング:ICF 分類で患者アセスメントする。ICF 表を作成し、運用を行いアセスメント力の強化や、患者の機能状態の見える化をはかることができた。

㊧ レクリエーションワーキング:毎月院外散歩や運動会等季節に合わせた企画・実施することができた。

㊨ 転倒ワーキング:入院時からの機能レベルの評価や、環境設定・ポジショニング等、早期から多職種で関わり、定着につなげることができた。

㊩ 入院時訪問指導は6件・退院前訪問指導は30件・退院後訪問指導3件実施できた。入院時から在宅生活をイメージし、退院支援繋げていく

ウ. 教育研修

(ア) 多職種合同勉強会を開催・実施(医師・看護・介護・セラピスト・MSW)

6月 症例検討会(3事例)・トランスファーについて

7月 急変時シュミレーション1回目

11月 症例検討会(3事例) 急変時シュミレーション2回目

2月 急変時シュミレーション3回目

3月 症例検討会(4事例)

(イ) 大阪府看護協会研修・回復期リハビリテーション病棟協会研修・私立病院協会研修・その他研修参加

エ. 今後の課題

(ア) 専門性を発揮し、安心・安全な看護を提供する

(イ) WLB の推進(働きやすい職場環境作り)

皮膚・排泄ケア認定看護師活動報告

ア. スタッフ・業務内容

皮膚・排泄ケア認定看護師 2名

院内の創傷・オストミー・失禁領域の事例介入を横断的に行う
 専門領域の教育活動、人材育成
 専門外来：ストーマ外来・フットケア外来
 外来・在宅領域への継続的な褥瘡ケア提供

イ. 活動実績

(ア) 褥瘡委員会活動報告…別ページ参照

各リンクナースは、自部署における役割を果たすべく積極的に勉強会開催や、チームへの働きかけを行っていた。院内発生率の増加が一時認められたが、各部啓発により早期に鎮静した。スキンテアリスクに関して、褥瘡発生関連因子に含まれる状況となったが、以前からの取り組みが功を奏しており、院内発生は減少している。また、創傷・褥瘡・ストーマケア等の管理を支援する電子カルテシステムの構築を進めることができた。

(イ) 事例介入件数

㊦ 褥瘡・スキンケア・足創傷ラウンド

褥瘡・スキントラブル発生事例に対し、看護介入を行った。病棟において褥瘡予防の判断・実践が有効に行えるよう指導を行った。皮膚・排泄ケア認定看護師が2名分担し、現場への介入をスムーズに行っている。(6月以降は、皮膚・排泄ケア認定看護師1名体制)

創傷管理は、形成外科医師による創傷廻診に同行し、他職種で協働して創傷治癒に向けた取り組みが行えるよう調整を行っているが、6月以降皮膚・排泄ケア認定看護師が1名体制となり、創傷回診への同行が中断している。虚血性足病変の事例は、一昨年、昨年度に比べさらに増加した。これまでの創傷管理に加え、虚血性足病変患者への集学的なチームアプローチが可能な体制を各病棟と連携、維持している。フットケア研修へのスタッフの受講を計画的に実践し、専門性の高い看護師の育成に努めた。

高齢者患者の増加に伴い、スキンテアの発生が当院においても多い状況が明らかとなったことを受けて、標準対応策を検討、臨床への啓発を行った結果、昨年比で院内発生は減少し、成果を確認することができた。

退院後にも褥瘡管理の継続を必要とする症例も多く、外来での褥瘡予防・創傷管理、訪問看護師との褥瘡管理に関する同行訪問を必要とするケースが増えてきている。今後の活動フィールドの再考が課題である。

・病棟：創傷ケア介入事例(のべ)……………	1,251件/年
-----------------------	----------

・外来：創傷ケア介入事例(のべ)……………	63件/年
-----------------------	-------

㊧ ストーマケア

ストーマ外来はオストメイトの長期的療養に伴うストーマに関連するフォローアップを行う外来である。また、院内において発生するストーマ造設患者に対し緊急であっても術前から関わり、術前術後ケアからセルフケア導入に至るまでのストーマリハビリテーションがスムーズに行えるよう介入を行っている。本年度の

ストーマ造設数は5件。

造設術が少ない一方、すでにオストメイトである方が、ストーマとは関連のない疾患で入院するケースがあり、セルフケアの見直しを必要とするケースをいくつか経験した。病棟区分を問わず、スタッフがストーマケアの基本的技術・知識を深め、実践が行えるよう指導を行っている。高齢者でストーマを保有状態で入院する割合は増えており、セルフケア支援がさらに重要となっている。

・ストーマ外来：ストーマケア実践事例…………… 85件 / 年

・病棟ストーマケア事例 …………… 98件 / 年

㊦ 失禁ケア

失禁に関連したスキンケア事例に対し看護介入を行った。事例数は創傷事例に含む。

(ウ) 研修会・講演など

【院内・法人内講師】

活動	日時	場所
看護部褥瘡研修新人研修【I A】 褥瘡の基礎と管理・スキンケアについて	2018年4月3日	森之宮病院
褥瘡予防について1【I B】 患者に合った褥瘡予防に必要なケアを実践する	2018年5月10日	森之宮病院
こもれびカフェ スキンケアについて	2018年6月16日	森之宮病院
褥瘡予防について2【II】 スキントラブル・創傷治療	2018年7月12日	森之宮病院
継続看護とチームワーク【III】 褥瘡に対する継続ケアが必要な場合に、調整することができる	2018年8月9日	森之宮病院
院内全体研修：褥瘡対策について	2019年3月19日	森之宮病院
グリーンライフ 褥瘡勉強会	2018年9月14日	グリーンライフ
在宅事業部主催 地域ケアマネージャー対象 ストーマケア研修会	2018年11月30日	大道クリニック

【外部講師等活動】

依頼内容	日程	場所
関西 S TOMA研究会 第41回関西ストーマケア講習会	2018年 8月10日～12日 (11日参加)	大阪市立総合医療センター さくらホール
大阪府看護協会研修会 ストーマ・スキンケア・PEG	2018年 8月31日～9月3日	大阪府看護協会桃谷研修センター
公益社団法人大阪介護老人保健施設協会 リスクマネジメントと褥瘡排泄ケア研修会	2018年10月2日	ホテルアウィーナ大阪
日本褥瘡学会 第12回大阪在宅褥瘡医療セミナー	2019年1月20日	八尾市立病院
第16回 日本褥瘡学会近畿地方会学術集会 未来を拓く地域包括ケアイノベーション シンポジウム	2019年3月10日	武庫川女子短期大学文学館・ 弘江記念会館

ウ．今後の展望

- ・各褥瘡委員の褥瘡ケア介入展開能力の育成を継続強化し、リーダーとしての役割を果たせるよう支援していく
- ・足病変の集学的な治療が実践できるよう、皮膚・排泄ケア認定看護師として専門性の高いフットケア看護を実践し、また足治療チーム内のコーディネーターとして役割を果たす。
- ・皮膚・排泄ケア領域の看護実践を一般職員が標準的に行えるよう、褥瘡、フットケアなどの専門学会が実施している各分野の療法士制度を活用する
- ・医源性創傷（MDRPU）、スキンケアへの対応を実践し、予防ケアの充実と周知を図り発生件数の低下を更に目指す
- ・地域医療における皮膚・排泄ケア認定看護師の介入実践を広げる
- ・創傷・褥瘡・ストーマケア等の管理を支援する電子カルテシステムの構築をリプレイス時期に合わせて完成する

感染管理認定看護師の活動報告

吉田 ひろみ

ア．今年度の活動

(ア) CV サーベイランス継続

- ㊦ サーベイランスを継続することで、CV カテーテル挿入患者のみだけでなく、末梢静脈カテーテル挿入患者、また、デバイス挿入有無にかかわらず、日々の、血液培養結果では、検出患者の病室を訪問し、リーダー、リンクナース、管理職等に説明や報告を行いし、感染対策について説明し、カルテ記載を行うようにした。

2018年度はCVカテーテル関連血流感染は、延べCVカテーテル使用日数は5226カテーテル、血流感染は13件であった。2017年度は4008カテーテル、血流感染は23件であった。数字＝データでは減少している。しかし、用紙の記入漏れや判定困難な事例も散見した。リンクナース会、看護部管理職会議で報告し、看護師が血流感染を減少させる＝医師に指導、協力依頼が自信をもって行えるように、次年度は特にリンクナース協力を積極的に指導していかなければいけない。

(イ) 感染防止対策加算 I II 継続

- ㊦ 感染防止対策加算 IIは、大阪国際がんセンターと連携している。

年に、各施設で相互ラウンドを実施。2018年度、森之宮病院は、7階東病棟のラウンドを依頼した。相互ラウンドを実施することで、外部からの視点でアドバイスをいただき、自施設での感染対策の見直しなどを再検討する機会となる。

(ウ) ICT 活動の活性化

ICT活動が病院内に認められる一方、求められる役割と責任も拡大している。チーム医療は、それぞれの専門性を尊重して能力を最大限に引き出すことが重要であり一人ひとりが専門性を発揮することが前提である。

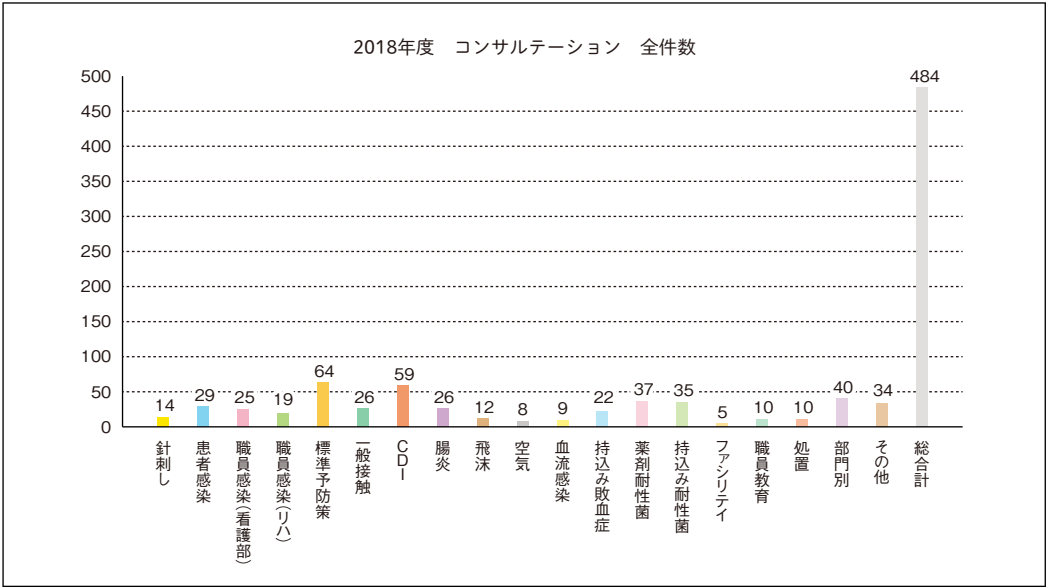
医師・薬剤師・検査技師そして看護師との連携を図り、機能を発揮し効果を上げることができるチームとして活動していかなければならない。

(エ) AST（抗菌薬使用支援チーム）活動開始

2018年度からは、AST が設立、薬剤耐性菌の発生・蔓延の防止、治療効果の向上、副作用防止を目的として抗菌薬の適正使用を支援する活動を開始した。

(オ) 2018年度の特徴

2018年度、インフルエンザ流行時期に、入院患者からインフルエンザが発生した。特徴は、一般病棟が主であり、病室も散在した。そのため、個室管理など病室調整も苦渋した。今年度の事例を踏まえ、流行前からの患者及び職員への啓発及び教育、流行時の患者及び職員の啓発強化、抗インフルエンザ薬の予防投薬のタイミング、病室管理など課題が明確になったので、これらの対策など明確にし次年度に臨む。



イ. 研修会等
【院内・院外】

日時	場所	テーマ	対象
4月	ウッディホール	感染防止について	新人看護師
4月	8階会議室	感染防止について	中途入職看護師
6月	ウッディホール	AST 活動について	全職員
7月	8階会議室	事例検討から感染対策を学ぶ	ラダーⅢ対象看護師
8月	8階会議室	デバイス取り扱い時の感染防止	ラダーⅡ対象看護師
9月	8階会議室	標準予防策・職業感染防止策	ラダーⅠA 対象看護師
10月	ウッディホール	災害と感染管理	全職員
3月	ウッディホール	院内感染防止について	法人内新人職員

【学会及び研修参加】

日時	学会	タイトル
5月	日本感染管理ネットワーク	第5回学術集会
6月	吉田製薬	医療関連感染
7月	公益社団法人日本 WHO 協会	第21回感染症フォーラム
10月	日本感染管理ネットワーク	感染管理認定看護師・今後の目指す方向
2月	日本環境感染学科	第34回学術集会

ウ．今後の課題と抱負

いかに感染制御の概念を広く普及させ、それを担う人の層を厚くするかが最大課題である。

「感染制御のさらなる推進 ―教育・啓発・人材育成―」 前進あるのみ。

慢性疾患看護専門看護師活動報告

西村 はるよ

（2009年認定2014年度更新 サブスペシャリティ:脳血管疾患）の活動内容

ア．院内活動

（ア）教育

㊦ 新人教育担当者会

- ・新人看護職員入職時研修実施、次年度の計画
- ・新人看護職員他部署研修計画実施
- ・ラダー研修（フィジカルアセスメント）企画運営・講師
- ・実地指導者会との合同会議にて参加部署毎の OJT 計画の企画運営

㊧ 臨地実習指導者会

- ・教育機関との調整と連携
- ・実習生の環境調整と支援

㊨ 教育研修図書委員会

- ・年間計画の企画と実施
- ・研修を企画するにあたってのポイントを委員レクチャー

㊩ その他

- ・看護部講演会『病院完結型から地域密着型へ 地域で生活をされる方々を支援する看護の役割』の企画運営
- ・2019年度クリニカルラダー試験導入に向けての取り組み
- ・法人内施設の教育における連携体制の構築開始

（イ）倫理調整

- ・倫理コンサルテーション 2件

（ウ）医療安全

- ・医療安全管理
- ・医療安全管理者研修の受講
- ・専従管理者との協力体制の構築

イ. 院外活動

(ア) 日本専門看護師研究会 臨床能力向上委員会委員

・第5回 CNS 学会 スキルアップセミナー 『ターゲット集団を定めた予防的介入方法～ディジーズ・マネジメントを用いて～』 企画運営委員

・第7回 CNS キャリアアップセミナー 『役割獲得に向けて、どう考え、実践していくのか?～6つの役割;教育に着眼して～』 企画運営委員・事例提供者

(イ) 兵庫歯科学院専門学校 『介護福祉論』『関連医学①』『介護実習』 講師

(ウ) リハビリナース 2018 秋季増刊(75) 163-176 『家族とのかかわりについての看護記録の書き方』 執筆

(エ) 第24回リハビリテーション看護講習会 『排泄の支援を考えよう ～安心して安楽に排泄できる支援を目指して～』 企画運営・講師

(オ) 慢性疾患専門看護師研究会

(カ) 兵庫県立大学大学院 成人看護学研究科 事例検討会

ウ. 活動と抱負

専門看護師には、実践・研究・教育・倫理調整・コンサルテーション・コーディネーションの役割がある。現在は、看護部の教育に重点を置きながら、法人全体の教育体制構築の取り組みを始め、2019年度より森之宮病院とボバース記念病院でキャリアラダー試験導入をるところまで進めることができた。また秋より、教育研修図書委員会委員長と医療安全専任の役割を担うことになった。これらも、自分自身の学びを深めながら、役割遂行に務めていきたい。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師活動報告

坂本 理恵、中島 ゆかり、安福 偉子

ア. 院内活動

(ア) 回復期リハビリテーション病棟入院中の患者・家族を対象とした脳卒中予防・退院後の生活に視点を当てた多職種(医師・看護師・セラピスト・管理栄養士・薬剤師・医療ソーシャルワーカー)による『脳卒中教室』を月に2回、定期開催した。実施回数は18回

アンケート結果:内容については「よくわかった」との回答が半数以上、「退院後の生活に役立つ」、「次回も参加したい」との意見が多かった

イ. 院外活動

(ア) 大阪脳卒中医療連携ネットワーク 看護師ワーキンググループ活動

⑦ 10周年記念事業への参加 2018年10月28日 大阪市総合医療センターにて開催

① 脳卒中の理解・再発予防・退院後の生活に向けた指導に活用する統一したパンフレットを作成し、各病院での使用開始

(イ) 急性期病院との連携会の企画・開催 : 大手前病院との定期連携会を企画・実施

㊦ 2018年9月7日(金) 大手前病院にて開催 参加者: 計18名

㊧ 2019年3月18日(月) 森之宮病院にて開催 参加者: 計16名

(ウ) 日本脳神経看護研究学会 関西支部セミナー

㊦ 2019年2月16日(土)

大阪大学 最先端医療イノベーションセンター棟1階 マルチメディアホール
テーマ「脳卒中患者さんの退院支援～大阪脳卒中医療連携ネットワーク内
看護師ワーキンググループ作成のパンフレットを用いて～」

講師: 中島 ゆかり、坂本 理恵

(エ) 雑誌掲載

㊦ 安福 偉子 "回復期リハビリテーション病棟協会

回復期リハビリテーション看護師 "リハビリナース39(247)-41(249)

MC メディカ 出版 2018年5月10日第11巻3号(通巻72号)

㊧ 中島ゆかり "その人らしい生活の再構築

状態に合わせたリハビリテーション看護 "脳の看護実践 P.28-P.33日総研
2018年7月

ウ. 今後の展望

(ア) 大阪脳卒中医療連携ネットワークにおける活動の継続

(イ) 学会発表、講習会などへの参画による活動の拡大とリハビリテーション看護や脳
卒中

再発予防に関する啓蒙活動

(ウ) 回復期リハビリテーション看護についての院内において専門教育体制の構築

(4) リハビリテーション部

① スタッフ・業務体制

ア. 人員数

森之宮病院リハビリテーション部は理学療法科、作業療法科、言語療法科の三科とスケジュール作成、受付業務からなる POST 部門により成り立っている。2018年スタッフ数は4月時点で理学療法科97名、作業療法科65名、言語療法科37.5名、POST部門8名（産休等、休職人数含む）である。

今期は10月に再編を迎え他施設への異動、他施設からの異動を発生させ、10月からの体制では理学療法科84名、作業療法科54名、言語療法科34名、POST部門6名の体制となった。

イ. 法人再編に伴うリハビリテーション部の業務内容の変化

2018年度まで森之宮病院のリハビリテーション提供は大きく分けると医療保険分野では回復期リハビリテーション病棟における入院リハビリテーション、急性期一般病棟における入院リハビリテーション、小児病棟における入院リハビリテーションおよび外来リハビリテーションを実施していた。介護保険分野ではみなし事業所として訪問リハビリテーションを実施していた。

2018年度10月に法人再編が行われた結果、小児関連の部門はボバース記念病院へ移行し、森之宮病院へ成人関連のリハビリテーションが集約されることとなった。この結果森之宮病院のリハビリテーション提供は医療保険関連では従来の回復期リハビリテーション病棟、急性期病棟の疾患別リハビリテーション提供に加え、地域包括ケア病棟のリハビリテーション、回復期リハ病棟退院後の外来疾患別リハビリテーション、STによる外来集団コミュニケーション療法を実施するようになった。介護保険領域では訪問リハビリテーションに加え、通所リハビリテーションを実施するようになった。

ウ. 業務体制について

業務体制は職種による管理と所属部門（回復期リハビリテーション病棟、一般病棟、地域包括ケア病棟、通所リハ）による管理のマトリックス方式をとっている。全体を統括するリハビリテーション部長のもと副部長・科長が各職種（PT,OT,ST）の責任者になるとともに、所属部門（回復期リハビリテーション病棟、一般病棟、地域包括ケア病棟、通所リハ）の最終責任者となっている。

各科では科長、主任が管理・監督者として業務を統括する。各科は7～8人程度の班により構成され1班に1人の班主任が配置される。科長は数班を統括する。

各部門は病棟単位でリハ科長が病棟担当責任者となり三科の主任を統括し業務を遂行している。（図1）

② 業務内容

ア. 概要・特徴

大道会グループのリハビリテーション部門は、各療法のさまざまな治療法に加えてボバース概念による治療を取り入れ、受診者一人一人に合わせた質の高い治療の実現を目指してきた。ボバース概念は、イギリスのボバース夫妻によって1940年代に始められた中枢神経疾患に対するリハビリテーションの方法の一つだが、その後、世界各地で多くの

指導的立場の療法士を輩出し、さらに治療内容を発展させながら、世界的に普及している。当法人では、ボバース概念を治療の基本とし、生活機能の向上に向けて自立支援を実現している。

(ア) 病棟と一体化したリハビリテーション

森之宮病院では、病棟ごとに理学療法・作業療法室を設置し、病棟と一体化したリハビリテーション医療を進めている。看護部と協力して生活レベルでのリハビリテーションを充実させ、心身機能の向上から、日常生活全般の活動の向上、社会参加の支援に向け、より幅広い治療体制を築きあげることを狙いとしている。

(イ) 365日のリハビリテーション医療の提供

治療の質の向上に加え、治療の量的な面でもさらに充実を図ることを目的に、祝日・土日のリハビリテーション治療を展開している。

(ウ) 機能分化と地域との連携

大道会グループは、老人保健施設グリーンライフ、特別養護老人ホームサンローズオオサカ、城東区・東成区のケアプランセンター・訪問看護ステーションなどを通して地域との連携、地域への貢献を基本的な方針として掲げている。リハビリテーション部門としても両病院の機能分化に合わせて、外来通院から通所介護・通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションなど医療保険・介護保険の両面にわたって地域に貢献できる体制を進めている。

イ. 部門別 リハビリテーション内容

(ア) 回復期リハビリテーション病棟

森之宮病院の回復期リハビリテーション病棟は4病棟151床からなる。全入棟受診者はリハビリテーション目的の入院であり、廃用の防止、ADL機能の向上、在宅復帰を目標としている。

入棟者のほとんどが脳卒中を中心とした発症後1ヶ月程度から半年の受診者である。中枢神経疾患に特化していることも大きな特徴である。入棟受診者にはボバースアプローチをベースとした個別的なリハビリテーションを365日提供している。1日あたりのリハ提供量は8単位前後と充実した提供量を確保している。

(イ) 小児病棟

小児病棟47床はほとんどが脳性麻痺を中心とした中枢性の運動障害をともなう0才台の乳幼児から小学生・中学生までを対象としている。入院は養育者とともに入院をする母子入院と児のみの入院となる単独入院に分かれる。リハビリテーションの目的は家庭での養育を方向付けるための乳幼児期のリハビリテーション、就学準備の集中的なリハビリテーション、整形手術前後のリハビリテーション等多岐に渡り、2015年からはより長いスパンで計画的に小児リハを実施していくプロジェクトの一環としての短期集中入院(2週間程度)も実施している。

小児分野のリハビリテーション機能は10月よりボバース記念病院へ移管した。

(ウ) 一般病棟

内科、外科、整形外科目的の入院に伴うリハビリテーションを実施している。対象となる疾患別リハビリテーションは廃用症候群リハビリテーション、運動器リハビリテーション、呼吸器リハビリテーション、心臓大血管リハビリテーション、がん患者リハビリテーションと多岐に渡る。病態に応じた機能回復、ADL 機能の改善、廃用の予防を目的にリハビリテーションを実施している。

(エ) 訪問事業

退院後、在宅で ADL 機能を維持し実生活の中で獲得した機能を生かしていくためには訪問リハビリテーションは重要な役割を担う。病院を訪問事業所として訪問リハを行なう“みなし訪問”事業を実施している。

ウ. 再編後新事業について

(ア) 地域包括ケア病棟

2019年1月より森之宮病院3Fに地域包括ケア病棟を開設、2018年度は登録は一般病棟として実績を作り、2019年7月より地域包括ケア病棟として登録予定である。入棟患者はほぼリハビリテーションへの要望があり、在宅復帰に向け積極的にリハビリテーションを展開してる。

最大2ヶ月までの条件のもと、入院時・2週間後・退院時にカンファレンスを実施。個別リハとグループリハを併用する、リハオーダーのない患者に対しても専従スタッフによるポイントケアなど限られた人員の中で最大の効果を上げることができるように工夫をしている。

(イ) 外来リハビリテーション

入院リハから在宅生活、社会復帰へのなめらかな移行を支援するために実施している。STは2018年5月からまたPT,OTは11月から開始、現在は回復期リハ病棟退院後のフォローに限定し、3ヶ月を目安に実施している。3月末までにPT7名、OT10名 ST14名を実施、入院による通院可能な患者となるため比較的機能が高く職場復帰を目指すような機能の高い受診者が中心であった。またボバース記念病院で実施していた失語症者を対象とした外来の集団STリハビリテーションも10月より森之宮病院へ移設し実施開始している。

(ウ) 通所リハビリテーション

ボバース記念病院で実施していた通所リハビリテーションを2018年1月より森之宮病院へ移管させた。当院の特性から1～2時間の短時間の枠での運用であり、外出機会を増やし在宅生活の中での機能維持、向上を目標としている。家庭での自主練習の指導、体力の維持、趣味活動と目的別のグループを展開している。登録利用者数は3月末で27名である。

2018年度 前期 組織図

部長	副部長	所属部門	科長											主任			
★部長 (ST)	副部長 (OT)	4階東病棟	★科長 (PT) (4F 東 PT)											○	主任 (PT)		
																主任 (PT)	
																★	主任 (OT)
																●	主任 (OT)
																★	主任 (ST)
		4階西病棟	★科長 (OT) (4F 東西 OT)													○	主任 (PT)
																	主任 (PT)
																★ ●	主任 (OT)
																	主任 (OT)
																	主任 (ST)
		5階東病棟	科長 (PT) (4F 西 5F 東 PT)													○	主任 (PT)
																●	主任 (OT)
																	主任 (ST)
		7階西病棟	★副部長 (OT) (5F 東 7F 西 OT)													○	主任 (PT)
																●	主任 (OT)
																	主任 (ST)
	●副部長 (OT)	5階西病棟	科長 (PT) (5F 西 PT)												○	主任 (PT)	
																主任 (PT)	
																●	主任 (OT)
		2階 .5階西 . 6階 .7階東病棟		科長 (ST)													
		2階・6階・ 7階東病棟		科長 (PT) (2.6.7FPT)													主任 (PT)
	訪問・在宅事業	科長 (OT)													○	主任 (PT)	
															●	主任 (OT)	
																主任 (OT)	
	○副部長 (PT)	小児外来・POST	(2.6.5F 西 7 東 OT)													主任 (事務)	
		3階病棟	科長 (OT) (3FOT)												○	主任 (PT)	
															●	主任 (OT)	
															主任 (ST)		
				副部長 (PT)	科長 (PT)	科長 (OT)	科長 (PT)	科長 (OT)	科長 (PT)	科長 (ST)	科長 (PT)	科長 (OT)	科長 (OT)				
				職種管理													
														森之宮病院 理学療法科：97名 作業療法科：65名 言語療法科：38名 POST 部門：8名 (産休・育休・時短含む)			

職種管理

2018年度 後期 組織図(再編後)

部長	副部長	運営担当	科長		主任
★部長 (ST)	副部長 (OT) 回復期病棟	4階東病棟	★科長 (PT) (4F 東西 PT)		○ 主任 (PT)
					主任 (PT)
					主任 (OT)
					● 主任 (OT)
		4階西病棟	★科長 (OT) (4F 東西 OT)		○ 主任 (PT)
					主任 (PT)
					● 主任 (OT)
					主任 (OT)
		5階東病棟	科長 (PT) (5F 東 7西 PT)		○ 主任 (PT)
					主任 (PT)
					● 主任 (OT)
					主任 (OT)
		7階西病棟	科長 (OT) (5F 東 7F 西 OT)		○ 主任 (PT)
					● 主任 (OT)
					主任 (ST)
		地域包括・POST	★科長 (PT) 科長 (PT) ★科長 (ST)		
	●副部長 (OT) 一般病棟・訪問在宅	2階・5西・6階・7階東病棟	科長 (PT) (2.5.6.7FPT)		主任 (PT)
					○ 主任 (PT)
				★ ●	主任 (OT)
	訪問・在宅事業	科長 (OT)			主任 (PT)

PT
OT
ST

○ 医療安全リンクセラピスト
● 感染防止リンクセラピスト
★ セラピストマネジャー

副部長 (OT)
副部長 (OT)
科長 (OT)
科長 (OT)
科長 (OT)
科長 (PT)
科長 (PT)
科長 (PT)
科長 (PT)
科長 (ST)
人事担当科長

森之宮病院
理学療法科：84名
作業療法科：59名
言語療法科：34名
POST 部門：5名
(産休・育休・時短含む)

③ 業務実績

ア. 科別実績(月単位数)

表1 科別業務実績(月別実施単位数)

PT	4月期	5月通期	6月通期	7月通期	8月通期	9月通期	10月通期	11月通期	12月通期	1月通期	2月通期	3月通期	年平均	
勤務者数	1,778.5	1,755.5	1,687	1,691	1,818	1,610.5	1,498.5	1,408	1,415	1,360.5	1,326	1,503.5	1,571	
外来	件数	461	589	631	638	785	597	0	13	14	15	22	315	
	単位数	1,367	1,757	1,883	1,892	2,325	1,767	0	39	42	45	66	936	
	点数	334,915	430,465	461,335	463,360	569,625	432,735	0	9,555	10,290	11,025	16,170	229,208	
入院	件数	7,477	8,040	7,879	8,145	8,394	7,467	7,842	7,007	7,154	6,827	6,481	7,344	7,505
	PT 単位数	22,232	23,982	23,497	24,235	25,056	22,096	23,253	20,896	21,341	20,314	19,318	21,852	22,339
	点数	5,141,690	5,576,275	5,497,920	5,654,730	5,817,920	5,151,310	4,938,365	4,773,400	4,870,820	4,636,645	4,404,540	4,967,760	5,119,281
総計	件数	7,938	8,629	8,510	8,783	9,179	8,064	7,842	7,020	7,168	6,842	6,496	7,366	7,820
	単位数	23,599	25,739	25,380	26,127	27,381	23,863	23,253	20,935	21,383	20,359	19,363	21,918	23,275
	点数	5,476,605	6,006,740	5,959,255	6,118,090	6,387,545	5,584,045	4,938,365	4,782,955	4,881,110	4,647,670	4,415,565	4,983,930	5,348,490
OT	4月期	5月通期	6月通期	7月通期	8月通期	9月通期	10月通期	11月通期	12月通期	1月通期	2月通期	3月通期	年平均	
勤務者数	1,249.5	1,221.5	1,132.5	1,173	1,262.5	1,088	966.5	939.5	930	891	871	936.5	1,055	
外来	件数	280	268	271	341	389	255	0	6	16	28	27	27	159
	単位数	835	800	804	1,017	1,153	755	0	18	48	84	81	81	473
	点数	204,575	196,000	196,980	249,165	282,485	184,975	0	4,410	11,760	20,580	19,845	19,845	115,885
入院	件数	5,121	5,385	5,483	5,669	5,891	5,178	4,740	4,664	4,541	4,511	4,315	4,701	5,017
	OT 単位数	15,322	16,110	16,409	16,887	17,622	15,375	14,176	13,954	13,584	13,485	12,915	14,066	14,992
	点数	3,727,880	3,950,835	4,003,135	4,140,945	4,280,795	3,723,565	3,420,445	3,353,725	3,311,195	3,297,690	3,159,095	3,440,215	3,650,793
総計	件数	5,401	5,653	5,754	6,010	6,280	5,433	4,740	4,670	4,557	4,539	4,342	4,728	5,176
	単位数	16,157	16,910	17,213	17,904	18,775	16,130	14,176	13,972	13,632	13,569	12,996	14,147	15,465
	点数	3,932,455	4,146,835	4,200,115	4,390,110	4,563,280	3,908,540	3,420,445	3,358,135	3,322,955	3,318,270	3,178,940	3,460,060	3,766,678
ST	4月期	5月通期	6月通期	7月通期	8月通期	9月通期	10月通期	11月通期	12月通期	1月通期	2月通期	3月通期	年平均	
勤務者数	674.5	686.5	678	682	728	602.5	591	561	549.5	534	513.5	562	614	
外来	件数	20	19	27	34	46	47	48	47	31	27	21	7	31
	単位数	60	57	81	102	136	141	144	141	93	81	63	21	93
	点数	14,700	13,965	19,845	24,990	33,320	34,545	39,680	39,845	27,885	24,345	20,235	10,545	25,325
入院	件数	3,010	3,344	3,209	3,217	3,416	3,024	2,737	2,714	2,663	2,657	2,527	2,725	2,937
	ST 単位数	8,937	9,919	9,561	9,578	10,206	8,930	8,157	8,090	7,934	7,865	7,489	8,083	8,729
	点数	2,166,885	2,392,380	2,320,145	2,324,800	2,466,460	2,141,000	1,955,765	1,939,365	1,919,305	1,898,750	1,786,295	1,946,885	2,104,836
総計	件数	3,030	3,363	3,236	3,251	3,462	3,071	2,785	2,761	2,694	2,684	2,548	2,732	2,968
	単位数	8,997	9,976	9,642	9,680	10,342	9,071	8,301	8,231	8,027	7,946	7,552	8,104	8,822
	点数	2,181,585	2,406,345	2,339,990	2,349,790	2,499,780	2,175,545	1,995,445	1,979,210	1,947,190	1,923,095	1,806,530	1,957,430	2,130,161

図2 科別業務実績(月別実施単位数)

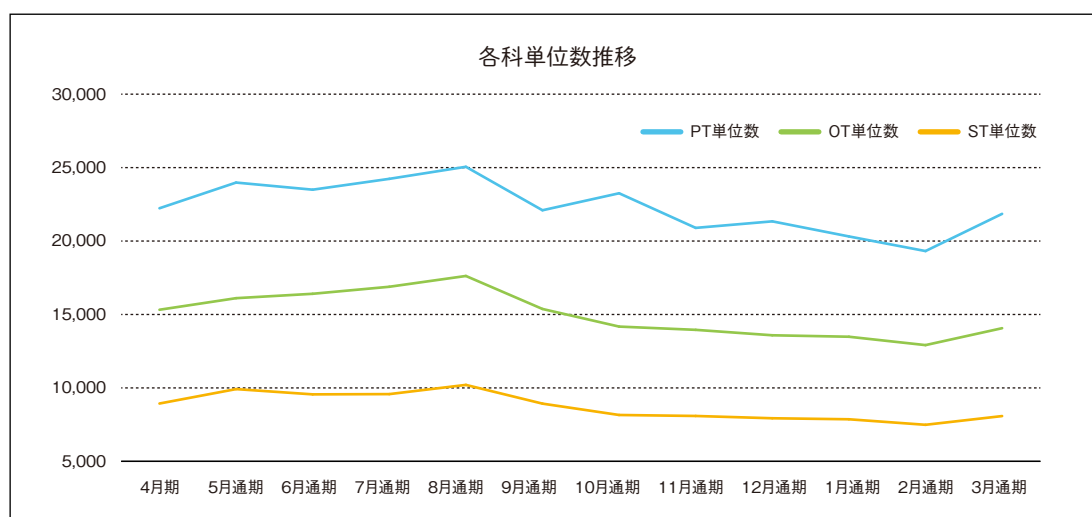
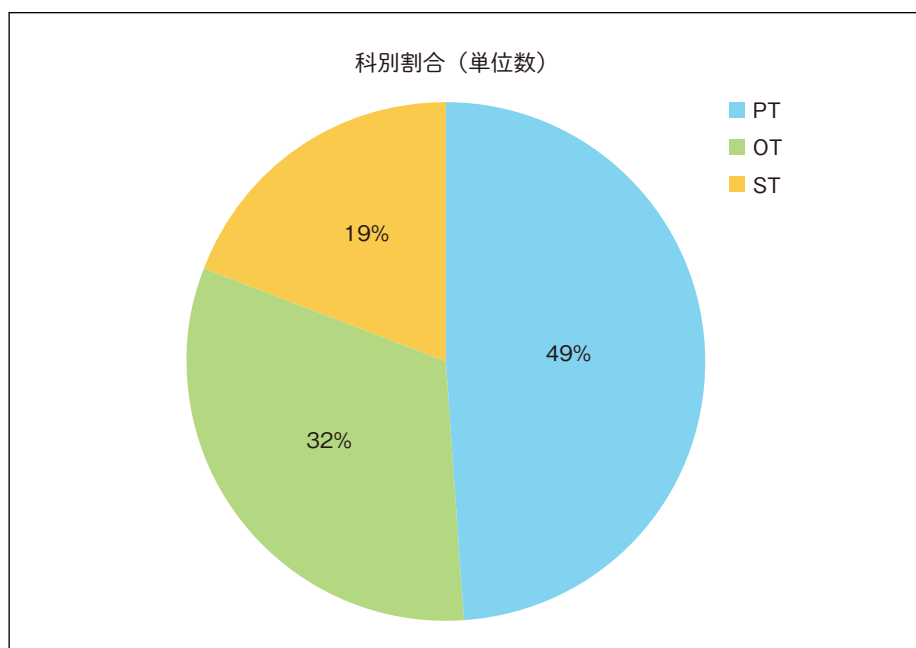


図3 科別実績割合(月平均単位数)



イ. 部門別実績(月単位数)

表2 部門別実績(月別単位数)

前期

前期実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期平均
小児外来(単位)	2,262	2,614	2,768	3,011	3,614	2,663	2,822
小児(単位)	5,714	6,153	7,317	7,178	8,385	6,437	6,864
回りハ(単位)	34,645	37,143	35,658	36,646	37,662	34,383	36,023
5西(単位)	2,044	2,287	1,554	1,525	2,405	1,773	1,931
6・7F(単位)	4,157	4,611	4,956	5,562	4,540	3,811	4,606
合計単位	48,753	52,625	52,253	53,711	56,498	49,064	52,151

後期

後期 実績	10月	11月	12月	1月	2月	3月	後期平均
外来(単位)	144	198	183	210	189	168	182
小児(単位)				928	1,654	1,884	1,489
回りハ(単位)	37,288	36,063	35,730	34,455	32,113	35,895	35,257
5西(単位)	2,138	1,830	1,989	1,990	1,522	1,733	1,867
6・7F(単位)	4,417	5,050	5,197	4,333	4,536	2,279	4,302
合計単位	47,494	43,138	43,042	41,874	39,911	2,333	36,299

後期 地域系リハサービス

後期 実績	10月	11月	12月	1月	2月	3月	後期平均
みなし訪問(月件数)	120	123	115	118	101	105	114
みなし訪問月点数	1,090,000	1,140,000	1,080,000	1,070,000	900,000	970,951.4	1,041,825
通所件数				162	140	149	150
通所収益				826,657	788,403	849,212	821,424

図4 前期部門別実績(月平均単位数)

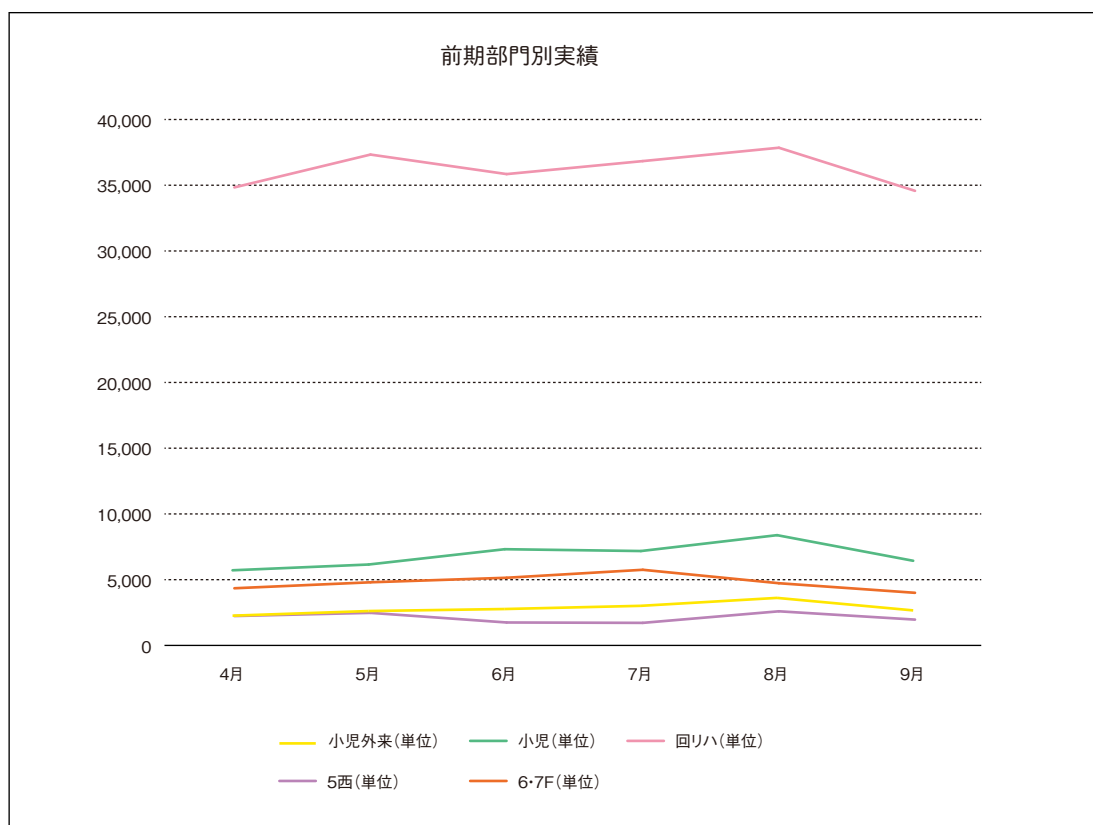
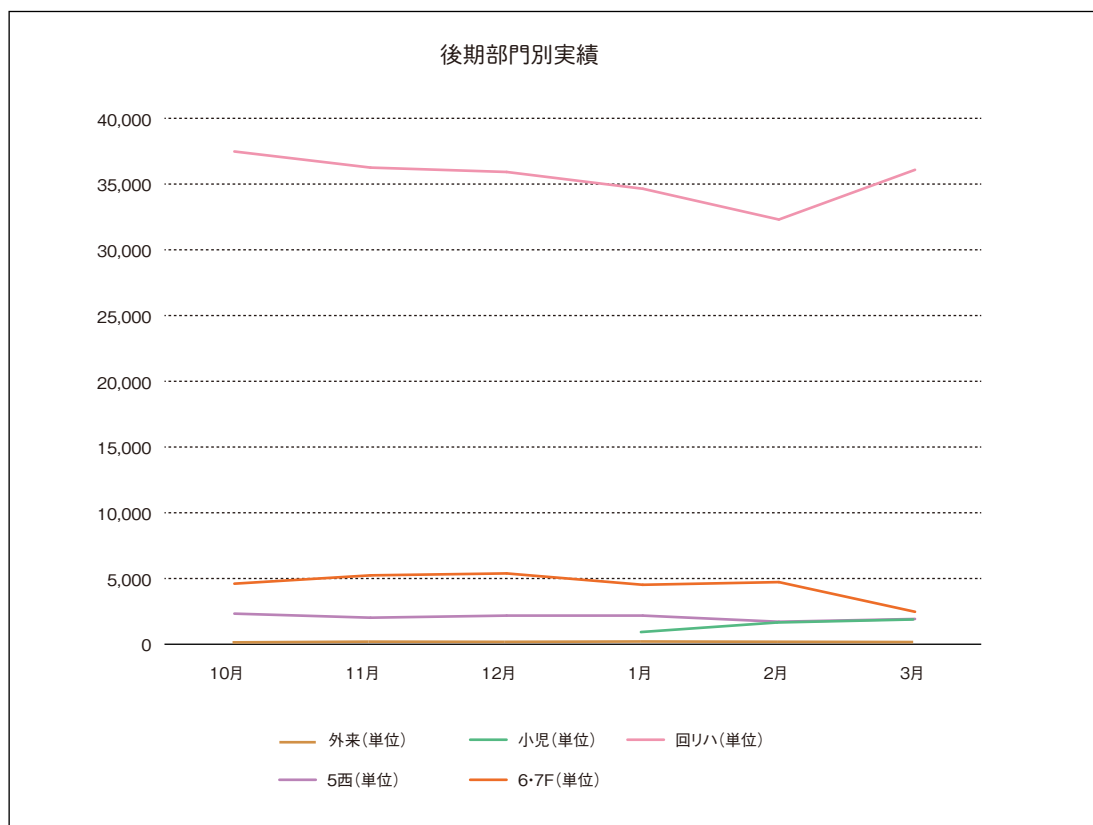


図5 後期部門別実績(月平均単位数)



ウ．みなし訪問

図5 みなし訪問実績(月別件数 収益)

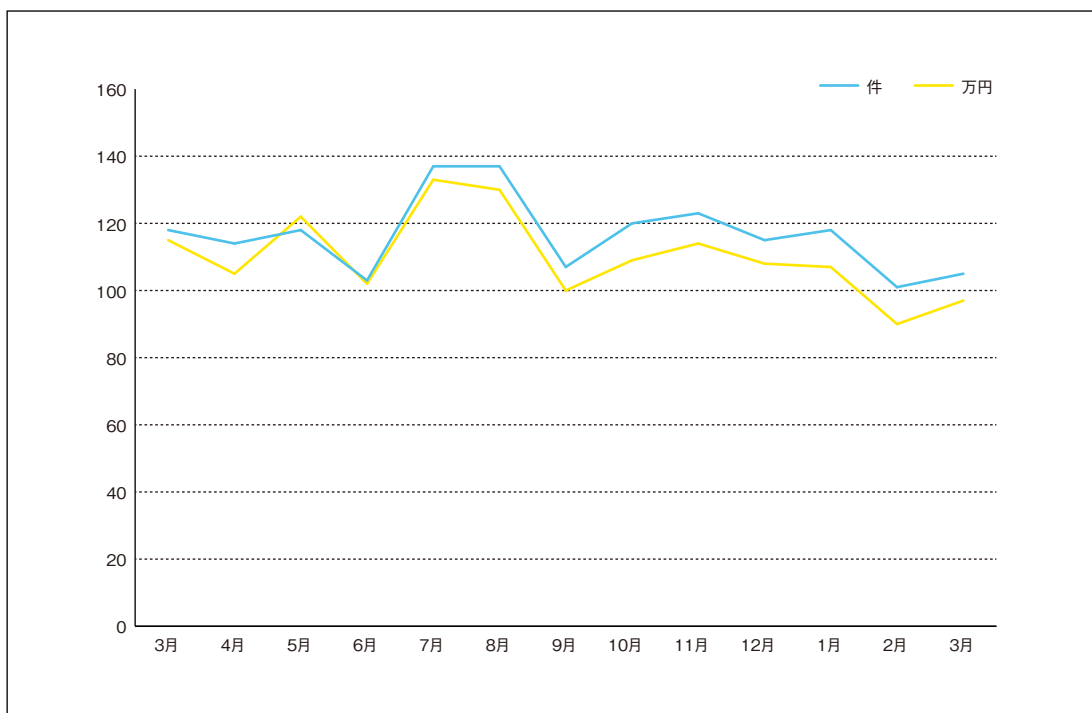


図6 みなし訪問件数(件数推移)



④ 教育研修

ア. 教育研修

リハビリテーション部の教育体制は以下の構成をとっている。

(ア) 新入職時の新人教育

約2ヶ月に渡り リハビリテーション部の概要、組織、基本業務の流れ、各職種の治療内容の説明、実技指導を行なう。

(イ) 再教育(表4-1)

卒儀教育として週30分 全体・各科に別れ教育を実施。リハ部全体として共有すべき内容は全体の教育時間を使用し、具体的な治療内容、手技に関しては各科別の対応を実施する。

(ウ) ケーススタディー

週に1回 1時間 班ごとに受診者に参加いただきながら臨床指導を実施する。担当者による治療のプレゼンテーション、ディスカッション、治療手技の指導などを行なう。

(エ) スーパービジョン

主に管理職が一般職に対して臨床指導を実施する。担当受診者の評価、治療内容、治療手技を確認、指導する。

(オ) 講習会への参加

法人主催のボバースアプローチ講習会への参加を年代ごとに計画的に実施している。

(カ) 学会、研修会への参加(表4-2)

職種ごとに学会、研修会への参加を計画的に実施している。

(キ) 学生実習(表4-3)

職種ごとに養成校からの臨床実習生を受け入れている。専門職養成に関する社会的な貢献とともに、指導職員自身が教えることにより自己学習の機会ともなる教育効果も期待している。

イ. 研究活動

リハビリテーション部はリハビリテーション実施による結果を再確認し、今後の治療活動に反映させるために研究活動を積極的に推進している。

表4-1 2018年度 PT科 再教育

月	火曜日		成人	小児
4月	4月3日			
	4月10日	リハ全体	講義：医療安全管理委員会からの報告（岡田副部長）30M	
	4月17日			
	4月24日		予備日	
5月	5月1日	全体	MBCP、ワークシートについて（高橋）1H	
	5月8日			
	5月15日	部門別	講義：姿勢コントロール（高橋）1H	
	5月22日	部門別		CP児の安全な歩行介助（吉田主任）1H
	5月29日	部門別	講義：正常歩行について（田邊主任）1H	
6月	6月5日	部門別		小児器具の設定について（山本主任）1H
	6月12日			
	6月19日	部門別		講義：小児脳画像の見方（医師）1H
	6月26日	部門別	実技：基本ハンドリング（歩行）：（藤井主任）1H	
7月	7月3日	部門別		講義：手術と術後の管理（医師）1H
	7月10日	部門別	年代別ディスカッション（症例動画：歩行）：1H	
	7月17日	部門別		講義：痙直型両麻痺児の治療原則（吉田主任）1H
	7月24日	部門別	各班での基本ハンドリング練習（歩行）：1H	
	7月31日	部門別		ディスカッション（痙直型両麻痺児）（吉田主任）1H
8月	8月7日	部門別	実技：下肢装具と歩行（永井科長）1H	
	8月14日	部門別		実技：痙直型両麻痺児のハンドリング（吉田主任）1H
	8月21日	部門別	実技：基本ハンドリング（立ち上がり）：（藤井主任）1H	
	8月28日	部門別		講義：アテトーゼ型の治療原則（山本主任）1H
9月	9月4日	部門別	年代別ディスカッション（症例動画：立ち上がり）：1H	
	9月11日			ディスカッション（アテトーゼ型）（山本主任）1H
	9月18日	部門別	各班での基本ハンドリング練習（立ち上がり）：1H	
	9月25日	部門別		実技：アテトーゼ型のハンドリング（山本主任）1H
			回りハ	一般・地域包括
10月	10月2日	全体	講義：SCDについて 30M	
	10月9日			
	10月16日	リハ全体	リハ栄養 管理栄養士（予定）1H	
	10月23日			
	10月30日	全体	講義：地域包括ケア病棟について 30M	
11月	11月6日			
	11月13日	全体	講義：運動学習 1H	
	11月20日			
	11月27日	全体	Human Movement Analysis（立位）1H	
12月	12月4日			
	12月11日	全体	Human Movement Analysis（座位）1H	
	12月18日			
	12月25日	全体	Human Movement Analysis（背臥位）1H	
	1月8日	リハ全体	薬剤の作用、副作用 薬剤師（予定）1H	
	1月15日	部門別		部門別 1H
	1月22日	部門別	部門別 1H	
	1月29日			
2月	2月5日	全体	誤嚥性肺炎の予防（頭頸部の評価とハンドリング） ST 椎名部長 1H	
	2月12日	部門別		部門別 1H
	2月19日	部門別	部門別 1H	
	2月26日			
3月	3月5日	全体	呼吸の評価と実技 1H	
	3月12日	部門別		部門別 1H
	3月19日	部門別	部門別 1H	
	3月26日			

- ・基本的に、10月以降に森之宮配属スタッフは成人部門、ボバース配属スタッフは小児部門への参加とする（9月まで）。
- ・10月以降の部門別は回りハと一般・地域包括に分かれる。
- ・他部門への参加は可能とするが、その場合は残業対象外とする。

2018年度 ST科 再教育スケジュール

日付	項目					
5月8日	リスク管理、 年間計画説明	科全体	ST 室緊急時シミュレーション	EO、CS 年間計画説明		
5月22日	失語症	科全体	各班別講義形式	前週のCSで学習テーマを決め 各人が資料を持ち寄る		
5月29日	嚥下障害	部門別	回リハ①(1、2年目)	回リハ②	一般	小児班
6月12日	嚥下障害	部門別	回リハ①(1、2年目)	回リハ②	一般	小児班
6月26日	失語症	科全体	各班別講義形式	前週のCSで学習テーマを決め 各人が資料を持ち寄る		
7月10日	報告	科全体	カルテ帳票類記載方法説明	学会参加報告		
7月24日	失語症	科全体	各班別講義形式	前週のCSで学習テーマを決め 各人が資料を持ち寄る		
8月7日	報告	科全体	専従活動報告	訪問リハ業務内容報告		
8月21日	嚥下障害	部門別	回リハ①(1、2年目)	回リハ②	一般	小児班
8月28日	失語症	科全体	各班別講義形式	前週のCSで学習テーマを決め 各人が資料を持ち寄る		
9月25日	報告	科全体	ST 個別外来について	ST 集団外来について		
10月2日	他科領域教育	部全体	医療機器について(臨床工学技士)			小児班
10月23日	報告	科全体	カルテ帳票類記載について	学会参加報告		
10月30日	他科領域教育	科全体	吸引指導(看護師)			
11月6日	失語症	科全体	各班別講義形式	前週のCSで学習テーマを決め 各人が資料を持ち寄る		
11月27日	他科領域教育	科全体	吸引指導(看護師)			
12月4日	失語症	科全体	各班別講義形式	前週のCSで学習テーマを決め 各人が資料を持ち寄る		
12月18日	報告	科全体	学会参加報告			
2月19日	報告	科全体	カルテ帳票類記載方法説明	AMSD 概要説明		
3月19日	報告	科全体	一般病棟業務の報告	地域包括病棟業務の報告	外来業務 の報告	
3月26日	報告	科全体	今年度EO(CS)の総括	嚥下評価の整理		

表4-1 2018年度 OT科再教育

		回復期	小児
5月	1		CP 痙直型四肢麻痺（姿勢管理とマネジメント） 木瀬
	8		
	15		CP 痙直型四肢麻痺（姿勢管理とマネジメント） 木瀬
	22	MBCP 概論, ワークシートの書き方 小室	
	29	移乗動作, 浴槽の跨ぎ動作 野口（吉田）	
6月	5		家庭療育（両親指導・実技） 砂古口
	12	実技：ファシリテーション① 三浦教（小室）	
	19		家庭療育（両親指導・実技） 砂古口
	26	トイレ動作 松田（渡辺）	
7月	3		CP アテトーゼ型（姿勢分析とADL） 丹野・濱本
	10		
	17		CP アテトーゼ型（姿勢分析とADL） 丹野・濱本
	24	実技：ファシリテーション② 神尾（小室）	
	31	食事動作 原（土井）	
8月	7	姿勢制御と運動制御 三浦教	
	14		CP 痙直型両麻痺（姿勢分析とADL） 小室
	21	更衣動作, 自主練習指導 多田	
	28		CP 痙直型両麻痺（姿勢分析とADL） 小室
9月	4		環境設定（24時間マネジメント） 濱本・吉田律
	11	整容動作, 洗体動作 土井	
	18		環境設定（24時間マネジメント） 濱本・吉田律
	25	症例検討：ADL 小谷（三浦正）	
		回復期	一般・地域包括
10月	2	医療機器 臨床工学師	
	9	回復期リハビリテーション病棟協会 セラピスト10カ条, 各職種5カ条について 砂古口	
	16	高次脳機能：総論 入江（三浦教）	
	23	実技：ファシリテーション③ 神尾（小室）	
	30	予備日	
11月	6	認知症 木瀬	
	13	高次脳機能：失認, 失行 兵庫（三浦教）	
	20		フィジカルアセスメント 本山
	27	環境設定：住宅改修等 山口（本山）	
12月	4	学会報告：上半期 発表者	
	11	高次脳機能：遂行機能障害 康	
	18		循環器疾患 本山
	25	実技：ファシリテーション④ 三浦教（小室）	
1月	8	薬剤の作用, 副作用 薬剤師	
	15	症例検討：高次脳機能 神尾	
	22		リハ栄養 管理栄養士
	29	実技：Activity 川野（丹野）	
2月	5	下行性システム, 上行性システム 三浦教	
	12	クリニカルリーズニング 三浦教	
	19		呼吸器疾患 本山
	26	症例検討：IADL 嘉島（康）	
3月	5	学会報告：下半期 発表者	
	12	疾患, 分類, 画像所見 神尾	
	19	社会資源（自宅以外の退院先について） MSW	
	26	実技：ファシリテーション⑤ 小室	

※ 毎月2回受講。2回を超えての受講は可能だが残業対象外。振休等で受講が難しい場合は上司に相談。

※ 9月までは新人、専従（4等級）は回復期を2回受講。その他の科員は回復期、小児をそれぞれ1回ずつ受講。

※ 10月以降は新人、専従（4等級）は回復期を2回受講。その他の科員は月4回の内、いずれかの2回を受講。

※ 講師は事前に配布資料等を再教育係（原、橋本佳、土井）に提出。プロジェクターの使用の有無も併せて伝えておく。

表4-2 2018年度 リハビリテーション部 研修出張

PT 科		
研修名	研修日程	場所
CVA アドバンス (鈴木先生)	2018/4/25 ~ 5/2	京都
第53回日本理学療法学会研修大会 in 茨城	2018/5/25 ~ 5/26	茨城
第53回日本理学療法学会研修大会 in 茨城	2018/5/25 ~ 5/28	茨城
第53回日本理学療法学会研修大会 in 茨城	2018/5/25 ~ 5/29	茨城
第12回日本訪問リハビリテーション協会学術大会	2018/6/16 ~ 6/17	福岡
日本リハビリテーション医学会 第55回学術集会	2018/6/28 ~ 7/1	福岡
第30回大阪府理学療法学会学術大会	2018/7/1	大阪
第24回日本心臓リハビリテーション学会	2018/7/14 ~ 7/14	横浜
第24回日本心臓リハビリテーション学会	2018/7/14 ~ 7/15	横浜
第24回日本心臓リハビリテーション学会	2018/7/14 ~ 7/14	横浜
第24回日本心臓リハビリテーション学会	2018/7/14 ~ 7/15	横浜
CVA アドバンスコース	2018/8/11 ~ 8/15	福岡
CVA アドバンスコース	2018/10/24 ~ 10/28	佐賀
CVA アドバンスコース	2018/10/24 ~ 10/29	佐賀
第16回日本神経理学療法学会学術大会	2018/11/10 ~ 11/10	大阪
第5回日本小児理学療法学会	2018/12/22 ~ 12/23	大阪
大阪府理学療法士会新人症例発表	2019/1/31	大阪
大阪府理学療法士会新人症例発表	2019/1/31	大阪
大阪府理学療法士会新人症例発表	2019/1/31	大阪
大阪府理学療法士会新人症例発表	2019/1/31	大阪
大阪府理学療法士会新人症例発表	2019/1/31	大阪
回復期リハビリテーション病棟協会	2019/2/21 ~ 2/22	千葉
回復期リハビリテーション病棟協会	2019/2/21 ~ 2/22	千葉
回復期リハビリテーション病棟協会	2019/2/21 ~ 2/22	千葉
回復期リハビリテーション病棟協会	2019/2/21 ~ 2/22	千葉
第4回大阪府がんのリハビリテーション研修会	2018/5/12 ~ 5/13	大阪
第4回大阪府がんのリハビリテーション研修会	2018/5/12 ~ 5/15	大阪
回復期リハビリテーション病棟協会 全職種研修会	2018/6/16 ~ 6/17	大阪
PTOTST 研修会	2018/7/1	大阪
PTOTST 研修会	2018/7/1	大阪
回復期セラピストマネージャーコース	2018/7/17 ~ 7/22	東京
回復期セラピストマネージャーコース	2018/9/4 ~ 9/9	東京
回復期セラピストマネージャーコース	2018/11/5 ~ 11/11	東京
回復期リハビリテーション病棟協会 全職種研修会	2018/8/18 ~ 8/19	大阪
地域包括ケア病棟協会第5回施設見学会	2018/9/15	大阪
回復期リハビリテーション病棟協会 全職種研修会 (3年目未満)	2018/12/15 ~ 12/16	大阪
回復期リハビリテーション病棟協会 全職種研修会 (3年目未満)	2019/2/9/ ~ 2/10	大阪

OT 科		
研修名	研修日程	場所
日本発達障害学会	8月11日~ 12日	広島
リハビリテーション・ケア合同研究大会 米子2018	10月3日~ 4日	鳥取
第52回 日本作業療法学会	9月7日~ 9日	愛知
第8回ボース研究会学術大会 (発表)	7月28日~ 29日	大阪
第8回ボース研究会学術大会 (発表)	7月28日~ 29日	大阪
第38回 近畿作業療法学会	2018/7/22	大阪
第38回 近畿作業療法学会	2018/7/22	大阪
第38回 近畿作業療法学会	2018/7/22	大阪
第52回 日本作業療法学会	9月7日~ 9日	愛知
第52回 日本作業療法学会	9月7日~ 9日	愛知

OT 科		
研修名	研修日程	場所
リハビリテーション・ケア合同研究大会 米子2018	10月3日～4日	鳥取
ボバース上級講習会	8月11日～15日	福岡
上級講習会	8月11日～15日	福岡
ボバース成人上級講習会 Gerlinde Haase	10月22日～26日	福岡
第45回理学療法士、作業療法士、言語聴覚士養成施設教員等講習会	8月20日～9月8日	大阪
臨床実習指導者研修会	2018/12/15	京都
第110回 全職種研修会	6月16日・17日	大阪
第44回 PTOTST 研修会	2018/7/1	大阪
第110回 全職種研修会	8月18日・19日	大阪
第116回 全職種研修会（初級者コース）	12月15日・16日	大阪
第116回 全職種研修会（初級者コース）	2月9日・10日	大阪
第4回大阪府がんのリハビリテーション研修会	5月12日～13日	大阪

ST 科		
研修名	研修日程	場所
第19回日本言語聴覚学会	2018/6/22（金）～6/23（土）	富山
リハビリテーションケア合同研究大会米子2018	2018/10/3（水）～10/4（木）	鳥取
リハビリテーションケア合同研究大会米子2018	2018/10/3（水）～10/4（木）	鳥取
第24回日本摂食嚥下障害リハビリテーション学会学術大会	2018/9/8（土）～9/9（日）	宮城
第24回日本摂食嚥下障害リハビリテーション学会学術大会	2018/9/8（土）～9/9（日）	宮城
第42回日本高次脳機能障害学会総会・サテライトセミナー	2018/12/6（金）～12/8（日）	兵庫
ST インフォメーションコース	2018/11/22（木）～11/25（土）	埼玉

表4-3 2018年度学生実習

		担当養成校	期間
PT	1	大阪医療福祉専門学校	2018/4/9～2018/6/15
	2	関西福祉科学大学	6/4～7/20
	3	大阪行岡医療大学	6/4～7/27
	4	大阪河崎リハビリテーション大学	6/4～7/28
	5	鈴鹿医療科学大学	6/11～7/27
	6	新潟医療福祉大学	6/18～8/24
	7	中部学院大学	7/17～9/3
	8	大和大学	8/27～10/13
	9	関西医療学園専門学校	8/27～10/17
	10	清恵会第二医療専門学校	8/27～10/19
OT	1	神戸学院大学	4/9～6/8
	2	藍野大学	4/16～6/8
	3	鳥取市医療看護専門学校	5/7～7/14
ST	1	大阪医専	4/23～6/6
	2	大阪医療技術学園専門学校	5/21～7/13
	3	大阪医療福祉専門学校	8/13～9/25

(5) 診療技術部**① 薬剤科****ア. スタッフ・業務体制****(ア) 常勤薬剤師 18名**

認定実務実習指導薬剤師	1名
栄養サポートチーム専門療法士	1名
日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師	2名
日病薬病院薬学認定薬剤師	1名

- (イ) 業務体制 月～金 8:45～17:00 17:00～当直体制(1名)
 土 9:00～13:00 13:00～当直体制(1名)
 日祝日 9:00～翌日9:00 日当直体制(1名)

イ. 業務内容**(ア) 調剤業務**

日中の外来処方基本的に「院外処方」であり、調剤業務の主な対象は入院患者と夜間・休日の救急外来患者である。入院処方に関しては、誤薬防止等の観点から基本「一包化調剤」としており、また患者の病態に合わせて「粉碎処理」や「簡易懸濁」にも対応している。

(処方せん枚数及び調剤数…表①)

(イ) 病棟薬剤業務・薬剤管理指導業務

病棟薬剤師が担う業務範疇は年々拡大し、薬剤科業務の中でも大きな割合を占めている。薬剤師が病棟へ常駐することにより、患者情報もほぼリアルタイムで収集、医師・看護師等からの問い合わせ対応や医薬品に関する情報提供も迅速に行うことができ、病棟における医薬品の安全使用やプレアボイド、医師等の負担軽減等に貢献している。さらに、薬剤管理指導業務についても、在院日数が短く入退院が激しい中、入院時・退院時を中心に行い、なるべく漏れのないように努めている。

(薬剤管理指導件数…表②)

(ウ) 外来患者への関わり

内服・注射を問わず抗がん剤治療を開始する患者に対し、当院で作成したリーフレットを用いて投与スケジュールや副作用とその対策等を説明している。また特定の薬剤ではあるが「自己注射」の指導や、必要に応じて吸入指導も行っている。

(エ) 無菌製剤処理(抗がん剤及び中心静脈栄養の調製)

安全キャビネットにて抗がん剤を、クリーンベンチにて中心静脈栄養(TPN)の調製を薬剤師が行っている。抗がん剤に関しては入院・外来を問わず全件実施している。

(調製件数…表③)

(オ) 各種委員会・チーム医療等への参加

医療安全・感染防止・医薬品等審議会・療養担当規則等様々な委員会へ参加している。褥瘡やNST、ICTラウンドにも参加、さらに本年度より活動を開始したASTにも中心メンバーとして参加している。入院患者対象の脳卒中教室においても薬に纏わる講義を担当している。

また、各種委員会が主催する院内研修会において、薬剤師の立場から各職種に講義を行っている。

(カ) 医薬品管理

調剤室内のみならず、院内各部署配置の医薬品に対し、日々の発注・納品・払い出し業務、在庫調整等を行っている。さらに、救急カートを含め定期的に期限切れの有無や適正管理の確認等を行っている。

(キ) 医薬品情報管理業務・マスタ管理

医薬品に関する様々な情報の収集・加工・発信及び管理を行っている。「DIニュース」は月1回のペースで発行、新規採用品の情報や使用上の注意の改訂のお知らせのみならず、“トピックス”と題し様々な情報提供に努めている。さらに医薬品医療機器総合機構や各製薬会社等から発出される安全性速報等の重要な情報に関しても随時院内へ配信している。各部署からの問合せにも随時対応。また、電子カルテや調剤支援システム・医薬品情報管理業務等に関わる各種マスタの登録・管理も重要な業務の一つである。

ウ. 業務実績…後記データ参照

- (ア) 処方せん枚数及び調剤数 ……表①
- (イ) 薬剤管理指導件数 ……表②
- (ウ) 抗がん剤及びTPN調製件数 ……表③
- (エ) 実務実習受入れ人数 ……表④

エ. 教育研修

- (ア) 科内勉強会の開催（本年度はのべ35回）
- (イ) 月2回、科内においてカンファレンスを開催し、症例報告や医薬品情報の共有に努めている。（本年度は計23回）
- (ウ) 薬学実務実習生の受入れ（受入れ人数…表④）

オ. 今後の展望

- (ア) 回復期リハビリテーション病棟への更なる介入
- (イ) 外来化学療法室への常駐
- (ウ) 地域包括ケアシステム構築に向けた活動への積極的な参加
- (エ) 各種専門・認定資格の取得に向けた環境作り
- (オ) 学会での演題発表

2018年度 処方せん枚数及び調剤数(表①)

月	外来院外 処方せん枚数	外来院内 処方せん枚数	外来院内 調剤数	入院 処方せん枚数	入院 調剤数	入院 注射せん枚数
4月	2,235	197	272	3,897	6,748	3,789
5月	2,367	194	290	3,985	6,576	3,878
6月	2,222	175	253	4,122	7,146	3,776
7月	2,439	209	298	4,131	7,034	4,139
8月	2,378	145	215	4,229	7,209	3,783
9月	2,110	192	266	3,886	6,648	3,606
10月	2,552	173	258	4,040	6,957	4,022
11月	2,291	182	261	4,069	6,733	3,989
12月	2,316	274	412	3,875	6,631	3,666
2019年1月	2,386	412	639	3,609	5,982	3,421
2月	2,155	176	244	3,909	6,812	3,735
3月	2,306	167	251	4,518	7,809	4,066
合計	27,757	2,496	3,659	48,270	82,285	45,870
平均	2,313.1	208.0	304.9	4,022.5	6,857.1	3,822.5

2018年度 薬剤管理指導件数(表②)

月	実施件数	薬剤管理指導料 算定件数 (380点・325点)	麻薬管理指導件数 (50点)	退院時指導件数 (90点)
4月	478	340	5	94
5月	488	370	6	117
6月	459	338	2	118
7月	439	340	6	104
8月	502	361	4	114
9月	381	276	6	94
10月	471	360	5	116
11月	476	355	5	134
12月	416	314	3	123
2019年1月	446	334	1	90
2月	464	370	3	117
3月	486	387	3	131
合計	5,506	4,145	49	1,352

2018年度 抗がん剤及びTPN調製件数(表③)

月	抗がん剤			TPN
	外来	入院	合計	入院
4月	35	6	41	106
5月	43	9	52	96
6月	34	5	39	64
7月	32	5	37	79
8月	30	6	36	62
9月	27	5	32	46
10月	33	5	38	124
11月	27	9	36	120
12月	34	5	39	62
2019年1月	34	7	41	88
2月	37	4	41	174
3月	40	4	44	133
合計	406	70	476	1,154

2018年度 実務実習受入れ人数(表④)

時期	大学名	人数
第2期	大阪薬科大学	1名
第3期	武庫川女子大学	1名

② 検査科

ア. スタッフ構成

臨床検査技師 10名

管理栄養士 3名

分析機器・試薬アナリスト 1名

POC コーディネーター 1名

イ. 検体検査

医師の指示及び依頼の下、採取された検体（血液・尿・糞便など）を各検査目的（生化学的検査・血液学的検査・血清学的検査など）に基づき分析を行い、検査結果を報告する業務を行っている。

院内で行こなう検査においては、1時間以内での報告ができるように日々努めている。

細菌学検査・病理学検査は、外注依頼を行っているが、外注業者と綿密な連携をとり、出来る限り迅速な報告ができるように働きかけている。

☆検体検査年間月次別依頼件数 表①

ウ. 検査機器

- (ア) HITACHI 7180
- (イ) Sysmex XN-1000
- (ウ) arkray HA-8181
- (エ) arkray AX-4030
- (オ) Abbott ARCHITECT
- (カ) STACIA
- (キ) PATHFAST
- (ク) RADIOMETER ABL800
- (ケ) Toxinometer
- (コ) アイネット 検査システム
- (サ) BTD 輸血システム

エ. 輸血検査及び製剤管理

手術中の輸血や高度貧血時の治療など、安全な輸血療法を提供するために、交差適合試験・血液型検査・不規則性抗体スクリーニング検査を行っている。
迅速な対応を行うため、隣接する血液センターにも協力をして貰っている。
また、厳正な温度管理の下に血液製剤の保管・管理を行っている。
☆年間交差適合試験実施件数 表②

オ. 病理学的検査

病理組織検査・細胞診検査及び術中迅速病理検査に対応している。(外部委託)
また、2018年度中に2例の病理解剖が行われ、その内1例にCPC(臨床病理症例検討会)が行われた。
☆病理部門年間月次別依頼件数 表③

カ. 当直業務

2019年度中に夜勤業務に移行する予定である。
夜間、休日時間においても日勤帯と同等の検査業務を行い、検査報告の提供に対応している。

キ. 精度管理

日々、各検査機器の精度管理を厳正に行い、業務に取り組んでいる。
外部精度管理(主催:日本医師会)に参加している。また、各社メーカーの精度管理にも積極的に参加し、データーの標準化に取り組んでいる。

ク. 院内委員会への参加

栄養サポートチーム(NST)、感染対策チーム(ICT)、療養担当規則委員会、法人衛生委員会、医療安全管理委員会、教育研修図書委員会、システム会議など院内で行われる様々な委員会に参加している。

ケ. 今後の展望

検査科に勤める検査技師において大切な事は、正確なデータを迅速に提供する事であり、その時代に沿った方法でいかに業務を行うかを第一に考えるべきだと思う。

ひと世代前はその日に検査データを出せる病院は稀であり、ほとんどの病院が採り帰りで業務形態であった。しかし現在では診察前検査が当たり前のように広まっていった。それは、検査機器の進歩や、検査システムの発展が、診察前検査を可能にした直接要因である。

今後さらに検査技師に求められる事として、検査内容や結果に対する疑問や質問などに、検査技師本人が説明が出来るようになる時代が訪れてくると思われる。

実際に技師会では、「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」などの勉強会も企画されており、その機運が高まっている。

よって、我々は日々の日常業務を単に行うのではなく、意味を考えながら業務に当たり、各個人の知識の向上とスキルアップを行い、そのような場面になっても臆することなく臨床現場と向き合っていける人材を育てて行かなければと考えている。

☆検体検査年間月次別依頼件数①

		依頼件数
2018	4月	11,662
	5月	10,940
	6月	10,465
	7月	10,818
	8月	10,236
	9月	9,123
	10月	12,075
	11月	10,677
	12月	10,228
2019	1月	10,556
	2月	9,776
	3月	11,666

☆年間交差適合試験実施件数②

		外科	小児整形	血管センター	神経内科	整形外科	内科	泌尿器	麻酔科	リハビリ	救急診療科
2018	4月	24	2	167	5	0	15	6	14	0	0
	5月	14	3	133	1	4	9	4	86	2	2
	6月	13	0	196	2	10	5	5	29	0	1
	7月	10	3	285	0	2	10	1	22	0	2
	8月	22	3	212	3	2	5	2	21	0	0
	9月	15	1	120	2	1	10	0	30	0	0
	10月	18	0	228	0	3	12	2	17	0	0
	11月	60	0	278	2	4	11	0	27	0	1
	12月	47	0	184	2	4	19	4	51	2	1
2019	1月	19	0	153	2	1	10	0	17	2	3
	2月	11	0	139	0	2	9	1	38	0	0
	3月	14	0	379	0	0	9	1	88	0	0

☆病理部門年間月次別依頼件数③

		病理	細胞診	迅速
2018	4月	33	45	3
	5月	24	39	3
	6月	37	57	0
	7月	42	59	3
	8月	39	43	2
	9月	25	35	4
	10月	46	45	8
	11月	28	40	4
	12月	31	51	3
2019	1月	36	39	6
	2月	33	47	4
	3月	42	55	4

③ 画像診断科

業務計画総括

ア. 総論

画像診断部門の役割を十分に果たすべく、装置・システムの性能を最大限活用した画像情報の提供に取り組めた。特にレポートに関しては、放射線科医師2名体制の下、各科医師並びに院外の先生方にも十分満足頂けたと考える。また、画像系システム(PACS・生理システム・内視鏡システム)の運用も円滑に進み、チーム医療の推進と実践並びに、医療事故防止対策、検査説明等の受診者サービスにも積極的に取り組めた、また地域連携ネットワーク「もりりんネット」の導入に伴い 地域の開業医へ PR 活動を含め積極的な業務展開を進める事ができた。

イ. 成果

- (ア) 各種装置・システムの日常・定期点検と精度管理の実践により、良質な画像・レポート情報の安定供給が図れた。
- (イ) 主要検査並びに紹介検査の目標件数は概ね達成できた。
- (ウ) 社会医療法人堅持の時間外・休日救急件数確保に関しては、当直スタッフの尽力により貢献できた。
- (エ) 法人内検査技師のローテーション支援業務等も概ね達成でき、突発的な他施設業務支援にも対応できた。
- (オ) 医療事故防止対策に関しては、患者認証システムの実践と検査実施前後の受診者への検査説明によりトラブル・医療事故が未然に防げたと考える。また突発的な薬剤副作用にも放射線科医・外来看護部と連携する事で迅速に対応できた。
- (カ) 法人内外施設との ICT 連携を強化する事で検査機器の地域共同利用率は概ね順調であった。

ウ．反省・計画の見直し

(ア) 各種認定技師資格取得は計画的に進める事ができた、今後資格取得の幅を広げ専門分野に特化した人材育成も進めていきたい。

(イ) 超音波認定技師の養成に時間を要する。

施設基準・部門体制

ア．施設基準

デジタルマンモグラフィ認定施設

イ．部門体制

(ア) 診療部 放射線科

㊦ 常勤医師(2名)

日本医学放射線学会放射線診断専門医

日本核医学会核医学専門医

日本核医学会 PET 核医学認定医

検診マンモグラフィ読影認定医師

㊧ 非常勤医師(8名)

(イ) 画像診断部

㊦ 放射線部門(診療放射線技師)

部長 1名

科長 1名

主任 3名

科員 男性(8名)

科員 女性(6名)

検診マンモグラフィ撮影認定技師(5名)

放射線管理士(1名)

医療画像情報精度管理士(2名)

放射線機器管理士(1名)

胃がん健診専門技師(1名)

放射線取扱主任者第1種(1名)

放射線取扱主任者第2種(1名)

X線 CT 認定技師(2名)

PET 認定技師(3名)

㊧ 生理検査部門(臨床検査技師)

科員 女性(11名)

超音波検査士

循環器領域(2名)

消化器領域(3名)

血管領域(1名)

体表臓器領域(1名)

- (ウ) 内視鏡部門
 - 外科医師(2名)
 - 消化器内科医師(1名)
 - 消化器内視鏡認定技師(3名)
 - 看護師(4名)

- (エ) 検査受付
 - 事務職員(2名)

部門システム・装置

ア. 部門システム

- (ア) 画像診断科
 - 画像診断科情報システム(RIS)

- (イ) 放射線部門
 - 画像保存通信システム(PACS)
 - レポートシステム
 - 3D ワークステーション
 - 画像読取システム(FCR)
 - 乳房画像読影システム
 - 検像システム
 - 画像読込・出力システム
 - 循環器システム

- (ウ) 生理検査部門
 - 心電図システム
 - 眼底システム

- (エ) 内視鏡部門
 - 内視鏡システム

イ. 機器・装置

- (ア) 放射線検査
 - デジタルブッキー X 線撮影装置
 - デジタルマンモグラフィ装置
 - デジタル X 線透視撮影装置
 - ステレオマンモトーム装置
 - デンタル装置
 - パノラマ装置
 - 臥位パノラマ装置
 - 64列マルチスライス X 線 CT 装置
 - 1.5T 超電導磁気共鳴診断装置

移動型 X 線診断装置
ハイブリット血管造影 X 線診断装置
移動型外科用 C アーム装置
心カテ血管造影 X 線診断装置

(イ) 生理検査

心電計装置
除細動器
肺機能装置
血圧脈波装置
ストレングスエルゴ装置
ホルター心電図
脳波装置
誘発装置
眼底装置
眼圧装置
超音波診断装置

(ウ) 内視鏡検査

内視鏡装置

2018年度 森之宮病院 診療技術部 画像診断科 放射線検査 実績

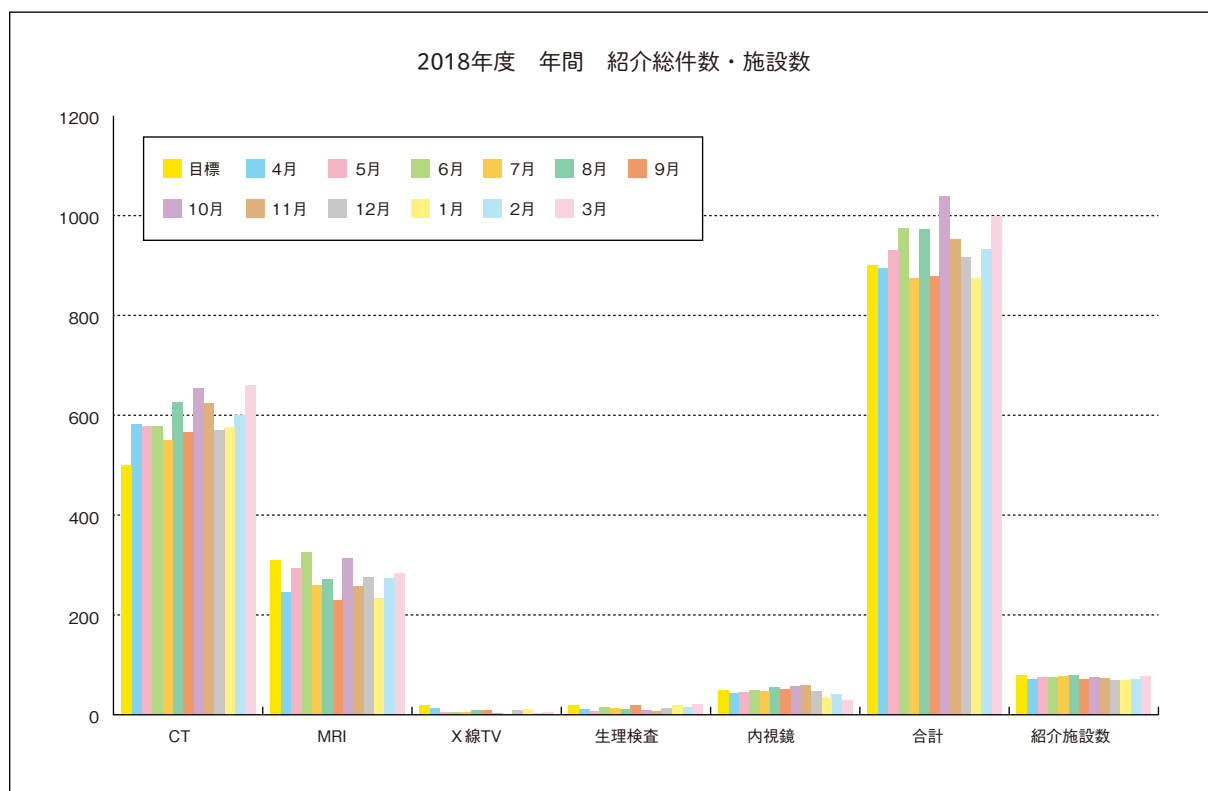
部門	種別	区分	目標 件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
放射線	一般撮影	外来	850	1,244	1,054	795	811	772	704	1,042	769	728	755	714	796	10,184	849	
		入院	550	553	567	615	573	601	504	523	502	491	568	534	585	6,616	551	
		合計	1,400	1,797	1,621	1,410	1,384	1,373	1,208	1,565	1,271	1,219	1,323	1,248	1,381	16,800	1,400	
	ポータブル	外来	5	6	4	3	2	3	3	3	3	1	3	4	1	36	3	
		入院	550	469	494	564	522	539	417	541	580	542	398	469	577	6,112	509	
		合計	555	475	498	567	524	542	420	544	583	543	401	473	578	6,148	512	
	骨密度	外来	24	24	22	20	23	21	18	38	18	30	31	26	19	290	24	
		入院	1	1	1	1	2	0	0	1	0	1	1	1	2	11	1	
		合計	25	25	23	21	25	21	18	39	18	31	32	27	21	301	25	
	パノラマ 臥位	外来	8	1	0	0	2	1	0	1	1	2	0	1	1	10	1	
		入院	7	2	4	4	9	3	3	5	3	5	4	3	2	47	4	
		合計	15	3	4	4	11	4	3	6	4	7	4	4	3	57	5	
	マンモ グラフィ	外来	79	105	101	134	107	107	112	172	170	129	114	106	133	1,490	124	
		入院	1	4	1	1	2	3	4	0	0	1	1	3	4	24	2	
		合計	80	109	102	135	109	110	116	172	170	130	115	109	137	1,514	126	
	マンモ トーム	ステレオ下	3	3	1	5	2	1	3	2	3	0	6	3	6	35	3	
		エコー下	3													0	0	
		合計	6	3	1	5	2	1	3	2	3	0	6	3	6	35	3	
	X線 TV	UGI	外来	3	0	3	1	0	0	0	14	1	0	0	2	0	21	2
			入院	1	7	2	2	0	1	0	4	0	1	3	0	1	21	2
			紹介	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
			合計	5	7	5	3	0	1	0	18	1	2	3	2	1	43	4
		注腸	外来	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0
			入院	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3	0
			紹介	1	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	4	0
			合計	3	0	0	2	0	2	0	1	3	0	1	0	0	9	1
		DIP-VP	外来	3	4	6	2	6	1	4	4	1	4	3	1	1	37	3
			入院	2	3	5	3	3	3	1	1	2	1	2	2	2	28	2
			紹介	10	3	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	6	1
			合計	15	10	12	5	9	5	6	5	3	5	5	3	3	71	6
		UCGCG	外来	5	2	1	5	3	4	1	2	3	2	5	6	6	40	3
			入院	1	2	2	2	0	1	1	0	1	2	1	0	0	12	1
			紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			合計	6	4	3	7	3	5	2	2	4	4	6	6	6	52	4
		外科系	外来	15	1	2	3	4	4	2	2	1	4	1	1	4	29	2
			入院	20	5	8	4	3	8	4	6	9	4	9	4	3	67	6
			紹介	10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
			合計	45	6	10	7	7	12	6	9	10	8	10	5	7	97	8
		整形系	外来	14	4	0	1	1	0	1	0	0	3	0	0	2	12	1
			入院	1	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	1	0	5	0
			合計	15	4	0	2	3	0	1	1	0	3	0	1	2	17	1
		嚥下造影	外来	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
			入院	14	9	12	10	7	7	4	2	10	5	7	9	5	87	7
			合計	15	9	12	10	8	8	4	2	10	5	7	9	5	89	7
		胃ろう	外来	5	9	5	8	5	9	5	10	11	7	6	10	10	95	8
			入院	5	10	11	2	10	6	4	5	10	4	4	6	5	77	6
			合計	10	19	16	10	15	15	9	15	21	11	10	16	15	172	14
		神経根 ブロック	外来	20	48	43	60	35	32	49	42	42	50	42	36	57	536	45
			入院	5	2	1	4	0	2	4	7	3	5	0	5	4	37	3
			合計	25	50	44	64	35	34	53	49	45	55	42	41	61	573	48

2018年度 森之宮病院 診療技術部 画像診断科 放射線検査 実績

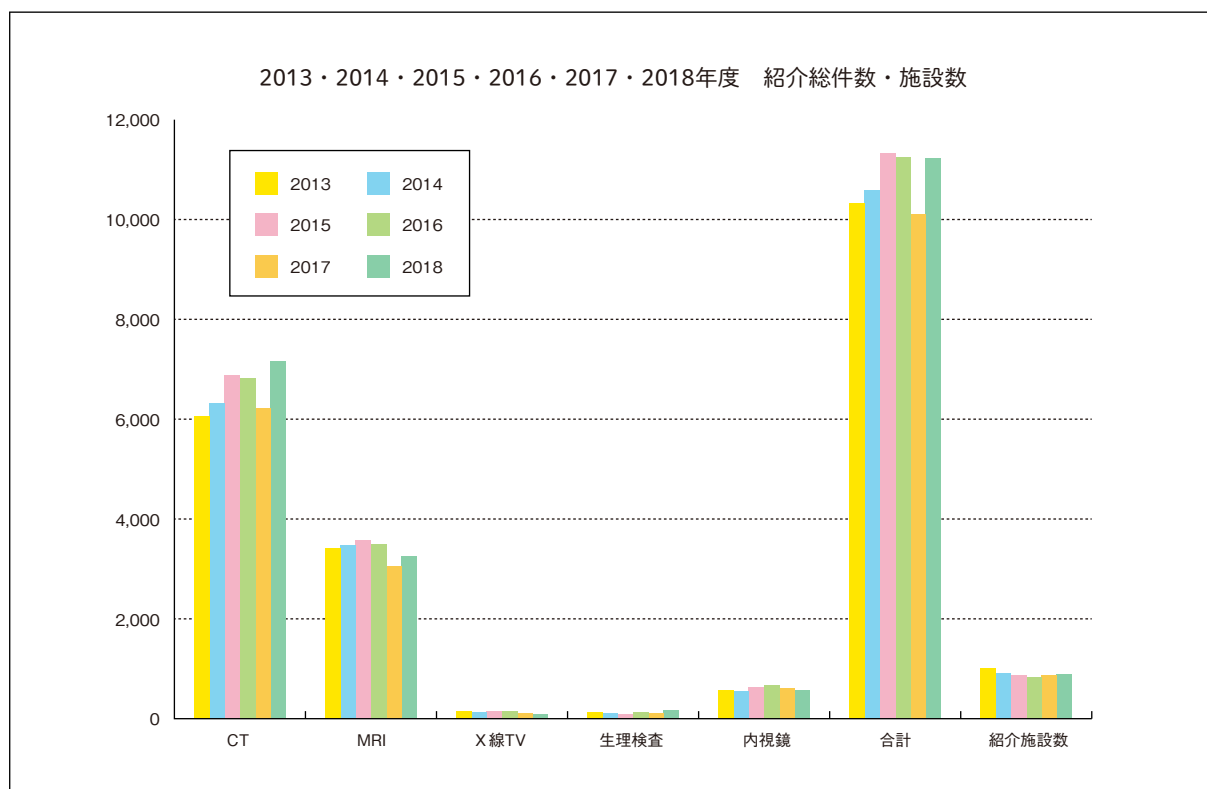
部門	種別	区分	目標 件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	
放射線	C T	単 純	外来	300	371	358	363	363	343	371	450	394	318	398	346	395	4,470	373
			入院	150	142	186	162	231	189	179	206	192	197	210	194	200	2,288	191
			紹介	250	343	302	291	274	307	303	362	330	303	314	307	376	3,812	318
			合計	700	856	846	816	868	839	853	1,018	916	818	922	847	971	10,570	881
		造 影	外来	100	102	104	113	80	89	76	94	87	71	68	83	107	1,074	90
			入院	50	56	40	51	31	27	25	31	80	29	24	30	42	466	39
			紹介	250	236	271	282	269	315	256	288	287	261	257	285	277	3,284	274
			合計	400	394	415	446	380	431	357	413	454	361	349	398	426	4,824	402
		冠 動 脈 造 影	外来	4	2	6	5	5	3	4	3	5	3	6	1	2	45	4
			入院	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0
			紹介	5	3	5	5	6	5	7	4	7	5	4	8	7	66	6
			合計	10	5	11	10	11	8	12	7	12	8	11	9	9	113	9
	M R I	単 純	外来	70	53	63	67	77	69	61	67	55	52	69	57	53	743	62
			入院	80	117	121	118	97	105	99	106	113	111	112	107	145	1,351	113
			紹介	230	219	264	298	236	250	208	279	230	248	213	243	263	2,951	246
			合計	380	389	448	483	410	424	368	452	398	411	394	407	461	5,045	420
		造 影	外来	4	3	1	8	4	5	7	5	2	11	4	4	11	65	5
			入院	1	0	0	1	0	0	2	1	0	1	0	0	1	6	1
			紹介	70	31	32	28	29	25	22	34	28	28	21	30	20	328	27
			合計	75	34	33	37	33	30	31	40	30	40	25	34	32	399	33
	心 臓 血 管 造 影	人数	76	59	45	50	54	46	51	53	48	52	51	61	62	632	53	
		CAG	10	8	3	7	5	6	8	5	5	6	9	5	6	73	6	
		LVG	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		AOG	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		PTA	50	49	38	37	42	36	35	41	33	37	34	51	46	479	40	
		PCI	10	2	4	5	6	3	7	4	6	7	4	1	8	57	5	
		グローション	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
		その他	1	0	0	1	1	1	1	3	4	2	4	4	1	22	2	
		ペースメーカー	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ハ イ プ リ ド R	胸部血管	11	7	9	12	6	10	3	7	11	8	9	11	9	102	9	
		腹部血管	11	16	13	15	18	13	13	20	17	17	9	11	19	181	15	
		腎動脈	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	4	0	
		下肢動脈	1	1	1	0	0	0	1	4	2	1	0	2	0	12	1	
		上肢動脈	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		シャント	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
		神経根ブロック	0	2	2	2	2	0	4	4	0	0	0	2	1	19	2	
		その他	0	0	0	2	0	2	3	0	0	0	1	0	0	8	1	
		合計	25	26	25	31	27	26	24	35	30	29	20	26	29	328	27	
	手 術 室	外科系	2	4	2	4	2	3	1	1	3	2	2	3	0	27	2	
		整形外科	2	9	9	7	13	14	7	4	3	4	5	2	3	80	7	
		神経根ブロック	10	5	3	3	6	4	6	2	7	9	6	6	5	62	5	
	画 像 読 込	外来	250	253	262	251	275	308	245	252	212	260	238	253	276	3,085	257	
		入院	50	56	56	61	59	57	19	37	32	33	26	35	45	516	43	
		合計	300	309	318	312	334	365	264	289	244	293	264	288	321	3,601	300	
出 力 画 像	フ ィ ル ム	外来	15	1	1	4	3	1	0	3	3	0	0	1	0	17	1	
		入院	5	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	3	0	
		紹介	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		合計	25	1	1	4	3	3	0	3	4	0	0	1	0	20	2	
	C D ・ D V D	外来	80	121	123	117	111	123	132	126	95	106	92	104	98	1,348	112	
		入院	70	90	95	85	78	97	79	94	80	85	73	94	85	1,035	86	
		紹介	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		合計	155	211	218	202	189	220	211	220	175	191	165	198	183	2,383	199	
	ペ ー パ	外来	10	11	10	17	11	15	6	11	12	11	7	10	9	130	11	
		入院	15	23	15	17	19	16	5	13	12	13	13	12	15	173	14	
		紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		合計	25	34	25	34	30	31	11	24	24	24	20	22	24	303	25	

2018年度 森之宮病院 診療技術部 画像診断科 生理・内視鏡検査 実績

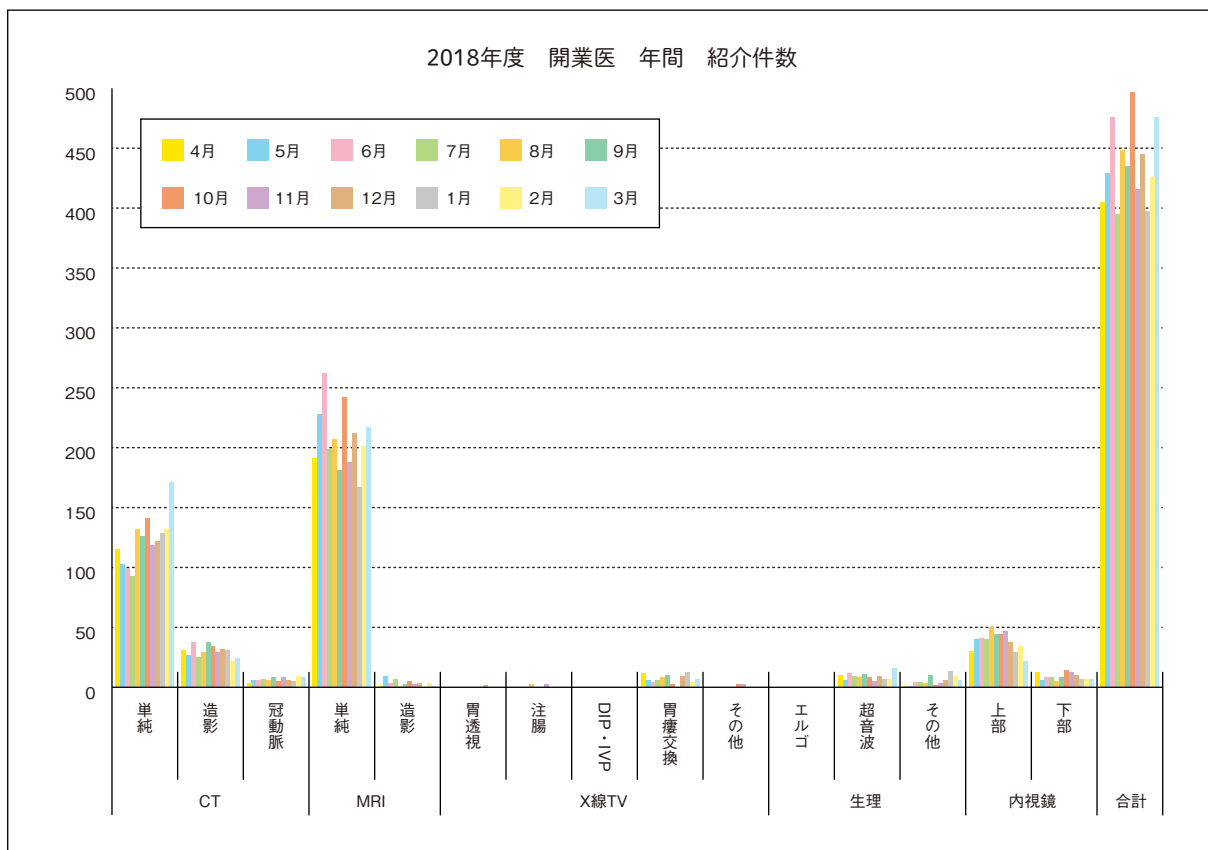
部門	種別	区分	目標 件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
生理	心電図	外来	240	453	370	253	295	261	263	456	306	264	312	323	379	3,935	328
		入院	210	187	178	210	194	162	179	198	196	194	204	202	234	2,338	195
		合計	450	640	548	463	489	423	442	654	502	458	516	525	613	6,273	523
	心電図 負荷	外来	5	3	10	8	8	2	3	5	6	6	3	6	4	64	5
		入院	5	1	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	5	0
		合計	10	4	10	9	10	2	3	5	6	7	3	6	4	69	6
	メー エ ル ゴ ー タ ー	外来	10	0	5	4	3	2	3	6	4	2	6	0	2	37	3
		入院	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
		紹介	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	15	1	5	4	3	3	3	6	4	2	6	0	2	39	3
	心電図 ホルター	外来	5	9	2	4	5	4	7	5	5	4	3	5	5	58	5
		入院	4	1	2	0	1	0	0	2	0	1	0	2	2	11	1
		紹介	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計	10	10	4	4	6	4	7	7	5	5	3	7	7	69	6
	肺機能	外来	40	26	30	34	40	31	19	30	26	21	32	40	38	367	31
		入院	30	26	33	42	34	29	26	28	31	35	37	30	35	386	32
		合計	70	52	63	76	74	60	45	58	57	56	69	70	73	753	63
	血圧脈波	外来	130	189	189	182	189	171	164	201	196	183	193	206	180	2,243	187
		入院	70	71	69	101	88	77	87	75	88	79	78	89	96	998	83
		合計	200	260	258	283	277	248	251	276	284	262	271	295	276	3,241	270
	(技師施行) 超音波	外来	170	195	212	212	187	196	188	241	250	208	232	210	237	2,568	214
		入院	250	260	236	262	246	214	236	272	287	271	298	308	286	3,176	265
		紹介	10	10	6	12	9	8	11	8	5	5	7	7	5	93	8
		合計	430	465	454	486	442	418	435	521	542	484	537	525	528	5,837	486
	(医師施行) 超音波	外来	155	176	171	198	171	178	162	198	212	169	150	144	215	2,144	179
		入院	5	5	2	6	3	5	6	6	3	3	3	5	4	51	4
		合計	160	181	173	204	174	183	168	204	215	172	153	149	219	2,195	183
	脳波	外来	15	6	7	6	4	7	9	1	0	0	1	0	2	43	4
		入院	35	15	14	10	9	14	8	2	5	1	4	2	5	89	7
		合計	50	21	21	16	13	21	17	3	5	1	5	2	7	132	11
	眼底眼圧	外来	5	0	1	0	0	0	0	20	9	3	0	0	0	33	3
		入院	5	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	4	0
		合計	10	0	1	1	0	0	0	20	10	3	1	1	0	37	3
	誘発電位	外来	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	4	0
		入院	5	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	5	0
		合計	10	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	3	9	1
	スリ プ タ ー	外来	3	1	3	1	2	3	5	5	0	1	4	3	3	31	3
		入院	2	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	3	0	7	1
		合計	5	1	3	1	2	5	5	5	1	2	4	6	3	38	3
内視鏡	上部消化管	外来	50	30	36	30	28	32	33	46	36	39	23	25	44	402	34
		入院	10	11	1	15	0	8	11	16	11	9	4	0	5	91	8
		紹介	40	30	40	41	40	50	44	44	47	38	29	34	22	459	38
		合計	100	71	77	86	68	90	88	106	94	86	56	59	71	952	79
	下部消化管	外来	30	17	13	18	10	7	7	9	16	15	10	17	23	162	14
		入院	5	4	6	9	18	8	5	9	6	3	3	8	4	83	7
		紹介	5	13	6	8	8	5	8	14	13	10	7	7	7	106	9
		合計	40	34	25	35	36	20	20	32	35	28	20	32	34	351	29
	気管支	外来	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	5	0
		入院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	0
		合計	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	6	0	10	1
	胃 造 設 ろう つ	外来	1	4	7	1	5	3	2	4	6	3	4	4	1	44	4
		入院	1	4	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	8	1
		合計	2	8	7	1	5	4	2	5	8	3	4	4	1	52	4



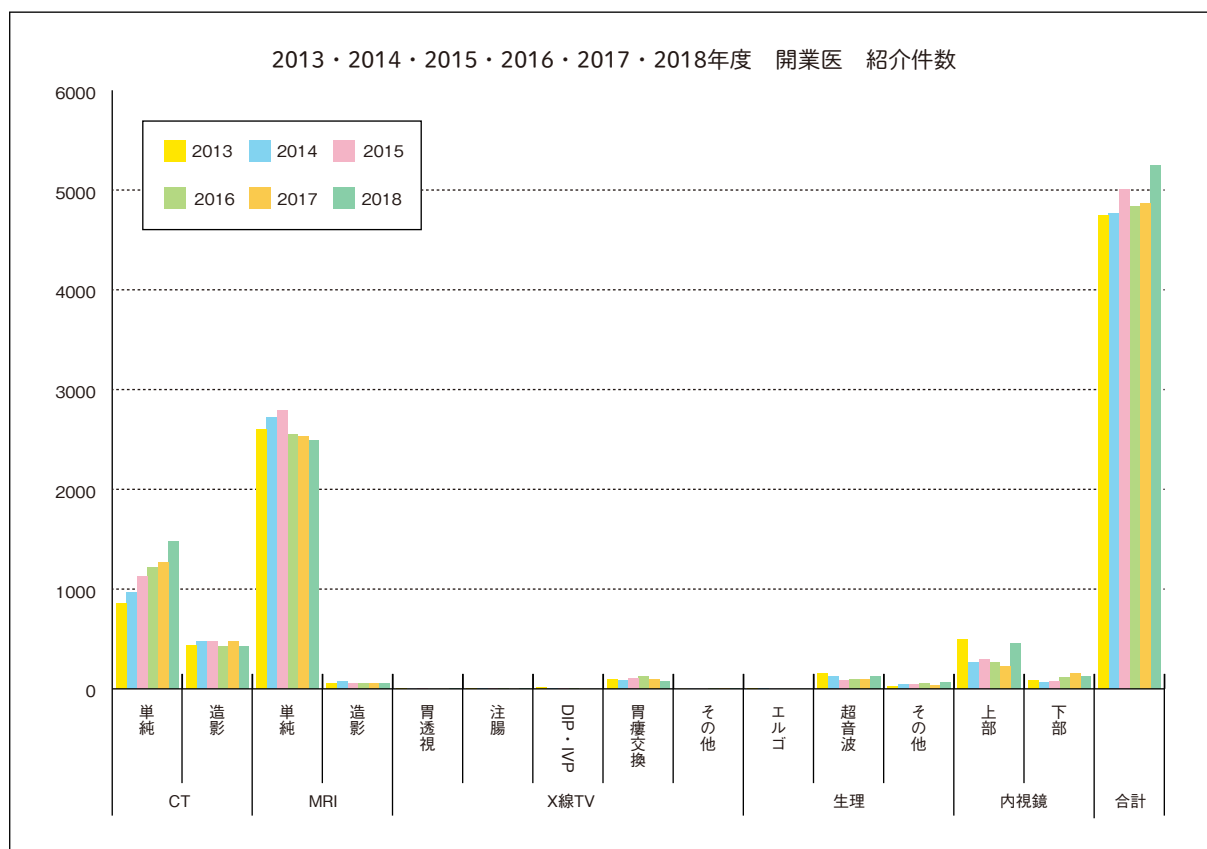
2018年度	CT	MRI	X線TV	生理検査	内視鏡	合計	紹介施設数
目標	500	310	20	20	50	900	80
4月	582	246	13	11	43	895	72
5月	578	294	6	7	46	931	76
6月	578	325	6	16	49	974	75
7月	549	259	5	13	48	874	77
8月	627	271	9	11	55	973	79
9月	566	230	10	20	52	878	72
10月	654	313	3	10	58	1,038	76
11月	624	258	2	8	60	952	73
12月	569	276	9	14	48	916	69
1月	575	234	11	19	36	875	70
2月	600	273	4	15	41	933	72
3月	660	283	6	21	29	999	78
合計	7,162	3,262	84	165	565	11,238	889
平均	597	272	7	14	47	937	74



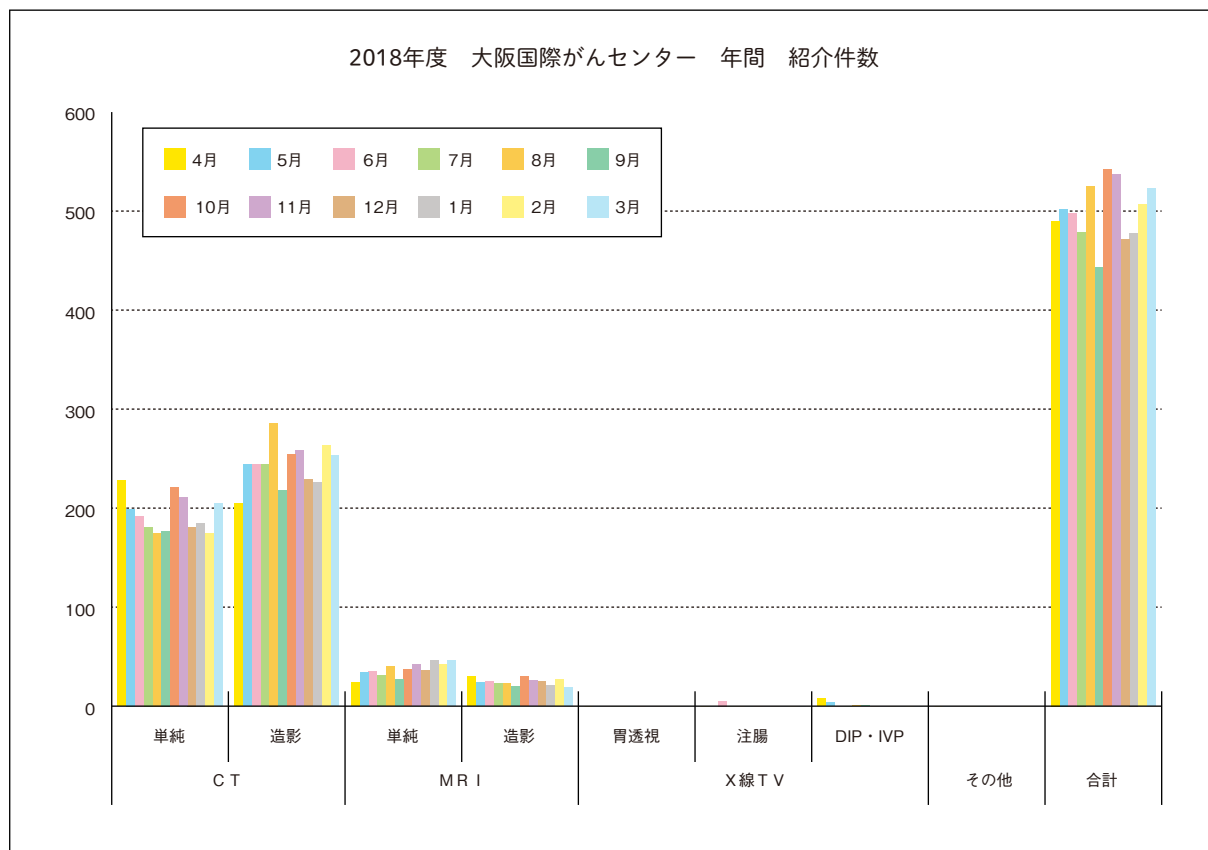
年度		CT	MRI	X線TV	生理検査	内視鏡	合計	紹介施設数
2013年度	年間	6,059	3,407	147	135	579	10,327	1,008
	月間	505	284	12	11	48	866	84
2014年度	年間	6,323	3,471	129	111	545	10,579	908
	月間	527	289	11	93	45	882	76
2015年度	年間	6,875	3,580	147	87	632	11,321	868
	月間	573	298	12	7	53	943	72
2016年度	年間	6,812	3,494	152	128	671	11,257	832
	月間	568	291	13	11	56	938	69
2017年度	年間	6,226	3,057	102	114	613	10,112	878
	月間	519	255	9	10	51	843	73
2018年度	年間	7,162	3,262	84	165	565	11,238	889
	月間	597	272	7	13	47	931	74



2018 年度	CT			MRI		X 線 TV					生理			内視鏡		合計
	単純	造影	冠動脈	単純	造影	胃透視	注腸	DIP IVP	胃瘻 交換	その他	エルゴ	超音波	その他	上部	下部	
4月	115	31	3	191	1	0	0	0	10	0	0	10	1	30	13	405
5月	103	27	5	228	8	0	0	0	5	0	0	6	1	40	6	429
6月	99	38	5	262	3	0	0	0	4	0	0	12	4	41	8	476
7月	93	25	6	199	6	0	0	0	5	0	0	9	4	40	8	395
8月	132	29	5	207	1	0	1	0	7	0	0	8	3	50	5	448
9月	126	38	7	181	2	0	0	0	9	0	0	11	9	44	8	435
10月	141	34	4	242	4	0	0	0	2	1	0	8	2	44	14	496
11月	119	29	7	188	2	0	1	0	0	1	0	5	3	47	13	415
12月	122	32	5	212	3	1	0	0	8	0	0	9	5	38	10	445
1月	129	31	4	167	0	0	0	0	11	0	0	7	12	29	7	397
2月	132	22	8	201	3	0	0	0	4	0	0	7	8	34	7	426
3月	171	24	7	217	1	0	0	0	6	0	0	16	5	22	7	476
合計	1,482	360	66	2,495	34	1	2	0	71	2	0	108	57	459	106	5,243
	1,908			2,529		76					165			565		5,243

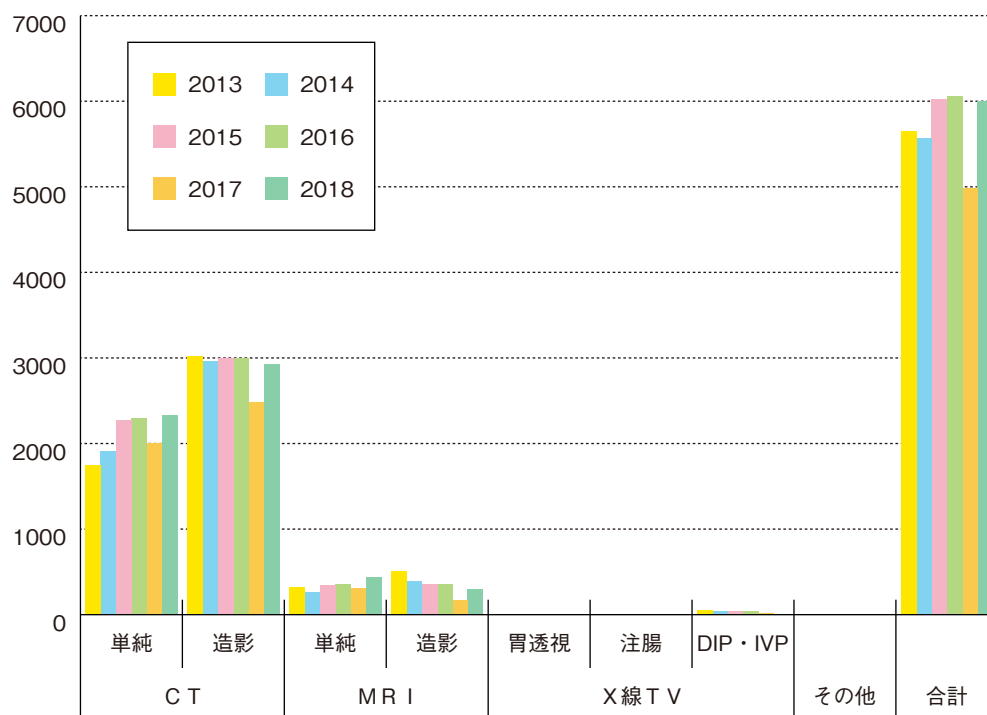


年度		CT		MRI		X線TV					生理			内視鏡		合計
		単純	造影	単純	造影	胃透視	注腸	DIP・IVP	胃瘻交換	その他	エルゴ	超音波	その他	上部	下部	
2013年度	年間	856	434	2,597	33	3	1	12	84	0	1	133	25	495	74	4,748
	月間	71	36	216	3	0	0	1	7	0	0	11	2	41	6	394
2014年度	年間	966	477	2,725	48	0	6	1	75	0	1	107	40	268	50	4,764
	月間	81	40	227	4	0	0	0	6	0	0	9	3	22	4	396
2015年度	年間	1,126	474	2,796	35	1	5	1	93	0	0	78	38	291	66	5,004
	月間	94	40	233	3	0	0	0	8	0	0	7	3	24	6	418
2016年度	年間	1,222	421	2,552	38	0	4	1	111	1	0	81	45	268	91	4,835
	月間	102	35	213	3	0	0	0	9	0	0	7	4	22	8	403
2017年度	年間	1,270	475	2,534	37	0	0	0	85	4	0	81	33	227	125	4,871
	月間	106	40	211	3	0	0	0	7	0	0	7	3	19	10	406
2018年度	年間	1,482	426	2,495	34	1	2	0	71	2	0	108	57	459	106	5,243
	月間	124	36	208	3	0	0	0	6	0	0	9	5	38	9	438



2018年度	CT		MRI		X線TV			その他	合計
	単純	造影	単純	造影	胃透視	注腸	DIP・IVP		
4月	228	205	24	30	0	0	3	0	490
5月	199	244	34	24	0	0	1	0	502
6月	192	244	35	25	0	2	0	0	498
7月	181	244	31	23	0	0	0	0	479
8月	175	286	40	23	0	0	1	0	525
9月	177	218	27	20	0	0	1	0	443
10月	221	254	37	30	0	0	0	0	542
11月	211	258	42	26	0	0	0	0	537
12月	181	229	36	25	0	0	0	0	471
1月	185	226	46	21	0	0	0	0	478
2月	175	263	42	27	0	0	0	0	507
3月	205	253	46	19	0	0	0	0	523
合計	2,330	2,924	440	293	0	2	6	0	5,995
	5,254		733		8			0	

2013・2014・2015・2016・2017・2018年度 大阪国際がんセンター 紹介件数



年度		CT		MRI		X線TV			その他	合計
		単純	造影	単純	造影	胃透視	注腸	DIP・IVP		
2013年度	年間	1,748	3,020	317	510	2	3	53	0	5,653
	月間	146	252	26	43	0	0	4	0	471
2014年度	年間	1,912	2,962	260	391	5	2	37	0	5,569
	月間	159	247	22	33	0	0	3	0	464
2015年度	年間	2,269	2,998	348	360	3	1	40	0	6,019
	月間	189	250	29	30	0	0	3	0	501
2016年度	年間	2,298	2,996	362	356	3	1	38	0	6,054
	月間	192	250	30	30	0	0	3	0	505
2017年度	年間	2,003	2,478	315	171	2	0	12	0	4,981
	月間	167	207	26	14	0	0	1	0	415
2018年度	年間	2,330	2,924	440	293	0	2	6	0	5,995
	月間	194	244	37	24	0	0	1	0	500

④ 臨床工学科

ア. スタッフ構成

臨床工学技士	11名
主任	三宅 孝裕
	吉田 心治
	松澤 健一
主任補佐	中田 文
科員	7名

イ. 業務内容

(ア) 手術室関連業務

ステントグラフト業務の臨床業務、物品管理、また人工心肺装置の操作、その他の手術室機器保守管理

(イ) 2階病棟業務

重症患者管理のモニタリング、機械操作・設定、サポート業務

(ウ) 心臓カテーテル室業務

医師のアシスト、ポリグラフ操作などの臨床業務、物品管理、補助循環装置の操作

(エ) 血液浄化業務

人工透析、持続血液ろ過透析

(オ) アフェレシス

血漿交換、LDL 吸着、エンドトキシン吸着

(カ) ME 機器管理業務

機器の修理、点検、医療機器の保守管理、輸液・シリンジの中央管理、ラウンド

ウ. 業務実績

(ア) 手術室業務

カテーテル症例

胸部ステントグラフト	88例
腹部ステントグラフト	117例
体外循環症例	12例

(イ) ME 機器管理業務 306件

エ. 教育研修

(ア) 学会発表

2019年2月23日 JET2019 IVUS は POBA 後の解離 grade を予測できるか
講演 中田 文

(イ) 臨床工学技士養成校の実習受け入れ

日本メディカル福祉専門学校

オ. 今後の展望

多岐にわたる業務（体外循環・手術室関連、血液浄化関連、心臓カテーテル関連、ペースメーカ関連、呼吸療法関連、医療機器保守関連等）を行っており、関連職種との連携を図り、各業務を安全に遂行できるよう心がけている。

夜間、緊急時には呼び出し対応しており、24時間 on call 体制を行なっている。

⑤ 栄養サービス科

ア. スタッフ

病 院 職 員：管理栄養士 常勤10名（NST 専従者1名含む） 派遣職員1名

- ・栄養サポートチーム専門栄養士 5名
- ・TNT-D 認定管理栄養士 2名
- ・特定保健指導認定管理栄養士 3名
- ・病態栄養認定管理栄養士 1名
- ・NST コーディネーター 1名
- ・在宅栄養ケアスタッフ研修終了者 5名
- ・フードスペシャリスト 2名

給食委託会社：管理栄養士 常勤1名 栄養士 常勤7名

調理師2名 調理補助20名

イ. 業務内容・実績

(ア) 給食業務

食事提供方法：院外ニュークックチル方式にて温風式再加熱カートを使用

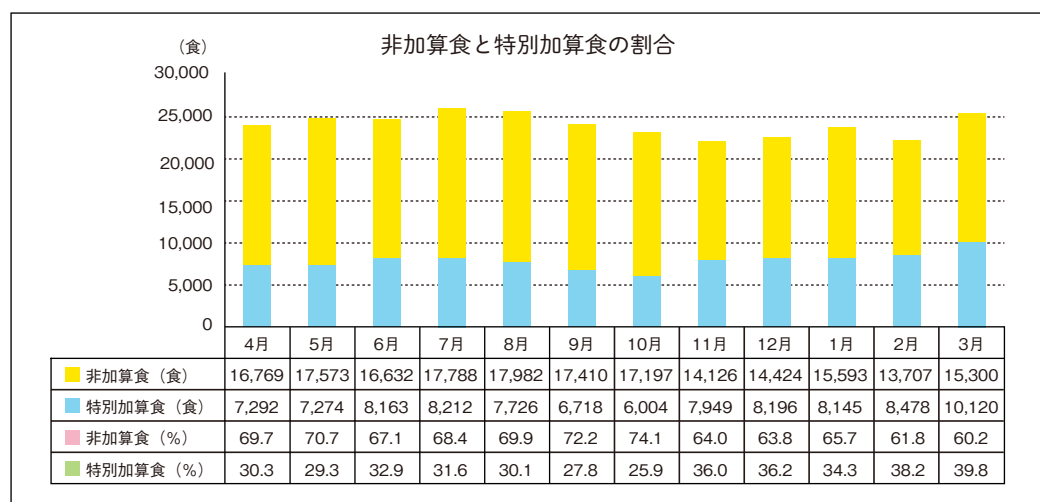
選択メニュー：回復期リハビリテーション病棟の常食喫食者に週3回昼食に実施

行 事 食：月に1回季節に合わせた献立にて実施（月1回）

個 人 対 応 食：食欲不振の方へ「お好み食」にて個人対応

小児歯科日帰り入院特別メニュー：3種

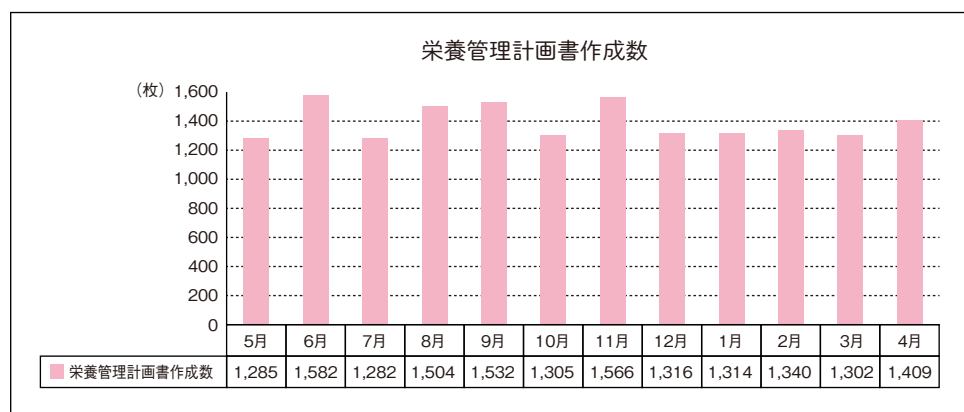
そ の 他：ケトン食、小児用経鼻注入食



(イ) 栄養管理業務

⑦ 栄養管理計画書作成

入院時の「入院診療計画書」にて「特別な栄養管理有」となった方、「特別な栄養管理無」となったが、観察が必要と思われる方について、病棟担当栄養士が計画書を作成。早期介入を行い、低栄養状態の低下予防及び改善を図る。



① カンファレンス

必要患者に対して随時参加

回復期リハ病棟入院初回カンファレンスに参加

⑦ 栄養指導

入院・外来にて実施（予約・随時）

入院：（個人）脳卒中患者の自宅での食事

術後患者の退院後の食事療法

心臓血管科入院患者に対する減塩食指導

各種疾患別食事指導

嚥下食の作成方法

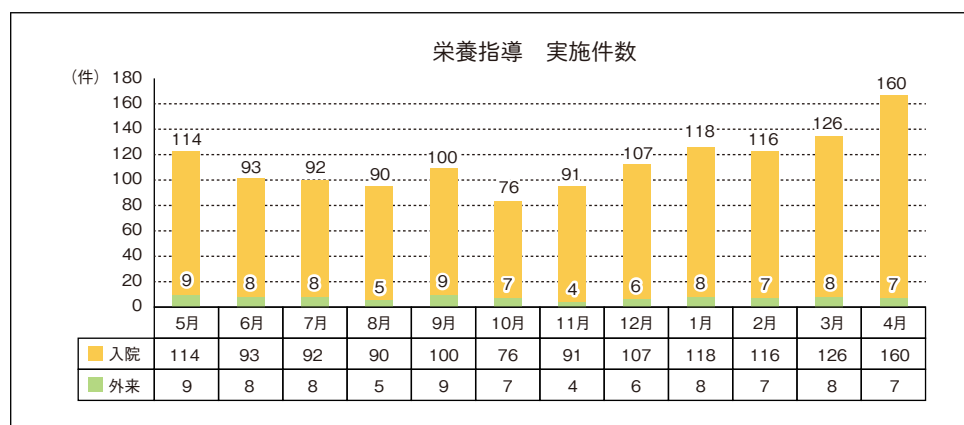
経腸栄養剤について、入院中や退院後の調整

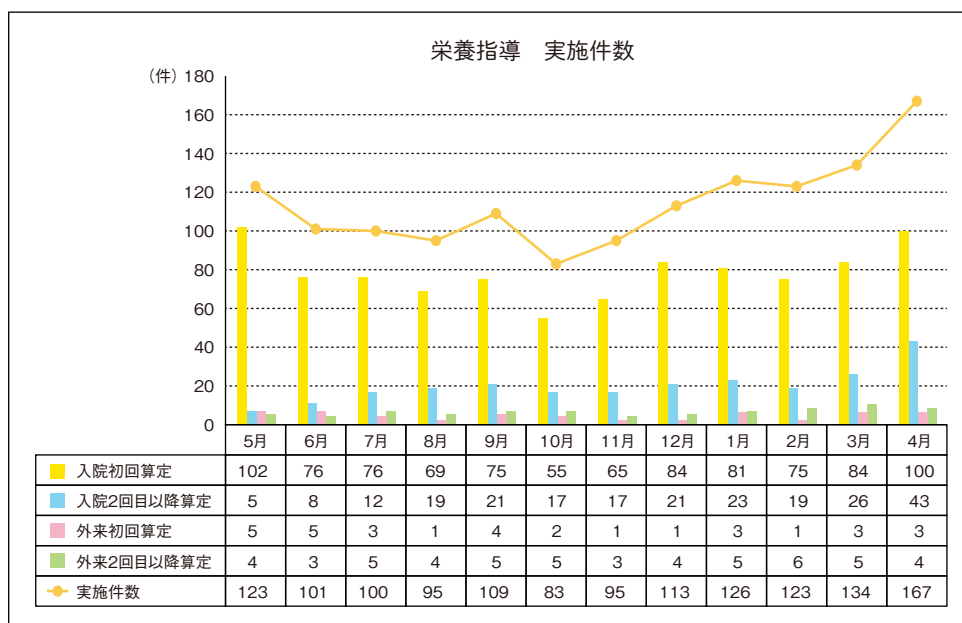
小児注入指導

（集団）母子入院の方に、「母親教室」を2か月に1回実施

脳卒中勉強会にて「生活習慣と栄養について」を担当

外来：（個人）各種疾患別食事指導





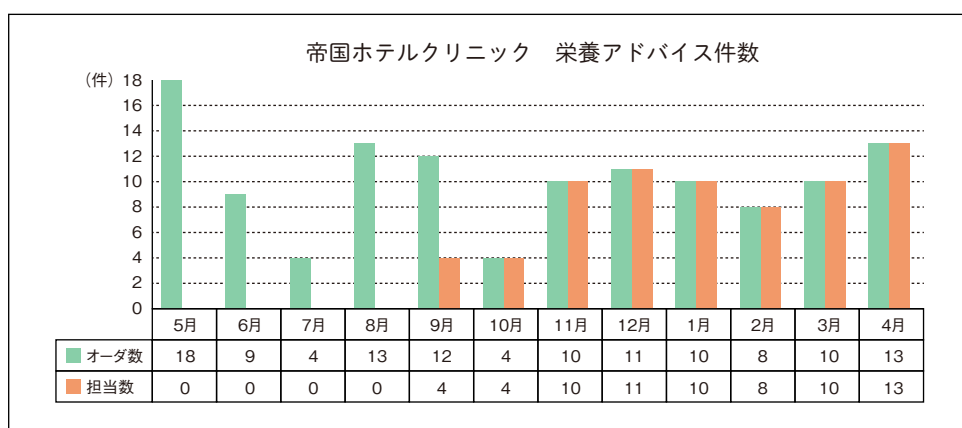
㊦ NST：管理栄養士1名がNST 専従業務を担当…別ページ参照

(ウ) 各種委員会・チーム医療への参加

- ・栄養委員会 (NST リンクナース会議、栄養剤等検討会議)
- ・リハ関連 NST 会議 ・医療安全委員会 ・感染防止委員会
- ・ケモワーキング ・地域包括ケア病棟 WG ・退院支援委員会
- ・DACSWG ・NST カンファレンス (回診) ・褥瘡委員会 (回診)

(エ) 法人内業務連携

㊦ 帝国ホテルクリニック (人間ドック) での栄養アドバイス (郵送) をボバース記念院の管理栄養士と共に担当。



㊦ Live30 コラム掲載

㊦ 健康教室参加

㊦ ボバース新病院立ち上げ応援

ウ. 教育、研究活動

(ア) 院内・法人内活動

㊦ 勉強会の開催（院内）

（院内）NST 勉強会：7月、12月、3月開催

加圧バック勉強会：3月

看護部新人研修：4月

ノロウイルス勉強会：8月

（科内）静脈経腸栄養勉強会：10月、11月、1月、2月、3月

㊧ 管理栄養養成校の実習受け入れ

期間	学校名	人数
6月11日～6月22日	園田女子学園大学	2名

(イ) 院外活動

㊦ 学会発表

第68回日本病院学会

「給食委託業者のノロウイルス無症状病原体保有者発生時の対応経験から」を発表

㊧ 地域

城東食品衛生協会栄養士部会参加

エ. 今後の展望

(ア) 良質な栄養管理の提供

- ・退院後の生活を見据えた栄養管理業務を実施。
- ・入院後早期の栄養介入、必要に応じてカンファレンスに参加。
- ・栄養情報提供書を作成し、地域関係者との連携を図る。

(イ) 栄養指導の実施

- ・退院後も継続できる個人にあった栄養及び食生活指導の実施を目指す。

(ウ) NST 活動充実（連携強化）

- ・後進の育成を進めていく。

(エ) 次期給食業務システムの検討（再加熱カート、食器等）

安全に食事提供が行えるよう、次期の検討を行う。

(オ) 人材育成

中途入職者が4名入職した。経験年数が少ない科員が半数を占めるため、フォロー体制を整え、円滑な業務を遂行する。
科内勉強会を開催し、基礎知識力を高める。

(カ) 研修会への積極的な参加及び学会発表

各種学会及び各種研修会に積極的に参加し、研鑽に励む。

(6) 事務部

① 庶務課 ② 第一フロントサービス課 ③ 第二フロントサービス課

森之宮病院事務部はフロントサービス課（入院・外来）と庶務課（庶務・秘書・電話交換手・防災センター受付、診療情報管理課）で構成している。尚、受付・会計・処方箋発行等の外来前方業務は昨年度同様にニチイに委託している。

ア. 2018年度のレセプト作成枚数は以下となる。

作成枚数		2018.4	2018.5	2018.6	2018.7	2018.8	2018.9	2018.10	2018.11	2018.12	2019.1	2019.2	2019.3
入院	基金	240	192	231	230	283	226	187	181	163	158	188	227
	国保	148	160	152	151	141	133	141	128	106	114	131	157
	後期高齢	269	276	273	282	261	252	277	300	296	293	310	289
	合計	657	628	656	663	685	611	605	609	565	565	629	673
外来	基金	2,018	2,094	2,102	2,205	2,346	2,010	1,678	1,705	1,688	1,769	1,640	1,656
	国保	1,140	1,093	1,147	1,152	1,142	1,061	1,128	1,038	1,039	1,049	958	1,049
	後期高齢	1,265	1,327	1,277	1,278	1,238	1,192	1,440	1,358	1,322	1,271	1,274	1,365
	合計	4,423	4,514	4,526	4,635	4,726	4,263	4,246	4,101	4,049	4,089	3,872	4,070

イ. 2018年度診療報酬改定近畿厚生局への施設基準関連の届け（出し直し含む）は以下となる。

- ・急性期一般病棟入院料1、感染防止対策加算の注3抗菌薬適正使用支援加算、入院時支援加算、回復期リハビリテーション病棟入院料1（注の4に係る体制強化加算1含む）、夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算、人工腎臓、導入期加算1、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、医療安全対策地域連携加算1、内視鏡による食道縫合・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖・胃瘻閉鎖・小腸瘻閉鎖・結腸瘻閉鎖・腎盂瘻閉鎖・腸瘻閉鎖・尿管腸瘻閉鎖術、障害者病棟（看護補助加算・夜間看護体制加算）
- ・介護保険通所リハビリテーションの届けを大阪市へ行う。
- ・2018年12月1日に検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料（もりりんネットに関する届け出）を新規で行う。
- ・2018年度施設基準定例報告、回復期リハビリテーションにおける実績指数報告、向精神薬多剤投与に関する報告を行う。

ウ. 医療法関連業務として、2018年10月22日に行なわれた大阪市保健所医療対策課による病院立入検査の資料準備及び当日の対応を行なう。

エ. 厚生労働省へ病床機能報告制度に基づく報告を2018年11月に行う。

オ. 庶務課業務として

- ・各種証明書（収入証明関連以外）の作成及び発行業務。
- ・稟議書、議案書の取り扱い。
- ・物品請求業務。
- ・入職時及び定期健康診断業務。定期健康診断後の指導票作成対応を行う。
- ・カルテ開示に関する業務を担当する。（2018年度の取り扱い件数38件。前年度：30件）
- ・秘書業務、電話交換業務、車両管理、防災センター受付。

- ・非常勤医師の採用計画及び勤務表作成。
- ・警備定例会議（渉外担当部長及び課長・看護管理職・リハ部管理職・事務部管理職・施設課・警備会社）の開催。
- ・補助金申請（大阪府及び大阪市救急関連医療、大阪府新人看護職員研修事業）
- ・患者及び職員満足度調査を実施。回収後、分析作業を行う。フォローアップ会議にて報告。
- ・職員満足度調査は電子カルテトップページにて職員に周知する。
- ・ストレスチェック実施、回収、結果報告を行う。
- ・小口現金の出納。
- ・職員に対する各種ワクチン接種の受付を行う。
- ・院内不在者投票、最高裁判所裁判官国民審査。
- ・医師・歯科医師・看護師・薬剤師調査報告を行う。

カ. 施設担当が計画及び実施した防災・消防関連業務は以下。

名称			対象	回／年
1	訓練1	自衛消防訓練	全職員	2回
2	訓練2	連合町防災訓練	看護部・事務部・施設課	1回
3	訓練3	発電機操作訓練	施設課 中央監視室	4回
4	訓練4	エレベーター救出訓練	施設課・中央監視室 防災センター	2回
5	訓練5	水害対策訓練	施設課 中央監視室 防災センター	2回
6	訓練6	ガス遮断弁操作訓練	施設課 中央監視室 防災センター	1回
7	訓練7	衛星電話通信訓練	施設課 防災センター	12回
8	競技会	城東区消防技術競技会	自衛消防隊	1回
9	講習会	AED 講習会	医師・看護部・事務部	1回
10	研修会1	消防設備	看護部・施設課	1回

キ. 今後の展望

3か月に渡り改修の為3階病床を閉鎖したので、大幅な減収が予想されたが、本部資材施設課との連携により、2019年1月1日より3階病棟を開設出来た。その為、大幅な減収とはならず、2019年2月より透析室開設工事を継続し、2019年5月から稼働を、2019年7月より、地域包括ケア病棟入院料2の届け出を行う予定であり、さらなる増収を見込んでいる。今後は、院内の多職種との連携、事務部からの情報発信等により、保険収入・稼働率アップを促し、可能な限りの費用発生の抑制を行い、健全な病院運営を目指していく。

④ 診療情報管理課

ア. スタッフ

診療情報管理士 4名（専任）

イ. 概要

2002年 7月 大道病院 診療部 診療録管理室 開設
 2004年 2月 診療録管理体制加算 算定開始
 2006年 4月 森之宮病院 開院／電子カルテ稼働

移転に伴い「システム管理室 診療情報管理課」へ所属・名称変更
2017年 4月 組織変更に伴い「事務部 診療情報管理課」へ所属変更

ウ. 業務内容・実績

当課では、1患者1入院毎に1つの診療録データベースを構築し、情報の収集・分類・管理を行っている。また、診療録データベースを基にデータ分析を行い、診療統計の作成や医療情報の提供等に努めている。

退院患者総数は、森之宮病院開院より13年間で46,031名となった。

<年度別 退院患者数>

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
一般	2,027	2,109	2,286	2,453	2,507	2,537	2,504	2,612	2,725	2,964	3,342	3,213	3,086
回復期	619	434	475	522	483	503	505	507	569	572	648	657	681
障害者	356	526	438	291	304	276	286	328	332	341	384	384	245
計	3,002	3,069	3,199	3,266	3,294	3,316	3,295	3,447	3,626	3,877	4,374	4,254	4,012

<年度別 平均在院日数>

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
一般	18.6	17.2	18.9	20.7	19.1	20.7	18.8	18.6	18.8	16.9	15.0	14.8	16.7
回復期	78.4	95.8	104.9	109.2	112.6	112.5	108.2	108.9	96.7	96.9	83.9	84.0	80.7
障害者	66.3	81.9	64.2	52.7	50.7	55.3	52.0	45.4	45.9	44.5	40.9	39.2	34.8
計	36.6	39.5	37.8	37.7	35.7	37.5	35.4	34.4	33.5	31.1	27.4	27.7	28.7

(ア) 入院・退院患者情報の登録

・診療録データベースの構築

(イ) 入院診療記録の量的・質的点検

- ・電子カルテ内文書管理、DACSの整備
- ・必要書類の有無及び不備の確認、訂正依頼
- ・記録内容の確認⇒オーディット（診療記録の監査）の開催
- ・診療記録への記載に関する提案

(ウ) 様式1データ登録及び提出業務〔DPC 準備病院／データ提出加算〕

<2018年度 データ登録件数及び提出状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	338	328	327	321	367	318	309	307	312	248	300	362
提出	7月提出			10月提出			1月提出			4月提出		
確認①	9月提出			－								
確認②	12月提出						－					
確認③	3月提出									－		

(エ) 退院時サマリー関連

・各医師への督促業務、作成率の報告（医局会・診療情報管理委員会）

・診療記録及びサマリーの内容点検

★国際疾病分類（ICD-10）に基づいた診断名のコーディング

⇒診療録データベースへの登録

（オ）診療統計の作成

・退院患者統計

・疾病統計

・手術患者統計

★当法人年報内「森之宮病院 統計」の項に掲載

（カ）医療情報の提供

・病院経営管理

・外部への情報提供（学会発表・研究・各種調査 等）

・施設基準に係る届出書添付書類の作成

<2018年度 データ提供内容>

◆ 施設基準関連

・急性期一般入院料1及び7対1入院基本料における自宅等に退院するものの割合〔2018年1月-6月、7月-12月〕

・ADL維持向上等体制加算：入院患者の構成／アウトカム評価・患者のADL〔2017年8月-2018年7月、2018年1月-12月〕

◆ 2018年度 病床機能報告：入院患者数の状況／入棟前の場所・退棟先の場所別の入院患者の状況／退院後に在宅医療を必要とする患者の状況

◆ 日本内科学会認定教育施設：年次報告書〔2017年度〕

◆ 日本循環器学会教育研修施設届出：循環器疾患診療実態調査〔2017年1月-12月〕

◆ 大腿骨近位部（頸部）骨折調査票〔2018年1月-12月〕

◆ 将来に向けた病院のプランに関する調査：退院・転院先の医療機関等の状況〔2017年病床機能報告より〕

◆ 厚生労働省調査：全身麻酔件数〔2017年11月-2018年10月〕

◆ 全国がん登録用患者データ〔2018年2月-2019年1月〕

◆ 死亡患者一覧〔2017年度〕

◆ 肺塞栓症患者一覧〔2017年4月-2018年9月〕

◆ 小児リハ処方箋・計画書作成状況調査〔2018年4月-8月〕

◆ 胆のう結石症・総胆管結石症患者一覧〔2017年1月-12月〕

◆ 乳腺センター科手術件数〔2018年2月-12月〕

◆ 法人ホームページ掲載・年報用データ

（小児神経科、神経内科・リハビリテーション科）〔2017年度〕 等

（キ）臨床指標（クリニカルインディケータ）関連

・Barthel Index テンプレートの管理、病棟別作成率・ADL 低下割合の報告

（ク）診療記録の準備作業（点検・印刷・編綴）

・カルテ開示請求

・レセプト再審査提出用

・大阪市保健所立入検査等の外部監査提出用

(ケ) 各種同意書の管理

- ・書類・運用の確認及び調査
- ・運用規定の改定

(コ) 電子カルテ内新規テンプレートの管理

(サ) 新規病名マスター・手術マスターの追加・更新

(シ) 紹介元・先医療機関の管理

(ス) 委員会活動

<担当事務局>

- ・診療情報管理委員会(月1回)
 - ・適切なコーディングに関する委員会(年4回)
 - ・診療記録 監査委員会 [質的監査] (年2回)
- <出席・資料発表>
- ・ベッドコントロール全体会議(月1回)
 - ・医局会(月1回)
 - ・情報システム全体会議・次期 ICT 導入検討委員会(月1回)
 - ・DACS 導入ワーキング(計8回)

エ. 教育研修

<院内研修参加>

- ・年次教育研修(感染防止委員会・医療安全管理委員会・褥瘡委員会、他)
- ・2年目フォローアップ研修

オ. 今後の展望

(ア) 診療報酬算定の維持

- ・前年度より引き続き下記の加算について要件を満たすべく、安定した業務の遂行を目指す。

◆データ提出加算2(退院時:160点)

- …入院基本料(急性期一般1 / 回復期リハ1 / 地域包括ケア2) 算定要件
- 様式1データ登録業務 / 適切なコーディングに関する委員会の運営

◆診療録管理体制加算1(入院初日:100点)

- …データ提出加算2 算定要件
- 退院時サマリーの督促・点検 / 診療情報管理委員会の運営 / 電子的な一覧表でのデータ管理

(7) 委員会活動

① 感染防止委員会

感染防止委員会は、森之宮病院における院内感染症の発生を未然に防止するとともに、感染症が発生した場合は迅速、かつ適切な対策を行うことを目的としている。定例会議は原則として月1回開催する。ただし、必要がある場合は臨時会議を開催、感染防止に必要とされる各種の方策について協議し、提案を行う。

ア. 構成

委員会は次の委員をもって構成する

- ・ 病院長
- ・ 診療部代表医師
- ・ 歯科診療部代表者
- ・ 看護部長
- ・ 看護部の代表者（感染管理認定看護師）
- ・ 診療技術部検査科代表者
- ・ 診療技術部薬剤科代表者
- ・ リハビリテーション部代表者
- ・ 事務部代表者

イ. 主な活動内容

（ア）2018年、森之宮病院は「感染防止対策加算1」を大阪国際がんセンター病院、「感染対策加算2」をボバース記念病院と連携を継続した。

地域連携は『地域全体の感染症のマネジメントをすること』ということが大前提としてあるため、がんセンター病院との相互ラウンドや各施設とのカンファレンスを実施、自施設の感染対策の見直しに繋げていくように活動を継続している。

（イ）11月 インフルエンザ流行時期を迎えるにあたり、患者や職員への早期発見や体調管理など啓発を行い、特に職員の件数及び易学的観点を把握するために、オリジナル報告書の提出依頼を継続した。

インフルエンザ職員発生人数及び職種（2018年度）

部門	診療部	診技部	看護部	リハ部	地連 MSW	合計
人数	3	8	23	15	1	50

（ウ）フォローアップ会議において、職員の針刺し件数や院内及び市中における流行性感染症の発生などの情報提供を行った。

（エ）回復期リハビリ病棟の入院はほぼ全例急性期病院からの紹介転院のため、事前に連携パスなどをもちいて医療やケア情報を収集している。急性期治療や合併症により、高度耐性菌を保有している可能性もある。医療相談室は、感染症に関する懸案があると ICT に一報があり、追加情報依頼や事前の病室調整や感染

対策を講じ、その結果、高度耐性菌による院内感染を未然に防ぐことができています。

(オ) 針刺し・切創事故のサーベイランス

- ⑦ 針刺し報告書をもとに、発生状況など確認、分析を行なう。また、看護部感染防止委員会のリンクナースが中心となり、リンクナース会で、問題点を抽出、対策など検討し、それら結果を現場へフィードバックし、啓発活動を行なっている。

針刺し件数(2018年度)

職種別	医師	看護師	検査科	合計
件数	5	7	2	14

(カ) CV カテーテル血流感染サーベイランス

2階、6階東西、7東病棟、今年度より5西病棟も参加、5病棟で継続している。
2018年度、CV カテーテル血流感染件数13件（＊2017年度は22件）

(キ) SSI サーベイランス

2011年より消化器外科対象に開始、継続している。
2018年度、消化器外科総手術件数132件 SSI 発生件数は3件

ウ. 教育研修

日時	場所	テーマ	対象	人数
2018年6月	ウッディホール	AST 活動について	全職員	150名
2018年10月	ウッディホール	自然災害と感染管理	全職員	160名

エ. 今後の展望

- (ア) ICT 活動が病院内認められる一方、求められる役割と責任も拡大している。チーム医療は、それぞれの専門性を尊重して能力を最大限に引き出すことが重要であり一人ひとりが専門性を発揮することが前提である。

医師・薬剤師・検査技師そして看護師との連携を図り、機能を発揮し効果を上げることができるチームとして活動していく。

- (イ) 2018年度からは、AST（抗菌薬使用支援チーム）が設立、薬剤耐性菌の発生・蔓延の防止、治療効果の向上、副作用防止を目的として抗菌薬の適正使用を支援する活動を開始した。主な目的は、

- ⑦ 広域抗菌薬等の特定の抗菌薬を使用する患者、菌血症等の特定の感染兆候のある患者、免疫不全患者等の特定の患者集団などを把握する。
⑧ 対象患者の適切な微生物検査・血液検査・画像検査などの実施状況を把握し、治療方針への活用状況を、AST ラウンドまたは主治医にフィードバックを行う。
⑨ 起因菌を特定するために、患者検体の適切な採取方法を推進する。

- ㊤ 抗菌薬治療の最適化のために、抗菌薬の種類や用法・容量（PK-PD、TDM）、治療期間が適切かモニタリングし、必要時、AST ラウンドまたは主治医にフィードバックを行う。
- ㊦ 指定抗菌薬（届出制）の使用状況を AST ラウンドで報告する。
抗菌薬適正マニュアル、アンチバイオグラムの見直しを行い、その活用法について啓発する。
- ㊧ 最新の情報を職員へ提供するとともに、教育・啓発を行う。
抗菌薬適正使用支援加算を算定していない医療機関から、必要時に抗菌薬適正使用の相談等をうけている。
これらを網羅して、活動を継続していく。

② 医療安全管理委員会

本委員会は、森之宮病院における医療事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供体制を確立するために設置されている。定例会議として月2回、また必要に応じて臨時会議を開催し、医療安全に必要とされる各種の方策について協議し、提案を行っている。

ア. 構成スタッフ

- ・診療部 若干名：病院長、医療安全担当医師（委員長）
医療安全管理者、患者相談窓口担当
- ・歯科診療部 1名
- ・看護部 若干名：医療安全管理者、一般病棟・回復期リハ病棟よりそれぞれ選出
- ・リハビリテーション部 1名
- ・診療技術部 若干名：医薬品および医療機器安全管理責任者
- ・情報システム課 1名
- ・事務部 若干名
- ・オブザーバ 必要に応じ選出：栄養サービス科・入院食委託業者担当ほか

イ. 主な活動内容

- （ア）インシデント・アクシデント集計と分析
- （イ）発生事例の検証
テーマを決め、代表事例の詳細報告と対応策について協議する。
また、状況に応じ院内ラウンドを実施する、あるいはアンケートを活用し必要な情報収集に努める
- （ウ）医療安全備品の検証
医療安全に関する物品について、使用対照や定数管理なども含め検討を加え、必要に応じて提案を上げる
- （エ）医療安全月報の発行
インシデント分析結果に加え、事例検証などで討議された内容や各部のトピックスについて月報をまとめ、情報共有と対策周知を図る

(オ) 全体研修会の開催

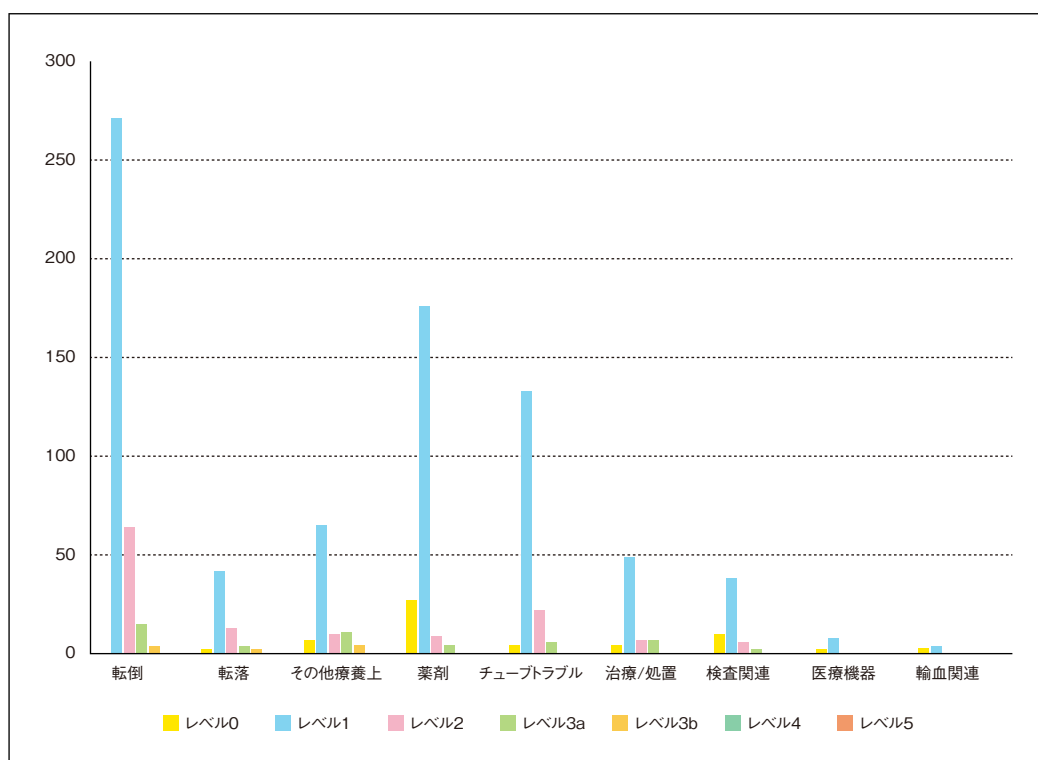
医療安全に係わる事項について、委託業者を含む全職員を対象に定期的に年2回開催する

(カ) 医療安全対策地域連携

医療安全対策加算1並びに医療安全対策加算2の届出を行っているそれぞれの保険医療機関と医療安全対策に関する連携及び評価を実施する

ウ. 2018年度 インシデント・アクシデント集計

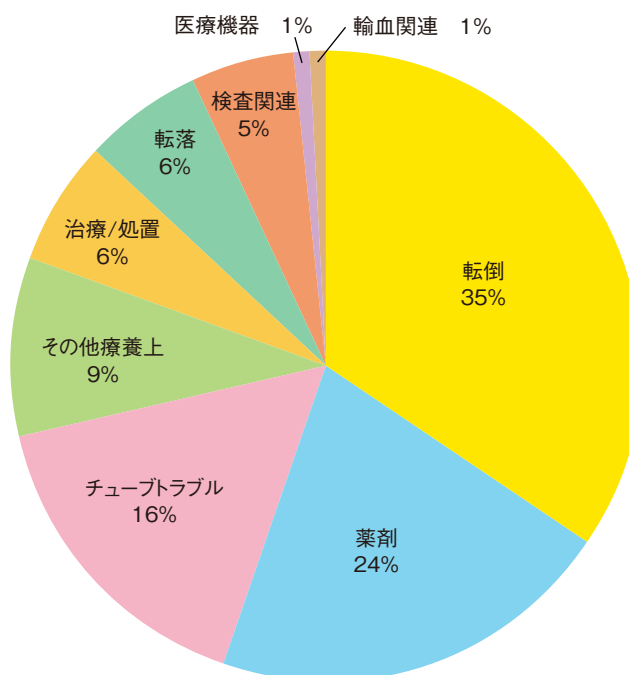
(ア) 項目別集計



2018年度	件数	割合	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3a	レベル3b	レベル4	レベル5
転倒	354	34.6%	0	271	64	15	4	0	0
転落	61	6.0%	1	42	13	4	1	0	0
その他療養上	95	9.3%	7	65	10	11	2	0	0
薬剤	214	20.9%	27	176	9	2	0	0	0
チューブトラブル	163	15.9%	2	133	22	6	0	0	0
治療/処置	65	6.4%	2	49	7	7	0	0	0
検査関連	55	5.4%	10	38	6	1	0	0	0
医療機器	9	0.9%	1	8	0	0	0	0	0
輸血関連	7	0.7%	3	4	0	0	0	0	0
合計件数	1,023	100%	53	786	131	46	7	0	0
割合 (%)			5.2%	76.8%	12.8%	4.5%	0.7%	0.0%	0.0%

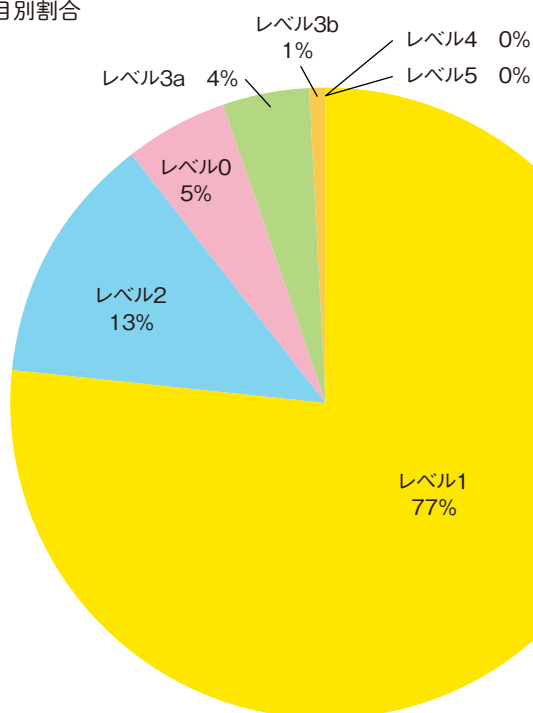
(イ) 項目別割合

【2018年度】項目別割合



(ウ) レベル別割合

【2018年度】項目別割合



(エ) レベル3b 報告詳細

	日付	事例	場所
㉗	2018年4月29日	車イス移乗時の骨折	5W
㉘	2018年5月29日	転倒骨折	中待合1
㉙	2018年7月25日	自己転倒骨折	6W
㉚	2018年8月19日	車イス移乗時の骨折	5W
㉛	2018年12月15日	無断外出先(コンビニ)で転倒 右大腿骨骨折	病院前コンビニ
㉜	2018年12月24日	夜間、病室にて転倒 右大腿骨骨折	病室
㉝	2019年2月3日	病棟トイレにて転倒 右大腿骨骨折	トイレ

(オ) 届出職種別集計

職種	件数	割合	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
医師	13	1.3%	0	0	0	3	1	1	1	4	2	0	0	1
看護師	868	84.8%	50	56	82	79	85	65	84	73	96	61	66	71
薬剤師	19	1.9%	1	2	2	5	3	0	3	1	0	1	0	1
リハ・セラピスト	46	4.5%	5	4	2	8	2	2	2	4	5	2	3	7
臨床検査技師	12	1.2%	0	0	0	0	0	0	0	2	3	5	1	1
診療放射線技師	19	1.9%	2	1	1	0	2	1	3	1	1	3	2	2
(管理)栄養士	5	0.5%	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3	0
臨床工学技士	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務(地連)	4	0.4%	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0
他(ヘルパ・MS等)	37	3.6%	2	4	1	4	3	1	4	2	3	4	3	6
合計	1,023		61	67	88	100	97	70	97	87	111	78	78	89

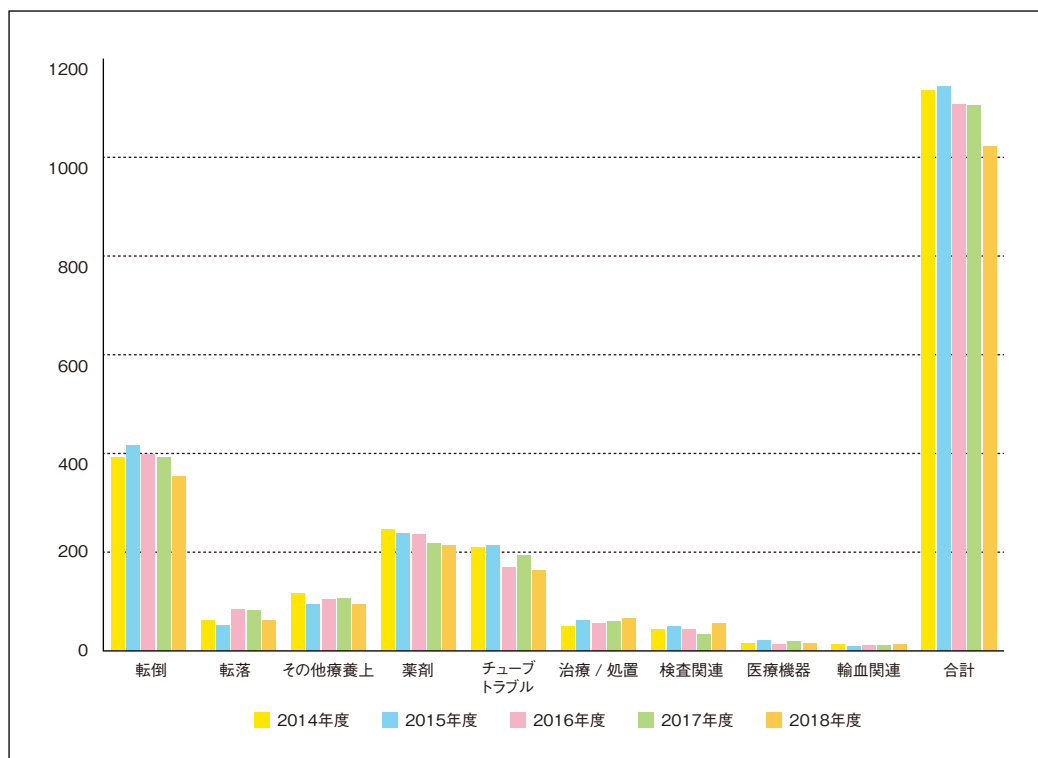
(カ) 発生部署別集計

		レベル分類							項目別分類							
		0	1	2	3a	3b	4	5	チューブ・ トラブル	検査	治療 処置	薬剤	輸血	転倒 転落	医療 機器	他の※2 療養上
場所	詳細\合計	53	786	131	46	7	0	0	163	55	65	214	7	415	9	95
病棟	2F	0	13	1	0	0	0	0	2	0	2	5	2	0	3	0
	3F	0	22	2	0	0	0	0	0	0	1	5	0	14	0	4
	4W	2	67	19	3	0	0	0	14	1	3	24	0	36	1	12
	4E	1	86	23	6	0	0	0	25	0	6	17	0	58	0	10
	5W	0	52	9	3	3	0	0	9	1	4	12	1	29	0	11
	5E	2	147	14	1	0	0	0	25	1	6	33	0	85	0	14
	6W	2	92	7	5	1	0	0	21	3	6	27	1	45	2	2
	6E	1	51	11	7	1	0	0	9	3	1	21	1	33	0	3
	7W	5	104	16	0	0	0	0	29	2	6	20	0	59	0	9
	7E	4	63	13	4	1	0	0	18	3	6	17	0	33	0	8
館内	手術・カテ室	2	12	0	1	0	0	0	3	2	3	3	1	0	3	0
	病室	0	8	2	1	0	0	0	2	0	1	0	0	8	0	0
	処置室	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	詰所・廊下他	1	3	1	3	0	0	0	0	0	2	0	0	5	0	1
	リハ室	0	1	3	7	0	0	0	0	0	4	0	0	3	0	4
	トイレ・浴槽	0	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	1
	事務室他	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
外来	診察室	1	2	2	2	0	0	0	0	1	4	1	0	0	0	1
	中央	4	17	0	0	1	0	0	0	6	7	7	0	1	0	1
	救急	4	9	0	0	0	0	0	1	5	1	3	0	0	0	3
	ケモ室	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	歯科	1	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1
診技	画像・内視鏡	4	12	5	1	0	0	0	2	19	0	1	0	0	0	0
	検査	5	2	0	0	0	0	0	0	6	0	0	1	0	0	0
	薬剤	13	3	1	1	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0
屋外		0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5
その他※1		0	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2

※1 その他：自宅、外出時、外泊時、記載ナシ、など

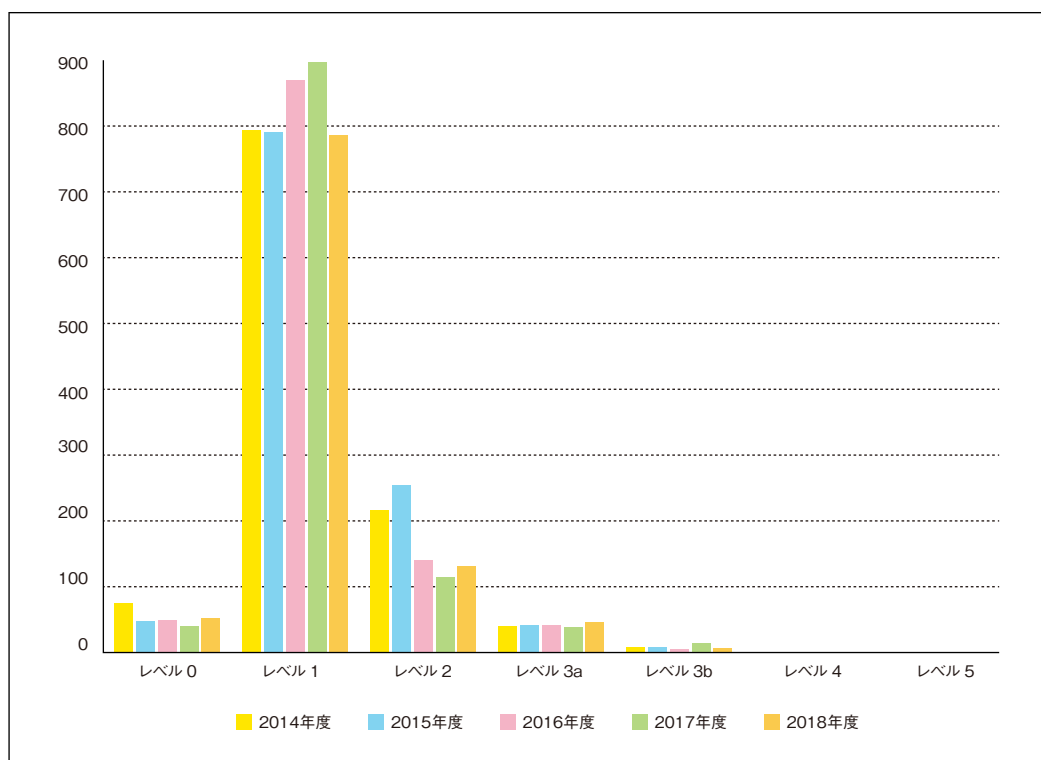
※2 他の療養上：搬送・移送、給食・栄養管理など、転倒以外の療養上の事項

エ. 年度別（2014年度～2018年度）インシデント・アクシデント集計
 (ア) 項目別集計



	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
転倒	392	416	399	392	354
転落	61	51	85	82	61
その他療養上	117	94	105	107	95
薬剤	247	239	236	218	214
チューブトラブル	209	213	169	194	163
治療 / 処置	49	62	56	60	65
検査関連	43	49	43	33	55
医療機器	10	15	8	13	9
輸血関連	7	4	6	6	7
合計	1,135	1,143	1,107	1,105	1,023
1床当りの 月間届出指数	0.27	0.27	0.26	0.26	0.24

(イ) レベル別集計



	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
レベル0	75	48	50	40	53
レベル1	794	791	870	897	786
レベル2	216	254	140	115	131
レベル3a	41	42	42	39	46
レベル3b	9	8	5	14	7
レベル4	0	0	0	0	0
レベル5	0	0	0	0	0
合計	1,135	1,143	1,107	1,105	1,023

オ. 2018年度 医療安全月報 (担当と主な内容)

発行	号	担当科	主な内容
2018.4月	106	医療安全管理室 医療安全管理者	・2017年度 インシデント年間集計報告
2018.5・6月 合併号	107	栄養サービス科 日清医療食品(委託業者)	・異物混入防止の取り組み
2018.7月	108	リハビリテーション部	・骨折対応レクチャー
2018.8・9月 合併号	109	薬剤科 医薬品安全管理責任者	・薬剤アレルギー登録
2018.10月	110	医療安全管理室 医療安全管理者	・医療安全対策地域連携 (大阪赤十字病院訪問)
2018.11月	111	医療安全管理室 医療安全管理者	・医療安全対策地域連携 (大阪赤十字病院来訪)
2018.12月	112	看護部	・血管外漏出
2019.1月	113	医療安全管理室 医療安全管理者	・個人情報の取り扱い
2019.2月	114	臨床検査科	・検体提出時の留意点
2019.3月	115	医療安全管理室 医療安全管理者	・医療安全対策地域連携 (ボバース記念病院訪問)

③ 褥瘡委員会

ア. 委員会構成

委員長 医師；畠中めぐみ / 副委員長 医師；小竹淳一郎
皮膚・排泄ケア認定看護師；正壽佐和子
各病棟リンクナース12名・作業療法士・管理栄養士・薬剤師

イ. 活動目的

褥瘡委員会活動目的：森之宮病院における褥瘡対策を協議・検討し、その効率的な推進を図る

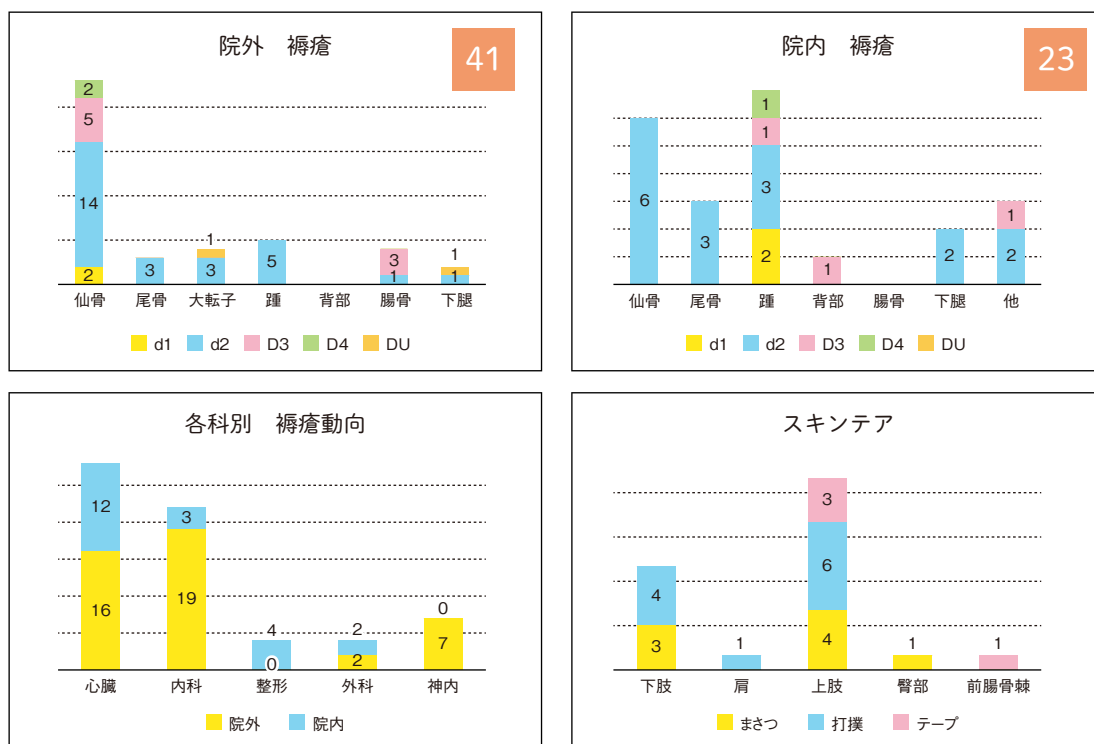
褥瘡委員会開催：定例第2木曜日 創傷廻診：週1回

ウ. 褥瘡状況と委員会活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入院数	306	312	302	303	320	270	309	271	275	243	304	313	294
褥瘡有病件数	9	9	10	7	6	7	3	8	5	7	12	9	8
褥瘡発生件数	2	3	7	3	2	5	1	6	2	2	2	3	3
褥瘡有病率 %	2.94	2.88	3.31	2.31	1.88	2.59	0.97	2.95	1.82	2.88	3.95	2.88	2.61
褥瘡推定発生率 %	0.65	0.96	2.32	0.99	0.63	1.85	0.32	2.21	0.73	0.82	0.66	0.96	1.09
新規発生数	0	1	7	1	1	2	2	2	1	0	3	1	1.25

院外からの持ち込み褥瘡41件、院内発生23件、合計64件の褥瘡有病症例があった。褥瘡の院内発生は一時的に増加する月があり病棟への啓発強化を要する状況があったが、功を奏し低下に導くことができた。年間としては平均1.09%の水準となり、病院開設以来、初めて1%を超える発生となった。発生要因の分析の結果、重症度の高い症例での発生を認め、半数以上を心臓血管センターの患者が占めていた。クリティカル領域の褥瘡発生予防の強化が必要と示唆された。褥瘡有病率は平均2.61%と前年と変わらない数値で推移した。

罹病は内科入院患者が最も多く、部位は例年通り仙骨部が多かった。各リンクナースは、自部署における役割を果たすべく積極的に勉強会開催や、チームへの働きかけを行っていた。また、NST活動により褥瘡保有者の栄養管理が円滑に行われているため、褥瘡治癒環境が早期に整えられ褥瘡の早期治癒の一助となっている。多職種協働が、褥瘡管理において欠かせない状況であり、今後もさらに推進していきたい。委員会では、褥瘡だけでなく脆弱皮膚を有する患者のスキンケアについて周知できるよう情報提供を行い、また、標準予防対策と発生時の対応についてマニュアルを作成し、昨年に比べ院内発生数は減少している。



エ. 教育研修

活動	日時	場所
看護部褥瘡研修新人研修【I A】 褥瘡の基礎と管理・スキンケアについて	2018年4月3日	森之宮病院
褥瘡予防について1【I B】 患者に合った褥瘡予防に必要なケアを実践する	2018年5月10日	森之宮病院
褥瘡予防について2【II】 スキントラブル・創傷治療	2018年7月12日	森之宮病院
継続看護とチームワーク【III】 褥瘡に対する継続ケアが必要な場合に、調整することができる	2018年8月9日	森之宮病院
院内全体研修：褥瘡対策について	2019年3月19日	森之宮病院

オ. 今後の活動展望

院内褥瘡管理は、対象の特徴にも配慮し常にアップデートを図った管理体制としたい。そのためにも、学会報告等、新しい情報を委員会活動の中に取り入れて、院内褥瘡管理を牽引していく。引き続き、予防ケア教育含め、院内褥瘡管理を担う人材育成を行い院内褥瘡発生予防に努める。患者の高齢化により、褥瘡以外のスキンケア、医原性創傷など新しいカテゴリーの創傷が当院において増えている。次年度は、クリティカル領域の患者の褥瘡発生と、褥瘡以外の皮膚障害ケアについて、予防を含め発生低下につながるようにケアの標準化に向けて広い視点で活動していきたい。

④ NST委員会

ア. 目的

低栄養、もしくは栄養摂取量の不足などの理由で、適切な栄養管理が必要と判断された患者に対して、多職種チームで効果的な栄養療法を検討し、疾病の治療効果促進、合併症予防を図り、患者の早期退院を目的とする。

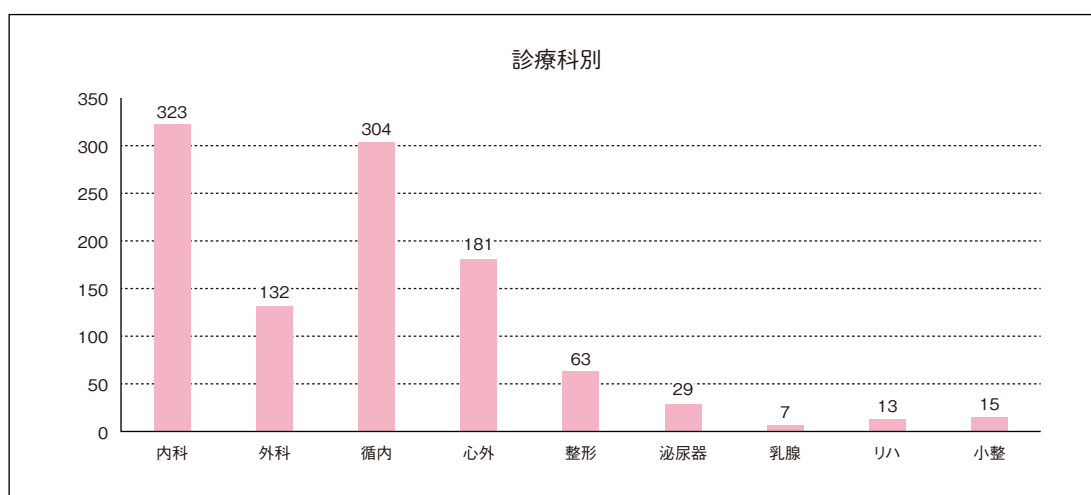
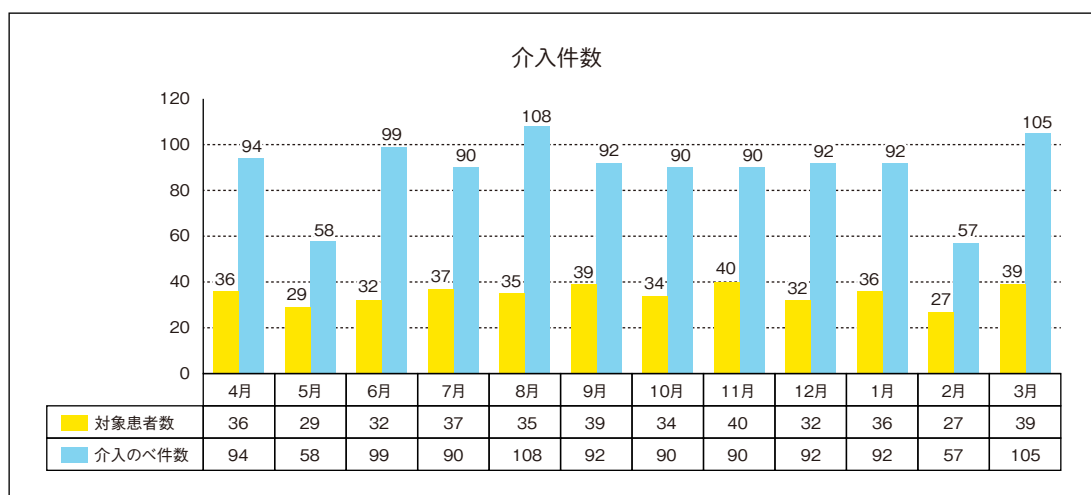
イ. スタッフ

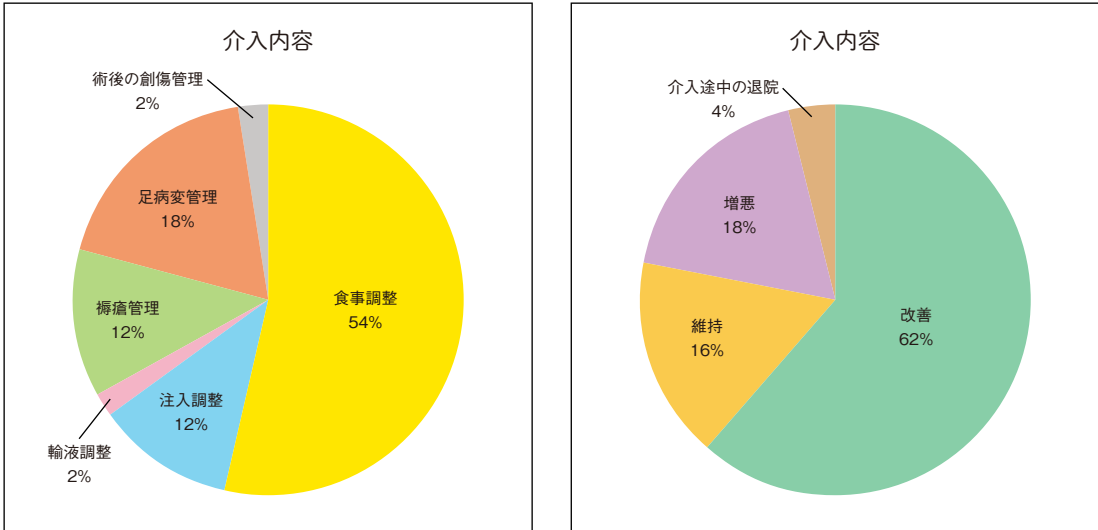
医師 2名 歯科医師 1名 管理栄養士 1名 看護師 4名 薬剤師 2名
臨床検査技師 2名 (協力)医療社会事業課、フロントサービス課、医療クラーク科

ウ. 活動内容

- ・急性期病棟の低栄養患者についてカンファレンスと回診の実施(週1回)
毎週金曜日:14:00～17:00
- ・病院スタッフを対象にしたNST 啓発の為の勉強会開催(3回/年)
- ・歯科口腔外科医の協力のもと、NST 介入中の患者に対して口腔内評価を行い、歯科医師連携加算の算定を実施。
- ・介入件数(のべ)…1,067件/年

エ. 業務実績





オ．教育研修

【院内勉強会】

開催日		テーマ
7/18	(水)	嚥下障害を起こしやすい薬剤について
12/3	(月)	チームで行う退院支援
3/25	(月)	介護食の調理実習

カ．今後の展望

- ・病棟との連携を図り低栄養患者の把握に努め、より早い段階での栄養介入を行なう。
- ・栄養についての知識をリンクナースにも深めてもらえるよう、栄養委員会を通し、情報伝達していく。
- ・計画的に院内勉強会を開催し、NST 活動の普及に努める。
- ・NST 後進の育成。

⑤ 教育研修・図書委員会

院内勉強会

2018年度テーマ チーム医療を進めよう!

2014年以降のテーマ 「自分達自身を良く知る」→2015年度「他職種との仲間意識を高めよう!」

→2016年度「コミュニケーション!」→2017年度「みんなで問題解決に取り組もう!」

	内 容	対 象	場 所	主 催	参加人数
4月26日(木) 17:30～18:30	診療報酬改定について 「わからへん」→「なんか聞いたことある～」になる!!	全職員	2階 ウツティホール	教育研修図書委員会	133
5月22日(火) 17:30～18:30	『認知症ケア』～あなたの関わりで変えられる～			教育研修図書委員会	87
7月4日(水) 17:30～18:30 (6/19より延期)	感染勉強会 抗菌薬適正使用支援チーム(AST)活動について 給食委託職員からのノロ健康保菌者発覚! ICT からみた当時の状況と対策			感染防止委員会	177
7月19日(木) 17:30～19:00	医療安全管理委員会報告 7月8月連続企画 「医療安全とチームステップス」			医療安全管理委員会	138
8月16日(木) 17:30～19:00				教育研修図書委員会	114
9月11日(火) 17:30～18:30	BLS勉強会 『できないじゃ、すまされない!! 医療職が身につけておくべき救急蘇生法 2018年』			BLSメンバー	57
10月16日(火) 17:30～18:30	感染勉強会 自然災害と感染管理～なにを見据え・どう備えていくか～ 免疫のおはなし ～はたらく細胞～			感染防止委員会	152
11月15日(木) 17:30～18:30	CS 委員会報告 テーマ:「お互いに心地よい接遇・対応」 ～ファーストコンタクトを丁寧に～			CS 委員会	71
12月20日(木) 17:30～18:30	地域包括ケア病棟始動前夜 地域社会と病院と地域包括ケアシステム 大道会最前線!!知らないでは済まされない!!私たちが目指す姿と役割 ～2025年まであと6年!! わかるまで帰れま10!!～			教育研修図書委員会	120
1月17日(木) 17:30～18:30	医療安全管理委員会報告2 「医療ガス安全管理委員会」から 「血液製剤の運用・管理について」 「個人情報の取り扱い」			医療安全管理委員会	148
2月21日(木) 17:30～18:30	理事長を交えて、楽しい多職種連携について知ろう!			教育研修図書委員会	112
3月19日(火) 17:30～18:30	褥瘡勉強会 院内褥瘡管理の実際と活動の広がり			褥瘡委員会	113

⑥ 倫理委員会

森之宮病院 倫理委員会審査申請テーマ一覧

回	開催日	番号	審査申請テーマ	申請者（肩書きは当時）
第117回	2018年 1月24日	No.312	「脳血管疾患に対する当院入院理学療法の効果 -- アウトカム評価導入前後での比較 --」	リハビリテーション部 理学療法科 科長
		No.313	「マニュアルシートを用いた食事支援方法の共有」	リハビリテーション部 言語療法科 主任
		No.171-1	「腹部ステントグラフト内挿術後 Type II エンドリークに対するトラネキサム酸の効果に関するオープンラベル単一施設ランダム化並行群間比較試験」	診療部 心臓血管外科部長
		No.314	「退院支援スクリーニングシートの活用状況と業務負担の改善、簡略化を図る」	看護部 7東看護師
		No.122-6	「マルファン症候群、ならびに若年発症大動脈瘤・大動脈解離家系の遺伝子解析」（6th 提出）	診療部 心臓血管外科部長
		No.315	「社会医療法人主催のボバース概念による脳卒中の評価と治療の講習会における患者の同意書」	リハビリテーション部 作業療法科 副部長
第118回	2018年 2月14日	No.295-2	「障害児家族の適切な親子分離をはかり親子それぞれの社会的自立を促すための支援パッケージ開発に関する研究」	神経リハビリテーション部
		No.316	「Japan Endovascular Treatment Conference2018のライブデモンストレーションの開催承認について」	診療部 循環器内科 医長
		No.317	「環境設定・家族との協働支援により在宅不安定期から安定期に繋がった1例」	リハビリテーション部 作業療法科
第119回	2018年 2月28日	No.276-2	「大腿膝窩動脈病変を有する閉塞性動脈硬化症患者に対する血管内超音波併用下でのステントグラフトを用いた血管内治療の安全性と有効性に関する多施設・前向き研究」	診療部 循環器内科 医長
		No.122-7	「マルファン症候群、ならびに若年発症大動脈瘤・大動脈解離家系の遺伝子解析」（7th 提出）	診療部 心臓血管外科部長
		No.221-2	「動作解析、筋電計測による脳卒中リハビリテーションに関する研究」修正再提出	神経リハビリテーション部 部長
		No.318	「早産期の慢性ビリルビン脳症（核黄疸）によるアテトーゼ型脳性麻痺の臨床的特徴についての後方視的検討」	診療部 小児神経科 医長
		No.218-1	「早産期におけるビリルビン UDP- グルクロン酸転移酵素（UGT1A1）の遺伝子多型と核黄疸発症のリスク予見・予防のための研究」※追加研究	診療部 小児神経科 医長
第120回	2018年 3月28日	No.319	「大腿膝窩動脈病変を有する閉塞性動脈硬化症患者に対する薬剤溶出性バルーンを用いた血管内治療の安全性と有効性に関する検討ならびに長期成績の評価」	診療部 循環器内科 医長
第121回	2018年 4月25日	No.320	「障害者に対する全身麻酔下歯科治療後のラリンジアルマスクエアウェイ抜去のタイミングについての研究」	歯科診療部 部長
		No.321	「全身麻酔導入時ラリンジアルマスクエアウェイ挿入前に歯の脱落を認めた脳性麻痺患者についての研究」	歯科診療部 歯科医師
		ボバース No. 75	「当院における全身麻酔、静脈内鎮静下歯科治療におけるブリーフィングの効果についての調査」	歯科診療部 歯科医師
第122回	2018年 5月23日	No.322	「重症下肢虚血患者における足関節底背屈運動と実施姿勢の関係」	リハビリテーション部 理学療法科 主任
		No.323	「aplit-belt を使用したトレッドミル歩行の動作分析」	リハビリテーション部 理学療法科
		No.324	「当院言語療法科における集団コミュニケーション療法の実践」	リハビリテーション部 言語療法科
		No.325	「多職種連携による業務の質的向上を目指した取り組み」～4階西病棟における食事支援体制の検討～	リハビリテーション部 言語療法科
		No.326	「歯科診療室における一次救命処置トレーニングの質的向上の研究」	歯科診療部 副部長 歯科衛生士
		No.327	「お箸操作の獲得に向けて、把持・操作パターン分析をもとに自助具のマネジメントをした一例」	リハビリテーション部 作業療法科
		No.191-4	「J-ORCHESTRA Study 本邦における弓部大動脈疾患に対する術式における評価」（旧：弓部大動脈疾患に対する術式のエビデンス構築）	診療部 心臓血管外科部長
		No.328	「LEVEL ライブデモンストレーションの開催承認について」	診療部 循環器内科 医長
第123回	2018年 6月27日	No.329	「線条体黒質変性症患者の足部クリアランス改善に向けて介入を行った一症例」～立脚中期に着目して～	リハビリテーション部 理学療法科
		No.330	「症例報告：知覚と運動の関係に着目した脊髄動静脈瘤の一症例」	リハビリテーション部 作業療法科

回	開催日	番号	審査申請テーマ	申請者（肩書きは当時）
第123回	2018年 6月27日	No.331	「病院歯科に関して当院新入職者に対して実施した意識調査」	歯科診療部 部長
		No.332	「一般病棟の専従・専任セラピストの業務に関する満足度、重要度アンケート調査」	リハビリテーション部 作業療法科
		No.295-3	「障害児家族の適切な親子分離をはかり親子それぞれの社会的自立を促すための支援パッケージ開発に関する研究 ※実施施設の追加」	神経リハビリテーション部 副部長
第124回	2018年 7月25日	No.333	「当院における退院後の日常生活機能評価得点（FIM）の経過の分析」	リハビリテーション部 作業療法科 科長
		No.334	「症例報告：重度感覚障害と運動方向の認知の難しさを呈した症例に対し、上衣更衣動作の介助量軽減に向けた取り組み」	リハビリテーション部 作業療法科
		No.335	「症例報告：自主練習の定着を図ったことで治療効果が持続し洗体動作が自立となった1例」	リハビリテーション部 作業療法科
		No.336	「移乗評価シートを用いた動作評価と臨床スコアとの関連」	リハビリテーション部 理学療法科 主任
		No.337	「脳性まひ児に対する長期入院理学療法効果」 ～GMFMの下位項目に着目して～	リハビリテーション部 理学療法科 科長
		No.295-4	「障害児家族の適切な親子分離をはかり親子それぞれの社会的自立を促すための支援パッケージ開発に関する研究」 ※実施施設の追加	神経リハビリテーション部 副部長
		No.319-2	「大腿膝窩動脈病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症患者に対する薬剤溶出性バルーンを用いた抹消血管内治療に関する多施設前向き研究」 ※研究名称の変更のみ	診療部 循環器内科 医長
		ボバース No.77	「脳性麻痺患者の週末の過ごし方について考える」	看護部 3階病棟 看護師 主任
第125回	2018年 9月26日	No.338	「脳卒中片麻痺患者のトイレ動作自立」 ～非麻痺側体幹に着目して～	リハビリテーション部 作業療法科
		No.339	「症例報告：痺れの主観的尺度に着目して、痺れの緩和方法と自主練習を検討した1症例」	リハビリテーション部 作業療法科
		No.340	「症例報告：ギラン・バレー症候群を呈した症例について」	リハビリテーション部 理学療法科
		No.276-3	「大腿膝窩動脈病変を有する閉塞性動脈硬化症患者に対する血管内超音波併用下でのステントグラフトを用いた血管内治療の安全性と有効性に関する多施設・前向き研究」 ※研究計画書の改訂	診療部 循環器内科 医長
		No.293-1	「大腿膝窩動脈領域における血管内治療の多施設前向きレジストリー研究」 ※研究計画書の改訂	診療部 循環器内科 医長
第126回	2018年 10月24日	No.341	「慢性疼痛に対する運動器カテーテル治療」	診療部 循環器内科 医長
		ボバース No. 78	「早産時の慢性ビリルビン脳症（核黄疸）によるアテトーゼ型脳性麻痺の家族の介助負担と治療効果に関するアンケート調査」	診療部 小児神経科 医長
		No.342	「日本心血管インターベンション治療学会（CVIT）専門医技能評価の為のPCI手技のシネアングリオ画像使用の承諾」	診療部 循環器内科 医師
		No.343	「症例報告：若年の脳卒中患者において、復職及び自宅での生活に向けて自主練習の定着した一例」	リハビリテーション部 作業療法科 科長
		No.344	「症例報告：右視床出血により痙攣性麻痺を呈した症例の歩行獲得に向けて」	リハビリテーション部 理学療法科
第127回	2018年 11月28日	No.345	「脳卒中患者に対する左右独立免荷歩行の臨床実証」	神経リハビリテーション研究部 医師
		No.346	「下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療焼灼術」	診療部 循環器内科 医長
		No.347	「A病院リハビリテーション部における、育児中女性セラピストの復職・勤務継続支援とキャリアアップ支援について」	リハビリテーション部 作業療法科 副部長
		No.348	「症例報告：左片麻痺患者の反張膝に着目し歩行の改善を目指した症例」	リハビリテーション部 理学療法科
		No.349	「症例報告：右重度片麻痺、全失語を呈した左被殻出血に対して立ち上がり動作改善を目指した1症例」	リハビリテーション部 理学療法科
		ボバース No. 79	「手ってすごいな」	リハビリテーション部 作業療法科 主任
		ボバース No. 80	「聴きたい気持ちと手をつなぐ ～「…したい」を育てるスイッチ～」	リハビリテーション部 作業療法科 主任
		ボバース No. 81	「どこでも握り棒」	リハビリテーション部 作業療法科

回	開催日	番号	審査申請テーマ	申請者（肩書きは当時）
第127回	2018年 11月28日	ボバース No. 82	「病院再編に伴う作業療法科の新しい取り組みに関して」	リハビリテーション部 作業療法科 副部長
		ボバース No. 83	「選択的脊髄後根神経切除術後、直接引継ぎを実施した症例について」	リハビリテーション部 理学療法科
第128回	2018年 12月12日	No.350	「中足指節関節の背屈運動を再現できる短下肢装具に関する実証研究」	リハビリテーション部 作業療法科 主任
		No.351	「症例報告：視床～放射冠出血による左不全片麻痺者に対する随意運動助型電気刺激装置を併用した課題試行型アプローチ」	リハビリテーション部 作業療法科 主任
		No.352	「早期からの移乗動作指導と移乗FIM利得の関係性」	リハビリテーション部 理学療法科
		No.353	「専従セラピストと看護師の移乗の動作指導の有用性」	リハビリテーション部 理学療法科
		No.354	「症例提示：軽度左半側空間無視に対して机上課題を中心とした介入を行った症例」	リハビリテーション部 言語療法科
		No.355	「症例報告：前頭葉出血により発動性低下を呈した症例の日常生活動作能力向上に向けて」	リハビリテーション部 理学療法科
		No.356	「症例報告：脊髄小脳変性症患者に対して Goal attainment Scaling (GAS)を導入し、ADLに改善が見られた一症例」	リハビリテーション部 理学療法科
		No.357	「転倒予防に着目した、脊髄小脳変性症患者への短期間集中リハビリテーション」	リハビリテーション部 理学療法科 主任
		No.358	「症例報告：歩行時の足部躓きに対し、定期的な評価・臨床推論によって改善した放射冠梗塞後左片麻痺を呈した一症例」	リハビリテーション部 理学療法科

⑦ 治験審査委員会

ア. 構成スタッフ

本委員会は外部委員3名を含む10名で構成されている。

イ. 活動内容

（ア）審査資料の確認

治験審査委員会は、その責務の遂行のために、審査資料として必要な最新の文書を院長から入手し、別途定める標準業務手順書に基づき、審議及び確認を行う。

（イ）委員会審査

⑦ 治験審査委員会の開催

原則として毎月第4水曜日に開催している。

① 治験審査委員会議事録の作成

⑤ 会議の記録の概要の作成

（ウ）治験審査委員会の公表に関する業務

（エ）記録保存

ウ. 活動実績

本年度は以下の通り10回開催した。

第60回	開催日時	2018年4月25日(水) 16:30-17:05
	議題1	腹部大動脈瘤患者を対象とした INC-001 の多施設共同、非盲検、前向き、非無作為化試験
	依頼者	Cardinal Health Japan 合同会社
	審議事項	①治験実施状況報告書
	審議結果	承認
	議題2	胸部大動脈瘤ステントグラフト ZTLP 臨床試験
	依頼者	CookJapan 株式会社
	審議事項	①安全性情報等に関する報告書
	報告事項	①治験終了報告書 ②開発の中止等に関する報告書
	審議結果	承認
	議題3	膝下動脈の血管形成術において MD03-LDCB と標準的なバルーンを比較する前向き多施設共同単盲検無作為化比較臨床試験
	依頼者	株式会社メディコン
	審議事項	①安全性情報等に関する報告書 ②治験に関する変更申請書
	審議結果	承認
	議題4	血液透析患者の膝下動脈の血管形成術において標準的なバルーンを対照とする MD03-LDCB の前向き多施設共同単盲検無作為化臨床試験
	依頼者	株式会社メディコン
第61回	審議事項	①安全性情報等に関する報告書 ②治験に関する変更申請書
	審議結果	承認
	議題5	テルモ株式会社の依頼による TCD-0015-16 の臨床試験
	依頼者	テルモ株式会社
	審議事項	①治験依頼書
第62回	審議結果	承認
	議題6	浅大腿動脈及び近位膝窩動脈病変の治療における BSJ011R と標準的なバルーン血管形成術を比較するランダム化試験
	依頼者	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
	審議事項	①安全性情報等に関する報告書 ②治験に関する変更申請書
	審議結果	承認
第61回	開催日時	2018年5月23日(水) 16:30-16:35
	議題1	腹部大動脈瘤患者を対象とした INC-001 の多施設共同、非盲検、前向き、非無作為化試験
	依頼者	Cardinal Health Japan 合同会社
	審議事項	①安全性情報等に関する報告書
	審議結果	承認
第62回	開催日時	2018年6月27日(水) 16:30-17:20
	議題1	テルモ株式会社の依頼による TCD-0015-16 の臨床試験
	依頼者	テルモ株式会社
	審議事項	①治験に関する変更申請書
	審議結果	承認
	議題2	腹部大動脈瘤患者を対象とした INC-001 の多施設共同、非盲検、前向き、非無作為化試験
	依頼者	Cardinal Health Japan 合同会社
	審議事項	①安全性情報等に関する報告書
	審議結果	承認

第 62 回	議題3	膝下動脈の血管形成術において MD03-LDCB と標準的なバルーンを比較する前向き多施設共同単盲検無作為化比較臨床試験
	依頼者	株式会社メディコン
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書
	審議結果	承認
	議題4	血液透析患者の膝下動脈の血管形成術において標準的なバルーンを対照とする MD03-LDCB の前向き多施設共同単盲検無作為化臨床試験
	依頼者	株式会社メディコン
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書
	審議結果	承認
	議題5	JLL-LEG による重症下肢虚血疾患を対象とする比較臨床試験
	依頼者	日本ライフライン株式会社
	審議事項	①安全性情報等に関する報告書
	審議結果	承認
	議題6	症候性末梢動脈疾患を有する患者の大腿膝窩動脈に使用する BioMimics 3D スtentシステムの安全性及び有効性の評価
	依頼者	株式会社メディコスヒラタ
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書
	審議結果	承認
	議題7	浅大腿動脈及び / 又は近位膝窩動脈病変の治療における BSJ007E のランダム化比較試験
	依頼者	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
第 63 回	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ②安全性情報報告
	審議結果	承認
	議題8	浅大腿動脈及び近位膝窩動脈病変の治療における BSJ011R と標準的なバルーン血管形成術を比較するランダム化試験
	依頼者	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書
	審議結果	承認
	開催日時	2018年7月25日(水) 16:35-16:50
	議題1	症候性末梢動脈疾患を有する患者の大腿膝窩動脈に使用する BioMimics 3D スtentシステムの安全性及び有効性の評価
	依頼者	株式会社メディコスヒラタ
	審議事項	①重篤な有害事象に関する報告
	審議結果	承認
	議題2	浅大腿動脈及び / 又は近位膝窩動脈病変の治療における BSJ007E のランダム化比較試験
	依頼者	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
	審議事項	①重篤な有害事象に関する報告
	審議結果	承認
	議題3	浅大腿動脈及び近位膝窩動脈病変の治療における BSJ011R と標準的なバルーン血管形成術を比較するランダム化試験
	依頼者	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
	審議事項	①重篤な有害事象に関する報告 ②安全性情報等に関する報告
	審議結果	承認
第 64 回	開催日時	2018年9月26日(水) 16:30-16:48
	議題1	腹部大動脈瘤患者を対象とした INC-001 の多施設共同、非盲検、前向き、非無作為化試験
	依頼者	Cardinal Health Japan 合同会社
	審議事項	①安全性情報等に関する報告書
	審議結果	承認

第64回	議題2	膝下動脈の血管形成術において MD03-LDCB と標準的なバルーンを比較する前向き多施設共同単盲検無作為化比較臨床試験
	依頼者	株式会社メディコン
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ②安全性情報等に関する報告書 ③治験実施状況報告書
	審議結果	承認
	議題3	血液透析患者の膝下動脈の血管形成術において標準的なバルーンを対照とする MD03-LDCB の前向き多施設共同単盲検無作為化臨床試験
	依頼者	株式会社メディコン
	審議事項	①安全性情報等に関する報告書
	審議結果	承認
	議題4	浅大腿動脈及び近位膝窩動脈病変の治療における BSJ011R と標準的なバルーン血管形成術を比較するランダム化試験
	依頼者	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
	審議事項	①安全性情報等に関する報告書
	審議結果	承認
第65回	議題5	SuperNOVA 臨床試験
	依頼者	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
	報告事項	①治験終了報告書
	開催日時	2018年10月24日(水) 16:30-17:00
	議題1	薬剤コーティングバルーンカテーテル TCD-17187 の多施設共同単群試験
	依頼者	テルモ株式会社
	審議事項	①治験依頼書
	審議結果	承認
	議題2	膝下動脈の血管形成術において MD03-LDCB と標準的なバルーンを比較する前向き多施設共同単盲検無作為化比較臨床試験
	依頼者	株式会社メディコン
	審議事項	①治験に関する変更申請書
	審議結果	承認
	議題3	血液透析患者の膝下動脈の血管形成術において標準的なバルーンを対照とする MD03-LDCB の前向き多施設共同単盲検無作為化臨床試験
	依頼者	株式会社メディコン
	審議事項	①治験に関する変更申請書 ②重篤な有害事象及び不具合に関する報告書
	審議結果	承認
	議題4	JLL-LEG による重症下肢虚血疾患を対象とする比較臨床試験
	依頼者	日本ライフライン株式会社
	審議事項	①治験実施状況報告書
	審議結果	承認
	議題5	症候性末梢動脈疾患を有する患者の大腿膝窩動脈に使用する BioMimics 3D スtentシステムの安全性及び有効性の評価
	依頼者	株式会社メディコスヒラタ
	審議事項	①治験実施状況報告書
	審議結果	承認
	議題6	浅大腿動脈及び / 又は近位膝窩動脈病変の治療における BSJ007E のランダム化比較試験
	依頼者	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
	審議事項	①治験実施状況報告書
	審議結果	承認
	議題7	浅大腿動脈及び近位膝窩動脈病変の治療における BSJ011R と標準的なバルーン血管形成術を比較するランダム化試験

第 65 回	依頼者	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書
	審議結果	承認
	議題8	腹部大動脈瘤患者を対象とした INC-001 の多施設共同、非盲検、前向き、非無作為化試験
	依頼者	Cardinal Health Japan 合同会社
	報告事項	①治験終了報告書
	審議結果	承認

第 66 回	開催日時	2018年12月12日(水) 16:30-17:22
	議題1	末梢動脈疾患患者を対象とした NP028 の多施設共同試験
	依頼者	ニプロ株式会社
	審議事項	①治験依頼書
	審議結果	承認
	議題2	膝下動脈の血管形成術において MD03-LDCB と標準的なバルーンを比較する前向き多施設共同単盲検無作為化比較臨床試験
	依頼者	株式会社メディコン
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ②安全性情報等に関する報告書
	審議結果	承認
	議題3	血液透析患者の膝下動脈の血管形成術において標準的なバルーンを対照とする MD03-LDCB の前向き多施設共同単盲検無作為化臨床試験
	依頼者	株式会社メディコン
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ②重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ③重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ④安全性情報等に関する報告書
	審議結果	承認
	議題4	JLL-LEG による重症下肢虚血疾患を対象とする比較臨床試験
	依頼者	日本ライフライン株式会社
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ②安全性情報等に関する報告書
	審議結果	承認
	議題5	浅大腿動脈及び / 又は近位膝窩動脈病変の治療における BSJ007E のランダム化比較試験
	依頼者	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
	審議事項	①安全性情報等に関する報告書 ②治験に関する変更申請書
	審議結果	承認
第 67 回	議題6	テルモ株式会社による TCD-0015-16 の臨床試験
	依頼者	テルモ株式会社
	報告事項	①2018年12月12日開催の迅速審査の結果報告(治験に関する変更申請書 12/10)

第 67 回	開催日時	2019年1月23日(水) 16:30-17:25
	議題1	Comparison AAA growth in adult smoking patients who either switch to IQOS, continue smoking, or quit smoking.
	依頼者	フィリップモリス株式会社
	審議事項	①治験依頼書
	審議結果	承認
	議題2	膝下動脈の血管形成術において MD03-LDCB と標準的なバルーンを比較する前向き多施設共同単盲検無作為化比較臨床試験
第 68 回	依頼者	株式会社メディコン
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ②重篤な有害事象及び不具合に関する報告書

第 67 回	審議結果	承認
	議題3	血液透析患者の膝下動脈の血管形成術において標準的なバルーンを対照とする MD03-LDCB の前向き多施設共同単盲検無作為化臨床試験
	依頼者	株式会社メディコン
	審議事項	重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 重篤な有害事象及び不具合に関する報告書
	審議結果	承認
	議題4	JLL-LEG による重症下肢虚血疾患を対象とする比較臨床試験
	依頼者	日本ライフライン株式会社
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書
	審議結果	承認
	議題5	浅大腿動脈及び / 又は近位膝窩動脈病変の治療における BSJ007E のランダム化比較試験
	依頼者	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ②安全性情報等に関する報告書 ③治験に関する変更申請書
	報告事項	開発の中止等に関する報告書と病院長宛レターについて（承認取得 / 製販移行）
	審議結果	承認
	議題6	浅大腿動脈及び近位膝窩動脈病変の治療における BSJ011R と標準的なバルーン血管形成術を比較するランダム化試験
	依頼者	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ②安全性情報等に関する報告書 ③治験に関する変更申請書
	審議結果	承認

第 68 回	開催日時	2019年2月27日（水） 16:30-17:00
	議題1	血液透析患者の膝下動脈の血管形成術において標準的なバルーンを対照とする MD03-LDCB の前向き多施設共同単盲検無作為化臨床試験
	依頼者	株式会社メディコン
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ②治験実施状況報告書
	審議結果	承認
	議題2	症候性末梢動脈疾患を有する患者の大腿膝窩動脈に使用する BioMimics 3D スtentシステムの安全性及び有効性の評価
	依頼者	株式会社メディコスヒラタ
	審議事項	①安全性情報等に関する報告書
	審議結果	承認
	議題3	浅大腿動脈及び / 又は近位膝窩動脈病変の治療における BSJ007E のランダム化比較試験
	依頼者	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ②重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ③重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ④安全性情報等に関する報告書 ⑤安全性情報等に関する報告書 ⑥治験に関する変更申請書
	審議結果	承認
	議題4	浅大腿動脈及び近位膝窩動脈病変の治療における BSJ011R と標準的なバルーン血管形成術を比較するランダム化試験
	依頼者	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ②治験実施状況報告書
	審議結果	承認

第69回	開催日時	2019年3月27日(水) 16:30-17:20
	議題1	Comparison AAA growth in adult smoking patients who either switch to IQOS, continue smoking, or quit smoking.
	依頼者	フィリップモリス株式会社
	審議事項	①治験に関する変更申請書
	審議結果	承認
	議題2	膝下動脈の血管形成術において MD03-LDCB と標準的なバルーンを比較する前向き多施設共同単盲検無作為化比較臨床試験
	依頼者	株式会社メディコン
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ②重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ③安全性情報等に関する報告書
	審議結果	承認
	議題3	血液透析患者の膝下動脈の血管形成術において標準的なバルーンを対照とする MD03-LDCB の前向き多施設共同単盲検無作為化臨床試験
	依頼者	株式会社メディコン
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ②安全性情報報告
	審議結果	承認
	議題4	JLL-LEG による重症下肢虚血疾患を対象とする比較臨床試験
	依頼者	日本ライフライン株式会社
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ②重篤な有害事象及び不具合に関する報告書 ③重篤な有害事象及び不具合に関する報告書
	審議結果	承認
	議題5	浅大腿動脈及び / 又は近位膝窩動脈病変の治療における BSJ007E のランダム化比較試験
	依頼者	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
	審議事項	①重篤な有害事象及び不具合に関する報告書
	審議結果	承認
	議題6	浅大腿動脈及び近位膝窩動脈病変の治療における BSJ011R と標準的なバルーン血管形成術を比較するランダム化試験
	依頼者	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
	審議事項	①安全性情報等に関する報告書
	審議結果	承認
	議題7	テルモ株式会社の依頼による TCD-0015-16 の臨床試験
	依頼者	テルモ株式会社
	審議事項	①安全性情報等に関する報告書 ②治験に関する変更申請書 ③治験実施状況報告書
	審議結果	承認

⑧ 医薬品等審議会

ア. 業務内容・実績

(ア) 目的

病院で使用する全ての医薬品の医学的・薬学的及び経済的評価を行い、医薬品が安全かつ有効に使用されるための体制を確立する為のものである。

(イ) 開催

毎月第1木曜日定期開催。本年度の開催は10回であった。

(ウ) 2018年度 医薬品採用状況

採用区分	品目数
院外(個人限定)処方許可医薬品	15
院内個人限定採用医薬品	132
新規採用医薬品	59
採用中止医薬品(※)	85
先発医薬品から後発医薬品への切り替え	17

(※) 法人再編に伴い、小児領域の診療科がボバース記念病院へ移動した為
それらの診療科で処方されていた医薬品の採用を中止した。

(8) 地域包括ケアシステム構築に対する取組み

森之宮地域を中心に、住民・行政・関係機関と協働し、「多機関と一緒に住民を支える」活動に従事した。院内各職種のマンパワーを地域に還元している。

① イベント企画・運営による地域支援

ア. こもれびカフェ

日 程：毎月第3土曜日

主たる参加者：看護師：福岡部長・柴田副部長・舘川科長・杉浦課長

薬剤師：奥村副部長・鈴木主任

管理栄養士：高間主任

理学療法士：安井統括（在宅事業部）・永井科長・山田主任

作業療法士：本山科長

社会福祉士：藤井副部長 佐藤主任

事務：水谷課長・新谷主任（在宅事業部）・宮城課員・西尾課員

内 容：地域の医療・介護・福祉関係者との交流会を開催し、地域住民の支援につながる良好な関係構築を目指す

開催回	日時	プログラム
第1回	2018年4月21日（土）	「今、気になる診療報酬改定」「法人内各施設紹介」
第2回	2018年5月19日（土）	施設紹介「介護老人保健施設グリーンライフ」 「セラピストによる腰痛体操～介護や日常生活のお疲れを癒しましょう♪～」
第3回	2018年6月16日（土）	施設紹介「サンローズオオサカ」「高齢者の皮膚トラブル」
第4回	2018年7月21日（土）	施設紹介「大道クリニック」「在宅医療の連携と保険請求について」
第5回	2018年8月18日（土）	施設紹介「帝国ホテルクリニック」「高齢者が注意すべき薬について」
第6回	2018年9月15日（土）	施設紹介「在宅事業部」「高齢者の低栄養について」
第7回	2018年10月20日（土）	ボバース記念病院 内覧会
第8回	2018年11月17日（土）	施設紹介「森之宮クリニック」「生活期のリハビリテーション」
第9回	2018年12月15日（土）	施設紹介「森之宮病院・新3階病棟について」 医療相談室に寄せられる相談・活動紹介
第10回	2019年1月19日（土）	施設ご紹介「大阪城ケアホーム様」「ハザマ薬局様」 「森之宮病院が連携している近隣医療機関のご紹介 ～先生方の専門・得意分野を知りましょう～」
第11回	2019年2月16日（土）	施設ご紹介「プラティア森ノ宮様」「称揚宛様」「口腔ケアについて」
第12回	2019年3月16日（土）	施設ご紹介「阪神調剤薬局様」「通所リハビリテーション内覧会」

イ. 福祉用具体験モデルルーム見学案内 in 森之宮第2団地内モデルルーム

日 程：随時

参加者：看護師・作業療法士・社会福祉士 数名

来場者：地域住民・行政関係者・関係機関等 575名（2015年1月開始時より通算）

内 容：モデルルームの来場者に対し、福祉用具の体験利用など案内する

ウ．ピンクリボン with 森之宮病院

日 時：2018年10月21日（日）

参加者：丹治医師、

診療放射線技師：野上主任・甲木科員・田内主任（帝国ホテルクリニック）

作業療法士：本山科長、

薬剤師：坂井科員・西村科員、

管理栄養士：北川科員

看護師：正壽副部長・岡田主任・梅田科員・山中科員・金岡科員・吉永科員・

吉村科員・新原科員・品川科員・岩瀬科員・米元科員・浦川科員・

山下科員、

事務：下里課長・清水主任・小山課員・鉄口課員・坂田課員・加治課員・

田中課員・山見課員（本部）

内 容：日曜日に行う市民向け乳がん検診・早期発見に向けた啓発活動。来場者は35名。

エ．大阪脳卒中医療連携ネットワーク10周年記念事業

日 程：2018年10月28日（日）

参加者：医師：宮井副理事長（実行委員長）

看護師：柴田副部長・安福科長・中島科長・大庭主任・下垣内主任・坂本主任・森下主任

理学療法士：藤田主任、作業療法士：砂古口副部長

管理栄養士：高間主任・菅科員・井上科員・松尾科員・内野科員・岸本科員・波田野科員

社会福祉士：藤井副部長・佐藤主任・久繁課員・枝川課員・鷺山課員・藤原課員・周藤課員・高井課員

内 容：ネットワーク活動10周年を記念した講演会・各登録機関のポスター展示・各職種による相談会を同時開催する市民啓発イベントを開催。来場者は143名。

オ．スマートエイジング・シティ具体化手法セミナー

「食と笑いでココロとカラダにええ感じ in チャペル」

日 時：2018年11月23日（金・祝）

参加者：理学療法士：安井統括（在宅事業部）、

社会福祉士：藤井副部長、事務：下里課長

内 容：淀川キリスト教病院内で開催された府下各地域の合同セミナーに、福祉用具を体験利用できる出張モデルルームを設置し、来場者への利用案内を行なった。

② 地域行事への参加による地域支援

ア．東中浜ふれあい喫茶 in 東中浜集会所

日 程：毎月第2金曜日

参加者：看護師：福岡部長・柴田副部長・福井副部長・正壽副部長

内 容：地域住民の健康相談を行う

イ. 城東区各地区の夏祭り参加（中浜・森之宮・東中浜・諏訪・鳴野・城東）

参加者：看護師：福岡部長・杉浦課長

社会福祉士：藤井副部長、事務：吉田部長・川谷主任

内容：地域の方々とのふれあい

ウ. 森之宮フェスティバル in 森之宮小学校グラウンド

日程：2018年5月27日（日）

参加者：看護師：岡田主任・新蔵主任、施設：和田主任・花畑課員

事務：吉田部長・下里課長・坂田課員・奥田課員

社会福祉士：藤井副部長

内容：行政と一緒にスマートエイジングブース（血圧測定・健康相談）を担当。

早朝からのテント設営や子ども・地域住民向け事業に従事した。

エ. 城陽中学校 職場体験

日程：2018年6月7日（木）8日（金）

場所：森之宮病院各病棟

内容：2名の中学生を受け入れ、看護体験を通し、将来の進路を考える機会としてもらう

オ. 森之宮連合町会防災訓練 in 森之宮小学校

日程：2018年6月23日（土）

参加者：看護師：梅田科員、松本科員、施設課：和田主任、花畑課員

事務部：吉田部長、下里課長

社会福祉士：藤井副部長

内容：児童の防災意識の向上と、学校・家庭、地域の結びつきを強め、防災活動に必要な知識や技術の習得を図る。当院は、災害発生時の応急処置について、全児童に実技指導を行った。

カ. 森之宮小学校5・6年生林間学習支援 in 兵庫県養父市ハチ高原

日程：2018年7月20日（金）22日（日）

参加者：看護師：小田主任

内容：林間学習参加児童の看護を担当する

キ. もりもり健康通信への記事提供・配布

スマートエイジング関係機関による通信作成・配布

第1号（福祉用具体験モデルルーム）第2号（インフルエンザ予防接種）第3号（地域包括ケア病棟）を広報

ク. 城東区第4回スポーツカーニバル

日程：2018年11月4日（日）

内容：区民参加型スポーツイベントへの広報協力を行なった。

ケ．城東区成人の日記念のつどい

日 程：2019年1月14日（日）

内 容：区内の新成人を祝し、記念品を進呈した。

コ．団地の寺子屋

日 程：2018年12月7日（金）

参加者：社会福祉士：藤井副部長

内 容：幼老共生等をテーマに活動される地域の学習会に参加し「知っておきたい病院の仕組み～医療相談室の実践と高齢者医療～」について広報。

サ．森之宮地域宅配食試食会

日 程：2019年2月12日（火）

参加者：管理栄養士：高間主任・北川科員・岸本科員・波田野科員
社会福祉士：藤井副部長

内 容：森之宮団地の住民に対し、管理栄養士からの講演会（高間主任）・相談会・宅配食の試食会を同時開催に協力した。

シ．森之宮地域防災研修会

日 程：2019年1月27日（日）

参加者：事務：吉田部長・宮城課員

施設：和田課長

社会福祉士：藤井副部長

講演「森之宮病院の防災への取り組み」（和田課長）

内 容：森之宮地域活動協議会防災リーダー・関係機関の皆さんと一緒に防災に関する知識・地域情報を共有した。

ス．城東区 医療防災について考えるフォーラム

日 程：2019年2月16日（土）

参加者：医師：大道理事長、事務：吉田部長・宮城課員

施設：井上副部長・和田課長

座長（大道理事長）、シンポジスト（吉田部長）

内 容：各演者からの報告等を通し、区内の医療・福祉・地域防災関係者がともに、地域防災における医療機能等について学んだ。

セ．中浜地区の敬老会

日 程：2018年9月16日（日）

参加者：看護師：福岡部長

内 容：救護（体調不良者を自宅まで送迎しその後救急車を依頼して受診に繋いだ）

③ 会議参加等による地域課題の検討・医療機能の広報

ア．森之宮地域孤立化防止ネットワークコア会議 in 森之宮第2団地憩いの家

日 程：2018年5月10日、7月4日、9月6日、11月8日、
2019年1月10日、3月7日

参加者：社会福祉士：藤井副部長

内 容：行政・住民代表者・地域包括支援センター・区社会福祉協議会・UR 都市
再生機構ほか地域の関係機関とともに、森之宮地域住民の課題の共有、孤
立化防止に向けた取り組みを企画し実施する

イ．森之宮地域活動協議会 in 森之宮第2団地憩いの家

日 程：2018年6月9日（土） 2019年2月13日（水）

参加者：社会福祉士：藤井副部長

内 容：森之宮地域連合町会役員・小学校・保育園・行政とともに、地域活動を振り
返り、今後の事業計画に関する意見交換を行う。

ウ．城東区居宅介護支援事業者連絡会：MSW 交流会

日 程：2018年6月21日（木）

参加者：社会福祉士：藤井副部長・周藤課員・丸田課員

内 容：居宅介護支援専門員を対象に病院機能を説明し、患者支援の課題につき意
見交換を行った。

エ．東成区居宅介護支援事業者連絡会

日 程：2018年4月20日（金）

参加者：事務：吉田部長・社会福祉士：藤井副部長

内 容：こもれびカフェの PR・退院支援体制の説明を行なった。

オ．城東区 高齢者専門部会 in 城東区社会福祉協議会

日 程：2018年11月16日（金）

参加者：社会福祉士：藤井副部長

内 容：城東区地域福祉ビジョン推進チーム高齢者支援専門部会において「高齢者
の医療制度等について」の講義の後、区内の住民に向けた受療支援・退
院支援について意見交換を行なった。

3 統計

(1) 退院患者統計

2018年度(2018年4月1日～2019年3月31日)の疾病統計について
退院患者数 4,012件

① 診療科別・疾病別患者数

各診療科の退院患者に占める割合が高かった疾病について掲載。

内科

呼吸器系 291件(内科 退院患者の 33.4%)

そのうち 肺炎が 218件

(誤嚥性肺炎 126件、気管支肺炎 50件、間質性肺炎 9件、
マイコプラズマ肺炎 7件、他)

消化器系 91件(内科 退院患者の 10.5%)

そのうち 腸の憩室性疾患が 21件

大腸ポリープ 51件(内科 退院患者の 5.9%)

そのうち 結腸癌が 3件、結腸および直腸の腺腫が 38件、非腫瘍性が 9件、他

循環器系 89件(内科 退院患者の 10.2%)

そのうち 心不全が 50件

脳血管疾患が 25件

胸椎・腰椎および骨盤の骨折が 32件(内科 退院患者の 3.7%)

外科

消化器系 170件(外科 退院患者の 55.7%)

そのうち ヘルニア系が 38件(単径ヘルニア 33件、他)

虫垂炎が 18件

胆のうおよび胆管系が 22件(胆石性胆のう炎 9件、他)

麻痺性イレウスおよび腸閉塞が 27件(術後イレウス 15件、他)

腸の憩室性疾患が 27件

大腸ポリープ 48件(外科 退院患者の 15.7%)

そのうち 結腸癌が 19件、結腸および直腸の腺腫が 17件、非腫瘍性が 8件、他

乳腺センター科

乳癌 160件(乳腺センター科 退院患者の 87.4%)

そのうち 乳房上外側部乳癌が 27件、乳房上内側部乳癌が 15件、

乳房中央部乳癌が 7件、乳癌術後が 107件、他

整形外科

骨折 103件(整形外科 退院患者の 73.0%)

そのうち 大腿骨骨折が 35件、大腿骨を除く下肢の骨折が 9件、

上肢の骨折が 23件、胸椎・腰椎および骨盤の骨折が 36件

他院での手術後のリハビリテーションが 13件(整形外科 退院患者の 9.2%)

小児整形外科・小児神経科

神経系 234件（小整・小神科 退院患者の 81.0%）

そのうち 脳性麻痺が 208件

（痙性両麻痺 82件、痙性四肢麻痺 48件、アテトーゼ 44件、
失調性 18件、片麻痺 14件、他）

神経内科・リハビリテーション科

循環器系 542件（神内・リハ科 退院患者の 77.9%）

そのうち 脳梗塞が 305件

（脳動脈血栓症 114件、脳動脈塞栓症 64件、その他 46件、
脳血管閉塞性 46件、他）

脳出血が 195件（脳皮質下出血 154件、他）

くも膜下出血が 39件

（中大脳動脈 10件、前交通動脈 9件、IC-PC・内頸動脈 8件、
椎骨動脈 6件、他）

心臓血管センター

循環器系 784件（心臓血管センター 退院患者の 79.8%）

そのうち 大動脈瘤が 193件（腹部大動脈 70件、胸部大動脈 51件、
解離性 50件、胸腹部大動脈 17件、他）

その他の動脈瘤が 14件（腸骨動脈 8件、他）

閉塞性動脈硬化症が 433件（下肢 407件、腎動脈 8件、他）

狭心症が 42件

血管挿入物および移植片のその他の合併症 110件

（心臓血管センター 退院患者の 11.2%）

そのうち エンドリークが 59件

下肢動脈ステント内狭窄および閉塞が 28件

泌尿器科

腎尿路生殖器系 90件（泌尿器科 退院患者の 41.9%）

そのうち 結石系が 31件、腎盂腎炎が 22件、前立腺肥大症が 9件

前立腺癌 89件（泌尿器科 退院患者の 41.4%）

全体

循環器系 1,428件（退院患者の 35.6%）

消化器系 517件（退院患者の 12.9%）

神経系 311件（退院患者の 7.8%）

呼吸器系 318件（退院患者の 7.9%）

新生物 339件（退院患者の 8.4%）

そのうち 結腸・直腸S状結腸移行部・直腸・肛門および肛門管が 27件、
乳房が 53件、胃が 16件、気管支および肺が 15件、
前立腺が 92件、膀胱が 15件、続発性が 35件、

結腸・直腸・肛門および肛門管の良性新生物が 55 件

② 疾病別・在院日数別患者数

循環器系では	在院期間 1 ～ 15 日が	631 件と	44.2%を占めている
	在院期間 3 ～ 6 月が	253 件と	17.7%を占めている
消化器系では	在院期間 1 ～ 8 日が	437 件と	84.5%を占めている
新生物では	在院期間 1 ～ 8 日が	209 件と	61.7%を占めている

③ 疾病別・年齢階層別患者数

循環器系では	70 ～ 79 歳代が	501 件と	35.1%であった
	80 ～ 89 歳代が	385 件と	27.0%であった
	60 ～ 69 歳代が	245 件と	17.2%であった
消化器系では	80 ～ 89 歳代が	88 件と	17.0%であった
	70 ～ 79 歳代が	83 件と	16.1%であった
	20 ～ 29 歳代が	66 件と	12.8%であった
	60 ～ 69 歳代が	59 件と	11.4%であった
呼吸器系では	80 ～ 89 歳代が	128 件と	40.3%であった
	70 ～ 79 歳代が	76 件と	23.9%であった
	90 歳以上が	55 件と	17.3%であった
神経系では	10 歳未満が	190 件と	61.1%であった

10 歳未満が	236 件（退院患者の 5.9%）
10 代が	122 件（退院患者の 3.0%）
20 代が	117 件（退院患者の 2.9%）
30 代が	121 件（退院患者の 3.0%）
40 代が	252 件（退院患者の 6.3%）
50 代が	321 件（退院患者の 8.0%）
60 代が	552 件（退院患者の 13.8%）
70 代が	1,063 件（退院患者の 26.5%）
80 代が	978 件（退院患者の 24.4%）
90 歳以上が	250 件（退院患者の 6.2%）

全退院における平均年齢は 64.8 歳であった

④ 診療圏別患者数

城東区 873 件、東成区 547 件、生野区 154 件、中央区 139 件、大阪市 2,663 件、東大阪市 337 件、大阪市を除く大阪府 866 件、他府県 483 件

全退院に占める割合は

城東区 21.8%、東成区 13.6%、生野区 3.8%、中央区 3.5%、大阪市 66.4%、東大阪市 8.4%、大阪市を除く大阪府 21.6%、他府県 12.0%

⑤ 平均在院日数

全体	28.7日
----	-------

〔診療科別〕

内科	19.5日
外科	14.5日
乳腺センター科	11.2日
整形外科	33.6日
小児整形外科	34.4日
小児神経科	30.9日
神経内科	79.8日
リハビリテーション科	77.8日
心臓血管センター	20.0日
泌尿器科	9.0日
歯科・口腔外科	1.2日
麻酔科	6.7日

⑥ 退院後の転帰

自宅	3,131 件 (退院患者の 78.0%)	平均在院日数	22.9日
転院	348 件 (退院患者の 8.7%)	平均在院日数	44.0日
転所	427 件 (退院患者の 10.6%)	平均在院日数	51.9日
死亡	106 件 (退院患者の 2.6%)	平均在院日数	54.7日
中止	0 件		

⑦ 病棟別・診療科別 自宅復帰率

全体	78.0%
----	-------

〔病棟別〕

2階病棟	0.0%
3階病棟	95.3%
4階東病棟	59.0%
4階西病棟	65.4%
5階東病棟	67.9%
5階西病棟	78.1%
6階東病棟	75.5%
6階西病棟	87.2%
7階東病棟	80.6%
7階西病棟	63.2%

〔診療科別〕

内科	70.1%
外科	76.4%
乳腺センター科	96.7%
整形外科	61.0%
小児整形外科	87.1%
小児神経科	97.9%
神経内科	65.3%
リハビリテーション科	58.3%
心臓血管センター	83.8%
泌尿器科	84.2%
歯科・口腔外科	92.0%
麻酔科	100.0%

⑧ 死亡患者数

全体	106 件 (死亡率 2.6%)
----	------------------

そのうち 内科	66 件 (診療科内 死亡率 7.6%)
---------	----------------------

心臓血管センター	22件（診療科内	死亡率	2.2%）
外科	11件（診療科内	死亡率	3.6%）

⑨ 紹介元医療機関

全体 2,128件（退院患者の 53.0%）

そのうち 法人内連携	131件（全紹介元医療機関件数の 6.2%）
ボバース記念病院	31件
大道クリニック	53件
グリーンライフ	34件
サンローズオオサカ	9件
帝国ホテルクリニック	4件

〔診療科別〕

内科	429件（診療科内	退院患者の	49.3%）
外科	138件（診療科内	退院患者の	45.2%）
乳腺センター科	83件（診療科内	退院患者の	45.4%）
整形外科	52件（診療科内	退院患者の	36.9%）
小児整形外科、小児神経科	72件（診療科内	退院患者の	24.9%）
神経内科、リハビリテーション科	687件（診療科内	退院患者の	98.7%）
心臓血管センター	435件（診療科内	退院患者の	44.3%）
泌尿器科	128件（診療科内	退院患者の	59.5%）
歯科・口腔外科	85件（診療科内	退院患者の	32.2%）
麻酔科	19件（診療科内	退院患者の	28.4%）

⑩ 紹介先医療機関

全体 1,837件（退院患者の 45.8%）

そのうち 法人内連携	171件（全紹介先医療機関件数の 9.3%）
ボバース記念病院	90件
大道クリニック	28件
グリーンライフ	44件
サンローズオオサカ	9件

〔診療科別〕

内科	501件（診療科内	退院患者の	57.6%）
外科	96件（診療科内	退院患者の	31.5%）
乳腺センター科	3件（診療科内	退院患者の	1.6%）
整形外科	84件（診療科内	退院患者の	59.6%）
小児整形外科、小児神経科	147件（診療科内	退院患者の	50.9%）
神経内科、リハビリテーション科	657件（診療科内	退院患者の	94.4%）
心臓血管センター	183件（診療科内	退院患者の	18.6%）
泌尿器科	107件（診療科内	退院患者の	49.8%）
歯科・口腔外科	47件（診療科内	退院患者の	17.8%）
麻酔科	12件（診療科内	退院患者の	17.9%）

⑪ 診療科別 年度別比較

診療科別 年度別患者数

		内科	外科	乳腺	形成	整形	小整	小神	神内	リハ	心臓	泌尿	歯科	麻酔	総数
2006	計	940	306	-	-	303	74	131	302	329	514	60	41	2	3,002
	男	501	171	-	-	124	42	77	201	199	307	42	20	2	1,686
	女	439	135	-	-	179	32	54	101	130	207	18	21	0	1,316
2007	計	843	344	-	-	267	86	123	340	238	691	83	54	0	3,069
	男	460	191	-	-	97	57	67	227	153	452	65	38	0	1,807
	女	383	153	-	-	170	29	56	113	85	239	18	16	0	1,262
2008	計	1,106	342	-	-	290	143	140	274	295	465	62	81	1	3,199
	男	562	195	-	-	95	83	78	176	173	319	49	51	0	1,781
	女	544	147	-	-	195	60	62	98	122	146	13	30	1	1,418
2009	計	1,058	357	-	-	238	177	143	323	230	522	96	119	3	3,266
	男	515	148	-	-	81	111	78	210	133	368	73	70	0	1,787
	女	543	209	-	-	157	66	65	113	97	154	23	49	3	1,479
2010	計	1,082	383	-	-	216	182	157	370	147	382	105	256	14	3,294
	男	514	154	-	-	69	117	90	216	88	280	76	181	3	1,788
	女	568	229	-	-	147	65	67	154	59	102	29	75	11	1,506
2011	計	1,015	394	-	-	211	200	165	408	120	383	111	304	5	3,316
	男	508	163	-	-	69	119	83	255	76	290	91	187	2	1,843
	女	507	231	-	-	142	81	82	153	44	93	20	117	3	1,473
2012	計	961	274	149	-	212	198	170	320	201	426	96	285	3	3,295
	男	483	159	0	-	71	112	93	189	135	317	66	173	1	1,799
	女	478	115	149	-	141	86	77	131	66	109	30	112	2	1,496
2013	計	986	188	116	24	184	168	217	362	161	631	111	294	5	3,447
	男	463	111	0	0	58	99	115	225	106	458	87	163	2	1,887
	女	523	77	116	24	126	69	102	137	55	173	24	131	3	1,560
2014	計	997	177	164	30	205	180	241	365	206	618	106	332	5	3,626
	男	457	99	1	0	63	100	145	221	124	433	72	178	2	1,895
	女	540	78	163	30	142	80	96	144	82	185	34	154	3	1,731
2015	計	936	346	184	-	128	157	276	402	200	874	68	298	8	3,877
	男	438	187	1	-	40	92	157	231	124	615	44	143	5	2,077
	女	498	159	183	-	88	65	119	171	76	259	24	155	3	1,800
2016	計	965	350	182	-	243	128	305	443	239	1,118	105	286	10	4,374
	男	445	200	0	-	91	76	169	273	139	789	70	160	5	2,417
	女	520	150	182	-	152	52	136	170	100	329	35	126	5	1,957
2017	計	849	350	126	-	251	119	323	436	218	1,087	172	287	36	4,254
	男	400	188	0	-	75	76	183	257	135	799	123	175	19	2,430
	女	449	162	126	-	176	43	140	179	83	288	49	112	17	1,824
2018	計	870	305	183	-	141	101	188	478	218	982	215	264	67	4,012
	男	401	163	0	-	45	48	117	271	117	695	166	173	33	2,229
	女	469	142	183	-	96	53	71	207	101	287	49	91	34	1,783

診療科別 年度別平均在院日数

		内科	外科	乳腺	形成	整形	小整	小神	神内	リハ	心臓	泌尿	歯科	麻酔	年度
2006	計	19.8	19.7	-	-	38.7	90.6	49.1	82.1	81.7	15.1	8.0	2.0	21.0	36.5
	男	20.3	19.4	-	-	35.1	92.5	47.4	81.6	78.0	13.3	7.6	3.0	21.0	36.6
	女	19.4	20.1	-	-	41.3	88.0	51.7	83.2	87.5	17.9	8.9	1.0	-	36.4
2007	計	20.0	18.1	-	-	46.5	85.0	66.7	102.9	99.6	15.2	9.0	2.6	-	39.5
	男	19.7	16.5	-	-	44.5	90.2	73.3	101.3	99.4	14.0	8.8	3.0	-	39.7
	女	20.4	20.1	-	-	47.6	74.8	59.0	106.1	100.2	17.3	9.8	1.6	-	39.1
2008	計	17.5	15.1	-	-	33.8	69.2	62.6	102.2	100.9	20.4	10.3	2.0	27.0	37.8
	男	18.8	13.2	-	-	28.9	70.9	66.3	107.2	101.6	19.6	9.5	1.9	-	39.4
	女	16.2	17.5	-	-	36.3	66.7	57.8	93.2	99.8	22.1	13.2	2.2	27.0	35.9
2009	計	19.7	19.6	-	-	42.3	52.2	53.7	103.6	100.1	19.3	14.9	3.2	11.7	37.7
	男	21.5	22.7	-	-	37.0	54.7	53.8	100.9	93.6	18.6	12.9	3.7	-	38.8
	女	17.9	17.4	-	-	45.0	47.8	53.7	108.5	109.0	21.0	21.3	2.4	11.7	36.4
2010	計	19.0	14.1	-	-	50.7	47.4	52.3	113.4	94.2	17.0	11.6	1.6	3.1	35.7
	男	19.4	14.2	-	-	42.8	40.6	50.4	111.8	95.6	17.7	10.8	1.7	1.0	35.3
	女	18.6	14.0	-	-	54.4	59.7	54.9	115.8	92.1	15.1	13.7	1.4	3.7	36.3
2011	計	22.3	13.9	-	-	48.7	43.4	52.6	115.2	90.8	22.2	12.0	2.8	19.2	37.5
	男	24.9	16.9	-	-	42.0	47.1	52.7	116.1	94.2	22.7	11.7	2.6	2.0	39.7
	女	19.7	11.7	-	-	52.0	37.9	52.5	113.7	84.9	20.8	13.0	3.1	30.7	34.8
2012	計	18.2	18.2	8.0	-	48.7	46.6	43.9	110.0	96.6	20.7	15.6	3.1	3.0	35.4
	男	17.1	15.3	-	-	39.5	48.3	43.8	113.3	95.1	20.9	14.7	2.8	2.0	36.3
	女	19.4	22.2	8.0	-	53.4	44.5	44.1	105.2	99.7	20.1	17.6	3.5	3.5	34.3
2013	計	19.4	17.1	11.1	5.0	43.7	41.3	43.2	107.3	104.5	19.7	13.2	3.6	20.6	34.4
	男	20.8	16.2	-	-	36.1	43.4	41.3	106.1	98.3	18.9	13.7	3.3	1.5	35.6
	女	18.1	18.4	11.1	5.0	47.2	38.4	45.3	109.4	116.2	21.6	11.5	3.8	33.3	33.0
2014	計	19.1	15.9	9.8	5.1	45.2	43.6	38.3	97.1	92.0	23.3	13.8	3.3	11.4	33.5
	男	19.0	15.8	3.0	-	37.4	41.9	38.0	97.6	93.3	24.0	12.8	2.4	3.0	35.4
	女	19.1	16.1	9.8	5.1	48.6	45.8	38.8	96.4	90.0	21.7	16.1	4.5	17.0	31.3
2015	計	17.3	12.2	11.0	-	49.5	51.2	35.4	96.9	86.5	18.0	16.2	2.6	14.9	31.1
	男	16.8	11.0	7.0	-	45.3	49.6	34.3	98.0	86.7	16.8	12.1	1.8	18.0	31.7
	女	17.8	13.5	11.0	-	51.4	53.5	36.9	95.3	86.0	20.8	23.8	3.3	9.7	30.4
2016	計	17.6	13.0	12.1	-	32.4	50.5	32.0	83.3	75.8	13.6	12.3	2.1	3.9	27.4
	男	18.1	12.4	-	-	26.5	40.7	32.3	84.1	77.4	13.5	11.1	1.9	6.4	27.7
	女	17.2	13.8	12.1	-	35.8	64.9	31.7	81.9	73.5	14.0	14.6	2.5	1.4	27.1
2017	計	18.0	15.1	12.9	-	35.3	47.3	33.7	82.5	83.0	12.3	11.0	1.5	11.6	27.7
	男	18.9	14.1	-	-	31.1	45.7	32.5	83.9	82.4	11.8	10.0	1.3	14.6	27.1
	女	17.2	16.3	12.9	-	37.2	50.3	35.4	80.4	84.1	13.4	13.6	1.9	8.3	28.5
2018	計	19.5	14.5	11.2	-	33.6	34.4	30.9	79.8	77.8	20.0	9.0	1.2	6.7	28.7
	男	18.5	13.7	-	-	28.2	26.4	30.9	79.5	76.4	19.2	6.8	1.2	8.5	27.5
	女	20.4	15.3	11.2	-	36.1	41.7	31.0	80.1	79.4	22.0	16.6	1.3	5.0	30.1

診療科別 年度別平均年齢

		内科	外科	乳腺	形成	整形	小整	小神	神内	リハ	心臓	泌尿	歯科	麻酔	年度
2006	計	68.8	65.0	-	-	65.0	7.9	2.9	62.5	63.9	70.6	59.8	17.4	67.5	61.9
	男	66.6	64.2	-	-	57.7	7.8	2.9	60.3	62.3	68.0	60.1	19.0	67.5	59.6
	女	71.4	66.1	-	-	70.0	7.9	2.9	67.0	66.3	74.5	59.1	15.9	-	64.9
2007	計	72.1	66.4	-	-	66.0	8.7	3.3	64.6	65.0	71.1	62.0	18.5	-	63.6
	男	69.9	63.5	-	-	56.8	9.3	3.2	63.2	63.3	69.3	64.3	19.6	-	61.3
	女	74.6	69.9	-	-	71.2	7.7	3.4	67.4	68.0	74.6	53.6	15.8	-	66.7
2008	計	70.5	64.3	-	-	70.2	12.4	3.6	63.7	63.3	74.2	61.3	23.1	63.0	62.2
	男	68.9	63.5	-	-	62.8	10.9	4.1	62.9	61.6	72.6	62.1	21.4	-	60.3
	女	72.1	65.4	-	-	73.8	14.5	3.1	65.0	65.7	77.5	58.2	26.1	63.0	64.6
2009	計	72.0	65.2	-	-	71.4	11.5	3.7	63.3	64.9	74.5	70.1	25.4	78.0	62.2
	男	70.3	66.4	-	-	63.7	11.1	3.5	61.6	62.5	73.9	70.6	25.5	-	60.5
	女	73.6	64.4	-	-	75.3	12.2	3.9	66.5	68.2	76.0	68.7	25.2	78.0	64.4
2010	計	72.1	62.7	-	-	73.1	9.0	3.4	65.8	68.2	73.9	65.5	35.2	81.6	60.6
	男	70.6	66.4	-	-	65.7	8.1	3.3	64.5	65.5	73.6	68.1	34.4	80.0	58.3
	女	73.4	60.3	-	-	76.5	10.5	3.5	67.6	72.1	74.8	58.7	37.1	82.0	63.3
2011	計	72.0	62.6	-	-	72.5	9.3	3.6	63.8	67.4	74.7	65.2	37.3	66.4	59.5
	男	71.0	66.3	-	-	62.0	9.4	3.4	64.2	67.9	74.7	65.7	38.0	70.0	59.1
	女	73.0	60.1	-	-	77.5	9.2	3.9	63.2	66.5	74.5	63.1	36.2	64.0	59.9
2012	計	73.1	70.3	54.7	-	73.0	9.4	3.7	64.8	67.7	74.6	67.7	38.6	61.3	60.5
	男	71.8	67.2	-	-	64.2	9.2	3.7	62.3	65.7	73.6	67.5	37.2	20.0	59.0
	女	74.4	74.6	54.7	-	77.5	9.7	3.8	68.4	71.9	77.5	67.9	40.8	82.0	62.3
2013	計	73.0	66.9	56.5	50.3	71.5	10.5	4.6	64.8	66.0	73.2	67.0	39.0	55.0	60.3
	男	72.0	63.7	-	-	64.3	11.5	4.5	63.5	63.6	72.0	67.5	35.2	48.5	59.1
	女	73.9	71.4	56.5	50.3	74.8	9.0	4.8	66.9	70.6	76.4	65.5	43.9	59.3	61.7
2014	計	72.8	68.3	52.0	50.1	73.5	10.3	5.4	65.6	66.9	74.3	70.4	37.2	72.2	59.8
	男	71.6	68.4	35.0	-	62.7	9.7	5.3	63.6	66.7	72.8	69.2	36.2	70.5	58.4
	女	73.9	68.2	52.1	50.1	78.4	11.1	5.4	68.6	67.1	77.8	72.9	38.4	73.3	61.3
2015	計	72.7	68.3	54.0	-	76.5	17.0	5.8	65.2	66.6	72.8	68.7	32.9	56.0	60.3
	男	72.1	67.5	38.0	-	68.6	16.7	5.7	62.9	63.9	71.6	69.3	26.8	51.0	59.2
	女	73.2	69.2	54.1	-	80.1	17.5	5.8	68.4	71.0	75.7	67.7	38.6	64.3	61.5
2016	計	74.4	70.7	52.6	-	72.8	9.9	5.8	65.5	67.8	73.9	67.8	34.5	52.0	62.2
	男	72.1	69.1	-	-	65.3	9.5	5.5	63.3	65.8	72.6	66.4	34.3	58.6	61.1
	女	76.3	72.9	52.6	-	77.4	10.5	6.1	69.0	70.5	77.1	70.6	34.8	45.4	63.6
2017	計	76.8	73.4	50.7	-	70.6	20.5	6.0	67.4	67.2	73.9	68.9	31.8	67.8	62.8
	男	75.5	70.8	-	-	63.0	13.5	5.6	66.0	65.1	73.0	66.6	29.7	66.6	61.3
	女	77.8	76.5	50.7	-	73.8	32.8	6.6	69.3	70.7	76.4	74.8	35.1	69.2	64.7
2018	計	75.7	69.7	52.2	-	72.4	23.0	6.0	66.7	69.9	74.2	69.7	38.2	67.7	64.8
	男	73.2	68.7	-	-	62.5	17.0	5.8	65.2	67.7	72.7	69.0	37.7	69.5	63.4
	女	77.8	70.9	52.2	-	77.1	28.6	6.5	68.5	72.5	77.7	72.2	39.0	65.9	66.5

診療科別 年度別自宅復帰率

		内科	外科	乳腺	形成	整形	小整	小神	神内	リハ	心臓	泌尿	歯科	麻酔	年度
2006	自宅復帰率	73.9%	76.5%	-	-	80.2%	98.6%	87.0%	68.2%	65.0%	86.6%	91.7%	100.0%	50.0%	77.3%
	自宅退院数	695	234	-	-	243	73	114	206	214	445	55	41	1	2,321
	退院数	940	306	-	-	303	74	131	302	329	514	60	41	2	3,002
2007	自宅復帰率	70.0%	78.5%	-	-	79.8%	98.8%	95.1%	70.0%	73.9%	89.3%	88.0%	98.1%	-	79.2%
	自宅退院数	590	270	-	-	213	85	117	238	176	617	73	53	-	2,432
	退院数	843	344	-	-	267	86	123	340	238	691	83	54	-	3,069
2008	自宅復帰率	74.4%	84.2%	-	-	78.3%	96.5%	94.3%	73.7%	75.6%	86.2%	83.9%	88.9%	100.0%	80.0%
	自宅退院数	823	288	-	-	227	138	132	202	223	401	52	72	1	2,559
	退院数	1,106	342	-	-	290	143	140	274	295	465	62	81	1	3,199
2009	自宅復帰率	69.8%	78.2%	-	-	80.3%	98.3%	95.8%	74.6%	70.0%	84.1%	84.4%	94.1%	100.0%	78.3%
	自宅退院数	739	279	-	-	191	174	137	241	161	439	81	112	3	2,557
	退院数	1,058	357	-	-	238	177	143	323	230	522	96	119	3	3,266
2010	自宅復帰率	74.6%	85.4%	-	-	74.1%	98.4%	94.3%	75.1%	72.8%	88.5%	91.4%	89.5%	100.0%	81.5%
	自宅退院数	807	327	-	-	160	179	148	278	107	338	96	229	14	2,683
	退院数	1,082	383	-	-	216	182	157	370	147	382	105	256	14	3,294
2011	自宅復帰率	71.1%	85.0%	-	-	78.2%	97.5%	95.2%	74.8%	75.8%	94.5%	92.8%	95.4%	100.0%	82.3%
	自宅退院数	722	335	-	-	165	195	157	305	91	362	103	290	5	2,730
	退院数	1,015	394	-	-	211	200	165	408	120	383	111	304	5	3,316
2012	自宅復帰率	72.8%	77.0%	96.0%	-	77.4%	97.0%	97.1%	70.3%	72.1%	87.3%	84.4%	96.1%	66.7%	81.2%
	自宅退院数	700	211	143	-	164	192	165	225	145	372	81	274	2	2,674
	退院数	961	274	149	-	212	198	170	320	201	426	96	285	3	3,295
2013	自宅復帰率	72.8%	77.1%	94.0%	100.0%	78.3%	99.4%	94.5%	72.7%	64.0%	92.2%	95.5%	96.3%	100.0%	82.8%
	自宅退院数	718	145	109	24	144	167	205	263	103	582	106	283	5	2,854
	退院数	986	188	116	24	184	168	217	362	161	631	111	294	5	3,447
2014	自宅復帰率	73.5%	78.0%	98.8%	100.0%	80.5%	99.4%	96.3%	69.6%	65.5%	89.2%	85.8%	94.0%	100.0%	82.4%
	自宅退院数	733	138	162	30	165	179	232	254	135	551	91	312	5	2,987
	退院数	997	177	164	30	205	180	241	365	206	618	106	332	5	3,626
2015	自宅復帰率	74.6%	78.9%	97.3%	-	77.3%	98.1%	96.0%	68.2%	70.5%	86.5%	88.2%	93.0%	87.5%	82.1%
	自宅退院数	698	273	179	-	99	154	265	274	141	756	60	277	7	3,183
	退院数	936	346	184	-	128	157	276	402	200	874	68	298	8	3,877
2016	自宅復帰率	70.5%	80.9%	95.6%	-	69.1%	97.7%	96.4%	70.2%	68.2%	85.7%	81.0%	92.3%	100.0%	80.4%
	自宅退院数	680	283	174	-	168	125	294	311	163	958	85	264	10	3,515
	退院数	965	350	182	-	243	128	305	443	239	1,118	105	286	10	4,374
2017	自宅復帰率	67.5%	74.9%	97.6%	-	65.7%	98.3%	97.5%	65.8%	68.3%	86.3%	86.6%	95.5%	94.4%	79.6%
	自宅退院数	573	262	123	-	165	117	315	287	149	938	149	274	34	3,386
	退院数	849	350	126	-	251	119	323	436	218	1,087	172	287	36	4,254
2018	自宅復帰率	70.1%	76.4%	96.7%	-	61.0%	87.1%	97.9%	65.3%	58.3%	83.8%	84.2%	92.0%	100.0%	78.0%
	自宅退院数	610	233	177	-	86	88	184	312	127	823	181	243	67	3,131
	退院数	870	305	183	-	141	101	188	478	218	982	215	264	67	4,012

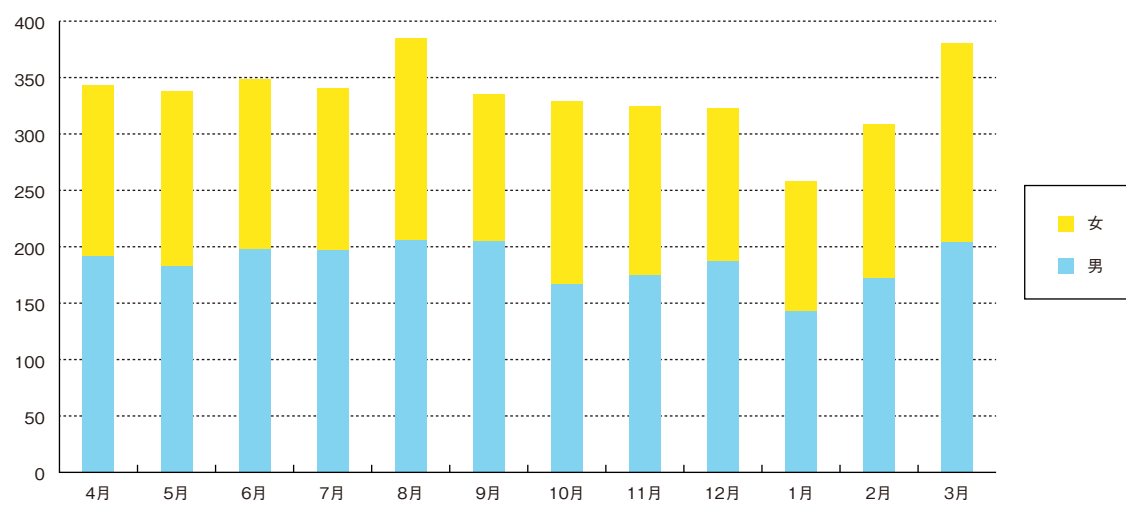
ア. 退院患者数に関する資料

(ア) 診療科別 月別患者数

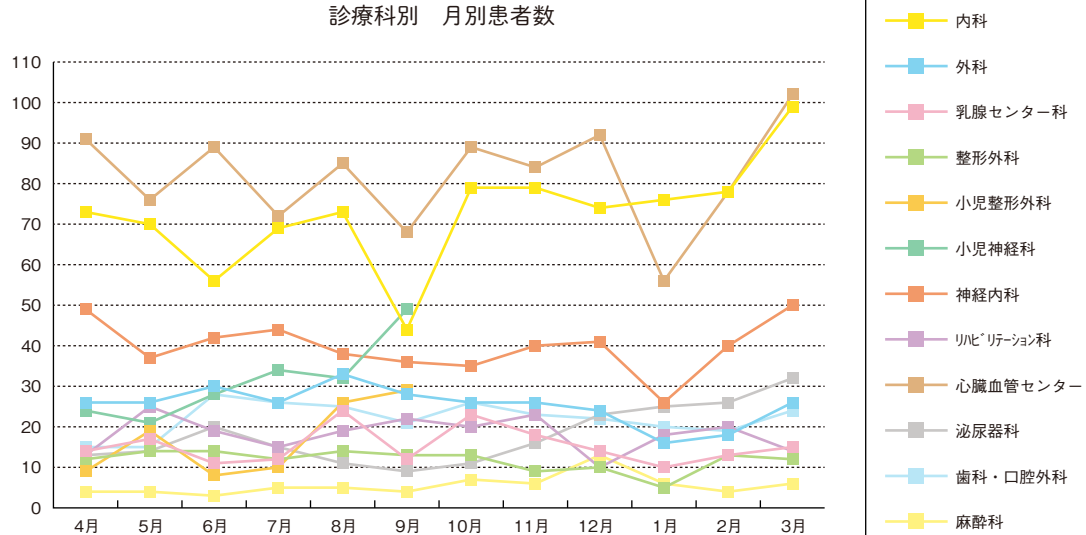
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総数	計	343	338	348	340	385	335	329	324	323	258	309	380	4,012
	男	192	183	198	197	206	205	167	175	187	143	172	204	2,229
	女	151	155	150	143	179	130	162	149	136	115	137	176	1,783
内科	計	73	70	56	69	73	44	79	79	74	76	78	99	870
	男	32	31	28	34	34	20	33	37	35	28	41	48	401
	女	41	39	28	35	39	24	46	42	39	48	37	51	469
外科	計	26	26	30	26	33	28	26	26	24	16	18	26	305
	男	12	15	19	15	16	16	12	15	10	8	8	17	163
	女	14	11	11	11	17	12	14	11	14	8	10	9	142
乳腺 センター科	計	14	17	11	12	24	12	23	18	14	10	13	15	183
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	14	17	11	12	24	12	23	18	14	10	13	15	183
整形外科	計	12	14	14	12	14	13	13	9	10	5	13	12	141
	男	1	5	7	3	5	6	4	2	4	2	2	4	45
	女	11	9	7	9	9	7	9	7	6	3	11	8	96
小児 整形外科	計	9	19	8	10	26	29	-	-	-	-	-	-	101
	男	5	6	3	6	14	14	-	-	-	-	-	-	48
	女	4	13	5	4	12	15	-	-	-	-	-	-	53
小児 神経科	計	24	21	28	34	32	49	-	-	-	-	-	-	188
	男	11	14	15	25	18	34	-	-	-	-	-	-	117
	女	13	7	13	9	14	15	-	-	-	-	-	-	71
神経内科	計	49	37	42	44	38	36	35	40	41	26	40	50	478
	男	26	21	23	24	25	24	20	25	25	16	24	18	271
	女	23	16	19	20	13	12	15	15	16	10	16	32	207
リハビリ テーション科	計	13	25	19	15	19	22	20	23	10	18	20	14	218
	男	8	15	12	9	12	11	9	9	5	8	12	7	117
	女	5	10	7	6	7	11	11	14	5	10	8	7	101
心臓血管 センター	計	91	76	89	72	85	68	89	84	92	56	78	102	982
	男	74	55	64	49	56	53	59	61	66	43	49	66	695
	女	17	21	25	23	29	15	30	23	26	13	29	36	287
泌尿器科	計	13	14	20	15	11	9	11	16	23	25	26	32	215
	男	11	10	13	10	5	8	7	9	19	23	23	28	166
	女	2	4	7	5	6	1	4	7	4	2	3	4	49
歯科・ 口腔外科	計	15	15	28	26	25	21	26	23	22	20	19	24	264
	男	10	10	13	20	17	16	19	14	15	14	11	14	173
	女	5	5	15	6	8	5	7	9	7	6	8	10	91
麻酔科	計	4	4	3	5	5	4	7	6	13	6	4	6	67
	男	2	1	1	2	4	3	4	3	8	1	2	2	33
	女	2	3	2	3	1	1	3	3	5	5	2	4	34

※小児整形外科・小児神経科……10月よりボバース記念病院へ移転

月別 男女別患者数



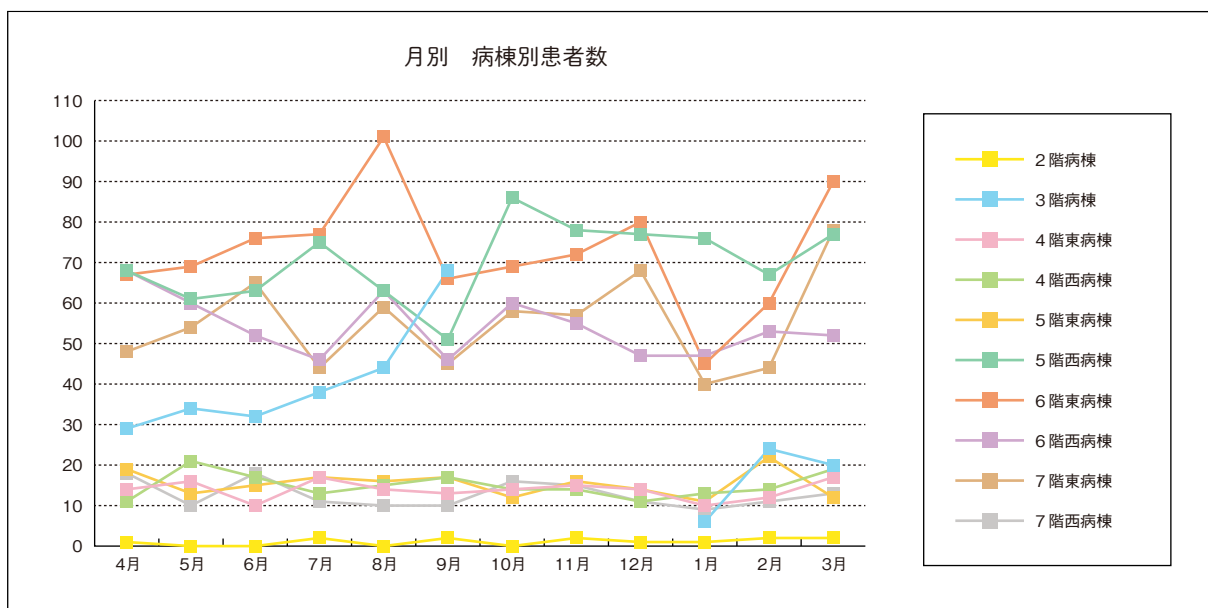
診療科別 月別患者数



(イ) 病棟別 月別患者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総数	計	343	338	348	340	385	335	329	324	323	258	309	380	4,012
	男	192	183	198	197	206	205	167	175	187	143	172	204	2,229
	女	151	155	150	143	179	130	162	149	136	115	137	176	1,783
2階病棟	計	1	0	0	2	0	2	0	2	1	1	2	2	13
	男	0	0	0	1	0	0	0	2	1	1	1	1	7
	女	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	1	6
3階病棟	計	29	34	32	38	44	68	-	-	-	6	24	20	295
	男	14	20	17	28	22	44	-	-	-	2	12	8	167
	女	15	14	15	10	22	24	-	-	-	4	12	12	128
4階東病棟	計	14	16	10	17	14	13	14	15	14	10	12	17	166
	男	6	7	7	11	10	8	9	7	8	5	8	7	93
	女	8	9	3	6	4	5	5	8	6	5	4	10	73
4階西病棟	計	11	21	17	13	15	17	14	14	11	13	14	19	179
	男	7	12	10	7	8	9	7	7	7	8	10	7	99
	女	4	9	7	6	7	8	7	7	4	5	4	12	80
5階東病棟	計	19	13	15	17	16	17	12	16	14	11	22	12	184
	男	9	8	7	9	9	12	8	10	7	6	14	7	106
	女	10	5	8	8	7	5	4	6	7	5	8	5	78
5階西病棟	計	68	61	63	75	63	51	86	78	77	76	67	77	842
	男	33	30	27	36	28	25	42	37	53	48	41	48	448
	女	35	31	36	39	35	26	44	41	24	28	26	29	394
6階東病棟	計	67	69	76	77	101	66	69	72	80	45	60	90	872
	男	43	41	56	50	53	45	34	48	52	28	37	59	546
	女	24	28	20	27	48	21	35	24	28	17	23	31	326
6階西病棟	計	68	60	52	46	63	46	60	55	47	47	53	52	649
	男	52	43	39	34	49	39	47	37	30	36	32	38	476
	女	16	17	13	12	14	7	13	18	17	11	21	14	173
7階東病棟	計	48	54	65	44	59	45	58	57	68	40	44	78	660
	男	16	14	24	15	20	18	15	19	22	5	13	25	206
	女	32	40	41	29	39	27	43	38	46	35	31	53	454
7階西病棟	計	18	10	18	11	10	10	16	15	11	9	11	13	152
	男	12	8	11	6	7	5	5	8	7	4	4	4	81
	女	6	2	7	5	3	5	11	7	4	5	7	9	71

※3階病棟・・・病棟再編のため10月～12月まで休床



(ウ) 診療科別 月別平均在院日数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2018年度
総数	計	28.5	31.9	28.5	29.6	25.7	29.8	27.8	30.7	23.9	27.5	34.3	26.5	28.7
	男	24.8	32.9	29.5	28.9	25.9	26.8	27.3	31.7	22.4	26.1	30.7	23.6	27.5
	女	33.3	30.8	27.0	30.5	25.5	34.6	28.3	29.6	25.8	29.2	38.9	29.9	30.1
内科	計	20.2	16.6	21.8	22.1	13.5	18.4	17.9	20.3	19.7	19.4	25.1	19.2	19.5
	男	18.7	14.0	19.9	18.7	15.7	15.6	21.1	21.4	17.1	15.9	24.1	16.9	18.5
	女	21.4	18.7	23.8	25.3	11.5	20.8	15.7	19.2	22.0	21.5	26.1	21.4	20.4
外科	計	12.8	17.9	9.9	15.5	21.5	18.4	8.1	9.8	13.6	17.2	13.6	14.5	14.5
	男	17.1	20.3	9.3	13.3	13.0	19.0	10.3	11.9	12.1	8.8	7.9	16.9	13.7
	女	9.1	14.7	11.1	18.5	29.5	17.5	6.1	7.0	14.7	25.6	18.1	9.9	15.3
乳腺 センター科	計	22.6	12.1	7.4	10.7	11.8	9.7	11.7	8.8	9.9	9.1	9.2	9.9	11.2
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	22.6	12.1	7.4	10.7	11.8	9.7	11.7	8.8	9.9	9.1	9.2	9.9	11.2
整形外科	計	28.8	27.5	39.8	28.4	30.5	25.8	36.3	45.6	31.7	41.6	46.1	28.4	33.6
	男	7.0	20.4	40.7	20.0	33.4	14.7	26.5	44.5	46.0	25.5	35.0	15.3	28.2
	女	30.8	31.4	38.9	31.2	28.9	35.4	40.7	45.9	22.2	52.3	48.1	35.0	36.1
小児 整形外科	計	21.1	47.7	27.8	25.7	30.9	37.9	-	-	-	-	-	-	34.4
	男	6.0	27.3	35.3	21.5	22.4	37.4	-	-	-	-	-	-	26.4
	女	40.0	57.1	23.2	32.0	40.9	38.3	-	-	-	-	-	-	41.7
小児 神経科	計	27.9	36.3	35.8	33.5	28.2	27.4	-	-	-	-	-	-	30.9
	男	30.0	34.6	42.9	34.2	26.1	24.5	-	-	-	-	-	-	30.9
	女	26.2	39.7	27.6	31.4	30.9	34.0	-	-	-	-	-	-	31.0
神経内科	計	85.2	72.8	75.2	76.1	76.0	78.5	82.7	84.1	75.2	84.2	87.7	80.3	79.8
	男	83.5	75.8	74.3	71.5	82.9	76.7	80.9	83.4	74.0	73.3	90.4	86.6	79.5
	女	87.0	68.8	76.4	81.6	62.7	82.3	85.0	85.3	77.1	101.5	83.7	76.7	80.1
リハビリ テーション科	計	59.2	82.5	69.2	64.5	68.7	81.2	89.0	76.8	84.4	65.8	94.5	92.5	77.8
	男	61.9	80.5	68.4	59.2	62.9	83.5	83.7	78.8	81.2	57.1	99.4	99.1	76.4
	女	55.0	85.4	70.4	72.3	78.6	78.9	93.3	75.6	87.6	72.8	87.0	85.9	79.4
心臓血管 センター	計	14.3	25.4	18.6	24.1	15.8	14.6	21.1	26.1	13.9	26.5	27.4	17.2	20.0
	男	11.1	29.0	20.9	30.0	12.4	10.3	18.5	26.4	13.2	32.4	14.2	18.7	19.2
	女	28.3	16.1	12.8	11.7	22.4	29.5	26.1	25.3	16.0	6.9	49.6	14.4	22.0
泌尿器科	計	13.6	13.3	17.5	10.9	13.5	14.9	9.5	8.8	4.3	5.5	4.4	5.8	9.0
	男	7.6	11.8	15.4	6.8	5.6	11.8	10.6	5.4	3.5	5.3	3.1	5.4	6.8
	女	46.5	17.0	21.4	19.2	20.0	40.0	7.8	13.1	8.3	8.5	14.0	8.3	16.6
歯科・ 口腔外科	計	1.1	1.1	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1	1.2	1.1	1.6	1.3	1.1	1.2
	男	1.0	1.1	1.1	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1	1.0	1.6	1.4	1.1	1.2
	女	1.4	1.0	1.5	1.3	1.1	1.0	1.1	1.4	1.4	1.7	1.3	1.2	1.3
麻酔科	計	2.3	3.5	2.3	4.6	14.4	2.0	12.0	4.5	10.2	2.8	3.8	6.8	6.7
	男	2.5	2.0	3.0	7.0	17.3	2.0	17.0	4.3	11.0	2.0	3.5	1.5	8.5
	女	2.0	4.0	2.0	3.0	3.0	2.0	5.3	4.7	8.8	3.0	4.0	9.5	5.0

※小児整形外科・小児神経科……10月よりボバース記念病院へ移転

(エ) 病棟別 月別平均在院日数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2018年度
総数	計	28.5	31.9	28.5	29.6	25.7	29.8	27.8	30.7	23.9	27.5	34.3	26.5	28.7
	男	24.8	32.9	29.5	28.9	25.9	26.8	27.3	31.7	22.4	26.1	30.7	23.6	27.5
	女	33.3	30.8	27.0	30.5	25.5	34.6	28.3	29.6	25.8	29.2	38.9	29.9	30.1
2階病棟	計	5.0	-	-	289.0	-	102.0	-	96.5	21.0	205.0	499.0	127.0	189.1
	男	-	-	-	547.0	-	-	-	96.5	21.0	205.0	5.0	246.0	173.9
	女	5.0	-	-	31.0	-	102.0	-	-	-	-	993.0	8.0	206.8
3階病棟	計	27.9	45.3	34.8	33.9	34.7	33.0	-	-	-	16.3	32.8	36.9	34.4
	男	24.0	32.4	42.9	32.8	31.3	30.6	-	-	-	22.0	28.5	29.6	31.7
	女	31.6	63.8	25.6	37.0	38.1	37.5	-	-	-	13.5	37.2	41.7	38.0
4階東病棟	計	93.3	72.8	85.6	75.8	81.4	96.3	88.2	97.5	73.0	107.8	86.0	81.2	85.7
	男	95.7	89.1	82.0	68.0	96.6	78.1	91.4	95.7	62.6	122.2	99.8	86.3	87.3
	女	91.5	60.0	94.0	90.2	43.5	125.4	82.4	99.1	86.8	93.4	58.5	77.7	83.6
4階西病棟	計	71.3	86.0	65.9	66.1	83.6	78.2	89.2	74.1	82.4	77.2	108.0	95.3	82.0
	男	84.7	78.4	65.3	70.3	70.1	88.1	96.1	73.4	90.6	63.6	105.2	95.3	81.6
	女	47.8	96.1	66.9	61.2	99.0	67.1	82.3	74.9	68.0	98.8	115.0	95.3	82.4
5階東病棟	計	82.2	82.2	88.4	74.8	74.4	75.4	92.1	85.9	82.9	77.2	82.6	69.5	80.6
	男	65.6	89.0	85.1	74.2	81.3	73.9	88.1	75.7	77.4	54.0	88.5	82.3	78.6
	女	97.1	71.2	91.3	75.4	65.6	79.0	100.0	103.0	88.3	105.0	72.3	51.6	83.5
5階西病棟	計	15.7	18.6	14.6	16.0	18.1	16.3	15.5	12.9	14.2	12.9	13.6	9.9	14.7
	男	10.8	14.8	14.4	5.4	20.5	5.7	16.1	11.4	9.2	7.1	9.7	9.2	10.9
	女	20.3	22.3	14.7	25.7	16.1	26.4	14.9	14.2	25.4	22.6	19.8	11.1	19.0
6階東病棟	計	14.4	16.2	18.2	14.1	12.2	12.0	12.3	22.1	14.4	16.8	18.7	12.8	15.1
	男	9.0	16.7	14.7	13.5	10.3	12.1	12.3	21.7	11.4	17.3	14.2	9.9	13.4
	女	24.0	15.5	28.0	15.2	14.4	11.8	12.4	22.9	20.0	16.0	25.9	18.3	18.1
6階西病棟	計	14.4	23.1	22.7	20.6	11.2	12.0	18.5	25.7	17.7	22.4	14.7	17.0	18.2
	男	13.0	28.2	24.6	23.8	8.7	11.4	19.2	28.5	21.6	27.0	13.7	19.2	19.5
	女	18.8	10.1	16.8	11.8	20.3	15.0	15.8	19.9	10.6	7.2	16.3	10.8	14.7
7階東病棟	計	21.1	15.8	12.8	15.4	17.8	15.0	18.3	14.1	11.1	13.7	14.8	14.2	15.2
	男	20.9	16.6	15.6	20.6	15.3	12.7	12.5	14.9	12.3	14.8	15.8	13.0	15.2
	女	21.2	15.6	11.1	12.7	19.1	16.5	20.4	13.7	10.5	13.5	14.4	14.7	15.2
7階西病棟	計	71.8	71.6	65.6	78.6	65.0	82.8	74.3	71.1	69.1	58.9	90.3	89.8	73.9
	男	75.8	64.0	68.3	57.0	76.0	94.6	34.0	75.9	71.4	42.0	68.3	101.5	69.7
	女	63.7	102.0	61.3	104.6	39.3	71.0	92.6	65.6	65.0	72.4	102.9	84.7	78.8

		2018年度
一般病棟	計	16.7
	男	15.5
	女	18.2
回復期病棟	計	80.7
	男	79.6
	女	82.1
障害者病棟	計	34.8
	男	32.2
	女	38.6

※一般病棟……………2階病棟・3階病棟（1～3月）・5階西病棟・6階東病棟・6階西病棟・7階東病棟

回復期病棟……………4階東病棟・4階西病棟・5階東病棟・7階西病棟

障害者病棟……………3階病棟（4～9月）

※3階病棟……………病棟再編のため10月～12月まで休床

(オ) 診療科別 月別死亡患者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	死亡率
総数	計	5	8	7	14	10	8	8	6	7	11	9	13	106	2.6%
	男	4	4	2	7	4	4	3	4	3	8	3	9	55	2.5%
	女	1	4	5	7	6	4	5	2	4	3	6	4	51	2.9%
内科	計	4	6	7	8	7	3	4	4	3	8	6	6	66	7.6%
	男	4	3	2	4	2	2	2	2	2	6	2	4	35	8.7%
	女	0	3	5	4	5	1	2	2	1	2	4	2	31	6.6%
外科	計	0	1	0	2	2	1	0	0	2	1	0	2	11	3.6%
	男	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3	1.8%
	女	0	1	0	2	0	1	0	0	2	1	0	1	8	5.6%
乳腺 センター科	計	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3	1.6%
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3	1.6%
整形外科	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
小児 整形外科	計	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	-
小児 神経科	計	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	-
神経内科	計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.2%
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.5%
リハビリ テーション科	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
心臓血管 センター	計	1	1	0	3	0	3	2	2	1	1	3	5	22	2.2%
	男	0	1	0	3	0	1	1	2	1	1	1	4	15	2.2%
	女	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	2	1	7	2.4%
泌尿器科	計	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3	1.4%
	男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	1.2%
	女	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2.0%
歯科・ 口腔外科	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
麻酔科	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-

※小児整形外科・小児神経科……10月よりボバース記念病院へ移転

(カ) 病棟別 月別死亡患者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	死亡率
総数	計	5	8	7	14	10	8	8	6	7	11	9	13	106	2.6%
	男	4	4	2	7	4	4	3	4	3	8	3	9	55	2.5%
	女	1	4	5	7	6	4	5	2	4	3	6	4	51	2.9%
2階病棟	計	1	0	0	2	0	2	0	2	1	1	2	2	13	100.0%
	男	0	0	0	1	0	0	0	2	1	1	1	1	7	100.0%
	女	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	1	6	100.0%
3階病棟	計	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	0	0	0	-
4階東病棟	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
4階西病棟	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
5階東病棟	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
5階西病棟	計	1	2	1	3	3	1	3	1	0	5	0	1	21	2.5%
	男	1	0	0	1	1	0	2	0	0	3	0	1	9	2.0%
	女	0	2	1	2	2	1	1	1	0	2	0	0	12	3.0%
6階東病棟	計	2	3	4	6	4	4	2	0	3	4	3	7	42	4.8%
	男	2	3	1	3	1	3	0	0	1	4	2	4	24	4.4%
	女	0	0	3	3	3	1	2	0	2	0	1	3	18	5.5%
6階西病棟	計	0	2	0	2	1	0	1	0	0	0	1	2	9	1.4%
	男	0	1	0	2	1	0	1	0	0	0	0	2	7	1.5%
	女	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1.2%
7階東病棟	計	1	1	2	1	2	1	2	3	3	1	3	1	21	3.2%
	男	1	0	1	0	1	1	0	2	1	0	0	1	8	3.9%
	女	0	1	1	1	1	0	2	1	2	1	3	0	13	2.9%
7階西病棟	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-

※3階病棟……病棟再編のため10月～12月まで休床

(キ) 診療圏別 患者数

大阪市内		計
北部ブロック	淀川区	22
	東淀川区	36
	北区	38
	都島区	67
	旭区	69
計		232
西部ブロック	西淀川区	13
	此花区	36
	福島区	24
	港区	34
	西区	34
	大正区	35
計		176
東部ブロック	中央区	139
	浪速区	18
	天王寺区	92
	城東区	873
	鶴見区	145
	東成区	547
	生野区	154
	計	1,968
南部ブロック	西成区	38
	阿倍野区	42
	住之江区	40
	住吉区	27
	東住吉区	57
	平野区	83
計		287
合計		2,663

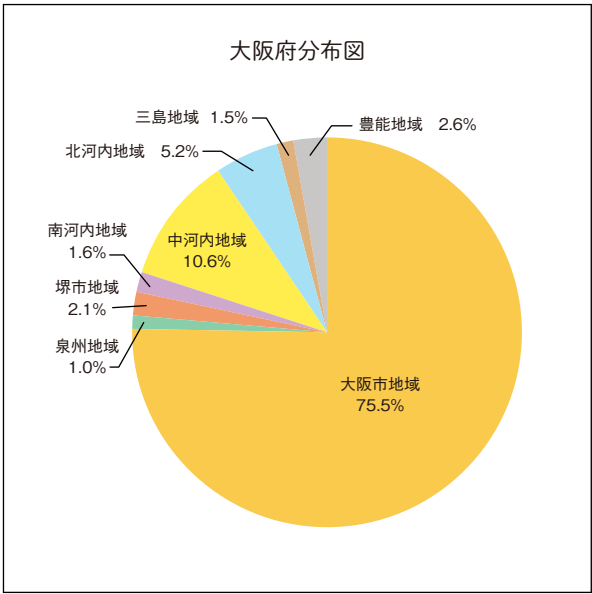
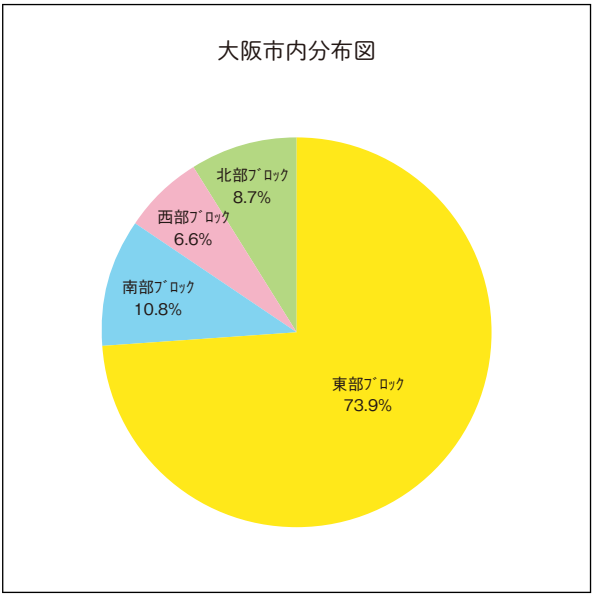
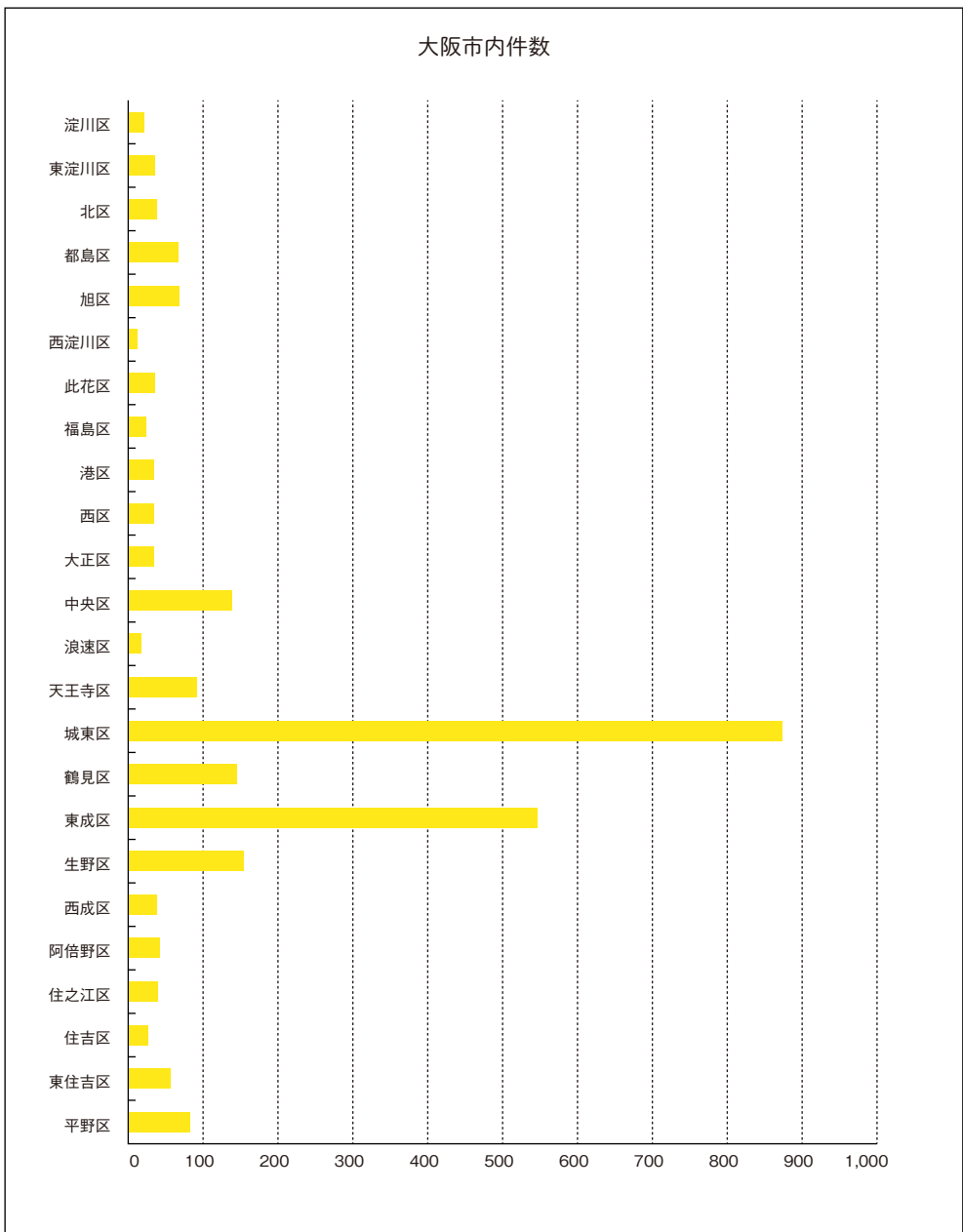
外国	計
中国	1
合計	1

北海道地方	0
東北地方	0
北陸地方	9
関東地方	24
中部地方	58
近畿地方	3,869
中国地方	15
四国地方	21
九州地方	10
沖縄地方	5
外国	1
詳細不明	0
総合計	4,012

大阪府内		計
大阪市地域	大阪市	2,663
豊能地域	豊能郡	0
	池田市	11
	箕面市	8
	豊中市	29
	吹田市	44
	計	92
三島地域	茨木市	21
	摂津市	12
	高槻市	17
	三島郡	3
	計	53
北河内地域	守口市	24
	門真市	23
	寝屋川市	35
	大東市	43
	枚方市	35
	交野市	11
	四條畷市	12
	計	183
中河内地域	東大阪市	337
	八尾市	28
	柏原市	9
	計	374
南河内地域	松原市	9
	藤井寺市	5
	羽曳野市	13
	大阪狭山市	5
	富田林市	11
	南河内郡	5
	河内長野市	7
	計	55
堺市地域	堺市	74
泉州地域	高石市	2
	泉大津市	1
	泉北郡	0
	和泉市	5
	岸和田市	10
	貝塚市	7
	泉佐野市	1
	泉南市	2
	阪南市	2
	泉南郡	5
計	35	
合計		3,529

詳細不明	計
行路	0
不明	0
合計	0

都道府県別		計
北海道地方	北海道	0
東北地方	青森県	0
	岩手県	0
	宮城県	0
	秋田県	0
	山形県	0
	福島県	0
計		0
北陸地方	長野県	1
	新潟県	0
	富山県	4
	石川県	1
	福井県	3
計		9
関東地方	茨城県	0
	栃木県	0
	群馬県	2
	埼玉県	0
	千葉県	7
	東京都	11
	神奈川県	4
	山梨県	0
計		24
中部地方	岐阜県	8
	静岡県	2
	愛知県	25
	三重県	23
計		58
近畿地方	滋賀県	15
	京都府	41
	大阪府	3,529
	兵庫県	149
	奈良県	106
	和歌山県	29
計		3,869
中国地方	鳥取県	1
	島根県	4
	岡山県	3
	広島県	5
	山口県	2
計		15
四国地方	徳島県	9
	香川県	6
	愛媛県	3
	高知県	3
計		21
九州地方	福岡県	2
	佐賀県	2
	長崎県	1
	熊本県	0
	大分県	0
	宮崎県	1
	鹿児島県	4
計		10
沖縄地方	沖縄県	5
合計		4,012

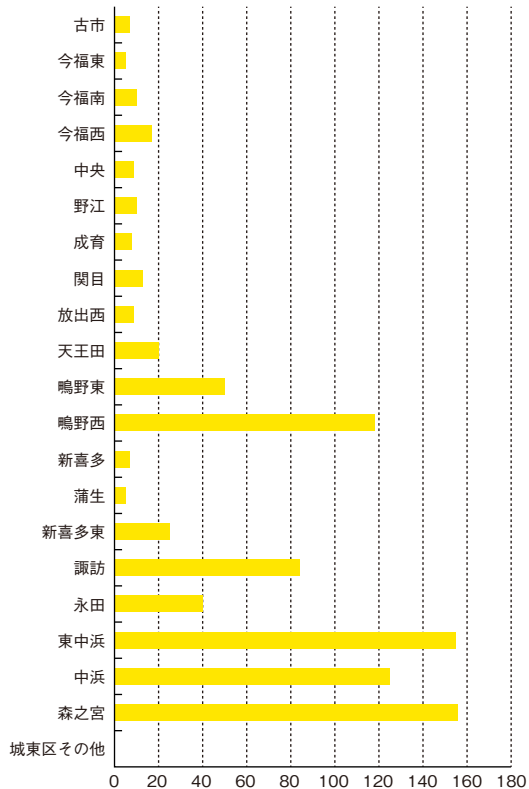


城東区内	
古市	7
今福東	5
今福南	10
今福西	17
中央	9
野江	10
成育	8
関目	13
放出西	9
天王田	20
鳴野東	50
鳴野西	118
新喜多	7
蒲生	5
新喜多東	25
諏訪	84
永田	40
東中浜	155
中浜	125
森之宮	156
城東区その他	0
合計	873

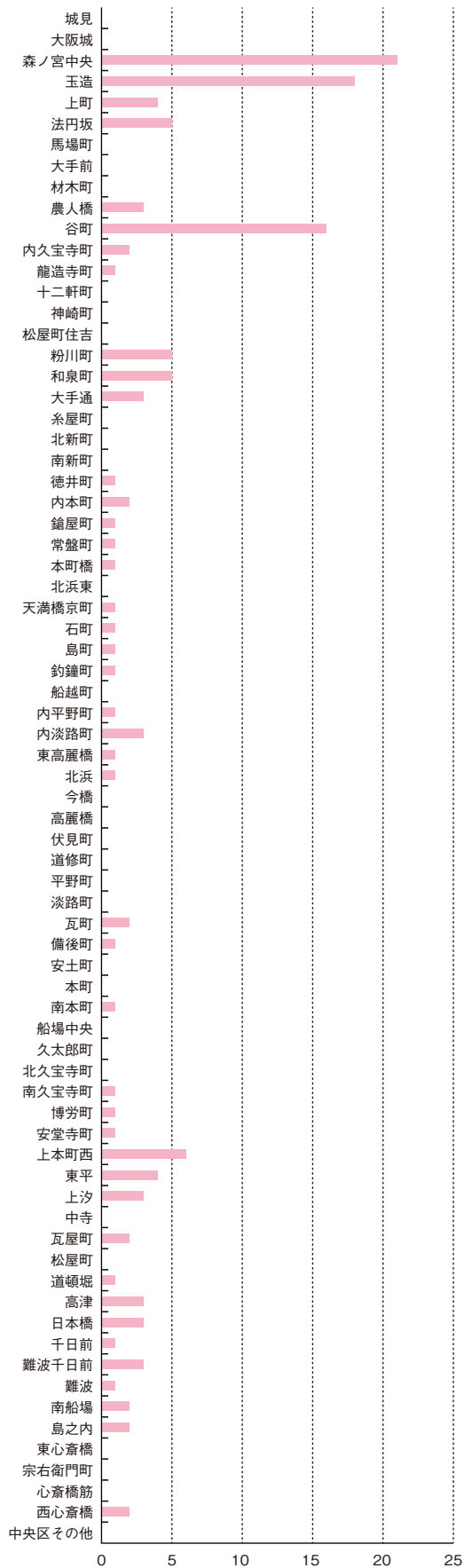
東成区内	
深江北	29
深江南	28
神路	36
東今里	33
大今里	45
大今里南	24
大今里西	31
東中本	49
中本	145
玉津	16
東小橋	18
中道	93
東成区その他	0
合計	547

中央区内			
城見	0	今橋	0
大阪城	0	高麗橋	0
森ノ宮中央	21	伏見町	0
玉造	18	道修町	0
上町	4	平野町	0
法円坂	5	淡路町	0
馬場町	0	瓦町	2
大手前	0	備後町	1
材木町	0	安土町	0
農人橋	3	本町	0
谷町	16	南本町	1
内久宝寺町	2	船場中央	0
龍造寺町	1	久太郎町	0
十二軒町	0	北久宝寺町	0
神崎町	0	南久宝寺町	1
松屋町住吉	0	博労町	1
粉川町	5	安堂寺町	1
和泉町	5	上本町西	6
大手通	3	東平	4
糸屋町	0	上汐	3
北新町	0	中寺	0
南新町	0	瓦屋町	2
徳井町	1	松屋町	0
内本町	2	道頓堀	1
鑓屋町	1	高津	3
常盤町	1	日本橋	3
本町橋	1	千日前	1
北浜東	0	難波千日前	3
天満橋京町	1	難波	1
石町	1	南船場	2
島町	1	島之内	2
釣鐘町	1	東心斎橋	0
船越町	0	宗右衛門町	0
内平野町	1	心斎橋筋	0
内淡路町	3	西心斎橋	2
東高麗橋	1	中央区その他	0
北浜	1		
合計		139	

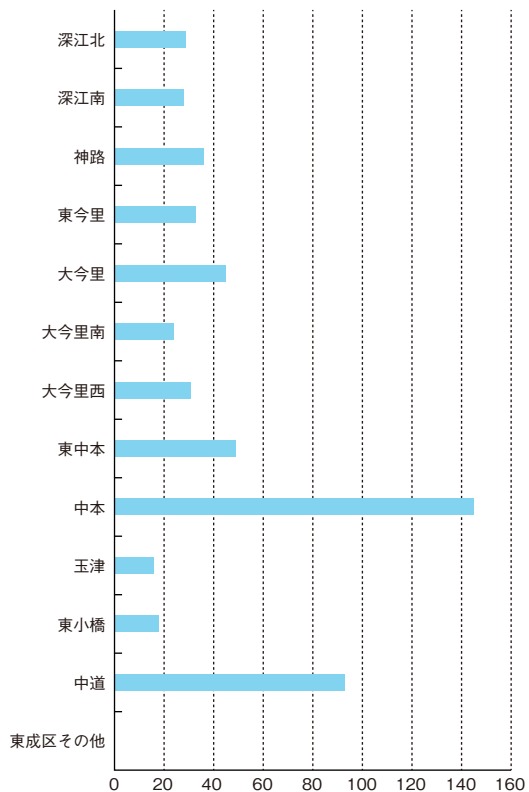
城東区内件数



中央区内件数



東成区内件数



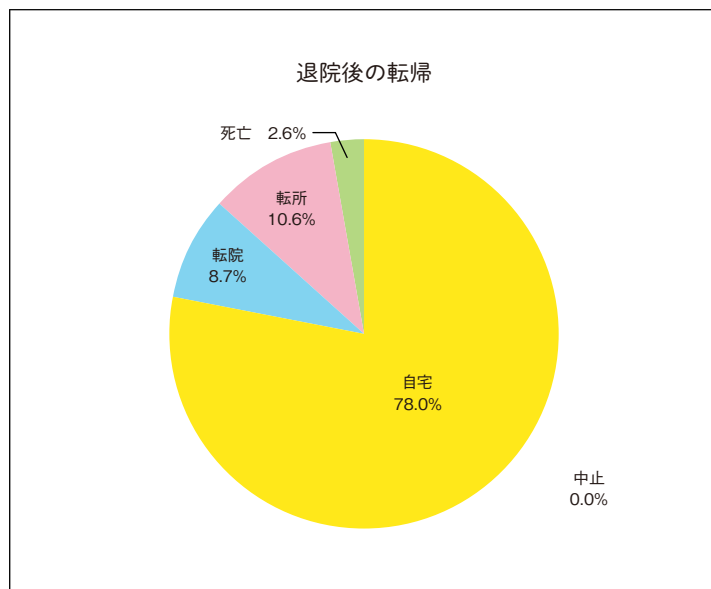
(ク) 診療科別 退院後の転帰

	内科			外科			乳腺センター科			整形外科		
	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数
自宅	610	70.1%	13.6	233	76.4%	11.1	177	96.7%	10.1	86	61.0%	30.1
転院	64	7.4%	46.5	29	9.5%	26.2	2	1.1%	99.0	42	29.8%	38.8
転所	130	14.9%	28.8	32	10.5%	26.0	1	0.5%	10.0	13	9.2%	39.9
死亡	66	7.6%	29.9	11	3.6%	22.0	3	1.6%	22.0	0	-	-
中止	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
合計	870	100.0%	19.5	305	100.0%	14.5	183	100.0%	11.2	141	100.0%	33.6

	小児整形外科			小児神経科			神経内科			リハビリテーション科		
	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数
自宅	88	87.1%	34.6	184	97.9%	31.3	312	65.3%	77.0	127	58.3%	76.2
転院	11	10.9%	32.9	4	2.1%	14.5	70	14.6%	65.0	33	15.1%	64.4
転所	2	2.0%	35.5	0	-	-	95	19.9%	100.2	58	26.6%	89.0
死亡	0	-	-	0	-	-	1	0.2%	31.0	0	-	-
中止	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
合計	101	100.0%	34.4	188	100.0%	30.9	478	100.0%	79.8	218	100.0%	77.8

	心臓血管センター			泌尿器科			歯科・口腔外科			麻酔科		
	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数
自宅	823	83.8%	14.5	181	84.2%	7.1	243	92.0%	1.2	67	100.0%	6.7
転院	85	8.7%	30.2	8	3.7%	10.8	0	-	-	0	-	-
転所	52	5.3%	35.0	23	10.7%	19.2	21	8.0%	1.0	0	-	-
死亡	22	2.2%	152.5	3	1.4%	45.0	0	-	-	0	-	-
中止	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
合計	982	100.0%	20.0	215	100.0%	9.0	264	100.0%	1.2	67	100.0%	6.7

	2018年度		
	患者数	%	平均在院日数
自宅	3,131	78.0%	22.9
転院	348	8.7%	44.0
転所	427	10.6%	51.9
死亡	106	2.6%	54.7
中止	0	-	-
合計	4,012	100.0%	28.7



(ケ) 病棟別 退院後の転帰

	2階病棟			3階病棟			4階東病棟			4階西病棟		
	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数
自宅	0	-	-	281	95.3%	35.0	98	59.0%	86.3	117	65.4%	79.9
転院	0	-	-	8	2.7%	21.0	35	21.1%	63.5	20	11.2%	61.3
転所	0	-	-	6	2.0%	25.3	33	19.9%	107.3	42	23.5%	97.6
死亡	13	100.0%	189.1	0	-	-	0	-	-	0	-	-
中止	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
合計	13	100.0%	189.1	295	100.0%	34.4	166	100.0%	85.7	179	100.0%	82.0

	5階東病棟			5階西病棟			6階東病棟			6階西病棟		
	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数
自宅	125	67.9%	77.0	658	78.1%	9.8	658	75.5%	10.4	566	87.2%	15.6
転院	26	14.1%	71.8	85	10.1%	38.3	66	7.6%	41.4	39	6.0%	18.7
転所	33	17.9%	101.4	78	9.3%	23.0	106	12.2%	26.6	35	5.4%	36.4
死亡	0	-	-	21	2.5%	43.0	42	4.8%	19.0	9	1.4%	107.1
中止	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
合計	184	100.0%	80.6	842	100.0%	14.7	872	100.0%	15.1	649	100.0%	18.2

	7階東病棟			7階西病棟		
	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数
自宅	532	80.6%	10.5	96	63.2%	70.3
転院	51	7.7%	42.0	18	11.8%	53.9
転所	56	8.5%	28.6	38	25.0%	92.6
死亡	21	3.2%	32.4	0	-	-
中止	0	-	-	0	-	-
合計	660	100.0%	15.2	152	100.0%	73.9

	一般病棟			回復期病棟			障害者病棟			2018年度		
	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数	患者数	%	平均在院日数
自宅	2,457	79.6%	11.9	436	64.0%	78.4	238	97.1%	35.3	3,131	78.0%	22.9
転院	242	7.8%	36.8	99	14.5%	63.5	7	2.9%	18.7	348	8.7%	44.0
転所	281	9.1%	27.2	146	21.4%	99.4	0	-	-	427	10.6%	51.9
死亡	106	3.4%	54.7	0	-	-	0	-	-	106	2.6%	54.7
中止	0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	-	-
合計	3,086	100.0%	16.7	681	100.0%	80.7	245	100.0%	34.8	4,012	100.0%	28.7

※一般病棟……2階病棟・3階病棟(1～3月)・5階西病棟・6階東病棟・6階西病棟・7階東病棟

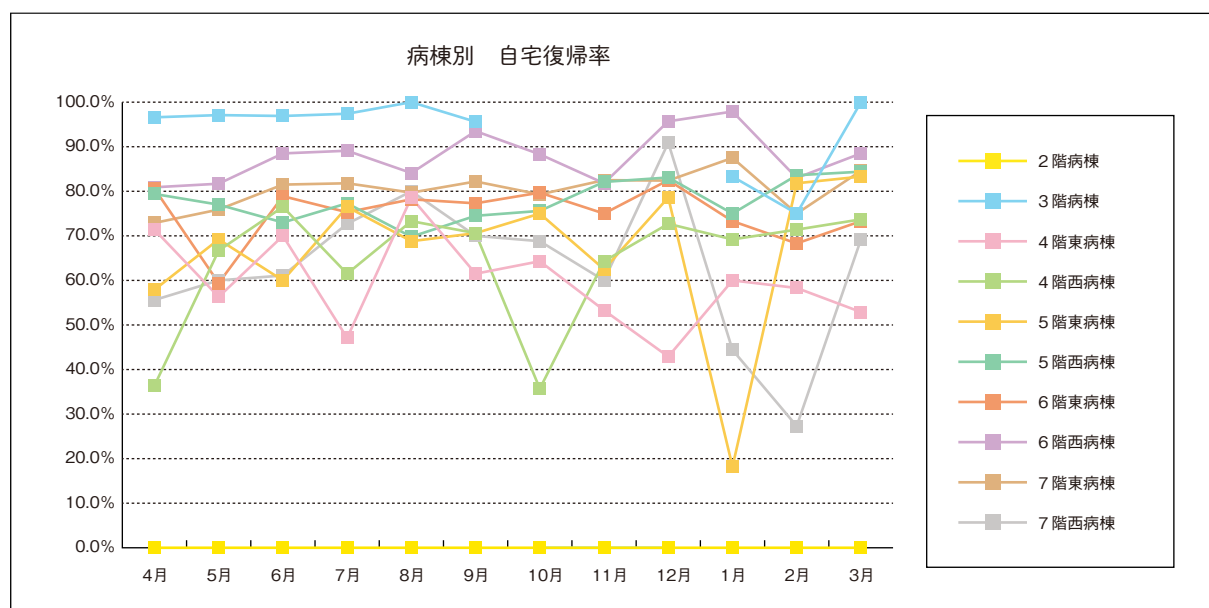
回復期病棟……4階東病棟・4階西病棟・5階東病棟・7階西病棟

障害者病棟……3階病棟(4～9月)

(コ) 病棟別 自宅復帰率

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2018年度
総数	自宅復帰率	76.1%	73.7%	79.3%	78.5%	80.0%	81.5%	76.9%	75.9%	82.4%	76.4%	74.4%	80.3%	78.0%
	自宅退院数	261	249	276	267	308	273	253	246	266	197	230	305	3,131
	退院数	343	338	348	340	385	335	329	324	323	258	309	380	4,012
2階病棟	自宅復帰率	0.0%	-	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	自宅退院数	0	-	-	0	-	0	-	0	0	0	0	0	0
	退院数	1	0	0	2	0	2	0	2	1	1	2	2	13
3階病棟	自宅復帰率	96.6%	97.1%	96.9%	97.4%	100.0%	95.6%	-	-	-	83.3%	75.0%	100.0%	95.3%
	自宅退院数	28	33	31	37	44	65	-	-	-	5	18	20	281
	退院数	29	34	32	38	44	68	-	-	-	6	24	20	295
4階東病棟	自宅復帰率	71.4%	56.3%	70.0%	47.1%	78.6%	61.5%	64.3%	53.3%	42.9%	60.0%	58.3%	52.9%	59.0%
	自宅退院数	10	9	7	8	11	8	9	8	6	6	7	9	98
	退院数	14	16	10	17	14	13	14	15	14	10	12	17	166
4階西病棟	自宅復帰率	36.4%	66.7%	76.5%	61.5%	73.3%	70.6%	35.7%	64.3%	72.7%	69.2%	71.4%	73.7%	65.4%
	自宅退院数	4	14	13	8	11	12	5	9	8	9	10	14	117
	退院数	11	21	17	13	15	17	14	14	11	13	14	19	179
5階東病棟	自宅復帰率	57.9%	69.2%	60.0%	76.5%	68.8%	70.6%	75.0%	62.5%	78.6%	18.2%	81.8%	83.3%	67.9%
	自宅退院数	11	9	9	13	11	12	9	10	11	2	18	10	125
	退院数	19	13	15	17	16	17	12	16	14	11	22	12	184
5階西病棟	自宅復帰率	79.4%	77.0%	73.0%	77.3%	69.8%	74.5%	75.6%	82.1%	83.1%	75.0%	83.6%	84.4%	78.1%
	自宅退院数	54	47	46	58	44	38	65	64	64	57	56	65	658
	退院数	68	61	63	75	63	51	86	78	77	76	67	77	842
6階東病棟	自宅復帰率	80.6%	59.4%	78.9%	75.3%	78.2%	77.3%	79.7%	75.0%	82.5%	73.3%	68.3%	73.3%	75.5%
	自宅退院数	54	41	60	58	79	51	55	54	66	33	41	66	658
	退院数	67	69	76	77	101	66	69	72	80	45	60	90	872
6階西病棟	自宅復帰率	80.9%	81.7%	88.5%	89.1%	84.1%	93.5%	88.3%	81.8%	95.7%	97.9%	83.0%	88.5%	87.2%
	自宅退院数	55	49	46	41	53	43	53	45	45	46	44	46	566
	退院数	68	60	52	46	63	46	60	55	47	47	53	52	649
7階東病棟	自宅復帰率	72.9%	75.9%	81.5%	81.8%	79.7%	82.2%	79.3%	82.5%	82.4%	87.5%	75.0%	84.6%	80.6%
	自宅退院数	35	41	53	36	47	37	46	47	56	35	33	66	532
	退院数	48	54	65	44	59	45	58	57	68	40	44	78	660
7階西病棟	自宅復帰率	55.6%	60.0%	61.1%	72.7%	80.0%	70.0%	68.8%	60.0%	90.9%	44.4%	27.3%	69.2%	63.2%
	自宅退院数	10	6	11	8	8	7	11	9	10	4	3	9	96
	退院数	18	10	18	11	10	10	16	15	11	9	11	13	152

※3階病棟……病棟再編のため10月～12月まで休床



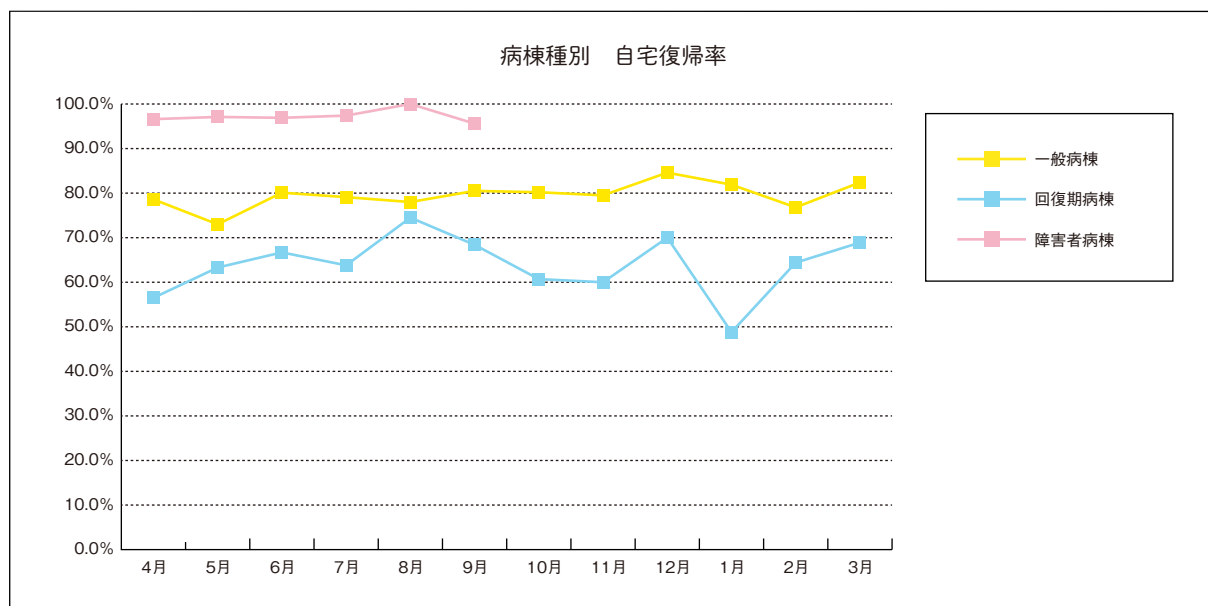
(サ) 病棟種別 自宅復帰率

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2018年度
総数	自宅復帰率	76.1%	73.7%	79.3%	78.5%	80.0%	81.5%	76.9%	75.9%	82.4%	76.4%	74.4%	80.3%	78.0%
	自宅退院数	261	249	276	267	308	273	253	246	266	197	230	305	3,131
	退院数	343	338	348	340	385	335	329	324	323	258	309	380	4,012
一般病棟	自宅復帰率	78.6%	73.0%	80.1%	79.1%	78.0%	80.5%	80.2%	79.5%	84.6%	81.9%	76.8%	82.4%	79.6%
	自宅退院数	198	178	205	193	223	169	219	210	231	176	192	263	2,457
	退院数	252	244	256	244	286	210	273	264	273	215	250	319	3,086
回復期病棟	自宅復帰率	56.5%	63.3%	66.7%	63.8%	74.5%	68.4%	60.7%	60.0%	70.0%	48.8%	64.4%	68.9%	64.0%
	自宅退院数	35	38	40	37	41	39	34	36	35	21	38	42	436
	退院数	62	60	60	58	55	57	56	60	50	43	59	61	681
障害者病棟	自宅復帰率	96.6%	97.1%	96.9%	97.4%	100.0%	95.6%	-	-	-	-	-	-	97.1%
	自宅退院数	28	33	31	37	44	65	-	-	-	-	-	-	238
	退院数	29	34	32	38	44	68	-	-	-	-	-	-	245

※一般病棟……2階病棟・3階病棟(1～3月)・5階西病棟・6階東病棟・6階西病棟・7階東病棟

回復期病棟……4階東病棟・4階西病棟・5階東病棟・7階西病棟

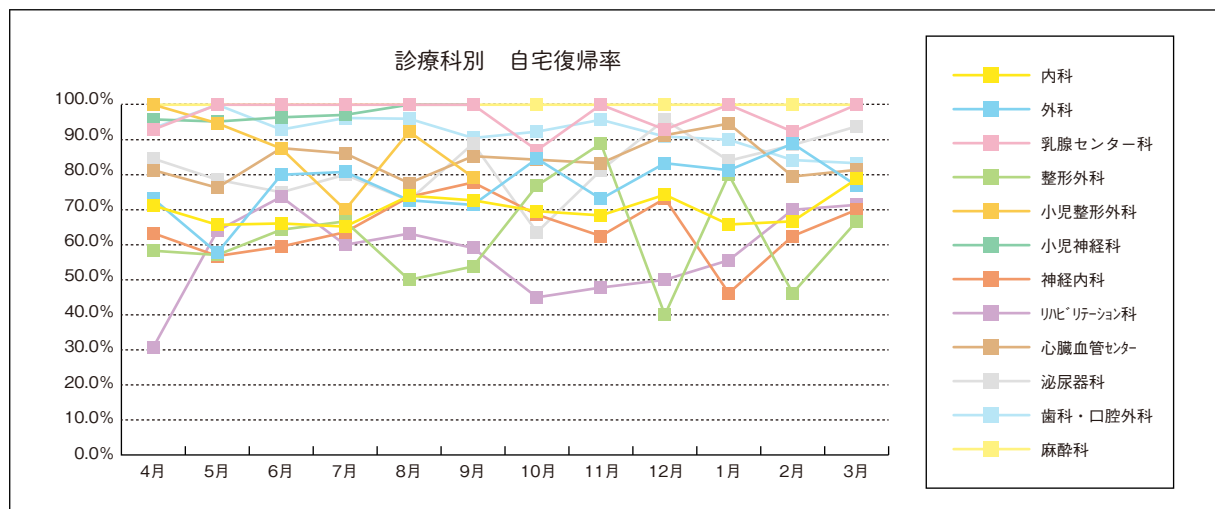
障害者病棟……3階病棟(4～9月)



(シ) 診療科別 自宅復帰率

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2018年度
総数	自宅復帰率	76.1%	73.7%	79.3%	78.5%	80.0%	81.5%	76.9%	75.9%	82.4%	76.4%	74.4%	80.3%	78.0%
	自宅退院数	261	249	276	267	308	273	253	246	266	197	230	305	3,131
	退院数	343	338	348	340	385	335	329	324	323	258	309	380	4,012
内科	自宅復帰率	71.2%	65.7%	66.1%	65.2%	74.0%	72.7%	69.6%	68.4%	74.3%	65.8%	66.7%	78.8%	70.1%
	自宅退院数	52	46	37	45	54	32	55	54	55	50	52	78	610
	退院数	73	70	56	69	73	44	79	79	74	76	78	99	870
外科	自宅復帰率	73.1%	57.7%	80.0%	80.8%	72.7%	71.4%	84.6%	73.1%	83.3%	81.3%	88.9%	76.9%	76.4%
	自宅退院数	19	15	24	21	24	20	22	19	20	13	16	20	233
	退院数	26	26	30	26	33	28	26	26	24	16	18	26	305
乳腺 センター科	自宅復帰率	92.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.0%	100.0%	92.9%	100.0%	92.3%	100.0%	96.7%
	自宅退院数	13	17	11	12	24	12	20	18	13	10	12	15	177
	退院数	14	17	11	12	24	12	23	18	14	10	13	15	183
整形外科	自宅復帰率	58.3%	57.1%	64.3%	66.7%	50.0%	53.8%	76.9%	88.9%	40.0%	80.0%	46.2%	66.7%	61.0%
	自宅退院数	7	8	9	8	7	7	10	8	4	4	6	8	86
	退院数	12	14	14	12	14	13	13	9	10	5	13	12	141
小児 整形外科	自宅復帰率	100.0%	94.7%	87.5%	70.0%	92.3%	79.3%	-	-	-	-	-	-	87.1%
	自宅退院数	9	18	7	7	24	23	-	-	-	-	-	-	88
	退院数	9	19	8	10	26	29	-	-	-	-	-	-	101
小児 神経科	自宅復帰率	95.8%	95.2%	96.4%	97.1%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-	-	97.9%
	自宅退院数	23	20	27	33	32	49	-	-	-	-	-	-	184
	退院数	24	21	28	34	32	49	-	-	-	-	-	-	188
神経内科	自宅復帰率	63.3%	56.8%	59.5%	63.6%	73.7%	77.8%	68.6%	62.5%	73.2%	46.2%	62.5%	70.0%	65.3%
	自宅退院数	31	21	25	28	28	28	24	25	30	12	25	35	312
	退院数	49	37	42	44	38	36	35	40	41	26	40	50	478
リハビリ テーション科	自宅復帰率	30.8%	64.0%	73.7%	60.0%	63.2%	59.1%	45.0%	47.8%	50.0%	55.6%	70.0%	71.4%	58.3%
	自宅退院数	4	16	14	9	12	13	9	11	5	10	14	10	127
	退院数	13	25	19	15	19	22	20	23	10	18	20	14	218
心臓血管 センター	自宅復帰率	81.3%	76.3%	87.6%	86.1%	77.6%	85.3%	84.3%	83.3%	91.3%	94.6%	79.5%	81.4%	83.8%
	自宅退院数	74	58	78	62	66	58	75	70	84	53	62	83	823
	退院数	91	76	89	72	85	68	89	84	92	56	78	102	982
泌尿器科	自宅復帰率	84.6%	78.6%	75.0%	80.0%	72.7%	88.9%	63.6%	81.3%	95.7%	84.0%	88.5%	93.8%	84.2%
	自宅退院数	11	11	15	12	8	8	7	13	22	21	23	30	181
	退院数	13	14	20	15	11	9	11	16	23	25	26	32	215
歯科・ 口腔外科	自宅復帰率	93.3%	100.0%	92.9%	96.2%	96.0%	90.5%	92.3%	95.7%	90.9%	90.0%	84.2%	83.3%	92.0%
	自宅退院数	14	15	26	25	24	19	24	22	20	18	16	20	243
	退院数	15	15	28	26	25	21	26	23	22	20	19	24	264
麻酔科	自宅復帰率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	自宅退院数	4	4	3	5	5	4	7	6	13	6	4	6	67
	退院数	4	4	3	5	5	4	7	6	13	6	4	6	67

※小児整形外科・小児神経科……10月よりボバース記念病院へ移転

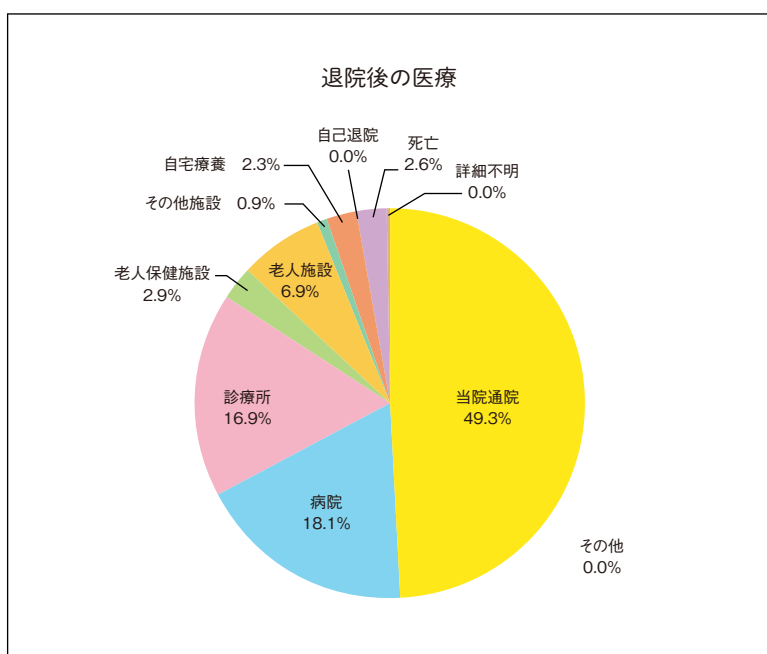


(ス) 診療科別 退院後の医療

	内科	外科	乳腺センター科	整形外科	小児整形外科	小児神経科
当院通院	241	193	177	57	46	95
病院	90	38	2	55	44	87
診療所	280	26	0	16	8	5
老人保健施設	28	7	0	7	1	0
老人施設	96	25	1	6	1	0
その他施設	6	0	0	0	0	1
自宅療養	62	5	0	0	1	0
自己退院	0	0	0	0	0	0
死亡	66	11	3	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
詳細不明	1	0	0	0	0	0
合計	870	305	183	141	101	188

	神経内科	リハビリテーション科	心臓血管センター	泌尿器科	歯科・口腔外科	麻酔科
当院通院	23	14	776	104	197	53
病院	205	74	107	14	8	3
診療所	153	71	23	70	17	9
老人保健施設	37	21	10	6	0	0
老人施設	48	36	42	17	5	0
その他施設	10	2	0	0	17	0
自宅療養	1	0	0	1	20	2
自己退院	0	0	1	0	0	0
死亡	1	0	22	3	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
詳細不明	0	0	1	0	0	0
合計	478	218	982	215	264	67

	総数
当院通院	1,976
病院	727
診療所	678
老人保健施設	117
老人施設	277
その他施設	36
自宅療養	92
自己退院	1
死亡	106
その他	0
詳細不明	2
合計	4,012



(セ) 病棟別 退院後の医療

	2階病棟	3階病棟	4階東病棟	4階西病棟	5階東病棟	5階西病棟	6階東病棟	6階西病棟
当院通院	0	147	7	10	10	396	477	513
病院	0	119	77	66	77	122	91	53
診療所	0	21	49	60	63	195	124	30
老人保健施設	0	3	10	23	12	17	24	7
老人施設	0	2	18	18	18	56	72	27
その他施設	0	2	5	2	3	5	10	1
自宅療養	0	1	0	0	1	30	30	8
自己退院	0	0	0	0	0	0	0	1
死亡	13	0	0	0	0	21	42	9
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
詳細不明	0	0	0	0	0	0	2	0
合計	13	295	166	179	184	842	872	649

	7階東病棟	7階西病棟	一般病棟	回復期病棟	障害者病棟	総数
当院通院	407	9	1,815	36	125	1,976
病院	67	55	338	275	114	727
診療所	86	50	451	222	5	678
老人保健施設	9	12	60	57	0	117
老人施設	42	24	199	78	0	277
その他施設	6	2	23	12	1	36
自宅療養	22	0	91	1	0	92
自己退院	0	0	1	0	0	1
死亡	21	0	106	0	0	106
その他	0	0	0	0	0	0
詳細不明	0	0	2	0	0	2
合計	660	152	3,086	681	245	4,012

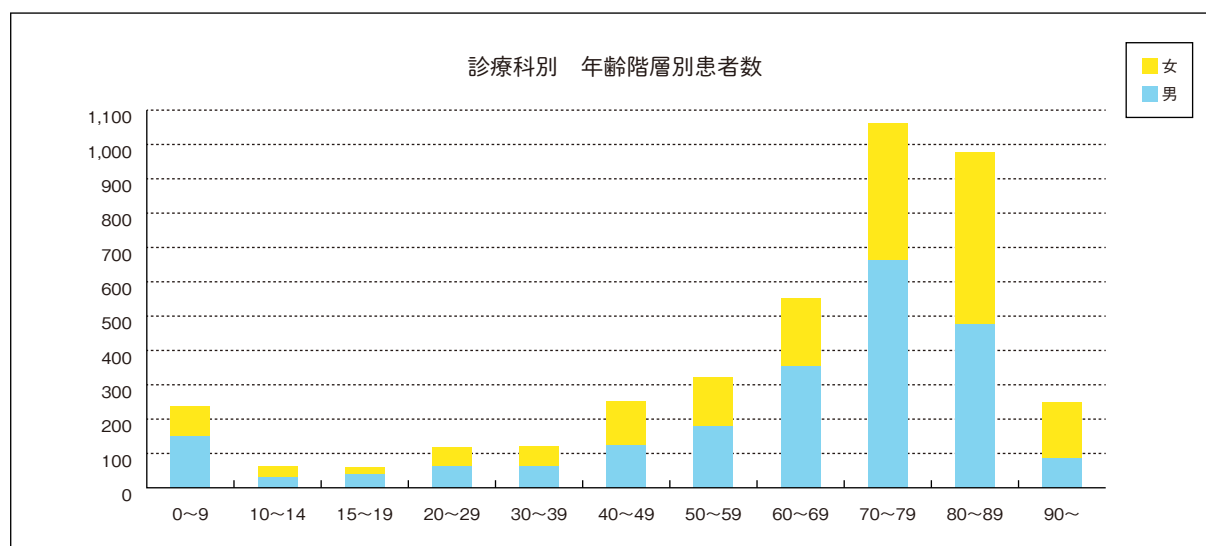
※一般病棟……2階病棟・3階病棟（1～3月）・5階西病棟・6階東病棟・6階西病棟・7階東病棟

回復期病棟……4階東病棟・4階西病棟・5階東病棟・7階西病棟

障害者病棟……3階病棟（4～9月）

(ソ) 診療科別 年齢階層別患者数

		0～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～	合計	平均年齢
総数	計	236	63	59	117	121	252	321	552	1,063	978	250	4,012	64.8
	男	151	32	39	64	62	123	179	355	663	475	86	2,229	63.4
	女	85	31	20	53	59	129	142	197	400	503	164	1,783	66.5
内科	計	0	0	7	28	19	28	47	83	195	322	141	870	75.7
	男	0	0	5	14	9	16	25	49	100	138	45	401	73.2
	女	0	0	2	14	10	12	22	34	95	184	96	469	77.8
外科	計	0	1	4	9	15	23	17	42	85	84	25	305	69.7
	男	0	0	4	5	8	11	10	20	52	44	9	163	68.7
	女	0	1	0	4	7	12	7	22	33	40	16	142	70.9
乳腺 センター科	計	0	0	0	1	20	66	51	28	10	7	0	183	52.2
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	1	20	66	51	28	10	7	0	183	52.2
整形外科	計	0	0	1	3	5	7	11	23	28	51	12	141	72.4
	男	0	0	1	2	4	6	5	9	8	8	2	45	62.5
	女	0	0	0	1	1	1	6	14	20	43	10	96	77.1
小児 整形外科	計	54	17	7	2	0	1	0	5	6	6	3	101	23.0
	男	30	6	5	0	0	1	0	4	1	1	0	48	17.0
	女	24	11	2	2	0	0	0	1	5	5	3	53	28.6
小児 神経科	計	160	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	188	6.0
	男	102	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	117	5.8
	女	58	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71	6.5
神経内科	計	0	1	2	11	22	36	68	90	140	98	10	478	66.7
	男	0	1	0	6	10	28	42	54	81	45	4	271	65.2
	女	0	0	2	5	12	8	26	36	59	53	6	207	68.5
リハビリ テーション科	計	0	0	2	1	3	18	24	37	69	61	3	218	69.9
	男	0	0	2	0	1	9	19	27	35	23	1	117	67.7
	女	0	0	0	1	2	9	5	10	34	38	2	101	72.5
心臓血管 センター	計	0	0	2	0	1	29	62	167	401	275	45	982	74.2
	男	0	0	2	0	1	24	54	137	291	166	20	695	72.7
	女	0	0	0	0	0	5	8	30	110	109	25	287	77.7
泌尿器科	計	0	0	3	6	5	7	16	42	87	39	10	215	69.7
	男	0	0	3	3	3	5	12	38	72	25	5	166	69.0
	女	0	0	0	3	2	2	4	4	15	14	5	49	72.2
歯科・ 口腔外科	計	22	16	31	56	28	29	22	19	19	21	1	264	38.2
	男	19	10	17	34	23	21	9	14	12	14	0	173	37.7
	女	3	6	14	22	5	8	13	5	7	7	1	91	39.0
麻酔科	計	0	0	0	0	3	8	3	16	23	14	0	67	67.7
	男	0	0	0	0	3	2	3	3	11	11	0	33	69.5
	女	0	0	0	0	0	6	0	13	12	3	0	34	65.9



(タ) 紹介元医療機関別件数

2018年度 紹介元医療機関 1/8	件数
大阪医療センター	79
矢木脳神経外科病院	72
大阪警察病院	71
大阪重粒子線センター	67
大阪赤十字病院	66
富永病院	65
大阪国際がんセンター	57
大手前病院	56
大道クリニック	53
大阪市立総合医療センター	48
北野病院	44
小竹クリニック	41
グリーンライフ	34
ボバース記念病院	31
ハミングベル中道	29
済生会野江病院	29
ひびきクリニック	21
市立東大阪医療センター	20
JCHO 大阪病院	19
大道医院	18
エスベラル城東	15
かわむらクリニック	15
滋賀県立小児保健医療センター	15
大阪急性期・総合医療センター	15
国立循環器病研究センター	14
長田医院	14
福田診療所	14
河内総合病院	13
ココファン城東	11
医誠会病院	11
済生会泉尾病院	11
村尾医院	11
多根総合病院	11
大西診療所	11
NTT 西日本大阪病院	10
山中医院	10
サンローズオオサカ	9
スーパーコート大阪城公園	9
住友病院	9
川上クリニック	9
豊川医院	9
グループホームプラティア森ノ宮	8
学研奈良乳腺クリニック	8
交泰森ノ宮	8
済生会吹田病院	8
八尾徳洲会総合病院	8
福井内科循環器科	8
公道会病院	7
大野記念病院	7
日本生命病院	7
淀井病院	7
いわもと内科クリニック	6
かたやまクリニック	6
グラート大今里	6
セントラルクリニック岡本	6
そんぼの家S城東天王田	6
よつ葉クリニック	6
加納総合病院	6
関西医科大学附属病院	6
秋岡診療所	6
小阪イナバ診療所	6
村上整形外科	6
大阪市立大学医学部附属病院	6
谷口クリニック	6
田仲 北野田病院	6
白鷺病院	6
淀川キリスト教病院	6
李クリニック	6
いわさきクリニック	5
かわい内科クリニック	5

2018年度 紹介元医療機関 2/8	件数
コンシェール阿倍野	5
そんぼの家S諏訪	5
はしもと内科	5
ベルランド総合病院	5
関西電力病院	5
関西労災病院	5
近畿大学医学部奈良病院	5
済生会中津病院	5
若草第一病院	5
城東中央病院	5
大阪医科大学附属病院	5
大阪大学医学部附属病院	5
東住吉森本病院	5
暇生会脳神経外科病院	5
八戸の里病院	5
兵庫県立こども病院	5
明生病院	5
柳原医院	5
おのい深江橋診療所	4
グループホームみんなの家・福ちゃん	4
こいえ内科医院	4
こう内科クリニック	4
しばさきクリニック	4
たるみファミリークリニック	4
なかつクリニック	4
にしたに腎・泌尿器クリニック	4
はやし歯科医院(生野区)	4
ラ・ナンカつるみ	4
関西医科大学総合医療センター	4
阪和記念病院	4
市立豊中病院	4
勝田医院	4
小尾クリニック	4
新宮市立医療センター	4
森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニック	4
生駒市立病院	4
赤垣クリニック	4
大阪城ケアホーム	4
帝国ホテルクリニック	4
東大阪病院	4
兵庫県立尼崎総合医療センター	4
豊里学園	4
木下診療所	4
野崎徳洲会病院	4
林クリニック	4
JCHO 大阪みなと中央病院	3
あかがわ生協診療所	3
あやこレディースクリニック	3
アルタスハイム中川	3
エイジフリー・ライフ大和田	3
グループホーム みんなの家	3
グループホームいっばファースト	3
グループホームワイルド	3
さくらんぼ杭全	3
サニーライフ大阪鶴見	3
しょうこうクリニック	3
スーパーコート今里	3
タニオ歯科クリニック	3
ピースフリー玉造	3
みずしま内科クリニック	3
むぎたにクリニック	3
岸本整形外科	3
近畿大学医学部附属病院	3
健ちゃんデサービス	3
高見医院	3
高槻病院	3
市立池田病院	3
耳原総合病院	3
鹿児島県立大島病院	3
鳴野医院	3

2018年度 紹介元医療機関 3/8	件数
寿幸苑	3
松下記念病院	3
松原徳洲会病院	3
城山病院	3
深江診療所	3
千船病院	3
前田診療所	3
大今里ケアホーム	3
大阪はびきの医療センター	3
大阪労災病院	3
大谷歯科医院	3
中本病院	3
天上歯科医院	3
特別養護老人ホーム 称揚苑	3
奈良県立医科大学附属病院	3
内藤病院	3
南和歌山医療センター	3
柏友クリニック	3
別所クリニック	3
緑風会病院	3
澤見内科	3
アルカンシエル東成	2
おおたに歯科医院	2
おかもと歯科	2
かねだ歯科クリニック	2
かわだクリニック	2
きむら整形外科クリニック	2
グリーンサイトみずき	2
ココファン深江橋	2
こめだ整形外科	2
サトウ病院	2
さとホーム	2
しぎの黄金の里	2
シニアハウス長居公園	2
そがクリニック	2
ソラスト鶴見緑地	2
タクデンタルクリニック	2
たのしい家 阿倍野	2
ツツミ内科循環器科	2
はくほう会セントラル病院	2
ハミングベル緑橋	2
メディカル・リハビリホームくらら桃山台	2
よこやま歯科クリニック	2
井上整形外科	2
蒲生厚生診療所	2
岸和田徳洲会病院	2
紀南病院	2
宮本クリニック	2
高槻赤十字病院	2
高齢者グループホームなでしこ	2
根本医院	2
佐々木整形外科	2
堺市立総合医療センター	2
榊クリニック	2
市立岸和田市民病院	2
松阪中央総合病院	2
森小路清水会クリニック	2
神戸市立医療センター中央市民病院	2
水野内科循環器内科	2
整形外科きょうたにクリニック	2
製鉄記念広畑病院	2
石原歯科医院	2
石切生喜病院	2
蒼生病院	2
村川医院	2
太子橋クリニック	2
大今里ふれあいクリニック	2
大阪がん循環器病予防センター	2
大阪回生病院	2
中村クリニック	2

2018年度 紹介元医療機関 4/8	件数
中田クリニック	2
田島クリニック	2
土井医院	2
奈良県総合医療センター	2
日本赤十字社和歌山医療センター	2
武田病院	2
兵庫医科大学病院	2
兵庫中央病院	2
平山クリニック	2
豊橋市民病院	2
北田医院	2
優心会クリニック	2
友愛会病院	2
藍の都脳神経外科病院	2
JCHO 滋賀病院	1
Welfare 城東今福南	1
Welfare 門真	1
アーバンケア	1
アイガル菱屋西	1
アグナス住吉公園	1
あけびの家	1
あづまクリニック	1
アベ内科クリニック	1
あやと歯科	1
アルタスハイム東今里	1
アロニアクラブ	1
いけだクリニック	1
いわもとクリニック	1
うえだクリニック(淀川区)	1
うえに生協診療所	1
エスベラル東淀川	1
おくだクリニック	1
おとしよりすこやかセンター東部館	1
ガーデンハウス勝山	1
かがわ総合リハビリテーションセンター	1
かすや整形外科クリニック	1
かとう歯科医院	1
さむ医療連携クリニック	1
グッドホーム麦畑長吉	1
くらち皮膚科クリニック	1
クリア歯科大阪院	1
クルーヴ布施	1
グループホーム嘉祥苑	1
グループホーム放出ゆおびか	1
クローバークリニック	1
コープおおさか病院	1
こじまクリニック	1
さくら会病院	1
サニーライフ大阪巽	1
シミズ病院	1
じょうまえクリニック	1
スーパーコート堺神石	1
すみれ愛育館	1
そうごうケアホーム喉学園前	1
そうせい田島	1
そんぼの家城北	1
そんぼの家生野巽中	1
たがや内科	1
たのしい家 深江橋	1
チェリー・ワン鶴橋駅前	1
チャーム鶴見緑地	1
ツクイ・サンシャイン南巽	1
デイサービスのののこ	1
なかがわ呼吸器科・アレルギー科医院	1
ながはら病院	1
なにわ生野病院	1
なんば南 藤吉医院	1
ニチケアセンター城東諏訪	1
ニチケアセンター鶴見今津	1
にのみやこどもクリニック	1

2018年度 紹介元医療機関 5/8	件数
のりおかクリニック	1
ハートフルレジデンス大今里	1
はしもと内科循環器内科クリニック	1
はた整形外科・内科・リウマチ科	1
はなぞの生協診療所	1
はなみずき	1
ヒーリングライフ志宝	1
ファミリア城東	1
フィオレ・シニアレジデンス東成	1
ふじた医院	1
ふじもとクリニック(箕面市)	1
ふるかわクリニック	1
プレシオ	1
ベルバージュ大阪帝塚山	1
みらいクリニック	1
もりファミリークリニック	1
やのクリニック	1
やまもと消化器クリニック	1
ラ・ナンカこのはな	1
ライフパートナー城東	1
リュクス深江橋式番館	1
ループル道頓堀	1
レガート生玉	1
レストコート巽西	1
レストコート林寺	1
わたベクリニック	1
愛仁会総合健康センター	1
愛媛県立新居浜病院	1
安さ1ばん・陽当り良好みんなの家	1
安藤病院	1
伊賀市立上野総合市民病院	1
伊勢赤十字病院	1
伊藤歯科医院	1
医真会総合クリニックス	1
医療福祉センター さすな	1
育和会記念病院	1
宇井歯科医院	1
宇治徳洲会病院	1
奥井内科クリニック	1
奥田クリニック	1
横山クリニック	1
岡崎医院	1
岡山済生会総合病院	1
岡山大学病院	1
岡村病院	1
岡田クリニック	1
沖縄県立宮古病院	1
加藤内科みなとクリニック	1
河村クリニック	1
花博ささき歯科	1
海野内科・循環器科	1
貝塚西出クリニック	1
外科野崎病院	1
榎本病院	1
梶本クリニック	1
葛城病院	1
岸和田春木マリアヴィラ	1
岩本歯科医院	1
喜界徳洲会病院	1
喜馬病院	1
岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター	1
岐阜大学医学部附属病院	1
亀田クリニック	1
久留米大学病院	1
宮井医院	1
宮上病院	1
京橋杉本クリニック	1
京都大学医学部附属病院	1
京都第二赤十字病院	1
京都八幡病院	1

2018年度 紹介元医療機関 6/8	件数
京都府立医科大学附属北部医療センター	1
共立病院	1
共和病院	1
協立病院	1
橋本市民病院	1
玉井歯科医院	1
近畿中央病院	1
近森病院	1
近藤病院	1
熊田内科クリニック	1
桑の実	1
憩いの里鴻之台ケアホーム	1
古武診療所	1
公立小浜病院	1
向陽病院	1
広島市立広島市民病院	1
弘善会クリニック	1
荒尾市民病院	1
香芝旭ヶ丘病院	1
高石特別養護老人ホーム	1
国保水俣市立総合医療センター	1
佐々木クリニック	1
佐藤病院	1
妻鹿整形外科	1
済生会吹田療育園	1
菜乃花	1
坂本医院	1
阪奈中央病院	1
桜橋渡辺病院	1
山口県済生会下関総合病院	1
山室眼科	1
山田医院(阿倍野区)	1
山本内科循環器科	1
山崎診療所	1
市立奈良病院	1
思温病院	1
寺田町クリニック	1
滋賀医科大学医学部附属病院	1
耳鼻咽喉科 はしもとクリニック	1
守口生野記念病院	1
寿寿	1
寿福の郷 南巽	1
住本医院	1
順天堂大学医学部附属順天堂医院	1
初台リハビリテーション病院	1
小阪病院	1
小牧市民病院	1
松井病院(香川県)	1
松江赤十字病院	1
松本内科クリニック	1
松本病院	1
上西神経内科・内科クリニック	1
上田病院	1
伸友クリニック	1
寝屋川生野病院	1
新百合ヶ丘総合病院	1
新別府病院	1
神戸市総合療育センター	1
仁泉会病院	1
整形外科・内科しょうもとクリニック	1
整形外科リゅうゆう会クリニック	1
星ヶ丘医療センター	1
星総合病院	1
正木脳神経外科クリニック	1
清恵会病院	1
生野愛和病院	1
西宮市立こども未来センター	1
西条市民病院	1
静岡てんかん・神経医療センター	1
石川県立中央病院	1

2018年度 紹介元医療機関 7/8	件数
川崎医科大学総合医療センター	1
川村耳鼻咽喉科クリニック	1
船橋市立医療センター	1
前川診療所	1
早石病院	1
相原第二病院	1
総合介護センター笑寿	1
村田病院	1
村尾診療所	1
多根第二病院	1
大宮ケアホーム光	1
大阪京橋ゆたかクリニック	1
大阪暁明館病院	1
大阪市環境保健協会 附設診療所	1
大阪市立十三市民病院	1
大阪市立東さくら園	1
大阪総合健診センター	1
大阪鉄道病院	1
大阪南医療センター	1
大阪脳神経外科病院	1
大阪発達総合療育センター	1
大阪府立中河内救命救急センター	1
大阪母子医療センター	1
大森クリニック	1
大東中央病院	1
大野クリニック	1
第一東和会病院	1
巽病院	1
谷川記念病院	1
池田クリニック大阪	1
池田病院（宝持会）	1
置田歯科	1
中央急病診療所	1
中河クリニック	1
中西クリニック	1
中西心療内科・内科医院	1
中村クリニック（旭医道会）	1
中島歯科医院	1
中島内科医院	1
中尾内科クリニック	1
朝田医院	1
朝日生野病院	1
長居クリニック	1
長崎川棚医療センター	1
長浜赤十字病院	1
長野医院	1
長野赤十字病院	1
鳥取県立中央病院	1
津島市民病院	1
塚本歯科医院	1
天理よろづ相談所病院	1
田中泌尿器科医院	1
人工透析センターとみがおか	1
田中泌尿器科医院 生駒診療所	1
田辺脳神経外科病院	1
土庫病院	1
刀根山病院	1
東京医療センター	1
東京曳舟病院	1
東京大学医学部附属病院	1
東京都済生会中央病院	1
東京都立北療育医療センター城北分園	1
東成病院	1
東大阪市立障害児者支援センターレビラ	1
東邦大学医療センター大森病院	1
藤井病院	1
特別養護老人ホーム 愛和	1
特別養護老人ホーム 四天王寺たまつくり苑	1
奈良県総合リハビリテーションセンター	1
南京都病院	1
南堺病院	1

2018年度 紹介元医療機関 8/8	件数
南大阪病院	1
日生病院	1
日本医科大学武蔵小杉病院	1
日本橋病院	1
乳腺外科ヨシダクリニック	1
柏友千代田クリニック	1
白鷺南クリニック	1
白百合診療所（生野区）	1
八尾はあとふる病院	1
板東医院	1
美幌療育病院	1
浜松医科大学医学部附属病院	1
富山大学附属病院	1
布施病院	1
武井クリニック	1
福井大学医学部附属病院	1
福田歯科医院	1
福島第一育成園	1
分野病院	1
兵庫県立加古川医療センター	1
兵庫県立姫路循環器病センター	1
平野新生苑	1
朋愛病院	1
豊見城中央病院	1
北山内科クリニック	1
本町船場歯科クリニック	1
箕面市立病院	1
夢の箱	1
名古屋医療センター	1
名古屋市立東部医療センター	1
明生第二病院	1
木下クリニック	1
目黒クリニック	1
悠友の家 林寺	1
有田市立病院	1
良原診療所	1
林歯科医院	1
林小児歯科	1
老健そねざき	1
和田病院	1
薨	1
鯉江内科クリニック	1
施設（詳細不明）	4
計	2,128

(チ) 診療科別 紹介元医療機関別件数

内科 紹介元医療機関 1/3	件数
小竹クリニック	34
大道クリニック	22
グリーンライフ	20
ハミングベル中道	18
大道医院	13
ひびきクリニック	12
エスベラル城東	10
福田診療所	10
山中医院	8
大西診療所	8
長田医院	8
川上クリニック	7
サンローズオオサカ	6
スーパーコート大阪城公園	6
セントラルクリニック岡本	6
村尾医院	6
大手前病院	6
福井内科循環器科	6
グループホームプラティア森ノ宮	5
交楽森ノ宮	5
秋岡診療所	5
大阪医療センター	5
李クリニック	5
おのい深江橋診療所	4
ごう内科クリニック	4
そんぼの家S城東天王田	4
あかがわ生協診療所	3
かたやまクリニック	3
かわい内科クリニック	3
グラート大今里	3
ココファン城東	3
はしもと内科	3
むぎたにクリニック	3
ラ・ナシカつるみ	3
健ちゃんデイサービス	3
大今里ケアホーム	3
大阪市立総合医療センター	3
大阪城ケアホーム	3
柳原医院	3
林クリニック	3
いわもと内科クリニック	2
こいえ内科医院	2
ココファン深江橋	2
しぎの黄金の里	2
スーパーコート今里	2
ソラスト鶴見緑地	2
そんぼの家S諏訪	2
たるみファミリークリニック	2
なかたクリニック	2
ピースフリー玉造	2
ボバース記念病院	2
メディカル・リハビリホームくらら桃山台	2
よつ葉クリニック	2
宮本クリニック	2
済生会野江病院	2
鳴野医院	2
勝田医院	2
城東中央病院	2
深江診療所	2
前田診療所	2
村上整形外科	2
太子橋クリニック	2
大今里ふれあいクリニック	2
大阪赤十字病院	2
特別養護老人ホーム 称揚苑	2
内藤病院	2
別所クリニック	2
豊川医院	2
木下診療所	2
矢木脳神経外科病院	2

内科 紹介元医療機関 2/3	件数
澤見内科	2
アイガル菱屋西	1
アルタスハイム中川	1
アルタスハイム東今里	1
いわさきクリニック	1
ガーデンハウス勝山	1
かすや整形外科クリニック	1
きむら整形外科クリニック	1
きむ医療連携クリニック	1
グリーンサイドみずき	1
クルーヴ布施	1
クローバクリニック	1
さくらんぼ杭全	1
サニーライフ大阪巽	1
サニーライフ大阪鶴見	1
じょうまえクリニック	1
そうごうケアホーム嚙字園前	1
そうせい田島	1
そがクリニック	1
そんぼの家城北	1
たのしい家 深江橋	1
チャーム鶴見緑地	1
ツツミ内科循環器科	1
デイスービスのんのこ	1
ニチケアセンター鶴見今津	1
にのみやこどもクリニック	1
ハートフルレジデンス大今里	1
はしもと内科循環器内科クリニック	1
はた整形外科・内科・リウマチ科	1
はなぞの生協診療所	1
ヒーリングライフ志宝	1
ファミリア城東	1
ふじた医院	1
ふじもとクリニック(箕面市)	1
ベルランド総合病院	1
みらいクリニック	1
ループル道頓堀	1
レガート生玉	1
レストコート林寺	1
わたべクリニック	1
愛仁会総合健康センター	1
安さ1ばん・陽当り良好みんなの家	1
横山クリニック	1
関西医科大学総合医療センター	1
高見医院	1
根本医院	1
耳鼻咽喉科 はしもとクリニック	1
鹿児島県立大島病院	1
寿幸苑	1
寿寿	1
寿福の郷 南巽	1
整形外科・内科しょうもとクリニック	1
整形外科きょうたにクリニック	1
正木脳神経外科クリニック	1
村田病院	1
村尾診療所	1
大阪急性期・総合医療センター	1
大阪国際がんセンター	1
大阪市環境保健協会 附設診療所	1
大阪市立十三市民病院	1
大阪市立大学医学部附属病院	1
大阪市立東さくら園	1
中央急病診療所	1
中河クリニック	1
中西心療内科・内科医院	1
中村クリニック	1
長野医院	1
田島クリニック	1
特別養護老人ホーム 愛和	1
特別養護老人ホーム 四天王寺たまつくり苑	1

内科 紹介元医療機関 3/3	件数
日本生命病院	1
白鷺病院	1
板東医院	1
福島第一育成園	1
北山内科クリニック	1
夢の箱	1
明生病院	1
木下クリニック	1
淀川キリスト教病院	1
良原診療所	1
老健そねざき	1
薨	1
鯉江内科クリニック	1
計	429

外科 紹介元医療機関 1/2	件数
大道クリニック	10
ひびきクリニック	7
豊川医院	7
ボバース記念病院	6
村尾医院	5
グリーンライフ	4
小竹クリニック	4
ココファン城東	3
ハミングベル中道	3
長田医院	3
福田診療所	3
かわい内科クリニック	2
グループホーム みんなの家	2
さくらんぼ杭全	2
そんぼの家S城東天王田	2
たるみファミリークリニック	2
なかたクリニック	2
よつ葉クリニック	2
公道会病院	2
高見医院	2
中田クリニック	2
中本病院	2
土井医院	2
福井内科循環器科	2
柳原医院	2
Welfare 門真	1
アルタスハイム中川	1
いわもとクリニック	1
いわもと内科クリニック	1
うえに生協診療所	1
エスベラル城東	1
グラート太今里	1
グリーンサイドみずき	1
こいえ内科医院	1
サトウ病院	1
サンローズオオサカ	1
シニアハウス長居公園	1
じょうこうクリニック	1
スーパーコート今里	1
スーパーコート大阪城公園	1
そがクリニック	1
そんぼの家生野糺中	1
たがや内科	1
はしもと内科	1
ハミングベル緑橋	1
ピースフリー玉造	1
やまもと消化器クリニック	1
奥井内科クリニック	1
宮井医院	1
交楽森ノ宮	1
根本医院	1
山中医院	1
市立岸和田市民病院	1
寺田町クリニック	1
鳴野医院	1
寿幸苑	1
勝田医院	1
森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニック	1
深江診療所	1
水野内科循環器内科	1
川上クリニック	1
総合介護センター笑寿	1
大阪医療センター	1
大阪市立総合医療センター	1
大西診療所	1
大野クリニック	1
中島内科医院	1
朝日生野病院	1
田島クリニック	1
特別養護老人ホーム 称揚苑	1

外科 紹介元医療機関 2/2	件数
啖生会脳神経外科病院	1
別所クリニック	1
北田医院	1
箕面市立病院	1
明生第二病院	1
木下診療所	1
矢木脳神経外科病院	1
優心会クリニック	1
悠友の家 林寺	1
藍の都脳神経外科病院	1
計	138

乳腺センター科 紹介元医療機関	件数
大阪国際がんセンター	48
学研奈良乳腺クリニック	8
NTT 西日本大阪病院	4
帝国ホテルクリニック	4
あやこレディースクリニック	3
JCHO 滋賀病院	1
あけびの家	1
ふるかわクリニック	1
ベルランド総合病院	1
ボバース記念病院	1
やのクリニック	1
よつ葉クリニック	1
京都八幡病院	1
多根総合病院	1
大阪医療センター	1
大阪総合健診センター	1
大手前病院	1
日本生命病院	1
乳腺外科ヨシダクリニック	1
白百合診療所（生野区）	1
武田病院	1
計	83

整形外科 紹介元医療機関	件数
村上整形外科	4
岸本整形外科	2
交樂森ノ宮	2
佐々木整形外科	2
市立池田病院	2
大道クリニック	2
いわさきクリニック	1
エスベラル城東	1
かたやまクリニック	1
きむら整形外科クリニック	1
グリーンライフ	1
よつ葉クリニック	1
ラ・ナンカこのはな	1
安藤病院	1
井上整形外科	1
岡山済生会総合病院	1
外科野崎病院	1
香芝旭ヶ丘病院	1
山中医院	1
若草第一病院	1
秋岡診療所	1
住友病院	1
小竹クリニック	1
上西神経内科・内科クリニック	1
上田病院	1
森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニック	1
整形外科リゅうゆう会クリニック	1
早石病院	1
多根総合病院	1
大阪医療センター	1
大阪市立総合医療センター	1
大阪城ヶアホーム	1
大道医院	1
大野記念病院	1
谷川記念病院	1
中本病院	1
長田医院	1
東住吉森本病院	1
東大阪病院	1
武井クリニック	1
兵庫医科大学病院	1
北野病院	1
優心会クリニック	1
緑風会病院	1
計	52

小整・小神科 紹介元医療機関	件数
滋賀県立小児保健医療センター	15
兵庫県立こども病院	5
高槻病院	3
大阪市立総合医療センター	3
ハミングバール中道	2
北野病院	2
JCHO 大阪病院	1
いわさきクリニック	1
かがわ総合リハビリテーションセンター	1
グリーンライフ	1
こめだ整形外科	1
ボバース記念病院	1
伊勢赤十字病院	1
医療福祉センター さずな	1
加納総合病院	1
榎本病院	1
関西医科大学附属病院	1
岐阜県立希望ヶ丘こども医療福祉センター	1
久留米大学病院	1
広島市立広島市民病院	1
済生会吹田療育園	1
山口県済生会下関総合病院	1
松江赤十字病院	1
森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニック	1
神戸市総合療育センター	1
西宮市立こども未来センター	1
静岡てんかん・神経医療センター	1
川上クリニック	1
大阪医科大学附属病院	1
大阪警察病院	1
大阪市立大学医学部附属病院	1
大阪大学医学部附属病院	1
大阪発達総合療育センター	1
大阪母子医療センター	1
長田医院	1
鳥取県立中央病院	1
東京都立北療育医療センター城北分園	1
東邦大学医療センター大森病院	1
奈良県総合リハビリテーションセンター	1
奈良県総合医療センター	1
南和歌山医療センター	1
日本医科大学武蔵小杉病院	1
日本赤十字社和歌山医療センター	1
八尾はあとふる病院	1
美幌療育病院	1
浜松医科大学医学部附属病院	1
兵庫県立尼崎総合医療センター	1
淀川キリスト教病院	1
計	72

神内・リハ科 紹介元医療機関 1/2	件数
矢木脳神経外科病院	66
富永病院	63
大阪赤十字病院	62
大阪警察病院	61
大阪医療センター	60
北野病院	36
大手前病院	34
大阪市立総合医療センター	33
済生会野江病院	26
JCHO 大阪病院	17
国立循環器病研究センター	11
医誠会病院	10
河内総合病院	10
市立東大阪医療センター	10
大阪急性期・総合医療センター	9
住友病院	8
関西医科大学附属病院	4
済生会中津病院	4
阪和記念病院	4
若草第一病院	4
多根総合病院	4
大阪医科大学附属病院	4
大阪大学医学部附属病院	4
日本生命病院	4
八尾徳洲会総合病院	4
淀川キリスト教病院	4
エイジフリー・ライフ大和田	3
加納総合病院	3
関西労災病院	3
近畿大学医学部附属病院	3
市立豊中病院	3
松原徳洲会病院	3
千船病院	3
大阪市立大学医学部附属病院	3
大野記念病院	3
兵庫県立尼崎総合医療センター	3
エスベラル城東	2
関西医科大学総合医療センター	2
鹿児島県立大島病院	2
城東中央病院	2
製鉄記念広畑病院	2
石切生喜病院	2
大阪国際がんセンター	2
大阪労災病院	2
東住吉森本病院	2
奈良県立医科大学附属病院	2
兵庫中央病院	2
豊橋市民病院	2
野崎徳洲会病院	2
おとしよりすこやかセンター東部館	1
グラート大今里	1
コープおおさか病院	1
こしまクリニック	1
さくら会病院	1
シミズ病院	1
はなみずき	1
フィオレ・シニアレジデンス東成	1
ベルランド総合病院	1
育和会記念病院	1
宇治徳洲会病院	1
岡山大学病院	1
関西電力病院	1
岸和田春木マリアヴィラ	1
岐阜大学医学部附属病院	1
宮上病院	1
京都大学医学部附属病院	1
協立病院	1
橋本市民病院	1
近畿大学医学部奈良病院	1
近森病院	1

神内・リハ科 紹介元医療機関 2/2	件数
近藤病院	1
公立小浜病院	1
荒尾市民病院	1
国保水俣市立総合医療センター	1
済生会吹田病院	1
阪奈中央病院	1
堺市立総合医療センター	1
桜橋渡辺病院	1
市立池田病院	1
市立奈良病院	1
滋賀医科大学医学部附属病院	1
守口生野記念病院	1
寿幸苑	1
順天堂大学医学部附属順天堂医院	1
初台リハビリテーション病院	1
小阪病院	1
松井病院（香川県）	1
松下記念病院	1
松阪中央総合病院	1
城山病院	1
寝屋川生野病院	1
新別府病院	1
星総合病院	1
清恵会病院	1
西条市民病院	1
石川県立中央病院	1
船橋市立医療センター	1
多根第二病院	1
大阪回生病院	1
大阪南医療センター	1
大阪脳神経外科病院	1
第一東和会病院	1
長崎川棚医療センター	1
長浜赤十字病院	1
長野赤十字病院	1
天理よろづ相談所病院	1
田辺脳神経外科病院	1
土庫病院	1
刀根山病院	1
東京医療センター	1
東京曳舟病院	1
東京都済生会中央病院	1
啖生会脳神経外科病院	1
南京都病院	1
日本橋病院	1
日本赤十字社和歌山医療センター	1
武田病院	1
兵庫県立姫路循環器病センター	1
北田医院	1
名古屋医療センター	1
名古屋市立東部医療センター	1
友愛会病院	1
藍の都脳神経外科病院	1
緑風会病院	1
計	687

心臓血管センター 紹介元医療機関 1/4	件数
大道クリニック	15
大手前病院	14
済生会泉尾病院	11
大阪医療センター	11
市立東大阪医療センター	10
大阪警察病院	9
大阪市立総合医療センター	7
淀井病院	7
NTT 西日本大阪病院	6
済生会吹田病院	6
小阪イナバ診療所	6
大阪国際がんセンター	6
谷口クリニック	6
田中 北野田病院	6
コンシェル阿倍野	5
多根総合病院	5
大阪急性期・総合医療センター	5
白鷺病院	5
八戸の里病院	5
北野病院	5
ココファン城東	4
しばさきクリニック	4
にしたに腎・泌尿器クリニック	4
関西電力病院	4
近畿大学医学部奈良病院	4
小尾クリニック	4
新宮市立医療センター	4
生駒市立病院	4
赤垣クリニック	4
八尾徳洲会総合病院	4
明生病院	4
JCHO 大阪みなと中央病院	3
グリーンライフ	3
みずしま内科クリニック	3
河内総合病院	3
国立循環器病研究センター	3
耳原総合病院	3
大阪はびきの医療センター	3
大野記念病院	3
東大阪病院	3
啖生会脳神経外科病院	3
柏友クリニック	3
矢木脳神経外科病院	3
かたやまクリニック	2
サニーライフ大阪鶴見	2
そんぼの家S諏訪	2
はくほう会セントラル病院	2
ひびきクリニック	2
ベルランド総合病院	2
ボバース記念病院	2
加納総合病院	2
関西労災病院	2
岸和田徳洲会病院	2
紀南病院	2
高槻赤十字病院	2
高齢者グループホームなでしこ	2
榊クリニック	2
松下記念病院	2
城山病院	2
森小路清水会クリニック	2
神戸市立医療センター中央市民病院	2
奮生病院	2
村川医院	2
大西診療所	2
大道医院	2
東住吉森本病院	2
南和歌山医療センター	2
富永病院	2
平山クリニック	2
野崎徳洲会病院	2

心臓血管センター 紹介元医療機関 2/4	件数
JCHO 大阪病院	1
Welfare 城東今福南	1
アーバンケア	1
アグナス住吉公園	1
あづまクリニック	1
アベ内科クリニック	1
アルカンシエル東成	1
アロンティアクラブ	1
いわさきクリニック	1
いわもと内科クリニック	1
うえだクリニック（淀川区）	1
エスペラル東淀川	1
おくだクリニック	1
グッドホーム麦畑長吉	1
グラート大今里	1
くらち皮膚科クリニック	1
グループホーム みんなの家	1
グループホームブラディア森ノ宮	1
グループホーム嘉祥苑	1
グループホーム放出ゆおびか	1
こめだ整形外科	1
サトウ病院	1
シニアハウス長居公園	1
スーパーコート堺神石	1
スーパーコート大阪城公園	1
チェリー・ワン鶴橋駅前	1
ツクイ・サンシャイン南箕	1
ツヅミ内科循環器科	1
ながかわ呼吸器科・アレルギー科医院	1
ながはら病院	1
なにわ生野病院	1
なんば南 藤吉医院	1
ニチイケアセンター城東諏訪	1
のりおかクリニック	1
はしもと内科	1
ハミングベル中道	1
ハミングベル緑橋	1
プレシオ	1
ベルバージュ大阪東塚山	1
もりファミリークリニック	1
ライフパートナー城東	1
リュクス深江橋式番館	1
レストコート箕西	1
愛媛県立新居浜病院	1
伊賀市立上野総合市民病院	1
医真会総合クリニックス	1
井上整形外科	1
奥田クリニック	1
岡崎医院	1
岡村病院	1
岡田クリニック	1
沖縄県立宮古病院	1
加藤内科みなとクリニック	1
河村クリニック	1
海野内科・循環器科	1
貝塚西出クリニック	1
梶本クリニック	1
葛城病院	1
蒲生厚生診療所	1
関西医科大学総合医療センター	1
関西医科大学附属病院	1
喜界徳洲会病院	1
喜馬病院	1
亀田クリニック	1
京都第二赤十字病院	1
京都府立医科大学附属北部医療センター	1
共立病院	1
共和病院	1
近畿中央病院	1
熊田内科クリニック	1

心臓血管センター 紹介元医療機関 3/4	件数
桑の実	1
憩いの里鴻之台ケアホーム	1
弘善会クリニック	1
佐々木クリニック	1
佐藤病院	1
妻鹿整形外科	1
済生会中津病院	1
済生会野江病院	1
菜乃花	1
坂本医院	1
堺市立総合医療センター	1
山室会眼科	1
山田医院 (阿倍野区)	1
山本内科循環器科	1
市立岸和田市民病院	1
市立豊中病院	1
思温病院	1
住本医院	1
勝田医院	1
小牧市民病院	1
松阪中央総合病院	1
松本内科クリニック	1
松本病院	1
伸友クリニック	1
新百合ヶ丘総合病院	1
仁泉会病院	1
水野内科循環器内科	1
星ヶ丘医療センター	1
生野愛和病院	1
川崎医科大学総合医療センター	1
前川診療所	1
相原第二病院	1
大宮ケアホーム光	1
大阪がん循環器病予防センター	1
大阪回生病院	1
大阪暁明館病院	1
大阪市立大学医学部附属病院	1
大阪赤十字病院	1
大阪鉄道病院	1
大阪府立中河内救命救急センター	1
大阪労災病院	1
大森クリニック	1
大東中央病院	1
巽病院	1
池田クリニック大阪	1
池田病院 (宝持会)	1
中西クリニック	1
中村クリニック (旭医道会)	1
中尾内科クリニック	1
朝田医院	1
長居クリニック	1
長田医院	1
津島市民病院	1
田中泌尿器科医院	1
人工透析センターとみがおか	1
田中泌尿器科医院 生駒診療所	1
東京大学医学部附属病院	1
東成病院	1
藤井病院	1
奈良県総合医療センター	1
内藤病院	1
南堺病院	1
南大阪病院	1
日生病院	1
日本生命病院	1
柏友千代田クリニック	1
白鷺南クリニック	1
富山大学附属病院	1
布施病院	1
福井大学医学部附属病院	1
兵庫医科大学病院	1

心臓血管センター 紹介元医療機関 4/4	件数
兵庫県立加古川医療センター	1
平野新生苑	1
朋愛病院	1
豊見城中央病院	1
友愛会病院	1
有田市立病院	1
李クリニック	1
緑風会病院	1
林クリニック	1
和田病院	1
澤見内科	1
計	435

泌尿器科 紹介元医療機関	件数
大阪重粒子線センター	67
グリーンライフ	5
公道会病院	5
ハミングベル中道	4
大道クリニック	4
いわもと内科クリニック	2
かわだクリニック	2
グループホームブラティア森ノ宮	2
サンローズオオサカ	2
じょうこうクリニック	2
たのしい家 阿倍野	2
小竹クリニック	2
大道医院	2
アルカンシエル東成	1
アルタスハイム中川	1
いわさきクリニック	1
エスベラル城東	1
こいえ内科医院	1
ココファン城東	1
スーパーコート大阪城公園	1
そんぼの家S諏訪	1
ボバース記念病院	1
ラ・ナンカつるみ	1
蒲生厚生診療所	1
岸本整形外科	1
京橋杉本クリニック	1
古武診療所	1
高石特別養護老人ホーム	1
済生会吹田病院	1
城東中央病院	1
森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニック	1
前田診療所	1
大阪がん循環器病予防センター	1
大阪京橋ゆたかクリニック	1
大手前病院	1
中村クリニック	1
奈良県立医科大学附属病院	1
福田診療所	1
木下診療所	1
目黒クリニック	1
計	128

歯科 紹介元医療機関	件数
ボバース記念病院	18
グループホームみんなの家・福ちゃん	4
はやし歯科医院 (生野区)	4
豊里学園	4
グループホームいっぽファースト	3
グループホームワイルド	3
タニオ歯科クリニック	3
大谷歯科医院	3
天上歯科医院	3
おおたに歯科医院	2
おかもと歯科	2
かねだ歯科クリニック	2
さとホーム	2
タクデンタルクリニック	2
よこやま歯科クリニック	2
石原歯科医院	2
あやと歯科	1
いけだクリニック	1
かとう歯科医院	1
クリア歯科大阪院	1
すみれ愛育館	1
ハミングベル中道	1
伊藤歯科医院	1
宇井歯科医院	1
花博ささき歯科	1
岩本歯科医院	1
玉井歯科医院	1
川村耳鼻咽喉科クリニック	1
大阪赤十字病院	1
置田歯科	1
中島歯科医院	1
塚本歯科医院	1
東大阪市立障害児者支援センターレビラ	1
福田歯科医院	1
分野病院	1
本町船場歯科クリニック	1
林歯科医院	1
林小児歯科	1
施設 (詳細不明)	4
計	85

麻酔科 紹介元医療機関	件数
かわむらクリニック	15
医誠会病院	1
向陽病院	1
山崎診療所	1
整形外科きょうたにクリニック	1
計	19

(ツ) 紹介先医療機関別件数

2018年度 紹介先医療機関 1/11	件数
ボバース記念病院	90
大阪重粒子線センター	66
グリーンライフ	44
小竹クリニック	42
大阪市立総合医療センター	37
大阪赤十字病院	28
大手前病院	28
大道クリニック	28
ハミングベル中道	24
大阪医療センター	22
大阪警察病院	20
エスベラル城東	18
公会堂病院	17
ひびきクリニック	16
中本病院	15
城東中央病院	14
富永病院	14
北野病院	13
ココファン城東	12
福田診療所	12
朋愛病院	12
矢木脳神経外科病院	12
八戸の里病院	11
交樂森ノ宮	10
山中脳神経外科・リハビリクリニック	10
大道医院	10
サンローズオオサカ	9
スーパーコート大阪城公園	9
大今里ケアホーム	9
長田医院	9
明生第二病院	9
済生会野江病院	8
山中医院	8
市立東大阪医療センター	8
大阪急性期・総合医療センター	8
福井内科循環器科	8
豊川医院	8
かわむらクリニック	7
そんぼの家S諏訪	7
住友病院	7
勝田医院	7
川上クリニック	7
大阪府立障がい者自立センター	7
淀井病院	7
グレート大今里	6
グループホームプラティア森ノ宮	6
セントラルクリニック岡本	6
そがへ診療所	6
たるみファミリークリニック	6
なかつクリニック	6
鳴野医院	6
秋岡診療所	6
相生病院	6
村尾医院	6
大西診療所	6
明生病院	6
JCHO 大阪みなと中央病院	5
エイジフリー・ライフ大和田	5
おとしよりすこやかセンター東部館	5
コープおおさか病院	5
コンシェル阿倍野	5
そんぼの家S城東天王田	5
ながはら病院	5
はやし歯科医院(生野区)	5
よつ葉クリニック	5
関西医科大学総合医療センター	5
大阪国際がんセンター	5
大阪大学医学部附属病院	5
大野記念病院	5
中村クリニック	5

2018年度 紹介先医療機関 2/11	件数
辻外科リハビリテーション病院	5
本田病院	5
木下診療所	5
柳原医院	5
李クリニック	5
澤見内科	5
JCHO 大阪病院	4
あづま脳神経外科リハビリクリニック	4
アネシス寺田町	4
いわさきクリニック	4
いわもと内科クリニック	4
おのい深江橋診療所	4
グループホームみんなの家・福ちゃん	4
サトウ病院	4
愛染橋病院	4
愛知県心身障害者コロニー中央病院	4
近畿大学医学部附属病院	4
行岡病院	4
生野中央病院	4
聖和病院	4
大今里ふれあいクリニック	4
大阪城ケアホーム	4
大阪発達総合療育センター	4
内藤病院	4
八尾はあとふる病院	4
別所クリニック	4
豊里学園	4
NTT 西日本大阪病院	3
いかわ内科クリニック	3
うえに生協診療所	3
かたやまクリニック	3
かわい内科クリニック	3
きむ医療連携クリニック	3
グループホーム みんなの家	3
グループホームいっばファースト	3
グループホームワイルド	3
こう内科クリニック	3
サニーライフ太田鶴見	3
スーパーコート今里	3
たわだリハビリクリニック	3
ピースフリー玉造	3
フィオレ・シニアレジデンス東成	3
むぎたにクリニック	3
ラ・ナンカつるみ	3
れいんぼう夕陽丘	3
加納総合病院	3
河内総合病院	3
関西労災病院	3
岩本診療所	3
岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター	3
三重県立子ども心身発達医療センター	3
四天王寺病院	3
市立池田病院	3
滋賀県立小児保健医療センター	3
寿幸苑	3
小阪病院	3
小尾クリニック	3
心身障害児総合医療療育センター	3
新大阪病院	3
森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニック	3
石切生喜病院	3
大阪鉄道病院	3
中田クリニック	3
鶴見せいわ園	3
特別養護老人ホーム 称揚苑	3
奈良県立医科大学附属病院	3
日本生命病院	3
萩原医院	3
白鷺病院	3
兵庫県立尼崎総合医療センター	3

2018年度 紹介先医療機関 3/11	件数
北山内科クリニック	3
林クリニック	3
あかがわ生協診療所	2
アルカンシエル東成	2
アルタスハイム中川	2
アルタスハイム東今里	2
いちば内科	2
いでぐち医院	2
いまざと診療所	2
いんべ診療所	2
エイジフリーハウス大阪帝塚山	2
えきさい大阪	2
エスベラル井高野	2
おかもと歯科	2
おひさま園	2
かすや整形外科クリニック	2
グリーンサイドみずき	2
こうのメンタルクリニック	2
ココファン深江橋	2
ココファン鶴橋	2
さくたクリニック	2
さくら	2
さくらがわ	2
さくらんぼ杭全	2
さとホーム	2
さわ病院	2
しぎの黄金の里	2
シニアハウス長居公園	2
スーパーコート堺神石	2
すみれ病院	2
たがや内科	2
たけ内科クリニック	2
たのしい家 阿倍野	2
たむら整形外科	2
チャーム鶴見緑地	2
ツクイ・サンシャイン南巽	2
はしもと内科	2
ハミングベル緑橋	2
ヒーリングライフ志宝	2
みらいクリニック	2
よどがわ内科クリニック	2
伊原クリニック	2
伊藤内科診療所	2
医誠会病院	2
蒲生厚生診療所	2
岸本整形外科	2
共和病院	2
健ちゃんデイサービス	2
公立陶生病院	2
幸成園	2
高見医院	2
高齢者グループホームなでしこ	2
根本医院	2
済生会泉尾病院	2
済生会中津病院	2
坂本診療所	2
咲洲病院	2
桜橋渡辺病院	2
山崎医院	2
山本医院(嘉誠会)	2
小島整形外科	2
新深江クリニック	2
深江診療所	2
神戸市総合療育センター	2
石原歯科医院	2
赤垣クリニック	2
早石病院	2
相原第二病院	2
村上整形外科	2
多根総合病院	2

2018年度 紹介先医療機関 4/11	件数
大宮ケアホーム光	2
大阪回生病院	2
大阪市更生療育センター	2
大阪労災病院	2
谷口クリニック	2
池田病院（宝持会）	2
竹井クリニック	2
帝塚山病院	2
田島クリニック	2
田辺整形外科 上本町クリニック	2
東京湾岸リハビリテーション病院	2
東成病院	2
東大阪生協病院	2
東大阪病院	2
東部島根医療福祉センター	2
篤友会リハビリテーションクリニック	2
奈良県総合リハビリテーションセンター	2
南大阪病院附属リハビリテーションクリニック	2
南和歌山医療センター	2
日新会病院	2
日比野内科クリニック	2
八尾市立病院	2
飯原医院	2
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	2
福川内科クリニック	2
兵庫医科大学病院	2
兵庫県立こども病院	2
兵庫中央病院	2
平野新生苑	2
堀澤整形外科	2
林歯科医院	2
老健そねざき	2
和田病院	2
鯉江内科クリニック	2
高橋内科	2
SOMPO ケア ラヴィーレ弁天町	1
Welfare 城東今福南	1
アイガル菱屋西	1
アグナス住吉公園	1
あけびの家	1
あずまクリニック	1
あづま腎透析クリニック	1
アブリジェイトノセンス	1
アブリジェイト東淀川	1
アミライフ・翼の里	1
アルファリビング川西能勢口駅前	1
アロニアアキラ	1
アンジェロ	1
あんじえろの家	1
いけじり内科外科クリニック	1
いずみの郷	1
いたがねファミリークリニック	1
いとうクリニック	1
いぬいクリニック	1
いまにし医院	1
いわきクリニック	1
うえのメンタルクリニック	1
エイジフリー・ライフ星が丘	1
エイジフリーハウス枚方牧野	1
エトワール平野	1
おくだクリニック	1
おとしよりすこやかセンター北部館	1
おとしより健康センター	1
ガーデンハウス勝山	1
かいつぶり診療所	1
かがわ総合リハビリテーションセンター	1
かじた子どもクリニック	1
かただクリニック	1
かもめクリニック	1
かわもと医院	1

2018年度 紹介先医療機関 5/11	件数
かんたき城東	1
グッドタイムリビング 大阪ベイ	1
グッドタイムリビング尼崎新都心	1
グッドホーム麦畑長吉	1
クリニック大倉	1
クルーヴ布施	1
グループホーム嘉祥苑	1
グループホーム放出ゆおびか	1
ケアハウス出丸苑	1
ケアホームフォーシーズン	1
こいえ内科医院	1
ココナラ翼	1
ココラたかあい	1
こさか家庭医療クリニック	1
こしまクリニック	1
こすぎ内科クリニック	1
こめだ整形外科	1
さかい耳鼻咽喉科クリニック	1
さくらクリニック（旭区）	1
サナティオ湯里	1
サニーライフ大阪翼	1
サニーライフ大阪平野	1
さの内科医院	1
じょうこうクリニック	1
じょうまえクリニック	1
スイートガーデン枚方	1
すいれん	1
スーパーコート三国	1
スーパーコート東大阪みと	1
スマイルハウスⅣ	1
すまいるらいふ今里	1
すみれ愛育館	1
すみれ苑	1
センタークリニック	1
セントケア西条朔日市 小規模多機能	1
そうせい田島	1
ソーシャルコート小松	1
ソラスト鶴見緑地	1
そんぼの家城北	1
たいしょう生協診療所	1
タニオ歯科クリニック	1
たにクリニック	1
たのしい家 深江橋	1
チョウクリニック	1
ツクイ・サンシャイン大東	1
ツヂ病院	1
ツツミ内科循環器科	1
とちの耳鼻咽喉科クリニック	1
ともの木クリニック	1
トヨタ記念病院	1
トルチェダ今里	1
ながお医院	1
ながの内科クリニック	1
なやクリニック	1
ハートフルレジデンス大今里	1
ハーモニー共和	1
はしもと内科循環器内科クリニック	1
はた整形外科・内科・リウマチ科	1
パナソニックエイジフリーケアセンター	1
寝屋川成美	1
はなみずき	1
はびね江坂	1
はまさき1	1
はらのむら外科胃腸科クリニック	1
バリアティブケアホームはなの楠根	1
ひまわり	1
ビューライフ寿町	1
フィオレ・シニアレジデンス住之江	1
フェリーチェ三國ヶ丘	1
ふじもとクリニック	1
ふじもとクリニック（箕面市）	1

2018年度 紹介先医療機関 6/11	件数
ブラウドコート晴明通	1
ブレンシオ	1
ベストライフ松戸	1
ベルバージュ大阪東塚山	1
ベルランド総合病院	1
マイライフ芦屋	1
まいった生協診療所	1
まどか住吉大社東	1
まどか鶴見徳庵	1
まどか天王寺	1
みあ・カーさ	1
みずしま内科クリニック	1
みずほ倶楽部	1
みなとクリニック	1
みやび整形外科	1
メディカル・リハビリホームくら桃山台	1
もり内科クリニック	1
やぎクリニック	1
やすらぎの杜優楽	1
やながクリニック	1
やまき・あべの苑	1
やまき苑	1
やまぐちクリニック	1
やまだ脳神経外科クリニック	1
やまと内科クリニック	1
ゆう&あい都島	1
ユートピア	1
ゆたかクリニック	1
ライフ&シニアハウス千里中央	1
ライフ&シニアハウス緑橋	1
ライフパートナー城東	1
リュクス深江橋式番館	1
り耳鼻咽喉科	1
レインボー今里	1
レガート生玉	1
レザミ鶴見緑地	1
レストコート箕西	1
レストコート林寺	1
わかばやし整形外科クリニック	1
愛の家小規模多機能型居宅介護 大阪都島中通	1
愛ホーム壹番館東棟	1
愛泉会病院	1
愛知医科大学病院	1
愛知県青い鳥医療療育センター	1
愛和こどもクリニック	1
渥美病院	1
安さ1ばん・陽当り良好みんなの家	1
伊東内科クリニック	1
伊藤歯科医院	1
伊豆医療福祉センター	1
医真会総合クリニック	1
医療福祉センター きずな	1
医療福祉センターのぞく	1
井上整形外科	1
玄塾クリニック	1
育和会記念病院	1
稲葉医院	1
茨木マリアヴィラ	1
浦上病院	1
運動器ケア しまだ病院	1
永寿特別養護老人ホーム	1
奄美中央病院	1
延安医院	1
奥井内科クリニック	1
奥野病院	1
横山クリニック	1
横田クリニック	1
岡崎医院	1
岡循環器内科	1
岡森医院	1

2018年度 紹介先医療機関 7/11	件数
岡村病院	1
岡本内科クリニック	1
沖縄中部療育医療センター	1
下條内科クリニック	1
加賀屋診療所	1
河北病院	1
河野医院	1
河野内科クリニック	1
花輪クリニック	1
賀来医院	1
革嶋クリニック	1
葛城病院	1
葛西医院	1
葛本医院	1
萱島生野病院	1
関西医科大学くずは病院	1
丸井整形外科クリニック	1
岸和田春木マリアヴィラ	1
岸和田徳洲会病院	1
岩間クリニック	1
喜界徳洲会病院	1
喜馬病院	1
喜連の杜	1
岐阜大学医学部附属病院	1
紀南病院	1
亀田クリニック	1
吉崎クリニック	1
宮崎大学医学部附属病院	1
京都回生病院	1
京都府立医科大学附属北部医療センター	1
京都民医連中央病院	1
協立診療所	1
玉井クリニック	1
玉串すみれ苑	1
桑の実	1
恵生会病院	1
月川クリニック	1
兼松病院	1
古武診療所	1
御幸森キムクリニック	1
向陽病院	1
甲南病院	1
荒川医院	1
香芝旭ヶ丘病院	1
高崎総合医療センター	1
高知病院	1
高津病院	1
高槻病院	1
国立循環器病研究センター	1
国立精神・神経医療研究センター病院	1
黒岡医院	1
黒田内科医院	1
佐賀県医療センター好生館	1
佐賀整肢学園こども発達医療センター	1
佐竹医院	1
済生会吹田病院	1
菜の花診療所	1
坂元内科クリニック	1
坂中内科クリニック	1
阪本病院	1
堺近森病院	1
榊原クリニック(天王寺区)	1
桜の宮苑	1
三井記念病院	1
三好病院	1
三田高原病院	1
山口県済生会下関総合病院	1
山中クリニック	1
山内内科小児科医院	1
四国こどもとおとなの医療センター	1

2018年度 紹介先医療機関 8/11	件数
四天王寺和らぎ苑	1
市立芦屋病院	1
市立豊中病院	1
思温病院	1
寺内クリニック	1
寺方老人保健施設ラガール	1
寺脇クリニック	1
滋賀県立むれやま荘	1
自立生活訓練センター	1
鹿児島県立大島病院	1
篠原医院	1
柴山神経科クリニック	1
若草第一病院	1
守口生野記念病院	1
寿福の郷 南翼	1
秋山内科	1
秋篠	1
住之江の郷	1
住本医院	1
俊徳道ショートステイ そよ風	1
順天堂大学医学部附属順天堂医院	1
小森内科	1
小池外科	1
小林医院	1
松井記念病院	1
松下リハビリクリニック	1
松阪中央総合病院	1
松尾クリニック	1
松本病院	1
笑顔おとな・こどもデンタルクリニック	1
上山病院	1
上田内科クリニック	1
城東医院	1
伸友クリニック	1
寝屋川ひかり病院	1
寝屋川生野病院	1
新阿武山病院	1
新宮市立医療センター	1
新百合ヶ丘総合病院	1
神戸市立医療センター中央市民病院	1
杉岡内科医院	1
整形外科・内科しょうもとクリニック	1
整形外科りゅうゆう会クリニック	1
正木脳神経外科クリニック	1
清恵会三宝病院	1
清水クリニック	1
生駒市立病院	1
生野愛和病院	1
西宮回生病院	1
西成民主診療所	1
西谷医院	1
西中介護老人保健施設ヴィーブルジョワ	1
西平診療所	1
青葉丘病院	1
赤松内科クリニック	1
摂津医誠会病院	1
摂南総合病院	1
千船病院	1
川合内科・小児科	1
泉岡医院	1
染野クリニック	1
前久保クリニック	1
前川外科整形外科	1
前田診療所	1
倉田整形外科	1
総合介護センター笑寿	1
蒼生病院	1
増田歯科・矯正歯科	1
村尾診療所	1
大垣市民病院	1

2018年度 紹介先医療機関 9/11	件数
大橋クリニック	1
大江内科	1
大阪医科大学附属病院	1
大阪晩明館病院	1
大阪市立十三市民病院	1
大阪市立大学医学部附属病院	1
大阪市立東さくら園	1
大阪梅田医誠会透析クリニック	1
大阪府歯科医師会	1
休日・夜間緊急歯科診療	1
大阪北ホームケアクリニック	1
大寿会病院	1
大森クリニック	1
大正病院	1
大西クリニック(兵庫県)	1
大谷透内科	1
大和郡山病院	1
大和中央病院	1
沢村内科	1
巽さくら苑	1
池田整形外科	1
竹井病院	1
中山クリニック	1
中菅野医院	1
中西心療内科・内科医院	1
中川医院	1
中村クリニック(生野区)	1
中村医院	1
中島クリニック(住之江区)	1
朝日橋胃腸科・内科・小児科診療所	1
朝日生野病院	1
長生苑	1
長谷川クリニック	1
長谷川医院	1
長谷川内科	1
長田の里	1
長野医院	1
塚本歯科医院	1
鶴橋中央診療所	1
鶴見診療所	1
鶴見緑地病院	1
鶴見老人保健施設ラガール	1
天五診療所	1
天満診療所	1
田村医院(堺市)	1
田淵医院	1
田辺駅前ケアセンター	1
土屋医院	1
土谷内科医院	1
土田クリニック	1
刀根山病院	1
東京大学医学部附属病院	1
東京都立北療育医療センター城南分園	1
東京都立北療育医療センター城北分園	1
東住吉森本病院	1
東生駒病院	1
東扇島診療所	1
東大寺福祉療育病院	1
桃クリニック	1
桃山クリニック	1
湯口脳神経外科・脊髄外科	1
湯川胃腸病院	1
湯川医院	1
藤田医院	1
徳島赤十字ひのみね総合療育センター	1
徳島大学病院	1
徳之島徳洲会病院	1
徳野クリニック	1
特別養護老人ホーム あいぜん	1
特別養護老人ホーム オアシス寿安	1
特別養護老人ホーム おおぎの郷	1

2018年度 紹介先医療機関	10/11	件数
特別養護老人ホーム サール・ナート	1	
特別養護老人ホーム サイオン	1	
特別養護老人ホーム サテライト諸福苑Ⅱ	1	
特別養護老人ホーム せんぼ	1	
特別養護老人ホーム ハートフルふしお	1	
特別養護老人ホーム ほなみ	1	
特別養護老人ホーム ローズ	1	
特別養護老人ホーム 愛港園	1	
特別養護老人ホーム 愛和	1	
特別養護老人ホーム 光明荘	1	
特別養護老人ホーム 四天王寺なまつり苑	1	
特別養護老人ホーム 寝屋川苑	1	
特別養護老人ホーム 大国さわやか苑	1	
特別養護老人ホーム 平成曽根崎苑	1	
奈良県総合医療センター	1	
奈良西部病院	1	
内藤クリニック	1	
啖生会脳神経外科病院	1	
京都都病院	1	
南港クリニック	1	
南堺病院	1	
南大阪病院	1	
楠根診療所	1	
難波医院	1	
尼崎中央病院	1	
日生病院	1	
日野医院	1	
脳神経リハビリ北大路病院	1	
博愛城北病院	1	
白山医院（東大阪市）	1	
八尾徳洲会総合病院	1	
板東医院	1	
美富士苑	1	
姫路聖マリア病院	1	
浜松市発達医療総合福祉センター	1	
不藤医院	1	
富永クリニック	1	
福島第一育成園	1	
文クリニック	1	
兵庫県立西宮病院	1	
兵庫県立柏原病院	1	
平井クリニック	1	
平松医院	1	
平成記念病院	1	
平野若葉会病院	1	
平和会吉田病院	1	
放出ふれあいセンター	1	
豊橋市民病院	1	
豊見城中央病院	1	
北桜塚しんせい	1	
北川病院	1	
北村医院	1	
北村診療所	1	
北田医院	1	
牧リハビリテーション病院	1	
本出診療所	1	
枚岡病院	1	
箕面市立病院	1	
夢の箱	1	
名張市立病院	1	
明生記念病院	1	
明德病院	1	
木下クリニック	1	
木戸医院	1	
木村医院	1	
木島病院	1	
野口医院	1	
野崎徳洲会病院	1	
野田診療所	1	
有澤総合病院	1	

2018年度 紹介先医療機関	11/11	件数
淀川キリスト教病院		1
淀川若葉会病院		1
藍の都脳神経外科病院		1
良原診療所		1
廣田クリニック		1
薨		1
趙診療所		1
高垣医院		1
高島内科クリニック		1
高木医院		1
診療所（詳細不明）		1
施設（詳細不明）		5
詳細不明		2
計		1,837

(テ) 診療科別 紹介先医療機関別件数

内科 紹介先医療機関 1/3	件数
小竹クリニック	39
大道クリニック	23
グリーンライフ	21
ハミングベル中道	14
ひびきクリニック	13
エスベラル城東	10
大道医院	9
公道会病院	8
大阪市立総合医療センター	8
福田診療所	8
山中医院	7
勝田医院	7
長田医院	7
福井内科循環器科	7
サンローズオオサカ	6
スーパーコート大阪城公園	6
セントラルクリニック岡本	6
城東中央病院	6
村尾医院	6
そがべ診療所	5
交楽森ノ宮	5
川上クリニック	5
木下診療所	5
おのい深江橋診療所	4
グループホームプラティア森ノ宮	4
たるみファミリークリニック	4
大阪赤十字病院	4
大手前病院	4
大西診療所	4
中村クリニック	4
朋愛病院	4
柳原医院	4
いわもと内科クリニック	3
かたやまクリニック	3
きむ医療連携クリニック	3
グラート大今里	3
こう内科クリニック	3
ココファン城東	3
サトウ病院	3
そんぼの家S城東天王田	3
そんぼの家S諏訪	3
ながはら病院	3
むぎたにクリニック	3
愛染橋病院	3
鳴野医院	3
秋岡診療所	3
大今里ケアホーム	3
大今里ふれあいクリニック	3
大阪国際がんセンター	3
中本病院	3
萩原医院	3
豊川医院	3
李クリニック	3
澤見内科	3
あかがわ生協診療所	2
おとしよりすこやかセンター東部館	2
かわい内科クリニック	2
こうのメンタルクリニック	2
ココファン深江橋	2
スーパーコート今里	2
チャーム鶴見緑地	2
なかたクリニック	2
はしもと内科	2
ピースフリー玉造	2
みらいクリニック	2
よつ葉クリニック	2
ラ・ナンカつるみ	2
蒲生厚生診療所	2
岩本診療所	2
健ちゃんデイサービス	2

内科 紹介先医療機関 2/3	件数
済生会野江病院	2
新大阪病院	2
森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニック	2
深江診療所	2
生野中央病院	2
日本生命病院	2
北山内科クリニック	2
本田病院	2
明生第二病院	2
アイガル菱屋西	1
アミライフ・箕の里	1
アルタスハイム東今里	1
あんじえろの家	1
いかわ内科クリニック	1
いでぐち医院	1
いとうクリニック	1
いまざと診療所	1
いわさきクリニック	1
うえのメンタルクリニック	1
おくだクリニック	1
ガーデンハウス勝山	1
かすや整形外科クリニック	1
かんたき城東	1
グリーンサイドみずき	1
クルーヴ布施	1
コープおおさか病院	1
さくたクリニック	1
サニーライフ大阪巽	1
サニーライフ大阪鶴見	1
しぎの黄金の里	1
しょうまえクリニック	1
そうせい田島	1
ソラスト鶴見緑地	1
たけ内科クリニック	1
たのしい家 深江橋	1
ソツミ内科循環器科	1
とちの耳鼻咽喉科クリニック	1
ともの木クリニック	1
ハートフルレジデンス大今里	1
はしもと内科循環器内科クリニック	1
はた整形外科・内科・リウマチ科	1
ヒーリングライフ志宝	1
フェリーチェ三国ヶ丘	1
ふじもとクリニック(箕面市)	1
メディカル・リハビリホームくらら桃山台	1
り耳鼻咽喉科	1
れいんぼう夕陽丘	1
レガート生玉	1
レストコート林寺	1
わかばやし整形外科クリニック	1
愛知医科大学病院	1
愛和こどもクリニック	1
安さ1ばん・陽当り良好みんなの家	1
育和会記念病院	1
奥井内科クリニック	1
横山クリニック	1
岡本内科クリニック	1
河北病院	1
河野内科クリニック	1
共和病院	1
行岡病院	1
高見医院	1
根本医院	1
済生会泉尾病院	1
山崎医院	1
四天王寺病院	1
四天王寺和らぎ苑	1
柴山神経科クリニック	1
寿幸苑	1
寿福の郷 南巽	1

内科 紹介先医療機関 3/3	件数
住友病院	1
俊徳道ショートステイ そよ風	1
小阪病院	1
松本病院	1
新深江クリニック	1
整形外科・内科しょうもとクリニック	1
正木脳神経外科クリニック	1
清水クリニック	1
前久保クリニック	1
前田診療所	1
相生病院	1
村上整形外科	1
大阪医療センター	1
大阪回生病院	1
大阪警察病院	1
大阪市立十三市民病院	1
大阪市立東さくら園	1
大阪梅田区誠会透析クリニック	1
大阪労災病院	1
大森クリニック	1
大谷透内科	1
池田整形外科	1
中西心療内科・内科医院	1
中田クリニック	1
長野医院	1
帝塚山病院	1
田島クリニック	1
東成病院	1
徳野クリニック	1
特別養護老人ホーム せんぼ	1
特別養護老人ホーム 愛和	1
特別養護老人ホーム 四天王寺たまつり苑	1
特別養護老人ホーム 称揚苑	1
奈良県総合医療センター	1
内藤病院	1
尼崎中央病院	1
八尾はあとふる病院	1
八尾市立病院	1
板東医院	1
美富士苑	1
福川内科クリニック	1
福島第一育成園	1
別所クリニック	1
牧リハビリテーション病院	1
夢の箱	1
明生記念病院	1
木下クリニック	1
矢木脳神経外科病院	1
淀川若葉会病院	1
藍の都脳神経外科病院	1
良原診療所	1
林クリニック	1
覺	1
鯉江内科クリニック	1
高橋内科	1
診療所(詳細不明)	1
詳細不明	1
計	501

外科 紹介先医療機関	件数
ボバース記念病院	5
豊川医院	5
グリーンライフ	4
大阪市立総合医療センター	4
ココファン城東	3
ハミングベル中道	3
ひびきクリニック	3
関西医科大学総合医療センター	3
公会会病院	3
グループホーム みんなの家	2
さくらんぼ杭全	2
そんぼの家S城東天王田	2
なかたクリニック	2
大阪医療センター	2
大手前病院	2
大道クリニック	2
中本病院	2
あずまクリニック	1
いわもと内科クリニック	1
エスベラル城東	1
おとしよりすこやかセンター東部館	1
グラート大今里	1
グリーンサイドみずき	1
サンローズオオサカ	1
シニアハウス長居公園	1
スーパーコート今里	1
スーパーコート大阪城公園	1
すみれ病院	1
たるみファミリークリニック	1
ハミングベル緑橋	1
ピースフリー玉造	1
よつ葉クリニック	1
萱島生野病院	1
岸本整形外科	1
共和病院	1
交楽森ノ宮	1
幸成園	1
行岡病院	1
高見医院	1
高崎総合医療センター	1
寿幸苑	1
住友病院	1
上山病院	1
城東中央病院	1
新阿武山病院	1
川上クリニック	1
相生病院	1
総合介護センター笑寿	1
大阪市立大学医学部附属病院	1
大阪大学医学部附属病院	1
大西診療所	1
中田クリニック	1
朝日生野病院	1
鶴見老人保健施設ラガール	1
田島クリニック	1
東成病院	1
東大阪病院	1
特別養護老人ホーム 称揚苑	1
兵庫県立西宮病院	1
別所クリニック	1
箕面市立病院	1
柳原医院	1
林クリニック	1
高橋内科	1
計	96

乳腺センター科 紹介先医療機関	件数
あけびの家	1
大阪国際がんセンター	1
大阪鉄道病院	1
計	3

整形外科 紹介先医療機関	件数
朋愛病院	6
明生第二病院	6
ボバース記念病院	5
辻外科リハビリテーション病院	5
交楽森ノ宮	4
聖和病院	3
中本病院	3
コープおおさか病院	2
市立池田病院	2
小島整形外科	2
早石病院	2
大阪市立総合医療センター	2
大阪城ケアホーム	2
堀澤整形外科	2
アネリス寺田町	1
いわきクリニック	1
エスベラル城東	1
かすや整形外科クリニック	1
グッドタイムリビング尼崎新都心	1
さくたクリニック	1
みやび整形外科	1
井上整形外科	1
運動器ケア しまた病院	1
岸本整形外科	1
行岡病院	1
香芝旭ヶ丘病院	1
済生会中津病院	1
済生会野江病院	1
若草第一病院	1
秋篠	1
住友病院	1
新百合ヶ丘総合病院	1
整形外科リゅうゆう会クリニック	1
生野中央病院	1
西中介護老人保健施設ヴィーブルジョフ	1
倉田整形外科	1
村上整形外科	1
多根総合病院	1
大今里ケアホーム	1
大阪医療センター	1
大阪赤十字病院	1
大道クリニック	1
大野記念病院	1
池田病院（宝持会）	1
中菅野医院	1
東住吉森本病院	1
白鷺病院	1
兵庫医科大学病院	1
別所クリニック	1
放ふれあいセンター	1
北野病院	1
本田病院	1
計	84

小整・小神科 紹介先医療機関	件数
ボバース記念病院	72
愛知県心身障害者コロニー中央病院	4
たわだリハビリクリニック	3
岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター	3
三重県立子ども心身発達医療センター	3
滋賀県立小児保健医療センター	3
心身障害児総合医療療育センター	3
大阪発達総合療育センター	3
コープおおさか病院	2
公立陶生病院	2
神戸市総合療育センター	2
東部島根医療福祉センター	2
奈良県総合リハビリテーションセンター	2
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	2
兵庫県立こども病院	2
いわさきクリニック	1
かいつぶり診療所	1
かがわ総合リハビリテーションセンター	1
かじた子どもクリニック	1
グリーンライフ	1
こめだ整形外科	1
トヨタ記念病院	1
ハミングベル中道	1
愛知県青い鳥医療療育センター	1
伊豆医療福祉センター	1
医療福祉センター きずな	1
医療福祉センターのぞく	1
沖縄中部療育医療センター	1
丸井整形外科クリニック	1
宮崎大学医学部附属病院	1
京都民医連中央病院	1
高知病院	1
高槻病院	1
国立精神・神経医療研究センター病院	1
佐賀整肢学園こども発達医療センター	1
山口県済生会下関総合病院	1
四国こどもとおとなの医療センター	1
市立東大阪医療センター	1
鳴野医院	1
森ノ宮医療学園附属みどりの風クリニック	1
大垣市民病院	1
大阪市立総合医療センター	1
長田医院	1
東京都立北療育医療センター城南分園	1
東京都立北療育医療センター城北分園	1
東生駒病院	1
東大寺福祉療育病院	1
徳島赤十字ひのみね総合療育センター	1
徳島大学病院	1
日生病院	1
八尾はあとふる病院	1
姫路聖マリア病院	1
浜松市発達医療総合福祉センター	1
北野病院	1
計	147

神内・リハ科 紹介先医療機関 1/6	件数
大阪赤十字病院	21
大阪警察病院	17
大阪医療センター	14
富永病院	14
大阪市立総合医療センター	11
大手前病院	11
北野病院	11
山中脳神経外科・リハビリクリニック	10
矢木脳神経外科病院	10
グリーンライフ	8
城東中央病院	7
大阪府立障がい者自立センター	7
中本病院	6
エイジフリー・ライフ大和田	5
エスペラル城東	5
済生会野江病院	5
市立東大阪医療センター	5
大阪急性期・総合医療センター	5
あづま脳神経外科リハビリクリニック	4
相生病院	4
大今里ケアホーム	4
大阪大学医学部附属病院	4
福田診療所	4
JCHO 大阪病院	3
アネニス寺田町	3
うえに生協診療所	3
フィオレ・シニアレジデンス東成	3
河内総合病院	3
近畿大学医学部附属病院	3
住友病院	3
石切生喜病院	3
鶴見せいわ園	3
内藤病院	3
兵庫県立尼崎総合医療センター	3
いかわ内科クリニック	2
いちば内科	2
いわさきクリニック	2
いんべ診療所	2
エイジフリーハウス大阪帝塚山	2
えきさい大阪	2
エスペラル井高野	2
おとしよりすこやかセンター東部館	2
おひさま園	2
ココファン鶴橋	2
さくら	2
さくらがわ	2
さわ病院	2
たがや内科	2
たむら整形外科	2
なかたクリニック	2
ながはら病院	2
よつ葉クリニック	2
よどがわ内科クリニック	2
伊原クリニック	2
関西労災病院	2
坂本診療所	2
咲洲病院	2
桜橋渡辺病院	2
山本医院(嘉誠会)	2
四天王寺病院	2
鳴野医院	2
秋岡診療所	2
小阪病院	2
小竹クリニック	2
大阪市更生療育センター	2
大阪城ケアホーム	2
大阪鉄道病院	2
大野記念病院	2
竹井クリニック	2
田辺整形外科 上本町クリニック	2

神内・リハ科 紹介先医療機関 2/6	件数
東京湾岸リハビリテーション病院	2
東大阪生協病院	2
篤友会リハビリテーションクリニック	2
南大阪病院附属リハビリテーションクリニック	2
日新会病院	2
八尾はあとふる病院	2
飯原医院	2
兵庫中央病院	2
本田病院	2
老健そねざき	2
澤見内科	2
NTT 西日本大阪病院	1
SOMPO ケア ラヴィーレ弁天町	1
あづま腎透析クリニック	1
アブリシェイトノセン	1
アブリシェイト東淀川	1
アルタスハイム中川	1
アルタスハイム東今里	1
アルファリビング川西能勢口駅前	1
アンジェロ	1
いけじり内科外科クリニック	1
いずみの郷	1
いたがねファミリークリニック	1
いでぐち医院	1
いぬいクリニック	1
いまざと診療所	1
いまにし医院	1
エイジフリー・ライフ星が丘	1
エイジフリーハウス枚方牧野	1
エトワール平野	1
おとしよりすこやかセンター北部館	1
おとしより健康センター	1
かただクリニック	1
かもめクリニック	1
かわい内科クリニック	1
かわもと医院	1
グッドタイムリビング 大阪ベイ	1
グレート大今里	1
ケアホームフォーシーズン	1
こいえ内科医院	1
ココナラ翼	1
ココファン城東	1
こさか家庭医療クリニック	1
こじまクリニック	1
こすぎ内科クリニック	1
さかい耳鼻咽喉科クリニック	1
さくらクリニック(旭区)	1
サナディオ湯里	1
サニーライフ大阪平野	1
さの内科医院	1
しぎの黄金の里	1
すいれん	1
スーパーコート三国	1
スーパーコート東大阪みと	1
スマイルハウスⅣ	1
すまいるらいふ今里	1
すみれ苑	1
すみれ病院	1
センタークリニック	1
セントケア西条朔日市 小規模多機能	1
ソーシャルコート小松	1
そがべ診療所	1
そんぼの家S諏訪	1
そんぼの家城北	1
たいしょう生協診療所	1
たけ内科クリニック	1
たにクリニック	1
たるみファミリークリニック	1
チョウクリニック	1
ツクイ・サンシャイン大東	1

神内・リハ科 紹介先医療機関 3/6	件数
ツクイ・サンシャイン南翼	1
ツチ病院	1
トルチェ大今里	1
なご医院	1
ながの内科クリニック	1
なやクリニック	1
ハーモニー共和	1
パナソニックエイジフリーケアセンター 寝屋川成美	1
はなみずき	1
はびね江坂	1
はまさき1	1
はらのむら外科胃腸科クリニック	1
バリアティブケアホームはなの楠根	1
ヒーリングライフ志宝	1
ひまわり	1
ピュアライフ寿町	1
フィオレ・シニアレジデンス住之江	1
ふじもとクリニック	1
ブラウドコート晴明通	1
プレシオ	1
ベストライフ松戸	1
マイライフ芦屋	1
まどか鶴見徳庵	1
まどか天王寺	1
みずほ倶楽部	1
みなとクリニック	1
もり内科クリニック	1
やぎクリニック	1
やすらぎの杜優楽	1
やながクリニック	1
やまさ・あべの苑	1
やまさ苑	1
やまぐちクリニック	1
やまだ脳神経外科クリニック	1
やまもと内科クリニック	1
ゆう&あい都島	1
ユートピア	1
ゆたかクリニック	1
ライフ&シニアハウス千里中央	1
ライフ&シニアハウス緑橋	1
れいんぼう夕陽丘	1
レインボー今里	1
レザミ鶴見緑地	1
愛の家小規模多機能型居宅介護 大阪都島中通	1
愛ホーム壹番館東棟	1
愛泉会病院	1
愛染橋病院	1
渥美病院	1
伊東内科クリニック	1
伊藤内科診療所	1
医真会総合クリニックス	1
医誠会病院	1
玄竺クリニック	1
茨木マリアヴィラ	1
浦上病院	1
永寿特別養護老人ホーム	1
奄美中央病院	1
延安医院	1
奥野病院	1
横田クリニック	1
岡崎医院	1
下條内科クリニック	1
加賀屋診療所	1
加納総合病院	1
河野医院	1
賀来医院	1
革鳴クリニック	1
葛城病院	1
葛西医院	1
葛本医院	1

神内・リハ科 紹介先医療機関 4/6	件数
関西医科大学くずは病院	1
関西医科大学総合医療センター	1
岸和田春木マリアヴィラ	1
岩間クリニック	1
岩本診療所	1
喜馬病院	1
喜連の杜	1
岐阜大学医学部附属病院	1
吉崎クリニック	1
協立診療所	1
玉井クリニック	1
玉串すみれ苑	1
恵生会病院	1
兼松病院	1
古武診療所	1
御幸森キムクリニック	1
幸成園	1
甲南病院	1
荒川医院	1
行岡病院	1
高津病院	1
国立循環器病研究センター	1
黒岡医院	1
黒田内科医院	1
根本医院	1
佐竹医院	1
済生会吹田病院	1
済生会中津病院	1
菜の花診療所	1
坂元内科クリニック	1
坂中内科クリニック	1
阪本病院	1
榊原クリニック(天王寺区)	1
桜の宮苑	1
三好病院	1
三田高原病院	1
山崎医院	1
山中クリニック	1
山中医院	1
山内内科小児科医院	1
市立芦屋病院	1
市立池田病院	1
市立豊中病院	1
思温病院	1
寺内クリニック	1
寺方老人保健施設ラガール	1
寺脇クリニック	1
滋賀県立むれやま荘	1
自立生活訓練センター	1
鹿児島県立大島病院	1
篠原医院	1
守口生野記念病院	1
寿幸苑	1
秋山内科	1
住之江の郷	1
住本医院	1
順天堂大学医学部附属順天堂医院	1
小森内科	1
小池外科	1
小林医院	1
松井記念病院	1
松下リハビリクリニック	1
松阪中央総合病院	1
松尾クリニック	1
上田内科クリニック	1
城東医院	1
伸友クリニック	1
寝屋川生野病院	1
新深江クリニック	1
新大阪病院	1

神内・リハ科 紹介先医療機関 5/6	件数
杉岡内科医院	1
生野愛和病院	1
生野中央病院	1
聖和病院	1
西宮回生病院	1
西成民主診療所	1
西谷医院	1
西平診療所	1
青葉丘病院	1
赤松内科クリニック	1
摂津医誠会病院	1
摂南総合病院	1
千船病院	1
川合内科・小児科	1
川上クリニック	1
泉岡医院	1
染野クリニック	1
前川外科整形外科	1
相原第二病院	1
蒼生病院	1
村尾診療所	1
大宮ケアホーム光	1
大橋クリニック	1
大江内科	1
大今里ふれあいクリニック	1
大阪医科大学附属病院	1
大阪回生病院	1
大阪暁明館病院	1
大阪国際がんセンター	1
大阪発達総合療育センター	1
大阪北ホームケアクリニック	1
大阪労災病院	1
大寿会病院	1
大正病院	1
大西クリニック(兵庫県)	1
大道医院	1
大和中央病院	1
沢村内科	1
竹井病院	1
中山クリニック	1
中村クリニック	1
中村クリニック(生野区)	1
中島クリニック(住之江区)	1
朝日橋胃腸科・内科・小児科診療所	1
長生苑	1
長谷川クリニック	1
長谷川医院	1
長谷川内科	1
長田の里	1
長田医院	1
鶴橋中央診療所	1
鶴見診療所	1
鶴見緑地病院	1
帝塚山病院	1
天五診療所	1
天満診療所	1
田村医院(堺市)	1
田淵医院	1
田辺駅前ケアセンター	1
土屋医院	1
土谷内科医院	1
土田クリニック	1
刀根山病院	1
桃クリニック	1
桃山クリニック	1
湯口脳神経外科・脊髄外科	1
湯川胃腸病院	1
湯川医院	1
藤田医院	1
徳之島徳洲会病院	1

神内・リハ科 紹介先医療機関 6/6	件数
特別養護老人ホーム あいぜん	1
特別養護老人ホーム オアシス寿安	1
特別養護老人ホーム おおぎの郷	1
特別養護老人ホーム サール・ナート	1
特別養護老人ホーム ザイオン	1
特別養護老人ホーム サテライト諸福苑Ⅱ	1
特別養護老人ホーム ハートフルふしお	1
特別養護老人ホーム ほなみ	1
特別養護老人ホーム ローズ	1
特別養護老人ホーム 愛港園	1
特別養護老人ホーム 称揚苑	1
特別養護老人ホーム 寝屋川苑	1
特別養護老人ホーム 大国さわやか苑	1
特別養護老人ホーム 平成曽根崎苑	1
奈良県立医科大学附属病院	1
奈良西部病院	1
内藤クリニック	1
南京都病院	1
南港クリニック	1
南大阪病院	1
楠根診療所	1
難波医院	1
日比野内科クリニック	1
日本生命病院	1
日野医院	1
脳神経リハビリ北大路病院	1
博愛城北病院	1
白山医院（東大阪市）	1
八尾市立病院	1
不藤医院	1
富永クリニック	1
福井内科循環器科	1
福川内科クリニック	1
文クリニック	1
兵庫医科大学病院	1
平井クリニック	1
平松医院	1
平成記念病院	1
平野若葉会病院	1
平野新生苑	1
平和会吉田病院	1
別所クリニック	1
朋愛病院	1
豊橋市民病院	1
北桜塚しんせい	1
北山内科クリニック	1
北川病院	1
北村医院	1
北村診療所	1
北田医院	1
本出診療所	1
枚岡病院	1
明德病院	1
木戸医院	1
木村医院	1
木島病院	1
野口医院	1
野崎徳洲会病院	1
野田診療所	1
淀川キリスト教病院	1
李クリニック	1
林クリニック	1
和田病院	1
廣田クリニック	1
趙診療所	1
鯉江内科クリニック	1
高垣医院	1
高島内科クリニック	1
高木医院	1
計	657

心臓血管センター 紹介先医療機関 1/2	件数
八戸の里病院	11
大阪市立総合医療センター	10
大手前病院	10
淀井病院	7
明生病院	6
JCHO 大阪みなと中央病院	5
コンシェル阿倍野	5
グリーンライフ	4
ココファン城東	4
小尾クリニック	3
大阪医療センター	3
大阪急性期・総合医療センター	3
NTT 西日本大阪病院	2
サニーライフ大阪鶴見	2
スーパーコート堺神石	2
そんぼの家S諏訪	2
加納総合病院	2
高齢者グループホームなでしこ	2
市立東大阪医療センター	2
赤垣クリニック	2
大阪警察病院	2
大阪赤十字病院	2
大野記念病院	2
谷口クリニック	2
南和歌山医療センター	2
JCHO 大阪病院	1
Welfare 城東今福南	1
アグナス住吉公園	1
アルカンシエル東成	1
アロンティアクラブ	1
グッドホーム麦畑長吉	1
グラート大今里	1
クリニック大倉	1
グループホーム みんなの家	1
グループホームブラティア森ノ宮	1
グループホーム嘉祥苑	1
グループホーム放出ゆおびか	1
ケアハウス出丸苑	1
ココラたかあい	1
シニアハウス長居公園	1
スイートガーデン枚方	1
スーパーコート大阪城公園	1
ソクイ・サンシャイン南翼	1
ハミングベル中道	1
ハミングベル緑橋	1
ベルバージュ大阪帝塚山	1
ベルランド総合病院	1
みあ・カーさ	1
みずしま内科クリニック	1
ライフパートナー城東	1
リュクス深江橋式番館	1
れいんぼう夕陽丘	1
レストコート翼西	1
伊藤内科診療所	1
稲葉医院	1
岡循環器内科	1
岡森医院	1
岡村病院	1
花輪クリニック	1
関西医科大学総合医療センター	1
関西労災病院	1
岸和田徳洲会病院	1
喜界徳洲会病院	1
紀南病院	1
亀田クリニック	1
京都回生病院	1
京都府立医科大学附属北部医療センター	1
近畿大学医学部附属病院	1
桑の実	1
佐賀県医療センター好生館	1

心臓血管センター 紹介先医療機関 2/2	件数
済生会泉尾病院	1
堺近森病院	1
三井記念病院	1
秋岡診療所	1
住友病院	1
寝屋川ひかり病院	1
新宮市立医療センター	1
神戸市立医療センター中央市民病院	1
清恵会三宅病院	1
生駒市立病院	1
相原第二病院	1
大宮ケアホーム光	1
大今里ケアホーム	1
大西診療所	1
大道クリニック	1
巽さくら苑	1
池田病院（宝持会）	1
中川医院	1
中村医院	1
中本病院	1
東京大学医学部附属病院	1
東扇島診療所	1
東大阪病院	1
特別養護老人ホーム 光明荘	1
暇生会脳神経外科病院	1
南堺病院	1
日比野内科クリニック	1
白鷺病院	1
八尾徳洲会総合病院	1
兵庫県立柏原病院	1
平野新生苑	1
朋愛病院	1
豊見城中央病院	1
名張市立病院	1
明生第二病院	1
矢木脳神経外科病院	1
有澤総合病院	1
李クリニック	1
和田病院	1
施設（詳細不明）	1
詳細不明	1
計	183

泌尿器科 紹介先医療機関	件数
大阪重粒子線センター	66
グリーンライフ	6
公道会病院	6
ハミングベル中道	4
サンローズオオサカ	2
たのしい家 阿倍野	2
奈良県立医科大学附属病院	2
アルカンシエル東成	1
アルタスハイム中川	1
エスベラル城東	1
グループホームプラティア森ノ宮	1
ココファン城東	1
サトウ病院	1
じょうこうクリニック	1
スーパーコート大阪城公園	1
そんぼの家S諏訪	1
まどか住吉大社東	1
ラ・ナンカつまみ	1
月川クリニック	1
大阪医療センター	1
大阪市立総合医療センター	1
大手前病院	1
大道クリニック	1
大和郡山病院	1
中田クリニック	1
白鷺病院	1
計	107

歯科 紹介先医療機関	件数
ボバース記念病院	8
はやし歯科医院(生野区)	5
グループホームみんなの家・福ちゃん	4
豊里学園	4
グループホームいっぽファースト	3
グループホームワイルド	3
おかもと歯科	2
さとホーム	2
石原歯科医院	2
林歯科医院	2
すみれ愛育館	1
タニオ歯科クリニック	1
ハミングベル中道	1
伊藤歯科医院	1
笑顔おとな・こどもデンタルクリニック	1
増田歯科・矯正歯科	1
大阪府歯科医師会 休日・夜間緊急歯科診療	1
塚本歯科医院	1
施設(詳細不明)	4
計	47

麻酔科 紹介先医療機関	件数
かわむらクリニック	7
まった生協診療所	1
医誠会病院	1
向陽病院	1
小竹クリニック	1
多根総合病院	1
計	12

イ. 疾病に関する資料

(ア) 疾病別 診療科別患者数

国際分類大項目分類		総数	内科	外科	乳腺	整形	小整	小神	神内	リハ	心臓	泌尿	歯科	麻酔
総数	計	4,012	870	305	183	141	101	188	478	218	982	215	264	67
	男	2,229	401	163	-	45	48	117	271	117	695	166	173	33
	女	1,783	469	142	183	96	53	71	207	101	287	49	91	34
I 感染症及び寄生虫症	計	79	57	14	-	-	-	-	3	-	2	1	1	1
	男	33	24	5	-	-	-	-	1	-	2	1	-	-
	女	46	33	9	-	-	-	-	2	-	-	-	1	1
II 新生物	計	339	73	73	70	-	-	1	1	-	3	113	5	-
	男	200	44	41	-	-	-	1	-	-	2	109	3	-
	女	139	29	32	70	-	-	-	1	-	1	4	2	-
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	計	23	18	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
	男	11	9	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
	女	12	9	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	52	45	2	-	-	-	1	-	2	1	1	-	-
	男	16	14	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
	女	36	31	2	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
V 精神及び行動の障害	計	14	11	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
	男	10	7	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
	女	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	計	311	7	2	-	-	59	175	59	8	-	1	-	-
	男	175	2	-	-	-	33	107	28	4	-	1	-	-
	女	136	5	2	-	-	26	68	31	4	-	-	-	-
VII 眼及び付属器の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	計	1,428	89	10	-	-	-	2	369	173	784	-	-	1
	男	904	42	5	-	-	-	1	214	91	550	-	-	1
	女	524	47	5	-	-	-	1	155	82	234	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	計	318	291	3	2	-	-	-	-	4	16	2	-	-
	男	175	155	3	-	-	-	-	-	2	14	1	-	-
	女	143	136	-	2	-	-	-	-	2	2	1	-	-
XI 消化器系の疾患	計	517	91	170	-	-	-	-	-	-	8	1	247	-
	男	304	37	97	-	-	-	-	-	-	6	1	163	-
	女	213	54	73	-	-	-	-	-	-	2	-	84	-
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	計	20	3	6	1	2	2	-	-	-	2	1	3	-
	男	7	2	3	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-
	女	13	1	3	1	2	1	-	-	-	2	1	2	-
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	115	25	2	1	8	2	-	6	4	3	-	-	64
	男	60	11	-	-	6	-	-	5	3	3	-	-	32
	女	55	14	2	1	2	2	-	1	1	-	-	-	32
XIV 腎尿路生殖系系の疾患	計	144	41	5	-	-	-	-	-	1	7	90	-	-
	男	71	16	3	-	-	-	-	-	-	4	48	-	-
	女	73	25	2	-	-	-	-	-	1	3	42	-	-
XV 妊娠、分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	8	-	-	-	-	6	2	-	-	-	-	-	-
	男	4	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-
	女	4	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	計	79	61	4	-	-	-	-	-	1	10	3	-	-
	男	28	15	2	-	-	-	-	-	1	7	3	-	-
	女	51	46	2	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	405	58	13	2	108	22	4	34	23	130	2	8	1
	男	207	23	4	-	30	9	2	20	15	96	2	6	-
	女	198	35	9	2	78	13	2	14	8	34	-	2	1
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービス	計	160	-	1	107	23	10	-	6	2	11	-	-	-
	男	24	-	-	-	9	3	-	3	-	9	-	-	-
	女	136	-	1	107	14	7	-	3	2	2	-	-	-

(イ) 疾病別 在院日数別患者数

国際分類大項目分類		1～ 8日	9～ 15日	16～ 22日	23～ 31日	32～ 61日	62～ 91日	3～ 6月	6月～ 1年	1年～	総数	平均 在院日数
I	感染症及び寄生虫症	計 51	11	5	3	4	1	3	1	-	79	16.1
II	新生物	計 209	49	33	16	26	3	1	2	-	339	12.1
III	血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	計 7	9	1	2	3	1	-	-	-	23	17.3
IV	内分泌、栄養及び 代謝疾患	計 19	13	6	6	6	1	1	-	-	52	18.2
V	精神及び行動の障害	計 12	-	-	1	1	-	-	-	-	14	7.0
VI	神経系の疾患	計 29	51	27	60	87	36	21	-	-	311	39.1
VII	眼及び付属器の疾患	計 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX	循環器系の疾患	計 469	162	90	107	169	162	253	12	4	1,428	45.4
X	呼吸器系の疾患	計 70	71	51	38	62	14	11	1	-	318	26.7
XI	消化器系の疾患	計 437	38	18	12	7	3	2	-	-	517	5.6
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計 6	3	3	1	5	1	1	-	-	20	26.8
XIII	筋骨格系及び 結合組織の疾患	計 66	12	10	6	16	5	-	-	-	115	15.9
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計 56	36	20	14	13	3	2	-	-	144	17.0
XV	妊娠、分娩及び産じょく	計 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI	周産期に発生した病態	計 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII	先天奇形、変形及び 染色体異常	計 5	-	1	1	1	-	-	-	-	8	13.4
XVIII	症状、徴候及び異常臨床 所見・異常検査所見	計 56	12	5	3	3	-	-	-	-	79	7.6
XIX	損傷、中毒及び その他の外因の影響	計 132	45	28	46	100	33	20	1	-	405	30.4
XXI	健康状態に影響を及ぼす 要因及び保健サービス	計 52	82	10	5	9	2	-	-	-	160	12.0
総数		1,676	594	308	321	512	265	315	17	4	4,012	28.7

(ウ) 疾病別 年齢階層別患者数

国際分類大項目分類		0～ 4	5～ 9	10～ 14	15～ 19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 64	65～ 69	70～ 74	75～ 79	80～ 84	85～ 89	90～	総数	平均 年齢
I 感染症及び寄生虫症	計	-	-	1	4	15	2	9	4	3	1	6	8	13	4	9	79	59.2
II 新生物	計	-	1	-	-	-	1	35	34	11	48	65	47	43	27	27	339	70.8
III 血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	計	-	-	-	-	-	-	1	2	-	2	-	2	2	11	3	23	80.9
IV 内分泌、栄養及び 代謝疾患	計	-	1	-	-	-	-	2	5	1	4	4	6	10	12	7	52	76.2
V 精神及び行動の障害	計	1	2	-	1	5	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	14	28.2
VI 神経系の疾患	計	68	122	39	4	7	10	6	13	8	2	18	5	5	2	2	311	19.7
VII 眼及び付属器の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	計	-	1	2	4	4	13	69	137	98	147	226	275	241	144	67	1,428	72.3
X 呼吸器系の疾患	計	-	-	-	2	4	5	9	7	7	25	24	52	56	72	55	318	78.4
XI 消化器系の疾患	計	1	21	16	33	66	41	51	41	27	32	35	48	46	42	17	517	52.9
XII 皮膚及び 皮下組織の疾患	計	-	-	-	-	-	2	1	2	3	3	1	3	1	2	2	20	67.9
XIII 筋骨格系及び 結合組織の疾患	計	-	-	-	1	1	4	10	10	9	9	11	22	18	15	5	115	69.9
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	計	-	-	-	3	4	3	7	7	6	10	17	21	18	29	19	144	73.3
XV 妊娠、分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形及び 染色体異常	計	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	4.1
XVIII 症状、徴候及び異常臨床 所見・異常検査所見	計	-	-	-	-	2	2	1	4	1	5	15	17	14	13	5	79	74.8
XIX 損傷、中毒及び その他の外因の影響	計	1	6	2	5	6	11	16	17	19	43	58	67	70	53	31	405	71.5
XXI 健康状態に影響を及ぼす 要因及び保健サービス	計	-	3	3	2	3	24	35	37	5	23	6	4	7	7	1	160	52.5
総数		74	162	63	59	117	121	252	321	198	354	486	577	544	434	250	4,012	64.8

(エ) 診療科別 疾病頻度順

内科

順位	ICD10	病名	件数	平均 在院日数	最大 在院日数	最低 在院日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	J690	誤嚥性肺炎	126	36.5	240	1	84.0	4,603	10,583
2	J180	気管支肺炎	50	15.6	69	2	77.9	780	3,896
3	I509	心不全	48	24.4	94	1	87.3	1,170	4,191
4	R42	めまい症	34	5.2	15	1	74.7	176	2,540
5	N390	尿路感染症	22	30.1	148	6	84.8	663	1,866
6	K573	結腸憩室症	21	3.7	11	1	72.0	77	1,511
7	E86	脱水症	17	12.2	32	2	79.9	208	1,358
8	S3200	腰椎圧迫骨折	16	45.7	87	9	81.1	731	1,297
9	J189	肺炎	15	34.1	161	4	70.8	511	1,062
10	A090	感染性腸炎	14	4.6	14	1	42.8	65	599
	J101	インフルエンザA型 / B型	14	21.5	58	2	81.9	301	1,147
	J46	気管支喘息発作	14	7.9	25	1	65.6	110	918
11	T678	熱中症	12	8.7	53	2	64.3	104	771
12	A099	急性胃腸炎	11	4.6	15	1	58.0	51	638
	E119	2型糖尿病・糖尿病性合併症なし	11	16.0	42	3	72.4	176	796
	J209	急性気管支炎	11	12.0	41	5	78.5	132	864
13	D123	横行結腸腺腫	10	2.0	3	1	72.3	20	723
	E871	低ナトリウム血症	10	20.9	80	8	84.3	209	843
	I10	高血圧性緊急症	10	11.5	43	3	81.2	115	812
	M6259	廃用症候群	10	39.8	85	10	81.8	398	818
14	D125	S状結腸腺腫	9	2.6	6	1	75.3	23	678
	F100	急性アルコール中毒	9	1.3	2	1	31.1	12	280
	R402	意識消失	9	9.9	37	1	79.4	89	715
15	D122	上行結腸腺腫	8	1.9	2	1	71.1	15	569
	D619	汎血球減少症	8	16.0	40	8	87.0	128	696
	J841	肺線維症を伴う間質性肺炎	8	21.5	44	9	73.4	172	587
16	J157	マイコプラズマ肺炎	7	11.3	25	4	64.9	79	454
17	C341	上葉肺癌	6	23.8	55	8	88.0	143	528
	D509	鉄欠乏性貧血	6	14.0	41	3	85.0	84	510
	I691	脳出血後遺症	6	33.3	59	15	70.7	200	424
	K296	びらん性胃炎	6	5.2	16	1	66.3	31	398
	K635	結腸ポリープ	6	2.2	3	1	69.3	13	416
	R509	不明熱	6	11.2	24	3	69.5	67	417
18	D124	下行結腸腺腫	5	2.6	5	1	65.4	13	327
	I693	脳梗塞後遺症	5	29.0	70	10	69.4	145	347
	J440	下気道感染を伴う慢性閉塞性肺疾患	5	17.0	26	11	82.6	85	413
	J459	気管支喘息	5	14.0	21	7	77.8	70	389
	K590	便秘症	5	4.2	8	2	82.6	21	413
19	A047	偽膜性大腸炎	4	12.5	23	6	84.0	50	336
	A081	ノロウイルス性腸炎	4	5.0	10	2	50.3	20	201
	D128	直腸腺腫	4	2.5	4	2	61.8	10	247
	I639	脳梗塞	4	39.0	79	9	80.5	156	322
	J40	気管支炎	4	11.0	17	3	73.3	44	293
	J961	慢性呼吸不全急性増悪	4	79.0	153	7	78.0	316	312
	K559	虚血性腸炎	4	10.5	14	4	54.0	42	216
	N189	慢性腎不全	4	48.0	92	7	78.3	192	313
	N19	腎性貧血	4	17.8	34	2	86.3	71	345
	R100	急性腹症	4	2.3	3	1	60.5	9	242
	S2200	胸椎圧迫骨折	4	38.8	67	9	86.3	155	345
	S3270	腰椎及び骨盤の多発圧迫骨折	4	41.3	69	29	82.5	165	330
20	A419	敗血症	3	38.0	92	2	78.0	114	234
	C163	胃前庭部癌	3	7.7	11	2	76.0	23	228
	C343	下葉肺癌	3	29.0	70	2	85.3	87	256
	C349	肺癌	3	6.0	11	3	66.3	18	199
	C61	前立腺癌	3	18.7	25	9	85.0	56	255
	C787	転移性肝癌	3	9.0	10	7	88.3	27	265
	G20	パーキンソン病	3	13.0	16	9	82.7	39	248

順位	ICD10	病名	件数	平均 在院日数	最大 在院日数	最低 在院日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
20	I610	脳皮質下出血	3	11.7	20	1	92.0	35	276
	I638	その他の脳梗塞	3	31.3	47	20	89.3	94	268
	J13	肺炎球菌肺炎	3	14.7	36	4	47.3	44	142
	J188	閉塞性肺炎	3	18.0	31	3	90.3	54	271
	J90	胸水貯留	3	23.7	55	4	68.7	71	206
	K293	表層性胃炎	3	1.7	2	1	35.0	5	105
	K567	イレウス	3	3.0	5	1	70.3	9	211
	K628	直腸炎	3	2.0	3	1	53.3	6	160
	K649	痔核	3	1.0	1	1	68.0	3	204
	K921	下血	3	28.0	72	4	71.3	84	214
	M5456	急性腰痛症	3	6.7	10	2	54.3	20	163
	M6289	横紋筋融解	3	19.0	22	14	84.7	57	254
	N12	腎盂胃炎	3	30.7	53	15	84.7	92	254
	T0210	胸腰椎圧迫骨折	3	19.0	27	12	72.3	57	217
	T913	頸髄損傷後遺症	3	5.3	10	3	77.3	16	232
21	A043	腸管出血性大腸菌感染症	2	6.0	7	5	27.0	12	54
	A310	肺非定型抗酸菌症	2	8.0	8	8	87.0	16	174
	A499	細菌感染症	2	10.5	19	2	47.5	21	95
	B029	帯状疱疹	2	31.5	55	8	89.5	63	179
	B181	B型肝炎変	2	6.5	7	6	62.0	13	124
	B441	肺アスペルギルス症	2	14.5	19	10	72.5	29	145
	C250	脾頭部癌	2	40.5	47	34	87.0	81	174
	C340	肺門部肺癌	2	19.5	22	17	83.0	39	166
	D120	盲腸腺腫	2	2.0	2	2	69.5	4	139
	D649	貧血	2	8.5	9	8	89.5	17	179
	D868	心サルコイドーシス	2	8.5	11	6	58.0	17	116
	E114	2型糖尿病性末梢神経障害	2	11.5	15	8	54.0	23	108
	I690	くも膜下出血後遺症	2	42.0	53	31	63.5	84	127
	J039	急性扁桃炎	2	3.5	5	2	22.5	7	45
	J100	インフルエンザ肺炎	2	34.0	58	10	89.0	68	178
	J439	肺炎腫	2	15.0	21	9	77.5	30	155
	J441	慢性閉塞性肺疾患の急性増悪	2	29.5	42	17	90.0	59	180
	K210	逆流性食道炎	2	5.5	9	2	84.5	11	169
	K260	出血性十二指腸潰瘍	2	12.5	17	8	73.5	25	147
	K449	食道裂孔ヘルニア	2	17.0	29	5	84.0	34	168
	K621	直腸ポリープ	2	1.5	2	1	75.5	3	151
	K769	肝機能障害	2	6.5	8	5	72.0	13	144
	K922	上部消化管出血	2	7.0	13	1	85.5	14	171
	L031	下腿部蜂窩織炎	2	24.5	33	16	73.0	49	146
	M4806	腰部脊柱管狭窄症	2	10.5	11	10	84.0	21	168
	N735	骨盤腹膜炎	2	28.5	34	23	88.5	57	177
	R11	嘔吐症	2	9.5	17	2	65.0	19	130
	S2210	胸椎多発圧迫骨折	2	30.5	42	19	73.5	61	147
22	-	その他の疾患	105	17.8	247	1	72.6	1,869	7,620
合計			870	19.5	247	1	75.7	16,990	65,834

外科

順位	ICD10	病名	件数	平均 在院日数	最大 在院日数	最低 在院日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	K409	単径ヘルニア	33	5.3	19	2	69.9	174	2,308
2	K573	結腸憩室症	18	5.7	16	2	58.8	103	1,058
3	K913	術後癒着性イレウス	15	13.3	74	2	72.9	200	1,093
4	K358	急性虫垂炎	13	5.7	12	3	36.7	74	477
5	K801	胆石性胆のう炎	9	6.7	19	2	60.0	60	540
6	A099	急性胃腸炎	7	3.6	11	1	53.4	25	374
	C182	上行結腸癌	7	26.3	45	1	84.0	184	588
	C786	癌性腹膜炎	7	29.0	55	3	75.4	203	528
7	C169	胃癌	6	35.0	46	5	78.0	210	468
8	D125	S状結腸腺腫	5	1.6	3	1	83.6	8	418
	K559	虚血性腸炎	5	10.6	17	4	79.4	53	397
	K800	急性胆石性胆のう炎	5	9.6	16	6	69.0	48	345
9	C163	幽門前庭部癌	4	21.3	30	7	84.8	85	339
	C187	S状結腸癌	4	30.0	46	4	85.0	120	340
	C787	転移性肝癌	4	20.0	38	10	71.5	80	286
	D123	横行結腸腺腫	4	2.3	3	2	77.5	9	310
	I610	脳皮質下出血	4	27.3	91	2	84.5	109	338
	K567	亜イレウス	4	10.3	19	3	79.8	41	319
10	C180	盲腸癌	3	27.7	44	10	85.7	83	257
	D122	上行結腸腺腫	3	3.7	7	2	80.0	11	240
	D128	直腸腺腫	3	1.3	2	1	79.0	4	237
	J690	誤嚥性肺炎	3	58.3	85	16	78.0	175	234
	K353	急性穿孔性虫垂炎	3	6.3	9	5	48.0	19	144
	K562	絞扼性イレウス	3	34.7	68	13	89.7	104	269
	K635	結腸ポリープ	3	4.3	10	1	83.7	13	251
	K810	急性胆のう炎	3	9.0	12	7	76.7	27	230
	K811	慢性胆のう炎	3	17.3	26	4	71.0	52	213
	L031	四肢の蜂巣炎<蜂窩織炎>	3	23.0	53	4	64.0	69	192
11	A047	偽膜性大腸炎	2	55.0	106	4	84.0	110	168
	A090	感染性腸炎	2	4.0	4	4	21.0	8	42
	C186	下行結腸癌	2	28.5	56	1	84.5	57	169
	C19	直腸S状結腸癌	2	15.0	29	1	71.0	30	142
	C20	直腸癌	2	45.0	48	42	89.0	90	178
	C780	転移性肺癌	2	25.5	29	22	79.5	51	159
	D124	下行結腸腺腫	2	2.0	2	2	80.5	4	161
	D374	結腸腫瘍	2	2.5	3	2	59.5	5	119
	K250	急性胃粘膜病変	2	4.5	6	3	69.5	9	139
	K259	胃潰瘍	2	11.5	16	7	77.5	23	155
	K261	急性十二指腸潰瘍穿孔	2	12.5	13	12	27.5	25	55
	K284	出血性吻合部潰瘍	2	72.0	119	25	89.5	144	179
	K293	表層性胃炎	2	4.5	7	2	44.5	9	89
	K351	虫垂周囲膿瘍	2	7.0	8	6	52.0	14	104
	K432	腹壁癒着ヘルニア	2	8.0	15	1	77.0	16	154
	K509	クローン病	2	4.0	6	2	50.5	8	101
	K529	小腸炎	2	6.0	9	3	29.5	12	59
	K565	癒着性イレウス	2	29.0	55	3	83.0	58	166
	K566	小腸イレウス	2	4.0	4	4	41.5	8	83
	K572	結腸憩室穿孔	2	18.5	25	12	61.0	37	122
	K621	直腸ポリープ	2	1.5	2	1	77.0	3	154
	K623	直腸脱	2	15.0	26	4	82.5	30	165
	K85	急性膀胱炎	2	9.5	16	3	32.5	19	65
	N390	尿路感染症	2	11.0	19	3	79.0	22	158
	R509	不明熱	2	5.5	6	5	84.5	11	169
	S2200	胸椎圧迫骨折	2	29.0	30	28	81.0	58	162
	S2240	肋骨多発骨折	2	9.0	9	9	59.0	18	118
12	-	その他の疾患	67	17.7	229	1	73.8	1,189	4,942
合計			305	14.5	229	1	69.7	4,411	21,270

整形外科

順位	ICD10	病名	件数	平均 在院日数	最大 在院日数	最低 在院日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	S7200	大腿骨頸部骨折	17	47.6	85	1	77.6	809	1,319
2	S3200	腰椎圧迫骨折	13	32.4	48	12	77.5	421	1,007
	S7210	大腿骨転子部骨折	13	54.5	106	20	81.6	709	1,061
	Z540	手術後の回復期	13	35.0	67	11	77.6	455	1,009
3	Z470	抜釘	10	5.1	11	3	48.2	51	482
4	S2200	胸椎圧迫骨折	9	33.9	57	13	79.0	305	711
	S5250	橈骨遠位端骨折	9	9.6	20	4	57.3	86	516
5	S3270	腰椎および骨盤の多発骨折	5	36.4	47	14	84.2	182	421
	S4220	上腕骨近位端骨折	5	22.6	33	4	83.6	113	418
	S8200	膝蓋骨骨折	5	34.4	57	2	68.6	172	343
6	M511	腰椎椎間板ヘルニア	4	6.8	16	3	52.5	27	210
	S4200	鎖骨骨折	4	7.5	8	7	50.5	30	202
	S7220	転子下骨折	4	71.3	134	41	77.3	285	309
7	S5200	尺骨肘頭骨折	3	26.3	49	4	59.3	79	178
8	L031	足関節部蜂窩織炎	2	34.0	47	21	66.0	68	132
	S3210	仙骨骨折	2	48.5	68	29	78.0	97	156
	S3250	恥骨骨折	2	53.0	64	42	91.5	106	183
	S8260	足関節外果骨折	2	52.0	61	43	78.5	104	157
	T0210	胸腰椎圧迫骨折	2	28.0	33	23	91.0	56	182
9	M1121	肩関節偽痛風	1	7.0	7	7	89.0	7	89
	M2349	膝関節内遊離体	1	3.0	3	3	53.0	3	53
	M4806	腰部脊柱管狭窄症	1	51.0	51	51	87.0	51	87
	M5456	急性腰痛症	1	7.0	7	7	45.0	7	45
	S2210	胸椎多発圧迫骨折	1	13.0	13	13	92.0	13	92
	S300	腰部打撲傷	1	29.0	29	29	81.0	29	81
	S3230	腸骨骨折	1	146.0	146	146	81.0	146	81
	S3280	仙腸関節骨折	1	55.0	55	55	73.0	55	73
	S400	肩打撲傷	1	2.0	2	2	21.0	2	21
	S4230	上腕骨骨折	1	27.0	27	27	85.0	27	85
	S6230	中手骨骨折	1	39.0	39	39	88.0	39	88
	S7240	大腿骨顆上骨折	1	54.0	54	54	77.0	54	77
	S760	股関節部筋損傷	1	16.0	16	16	94.0	16	94
	S762	大腿部内転筋挫傷	1	30.0	30	30	84.0	30	84
	S8210	脛骨高原骨折	1	52.0	52	52	82.0	52	82
	S8250	足関節後果骨折	1	52.0	52	52	67.0	52	67
	S834	膝外側側副靱帯損傷	1	1.0	1	1	16.0	1	16
合計			141	33.6	146	1	72.4	4,739	10,211

乳腺センター科

順位	ICD10	病名	件数	平均 在院日数	最大 在院日数	最低 在院日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	Z853	乳癌の既往	107	9.2	20	2	49.2	980	5,261
2	C504	乳房上外側部乳癌	27	12.1	27	2	60.6	327	1,636
3	C502	乳房上内側部乳癌	15	11.5	21	4	49.2	173	738
4	C501	乳房中央部乳癌	7	36.4	184	3	48.6	255	340
	C780	転移性肺癌	7	11.9	28	4	73.3	83	513
5	C771	縦隔リンパ節転移	6	6.2	12	5	46	37	276
6	C503	乳房下内側部乳癌	2	17	18	16	42.5	34	85
	C787	転移性肝癌	2	10.5	18	3	57.5	21	115
7	C500	乳房バジネット病	1	14	14	14	65	14	65
	C505	乳房下外側部乳癌	1	15	15	15	67	15	67
	C795	転移性骨腫瘍	1	14	14	14	49	14	49
	D486	乳腺腫瘍	1	2	2	2	55	2	55
	J189	肺炎	1	33	33	33	84	33	84
	J46	気管支喘息発作	1	19	19	19	76	19	76
	L905	瘢痕拘縮	1	16	16	16	40	16	40
	M6028	胸部異物肉芽腫	1	10	10	10	54	10	54
	T814	術後感染症	1	11	11	11	47	11	47
	T854	乳房プロステシスの機械的合併症	1	11	11	11	46	11	46
合計			183	11.2	184	2	52.2	2,055	9,547

小児整形外科

順位	ICD10	病名	件数	平均 在院日数	最大 在院日数	最低 在院日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	G801	脳性麻痺（痙性両麻痺）	26	50.2	163	1	7.9	1,304	206
2	G800	脳性麻痺（痙性四肢麻痺）	13	63.2	163	1	8.2	821	107
3	G803	脳性麻痺（アトーゼ型）	10	19.6	114	1	11.5	196	115
4	Z470	抜釘	8	4.6	10	3	13.4	37	107
5	G802	脳性麻痺（片麻痺）	5	30.6	90	1	6.4	153	32
	S7200	大腿骨頸部骨折	5	33.8	37	29	80.6	169	403
6	S7210	大腿骨転子部骨折	3	27.0	35	21	56.7	81	170
7	G931	低酸素性脳症	2	51.0	83	19	11.5	102	23
	L031	四肢の蜂巣炎<蜂窩織炎>	2	37.5	46	29	80.5	75	161
	Q658	發育性股関節形成不全	2	7.0	8	6	5.0	14	10
	S2200	胸椎圧迫骨折	2	16.5	25	8	71.5	33	143
	S4240	上腕骨遠位端骨折	2	10.0	18	2	49.0	20	98
	T905	頭蓋内損傷後遺症	2	51.0	83	19	11.5	102	23
	Z540	手術後の回復期	2	29.0	30	28	40.5	58	81
8	G804	脳性麻痺（失調型）	1	71.0	71	71	6.0	71	6
	G809	脳性麻痺（詳細不明）	1	3.0	3	3	12.0	3	12
	G934	急性脳症	1	26.0	26	26	9.0	26	9
	M1226	膝色素性絨毛結節性滑膜炎	1	14.0	14	14	16.0	14	16
	M2117	麻痺性内反足	1	57.0	57	57	66.0	57	66
	Q652	先天性股関節脱臼	1	32.0	32	32	6.0	32	6
	Q660	内反尖足	1	6.0	6	6	3.0	6	3
	Q780	骨形成不全症	1	1.0	1	1	6.0	1	6
	Q788	Desbuquois異形成	1	8.0	8	8	5.0	8	5
	S2210	胸椎多発圧迫骨折	1	11.0	11	11	79.0	11	79
	S3200	腰椎圧迫骨折	1	14.0	14	14	77.0	14	77
	S3270	骨盤多発骨折	1	23.0	23	23	81.0	23	81
	S4200	鎖骨骨幹部骨折	1	9.0	9	9	67.0	9	67
	S5200	尺骨肘頭骨折	1	4.0	4	4	42.0	4	42
	S5240	橈骨尺骨骨幹部骨折	1	2.0	2	2	7.0	2	7
	S5250	橈骨遠位端骨折	1	8.0	8	8	88.0	8	88
	T0210	胸腰椎圧迫骨折	1	23.0	23	23	79.0	23	79
合計			101	34.4	163	1	23.0	3,477	2,328

小児神経科

順位	ICD10	病名	件数	平均 在院日数	最大 在院日数	最低 在院日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	G801	脳性麻痺（痙性両麻痺）	56	28.8	80	3	6.8	1,610	378
2	G800	脳性麻痺（痙性四肢麻痺）	35	31.2	87	2	5.1	1,093	179
3	G803	脳性麻痺（アトーゼ型）	34	29.7	57	14	6.9	1,009	236
4	G804	脳性麻痺（失調型）	17	28.3	89	7	5.7	481	97
5	G934	急性脳症	14	38.1	70	7	4.9	533	69
6	G802	脳性麻痺（片麻痺）	9	33.8	60	9	3.9	304	35
7	G241	遺伝性ジストニア	3	13.0	13	13	8.3	39	25
	G931	低酸素性脳症	3	24.0	30	17	4.7	72	14
	T889	脳手術後遺症	3	36.7	66	15	6.0	110	18
8	G09	脳炎後遺症	2	23.0	31	15	10.0	46	20
9	D180	海綿状血管腫	1	33.0	33	33	6.0	33	6
	E752	ベリツェウス・メルツバッヘル病	1	29.0	29	29	8.0	29	8
	F71	中等度精神遅滞	1	45.0	45	45	5.0	45	5
	F72	重度精神遅滞	1	26.0	26	26	5.0	26	5
	F79	精神遅滞	1	3.0	3	3	2.0	3	2
	G808	脳性麻痺（その他）	1	78.0	78	78	10.0	78	10
	G819	交代性片麻痺	1	33.0	33	33	5.0	33	5
	I613	脳幹部出血	1	71.0	71	71	5.0	71	5
	I635	穿通枝梗塞	1	100.0	100	100	11.0	100	11
	Q043	ジュベール症候群	1	24.0	24	24	1.0	24	1
	Q052	腰部二分脊椎	1	22.0	22	22	2.0	22	2
	S064	急性硬膜外血腫	1	57.0	57	57	5.0	57	5
合計			188	30.9	100	2	6.0	5,818	1,136

神経内科

順位	ICD10	病名	件数	平均 在院日数	最大 在院日数	最低 在院日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	I610	脳皮質下出血	103	101.1	180	1	63.7	10,414	6,561
2	I633	脳動脈の血栓症による脳梗塞	77	84.2	170	4	74.0	6,482	5,697
3	I634	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	45	80.9	178	2	77.0	3,642	3,464
4	I635	脳血管閉塞性脳梗塞	34	84.6	167	3	67.5	2,876	2,295
5	I638	その他の脳梗塞	26	61.3	174	19	73.4	1,593	1,908
6	G319	脊髄小脳変性症	19	40.9	64	28	54.9	778	1,044
7	S062	脳挫傷	17	70.8	180	12	58.1	1,203	987
8	I630	脳外主幹動脈血栓症脳梗塞	14	74.9	148	31	75.4	1,049	1,055
9	I613	脳幹部出血	12	79.7	147	29	63.6	956	763
10	I619	脳出血	10	93.7	174	42	44.1	937	441
11	G903	多系統萎縮症	9	44.4	90	29	65.8	400	592
	I601	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	9	108.0	149	30	53.6	972	482
12	G610	ギラン・バレー症候群	8	92.1	149	44	46.8	737	374
13	G951	血管性ミエロパチー	7	95.9	164	28	53.3	671	373
14	I602	前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	6	67.2	97	4	62.7	403	376
	I605	椎骨動脈瘤破裂 / 破裂性椎骨動脈解離によるくも膜下出血	6	59.5	149	15	56.3	357	338
	I614	小脳出血	6	61.2	108	23	65.3	367	392
	S065	急性硬膜下血腫	6	59.8	95	17	65.7	359	394
	Z540	手術後の回復期	6	34.5	68	17	71.8	207	431
15	G934	脳症	5	76.8	129	34	64.2	384	321
	I600	IC-PC動脈瘤破裂 / 内頸動脈瘤破裂によるくも膜下出血	5	69.2	113	28	69.0	346	345
	I639	脳梗塞	5	70.2	94	49	73.4	351	367
	M6259	廃用症候群	5	51.2	91	17	80.6	256	403
16	I631	脳外主幹動脈塞栓症脳梗塞	4	70.8	122	14	76.0	283	304
	S141	頸髄損傷	4	85.5	110	58	71.0	342	284
	T889	脳手術後遺症	4	102.0	147	61	59.3	408	237
17	G20	パーキンソン病	3	44.7	75	23	69.0	134	207
18	B451	クリプトコッカス性髄膜炎	2	38.5	52	25	84.0	77	168
	G060	脳膿瘍	2	31.5	42	21	71.0	63	142
	G931	低酸素性脳症	2	77.0	135	19	49.0	154	98
	I608	脳動静脈奇形破裂によるくも膜下出血	2	12.5	23	2	77.0	25	154
	S064	急性硬膜外血腫	2	76.0	106	46	47.5	152	95
19	B004	ヘルペスウイルス脳脊髄炎	1	104.0	104	104	26.0	104	26
	C793	転移性脳腫瘍	1	57.0	57	57	78.0	57	78
	G039	肥厚性硬膜炎	1	123.0	123	123	73.0	123	73
	G049	脊髄炎	1	37.0	37	37	24.0	37	24
	G35	多発性硬化症	1	50.0	50	50	21.0	50	21
	G408	症候性てんかん	1	5.0	5	5	92.0	5	92
	I606	VA-PICA動脈瘤破裂によるくも膜下出血	1	23.0	23	23	59.0	23	59
	I615	脳室内出血	1	69.0	69	69	82.0	69	82
	I620	非外傷性急性硬膜下血腫	1	115.0	115	115	68.0	115	68
	I636	静脈性脳梗塞	1	26.0	26	26	68.0	26	68
	I691	脳出血後遺症	1	11.0	11	11	72.0	11	72
	M321	全身性エリテマトーデス脳脊髄炎	1	20.0	20	20	30.0	20	30
	S066	外傷性くも膜下出血	1	119.0	119	119	78.0	119	78
合計			478	79.8	180	1	66.7	38,137	31,863

リハビリテーション科

順位	ICD10	病名	件数	平均 在院日数	最大 在院日数	最低 在院日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	I610	脳皮質下出血	51	96.2	180	30	64.6	4,904	3,297
2	I633	脳動脈の血栓症による脳梗塞	37	74.2	179	8	73.5	2,747	2,720
3	I638	その他の脳梗塞	20	83.6	151	28	70.4	1,671	1,408
4	I634	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	19	97.4	199	13	75.2	1,851	1,429
5	I635	脳血管閉塞性脳梗塞	12	70.5	146	27	63.9	846	767
	S062	脳挫傷	12	59.0	113	3	70.9	708	851
6	I631	脳外主幹動脈塞栓症脳梗塞	6	98.8	138	31	80.8	593	485
7	I614	小脳出血	5	85.2	110	63	63.6	426	318
	S065	急性硬膜下血腫	5	57.4	81	28	79.4	287	397
8	I619	脳出血	4	56.8	99	23	35.8	227	143
	I630	脳外主幹動脈血栓症脳梗塞	4	70.8	134	37	74.5	283	298
	M6259	廃用症候群	4	61.0	91	35	79.8	244	319
	T889	脳腫瘍摘出術後遺症	4	44.8	78	16	68.0	179	272
9	I600	IC-PC動脈瘤破裂 / 内頸動脈瘤破裂によるくも膜下出血	3	68.7	103	27	64.3	206	193
	I602	前交通動脈瘤破裂によるくも膜下出血	3	76.0	93	58	56.7	228	170
10	G049	脊髄炎	2	120.5	149	92	54.5	241	109
	G618	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	2	18.0	18	18	77.0	36	154
	I604	脳底動脈瘤破裂によるくも膜下出血	2	49.0	81	17	69.0	98	138
	I611	皮質脳内出血	2	101.5	127	76	81.5	203	163
	J40	嚔下性気管支炎	2	9.0	15	3	87.0	18	174
	J690	誤嚥性肺炎	2	32.0	35	29	75.5	64	151
	Z540	手術後の回復期	2	35.0	42	28	84.0	70	168
11	E512	ウェルニッケ脳症	1	127.0	127	127	89.0	127	89
	E86	脱水症	1	40.0	40	40	83.0	40	83
	G20	パーキンソン病	1	72.0	72	72	69.0	72	69
	G238	大脳皮質基底核変性症	1	3.0	3	3	76.0	3	76
	G92	メロニダゾール脳症	1	51.0	51	51	86.0	51	86
	G931	低酸素性脳症	1	46.0	46	46	45.0	46	45
	I601	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	1	96.0	96	96	51.0	96	51
	I606	前大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	1	15.0	15	15	74.0	15	74
	I613	橋出血	1	76.0	76	76	77.0	76	77
	I639	脳梗塞	1	113.0	113	113	70.0	113	70
	I693	陳旧性ラクナ梗塞	1	9.0	9	9	78.0	9	78
	N390	尿路感染症	1	8.0	8	8	81.0	8	81
	R402	意識消失	1	2.0	2	2	84.0	2	84
	S068	外傷性脳室内出血	1	77.0	77	77	75.0	77	75
	S3200	腰椎圧迫骨折	1	98.0	98	98	87.0	98	87
合計			218	77.8	199	2	69.9	16,963	15,249

心臓血管センター

順位	ICD10	病名	件数	平均 在院日数	最大 在院日数	最低 在院日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	I702	下肢閉塞性動脈硬化症	407	15.2	232	2	74.2	6,194	30,188
2	T828	血管挿入物および移植片のその他の合併症	110	10.7	68	2	75.3	1,175	8,280
3	I714	腹部大動脈瘤	70	12.5	33	2	76.3	875	5,338
4	I712	胸部大動脈瘤	51	40.8	216	3	75.7	2,081	3,863
5	I710	解離性大動脈瘤	50	55.4	993	2	61.6	2,770	3,080
6	I209	狭心症	28	3.9	19	1	75.3	110	2,109
7	I509	心不全	25	29.4	301	3	82.8	736	2,070
8	I716	胸腹部大動脈瘤	17	65.2	547	3	73.5	1,108	1,249
9	I708	その他の動脈の閉塞性動脈硬化症	13	5.3	17	3	74.3	69	966
10	I500	うっ血性心不全	11	20.3	44	1	87.7	223	965
11	I208	労作性狭心症	9	3.0	5	2	72.3	27	651
	I971	術後残存解離腔拡大	9	9.1	17	4	59.7	82	537
12	I701	腎動脈狭窄症	8	19.1	121	3	74.8	153	598
	I723	腸骨動脈瘤	8	11.1	22	4	79.1	89	633
	I771	動脈狭窄	8	12.5	25	5	83.5	100	668
13	I251	冠動脈疾患	7	2.4	3	2	70.9	17	496
14	I700	腹部大動脈硬化症	5	3.8	5	2	63.8	19	319
	I728	その他の動脈瘤	5	14.4	28	2	62.4	72	312
	Z035	循環器系の疾患の疑い	5	3.0	4	2	68.0	15	340
	Z090	術後の経過観察	5	2.8	3	2	77.0	14	385
15	I200	不安定狭心症	4	2.8	4	1	68.5	11	274
	I256	無症候性心筋虚血	4	4.3	9	2	73.3	17	293
	I711	胸部大動脈瘤破裂	4	163.8	246	8	70.3	655	281
	I802	深部静脈血栓症	4	20.5	29	15	84.0	82	336
	J180	気管支肺炎	4	16.0	42	5	78.5	64	314
	J690	誤嚥性肺炎	4	19.0	38	3	84.8	76	339
	T818	術後合併症	4	16.8	39	5	64.8	67	259
16	I219	急性心筋梗塞	3	8.3	15	4	80.7	25	242
	N390	尿路感染症	3	13.7	22	6	77.0	41	231
	R402	意識消失	3	5.0	8	1	81.3	15	244
	S2200	胸椎圧迫骨折	3	35.0	72	15	86.3	105	259
17	D509	鉄欠乏性貧血	2	5.5	9	2	75.5	11	151
	I269	肺血栓塞栓症	2	2.0	2	2	56.0	4	112
	I471	上室性頻拍症	2	6.5	11	2	78.0	13	156
	I489	心房細動	2	9.5	11	8	84.0	19	168
	I495	洞不全症候群	2	22.0	42	2	97.0	44	194
	I501	心原性肺水腫	2	10.5	16	5	78.0	21	156
	I743	下肢動脈閉塞症	2	14.5	18	11	72.0	29	144
	J189	肺炎	2	65.5	104	27	77.0	131	154
	M6259	廃用症候群	2	29.0	38	20	82.5	58	165
	R074	胸痛	2	18.5	34	3	66.0	37	132
	R509	不明熱	2	22.5	40	5	83.5	45	167
	R600	下肢浮腫	2	14.0	25	3	82.5	28	165
	T813	手術創離開	2	49.0	86	12	68.0	98	136
	T814	術後創部感染	2	27.0	34	20	74.5	54	149
18	-	その他の疾患	63	31.7	422	1	72.2	1,999	4,550
合計			982	20.0	993	1	74.2	19,678	72,818

泌尿器科

順位	ICD10	病名	件数	平均 在院日数	最大 在院日数	最低 在院日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	C61	前立腺癌	89	2.9	24	2	70.6	257	6,287
2	N132	腎結石および尿管結石性閉塞を伴う水腎症	23	9.3	38	1	62.0	213	1,426
3	N12	腎盂腎炎	16	18.6	40	5	72.5	297	1,160
4	C679	膀胱癌	11	11.3	22	6	73.8	124	812
5	N40	前立腺肥大症	9	8.7	20	3	69.4	78	625
6	N200	腎結石症	7	3.7	11	2	72.9	26	510
7	N319	神経因性膀胱	5	7.4	15	4	72.8	37	364
8	C64	腎癌	4	6.0	10	2	82.5	24	330
	N390	尿路感染症	4	24.5	48	6	83.3	98	333
9	N10	急性腎盂腎炎	3	19.0	46	5	51.3	57	154
	N119	慢性腎盂腎炎	3	7.7	8	7	22.0	23	66
	N179	急性腎不全	3	18.3	39	1	77.0	55	231
10	C65	腎盂癌	2	23.0	23	23	72.0	46	144
	C670	膀胱三角部膀胱癌	2	11.0	12	10	72.0	22	144
	C672	膀胱側壁部膀胱癌	2	12.0	15	9	60.5	24	121
	J690	誤嚥性肺炎	2	53.0	71	35	83.0	106	166
	N178	急性腎後性腎不全	2	15.0	15	15	90.5	30	181
	N300	急性出血性膀胱炎	2	13.0	15	11	85.0	26	170
	N309	出血性膀胱炎	2	23.5	38	9	87.5	47	175
	N328	膀胱出血	2	9.5	14	5	75.0	19	150
	N410	急性前立腺炎	2	13.0	16	10	70.0	26	140
	R31	肉眼的血尿	2	12.5	17	8	71.0	25	142
11	A419	敗血症	1	52.0	52	52	91.0	52	91
	C66	尿管癌	1	19.0	19	19	78.0	19	78
	D075	前立腺上皮内腫瘍	1	3.0	3	3	77.0	3	77
	D302	尿管良性腫瘍	1	7.0	7	7	77.0	7	77
	E871	低ナトリウム血症	1	18.0	18	18	79.0	18	79
	G958	脊髄性膀胱機能障害	1	24.0	24	24	28.0	24	28
	K559	虚血性腸炎	1	42.0	42	42	80.0	42	80
	L023	殿部膿瘍	1	11.0	11	11	39.0	11	39
	N210	膀胱結石症	1	6.0	6	6	68.0	6	68
	N301	間質性膀胱炎	1	6.0	6	6	51.0	6	51
	N419	前立腺炎	1	13.0	13	13	81.0	13	81
	N44	精巣捻転症	1	5.0	5	5	16.0	5	16
	N991	術後尿道狭窄	1	25.0	25	25	67.0	25	67
	N995	尿道瘻狭窄	1	10.0	10	10	70.0	10	70
	N998	生検後排尿障害	1	10.0	10	10	84.0	10	84
	R33	膀胱タンポナーデ	1	21.0	21	21	77.0	21	77
	T814	手術創部膿瘍	1	3.0	3	3	75.0	3	75
	T830	膀胱瘻の機械的合併症	1	6.0	6	6	23.0	6	23
合計			215	9.0	71	1	69.7	1,941	14,992

歯科・口腔外科

順位	ICD10	病名	件数	平均 在院日数	最大 在院日数	最低 在院日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	K021	う蝕第2度	78	1.0	1	1	20.6	78	1,604
2	K045	慢性化膿性歯根膜炎	58	1.1	2	1	53.8	63	3,120
3	K040	歯髄炎	23	1.0	1	1	36.2	23	833
4	K081	欠損歯	17	1.1	2	1	39.1	19	664
5	K048	歯根のう胞	14	1.4	3	1	45.6	20	639
6	K053	慢性歯周炎	13	1.2	3	1	39.4	16	512
7	K073	下顎水平埋伏智歯	10	1.5	2	1	27.8	15	278
8	K038	歯根破折	7	1.4	2	1	72.3	10	506
9	T888	歯冠補綴物の脱離および不適合	6	1.0	1	1	44.7	6	268
10	K011	埋伏歯	5	1.0	1	1	31.0	5	155
	K028	その他のう蝕	5	1.2	2	1	42.8	6	214
11	K090	含菌性のう胞	4	2.0	2	2	50.5	8	202
12	L032	頬部蜂窩織炎	3	3.0	5	2	54.0	9	162
13	D165	下顎骨良性腫瘍	2	2.5	3	2	53.5	5	107
	K001	過剰歯	2	1.0	1	1	7.0	2	14
	K006	乳歯晩期残存	2	1.0	1	1	10.0	2	20
	K044	急性化膿性歯根膜炎	2	1.5	2	1	57.0	3	114
14	B002	ヘルペス口内炎	1	7.0	7	7	76.0	7	76
	C021	舌縁癌	1	6.0	6	6	50.0	6	50
	D101	舌線維腫	1	2.0	2	2	81.0	2	81
	D103	頬粘膜線維腫	1	1.0	1	1	50.0	1	50
	K051	歯肉炎	1	1.0	1	1	17.0	1	17
	K052	歯肉膿瘍	1	2.0	2	2	70.0	2	70
	K061	薬物性歯肉増殖症	1	1.0	1	1	44.0	1	44
	K068	エプリース	1	1.0	1	1	43.0	1	43
	K102	骨吸収抑制剤関連顎骨壊死	1	2.0	2	2	83.0	2	83
	K115	顎下腺唾石症	1	3.0	3	3	62.0	3	62
	K130	口唇粘液のう胞	1	1.0	1	1	6.0	1	6
	S0280	歯槽骨骨折	1	1.0	1	1	16.0	1	16
	T857	歯科インプラント周囲炎	1	2.0	2	2	67.0	2	67
合計			264	1.2	7	1	38.2	320	10,077

麻酔科

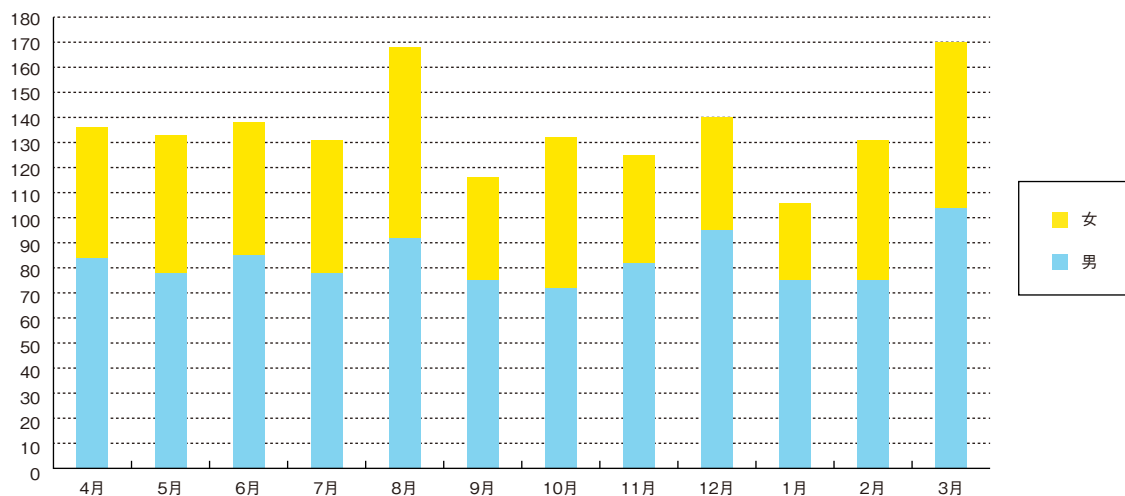
順位	ICD10	病名	件数	平均 在院日数	最大 在院日数	最低 在院日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	M511	腰椎椎間板ヘルニア	62	6.1	47	1	67.7	378	4,196
2	M4316	腰椎すべり症	2	23.0	43	3	75.5	46	151
3	B029	胸部帯状疱疹	1	19.0	19	19	77.0	19	77
	I731	バージャー病	1	1.0	1	1	44.0	1	44
	S2230	肋骨骨折	1	5.0	5	5	67.0	5	67
合計			67	6.7	47	1	67.7	449	4,535

(2) 手術患者統計

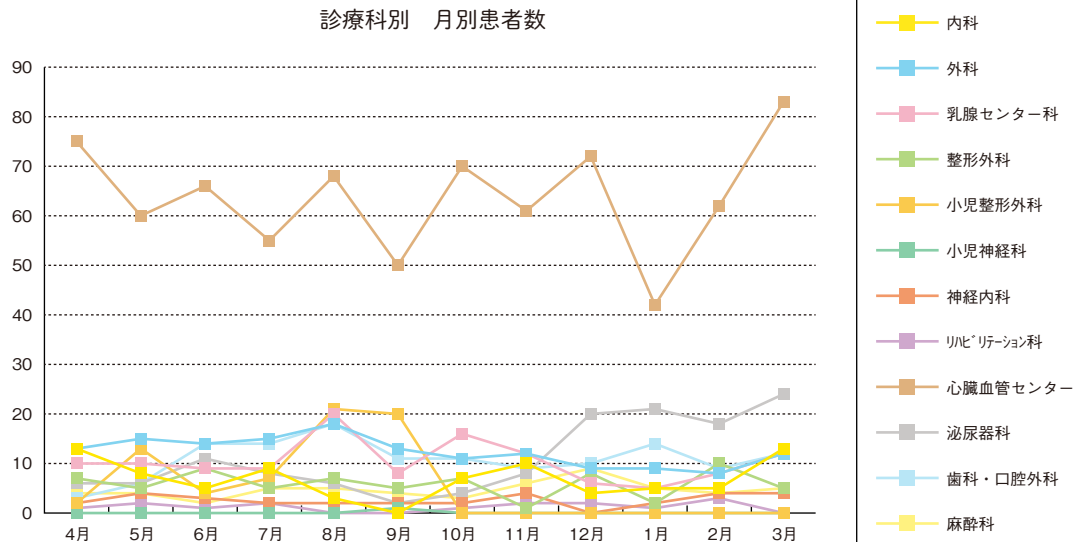
① 退院時診療科別 退院月別 手術患者数

		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数	計	1,626	136	133	138	131	168	116	132	125	140	106	131	170
	男	995	84	78	85	78	92	75	72	82	95	75	75	104
	女	631	52	55	53	53	76	41	60	43	45	31	56	66
内科	計	82	13	8	5	9	3	0	7	10	4	5	5	13
	男	48	7	4	4	8	3	0	3	6	3	1	4	5
	女	34	6	4	1	1	0	0	4	4	1	4	1	8
外科	計	149	13	15	14	15	18	13	11	12	9	9	8	12
	男	89	5	9	10	9	10	9	6	9	5	6	3	8
	女	60	8	6	4	6	8	4	5	3	4	3	5	4
乳腺 センター科	計	125	10	10	9	9	20	8	16	12	6	5	8	12
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	125	10	10	9	9	20	8	16	12	6	5	8	12
整形外科	計	71	7	5	9	5	7	5	7	1	8	2	10	5
	男	24	1	3	5	2	1	2	2	0	4	1	2	1
	女	47	6	2	4	3	6	3	5	1	4	1	8	4
小児 整形外科	計	67	2	13	4	7	21	20	0	0	0	0	0	0
	男	29	1	4	2	3	10	9	0	0	0	0	0	0
	女	38	1	9	2	4	11	11	0	0	0	0	0	0
小児 神経科	計	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	男	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経内科	計	31	2	4	3	2	2	2	2	4	0	2	4	4
	男	17	0	3	2	0	1	2	1	2	0	1	3	2
	女	14	2	1	1	2	1	0	1	2	0	1	1	2
リハビリ テーション科	計	15	1	2	1	2	0	0	1	2	2	1	3	0
	男	9	1	0	1	1	0	0	0	2	1	0	3	0
	女	6	0	2	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0
心臓血管 センター	計	764	75	60	66	55	68	50	70	61	72	42	62	83
	男	558	62	46	47	36	46	40	49	49	54	36	37	56
	女	206	13	14	19	19	22	10	21	12	18	6	25	27
泌尿器科	計	134	6	6	11	8	6	2	4	8	20	21	18	24
	男	111	4	3	7	5	3	2	3	6	17	20	17	24
	女	23	2	3	4	3	3	0	1	2	3	1	1	0
歯科・ 口腔外科	計	131	3	6	14	14	18	11	11	9	10	14	9	12
	男	83	1	5	6	12	14	7	7	5	6	9	4	7
	女	48	2	1	8	2	4	4	4	4	4	5	5	5
麻酔科	計	56	4	4	2	5	5	4	3	6	9	5	4	5
	男	26	2	1	1	2	4	3	1	3	5	1	2	1
	女	30	2	3	1	3	1	1	2	3	4	4	2	4

月別 男女別患者数



診療科別 月別患者数



② 退院時診療科別 在院期間別 手術患者数

		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均 在院日数
総数	計	1,626	836	280	124	85	143	64	75	15	3	1	22.8
	男	995	595	124	69	44	73	37	40	10	3	0	20.8
	女	631	241	156	55	41	70	27	35	5	0	1	25.9
内科	計	82	37	9	1	2	17	8	6	2	0	0	35.4
	男	48	24	5	0	2	12	2	3	0	0	0	27.2
	女	34	13	4	1	0	5	6	3	2	0	0	47.0
外科	計	149	75	21	11	10	23	5	3	1	0	0	20.7
	男	89	50	12	7	3	11	4	2	0	0	0	18.4
	女	60	25	9	4	7	12	1	1	1	0	0	24.2
乳腺 センター科	計	125	9	93	22	1	0	0	0	0	0	0	11.7
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	125	9	93	22	1	0	0	0	0	0	0	11.7
整形外科	計	71	21	2	2	8	29	5	4	0	0	0	37.2
	男	24	11	0	2	1	6	2	2	0	0	0	33.4
	女	47	10	2	0	7	23	3	2	0	0	0	39.2
小児 整形外科	計	67	15	6	6	4	15	12	9	0	0	0	44.8
	男	29	8	2	4	1	8	4	2	0	0	0	35.5
	女	38	7	4	2	3	7	8	7	0	0	0	51.9
小児 神経科	計	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	87.0
	男	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	87.0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
神経内科	計	31	0	0	0	1	2	6	22	0	0	0	112.1
	男	17	0	0	0	0	1	3	13	0	0	0	120.2
	女	14	0	0	0	1	1	3	9	0	0	0	102.4
リハビリ テーション科	計	15	0	0	0	0	1	2	12	0	0	0	112.5
	男	9	0	0	0	0	0	2	7	0	0	0	118.1
	女	6	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	104.2
心臓血管 センター	計	764	405	125	74	53	48	24	19	12	3	1	22.3
	男	558	311	90	51	33	30	19	11	10	3	0	21.0
	女	206	94	35	23	20	18	5	8	2	0	1	25.8
泌尿器科	計	134	94	22	7	3	7	1	0	0	0	0	8.3
	男	111	87	14	4	2	4	0	0	0	0	0	6.3
	女	23	7	8	3	1	3	1	0	0	0	0	17.7
歯科・ 口腔外科	計	131	131	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.4
	男	83	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3
	女	48	48	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.4
麻酔科	計	56	49	2	1	3	1	0	0	0	0	0	5.9
	男	26	21	1	1	2	1	0	0	0	0	0	7.3
	女	30	28	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4.6

③ 手術分類別 年齢階層別 手術患者数

手術分類 (Kコード)		総数	0～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	平均年齢
総数	計	1,626	3	41	20	19	27	48	117	149	98	181	247	274	215	129	58	66.3
	男	995	2	23	8	12	14	20	47	82	65	135	178	196	126	64	23	67.4
	女	631	1	18	12	7	13	28	70	67	33	46	69	78	89	65	35	64.6
I 皮膚・皮下組織	計	109	0	0	0	0	0	4	8	16	7	24	20	20	6	3	1	66.3
	男	81	0	0	0	0	0	0	2	8	7	22	18	18	5	1	0	69.3
	女	28	0	0	0	0	0	4	6	8	0	2	2	2	1	2	1	57.6
000 008 皮膚・皮下組織	計	89	0	0	0	0	0	1	3	9	7	22	19	18	6	3	1	69.5
	男	79	0	0	0	0	0	0	2	8	7	21	18	17	5	1	0	69.3
	女	10	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	2	1	71.2
009 022 形成	計	20	0	0	0	0	0	3	5	7	0	2	1	2	0	0	0	52.3
	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	72.0
	女	18	0	0	0	0	0	3	5	7	0	1	1	1	0	0	0	50.1
II 筋骨格系・四肢・体幹	計	207	3	32	12	3	4	9	16	10	14	20	17	21	22	17	7	53.6
	男	80	2	16	3	1	1	6	7	4	4	9	7	10	6	4	0	49.0
	女	127	1	16	9	2	3	3	9	6	10	11	10	11	16	13	7	56.5
023 041 筋膜・筋・腱・腱鞘	計	24	2	13	2	0	0	2	3	1	0	1	0	0	0	0	0	18.8
	男	8	1	6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11.0
	女	16	1	7	2	0	0	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	22.7
042 059 四肢骨	計	81	0	7	5	2	3	5	5	6	6	10	5	4	7	9	7	57.7
	男	32	0	6	1	1	1	4	4	1	3	7	1	2	0	1	0	45.4
	女	49	0	1	4	1	2	1	1	5	3	3	4	2	7	8	7	65.7
060 083 四肢関節・靱帯	計	24	1	1	0	1	0	0	1	0	0	2	4	3	5	6	0	69.0
	男	8	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	2	0	55.6
	女	16	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	3	4	4	0	75.6
084 088 四肢切断・離断・再接合	計	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	77.7
	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	74.0
	女	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	79.5
089 111 手・足	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
112 144 脊柱・骨盤	計	75	0	11	5	0	1	2	7	3	8	7	7	13	9	2	0	54.5
	男	31	0	3	2	0	0	2	1	3	1	2	3	8	5	1	0	60.0
	女	44	0	8	3	0	1	0	6	0	7	5	4	5	4	1	0	50.6
III 神経系・頭蓋	計	4	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13.8
	男	4	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13.8
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
145 181 頭蓋・脳	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
182 198 脊髄・末梢神経・交感神経	計	4	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13.8
	男	4	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13.8
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
IV 眼	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
199 206 涙道	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
207 219 眼瞼	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
220 225 結膜	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
226 237 眼窩・涙腺	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
238 245 眼球・眼筋	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
246 262 角膜・強膜	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
263 273 ぶどう膜	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-

手術分類（Ｋコード）		総数	0～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	平均年齢	
274 277	眼房・網膜	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
278 284	水晶体・硝子体	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
Ⅴ	耳鼻咽喉	計	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	72.0
		男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	63.0	
		女	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	76.5
285 299	外耳	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
300 320	中耳	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
321 328	内耳	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
329 347	鼻	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
348 366	副鼻腔	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
367 382	咽頭・扁桃	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
383 403	喉頭・気管	計	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	72.0	
		男	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	63.0	
		女	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	76.5	
Ⅳ	顔面・口腔・頸部	計	105	0	9	5	7	13	9	8	9	9	6	7	8	12	3	0	48.0
		男	69	0	7	2	5	7	4	5	5	6	5	6	5	10	2	0	50.7
		女	36	0	2	3	2	6	5	3	4	3	1	1	3	2	1	0	42.9
404 407	歯・歯肉・ 歯槽部・口蓋	計	90	0	8	5	6	13	9	5	4	6	6	6	8	11	3	0	47.4
		男	60	0	7	2	5	7	4	2	2	5	5	5	5	9	2	0	49.7
		女	30	0	1	3	1	6	5	3	2	1	1	1	3	2	1	0	42.9
408 420	口腔前庭・ 口腔底・ 頬粘膜・舌	計	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	65.5	
		男	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	65.5	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
421 426	顔面	計	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	28.0	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	28.0	
427 447	顔面骨・顎関節	計	10	0	0	0	1	0	0	3	3	2	0	1	0	0	0	52.3	
		男	7	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0	1	0	0	0	54.6	
		女	3	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	47.0	
448 460	唾液腺	計	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	62.0	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	62.0	
461 465	甲状腺・副甲状腺 （上皮小体）	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
466 471	その他の頸部	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
Ⅶ	胸部	計	100	0	0	0	0	1	10	42	31	2	8	3	0	1	2	0	50.4
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	100	0	0	0	0	1	10	42	31	2	8	3	0	1	2	0	50.4
472 476	乳腺	計	100	0	0	0	0	1	10	42	31	2	8	3	0	1	2	0	50.4
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	100	0	0	0	0	1	10	42	31	2	8	3	0	1	2	0	50.4
477 487	胸壁	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
488 501	胸腔・胸膜	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	

手術分類（Ｋコード）		総数	0～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	平均年齢	
502 ┃ 504	縦隔	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
505 ┃ 519	気管支・肺	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
520 ┃ 533	食道	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
534 ┃ 537	横隔膜	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	
Ⅷ	心・脈管	計	775	0	0	0	2	0	2	23	58	50	87	152	174	135	65	27	73.4
		男	563	0	0	0	2	0	1	18	50	38	74	111	132	82	39	16	72.3
		女	212	0	0	0	0	0	1	5	8	12	13	41	42	53	26	11	76.2
538 ┃ 605	心・心膜・肺動・ 静脈・冠血管等	計	257	0	0	0	0	0	1	10	31	13	35	35	44	51	29	8	72.8
		男	193	0	0	0	0	0	1	10	28	11	29	25	29	35	18	7	71.3
		女	64	0	0	0	0	0	0	0	3	2	6	10	15	16	11	1	77.3
606 ┃ 616	動脈	計	490	0	0	0	2	0	1	13	23	37	51	115	122	77	34	15	73.5
		男	351	0	0	0	2	0	0	8	19	27	44	84	98	42	20	7	72.7
		女	139	0	0	0	0	0	1	5	4	10	7	31	24	35	14	8	75.5
617 ┃ 623	静脈	計	27	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	2	8	6	2	4	77.0
		男	18	0	0	0	0	0	0	0	3	0	1	2	5	4	1	2	75.6
		女	9	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	2	1	2	79.9
624 ┃ 628	リンパ管・リンパ節	計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	84.0
		男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	84.0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
Ⅸ	腹部	計	216	0	0	0	1	2	10	13	17	10	25	34	31	29	27	17	71.0
		男	130	0	0	0	1	1	5	9	13	7	16	24	22	14	12	6	69.1
		女	86	0	0	0	0	1	5	4	4	3	9	10	9	15	15	11	74.0
629 ┃ 634	腹壁・ヘルニア	計	40	0	0	0	0	0	2	3	1	2	7	8	9	4	1	3	70.3
		男	34	0	0	0	0	0	2	2	1	2	6	8	7	3	1	2	69.9
		女	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	1	0	1	72.5
635 ┃ 645	腹膜・後腹膜・ 腸間膜・網膜	計	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	65.3
		男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	62.0
		女	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	67.0
646 ┃ 668	胃・十二指腸	計	71	0	0	0	0	1	1	2	3	3	5	10	11	15	17	3	75.8
		男	43	0	0	0	0	1	0	2	2	2	5	7	8	7	8	1	73.6
		女	28	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	3	3	8	9	2	79.2
669 ┃ 689	胆嚢・胆道	計	26	0	0	0	0	0	2	2	5	2	2	3	2	3	4	1	67.2
		男	16	0	0	0	0	0	1	2	4	0	1	3	1	1	2	1	65.0
		女	10	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	0	1	2	2	0	70.6
690 ┃ 697	肝	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
698 ┃ 709	脾	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
710 ┃ 711	脾	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
712 ┃ 736	空腸・回腸・ 盲腸・虫垂・結腸	計	71	0	0	0	1	1	5	6	8	2	8	13	8	6	4	9	67.6
		男	35	0	0	0	1	0	2	3	6	2	4	6	6	2	1	2	64.5
		女	36	0	0	0	0	1	3	3	2	0	4	7	2	4	3	7	70.7
737 ┃ 742	直腸	計	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	82.0
		男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	84.0
		女	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	81.5
743 ┃ 753	肛門・その周辺	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
Ⅹ	尿路系・副腎	計	71	0	0	0	0	2	2	5	5	2	6	11	17	7	10	4	70.8
		男	44	0	0	0	0	2	2	4	2	1	4	9	8	7	4	1	67.8
		女	27	0	0	0	0	0	0	1	3	1	2	2	9	0	6	3	75.6
754 ┃ 756	副腎	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-

手術分類(ＫＣＤ)		総数	0～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	平均年齢
757 780 腎・腎盂	計	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	80.3
	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	83.0
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75.0
781 794 尿管	計	39	0	0	0	0	0	1	5	2	2	2	5	11	4	4	3	71.2
	男	23	0	0	0	0	0	1	4	1	1	1	5	4	4	1	1	67.6
	女	16	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	7	0	3	2	76.3
795 812 膀胱	計	28	0	0	0	0	2	1	0	3	0	4	5	4	3	5	1	69.2
	男	18	0	0	0	0	2	1	0	1	0	3	3	3	3	2	0	66.2
	女	10	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	1	0	3	1	74.6
813 823 尿道	計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	70.0
	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	70.0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
XI 性器	計	9	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	2	1	1	1	0	66.7
	男	9	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	2	1	1	1	0	66.7
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
824 828 陰茎	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
829 陰囊・精巣・ 838 精巣上体・精管 ・精索	計	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	48.5
	男	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	48.5
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
839 843 精囊・前立腺	計	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	0	1	0	71.9
	男	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	0	1	0	71.9
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
844 851 外陰・会陰	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
852 860 陰	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
861 884 子宮	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
885 890 子宮附属器	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
891 913 産科手術	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
- 乳腺その他手術 (自費)	計	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	58.0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	58.0
- 乳腺その他手術 (自費)	計	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	58.0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	58.0
- 歯科その他手術	計	26	0	0	1	3	5	2	2	2	1	3	1	2	2	1	1	48.5
	男	14	0	0	1	0	3	2	2	0	0	3	1	0	1	1	0	48.0
	女	12	0	0	0	3	2	0	0	2	1	0	0	2	1	0	1	49.0
- 歯科その他手術	計	26	0	0	1	3	5	2	2	2	1	3	1	2	2	1	1	48.5
	男	14	0	0	1	0	3	2	2	0	0	3	1	0	1	1	0	48.0
	女	12	0	0	0	3	2	0	0	2	1	0	0	2	1	0	1	49.0

④ 手術分類別 在院期間別 手術患者数

手術分類 (Kコード)		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均 在院日数
総数	計	1,626	836	280	124	85	143	64	75	15	3	1	22.8
	男	995	595	124	69	44	73	37	40	10	3	0	20.8
	女	631	241	156	55	41	70	27	35	5	0	1	25.9
Ⅰ 皮膚・皮下組織	計	109	77	15	2	1	4	4	5	1	0	0	16.0
	男	81	71	1	0	1	2	2	3	1	0	0	13.1
	女	28	6	14	2	0	2	2	2	0	0	0	24.5
000 008 皮膚・皮下組織	計	89	73	4	0	1	4	4	2	1	0	0	13.5
	男	79	71	1	0	1	2	2	1	1	0	0	10.3
	女	10	2	3	0	0	2	2	1	0	0	0	38.5
009 022 形成	計	20	4	11	2	0	0	0	3	0	0	0	27.1
	男	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	120.5
	女	18	4	11	2	0	0	0	1	0	0	0	16.7
Ⅱ 筋骨格系・四肢・体幹	計	207	85	14	7	15	46	20	19	1	0	0	35.2
	男	80	40	3	5	4	15	6	7	0	0	0	29.9
	女	127	45	11	2	11	31	14	12	1	0	0	38.6
023 041 筋膜・筋・腱・腱鞘	計	24	0	5	1	0	4	8	6	0	0	0	70.2
	男	8	0	0	1	0	3	2	2	0	0	0	78.3
	女	16	0	5	0	0	1	6	4	0	0	0	66.1
042 059 四肢骨	計	81	28	5	5	10	23	3	7	0	0	0	33.5
	男	32	15	2	3	2	5	2	3	0	0	0	29.4
	女	49	13	3	2	8	18	1	4	0	0	0	36.2
060 083 四肢関節・靱帯	計	24	3	2	0	1	14	3	1	0	0	0	43.8
	男	8	3	0	0	0	4	0	1	0	0	0	37.4
	女	16	0	2	0	1	10	3	0	0	0	0	46.9
084 088 四肢切断・離断・再接合	計	3	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	151.7
	男	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	119.0
	女	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	168.0
089 111 手・足	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
112 144 脊柱・骨盤	計	75	54	2	1	4	5	6	3	0	0	0	18.5
	男	31	22	1	1	2	3	2	0	0	0	0	13.0
	女	44	32	1	0	2	2	4	3	0	0	0	22.4
Ⅲ 神経系・頭蓋	計	4	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	35.5
	男	4	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	35.5
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
145 181 頭蓋・脳	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
182 198 脊髄・末梢神経・交感神経	計	4	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	35.5
	男	4	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	35.5
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
Ⅳ 眼	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
199 206 涙道	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
207 219 眼瞼	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
220 225 結膜	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
226 237 眼窩・涙腺	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
238 245 眼球・眼筋	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
246 262 角膜・強膜	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
263 273 ぶどう膜	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-

手術分類（Ｋコード）			総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均 在院日数
274 277	眼房・網膜	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
278 284	水晶体・硝子体	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
Ⅴ	耳鼻咽喉	計	3	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	174.3
		男	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	123.0
		女	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	200.0
285 299	外耳	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
300 320	中耳	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
321 328	内耳	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
329 347	鼻	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
348 366	副鼻腔	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
367 382	咽頭・扁桃	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
383 403	喉頭・気管	計	3	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	174.3
		男	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	123.0
		女	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	200.0
Ⅳ	顔面・口腔・頸部	計	105	105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.4
		男	69	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3
		女	36	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.4
404 407	歯・歯肉・ 歯槽部・口蓋	計	90	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.2
		男	60	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.2
		女	30	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.2
408 420	口腔前庭・ 口腔底・ 頬粘膜・舌	計	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.0
		男	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
421 426	顔面	計	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.0
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.0
427 447	顔面骨・顎関節	計	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.1
		男	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.9
		女	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.7
448 460	唾液腺	計	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.0
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.0
461 465	甲状腺・副甲状腺 （上皮小体）	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
466 471	その他の頸部	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
Ⅶ	胸部	計	100	3	76	20	1	0	0	0	0	0	0	12.1
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	100	3	76	20	1	0	0	0	0	0	0	12.1
472 476	乳腺	計	100	3	76	20	1	0	0	0	0	0	0	12.1
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	100	3	76	20	1	0	0	0	0	0	0	12.1
477 487	胸壁	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
488 501	胸腔・胸膜	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-

手術分類（Ｋコード）		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均 在院日数
502 504 縦隔	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
505 519 気管支・肺	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
520 533 食道	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
534 537 横隔膜	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
Ⅷ 心・脈管	計	775	408	129	74	51	56	28	18	8	2	1	21.0
	男	563	310	91	51	33	34	24	11	7	2	0	19.8
	女	212	98	38	23	18	22	4	7	1	0	1	24.1
538 605 心・心膜・肺動・ 静脈・冠血管等	計	257	66	86	37	27	19	7	6	6	2	1	32.0
	男	193	46	66	29	21	14	6	4	5	2	0	30.0
	女	64	20	20	8	6	5	1	2	1	0	1	38.1
606 616 動脈	計	490	338	40	35	23	28	15	9	2	0	0	13.8
	男	351	262	23	21	11	15	12	5	2	0	0	12.5
	女	139	76	17	14	12	13	3	4	0	0	0	17.1
617 623 静脈	計	27	4	2	2	1	9	6	3	0	0	0	47.3
	男	18	2	1	1	1	5	6	2	0	0	0	54.9
	女	9	2	1	1	0	4	0	1	0	0	0	32.1
624 628 リンパ管・リンパ節	計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11.0
	男	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11.0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
Ⅸ 腹部	計	216	105	22	10	12	26	10	26	4	1	0	35.8
	男	130	71	14	5	3	15	4	15	2	1	0	34.3
	女	86	34	8	5	9	11	6	11	2	0	0	38.1
629 634 腹壁・ヘルニア	計	40	34	5	1	0	0	0	0	0	0	0	5.7
	男	34	29	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5.6
	女	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5.8
635 645 腹膜・後腹膜・ 腸間膜・網膜	計	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	20.7
	男	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7.0
	女	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	27.5
646 668 胃・十二指腸	計	71	11	9	2	4	13	7	22	2	1	0	71.4
	男	43	8	6	1	2	10	3	11	1	1	0	69.6
	女	28	3	3	1	2	3	4	11	1	0	0	74.1
669 689 胆嚢・胆道	計	26	13	3	3	2	1	0	4	0	0	0	29.7
	男	16	7	2	2	0	1	0	4	0	0	0	41.1
	女	10	6	1	1	2	0	0	0	0	0	0	11.5
690 697 肝	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
698 709 脾	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
710 711 脾	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
712 736 空腸・回腸・ 盲腸・虫垂・結腸	計	71	45	5	3	4	9	3	0	2	0	0	20.5
	男	35	26	2	1	1	3	1	0	1	0	0	16.0
	女	36	19	3	2	3	6	2	0	1	0	0	24.8
737 742 直腸	計	5	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	29.8
	男	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	48.0
	女	4	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	25.3
743 753 肛門・その周辺	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
Ⅹ 尿路系・副腎	計	71	24	20	6	5	10	1	5	0	0	0	25.1
	男	44	17	12	3	3	6	0	3	0	0	0	25.5
	女	27	7	8	3	2	4	1	2	0	0	0	24.6
754 756 副腎	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-

手術分類（コード）		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均 在院日数
757 780 腎・腎盂	計	3	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	43.0
	男	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	37.0
	女	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	55.0
781 794 尿管	計	39	16	7	3	3	6	1	3	0	0	0	27.1
	男	23	11	2	1	2	5	0	2	0	0	0	30.7
	女	16	5	5	2	1	1	1	1	0	0	0	22.0
795 812 膀胱	計	28	8	12	2	2	2	0	2	0	0	0	21.0
	男	18	6	9	1	1	0	0	1	0	0	0	18.5
	女	10	2	3	1	1	2	0	1	0	0	0	25.6
813 823 尿道	計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0
	男	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
XI 性器	計	9	3	3	2	0	1	0	0	0	0	0	14.1
	男	9	3	3	2	0	1	0	0	0	0	0	14.1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
824 828 陰茎	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
829 838 陰囊・精巣・ 精巣上体・精管 ・精索	計	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.0
	男	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
839 843 精囊・前立腺	計	7	1	3	2	0	1	0	0	0	0	0	16.7
	男	7	1	3	2	0	1	0	0	0	0	0	16.7
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
844 851 外陰・会陰	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
852 860 膣	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
861 884 子宮	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
885 890 子宮附属器	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
891 913 産科手術	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
- 乳腺その他手術 （自費）	計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11.0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11.0
- 乳腺その他手術 （自費）	計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11.0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	女	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11.0
- 歯科その他手術	計	26	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3
	男	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.1
	女	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.6
- 歯科その他手術	計	26	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3
	男	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.1
	女	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.6

⑤ 退院時診療科別 手術頻度順

内科

順位	手術コード	術式名	件数
1	K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm 未満）	28
2	K6182	中心静脈栄養用植込型カテーテル設置（頭頸部その他に設置した場合）	11
	K654	内視鏡的消化管止血術	11
3	K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術，腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	10
4	K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	6
5	K386	気管切開術	3
6	K0004	創傷処理 筋肉，臓器に達しないもの直径5cm 未満	2
	K0011	皮膚切開術 長径10cm 未満	2
7	K0001	創傷処理 筋肉，臓器に達するもの直径5cm 未満	1
	K0461	骨折観血的手術 上腕 大腿	1
	K0611	関節脱臼非観血的整復術（肩、股、膝）	1
	K134-22	内視鏡下椎間板摘出（切除）術 後方摘出術	1
	K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他のもの）	1
	K6261	リンパ節摘出術（長径3cm 未満）	1
	K635	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	1
	K637-2	経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	1
	K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm 以上）	1
合計			82

外科

順位	手術コード	術式名	件数
1	K6335	ヘルニア手術（鼠径ヘルニア）	36
2	K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	15
3	K7193	結腸切除術（全、亜全切除又は悪性腫瘍手術）	11
4	K6182	中心静脈栄養用植込型カテーテル設置（頭頸部その他に設置した場合）	10
5	K6552	胃切除術（悪性腫瘍手術）	7
	K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術，腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	7
	K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	7
6	K672	胆嚢摘出術（開腹によるもの）	5
	K718-22	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	5
7	K0004	創傷処理 筋肉，臓器に達しないもの直径5cm 未満	4
8	K654	内視鏡的消化管止血術	3
	K714	腸管癒着症手術	3
	K7182	虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	3
9	K647	胃縫合術（大網充填術又は被覆術を含む）	2
	K7191	結腸切除術（小範囲切除）	2
	K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm 未満）	2
	K7402	直腸切除・切断術（低位前方切除）	2
	K775	経皮的腎（腎盂）瘻造設術	2
	K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	2
10	K0001	創傷処理 筋肉，臓器に達するもの直径5cm 未満	1
	K0005	創傷処理 筋肉，臓器に達しないもの直径5cm 以上 10cm 未満	1
	K0062	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）長径3cm 以上6cm 未満	1
	K0063	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）長径6cm 以上 12cm 未満	1
	K0461	骨折観血の手術 上腕 大腿	1
	K6321	腹壁腫瘍摘出術（形成手術を必要としない場合）	1
	K6331	ヘルニア手術（腹壁癒着ヘルニア）	1
	K6336	ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	1
	K635	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	1
	K6534	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（その他のポリープ・粘膜切除術）	1
	K7161	小腸切除術（悪性腫瘍手術以外の切除術）	1
	K7181	虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	1
	K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	1
	K722	小腸結腸内視鏡的止血術	1
	K724	腸吻合術	1
	K726	人工肛門造設術	1
	K7322	人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴うもの）	1
	K7391	直腸腫瘍摘出術（ポリープ摘出を含む）（経肛門）	1
	K7401	直腸切除・切断術（切除術）	1
	K7421口	直腸脱手術 経会陰によるもの（腸管切除を伴うもの）	1
	K7981	膀胱結石、異物摘出術（経尿道的手術）	1
合計			149

乳腺センター科

順位	手術コード	術式名	件数
1	K476-4	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	65
2	K0221	組織拡張器による再建手術（一連につき）・乳房（再建手術）の場合	12
3	K4763	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）	11
4	K4762	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）	9
5	K4765	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩部郭清を伴うもの）（胸筋切除を併施しないもの）	6
6	K019	複合組織移植術	4
	K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置（頭頸部その他）	4
7	K029	筋肉内異物摘出術	3
	K4764	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む））	3
	K4768	乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）	3
8	K016	動脈（皮）弁術、筋（皮）弁術	1
	K4742	乳腺腫瘍摘出術（長径5cm以上）	1
	K474-31	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（一連につき）マンモグラフィー又は超音波装置によるもの	1
	K476-2	陥没乳頭形成術、再建乳房乳頭形成術	1
	-	乳房再建	1
合計			125

整形外科

順位	手術コード	術式名	件数
1	K0461	骨折観血的手術 上腕 大腿	23
2	K0462	骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨	14
	K0811	人工骨頭挿入術（肩、股）	14
3	K0463	骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手（舟状骨を除く）、足、指（手、足）、その他	7
4	K0483	骨内異物（挿入物）除去術 前腕、下腿	6
5	K0484	骨内異物（挿入物）除去術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指（手、足）、その他	4
6	K0732	関節内骨折観血的手術（胸鎖、手、足）	1
	K125	骨盤骨折観血的手術（腸骨翼及び寛骨臼骨折観血的手術を除く）	1
	K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	1
合計			71

小児整形外科・小児神経科

順位	手術コード	術式名	件数
1	K141-2	寛骨臼移動術	13
2	K0482	骨内異物（挿入物）除去術 その他の頭蓋、顔面、肩甲骨、上腕、大腿	8
3	K026	股関節筋群解離術	7
4	K038	腱延長術	6
5	K0461	骨折観血的手術 上腕 大腿	5
6	K0402	腱移行術（その他のもの）	4
	K055-3	大腿骨近位部（転子間を含む）骨切術	4
	K0811	人工骨頭挿入術（肩、股）	4
	K128	脊椎、骨盤内異物（挿入物）除去術	4
	K190-3	重症痙性麻痺治療薬髄腔内持続注入用植込型ポンプ設置術	4
7	K0462	骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨	2
8	K0401	腱移行術 指（手、足）	1
	K0451	骨折経皮的鋼線刺入固定術（肩甲骨、上腕、大腿）	1
	K0452	骨折経皮的鋼線刺入固定術（前腕、下腿）	1
	K0463	骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手（舟状骨を除く）、足、指（手、足）、その他	1
	K066-21	関節鏡下関節滑膜切除術（肩、股、膝）	1
	K0801	関節形成手術（肩、股、膝）	1
	K080-2	内反足手術	1
合計			68

神経内科・リハビリテーション科

順位	手術コード	術式名	件数
1	K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	25
2	K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	3
3	K0004	創傷処理 筋肉、臓器に達しないもの直径5cm 未満	2
	K038	腱延長術	2
	K6182	中心静脈栄養用植込型カテーテル設置（頭頸部その他に設置した場合）	2
	K672	胆嚢摘出術（開腹によるもの）	2
	K7981	膀胱結石、異物摘出術（経尿道的手術）	2
4	K0062	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）長径3cm 以上6cm 未満	1
	K0402	腱移行術（その他のもの）	1
	K0453	骨折経皮的鋼線刺入固定術（鎖骨、膝蓋骨、手、足、指（手、足）、その他）	1
	K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他のもの）	1
	K5612イ	ステントグラフト内挿術 1以外の場合（胸部大動脈）	1
	K654	内視鏡的消化管止血術	1
	K7181	虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	1
	K7811	経尿道的尿路結石除去術（レーザーによるもの）	1
合計			46

心臓血管センター

順位	手術コード	術式名	件数
1	K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	430
2	K5612イ	ステントグラフト内挿術 1以外の場合（胸部大動脈）	80
	K5612ロ	ステントグラフト内挿術 1以外の場合（腹部大動脈）	80
3	K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他のもの）	32
4	K6153	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） その他のもの	23
5	K613	腎血管性高血圧症手術（経皮的腎血管拡張術）	12
6	K5611	ステントグラフト内挿術（胸部大動脈）	11
	K5612ハ	ステントグラフト内挿術 1以外の場合（腸骨動脈）	11
7	K560-22ニ	オープン型ステントグラフト内挿術（上行・弓部同時）（その他）	7
8	K6093	動脈血栓内膜摘出術（その他のもの）	6
9	K5492	経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症に対するもの）	4
	K5607	大動脈瘤切除術（腹部大動脈）（その他のもの）	4
	K5612	ステントグラフト内挿術（腹部大動脈）	4
10	K5462	経皮的冠動脈形成術（不安定狭心症に対するもの）	3
	K5463	経皮的冠動脈形成術（その他のもの）	3
	K5491	経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞に対するもの）	3
	K6103	動脈形成術、吻合術 腹腔内動脈（大動脈を除く）	3
	K6105	動脈形成術、吻合術 その他の動脈	3
	K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	3
11	K0004	創傷処理 筋肉、臓器に達しないもの直径5cm 未満	2
	K0841	四肢切断術 上腕、前腕、手、大腿、下腿、足	2
	K5603ニ	大動脈瘤切除術（上行・弓部同時）（その他）	2
	K5606	大動脈瘤切除術（腹部大動脈）（分枝血管の再建を伴うもの）	2
	K597-2	ペースメーカー交換術	2
	K6144	血管移植術、バイパス移植術 頭、頸部動脈	2
	K620	下大静脈フィルター留置術	2
12	K0001	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの直径5cm 未満	1
	K0002	創傷処理 筋肉、臓器に達するもの直径5cm 以上10cm 未満	1
	K0011	皮膚切開術 長径10cm 未満	1
	K013-21	全層植皮術（25cm ² 未満）	1
	K013-22	全層植皮術（25cm ² 以上100cm ² 未満）	1
	K013-24	全層植皮術（200cm ² 以上）	1
	K0461	骨折観血の手術 上腕 大腿	1
	K0503	腐骨摘出術（鎖骨、膝蓋骨、手、足その他）	1
	K0811	人工骨頭挿入術（肩、股）	1
	K0842	四肢切断術 上腕、前腕、手、大腿、下腿、足	1
	K5461	経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞に対するもの）	1
	K560-22イ	オープン型ステントグラフト内挿術（上行・弓部同時）（弁置換・形成）	1
	K560-22ロ	オープン型ステントグラフト内挿術（上行・弓部同時）（弁置換を伴う大動脈置換術）	1
	K5603ロ	大動脈瘤切除術（上行・弓部同時）（弁置換術を伴う大動脈基部置換術）	1
	K5613	ステントグラフト内挿術（腸骨動脈）	1
	K6021	経皮的心肺補助法（1日につき） 初日	1
	K6071	血管結紮術（開胸又は開腹を伴うもの）	1
	K6102	動脈形成術、吻合術 胸腔内動脈（大動脈を除く）	1
	K610-3	内シャント又は外シャント設置術	1
	K6141	血管移植術、バイパス移植術 大動脈	1
	K6145	血管移植術、バイパス移植術 下腿、足部動脈	1
	K616-4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	1
	K620-2	下大静脈フィルター除去術	1
	K6335	ヘルニア手術（鼠径ヘルニア）	1
	K6552	胃切除術（悪性腫瘍手術）	1
	K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	1
	K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	1
	K797	膀胱内凝血除去術	1
合計			764

泌尿器科

順位	手術コード	術式名	件数
1	K007-2	経皮的放射線治療用金属マーカー留置術	67
2	K7811	経尿道的尿路結石除去術（レーザーによるもの）	17
3	K8036口	膀胱悪性腫瘍手術・経尿道的手術（その他のもの）	15
4	K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	13
5	K8412	経尿道的前立腺手術（その他）	7
6	K797	膀胱内凝血除去術	6
7	K805	膀胱瘻造設術	2
8	K0011	皮膚切開術 長径10cm 未満	1
	K6182	中心静脈栄養用植込型カテーテル設置（頭頸部その他に設置した場合）	1
	K773-2	腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術	1
	K7981	膀胱結石、異物摘出術（経尿道的手術）	1
	K821-2	尿道狭窄拡張術（尿道バルーンカテーテル）	1
	K830	精巣摘出術	1
	K8381	精索捻転手術（対側の精巣固定術を伴うもの）	1
合計			134

歯科

順位	手術コード	術式名	件数
1	K4043	抜歯手術（臼歯）	41
2	K4044	抜歯手術（埋伏歯）	26
3	K4042	抜歯手術（前歯）	14
4	-	歯根嚢胞摘出術	13
5	K4041	抜歯手術（乳歯）	9
6	K4361	顎骨腫瘍摘出術 長径3cm 未満	7
7	K4362	顎骨腫瘍摘出術 長径3cm 以上	3
	-	口腔内消炎手術	3
	-	歯根端切除手術（1歯につき）	3
8	-	歯科インプラント摘出術（人工歯根タイプ）	2
	-	歯肉、歯槽部腫瘍手術（エプーリスを含む。）〔硬組織に及ぶもの〕	2
9	K4132	舌腫瘍摘出術（その他のもの）	1
	K4151	舌悪性腫瘍手術（切除）	1
	K4211	口唇腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	1
	K4231	頬腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	1
	K4502	唾石摘出術（深在性のもの）	1
	-	腐骨除去手術	1
	-	歯槽骨骨折観血的整復術（3歯以上にわたるもの）	1
	-	ヘミセクション（分割抜歯）	1
合計			131

麻酔科

順位	手術コード	術式名	件数
1	K134-22	内視鏡下椎間板摘出（切除）術 後方摘出術	53
2	K1344	椎間板摘出術（経皮的髄核摘出術）	3
合計			56

(2) ボバース記念病院

目 次

1. 概要	260
(1) 理念・基本方針	260
(2) ポバース記念病院概要	260
(3) 社会医療法人 大道会 ポバース記念病院 組織図	266
2. 活動報告	267
(1) 診療部	267
① 診療科	267
② 医療社会事業課	268
(2) 歯科診療部	272
(3) 看護部	274
① 外来	276
② 2 階病棟	277
③ 3 階病棟	278
(4) リハビリテーション部	279
(5) 診療技術部	283
① 薬剤科	283
② 検査科	285
③ 画像診断科	286
④ 栄養サービス科	287
(6) 事務部	289
(7) 全体研修	291
3. 統計	291
(1) 退院患者数に関する資料	293
① 診療科別 月別患者数	293
② 病棟別 月別患者数	293
③ 診療科別 在院日数	294
④ 診療科別 性別患者数及び死亡患者数	294
⑤ 診療圏別患者数	295
⑥ 診療科別 退院後の転帰	298
⑦ 診療科別 年齢階層別患者数	299

目 次

⑧ 紹介元医療機関別件数	300
⑨ 診療科別 紹介元医療機関別件数	301
⑩ 紹介先医療機関別件数	302
⑪ 診療科別 紹介先医療機関別件数	303
(2) 疾病に関する資料	304
① 疾病別 診療科別患者数	304
② 疾病別 在院日数別患者数	305
③ 疾病別 年齢階層別患者数	306
④ 科別 疾病頻度順	307
(3) 初診患者数に関する資料	310
① 診療科別 月別患者数	310
② 診療科別 性別患者数	310
③ 診療圏別患者数	311
④ 紹介元医療機関別件数	314
⑤ 診療科別 紹介率	314
⑥ 診療科別 紹介元医療機関別件数	315
(4) 平均在院日数・病棟別・月別	317
(5) 病床稼働率・病棟別・月別	317
(6) 外来患者診療科別延べ数	317

1. 概要

(1) 理念・基本方針

[理 念]

障がいがある方の発達と生活の質（QOL）の向上、
社会参加を支えるリハビリテーション医療を提供します

[基本方針]

- ① 生涯を通じて年齢、病態と生活環境に応じた包括的な医療を提案します
- ② 受診者と家族を中心としたチーム医療を行います
- ③ 介護・福祉・教育を担う関係機関と連携を保ち、社会参加を促進します
- ④ 常に安全でより良い医療を追求します
- ⑤ 臨床研究を行ってその成果を内外に公表します
- ⑥ 人間性と技術にすぐれた人材を育成し、健全な経営を行います

(2) ボバース記念病院概要

施設の規模及び事業概況調書(病院)

2019年4月1日 現在

開設者氏名	理事長 大道 道大
施設の名称	社会医療法人 大道会 ボバース記念病院
施設の所在地	大阪府大阪市城東区東中浜1丁目6番5号
設立年月日	1982年6月1日
職 員 数	200名(医師11名、歯科医師3名、薬剤師3名、看護師62名、理学療法士31名、作業療法士21名、言語療法士5名、放射線技師3名、その他41名)、非常勤20名
代表者氏名	管理者名 荒井 洋

(施設の概況)

敷地・建物 敷地 4,374.56㎡ 延床 8,983.85㎡(鉄筋造4階建)

病 床 数 98床

標 榜 科 目 神経内科、整形外科、リハビリテーション科、小児科、
歯科、小児歯科、歯科口腔外科

患 者 数 入院62名(1日平均) 外来90名(1日平均)

設備機器等	診察室、処置室等 神経内科診察室（小児神経）2室、整形外科診察室（小児整形外科）2室、リハビリテーション科診察室1室、中央処置室、医療相談室、手術室、中央材料室、薬局、エックス線撮影室、生理検査室、臨床検査室、理学療法室、作業療法室、言語聴覚療法室、診療情報管理室
	病棟関係 ナースステーション、処置室、リネン室、洗濯室、患者浴室、洗面室、デイルーム等
	機器関係 全身用CTスキャナー16列、脳波測定器、腹部エコー、頸部エコー、心臓エコー、心電図、一般エックス線機器、歯科用パノラマ撮影、歯科用デンタル撮影、トレッドミル

（事業の概況）

1982年 6 月	ボバース記念病院を開設（病床数 124床）
1982年10月	86床増床（病床数 210床）
1983年 2 月	運動療法、作業療法施設基準の認可
1983年 5 月	72床増床（282床）
1983年 6 月	基準給食・基準寝具の認可
1986年 5 月	CTスキャン導入
1989年 5 月	物理療法室増設
1989年 5 月	MRI導入
1990年 3 月	基準看護・基本看護の承認
1992年10月	基準看護・特1類の承認
1993年 9 月	基準看護・特2類の承認
1994年 7 月	歯科センター開設
1994年10月	新看護体系移行
1998年10月	18床減少（264床）、療養型病床群54床設置
2000年 4 月	一般病棟Ⅱ群③81床、障害者病棟129床、療養型病床群54床の認可
2000年 7 月	療養型病床群→回復期リハビリテーション病棟（54床）への変更認可
2000年 8 月	障害者病棟129床Ⅱ群②の認可
2001年 6 月	障害者病棟129→177床、一般病棟81床→33床への変更認可
2006年 1 月	耳鼻咽喉科開設（大道病院より移設）
2006年 4 月	102床で運営開始（看護単位は6単位→2単位） 管理医師 今林美喜夫院長が就任
2007年 4 月	全面改修工事を終え、新たに102床の入院、外来とも全施設がフル稼働可能となり、運営開始
2007年 4 月	耳鼻咽喉科が常勤体制に戻る
2007年 5 月	耳鼻咽喉科関連施設基準が認可される 高度難聴指導管理料・補聴器適合検査
2007年 6 月	看護基準の上位取得（102床） 障害者施設等入院基本料13：1→障害者施設等入院基本料10：1
2008年 2 月	利用者の利便性のため、南館1階に売店を設置する
2008年 7 月	障害者施設入院基本料10：1 41床

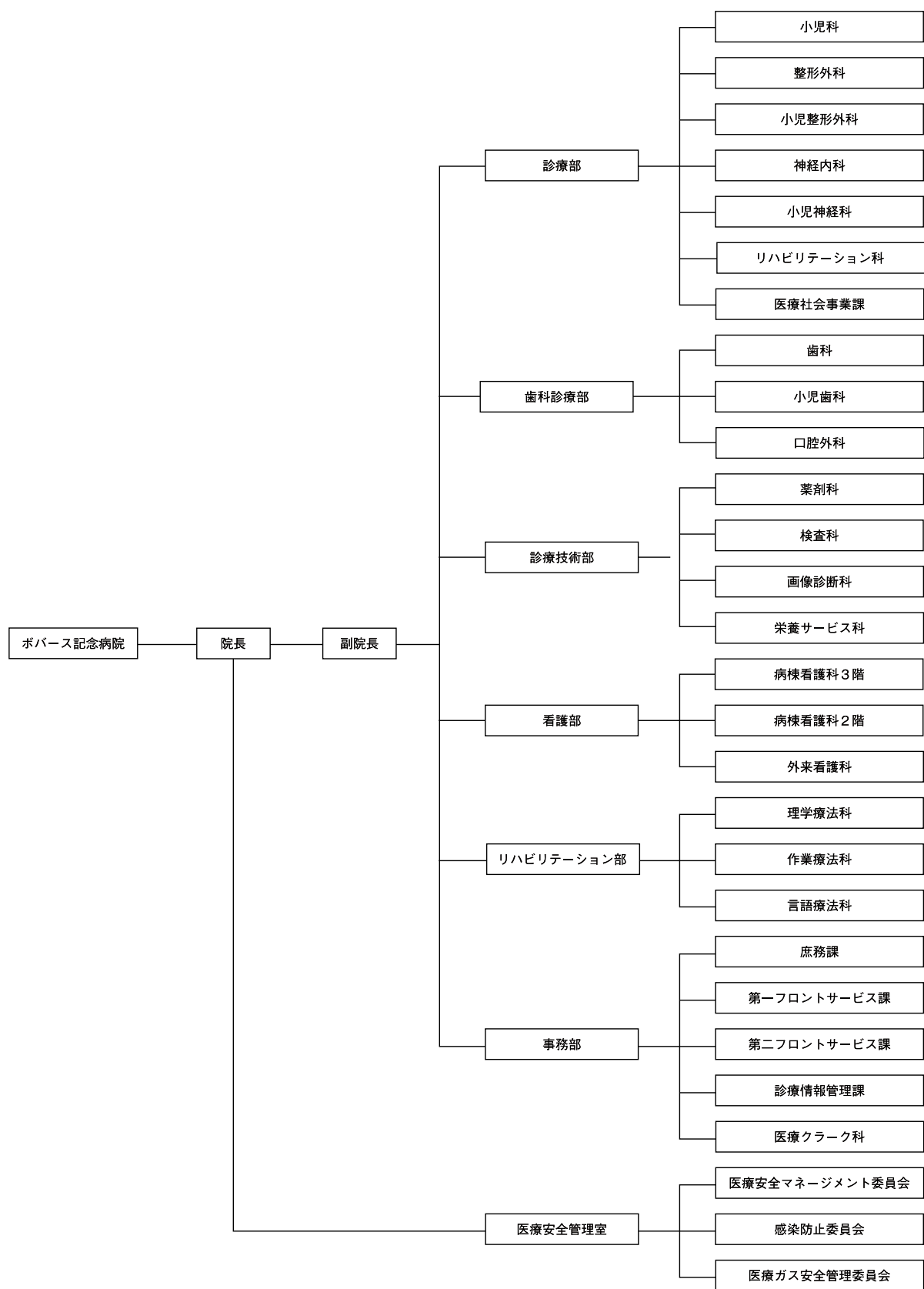
	亜急性期入院医療管理料 10床
	回復期リハビリテーション病棟入院料2
2008年10月	障害者施設入院基本料→一般病棟入院基本料10:1変更
2008年11月	耳鼻咽喉科診療休止
	高度難聴指導管理料・補聴器適合検査は返上
2009年 1 月	回復期リハビリテーション病棟入院料2→1にランクアップ
	同時に、重症者回復期病棟加算届出
2010年 1 月	耳鼻咽喉科廃止
2010年 7 月	回復期リハビリテーション病棟入院料1
	リハビリテーション充実加算
	休日リハビリテーション提供体制加算
2010年11月	マルチスライス全身CT導入(更新)
2012年 4 月	一般撮影機器更新 島津製作所 D150LC-45EL
2012年10月	ボバース記念病院開設30周年記念講演会開催
	講 師:鈴木恒彦氏(第2代目ボバース記念病院院長)
	テーマ:ボバース記念病院2018年の歩み
2013年 3 月	短時間通所リハビリテーション事業届出 定員10名
	短時間予防通所リハビリテーション事業届出
2013年 4 月	障害者総合支援法 医療型短期入所空床型利用事業届出 定員1名
4 月	大阪市重症心身障がい児(者)医療型短期入所実施機関登録
	指定期間:2013年4月1日～2016年3月31日
2013年12月	国土交通省「短期入所協力病院」通知
2014年 9 月	一般病棟の亜急性期病床(14床)廃止
	物理療法の廃止
2014年10月	一般病棟51床にて運用開始
	法人60周年記念式典開催
2014年11月	医事会計システムと再来受付機の更新
2015年 3 月	短時間通所リハビリテーション運営規定変更
	短時間予防通所リハビリテーション運営規定変更
	サービス提供日時追加
	(変更前) 木曜日 午前 9時55分～午前11時00分
	(変更後) 火曜日 午後13時25分～午後14時30分
	木曜日 午前 9時55分～午前11時00分
	利用定員変更
	(変更前) 10名
	(変更後) 5名
2015年 4 月	温冷配膳車による病院給食の配膳開始
2016年 1 月	短時間通所リハビリテーション運営規定変更
	短時間予防通所リハビリテーション運営規定変更
	サービス提供日時追加
	(変更前) 火曜日 午後13時25分～午後14時30分
	木曜日 午前 9時55分～午前11時00分
	(変更後) 月曜日 午後13時25分～午後14時30分
	火曜日 午前11時00分～午後12時05分
	午後13時25分～午後14時30分
	水曜日 午前 9時55分～午前11時00分
	午後13時25分～午後14時30分
	木曜日 午前 9時55分～午前11時00分

	午前11時00分～午後12時05分
	金曜日 午前 9時55分～午前11時00分
2016年 1 月	在宅療養支援病院届出 MRI稼働停止
2016年 4 月	大阪市重症心障がい児(者)医療型短期入所実施機関指定 指定期間:2016年4月1日～2017年3月31日
2016年 5 月	許可病床数変更 102床 → 98床 一般病棟10対1 51床 → 47床 回復期リハビリテーション病棟 51床(変更なし)
2016年 6 月	短時間通所リハビリテーション運営規定変更 短時間予防通所リハビリテーション運営規定変更 利用定員変更 (変更前) 5名 (変更後) 6名
2016年 7 月	一般病棟10対1の中に地域包括ケア病床10床の届出 一般病棟10対1 37床 地域包括ケア病床 10床
2016年 8 月	短時間通所リハビリテーション運営規定変更 短時間予防通所リハビリテーション運営規定変更 サービス提供日時追加 (変更後) 月曜日～金曜日 午前 9時55分～午前11時00分 午前11時00分～午後12時05分 午後13時25分～午後14時30分 午後14時30分～午後15時35分
2017年 1 月	骨密度測定検査機器稼働停止
2017年 4 月	管理医師 荒井 洋院長 就任 大阪市重症心身障がい児(者)医療型短期入所実施機関登録 登録期間:2017年4月1日～2018年3月31日
2017年 7 月	回復期リハビリテーション病棟 体制強化加算1 届出
2017年 9 月	一般病棟入院基本料10:1 → 障害者施設等入院基本料10:1 変更
2017年 10 月	特殊疾患入院施設管理加算 届出
2017年 12 月	泌尿器科 診療休止
2018年 2 月	標榜科目変更 リハビリテーション科・神経内科・整形外科・小児科・歯科 小児歯科・歯科口腔外科へ
2018年 4 月	大阪市重症心身障がい児(者)医療型短期入所実施機関登録 登録期間:2018年4月1日～2019年3月31日 障がい者施設等入院基本料 10:1 注9 看護補助加算・注10夜間看護体制加算 届出 医療安全対策地域連携加算2 届出 回復期リハビリテーション病棟入院料1 届出 (実績指数37以上) がん性疼痛緩和指導管理料 辞退届け がん患者リハビリテーション科 辞退届け 退院支援加算 辞退届け 新生ボバースに向け院内大幅改修工事着工(順次病床閉鎖開始)
2018年 5 月	一般整形外科患者群を大道クリニックへ移管 認知症ケア加算 辞退届け 病棟薬剤業務実施加算 辞退届け 外来化学療法加算2 辞退届け

- 2018年 6 月 一般内科患者群を大道クリニックへ移管
地域包括ケア病棟入院医療管理料2 (3階10床) 辞退届け
在宅療養支援病院・在宅時医学管理料 辞退届け
- 2018年 7 月 回復期リハビリテーション病棟入院料1 (2階51床) 辞退届け
- 2018年 8 月 手術室リニューアル工事完了外科用イメージ設置 使用許可申請
工事期間中に伴い、障がい者施設入院基本料 (3階40床) のみの運用
- 2018年 9 月 日本リハビリテーション医学会 認定承認 認定番号第119982号
- 2018年10月 新生ボバース全館リニューアル工事完了
電子カルテシステム同時稼働 (大新技研)
障がい者施設等入院基本料10:1 (2階58床・3階40床) 再届出
森之宮病院から90名の人事異動で新体制に
柴田副院長・吹上部長・北井医長等着任
小児整形外科にて手術室12年ぶり再稼働
X線透視室を用途変更し脳波室として使用許可申請
呼吸器リハビリテーション料 (1) 辞退届け
集団コミュニケーション療法 辞退届け
- 2018年11月 退院支援加算から入退院支援加算で 再届出
- 2018年12月 短時間通所リハビリテーション運営終了
短時間予防通所リハビリテーション運営終了 翌年より森之宮病院へ移管
- 2019年 1 月 小児整形外科 手術日増加 火曜日のみから火曜・金曜日へ
- 2019年 3 月 CPフォーラム開催 3/2.3/3新大阪丸ビル別館 参加者200名
(NPO法人 日本脳性麻痺・発達医学会 理事長 荒井 洋)
- 2019年 4 月 大阪市重症心身障がい児 (者) 医療型短期入所実施機関登録
登録期間: 2019年4月1日~2020年3月31日

各種指定	健康保険法指定
	国民健康保険法指定
	生活保護法指定
	労働者災害補償保険法指定
	労災アフターケア実施指定病院
	障害者総合支援法指定自立支援医療機関としての指定（精神通院医療）
	障害者総合支援法指定自立支援医療機関としての指定（更生医療・育成医療）
	障害者総合支援法 医療型短期入所空床利用型事業所
	結核指定医療機関指定
	予防接種実施医療機関指定
	被爆者一般疾病医療機関指定
	公害医療機関指定
	特定健診医療機関指定
各施設基準関係	障がい者施設等入院基本料 10対1
	特殊疾患入院施設管理加算
	注9看護補助加算
	注10夜間看護体制加算
	診療録管理体制加算
	療養環境加算
	医療安全対策加算2
	医療安全対策地域連携加算2
	感染防止対策加算2
	患者サポート体制充実加算
	入退院支援加算
	データ提出加算1
	薬剤管理指導料
	検体検査管理加算（I）
	全身CT撮影16列以上のマルチスライスCT
	脳血管疾患等リハビリテーション（I）
	脳血管疾患等リハビリテーション（I）初期加算
	運動器疾患リハビリテーション（I）
	運動器疾患リハビリテーション（I）初期加算
	医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術
	地域歯科診療支援病院歯科初診料
	歯科診療特別対応連携加算
	歯科治療時総合医療管理料
	在宅患者歯科治療時総合医療管理料
	歯科口腔リハビリテーション料2
	う蝕歯無痛的窩洞形成加算
	CAD/CAM冠
	歯科技工加算
	手術時歯根面レーザー応用加算
	クラウン・ブリッジ維持管理料
	歯科外来診療環境体制加算
	口腔粘膜処置
	レーザー機器加算

(3) 社会医療法人 大道会 ボバース記念病院 組織図



2019年1月 改定

2. 活動報告

(1) 診療部

① 診療科

ア. スタッフ

(ア) 小児神経科

荒井 洋 院長（小児科専門医、日本小児科学会認定指導医、小児神経専門医、大阪大学医学部臨床教授）

北井 征宏 医長（小児科専門医、日本小児科学会認定指導医、小児神経専門医）

平井 聡里（小児科専門医）

廣恒 実加（小児科専門医）

奥山 直美

水谷 聡志

非常勤医師 1名

(イ) 整形外科（小児整形外科）

柴田 徹 副院長（リハビリテーション科専門医、日本リハビリテーション医学会認定指導医、整形外科専門医、日本整形外科学会認定指導医）

吹上 謙一 部長（整形外科専門医、日本整形外科学会認定指導医）

松山 元昭（リハビリテーション科専門医、臨床研修指導医）

奥野 杏子

非常勤医師 2名

(ウ) リハビリテーション科

川岸 朋美（日本医師会認定産業医）

(エ) 臨床心理

非常勤心理士 4名

イ. 診療内容

診療対象：脳性麻痺など小児期発症の運動障害がある小児・成人

(ア) 外来診療

㊦ 小児神経科

運動発達の遅れがある小児の診断・評価、療育指導

脳性麻痺および急性脳炎・脳症、頭部外傷、脳梗塞・脳出血、脳外科手術の後遺症、一部の染色体異常症、遺伝性疾患、代謝疾患、脊髄疾患の評価とリハビリテーション、てんかん診療、療育指導

㊦ 整形外科（小児整形外科）

上記疾患のリハビリテーション、装具診察、ボツリヌス療法、療育指導

発育性股関節障害、骨形成不全症をはじめとする骨系統疾患、特発性側弯症、先天性内反足、ペルテス病、骨折・外傷など小児期発症の運動器

疾患の診療

(イ) 入院診療

回復期リハビリテーション病棟および地域包括ケア病棟を段階的に縮小・閉鎖し、10月に森之宮病院のこども病棟47床を2階に移設して58床に増床した。2階病棟親子入院は未就学児の療育指導を目的とした1～2ヶ月の入院、単独入院は集中リハビリテーションもしくは手術を目的とした入院を中心として運営した。3階は青年期以降の機能維持を目的としたリハビリテーション入院を主体とし、1床で成人障害者のショートステイを受け容れた。入院患者は全国各地から集まったが、多くは関西からであった。患者を中心に医師・療法士・看護師が集まる多職種カンファレンスをはじめ、綿密な評価と介入を行うことで成果を維持できた。入院時には国際的な評価方法を用いて機能・発達を評価し、長期的にデータを積み重ねて治療効果を明示できるように努めた。手術は従来の筋解離術に加えて骨切り術、髄腔内バクロフェン注入療法のパンプ設置術、小児整形疾患に対する手術が増加し、骨折等の外傷に対する手術も始めた。沖縄県南部医療センター・こども医療センターとの連携による選択的後根切断術前後の集中リハビリテーション入院を導入した。病床利用率は徐々に増加した。

(ウ) 在宅訪問診療

地域包括ケア病棟の閉鎖とともに終了した。

ウ. 教育研修

研究カンファレンス(週1回)

エ. 今後の展望

脳性麻痺等の小児期発症の神経疾患・整形疾患を成人期にいたるまで継続的に診療できる世界でもまれな施設が完成した。今後の目標は以下のとおりである。

- (ア) 機能だけでなく QOL と発達の向上を支える介入システムの確立
- (イ) 評価データの蓄積に基づく介入効果のエビデンス構築
- (ウ) 上記の全国的な普及活動、海外への発信
- (エ) 新たな手術、テクノロジー、リハビリテーションへの挑戦
- (オ) 多職種連携のさらなる発展
- (カ) 患者ニーズに見合った健全な外来・入院運営
- (キ) こどもが楽しく過ごせる環境(施設、レクリエーション)の整備

② 医療社会事業課

ア. 2018年度活動報告

2018年度は、10月から新体制となり、医療相談室の業務内容もそれとともに変化した。10月までは、回復期リハ病棟の閉鎖、内科外来の閉鎖に伴い、これまで長年に渡って診療してきた患者を、法人内を含む他の医療機関へ移行させるための業務が主となった。法人外の医療機関を希望される患者には、ニーズに応じて移行先を探し紹介した。また、患者のうち、新体制でも継続して診療できる若年者については、希望があれば

主治医を交代して引き続きかかっていたけるよう、各部署が協働して案内を行った。こうした業務の傍らで、医療相談室内では、新体制に向け、小児や障がい福祉に関する制度についての学習を深めた。各種医療費制度や障がい福祉サービスについては、制度に詳しい事務部担当者や障がい福祉分野での実務経験のある課員から教わりながら、マニュアルを作成し、10月以降の速やかな対応に備えた。

地域の関係機関（主として急性期病院）には、回復期リハ病棟閉鎖と新体制開始の広報に回り、これまで回復期リハ目的の患者を紹介いただいた医療機関にはお礼のご挨拶を、今後新たな患者を紹介いただく医療機関には、当院の新しい体制についての案内を行うとともに、先方が当院へ紹介できそうな患者について具体的に伺い、関係機関のニーズにお応えできるよう、受入れ体制を考えた。

このような移行期の業務を経て、10月からの新体制がスタートした。以下、新体制における活動について報告する。

（ア）スタッフの体制

医療ソーシャルワーカー（社会福祉士） 3名

課長1名・主任1名・一般課員1名の3名体制

11月途中より、一般課員1名が産育休に入り、以後2名体制となる。

（イ）業務内容

㊦ ソーシャルワーク業務

主に、脳性麻痺など小児期に発症した疾患により障がいをもつ患者の支援を行う。関わりは、入院相談に始まり、入院中の相談・支援、退院後当院外来に通院する方については、必要に応じて退院後の継続的な支援も行っている。その他、患者・家族からの相談や他部署からの依頼があれば、外来患者の相談にも応じている。

また、患者・家族からの苦情・意見等の窓口機能を担っており、患者サポート体制充実加算を算定している（専任社会福祉士1名）。カルテ開示の依頼にも対応し、ケースにより開示請求に伴う苦情への対応も行っている。苦情対応のスキルアップのため、課長が医療対話推進者養成セミナーを受講し、導入・基礎編を修了している。

（主な業務）

- ・入院相談
- ・インテーク面接および医療費制度の説明
- ・相談面接（苦情対応を含む）
- ・カンファレンスへの参加（初回カンファレンス・中間カンファレンス・退院前カンファレンス）
- ・社会資源の紹介
- ・他職種・他機関との連絡調整・協議
- ・カルテ開示請求への対応

㊧ 予約入院管理業務（ベッドコントロール業務）

主にリハビリ目的の予約入院患者について、電子カルテに上げられている入院オーダーリストを管理し、入院受け入れの日程や病室の決定を行う。患者

の病状や心身の状況・医療依存度等を勘案し、医局・看護部・リハビリテーション部との連携のもとで調整を行い、患者・家族や紹介元病院へ連絡する。業務を行うにあたり、常に病床の状況が把握できるよう、入院スケジュール表を作成し、急な入院相談にも対応できる体制を作っている。また、週1回ベッドコントロール会議を開催し、医局・看護部・リハビリテーション部・事務部・医療相談室より担当者が出席して情報交換を行っている。医療相談室からは数ヶ月先までの入院オーダー状況と仮入院スケジュールを提供し、状況に応じて病棟の垣根を越えた総合的なベッド調整を行っている。具体的には、常時入院待機者の多い親子入院に対応すべく、中学生以上を対象とする3階病棟にも親子部屋を設置したり、ニーズの少ない単独入院の幼児部屋を撤廃し、年齢にかかわらず男女で部屋を分けるなどの対応を試みている。

㊦ 地域医療連携業務

他機関への受診予約、緊急入院が必要な患者の受け入れ先探しなど、地域医療連携室が担う業務を、医療相談室が行っている。

また、患者受入れのための病院訪問も実施しており、小児期発症の障がいのある患者の受入れを目的に、病院5件・診療所1件への訪問を実施した。訪問時には、新体制の紹介リーフレットを持参し、中途障がいを含め、脳性麻痺以外の疾患についても受入れ可能であること、小児のみならず成人も受入れていることをアピールした。

㊧ 地域福祉サービスに関する業務

障がい福祉サービスとして実施している医療型短期入所の相談窓口としても機能し、入所相談から利用登録、受診、契約に至るまで、主になって関わっている。医療型短期入所については、利用希望月の2ヶ月前より受け付けを開始することとし、予約管理についても医療相談室が行っている。昨年度から、病院の変革に向けた過渡期にあるため、新規の登録は一時停止し、既存の登録者のみの受入れとしていたが、当院外来患者からの相談については、リハビリニーズがあれば入院で対応するなどして受入れた。

(ウ) 実績

2018年度	相談件数(延べ)	4,193件	※表1参照
2018年度	受診・入院相談件数(延べ)	1,650件	※表2参照
2018年度	医療型短期入所利用件数(延べ)	10件	
	利用日数(延べ)	89日	

退院支援加算 算定件数 18件 ※10月以降算定再開

介護支援連携指導料 算定件数 4件

退院時共同指導 算定件数 5件

表1

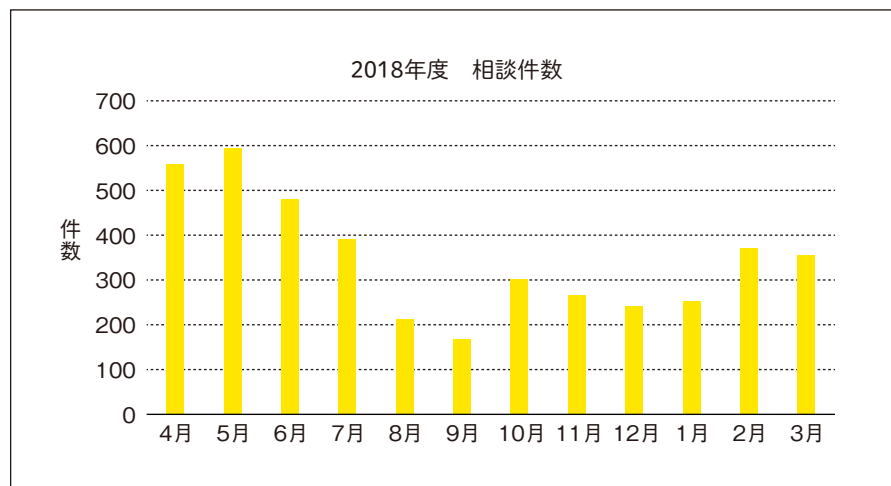
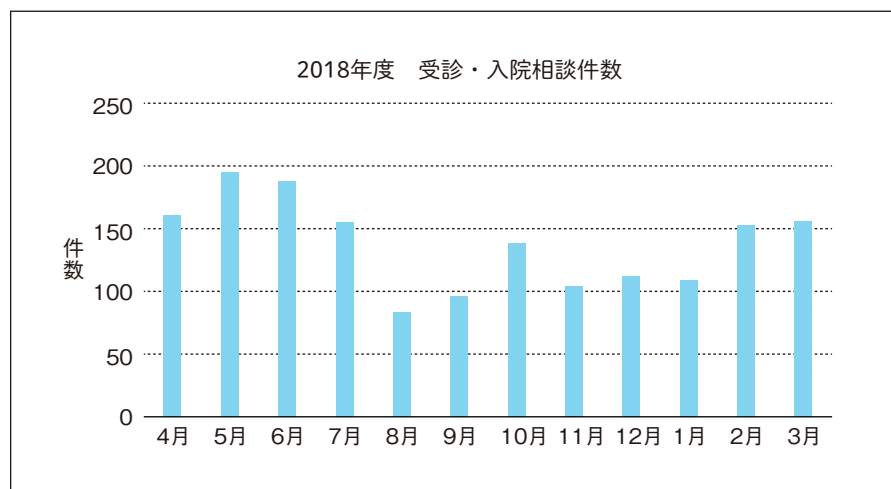


表2



2018年度病院訪問（新体制案内目的のもの） ※順不同

- ・市立総合医療センター
- ・大手前病院
- ・済生会野江病院
- ・矢木脳神経外科病院
- ・南大阪小児リハビリテーション病院
- ・国立病院機構大阪医療センター
- ・JCHO 大阪病院
- ・山崎診療所

（エ）特徴

新体制となつてからの相談内容は、医療費制度に関するもの、リハビリ提供施設に関するもの（療育センターや訪問リハビリ提供機関に関する情報提供）が圧倒的に多くなった。また、虐待事例への関わりも増え、半年間で4ケースに対応した。患者・家族に対しては、入院を機に、退院後も継続して関われる体制ができていたため、脳血管障がい患者同様、1つのケースと長くつきあっていくことになりそ

うである。

入退院調整に関する対応も、旧体制の時に比べると倍近くに増えている。全病棟のベッド調整を担うようになってからは、入院スケジュールの調整や入院日問合わせへの対応に追われ、予約入院管理業務の業務全体に占める割合が高くなっている。

新体制スタート以後、森之宮病院からの異動者を含め、各部署の職員構成が変わる中、他部署のスタッフとは少しでも早く信頼関係が築けるように、できるだけ各部署へ出向いての相談・対応を行った。

(オ) 教育研修体制

関西学院大学より医療ソーシャルワーカーを志望する4回生の学生を通年で受け入れているが、本年度は昨年度に引き続き該当者がなく、実習指導は行わなかった。

今年度は、新体制開始に伴う業務の煩雑化により、院内勉強会等での講義を行うことができなかったが、入退院支援加算については、関係部署で集まり制度内容や運用方法を共有することができた。

イ. 次年度への課題・目標

本年度は、10月に新体制となってから、電子カルテの導入・対象患者層の変化など慣れない環境の中、手探りで業務にあたってきた。その結果、本来業務であるソーシャルワーク業務と予約入院管理業務のバランスが悪くなり、患者・家族への十分な関わりができていないのが現状である。次年度は、新体制本格稼働の年となる。今後はシステムをうまく活用し、業務をスリム化して、患者支援に時間がかけられるよう工夫したい。また、在宅で当院と同じようなりハビリを継続して受けたいという患者に、受入れ先を紹介できるよう、広く連携機関を増やしていきたい。診療圏が広いため、当院で完結するのではなく、居住地域の機関とうまく付き合いながら、長く患者を支援する体制を作れたらと考える。そうした動きの中で、関係機関から地域に潜在する新たな患者の発掘ができることにも期待したい。

(2) 歯科診療部

① スタッフ・診療体制

ア. 常勤歯科医師3名、非常勤歯科医師3名。

認定資格:日本小児歯科学会指導医、日本小児歯科学会専門医、日本障害者歯科学会指導医、日本障害者歯科学会認定医、日本老年歯科医学会専門医制度指導医、日本老年歯科医学会専門医、日本有病者歯科医療学会指導医、日本有病者歯科学会専門医、日本小児口腔外科学会指導医、日本歯科麻酔学会専門医など。

イ. 歯科衛生士4名。歯科技工士2名。歯科受付助手4名。

認定資格:日本小児歯科学会認定歯科衛生士、日本障害者歯科学会認定指導歯科衛生士、日本老年歯科医学会認定歯科衛生士、日本有病者歯科学会認定歯科衛生士など。

② 診療内容

ア. 概要

一般歯科治療はもちろん、障害者歯科、小児歯科、有病者歯科、口腔外科など様々な分野の歯科治療に対応しており、治療の対象としているのは、地域の外来受診者、入院患者、老人保健施設入所者、在宅患者などである。周囲の歯科医院や他の病院からも全身疾患をもった患者や障害を持った患者が紹介され治療を行っている。幾つかの学会から研修施設認定を受けており、各学会認定の指導医、専門医、認定医、指導歯科衛生士などが治療を担当している。

イ. 訪問歯科診療

外来受診が困難な患者に対して往診により口腔ケアや義歯の調整を行っている。訪問歯科診療の主な対象は、介護老人保健施設グリーンライフの入所者および当法人が管理している在宅療養中の高齢者で、グリーンライフ入所中の患者に対しては、送迎での歯科診療をおこなっており、グリーンライフでは対応できないより幅広い歯科疾患に対応可能となった。また、グリーンライフではミールラウンドに加わり歯科として入所高齢患者の口腔環境の維持改善に参加している。これらにより要介護高齢者の口腔機能の維持改善にも貢献している。

ウ. 全身麻酔下歯科治療

種々の障害や疾患のために通常の歯科治療を行う事が困難な患者も多い。当診療部では、知的障害、自閉症、脳性麻痺などの疾患、障害などのために通常の歯科治療が非常に困難な場合は、日本歯科麻酔学会専門医が麻酔を担当して治療担当医が全身麻酔下に歯科治療を実施している。

③ 治療実績

患者総数は11,494名であった。また入院総数は72件で、全身麻酔下歯科治療症例は72件であった(表1)。

④ 教育研修

研究活動にも力を入れており、日本老年歯科医学会、日本小児診療多職種研究会、日本小児歯科学会近畿地方会、日本歯科麻酔学会、日本障害者歯科学会、日本有病者歯科医療学会などに参加し、合計11演題を発表した。教育活動としては、3校の歯科衛生士専門学校から学生を受け入れて実習を行なっている。

⑤ 今後の展望

2018年度は病院の再編も行われ、内科の森之宮病院移転に伴い歯科診療部においても脳血管障害の外来患者および入院患者が減少する一方、脳性麻痺の小児患者が増加した。今後も脳性麻痺小児患者の増加が予想されるので、診療体制をさらに充実させていきたい。障害者歯科、小児歯科、有病者歯科、口腔外科を中心として入院患者のみならず、地域の歯科医療に貢献し、引き続き学会活動や教育活動にも力を入れて行く。

表1.診察実績

	症例数(人)
外来延べ受診者数	11,494
1日平均患者数	49
在宅延べ患者数(月平均数)	147(12.2)
全身麻酔下歯科治療症例数の合計	72
医科リハビリ入院中の患者	28
外来患者	44

(3) 看護部

看護部長 田中裕子

ア. 2018年度目標

- (ア) 法人再編計画の推進
- (イ) 看護の質向上
- (ウ) WLBの推進

イ. 内容と成果

(ア) 法人再編計画の推進

㊦ 再編の実施

5・6月：整形・内科外来の大道クリニック移行。7月末で2階回りハ病棟辞退。

7月：3階障がい者病棟40床で稼働開始（7月～9月3階病床稼働は計画値で推移）

2018年度診療報酬改定で新設された「看護補助加算」取得。

10月：森之宮から小児病棟移行。電子カルテ運用開始。

2階・3階病棟98床で稼働。10月～12月は計画値で推移。1月～3月若干未達。

㊦ 入院施設基準の順守と看護補助加算取得

障がい者割合（7割以上）72時間の夜勤加算（看護職1人当たり）看護補助加算（補助者配置：常時30対1 夜間75対1）は問題なし。

㊦ 手術室運営

10月から手術スタート。森之宮病院の協力を得て運用が開始できた。

2018年度は法人再編計画を基に、改修工事・患者移行・人事異動・引っ越し・電子カルテ挿入と多くの事に取り組んだ。特に大きな問題もなく10月再編スタートを切ることができた。

(イ) 看護の質向上（法人看護部としての教育連携と強化）

㊦ 看護研究に取り組み院内・院外発表に繋げることができた。

第30回日本リハビリテーション看護学会 1演題 3階病棟

㊦ 2019年度からJNAラダー（日本看護協会）開始に向けて、森之宮病院と連携し、主任以上が院内・院外研修に参加し知識を深め意識統一を行った。

㊦ 今年度は新人看護師を迎え森之宮病院と連携し、新人集合研修に参画・協力した。

㊦ 10月から新体制となったが、大きなアクシデントやクレームは無かった。

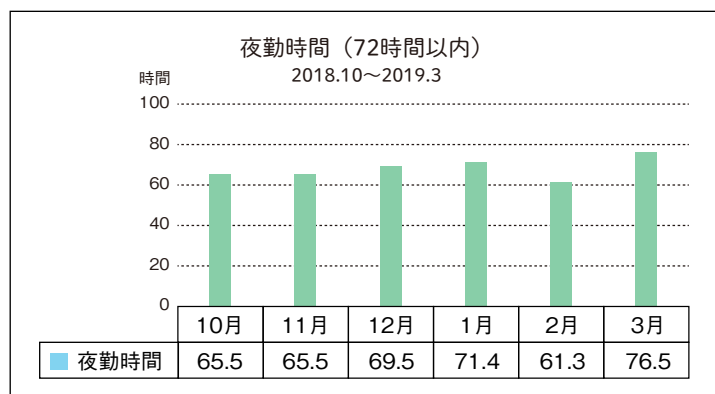
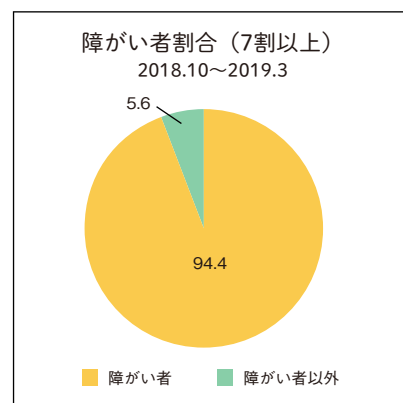
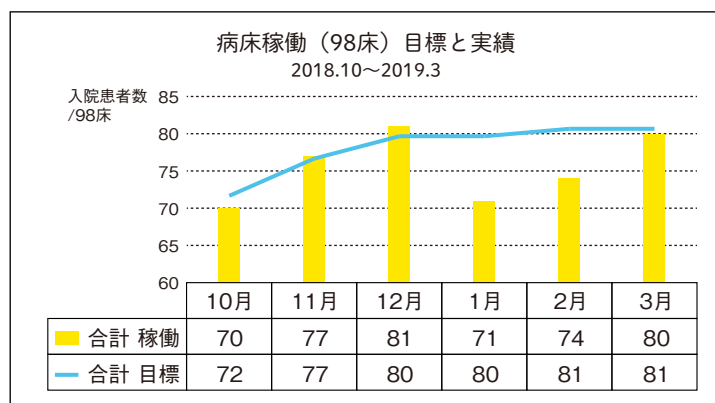
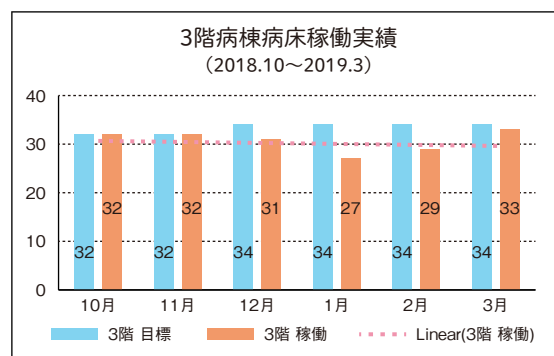
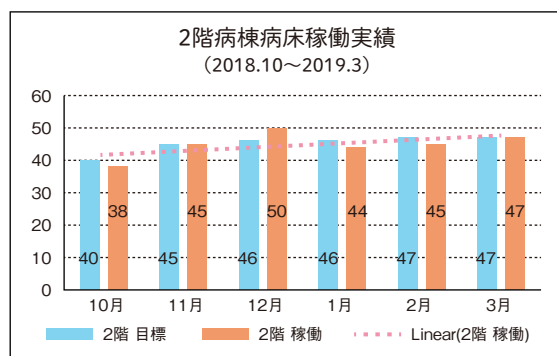
(ウ) WLB の推進（働き続けられるための WLB 再構築）

- ㊦ 離職率は18.2% から10.8% となった。混乱の時期であったが新しい環境で定着。
- ㊩ 残業時間は看護師1人あたり5.6時間（月平均）と昨年の2倍となった。再編や電子カルテ導入による運用変更が主な要因。有給取得率74% で昨年と大きな差はなかった。
- ㊫ キャリア入職者（看護師・補助者）に対して、入職時オリエンテーションのプログラム化・施設全体で大切にする意識付け（グリーン紐）面接の充実を実施。

ウ. 2019年度目標

- (ア) 新事業の推進：稼働目標達成・新規患者獲得・患者満足度向上
- (イ) 看護の質向上：JNA ラダーの導入・教育体制の確立
（法人看護部としての教育体制の確立・強化）
- (ウ) WLB とヘルシーワークプレイスの推進：働き方改革・多様な働き方の検討

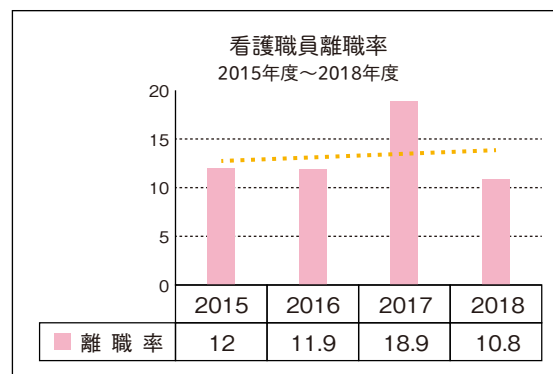
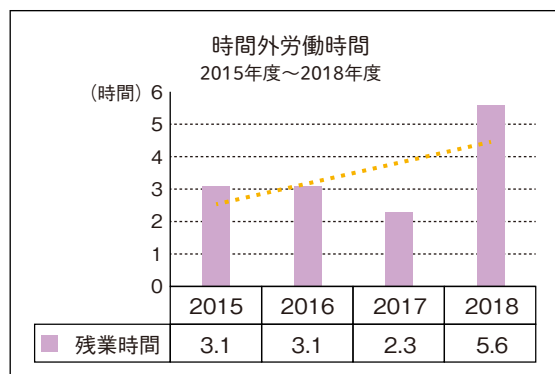
1. 病床稼働状況と入院施設基準データ



総括

2018年度は、法人再編計画の実践として、多くの取り組みをしながら、10月大きな問題もなく無事、再編のスタートを切ることができたことは大きな成果である。病床稼働（障がい者病棟）もほぼ計画値で推移した。施設基準（看護関連指標）も特に問題なし。職員の時間外労働時間は伸びたものの、離職率は下がり定着に繋がったと考える。

2.職員に関連するデータ



① 外来

科長 笠松 明美

ア. 2018年度の目標

- (ア) 法人再編計画の推進
- (イ) 新外来に向けた業務整理
- (ウ) 電子カルテ導入準備

イ. 成果

- (ア) 既存患者の法人内移行は、移行ワーキングによる情報共有および課題表出にて計画的に実施し、他施設の関連部門との協力や連携によりスムーズに行うことができた。移行患者の受入施設により、予約制導入による予約日・時間の調整、診療物品のリストアップ、診察室のレイアウト及び設定準備等、異動するスタッフとともに実施した。また、スムーズな行動や対応ができるよう移行患者への手続きに関するフローや手順票を作成することで容易にできた。
- (イ) 森之宮病院小児科外来に研修として看護師2名・MS1名が行き、CP患者の対応や業務の流れについて実際に関わることで理解を深め、課題表出および解決に向けて取り組むことができた。また、森之宮病院小児科担当看護師との協議にて議事や提案事項について確認し、業務整理および準備を行った。業務項目毎のマニュアルやフロー作成は、役割分担制にて合理的で生産性を高めることとなりスムーズな対応が可能となった。
- (ウ) 電子カルテ操作習得について、スタッフがマスターできるようにシステム担当者の協力を得、操作研修の積極的参加のため勤務調整をした。また、電子カルテ操作経験のあるスタッフから教示を受け、操作方法についてノートに書き込み、不明な点を再確認できるようにした。
診察予約ファイル運用については、診察から会計までの患者動線を視野に医事課との取り決めをした。

ウ. 2019年度の目標

- (ア) 外来としての経営意識と行動変革をする。
- (イ) 看護教育の充実
- (ウ) 広報活動の取組み

② 2階病棟

科長 坂本 久美

ア. 病棟目標

- (ア) 森之宮病院からボバース記念病院への移転後、業務がスムーズに行えるように整理し、他部署との連携を強化する。患者・家族に不安を抱かせないよう、説明を十分行う。安全・安心な環境が整えられるよう協力する。
- (イ) 専門性をより高める学習環境を整える。

イ. 成果

- (ア) 10月のボバース記念病院への移転は双方の病院関係者と患者・家族の協力で、スムーズに移転できた。12月までに病床稼働率も安定した。
- (イ) 院外研修参加（森之宮病院3階病棟実績）
 - 看護協会主催：看護協会新人会員に対する研修会 3名
 - 病気・障がいを持つ子どもと家族への看護ケア 1名
 - 虐待を受けた子どもと家族への関わり方 1名
 - 小児救急研修 1名
 - アジアボバース研究会主催：脳性麻痺多職種講習会 2名
- (ウ) 看護学生実習の受け入れ3校（森之宮病院3階病棟実績）
香里ヶ丘看護専門学校、大阪保健福祉専門学校、小阪病院看護専門学校

ウ. 今後の課題

- (ア) 整形外科の手術が多様化しているので、看護として期待に応えられるよう知識・技術の習得を強化する。
- (イ) 学校行事に影響される時期の病床稼働率の低下を、各部署と協同し軽減できるようにする。

エ. 病棟紹介

病床58床（親子入院26床・単独入院32床）を10対1の看護体制でケアしている。
2階病棟は12歳以下の小児リハビリ病棟なので、障害を持ちながらもたくましく、楽しく生活していけるよう家族にチームでアプローチしている。子ども達を皆で大切に育てていきたい、その思いは職員全員に溢れています。

③ 3階病棟

科長 長井治江

ア. 2018年度の目標

- (ア) 効率的な病床運営
- (イ) 看護の質向上

イ. 成果

(ア) ㊦ 平均患者数32床以上の確保 年間平均患者数:32.1人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
26人	23人	25人	32人	36人	34人
10月	11月	12月	1月	2月	3月
33人	32人	31人	29人	30人	33人

㊧ 障害者病棟7:3の維持 年間割合85:15

4月	5月	6月	7月	8月	9月
78:22	83:17	86:14	75:25	87:13	72:28
10月	11月	12月	1月	2月	3月
92:8	93:7	89:11	87:13	89:11	92:8

(イ) ㊦ カンファレンス

昨年度、週1回のカンファレンスデイを設け、CP患者の情報共有を行いクレームが激減した。今年度は、毎日のカンファレンスと目標をかかげたが、電子カルテ導入や手術開始に伴い、毎日カンファレンスを実施することができなかった。

㊧ 入浴週2回 ⇒ 3回

アンケートより「入浴回数を増やしてほしい」との要望が強く、7月より12月、入浴回数を週2回 ⇒ 3回とした。毎年実施していきたい。

㊨ 電子カルテ導入

大きな事故なく導入することができた。今後電子カルテ1本化をめざす。

㊩ 手術開始

大きな事故なく手術後の看護を導入することができた。今後マニュアルの充実をはかり、手術後の看護を深めていく。

ウ. 看護学術大会参加

日本リハビリテーション看護学会第30回学術大会

充実感のある入院生活への第1歩 ～ CP患者の週末の過ごし方について考える～

3階病棟 発表者:八木 祐季奈 共同研究者:稼農 悦子 前田 裕幸

エ. 2019年度の目標

(ア) 効率的な病床運営

- ㊦ 平均患者数毎月の目標値クリア
- ㊧ 障害者病棟7:3の維持

(イ) 看護の質向上

カンファレンスの充実をはかり、円滑な対応を行っていく。

(ウ) 電子カルテ1本化

(4) リハビリテーション部

① スタッフ・業務時間

ア. スタッフ数

2018年4月 PT31名 OT18名 ST8名 POST(事務)3名

2018年8・9月にはPT3名 OT4名 ST1名が森之宮病院へ教育研修で異動

2018年10月に新病院の移行のための人事異動あり

2018年10月 PT34名 OT24名 ST10名 POST(事務)5名

イ. 業務時間

平日 8:45～17:30 土曜 8:45～12:30 日曜 8:45～17:30

ウ. 業務内容

入院は、2階が7月まで回復期病棟の患者の治療を行い、その後8月9月は工事期間のため閉鎖。3階は、7月まで一般病棟(地域包括病床)の患者の治療を行い、6月に地域包括病床が閉鎖され、8月から障がい者病棟の患者の治療を行った。

10月から、2階・3階ともに障がい者病棟として運用開始となり、すべての年代の障がい者病棟の患者の治療を行った。外来リハビリテーションは、4～9月までは中学生以上の脳性まひ児・者が多く、維持期の脳血管疾患、整形疾患も対象としていた。10月以降は0歳以上高齢者までの脳性まひ児・者も含む障がい者に対する治療を行った。

介護保険では、通所リハと訪問リハを行っていた。通所リハは、2018年12月まで病院内の各部署と連携し、通所リハを行い、1月から森之宮病院へ移行。

みなし訪問リハは当院在宅ケア科と連携して、6月末まで運用し終了。9月まで在宅事業部へ出向して在宅でのリハビリテーションを実施していた。

リハビリテーションのスタッフは、入院、外来、通所リハ、訪問リハと幅広い分野で活躍していたが、10月以降は脳性麻痺を中心とした0歳から高齢者までの幅広い年齢の対象者に対してリハビリテーションを行っている。

エ. 特徴

統一した概念によるリハビリテーションを提供

当院では、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士すべてのスタッフがボバース概念を治療の基本として、対象者一人一人に合わせた機能目標を設定し、心身の機能回復、日常生活活動の向上や家庭や学校・職場の環境設定や復帰への援助を行っている。

ボバース概念とは、イギリスの医師である故カレル・ボバース博士と理学療法士のベルタ・ボバース夫人により開発された治療概念である。脳や脊髄といった中枢神経系の可塑性を活用し、中枢神経疾患をもつ方々の機能改善を目指す治療である。この概念は、小児から成人、病院から在宅まで幅広い分野の対象者に対して対応が可能である。

オ．特色

地域との連携からライフステージを考えた脳性まひ児者の治療へ

地域住民が住み慣れた地域での暮らしを継続できるように地域包括ケアシステムをもとにして法人内・外の連携に協力していた。それらの経験をもとに、脳性まひ児者の治療においても、0歳児から高齢者までのライフステージを考え、その時期に応じた目標設定や治療やケースカンファレンスなど多職種で連携しながら進めてきた。また、院内だけでなく、ご家族や地域スタッフとの包括的な連携も今後進めていく。

脳性まひ児者の入院や外来リハも増え、心身の機能回復や日常生活活動の向上だけでなく、学校や職場や地域での生活を円滑に行うための介助方法や福祉機器導入なども幅広い援助方法を検討していく。

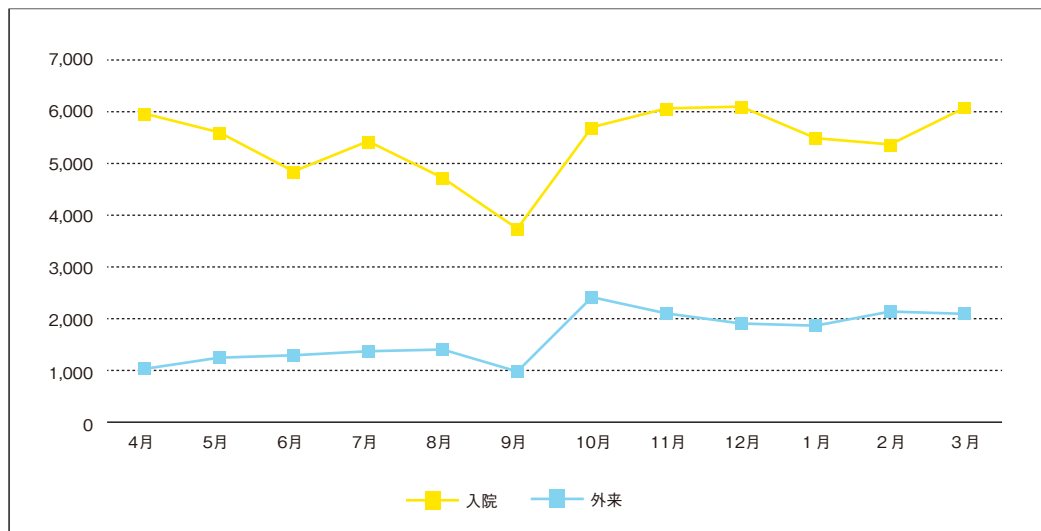
② 次年度（2019年度）への課題・目標

法人の再編後、大きな人事異動があり、職員のローテーション体制も始動した。脳性まひプロジェクトが始動してから、小児領域の評価の整備、カンファレンスのシステム構築、脳性まひ児者を担当できる若手スタッフの育成などを行ってきた。今後、適正な人員配置や安定した収益を維持するため、管理職にて中期目標を設定した。また、新たな課題解決に向けて、すべてのスタッフが積極的にかかわり、新体制による実績および研究を確実に積み重ねていくことが目標である。

ア．実績

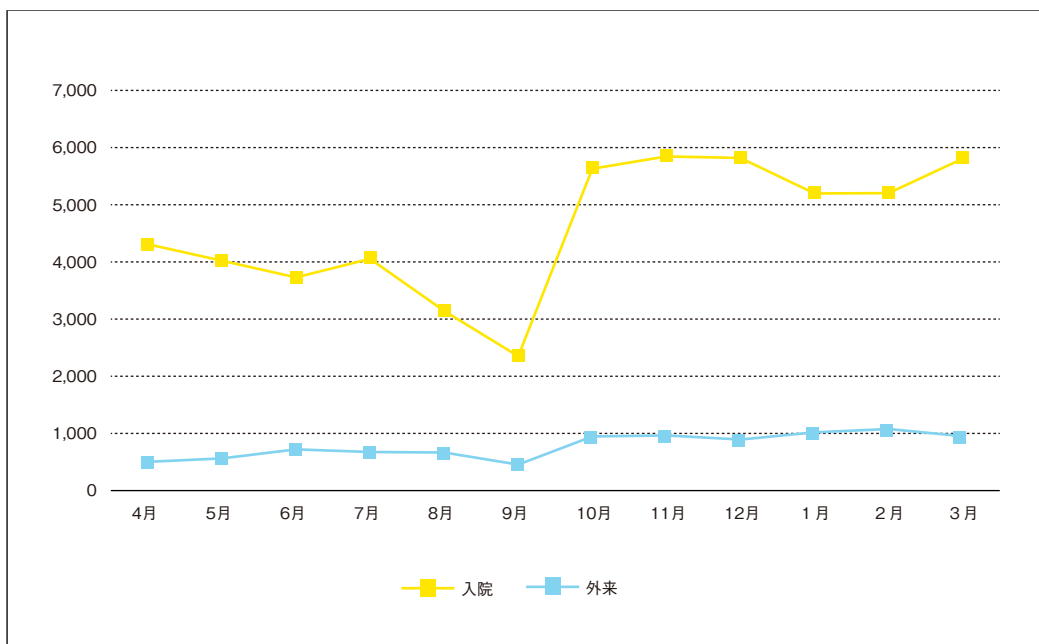
（ア）2018年度 PT 科単位数推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院	5,965	5,603	4,848	5,430	4,721	3,740	5,701	6,065	6,099	5,489	5,368	6,078
外来	1,030	1,246	1,293	1,371	1,404	979	2,416	2,102	1,907	1,865	2,138	2,093



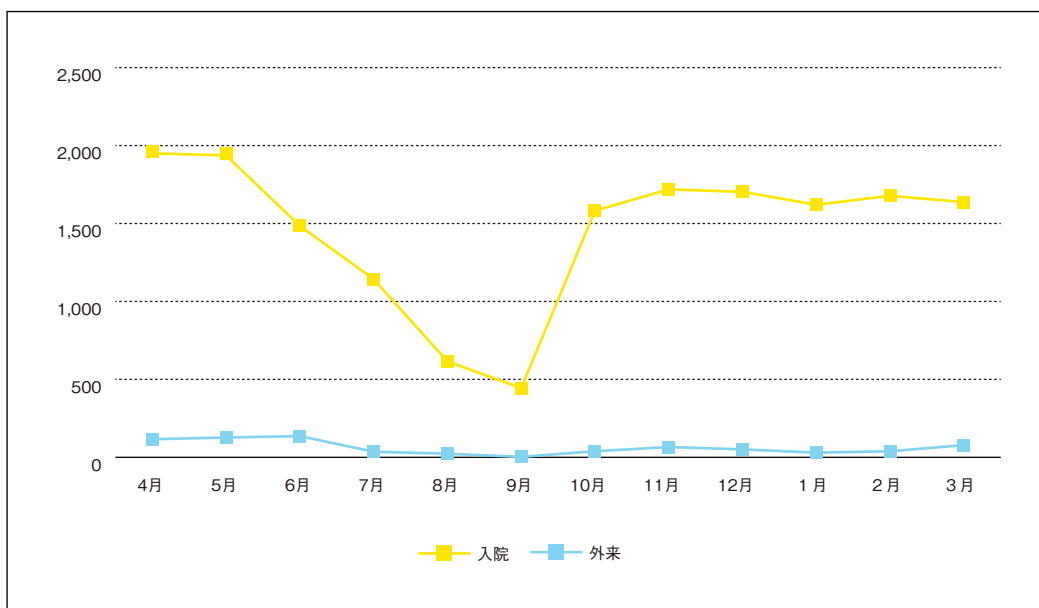
(イ) 2018年度 OT 科単位数推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院	4,309	4,022	3,729	4,054	3,143	2,351	5,630	5,845	5,818	5,198	5,203	5,807
外来	503	563	721	675	666	455	947	965	893	1,019	1,077	951



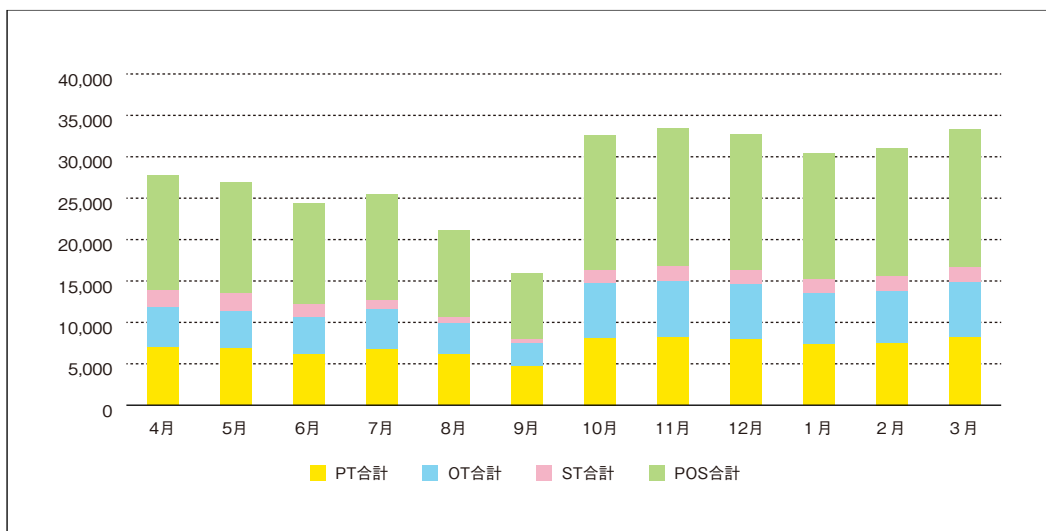
(ウ) 2018年度 ST 科単位数推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院	1,950	1,937	1,485	1,143	615	444	1,582	1,719	1,703	1,620	1,678	1,637
外来	116	127	136	36	23	3	39	66	51	30	39	78



(エ) リハビリテーション部単位数推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
PT 合計	6,995	6,849	6,141	6,801	6,125	4,719	8,117	8,167	7,931	7,354	7,506	8,171
OT 合計	4,812	4,585	4,450	4,729	3,809	2,806	6,577	6,810	6,654	6,217	6,280	6,758
ST 合計	2,066	2,064	1,621	1,176	638	437	1,621	1,785	1,754	1,650	1,717	1,715
POS 合計	13,873	13,498	12,212	12,706	10,572	7,962	16,315	16,762	16,339	15,221	15,503	16,644



イ. 教育研修体制

4月から7月までの期間は、スタッフ全員が脳性麻痺に対する治療を円滑に進めていく為、脳性まひ児に関する講義および実技を行った。また、講習会・研修会の報告や医師による講義も行った。

8・9月教育研修のため人員が減ったことや新病院の工事や引っ越しに向けての準備に時間が必要であった為、8～11月まで定期的な勉強会はお休みしていた。

12月以降の勉強会の内容（表を参照）

		全体 / 科別		内容	講師
12月	13	全体	講義	機器の種類・調整	PT 吉田 / OT 吉田
	17		講義	整形外科手術について	吹上医師
	27	各科	討議	装具、自助具などの考え方	各科
1月	16	全体	講義	脳画像の見方	平井医師
	23	全体	討議	症例検討（平井先生）	平井医師
2月	13	全体	講義	タイプ別 痙直型	
	27	各科	討議	移動、視知覚、学習（PTOTST 別）	各科
3月	13	全体	講義	タイプ別 重度痙直型	
	27	各科	討議	移動、姿勢管理、上肢機能、IT（PTOTST 別）	各科

(5) 診療技術部

① 薬剤科

ア. スタッフ体制

常勤薬剤師4名（森之宮病院からの応援体制あり）

認定実務実習指導薬剤師 2名

イ. 業務内容

（ア）調剤業務

主に入院患者を対象とし、薬の有効性、安全性を確保して適正な使用を推進するべく医師の処方せんに基づく薬剤の調整をおこなっている。

（イ）病棟薬剤業務

一部病棟に担当薬剤師が常駐し、病棟における処方提案、医薬品の管理、薬歴管理等によりチーム医療を通して入院患者の薬物治療が効率良く安全に行われるよう薬学的な観点からの充実したサポートを行うなどしている。

（ウ）薬剤管理指導業務

服薬指導など直接的な関わりを通して、薬剤情報の提供（薬効・用法用量、使用方法の説明、副作用等）及び精神面の支持（患者の不安等の傾聴・共感等）により、入院生活あるいは退院後の薬物療法にかかるQOL（患者の生活上の人としての満足感）の向上に貢献する。また、服薬指導を通じて薬物療法にかかる患者のアドヒアランス（患者が積極的に治療方針の決定に参加し、これに従って治療を受けること）の向上を目指す。

（エ）DI（医薬品情報管理）業務

医薬品情報を迅速かつ正確に収集、管理し、医療従事者ならびに患者への情報提供を通じ、良質かつ適正な薬物療法の発展をはかり、医療の向上と効率化に寄与している。

（オ）医薬品管理業務

医薬品の購入（発注、納品、検品）、在庫管理（適正在庫、先入れ先出し、品質管理、棚卸し）、供給管理（各部署への定数配置）等を行い、滞りない医薬品の払い出し、適正在庫によるコスト削減や品質保持、薬品の定数化によるトータル的な薬品管理に努めている。

（カ）各種マニュアルの整備

安心・安全な業務を行うために科内調剤・服薬指導マニュアル、医薬品安全使用のための業務手順書、抗菌薬適正使用マニュアル、輸血マニュアル等を作成している。

（キ）薬薬連携

近隣調剤薬局との定期的な連絡会を開催し、2018度は計7回の実施に至る。

(ク) 各種委員会活動

医薬品審議・医療安全・感染防止・栄養・診療情報管理・患者サービス等の各種委員会に参加し、病院機能の向上に努めている。

(ケ) 薬学生の長期実務実習の受け入れ

薬学生の長期実務実習(12週間)の受け入れをおこなっている。

ウ. 業務実績

(ア) 2018年度処方箋枚数

	外来処方箋枚数		入院処方箋枚数	入院注射箋枚数
	院外	院内		
4月	1,065	0	376	58
5月	964	0	316	55
6月	644	0	252	17
7月	303	0	241	21
8月	330	0	132	2
9月	180	0	137	0
10月	175	5	451	39
11月	158	4	429	81
12月	125	7	467	97
1月	138	8	354	92
2月	150	4	421	52
3月	109	6	540	90

(イ) 2018年度薬剤管理指導件数

	服薬指導実件数	服薬指導算定件数		麻薬加算件数(50点)	退院時服薬指導実件数	退院時服薬指導算定件数(90点)
		380点	325点			
4月	100	16	49	0	38	24
5月	92	21	41	0	33	19
6月	92	29	36	0	30	17
7月	103	29	59	0	45	35
8月	80	38	38	0	34	32
9月	55	17	38	0	27	26
10月	72	7	61	0	31	29
11月	65	10	43	0	15	14
12月	71	13	48	0	29	27
1月	55	11	39	0	13	13
2月	70	13	41	0	18	16
3月	90	14	57	0	28	28

(ウ) 薬学実習生実務実習受け入れ

第2期(8/6～10/28)1名 武庫川女子大学

第3期(11/5～2/3)1名 武庫川女子大学

エ. 教育研修

(ア) 科内勉強会の開催: 月2回程度実施 計23回

(イ) 院外講習会への参加: 近畿厚生局、大阪府保険医協会、大阪府病院薬剤師会、製薬会社主催講演会などへの参加

オ. 今後の展望

- ・ 薬剤管理指導業務の充実
- ・ 病棟薬剤業務における多職種連携
- ・ 薬品在庫・発注管理の徹底
- ・ DI 業務の充実
- ・ 各種講習会への参加
- ・ 各種マニュアル等の改訂・作成

② 検査科

ア. 活動報告

(ア) スタッフの体制

㊦ 嘱託臨床検査技師1名、非常勤臨床検査技師2名

(イ) 保有資格

㊦ 臨床検査技師3名

(ウ) 業務内容

ボバース記念病院、大道クリニック、介護老人施設グリーンライフの検体で以下の検査をボバース記念病院検査室で実施している。

㊦ 検体検査

- ・ 生化学検査(生化学I、II・薬物濃度)(10月から一部外注委託)
- ・ 血液学検査(10月から一部外注委託)
- ・ 免疫学検査(感染症・腫瘍マーカー)(10月から一部外注委託)
- ・ 凝固検査(10月から一部外注委託)
- ・ 尿検査
- ・ 便検査
- ・ 迅速検査(インフルエンザなど)

㊦ 外来採血業務(2015年12月から中止)

(エ) その他

㊦ 各種委員会の参加

臨床検査適正化委員会

また法人衛生委員会、感染防止委員会からの職員健診・入職時ウイルスワクチン接種計画

院内感染状況の把握などを主導している。

- (オ) 教育・研修
 - ・検査科内勉強会（不定期に実施）

- (カ) 今後の展望
 - ・チーム医療への参加
 - ・検査依頼件数確保へのPR
 - ・森之宮病院検査室との連携

③ 画像診断科

ア. 2018年度活動報告

(ア) スタッフの体制

- ㊦ 常勤診療放射線技師3名
 - ・取得資格 ア.放射線管理士（1名）
 - 常勤臨床検査技師 2名 パート1名
 - ・取得資格 ア.超音波検査士（腹部領域3名）

(イ) 業務内容

ボバース記念病院、及び大道クリニックにて以下の放射線検査、生理機能検査業務を実施している。

- ㊦ 一般撮影
- ㊧ X線テレビ検査（6月まで）
- ㊨ CT検査
- ㊩ 超音波検査（消化器・循環器・体表・頸動脈）
- ㊪ 心電図・負荷心電図（マスター）・ホルター型心電図
- ㊫ 脳波・誘発電位・誘発筋電図・肺機能・血圧脈派検査
- ㊬ 眼底カメラ撮影・眼圧測定・終夜睡眠ポリグラフィー（携帯）

(ウ) その他

- ㊦ 各種委員会への参加（運営会議、医療安全、院内勉強会、院内レクリエーション、法人広報推進委員会、法人互助会）

(エ) 特徴

- ㊦ 法人内（主に3施設）にて約半年～1年の期間で主には技術取得のため、異動・ローテーションを行っている。このことにより、突然の人員不足にも対応可能となる。

(オ) 教育・研修

- ㊦ 院内：法人内生理検査勉強会（月1回）
- ㊧ 院外：超音波医学会学術集会（地方会）参加
超音波検査学会学術集会（地方会）参加
大阪腹部超音波研究会参加
大阪超音波研究会参加

南大阪超音波研究会（月1回）参加
PSG 研究会参加

（カ）実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般撮影	190	194	114	96	127	67	268	307	285	261	251	355
胃透視	1	0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
注腸	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ST 食道透視	0	0	0	—	—	—	0	0	0	3	2	0
CT	63	63	42	21	24	1	0	4	6	8	2	11
心電図	65	83	46	23	36	11	24	18	19	23	18	29
脳波	2	1	1	2	0	0	11	8	17	9	11	12
腹部エコー	50	66	11	4	2	0	1	1	0	2	1	2
心エコー	4	3	5	2	4	0	0	0	2	1	1	1
頸動脈エコー	22	6	8	5	5	0	0	0	0	0	0	0
CAVI	3	1	1	0	3	0	0	0	1	0	0	0
眼底	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（キ）次年度への課題・目標

- ・施設間交流の活発化
- ・各種研修会への参加
- ・資格の取得（主に超音波検査士）
- ・接遇の向上
- ・各種マニュアル等の改訂・作成
- ・新体制に向けてのスキルアップ

④ 栄養サービス科

ア. スタッフ・業務体制

病院側：管理栄養士2名

委託側：管理栄養士2名

調理師 2名（嘱託1名）

調理補助 5名（パート5名）

イ. 業務内容

- （ア）給食管理 ・小児・離乳食と嚥下食の新設。
- ・食数管理
 - ・献立管理（確認及び提供内容のチェック）
 - ・嗜好調査の実施（2回／年）

- （イ）栄養管理 ・入院患者栄養管理計画書の作成
- ・入院患者栄養アセスメント業務

- (ウ) 栄 養 指 導 ・入院食事指導(退院時含む)・外来食事指導
 ・大道クリニック外来栄養指導
 ・大道クリニック透析患者(ベッドサイド)栄養指導

- (エ) 委員会の運営 ・参加 栄養委員会、NST 委員会(非算定)、褥瘡委員会

- (オ) そ の 他 ・健康教室の運営(外部講師の依頼、軽食準備等)
 ・帝国ホテルクリニック栄養アドバイス業務の実施
 (森ノ宮病院栄養サービス科と協働)

ウ. 業務実績

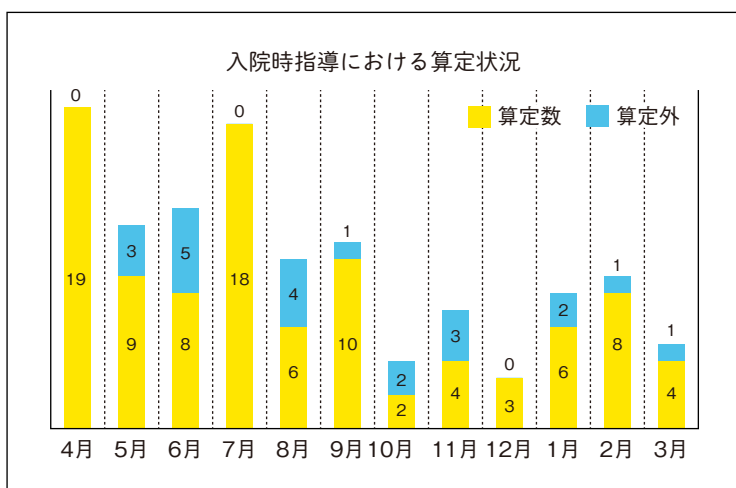
(ア) 当院栄養指導件数

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	19	12	13	18	10	11	4	7	3	8	8	5	118
外来	0	1	1	1	1	2	1	0	0	0	0	0	7
合計	19	13	14	19	11	13	5	7	3	8	8	5	125

(イ) 大道クリニック栄養指導件数

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
透析	5	2	7	6	8	4	3	5	3	3	9	8	63
他	1	1	3	0	1	0	7	3	0	0	0	0	16
合計	6	3	10	6	9	4	10	8	3	3	9	8	79

(ウ) 入院時指導における算定状況



(エ) 帝国ホテルクリニックアドバイス業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ボバース	19	9	4	13	4	0	0	0	0	0	0	0	49

エ. 今後の展望

(ア) 栄養指導件数

- ㊦ 当院栄養指導：入院10件
- ㊧ 大道クリニック透析外来：7件
- ㊨ 入院指導の実施率目標：100%

(イ) 院内約束食事箋の見直しと調整

(ウ) 離乳食・嚥下食の災害時用備蓄食の選定

(エ) 研修会への積極的な参加

各種学会及び各種研修会に積極的に参加し、研鑽に励む

(6) 事務部

① 体制

事務部長1名、主任5名、常勤職員10名、パート職員1名

(内、庶務・施設3名、医療クラーク2名、診療情報管理士1名、医局秘書1名)

② 病院再編成

- ・大阪市保健所に病院開設許可事項一部変更許可申請書を作成し、許可を受ける。
- ・病院再編成に伴い近畿厚生局への届出・辞退届け(出し直し含む)を行う。

③ 脳性まひ講演会の運営

脳性まひの方とそのご家族、他関係機関の職員を対象に、当法人の医師やスタッフが講師となり、医療機関と患者、ご家族が双方向で交流できる場を目指した。

日程	テーマ	講師
2018年5月12日	脳性まひの方と家族の心理的問題	小松心理士
2018年8月25日	思春期・成人後のリハビリテーションとその効果	荒井院長 / 永島教育主幹
2018年10月27日	これからの脳性まひ治療 ～ボバース記念病院が目指すもの～	荒井院長
2019年1月19日	よくわかる脳性まひの整形外科 ～検診、予防そして手術治療～	吹上医師

④ 大阪市重症心身障がい児者等医療短期型入所

- ・2019年度大阪市重症心身障がい児者等医療型短期入所実施機関登録を行う。
- ・障がい福祉サービス等情報公表システムの登録を行う。

⑤ 近畿厚生局による適時調査

2019年3月22日に行われた近畿厚生局指導監査課による施設基準に係る適時調査の資料準備と当日対応を行う。

⑥ 診療報酬明細書の作成

		2018.4	2018.5	2018.6	2018.7	2018.8	2018.9	2018.10	2018.11	2018.12	2019.1	2019.2	2019.3
入院	基金	41	39	36	54	63	45	82	98	116	96	100	136
	国保	24	21	20	19	16	19	37	29	31	23	29	28
	後期高齢	30	25	23	16	4	4	2	3	3	3	3	0
	合計	95	85	79	89	83	68	121	130	150	122	132	164
外来	基金	487	505	450	373	362	259	632	689	660	650	654	766
	国保	333	341	273	191	196	132	176	172	170	162	165	181
	後期高齢	420	392	274	85	96	63	9	10	7	8	3	9
	合計	1,240	1,238	997	649	654	454	817	871	837	820	822	956

⑦ 電子カルテの導入

- ・医事会計システムとの連動。
- ・点数マスタの整備。
- ・同法人森之宮病院との患者 ID 統合。

⑧ 庶務・施設・医局秘書業務

- ・入職時及び定期健康診断業務。定期健康診断後の指導票作成対応。
- ・職員に対する各種ワクチン接種の受付。
- ・ストレスチェック実施、回収、結果報告。
- ・院内不在者投票、最高裁判所裁判官国民審査。
- ・2018年6月と12月の年2回自衛消防訓練を実施。
- ・施設管理。
- ・秘書業務。

⑨ 医療クラーク・診療情報管理業務

- ・書類作成の補助業務。
- ・計画書作成・管理。
- ・患者及び職員満足度調査を実施。回収後、分析。
- ・診療情報管理委員会の月1回定例会議の開催。
- ・入院及び退院患者情報の登録。
- ・入院診療計画書及び退院サマリーの管理。
- ・データ登録及び提出業務（データ提出加算）。
- ・書類等の管理業務。

⑩ 今後の展望

2018年10月より病院機能が転換され、より特殊性・専門性を有する事務能力が求められることになった。

今後の医療行政動向の把握は勿論、障がい者医療・介護の動向をより深く注視しながら事務職として各個人のスキルアップと人材育成に力をいれ、病院運営に積極的寄与していける部門と位置付けたい。

(7) 全体研修会

2018年度 院内勉強会スケジュール

	日時	演題	講師	対象
第68回	2018年5月15日	保険点数改正について	山城 伸一主任（事務部）	全職員
第69回	2018年6月19日	職員向け4種ワクチン接種について	佐久間 備子主任（薬剤科）	全職員
第70回	2018年7月17日	医療安全管理委員会からの報告	医療安全管理委員 湯川 智子科長 稼農 悦子主任 千崎 星嘉科員（3階） 宇野 春菜科員（2階） 柴田 由季科員（外来） 小室 美智子科長 （リハビリテーション部） 稲井 敬子科長（薬剤科）	全職員
第71回	2018年9月18日	トランスファーについて	永島 智里教育主幹 （リハビリテーション部）	全職員
特別回	2019年1月15日	人権問題の基本的理解	大阪企業人権協議会 金井 敬三様	全職員
第72回	2019年3月12日	小児領域における感染症とワクチンについて	保科 明子主任（看護部2階）	全職員

3. 統計

2018年度（2018年4月1日から2019年3月31日）の疾病統計について

※2018年10月1日より、病院機能変換にて診療科が変更となっている

退院患者数 657件

ア. 診療科別・疾病別患者数

神経系 426件（全退院患者の 64.8%）

そのうち脳性麻痺が 375件であった

（四肢麻痺 83件、両麻痺 146件、片麻痺 24件、アトニー 107件、失調 11件、その他 4件）

イ. 疾病別・在院日数別患者数

神経系では在院期間 9～61日が 356件と 83.6%を占めている

ウ. 疾病別・年齢階層別患者数

神経系では0～29才が 375件で 88.0%であった

全退院に占める70才以上の割合は 65件で 9.9%であった

全退院における平均年齢は 25.7才であった

エ. 診療圏別患者数

城東区 45件、大阪市 187件、東大阪市 37件、大阪市を除く大阪府 217件、
他府県 253件であった（兵庫県 117件）

全体に占める割合は

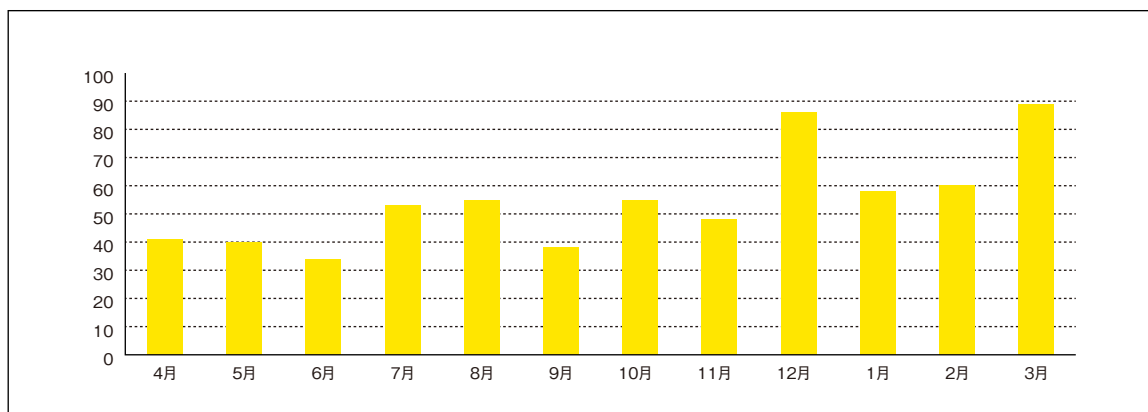
城東区 6.8%、大阪市 28.5%、東大阪市 5.6%、大阪市を除く大阪府 33.0%、
他府県 38.5%であった（兵庫県 17.8%）

オ. 平均在院日数			
全体	36.5日	脳性麻痺患者 全体	28.3日
整形外科	31.3日	四肢麻痺	28.6日
小児科	28.2日	両麻痺	30.1日
リハビリテーション科	48.3日	片麻痺	23.4日
神経内科	76.2日	アトピー	27.0日
		失調	28.8日
		その他	22.3日

(1) 退院患者数に関する資料

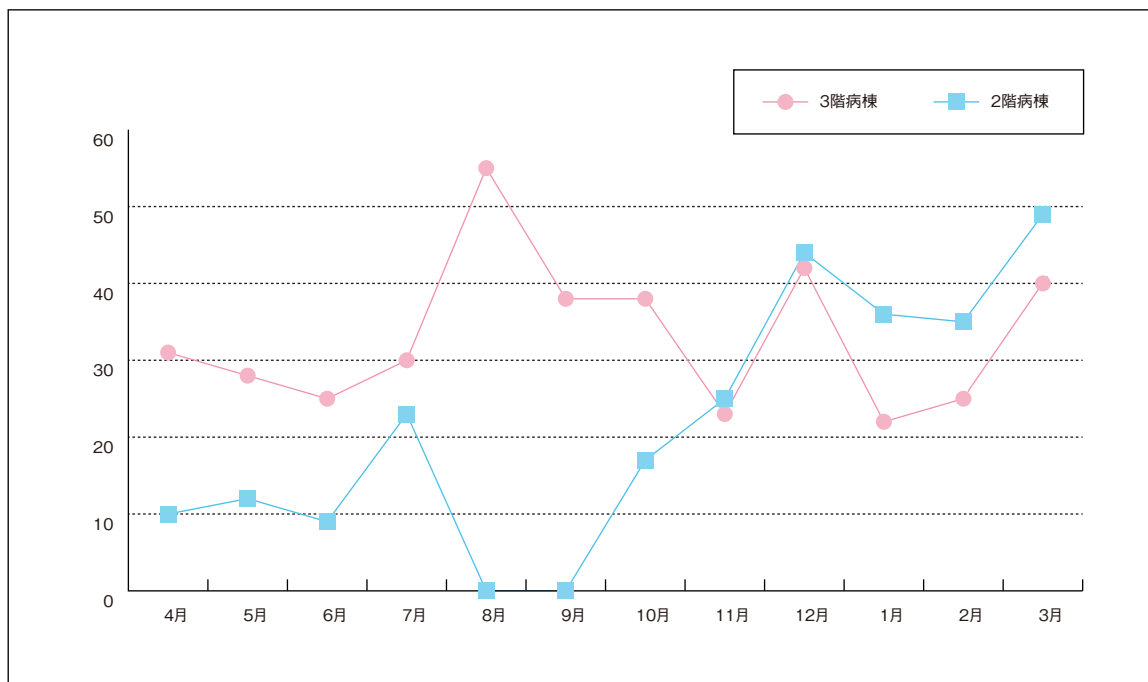
① 診療科別 月別患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
整形外科	0	3	10	12	15	12	13	19	23	25	24	35	191
小児科	19	17	7	15	35	17	40	29	62	32	33	54	360
リハビリテーション科	-	-	-	-	-	-	2	0	1	1	3	0	7
神経内科	22	20	17	26	5	9	-	-	-	-	-	-	99
計	41	40	34	53	55	38	55	48	86	58	60	89	657



② 病棟別 月別患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2階病棟	10	12	9	23	-	-	17	25	44	36	35	49	260
3階病棟	31	28	25	30	55	38	38	23	42	22	25	40	397
計	41	40	34	53	55	38	55	48	86	58	60	89	657



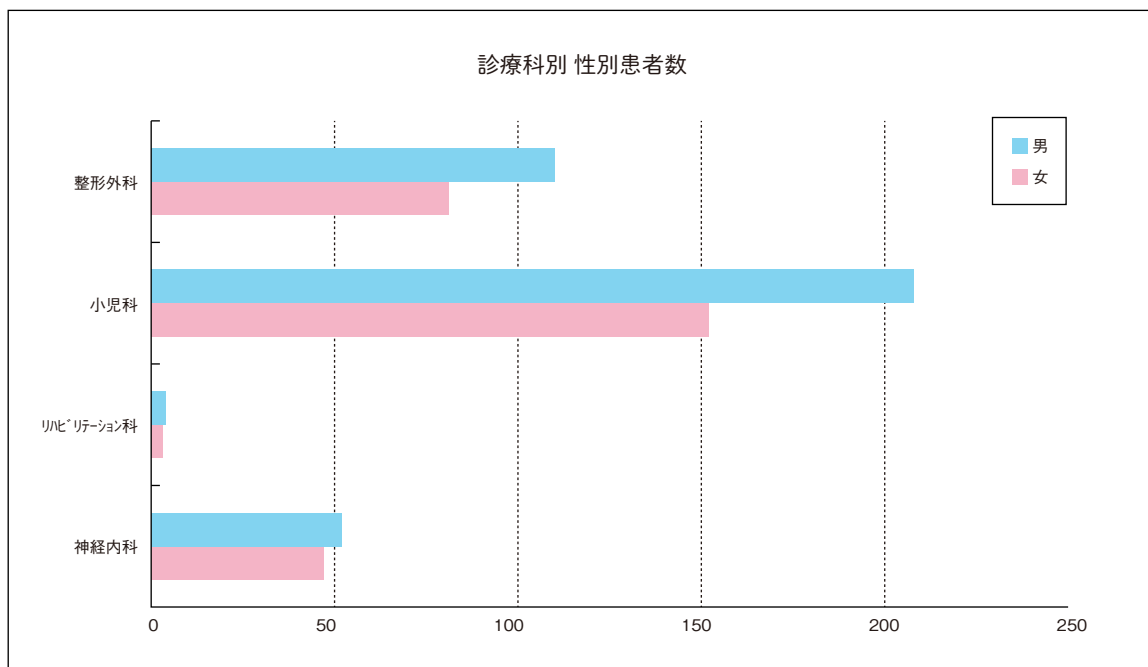
③ 診療科別 在院日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
整形外科	0	45	270	406	383	351	292	398	794	769	1,316	945	5,969
小児科	356	399	184	325	724	340	1,028	860	2,027	1,034	1,202	1,675	10,154
リハビリテーション科	-	-	-	-	-	-	61	0	21	36	220	0	338
神経内科	1,184	1,432	1,413	2,894	335	286	-	-	-	-	-	-	7,544
計	1,540	1,876	1,867	3,625	1,442	977	1,381	1,258	2,842	1,839	2,738	2,620	24,005

	件数	延在院日数	平均在院日数
整形外科	191	5,969	31.3
小児科	360	10,154	28.2
リハビリテーション科	7	338	48.3
神経内科	99	7,544	76.2
計	657	24,005	36.5

④ 診療科別 性別患者数及び死亡患者数

	退院患者数				死亡患者数			
	男	女	計	%	男	女	計	%
整形外科	110	81	191	29.1	0	0	0	-
小児科	208	152	360	54.8	0	0	0	-
リハビリテーション科	4	3	7	1.1	0	0	0	-
神経内科	52	47	99	15.1	0	0	0	-
計	374	283	657	100.0	0	0	0	0.0



⑤ 診療圏別患者数

大阪市内	計
北部ブロック	淀川区 10
	東淀川区 7
	北区 4
	都島区 9
	旭区 18
	計 48
西部ブロック	西淀川区 3
	此花区 3
	福島区 7
	港区 5
	西区 7
	大正区 2
	計 27
東部ブロック	中央区 3
	浪速区 0
	天王寺区 1
	城東区 45
	鶴見区 20
	東成区 16
	生野区 11
	計 96
南部ブロック	西成区 1
	阿倍野区 1
	住之江区 2
	住吉区 2
	東住吉区 1
	平野区 9
	計 16
合計	187

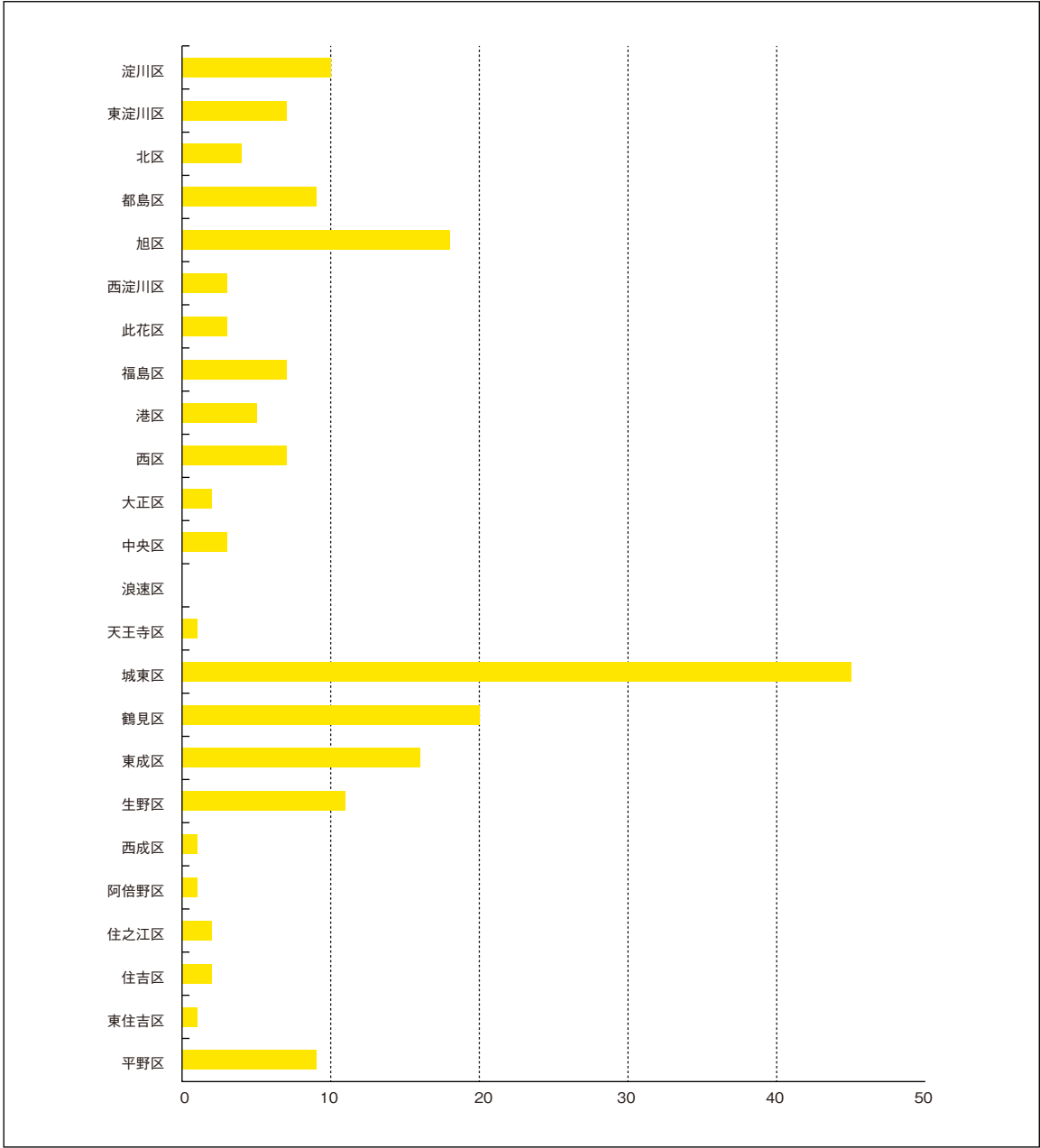
その他	計
住所不定	0
韓国	0
合計	0

総合集計	計
北海道地方	1
東北地方	0
北陸地方	7
関東地方	8
中部地方	34
近畿地方	577
中国地方	11
四国地方	14
九州地方	2
沖縄地方	3
その他	0
総計	657

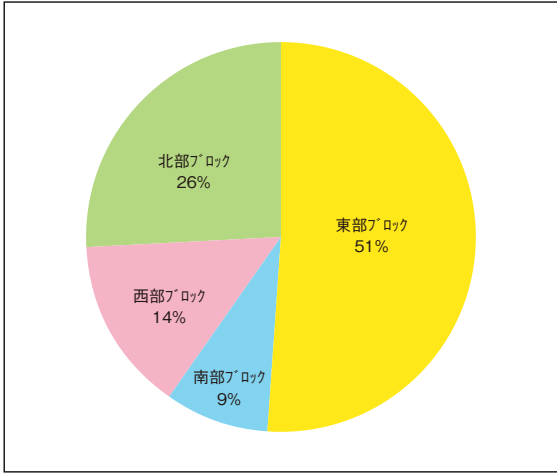
大阪府内	計
大阪府地域	大阪市 187
豊能地域	豊能郡 2
	池田市 3
	箕面市 9
	豊中市 11
	吹田市 17
	計 42
三島地域	茨木市 9
	摂津市 1
	高槻市 17
	三島郡 1
	計 28
北河内地域	守口市 4
	門真市 8
	寝屋川市 21
	大東市 12
	枚方市 14
	交野市 3
	四條畷市 3
	計 65
中河内地域	東大阪市 37
	八尾市 15
	柏原市 1
	計 53
南河内地域	松原市 2
	藤井寺市 0
	羽曳野市 1
	大阪狭山市 0
	富田林市 0
	南河内郡 0
	河内長野市 0
	計 3
堺市地域	堺市 11
泉州地域	高石市 0
	泉大津市 0
	泉北郡 0
	和泉市 1
	岸和田市 9
	貝塚市 0
	泉佐野市 2
	泉南市 3
	阪南市 0
	泉南郡 0
	計 15
合計	404

都道府県別	計
北海道地方	北海道 1
東北地方	青森県 0
	岩手県 0
	宮城県 0
	秋田県 0
	山形県 0
	福島県 0
	計 0
北陸地方	長野県 1
	新潟県 2
	富山県 1
	石川県 1
	福井県 2
	計 7
関東地方	茨城県 0
	栃木県 0
	群馬県 0
	埼玉県 0
	千葉県 0
	東京都 5
	神奈川県 2
	山梨県 1
	計 8
中部地方	岐阜県 7
	静岡県 4
	愛知県 13
	三重県 10
	計 34
近畿地方	滋賀県 6
	京都府 28
	大阪府 404
	兵庫県 117
	奈良県 13
	和歌山県 9
	計 577
中国地方	鳥取県 0
	島根県 1
	岡山県 1
	広島県 7
	山口県 2
	計 11
四国地方	徳島県 9
	香川県 5
	愛媛県 0
	高知県 0
	計 14
九州地方	福岡県 1
	佐賀県 0
	長崎県 1
	熊本県 0
	大分県 0
	宮崎県 0
	鹿児島県 0
	計 2
沖縄地方	沖縄県 3
合計	657

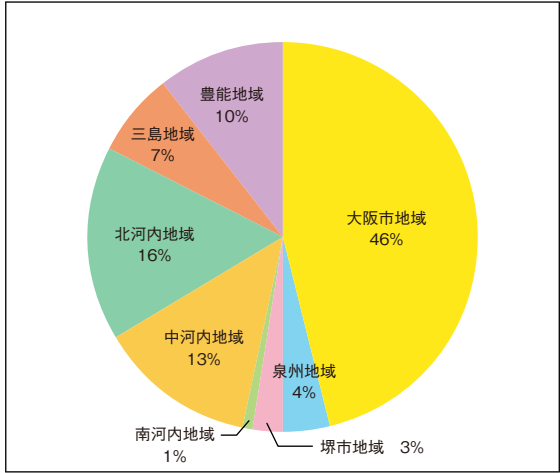
大阪市内患者数



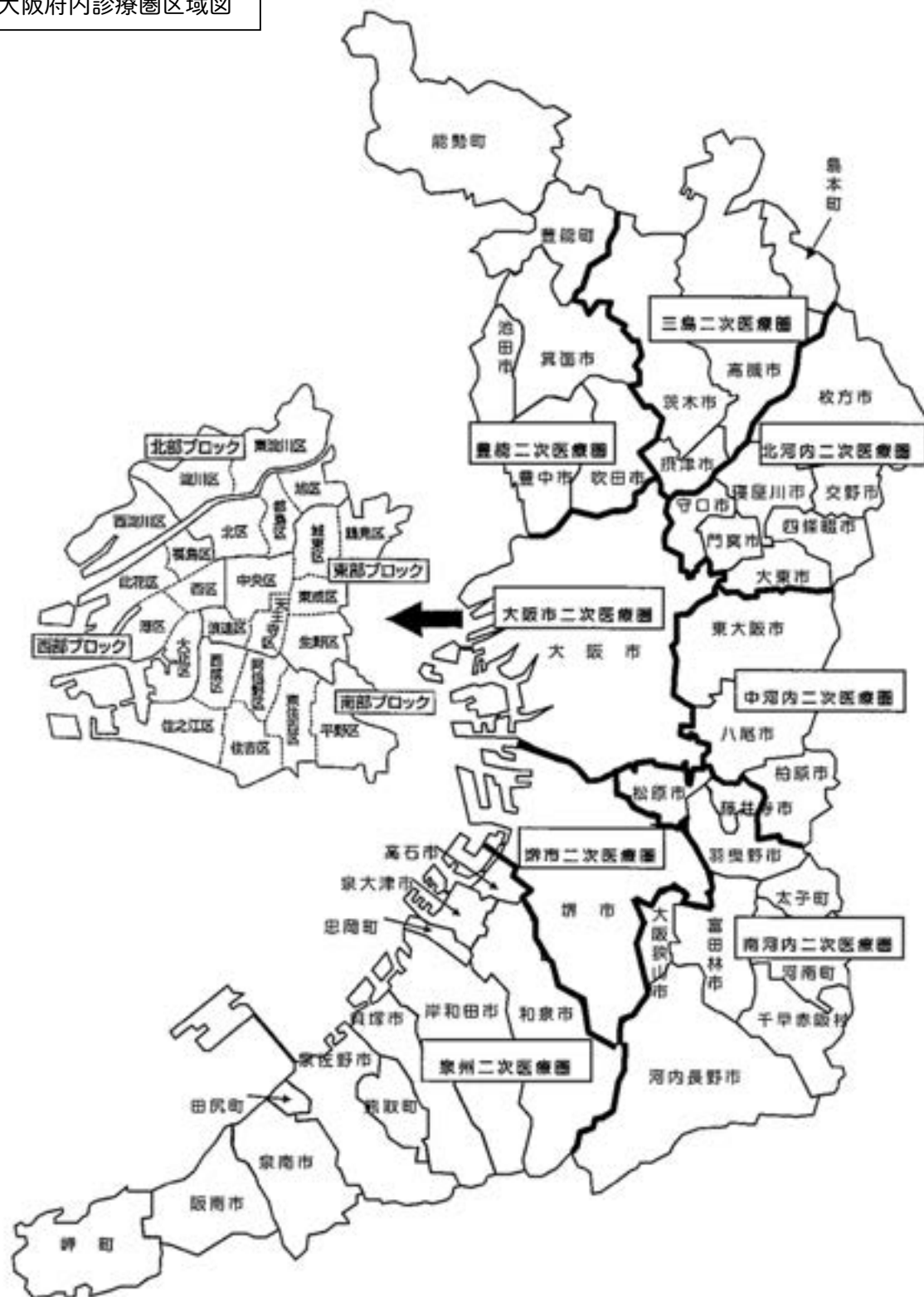
大阪市内分布図



大阪府内分布図

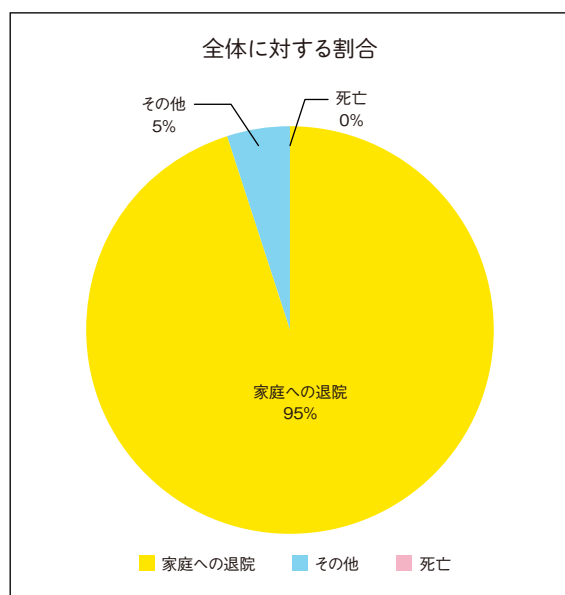


大阪府内診療圏区域図



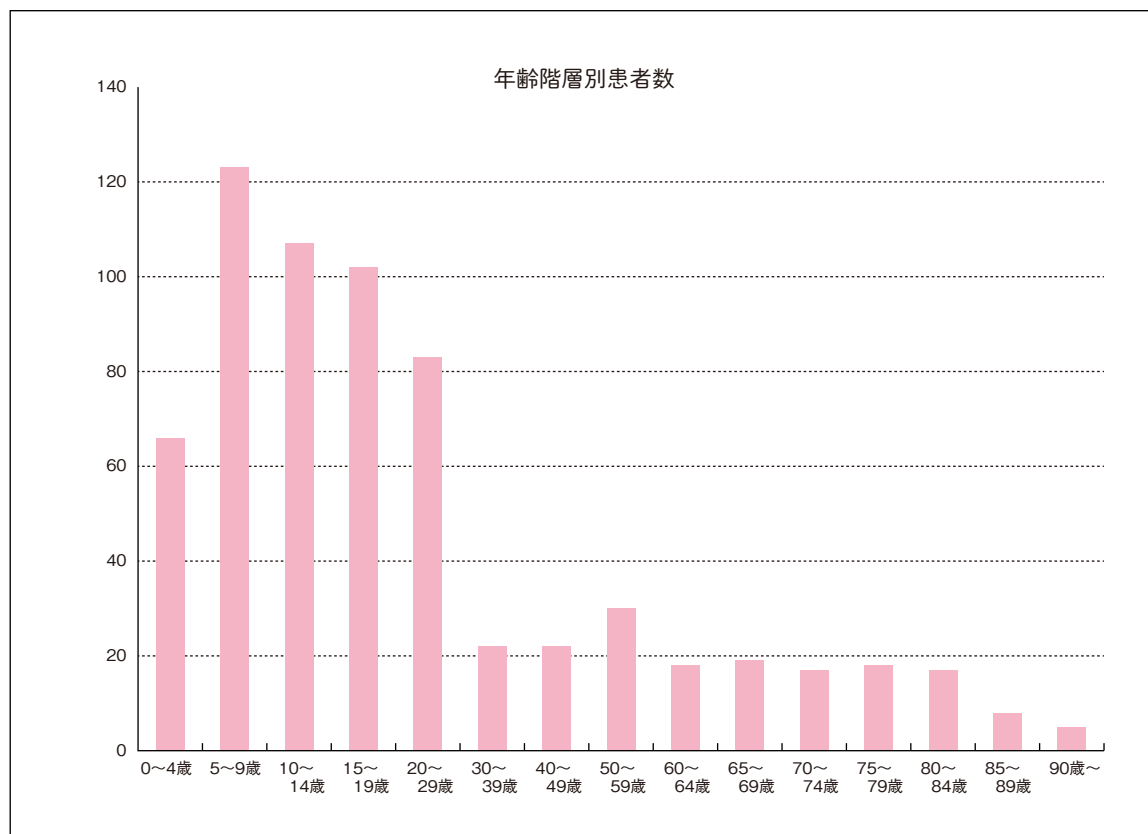
⑥ 診療科別 退院後の転帰

		整形外科	平均在院 日数	小児科	平均在院 日数	リハビリ テーション科	平均在院 日数	神経内科	平均在院 日数	総数	平均在院 日数
家庭への退院	当院に通院	175	30.1	352	28.0	3	62.3	37	61.6	567	31.0
	他院に通院	12	50.6	5	44.0	3	43.3	37	56.8	57	53.6
	その他	1	8.0	0	-	0	-	0	-	1	8.0
	小計／平均	188	31.3	357	28.3	6	52.8	74	59.2	625	33.1
その他	病院への転院	1	36.0	3	19.0	0	-	15	115.7	19	96.2
	介護老人保健 施設に入所	1	23.0	0	-	1	21.0	5	160.6	7	121.0
	介護老人福祉 施設に入所	0	-	0	-	0	-	2	96.5	2	96.5
	社会福祉施設、 有料老人ホーム 等に入所	1	25.0	0	-	0	-	3	143.0	4	113.5
	その他施設	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	小計／平均	3	28.0	3	19.0	1	21.0	25	126.4	32	103.8
死亡		0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
合計		191	31.3	360	28.2	7	48.3	99	76.2	657	36.5



⑦ 診療科別 年齢階層別患者数

		0～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計	平均
整形外科	男	6	31	13	24	15	6	2	1	7	3	1	-	-	1	-	110	20.9
	女	4	24	16	7	8	-	9	5	3	2	1	-	1	-	1	81	24.0
	計	10	55	29	31	23	6	11	6	10	5	2	-	1	1	1	191	22.2
小児科	男	34	35	48	40	41	6	2	1	1	-	-	-	-	-	-	208	14.1
	女	22	33	30	30	18	5	4	8	1	1	-	-	-	-	-	152	16.2
	計	56	68	78	70	59	11	6	9	2	1	-	-	-	-	-	360	15.0
リハビリテーション科	男	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	1	-	-	4	60.8
	女	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	3	55.7
	計	-	-	-	-	-	1	2	1	-	1	-	-	2	-	-	7	58.6
神経内科	男	-	-	-	1	-	2	2	9	4	9	8	7	7	2	1	52	66.3
	女	-	-	-	-	1	2	1	5	2	3	7	11	7	5	3	47	72.3
	計	-	-	-	1	1	4	3	14	6	12	15	18	14	7	4	99	69.2
総 数	男	40	66	61	65	56	14	8	11	12	13	9	7	8	3	1	374	23.9
	女	26	57	46	37	27	8	14	19	6	6	8	11	9	5	4	283	28.2
	計	66	123	107	102	83	22	22	30	18	19	17	18	17	8	5	657	25.7



⑧ 紹介元医療機関別件数

紹介元医療機関（全体）	件数
紹介なし	531
愛染橋病院	1
石切生喜病院	1
医誠会病院	2
大阪医療センター	6
大阪警察病院	1
大阪市立総合医療センター	8
大阪赤十字病院	2
大阪病院	2
大阪労災病院	2
大手前病院	2
大道クリニック	2
奥井内科クリニック	1
関西医科大学附属病院	2
紀南病院	1
京都市立病院	1
倉田整形外科	1
神戸医療センター	1
神戸市立医療センター中央市民病院	1
国立循環器病研究センター	1
滋賀県立小児保健医療センター	1
心身障害児総合医療療育センター	1
住友病院	1
聖隷浜松病院	1
摂南総合病院	1
宝塚第一病院	1
多根総合病院	1
徳島赤十字病院	1
富永病院	1
名古屋第一赤十字病院	1
名古屋第二赤十字病院	1
奈良県総合医療センター	1
野崎徳洲会病院	1
阪和記念病院	3
東大阪病院	2
兵庫県立尼崎総合医療センター	3
兵庫県立こども病院	1
広島市立広島市民病院	1
福井大学医学部附属病院	1
福島診療所	3
舞鶴医療センター	1
三重県立子ども心身発達医療センター	1
南大阪小児リハビリテーション病院	1
森之宮病院	46
矢木脳神経外科病院	9
淀川キリスト教病院	1
わかさ竜間リハビリテーション病院	1
若草第一病院	1
計	657

⑨ 診療科別 紹介元医療機関別件数

整形外科 紹介元医療機関	件数
紹介なし	167
大阪医療センター	1
大道クリニック	2
紀南病院	1
神戸医療センター	1
滋賀県立小児保健医療センター	1
住友病院	1
森之宮病院	16
矢木脳神経外科病院	1
計	191

小児科 紹介元医療機関	件数
紹介なし	319
愛染橋病院	1
大阪市立総合医療センター	2
大阪赤十字病院	1
大阪労災病院	1
関西医科大学附属病院	1
京都市立病院	1
神戸市立医療センター中央市民病院	1
心身障害児総合医療療育センター	1
聖隷浜松病院	1
徳島赤十字病院	1
名古屋第一赤十字病院	1
名古屋第二赤十字病院	1
奈良県総合医療センター	1
兵庫県立尼崎総合医療センター	3
兵庫県立こども病院	1
福井大学医学部附属病院	1
三重県立子ども心身発達医療センター	1
森之宮病院	21
計	360

神経内科 紹介元医療機関	件数
紹介なし	41
石切生喜病院	1
医誠会病院	2
大阪医療センター	5
大阪警察病院	1
大阪市立総合医療センター	6
大阪赤十字病院	1
大阪病院	2
大阪労災病院	1
大手前病院	2
奥井内科クリニック	1
関西医科大学附属病院	1
倉田整形外科	1
国立循環器病研究センター	1
摂南総合病院	1
宝塚第一病院	1
富永病院	1
野崎徳洲会病院	1
阪和記念病院	2
東大阪病院	2
広島市立広島市民病院	1
福島診療所	3
舞鶴医療センター	1
南大阪小児リハビリテーション病院	1
森之宮病院	9
矢木脳神経外科病院	8
淀川キリスト教病院	1
若草第一病院	1
計	99

リハビリテーション科 紹介元医療機関	件数
紹介なし	4
多根総合病院	1
阪和記念病院	1
わかさ竜間リハビリテーション病院	1
計	7

⑩ 紹介先医療機関別件数

紹介先医療機関 全体 (1/2)	件数
紹介なし	531
不明	18
あさしお園	1
有馬温泉病院	1
アルカンシエル東成	1
いしやま内科整形外科	1
今林医院	1
大今里ふれあいクリニック	1
大阪医療センター	4
大阪掖済会病院	1
大阪警察病院	1
大阪市立総合医療センター	1
大阪病院	1
大阪府立障がい者自立センター	2
大阪母子医療センター	2
おおたクリニック	1
大手前病院	1
大道クリニック	6
沖縄中部療育センター	1
沖縄南部医療センター	1
荻原みさき病院	2
おくだクリニック	1
垣内小児科クリニック	1
金沢大学医学部附属病院	1
加納総合病院	1
北田医院	2
岐阜県希望ヶ丘子ども医療福祉センター	1
岐阜県総合医療センター	1
岐阜大学医学部附属病院	1
グリーンライフ	3
公道会病院	1
河野医院	1
公立陶生病院	1
済生会兵庫県病院	1
サトウ病院	3
滋賀県立小児保健医療センター	4
城東中央病院	1
称楊苑	1

紹介先医療機関 全体 (2/2)	件数
しんぐう内科クリニック	1
すいれん	1
すぎもと医院	1
大同病院	1
高槻病院	3
高橋医院	1
竹谷クリニック	1
多根総合病院	1
たわだりハビリクリニック	1
ツツミ内科循環器科	1
鶴橋診療所	1
東京都立北療育医療センター	1
徳島赤十字ひのみね総合療育センター	1
徳島大学病院	1
富永病院	1
鳥辺医院	1
名古屋市立西部医療センター	1
菜乃花	1
奈良県総合医療センター	1
西川クリニック	1
阪和第一泉北病院	1
疋田医院	1
ひびきクリニック	2
兵庫県立尼崎総合医療センター	1
兵庫県立こども病院	2
深江診療所	1
福島診療所	3
福田医院	1
牧老人保健施設	2
三重県立子ども心身発達医療センター	1
南大阪小児リハビリテーション病院	1
南京都病院	1
三好病院	1
守口佐太ラガール	1
森之宮病院	9
八尾徳洲会総合病院	1
八尾はあとふる病院	1
横山クリニック	1
計	657

⑪ 診療科別 紹介先医療機関別件数

整形外科 紹介先医療機関	件数
紹介なし	172
不明	3
いしやま内科整形外科	1
大阪医療センター	1
大阪市立総合医療センター	1
大道クリニック	1
岐阜県希望ヶ丘子ども医療福祉センター	1
岐阜県総合医療センター	1
グリーンライフ	1
滋賀県立小児保健医療センター	4
高槻病院	1
富永病院	1
兵庫県立こども病院	1
森之宮病院	2
計	191

小児科 紹介先医療機関	件数
紹介なし	326
不明	4
あざしお園	1
大阪母子医療センター	2
沖縄中部療育センター	1
沖縄南部医療センター	1
荻原みさき病院	2
垣内小児科クリニック	1
金沢大学医学部附属病院	1
岐阜大学医学部附属病院	1
公立陶生病院	1
済生会兵庫県病院	1
すぎもと医院	1
大同病院	1
高槻病院	2
多根総合病院	1
たわだりハビリクリニック	1
東京都立北療育医療センター	1
徳島赤十字ひのみね総合療育センター	1
徳島大学病院	1
鳥辺医院	1
名古屋市立西部医療センター	1
奈良県総合医療センター	1
兵庫県立尼崎総合医療センター	1
兵庫県立こども病院	1
三重県立子ども心身発達医療センター	1
南京都病院	1
森之宮病院	1
八尾徳洲会総合病院	1
計	360

神経内科 紹介先医療機関	件数
紹介なし	31
不明	11
有馬温泉病院	1
アルカンシエル東成	1
大今里ふれあいクリニック	1
大阪医療センター	2
大阪掖済会病院	1
大阪病院	1
大阪府立障がい者自立センター	2
おたクリニック	1
大手前病院	1
大道クリニック	5
おくだクリニック	1
加納総合病院	1
北田医院	2
グリーンライフ	1
公道会病院	1
河野医院	1
サトウ病院	3
城東中央病院	1
称楊苑	1
しんぐう内科クリニック	1
すいれん	1
高橋医院	1
竹谷クリニック	1
ツツミ内科循環器科	1
鶴橋診療所	1
菜乃花	1
西川クリニック	1
阪和第一泉北病院	1
疋田医院	1
ひびきクリニック	1
深江診療所	1
福島診療所	3
福田医院	1
牧老人保健施設	2
南大阪小児リハビリテーション病院	1
三好病院	1
守口佐太ラガール	1
森之宮病院	6
八尾はあとふる病院	1
横山クリニック	1
計	99

リハビリテーション科 紹介先医療機関	件数
紹介なし	2
今林医院	1
大阪医療センター	1
大阪警察病院	1
グリーンライフ	1
ひびきクリニック	1
計	7

(2) 疾病に関する資料

① 疾病別 診療科別患者数

国際分類大項目分類			総数	整形外科	小児科	リハビリテーション科	神経内科
総 数		計	657	191	360	7	99
		男	374	110	208	4	52
		女	283	81	152	3	47
I	感染症及び寄生虫症	計	2	-	2	-	-
		男	2	-	2	-	-
		女	-	-	-	-	-
II	新生物（悪性新生物）	計	1	-	-	-	1
		男	1	-	-	-	1
		女	-	-	-	-	-
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	4	1	2	-	1
		男	1	1	-	-	-
		女	3	-	2	-	1
V	精神及び行動の障害	計	2	-	2	-	-
		男	1	-	1	-	-
		女	1	-	1	-	-
VI	神経系の疾患	計	426	102	321	2	1
		男	247	60	186	1	-
		女	179	42	135	1	1
VII	眼及び付属器の疾患	計	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-
IX	循環器系の疾患	計	73	6	10	2	55
		男	41	4	5	1	31
		女	32	2	5	1	24
X	呼吸器系の疾患	計	1	-	-	-	1
		男	-	-	-	-	-
		女	1	-	-	-	1
XI	消化器系の疾患	計	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	78	45	-	2	31
		男	48	30	-	2	16
		女	30	15	-	-	15
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-
XV	妊娠、分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-
XVI	周産期に発生した病態	計	1	1	-	-	-
		男	1	1	-	-	-
		女	-	-	-	-	-
XVII	先天奇形、変形及び染色体異常	計	26	17	9	-	-
		男	7	1	6	-	-
		女	19	16	3	-	-
XVIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	計	2	2	-	-	-
		男	2	2	-	-	-
		女	-	-	-	-	-
XIX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	40	16	14	1	9
		男	23	11	8	-	4
		女	17	5	6	1	5
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービス	計	1	1	-	-	-
		男	-	-	-	-	-
		女	1	1	-	-	-
XXII	特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-

② 疾病別 在院日数別患者数

国際分類大項目分類		1～ 8日	9～ 15日	16～ 22日	23～ 31日	32～ 61日	62～ 91日	3～ 6月	6月～ 1年	1年～	総数	平均 在院 日数
I	感染症及び寄生虫症	計	2	-	-	-	-	-	-	-	2	3.0
II	新生物（悪性新生物）	計	1	-	-	-	-	-	-	-	1	6.0
III	血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	2	1	1	-	-	-	-	-	4	10.0
V	精神及び行動の障害	計	1	-	-	1	-	-	-	-	2	12.5
VI	神経系の疾患	計	43	83	80	90	103	21	5	1	426	28.9
VII	眼及び付属器の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX	循環器系の疾患	計	1	10	4	8	15	9	20	6	73	83.0
X	呼吸器系の疾患	計	-	-	-	-	-	1	-	-	1	67.0
XI	消化器系の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	14	3	7	10	19	18	7	-	78	44.4
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV	妊娠、分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI	周産期に発生した病態	計	1	-	-	-	-	-	-	-	1	8.0
XVII	先天奇形、変形及び染色体異常	計	11	5	2	2	5	-	1	-	26	21.4
XVIII	症状、徴候及び異常臨床所見・ 異常検査所見	計	-	1	1	-	-	-	-	-	2	15.5
XX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	4	9	6	7	8	2	4	-	40	36.1
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因 及び保健サービス	計	1	-	-	-	-	-	-	-	1	3.0
XXII	特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総 数			81	112	101	118	150	51	37	7	657	36.5

③ 疾病別 年齢階層別患者数

国際分類大項目分類			0才 ～4	5才 ～9	10才 ～14	15才 ～19	20才 ～29	30才 ～39	40才 ～49	50才 ～59	60才 ～64	65才 ～69	70才 ～74	75才 ～79	80才 ～84	85才 ～89	90才 ～	総数	平均 年齢
I	感染症及び寄生虫症	計	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	25.0
II	新生物（悪性新生物）	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	81.0
III	血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	18.0
V	精神及び行動の障害	計	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2.0
VI	神経系の疾患	計	50	78	91	86	70	10	17	14	6	3	-	1	-	-	-	426	17.3
VII	眼及び付属器の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IX	循環器系の疾患	計	2	2	3	-	3	2	3	10	5	10	9	8	8	6	2	73	61.3
X	呼吸器系の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	75.0
XI	消化器系の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIII	筋骨格系及び 結合組織の疾患	計	7	26	9	2	1	-	1	4	3	5	5	7	5	1	2	78	35.3
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XV	妊娠、分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI	周産期に発生した病態	計	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16.0
XVII	先天奇形、 変形及び染色体異常	計	4	14	1	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	9.0
XVIII	症状、徴候及び異常臨床 所見・異常検査所見	計	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	60.5
XIX	損傷、中毒及びその他の 外因の影響	計	1	1	3	7	3	10	1	2	2	1	3	1	3	1	1	40	41.1
XXI	健康状態に影響を及ぼす 要因及び保健サービス	計	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5.0
XXII	特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総数			66	123	107	102	83	22	22	30	18	19	17	18	17	8	5	657	25.7

④ 科別 疾病頻度順

整形外科

順位	コード	病名	件数	平均在院 日数	最高在院 日数	最低在院 日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	G801	けいこ瘻＞性両（側）麻痺型脳性麻痺	45	32.5	93	1	21.0	1,461	943
2	G803	ジスキリア性脳性麻痺	27	26.4	71	1	35.7	714	965
3	G800	けいこ瘻＞性四肢麻痺型脳性麻痺	23	25.4	65	1	14.7	585	338
4	M2435	関節の病的脱臼及び亜脱臼、 他に分類されないもの 骨盤部及び大腿	14	70.2	139	3	6.9	983	97
5	Q658	股関節部のその他の先天（性）変形	11	19.6	154	3	7.3	216	80
6	M2157	後天性わしこ鷲＞手、内反手、 鉤爪足及び内反足 足関節部及び足	10	51.8	100	1	7.5	518	75
7	I691	脳内出血の続発・後遺症	6	17.2	26	15	66.5	103	399
8	M2456	関節拘縮 下腿	5	68.2	121	36	9.8	341	49
9	M217	（四）肢不等長（後天性）	4	6.0	8	3	13.0	24	52
10	G802	けいこ瘻＞性片麻痺型脳性麻痺	3	11.0	31	1	10.7	33	32
	M9115	大腿骨頭の若年性骨軟骨症 [レッグ・ハートズ病] 骨盤部及び大腿	3	8.7	20	3	10.7	26	32
11	R252	（有痛性）けいれん＜痙攣＞	2	15.5	16	15	60.5	31	121
	S062	びまん性脳損傷	2	26.0	29	23	33.5	52	67
	S320	腰椎骨折	2	90.0	147	33	73.5	180	147
	T909	頭部の詳細不明の損傷の続発・後遺症	2	17.0	21	13	34.0	34	68
	M2199	（四）肢の後天性変形、詳細不明 部位不明	2	5.5	8	3	5.0	11	10
	M8409	骨折の変形癒合 部位不明	2	19.0	29	9	3.0	38	6
12	E752	その他のスフィンゴリドーシ	1	12.0	12	12	9.0	12	9
	G808	その他の脳性麻痺	1	29.0	29	29	45.0	29	45
	G809	脳性麻痺、詳細不明	1	8.0	8	8	63.0	8	63
	G931	無酸素性脳損傷、他に分類されないもの	1	4.0	4	4	10.0	4	10
	G934	脳症＜エンセファロパチ＜シ＞＞、詳細不明	1	23.0	23	23	15.0	23	15
	P351	先天性サイトメガロウイルス感染症	1	8.0	8	8	16.0	8	16
	Q053	仙骨部二分脊椎＜脊椎披＜破＞裂＞、 水頭症を伴うもの	1	31.0	31	31	16.0	31	16
	Q651	先天性股関節脱臼＜先天股脱＞、両側性	1	4.0	4	4	5.0	4	5
	Q660	内反尖足	1	16.0	16	16	4.0	16	4
	Q780	骨形成不全（症）	1	1.0	1	1	6.0	1	6
	Q858	その他の母斑症、他に分類されないもの	1	44.0	44	44	20.0	44	20
	Q870	先天奇形症候群、主として顔貌異常を伴うもの	1	19.0	19	19	15.0	19	15
	S141	頸髄のその他及び詳細不明の損傷	1	31.0	31	31	62.0	31	62
	S220	胸椎骨折	1	70.0	70	70	83.0	70	83
	S325	恥骨骨折	1	23.0	23	23	92.0	23	92
	S720	大腿骨頸部骨折	1	23.0	23	23	85.0	23	85
	S721	転子貫通骨折	1	50.0	50	50	11.0	50	11
	S730	股関節脱臼	1	3.0	3	3	4.0	3	4
	T093	脊髄損傷、部位不明	1	43.0	43	43	50.0	43	50
	Z470	骨折プレート及びその他の内固定器具の 除去に関する経過観察ケ	1	3.0	3	3	5.0	3	5
	M2167	足首及び足のその他の後天性変形 足関節部及び足	1	26.0	26	26	21.0	26	21
	M2177	（四）肢不等長（後天性）足関節部及び足	1	20.0	20	20	9.0	20	9
	M2455	関節拘縮 骨盤部及び大腿	1	72.0	72	72	8.0	72	8
	M8406	骨折の変形癒合 下腿	1	8.0	8	8	6.0	8	6
	M8725	既往の外傷による骨え＜壊＞死 骨盤部及び大腿	1	5.0	5	5	15.0	5	15
	S3230	腸骨骨折 閉鎖性	1	38.0	38	38	64.0	38	64
	S4240	上腕骨遠位端骨折 閉鎖性	1	3.0	3	3	10.0	3	10
	S6260	その他の指の骨折 閉鎖性	1	2.0	2	2	15.0	2	15
合 計			191	31.3	154	1	22.2	5,969	4,245

小児科

順位	コード	病名	件数	平均在院 日数	最高在院 日数	最低在院 日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	G801	けいこ瘧＞性両（側）麻痺型脳性麻痺	100	29.0	68	3	16	2,900	1,597
2	G803	ジストニア性脳性麻痺	79	27.0	94	1	16	2,136	1,248
3	G800	けいこ瘧＞性四肢麻痺型脳性麻痺	60	29.8	111	3	13	1,788	756
4	G802	けいこ瘧＞性片麻痺型脳性麻痺	21	25.1	64	12	14	528	293
5	G934	脳症＜エンセファロパチ＜シ＞＞、詳細不明	16	27.7	57	2	11	443	175
6	G931	無酸素性脳損傷、他に分類されないもの	12	31.7	86	7	24	380	283
7	G804	（運動）失調性脳性麻痺	11	28.8	64	2	10	317	109
8	T909	頭部の詳細不明の損傷の続発・後遺症	7	15.9	22	9	21	111	145
9	G821	けいこ瘧＞性対麻痺	4	23.3	29	12	21	93	84
10	G114	遺伝性けいこ瘧＞性対麻痺	3	41.0	59	29	25	123	76
	I634	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	3	21.0	29	6	5	63	16
11	F82	運動機能の特異的発達障害	2	12.5	24	1	2	25	4
	A811	亜急性硬化性全脳炎＜SSPE＞	2	3.0	3	3	25	6	50
	E748	その他の明示された糖質代謝障害	2	12.5	22	3	19	25	38
	G049	脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎、詳細不明	2	29.5	30	29	3	59	5
	G319	神経系の変性疾患、詳細不明	2	20.0	29	11	18	40	36
	G839	麻痺性症候群、詳細不明	2	21.0	26	16	4	42	8
	I675	もやもや病＜ウリス動脈輪閉塞症＞	2	56.5	60	53	25	113	49
	I693	脳梗塞の続発・後遺症	2	25.5	29	22	17	51	33
	Q043	脳のその他の減形成	2	18.0	32	4	7	36	13
	Q870	先天奇形症候群、主として顔貌異常を伴うもの	2	35.0	55	15	12	70	24
	T889	外科的及び内科的々の合併症、詳細不明	2	75.5	105	46	14	151	28
12	G09	中枢神経系の炎症性疾患の続発・後遺症	1	27.0	27	27	14	27	14
	G000	インフルエンザ菌性髄膜炎	1	29.0	29	29	20	29	20
	G040	急性播種性脳炎	1	32.0	32	32	27	32	27
	G402	複雑部分発作を伴う（巣状）（部分）症候性てんかん及びてんかん（性）症候群	1	2.0	2	2	25	2	25
	G404	その他の全般性てんかん及びてんかん（性）症候群	1	55.0	55	55	1	55	1
	G713	ミトコンドリア（性）ミハチ＜シ＞＞、他に分類されないもの	1	31.0	31	31	21	31	21
	G808	その他の脳性麻痺	1	13.0	13	13	8	13	8
	G809	脳性麻痺、詳細不明	1	39.0	39	39	4	39	4
	G819	片麻痺、詳細不明	1	43.0	43	43	8	43	8
	I608	その他のくも膜下出血	1	55.0	55	55	6	55	6
	I613	脳幹の脳内出血	1	54.0	54	54	6	54	6
	I619	脳内出血、詳細不明	1	57.0	57	57	11	57	11
	Q039	先天性水頭症、詳細不明	1	35.0	35	35	5	35	5
	Q040	脳梁の先天奇形	1	29.0	29	29	3	29	3
	Q858	その他の母斑症、他に分類されないもの	1	37.0	37	37	6	37	6
	Q935	その他の染色体部分欠失	1	3.0	3	3	18	3	18
	Q999	染色体異常、詳細不明	1	15.0	15	15	18	15	18
	S062	びまん性脳損傷	1	15.0	15	15	27	15	27
	S065	外傷性硬膜下出血	1	22.0	22	22	36	22	36
	S099	頭部の詳細不明の損傷	1	29.0	29	29	30	29	30
	T905	頭蓋内損傷の続発・後遺症	1	29.0	29	29	31	29	31
	S0680	その他の頭蓋内損傷 頭蓋内に達する開放創を伴わないもの	1	3.0	3	3	17	3	17
合 計			360	28.2	111	1	15	10,154	5,412

リハビリテーション科

順位	コード	病名	件数	平均在院 日数	最高在院 日数	最低在院 日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	M625	筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの	2	47.0	63	31	63.5	94	127
2	G801	けいこ瘻＞性両（側）麻痺型脳性麻痺	1	30.0	30	30	30.0	30	30
	G803	ジスキネジア性脳性麻痺	1	34.0	34	34	69.0	34	69
	I600	頸動脈サイフォン及び頸動脈分岐部からのくも膜下出血	1	36.0	36	36	57.0	36	57
	I691	脳内出血の続発・後遺症	1	123.0	123	123	47.0	123	47
	S066	外傷性くも膜下出血	1	21.0	21	21	80.0	21	80
合 計			7	48.3	123	21	58.6	338	410

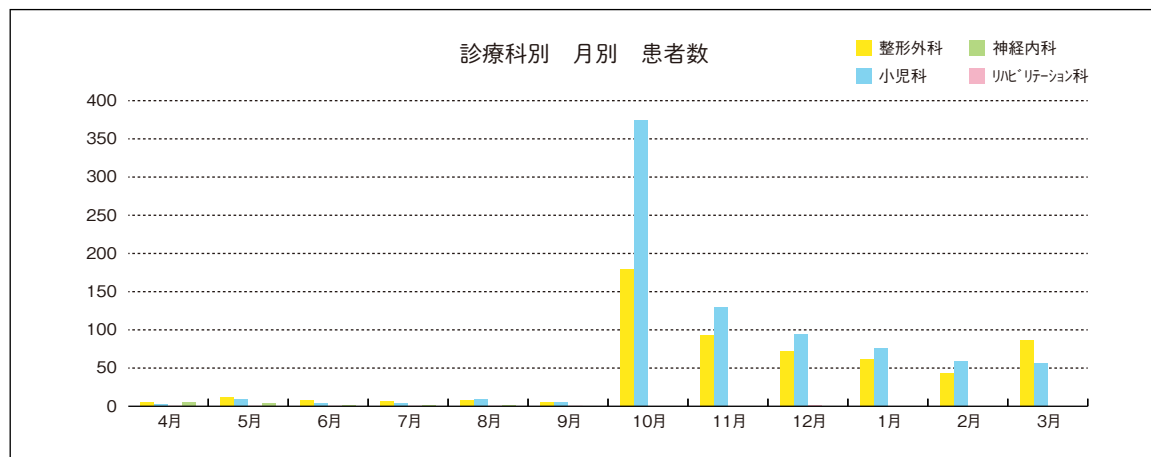
神経内科

順位	コード	病名	件数	平均在院 日数	最高在院 日数	最低在院 日数	入院時 平均年齢	延在院 日数	延入院時 年齢
1	M625	筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの	30	40.8	71	8	71.8	1,223	2,154
2	I610	（大脳）半球の脳内出血、皮質下	15	137.9	261	18	73.1	2,068	1,097
3	I691	脳内出血の続発・後遺症	8	27.8	53	15	66.0	222	528
4	I638	その他の脳梗塞	6	112.2	218	30	74.7	673	448
5	I633	脳動脈の血栓症による脳梗塞	5	121.4	174	30	81.6	607	408
6	I601	中大脳動脈からのくも膜下出血	2	136.0	165	107	55.0	272	110
	I611	（大脳）半球の脳内出血、皮質	2	75.5	83	68	37.5	151	75
	I613	脳幹の脳内出血	2	48.5	78	19	66.0	97	132
	I614	小脳の脳内出血	2	96.0	106	86	80.0	192	160
	I619	脳内出血、詳細不明	2	93.5	138	49	69.0	187	138
	I635	脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	2	73.5	83	64	65.5	147	131
	I639	脳梗塞、詳細不明	2	23.5	32	15	70.0	47	140
	I690	くも膜下出血の続発・後遺症	2	23.5	32	15	64.5	47	129
	I693	脳梗塞の続発・後遺症	2	31.0	33	29	79.0	62	158
	S721	転子貫通骨折	2	87.0	113	61	60.5	174	121
7	E86	体液量減少（症）	1	3.0	3	3	25.0	3	25
	J40	気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	1	67.0	67	67	75.0	67	75
	C220	肝細胞癌	1	6.0	6	6	81.0	6	81
	G610	ギラン・バレー＜Guillain-Barre＞症候群	1	259.0	259	259	76.0	259	76
	I602	前交通動脈からのくも膜下出血	1	269.0	269	269	75.0	269	75
	I632	脳実質外動脈（脳底動脈、頸動脈、椎骨動脈）の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	1	185.0	185	185	50.0	185	50
	I634	脳動脈の血栓症による脳梗塞	1	175.0	175	175	73.0	175	73
	M512	その他の明示された椎間板ヘルニア＜変位＞	1	75.0	75	75	93.0	75	93
	S062	びまん性脳損傷	1	13.0	13	13	33.0	13	33
	S063	局所性脳損傷	1	15.0	15	15	32.0	15	32
	S065	外傷性硬膜下出血	1	34.0	34	34	69.0	34	69
	S066	外傷性くも膜下出血	1	40.0	40	40	17.0	40	17
	S220	胸椎骨折	1	130.0	130	130	76.0	130	76
	S320	腰椎骨折	1	18.0	18	18	83.0	18	83
	S720	大腿骨頸部骨折	1	86.0	86	86	59.0	86	59
合 計			99	76.2	269	3	69.2	7,544	6,846

(3) 初診患者数に関する資料

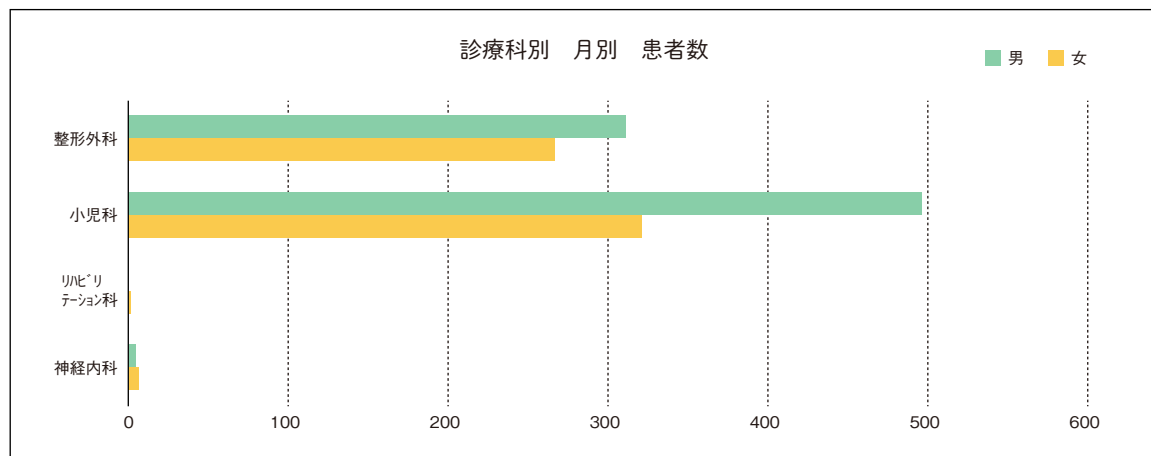
① 診療科別 月別患者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
整形外科	男	1	2	4	4	4	2	101	50	38	39	19	47	311
	女	4	9	3	2	3	3	79	43	34	23	24	40	267
	計	5	11	7	6	7	5	180	93	72	62	43	87	578
小児科	男	0	5	2	2	6	3	227	82	57	42	38	32	496
	女	2	3	1	1	2	1	147	48	37	34	21	24	321
	計	2	8	3	3	8	4	374	130	94	76	59	56	817
リハビリテーション科	男	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0
	女	-	-	-	-	-	-	0	0	1	0	0	0	1
	計	-	-	-	-	-	-	0	0	1	0	0	0	1
神経内科	男	2	1	0	0	1	0	-	-	-	-	-	-	4
	女	2	2	1	1	0	0	-	-	-	-	-	-	6
	計	4	3	1	1	1	0	-	-	-	-	-	-	10
総 数	男	3	8	6	6	11	5	328	132	95	81	57	79	811
	女	8	14	5	4	5	4	226	91	72	57	45	64	595
	計	11	22	11	10	16	9	554	223	167	138	102	143	1,406



② 診療科別 性別患者数

	男	女	計	%
整形外科	311	267	578	41.1
小児科	496	321	817	58.1
リハビリテーション科	0	1	1	0.1
神経内科	4	6	10	0.7
計	811	595	1,406	100.0



③ 診療圏別患者数

大阪市内		計
北部ブロック	淀川区	26
	東淀川区	10
	北区	14
	都島区	12
	旭区	13
	計	75
西部ブロック	西淀川区	9
	此花区	6
	福島区	19
	港区	6
	西区	14
	大正区	3
	計	57
東部ブロック	中央区	14
	浪速区	4
	天王寺区	6
	城東区	46
	鶴見区	21
	東成区	19
	生野区	15
	計	125
南部ブロック	西成区	3
	阿倍野区	2
	住之江区	2
	住吉区	6
	東住吉区	4
	平野区	9
	計	26
合計		283

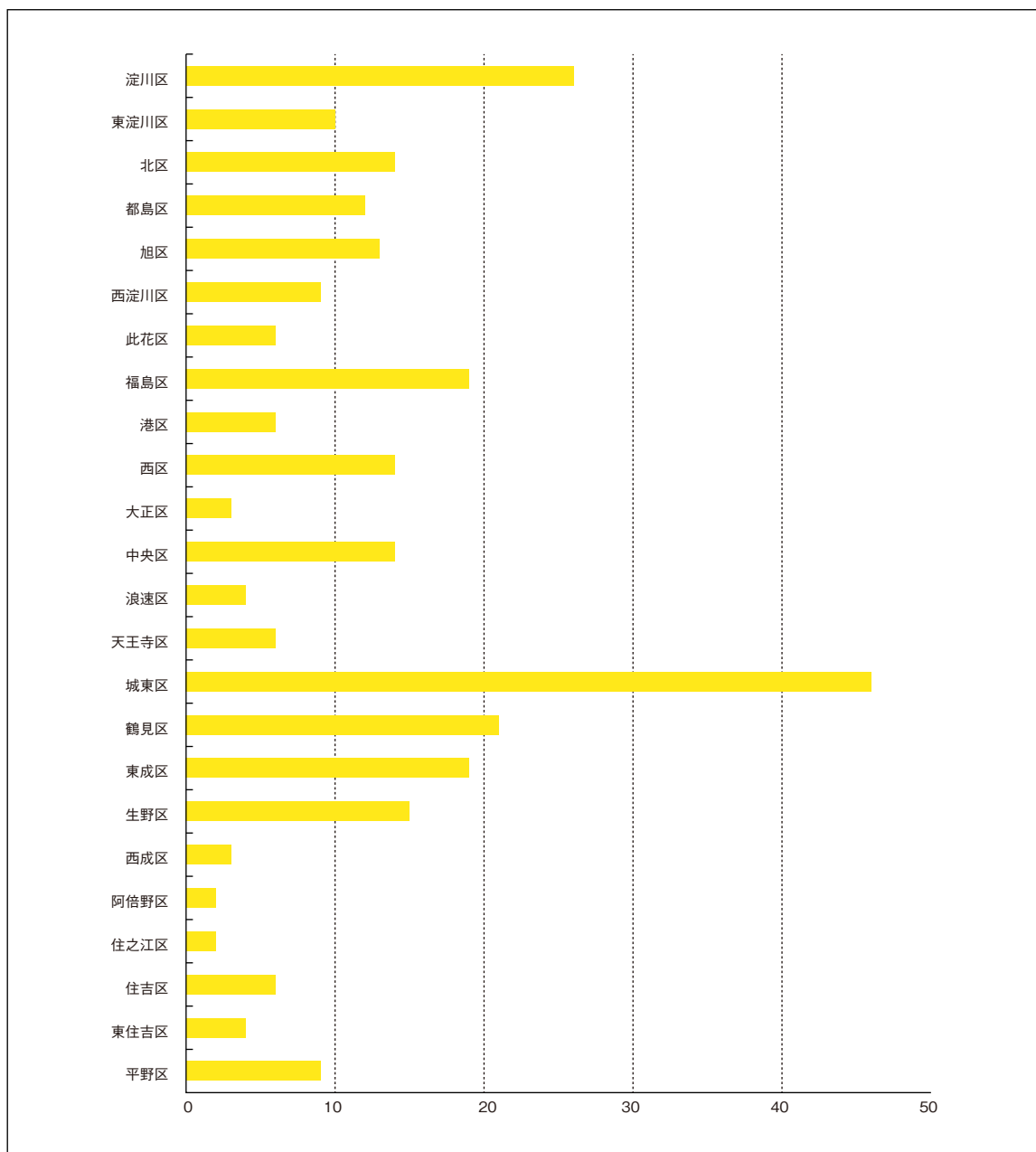
その他	計
住所不定	0
韓国	0
合計	0

総合集計	計
北海道地方	2
東北地方	1
北陸地方	13
関東地方	33
中部地方	81
近畿地方	1,209
中国地方	23
四国地方	25
九州地方	14
沖縄地方	5
その他	0
総計	1,406

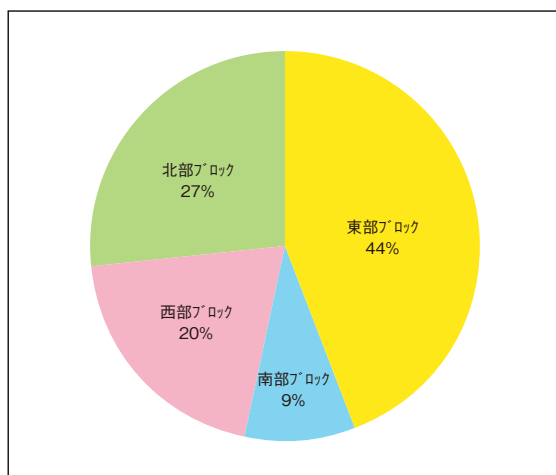
大阪府内		計
大阪市地域	大阪府	283
豊能地域	豊能郡	1
	池田市	11
	箕面市	20
	豊中市	53
	吹田市	50
	計	135
三島地域	茨木市	21
	摂津市	8
	高槻市	24
	三島郡	4
	計	57
北河内地域	守口市	12
	門真市	14
	寝屋川市	22
	大東市	18
	枚方市	43
	交野市	6
	四條畷市	9
	計	124
中河内地域	東大阪市	55
	八尾市	16
	柏原市	4
	計	75
南河内地域	松原市	3
	藤井寺市	1
	羽曳野市	3
	大阪狭山市	1
	富田林市	0
	南河内郡	0
	河内長野市	1
	計	9
堺市地域	堺市	22
泉州地域	高石市	1
	泉大津市	4
	泉北郡	0
	和泉市	2
	岸和田市	18
	貝塚市	3
	泉佐野市	6
	泉南市	2
	阪南市	2
	泉南郡	1
	計	39
合計		744

都道府県別		計
北海道地方	北海道	2
東北地方	青森県	0
	岩手県	1
	宮城県	0
	秋田県	0
	山形県	0
	福島県	0
	計	1
北陸地方	長野県	2
	新潟県	2
	富山県	5
	石川県	1
	福井県	3
	計	13
関東地方	茨城県	0
	栃木県	0
	群馬県	1
	埼玉県	2
	千葉県	0
	東京都	20
	神奈川県	8
	山梨県	2
	計	33
中部地方	岐阜県	19
	静岡県	5
	愛知県	34
	三重県	23
	計	81
近畿地方	滋賀県	17
	京都府	73
	大阪府	744
	兵庫県	311
	奈良県	49
	和歌山県	15
	計	1,209
中国地方	鳥取県	1
	島根県	2
	岡山県	2
	広島県	16
	山口県	2
	計	23
四国地方	徳島県	16
	香川県	8
	愛媛県	0
	高知県	1
	計	25
九州地方	福岡県	5
	佐賀県	1
	長崎県	1
	熊本県	3
	大分県	2
	宮崎県	1
	鹿児島県	1
	計	14
沖縄地方	沖縄県	5
合計		1,406

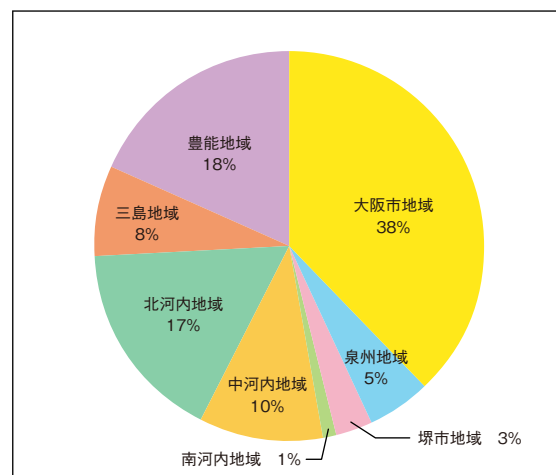
大阪市内患者数



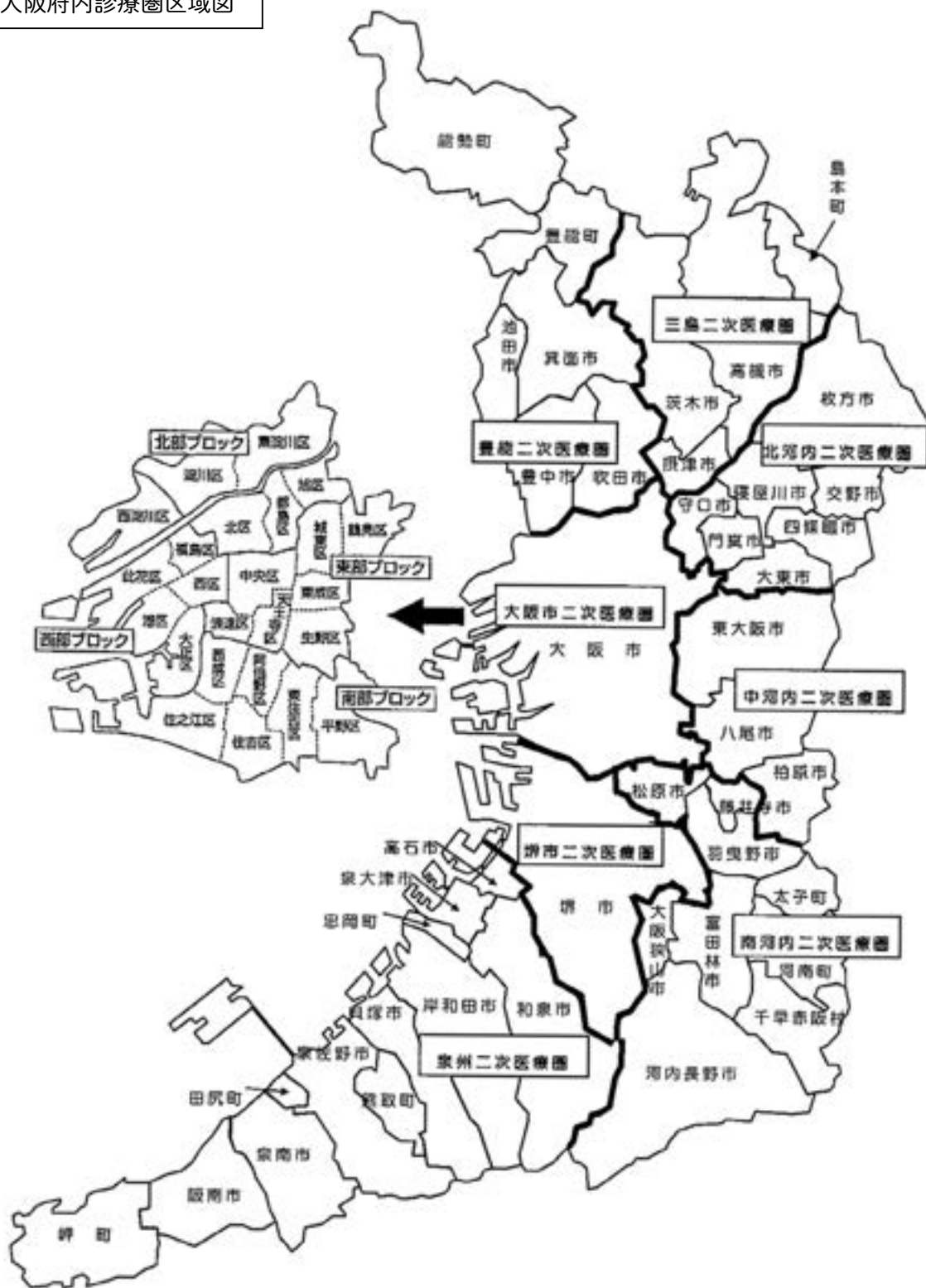
大阪市内分布図



大阪府内分布図



大阪府内診療圏区域図



④ 紹介元医療機関別件数

紹介元医療機関 全体(1/2)	件数	紹介元医療機関 全体(2/2)	件数
無	335	しんとう整形外科リウマチクリニック	1
藍の都脳神経外科病院	2	摂南総合病院	1
青森新都市病院	1	田辺脳神経外科病院	1
尼崎総合医療センター	1	多根総合病院	2
育和会記念病院	1	嚙生会脳神経外科病院	1
石切生喜病院	1	道後温泉病院	1
医誠会病院	5	富永病院	2
上山病院	1	なにわ生野病院	1
宇治徳洲会病院	1	名張市立病院	1
おうクリニック	1	奈良県総合医療センター	1
大阪警察病院	2	奈良県立医科大学附属病院	1
大阪市立十三市民病院	1	西梅田こころとからだのクリニック	1
大阪市立総合医療センター	19	西宮協脳神経外科病院	1
大阪市立大学医学部附属病院	2	根本医院	3
大阪赤十字病院	2	寝屋川生野病院	1
大阪大学医学部附属病院	1	野崎徳洲会病院	2
大阪病院	1	橋爪医院	1
大阪労災病院	2	阪和記念病院	5
大手前病院	4	東大阪病院	1
大浜第一病院	1	兵庫県立尼崎総合医療センター	1
大道クリニック	16	兵庫県立ひょうごこころの医療センター	1
回生病院	1	兵庫県立リハビリテーション中央病院	2
加納総合病院	2	広島市立広島市民病院	1
萱島生野病院	1	福井県こども療育センター	1
河内総合病院	1	松江赤十字病院	1
菊地胃腸科内科医院	1	松下記念病院	1
北大阪警察病院	1	三島救命救急センター	1
北田医院	1	三豊総合病院	1
北野病院	8	南大阪小児リハビリテーション病院	3
グリーンライフ	2	箕面市立病院	2
甲南病院	1	美原病院	1
国立循環器病研究センター	2	明治橋病院	1
国立病院機構大阪医療センター	13	守口生野記念病院	1
国立病院機構舞鶴医療センター	1	森之宮病院	14
済生会滋賀県病院	1	八尾市立病院	1
済生会中津病院	1	八尾総合病院	1
済生会野江病院	11	八尾はあとふる病院	1
ささき内科・糖尿病クリニック	1	矢木脳神経外科病院	21
市立宇和島病院	1	淀川キリスト教病院	1
市立岸和田市民病院	1	若草第一病院	1
市立東大阪医療センター	2	計	539

⑤ 診療科別 紹介率

診療科	紹介無	紹介有	計	科別紹介率	全体内紹介率
整形外科	453	125	578	21.6	44.6
小児科	670	147	817	18.0	52.5
リハビリテーション科	0	1	1	100.0	0.4
神経内科	3	7	10	70.0	2.5
計	1,126	280	1,406		100.0

⑥ 診療科別 紹介元医療機関別件数

整形外科 紹介元医療機関	件数
無	453
あいち小児保健医療総合センター	1
愛徳医療福祉センター	1
あだちこども診療所	1
生野区保健福祉センター	4
いずみ診療所	5
茨城県立こども病院	1
医療福祉センターきずな	1
いわたクリニック	1
うえだ小児科	2
浦岡小児科	1
大久保小児科医院	1
大阪医療センター	1
大阪赤十字病院附属大手前整肢学園	1
大阪大学医学部附属病院	1
大阪大学歯学部附属病院	1
大阪発達総合療育センター	1
大阪府立母子保健総合医療センター	1
大阪母子医療センター	1
太田整形外科クリニック	1
学研都市病院	1
関西医科大学附属病院	1
北野病院	1
紀南病院	1
京都市立病院	1
京都大学医学部附属病院	2
京都府立医科大学附属病院	2
久米田外科整形外科病院	1
神戸医療センター	2
神戸市総合療育センター	2
公立豊岡病院	1
国立成育医療研究センター	1
滋賀県立小児保健医療センター	28
自治医科大学附属病院	1
島田療育センター	1
城東区保健福祉センター	2
心身障害児総合医療療育センター	2
すずき整形外科	1
聖ヨゼフ整肢園	1
多根総合病院	1
中川クリニック	1
長田医院	1
中本病院	1
奈良県総合リハビリテーションセンター	1
奈良県立医科大学附属病院	1
はやし小児科	6
東成区保健福祉センター	1
兵庫県立尼崎総合医療センター	1
広畑医院	1
福岡県立粕屋新光園	1
本田病院	1
三重県立子ども心身発達医療センター	1
南大阪小児リハビリテーション病院	6
箕面市立病院	1
みみはら高砂クリニック	1
むつみクリニック	1
村上整形外科	1
名城病院	1
森之宮病院	11
矢木脳神経外科病院	1
やながクリニック	1
山崎診療所	1
横浜医療福祉センター	1
米田産婦人科	1
わかくさ竜間リハビリテーション病院	1
計	578

リハビリテーション科 紹介元医療機関	件数
阪和記念病院	1
計	1

神経内科 紹介元医療機関	件数
無	3
大手前病院	1
織部消化器科	1
関西医科大学附属病院	1
阪和記念病院	1
森之宮病院	1
矢木脳神経外科病院	2
計	10

小児科 紹介元医療機関（1/2）	件数
無	670
愛染橋病院	2
愛知県医療療育総合センター	1
愛知県心身障害者コロニー中央病院	2
岩手医科大学附属病院	1
大分県立病院	2
大阪国際がんセンター	1
大阪市鶴見区保健福祉センター	1
大阪市立総合医療センター	13
大阪市立大学医学部附属病院	2
大阪赤十字病院	2
大阪大学医学部附属病院	6
大阪府済生会千里病院	1
大阪母子医療センター	6
大阪労災病院	1
沖縄県立宮古病院	1
川口市立医療センター	1
関西医科大学附属病院	3
北野病院	4
岐阜県総合医療センター	1
京都市立病院	3
京都第一赤十字病院	1
京都府立医科大学附属病院	1
近畿大学医学部奈良病院	1
県立広島病院	1
高知県立療育福祉センター	1
神戸市立医療センター中央市民病院	1
国立国際医療研究センター病院	1
国立成育医療研究センター	1
国立精神・神経医療研究センター病院	1
済生会京都府病院	1
四国こどもとおとなの医療センター	1
静岡県立こども病院	1
静岡てんかん・神経医療センター	1
島根大学医学部附属病院	1
城東区保健福祉センター	1
市立伊丹病院	1
市立豊中病院	2
市立東大阪医療センター	1
聖ヨゼフ医療福祉センター	1

小児科 紹介元医療機関（2/2）	件数
聖ヨゼフ整肢園	1
聖隷浜松病院	1
宝塚市立子ども発達支援センター	1
田崎クリニック	1
田辺こどもクリニック	1
千船病院	2
東京女子医科大学東医療センター	1
東京女子医科大学病院	1
東京都立小児総合医療センター	1
徳島赤十字病院	1
ドクターランド錦糸町	1
富永病院	1
富山県リハビリテーション病院	1
豊中市立しいの実学園	1
名古屋市立西部医療センター	1
名古屋第一赤十字病院	1
名古屋第二赤十字病院	1
奈良県総合医療センター	2
奈良県立医科大学附属病院	1
西宮市立こども未来センター診療所	1
日本医科大学武蔵小杉病院	1
浜松医科大学医学部附属病院	1
ひの小児科	1
姫路赤十字病院	1
兵庫県立尼崎総合医療センター	8
兵庫県立こども病院	3
兵庫県立西宮病院	1
広島県こども医療センター附属診療所	1
広島市立広島市民病院	1
福岡市立こども病院	1
福岡大学病院	1
福井大学医学部附属病院	1
フジモト整形外科	1
北海道大学病院	1
三重県立子ども心身発達医療センター	1
森之宮病院	18
山梨県立中央病院	1
横浜市西部地域療育センター	1
淀川キリスト教病院	6
りんくう総合医療センター	1
計	817

(4) 平均在院日数・病棟別・月別

2018年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
障害者施設等10:1入院基本料	27	26	27	30	22	29	28	45	34	35	36	26
地域包括ケア病床	31	36	41									
回復期リハビリテーション病棟	133	100	103	46								

(5) 病床稼働率・病棟別・月別

2018年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
障害者施設等10:1入院基本料	46.2	41.0	43.0	66.5	98.4	90.0	74.6	81.6	87.3	75.6	77.7	82.1
地域包括ケア病床	38.3	35.8	43.3									
回復期リハビリテーション病棟	65.8	57.6	48.0	39.4								

(6) 外来患者診療科別延べ数

2018年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	854	793	643	269	300	150						
整形外科	623	525	175	210	198	166						
リハビリテーション科	557	664	748	695	699	470						
小児科	75	101	78	62	69	47						
外科	25	13	20	5	2							
歯科	976	1,087	996	1,006	874	858	1,051	1,052	909	773	959	954
小児神経							1,001	1,020	919	950	1,029	999
小児整形							644	649	582	616	628	809
合 計	3,110	3,183	2,660	2,247	2,142	1,691	2,696	2,721	2,410	2,339	2,616	2,762

(3) 帝国ホテルクリニック

目 次

1. 施設概要	321
2. 施設基本方針	321
3. 施設組織体制	321
4. 2018 年度総括	322
5. 2019 年度の取り組み	322
6 受診者統計資料	323
(1) 都道府県、年齢層別受診者統計（2018 年度実績）	323
(2) 契約区分、年齢層別受診者統計（2018 年度実績）	324
(3) 受診区分、年齢層別受診者統計（2018 年度実績）	324
(4) コース別受診者統計（2018 年度実績）	325
(5) 一泊日帰り別オプション実施数（2018 年度実績）	325
(6) 一泊・日帰り別判定項目集計（男性、2018 年実績）	326
(7) 一泊・日帰り別判定項目集計（女性、2018 年実績）	327
※「1」～「5」集計期間:2018 年度 =2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日	
※「6」～「7」集計期間:2018 年 =2018 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日	
※（日本人間ドック学会の疾病統計基準に準ず）	
7. 施設業務年表	328

1. 施設概要

人間ドック健診に最適な設備と質の高いサービスで健康管理をサポートする。

豊かな緑に恵まれた「帝国ホテル大阪」の中にある人間ドック専門施設。

コースは1日（半日）と2日（一泊）の各人間ドックコース。

帝国ホテル大阪で1日（半日）人間ドックコースでの昼食、および2日（一泊）人間ドックコースでの宿泊と夕食を提供。一流ホテルならではのくつろぎの中、人間ドック健診に最適な医療機器をそろえ、質の高いサービスを提供。

診療科目：内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・外科・乳腺外科・婦人科・眼科・放射線診断科

2. 施設基本方針

- (1) 受診者の命と健康に最大限の関心を持ち、信頼される人間ドック施設を目指す。
- (2) 受診者の尊厳を守り、最新の医療技術と知識により、正確な診断と分かりやすい説明、積極的な指導を目指す。
- (3) 快適、安全、清潔な受診環境を提供する。
- (4) 医療水準の向上のために教育、研修に努める。
- (5) 予防医学の発展に寄与する。

3. 施設組織体制

所長（理事） 鍵谷 俊文

健診部

内 科 医 長 沖永晶子

内 科：常 勤 2名

非常勤 8名

外 科：非常勤 5名

婦 人 科：非常勤 5名

眼 科：非常勤 2名

放射線診断科：非常勤 6名

統括部長 宮本博之

検診技術部

放射線診断科：常 勤 5名（主任 田内）

生 理 検 査 科：常 勤 8名

非常勤 2名（科長 島田、主任 青木）

看 護 科：常 勤 6名

非常勤 2名（主任 橋本）

企画広報部

フ ロ ン ト 課：常 勤 12名

非常勤 4名（課長 貝塚、主任 馬場、主任 中須賀）

企 画 広 報 課：常 勤 2名

管 理 課：常 勤 1名

（2019年3月31日現在）

4. 2018年度総括

帝国ホテルクリニックは、ホテル内に設けられた人間ドックとして、接遇がよく特色のある健診を行う施設として高い評価をいただいております。今年度は、人間ドック学会の施設機能評価の審査を受け、優良な施設認定を更新できました。また、各科課職員の産休、異動、退職、非常勤医師の交代もありましたが、新規(中途)入職者へオリエンテーションと業務引継ぎを行い、事業継続ができました。

事業実績では、日帰り受診者枠の再構築により、午前 max30 枠、午後 max21 枠、1日 max51 名の運用が安定してきました。また、受診者および健康保険組合から要望の多い上部消化管内視鏡検査を、近隣医療施設との連携で増枠し、森之宮病院の225件と合わせて483件(前年比119%)実施できました。また、森之宮クリニックとの連携では、PET 健診を含む上位(S・H)コース33名の受診がありました。

また、新たな取り組みとして、活動量計を使った生活習慣病改善のIHC健康プログラムの運用を開始し、他の人間ドック施設との差別化を図りました。

2018年度の受診者は9,083名(目標達成率97.0%、前年度比97.1%)でありました。

5. 2019年度の取り組み

< 今期の重点目標 >

- (1) 安定した健診体制の運用と品質維持向上
- (2) 新たなブランドの力の構築と展開

今期は、健診システムの更新を踏まえ「安定した健診体制の運用と品質維持向上」を第一番目の目標とします。健診システムの予約管理・受診者団体管理の改善により、より多くの受診者の受け入れが期待されます。また、受付、受診者誘導などの業務も改善が期待されます。さらに、検査結果の入力、面談画面から結果の出力、発送管理まで、人間ドック業務全般について、システムの更新と一体になった業務改善を行います。

第二番目に、「新たなブランドの力の構築と展開」を引き続き目標とします。特定健診や特定保健指導を充実し、新たなドック受診者の獲得と共にドック受診外の収益増を目指します。また、活動量計を利用したIHC健康プログラムの安定した運用を目指します。

2019年度の数値目標は受診者数9,200名(一泊1,685名、日帰り7,515名)とします。

6. 受診者統計資料

(1) 都道府県、年齢層別受診者統計(2018年度実績)

集計期間: 2018年4月1日～2019年3月31日

都道府県別受診者分布

都道府県名	29歳以下		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳以上		総数		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
滋賀県	1	1	2	2	9	9	24	19	5	3			1		42	34	76
京都府		5	25	17	46	40	55	46	23	30	3	2		1	152	141	293
大阪府	55	62	506	456	925	1,376	894	1,047	367	417	80	84	9	4	2,836	3,446	6,282
兵庫県	5	8	103	112	406	416	475	422	181	172	47	36	5	2	1,222	1,168	2,390
奈良県	1	2	24	36	78	74	86	97	51	56	41	15	2		283	280	563
和歌山県			3	1	7	8	13	10	9	6	2	1		1	34	27	61
その他	1	4	8	13	32	17	52	30	14	9	3	2			110	75	185
総数(男女別)	63	82	671	637	1,503	1,940	1,599	1,671	650	693	176	140	17	8	4,679	5,171	9,850
総数(合計)	145		1,308		3,443		3,270		1,343		316		25		9,850		9,850

※住所情報より集計、近畿圏外又は住所登録が無いものはその他に集計した。

年齢層別受診者比率

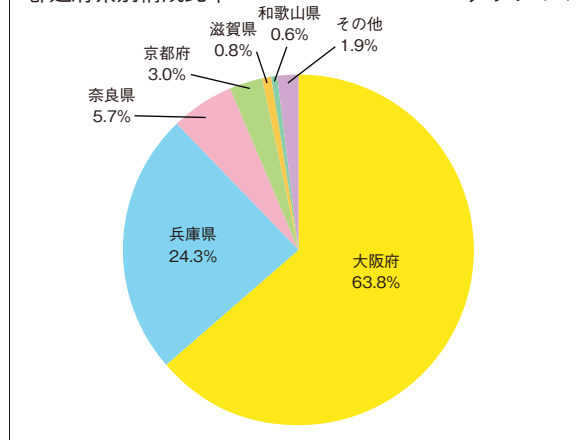
年齢層	受診者数			年齢層比率		
	男	女	合計	男	女	合計
29歳以下	63	82	145	1.3%	1.6%	1.5%
30～39歳	671	637	1,308	14.3%	12.3%	13.3%
40～49歳	1,503	1,940	3,443	32.1%	37.5%	35.0%
50～59歳	1,599	1,671	3,270	34.2%	32.3%	33.2%
60～69歳	650	693	1,343	13.9%	13.4%	13.6%
70～79歳	176	140	316	3.8%	2.7%	3.2%
80歳以上	17	8	25	0.4%	0.2%	0.3%
総数	4,679	5,171	9,850	-	-	-

年齢層別男女比率

年齢層	受診者数		男女比率	
	男	女	男	女
29歳以下	63	82	43.4%	56.6%
30～39歳	671	637	51.3%	48.7%
40～49歳	1,503	1,940	43.7%	56.3%
50～59歳	1,599	1,671	48.9%	51.1%
60～69歳	650	693	48.4%	51.6%
70～79歳	176	140	55.7%	44.3%
80歳以上	17	8	68.0%	32.0%
総数	4,679	5,171	47.5%	52.5%

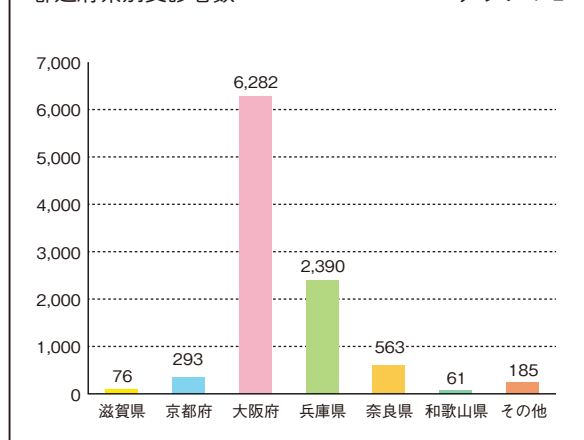
都道府県別構成比率

グラフ 1-1



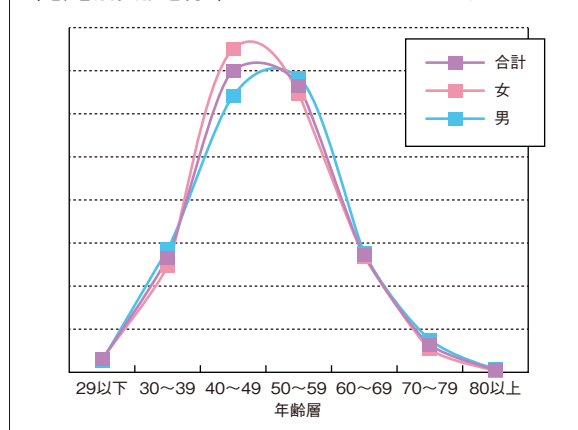
都道府県別受診者数

グラフ 1-2



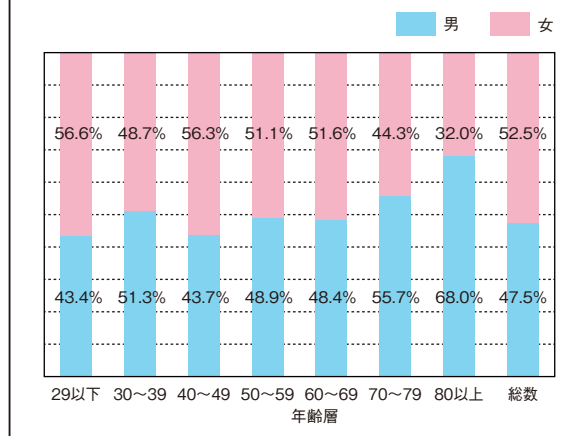
年齢層別受診者分布

グラフ 1-3



年齢層別男女比率

グラフ 1-4

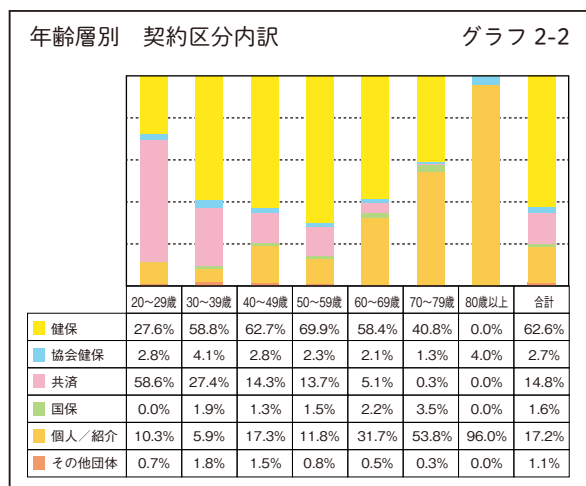
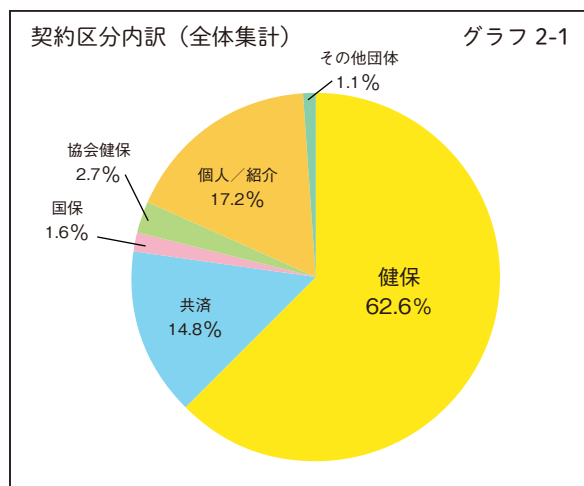


(2) 契約区分、年齢層別受診者統計(2018年度実績)

集計期間: 2018年4月1日～2019年3月31日

契約区分別受診者分布

契約区分	29歳以下		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳以上		総数		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
健保	23	17	372	397	1,055	1,105	1,180	1,106	437	347	74	55			3,141	3,027	6,168
共済	33	52	200	159	235	259	235	214	34	35	1				738	719	1,457
国保			17	8	18	28	21	28	12	17	7	4			75	85	160
協会健保	2	2	31	23	69	29	52	24	24	4	3	1	1		182	83	265
個人/紹介	5	10	45	32	104	491	98	287	136	290	91	79	16	8	495	1,197	1,692
その他団体		1	6	18	22	28	13	12	7			1			48	60	108
総数(男女別)	63	82	671	637	1,503	1,940	1,599	1,671	650	693	176	140	17	8	4,679	5,171	9,850
総数(合計)	145		1,308		3,443		3,270		1,343		316		25		9,850		9,850

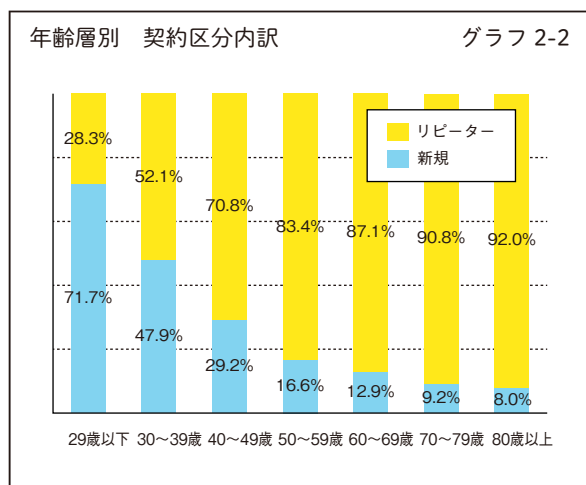
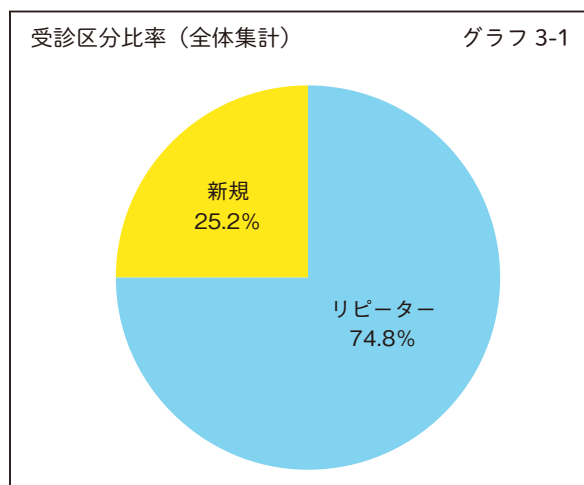


(3) 受診区分、年齢層別受診者統計(2018年度実績)

集計期間: 2018年4月1日～2019年3月31日

受診区分別受診者分布

契約区分	29歳以下		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳以上		総数		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
新規	43	61	299	328	340	666	242	300	56	117	12	17	1	1	993	1,490	2,483
リピーター	20	21	372	309	1,163	1,274	1,357	1,371	594	576	164	123	16	7	3,686	3,681	7,367
総数(男女別)	63	82	671	637	1,503	1,940	1,599	1,671	650	693	176	140	17	8	4,679	5,171	9,850
総数(合計)	145		1,308		3,443		3,270		1,343		316		25		9,850		9,850



(4) コース別受診者統計(2018年度実績)

集計期間:2018年4月1日～2019年3月31日

受診コース、性別受診者内訳

	一泊コース (受診者数 1,665名)				日帰りコース (受診者数 8,185名)			合計
	1泊Sコース	1泊Aコース	1泊Bコース	1泊B2コース	日帰Hコース	日帰Cコース	その他コース	
男性	167	35	657	88	93	3,570	69	4,679
女性	89	27	546	56	68	3,648	737	5,171
合計(コース別)	256	62	1,203	144	161	7,218	806	9,850

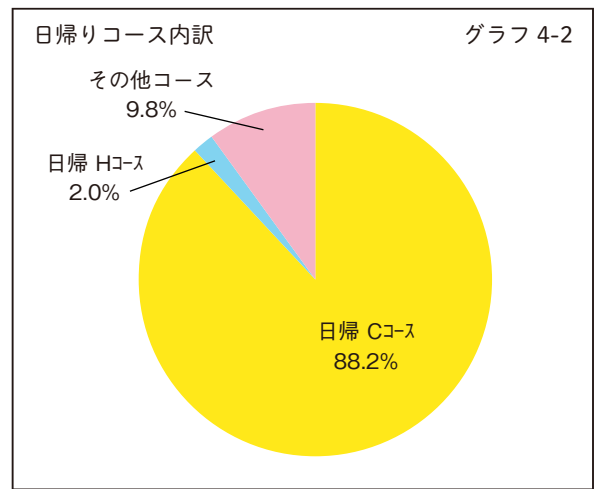
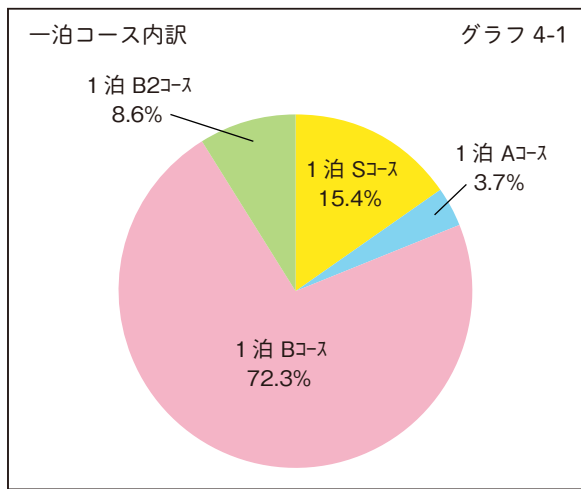
※その他コース…肺ドック、循環器ドック、肝臓消ドック、フォロー優待検査、自治体乳がん検診、特定健診(単体実施)

一泊コース男女割合

日帰りコース男女割合

一泊日帰り割合

	男	女	男	女	一泊合計	日帰り合計
受診者数	947	718	3,732	4,453	1,665	8,185
比率	56.9%	43.1%	45.6%	54.4%	16.9%	83.1%



(5) 一泊日帰り別オプション実施数(2018年度実績)

集計期間:2018年4月1日～2019年3月31日

一泊日帰り別オプション集計(売上額は消費税抜き)

OP:「オプション検査」の意

	追加オプション					
	受診者数	OP売上額	OP件数	OP平均件数	OP平均単価	受診者単価
一泊 追加OP	1,665	22,162,556	8,208	4.9	2,700	13,311
日帰り 追加OP	8,185	72,465,100	27,522	3.4	2,633	8,853
総合	9,850	94,627,656	35,730	3.6	2,648	9,607

追加オプション TOP20(一泊コース)

順位	検査名	今年度	前年度	前年比
1	乳房検査	383	413	-30
2	子宮検査	332	363	-31
3	肝・胆・膵・胃腸腫瘍マーカー(血液検査)	268	324	-56
4	頸動脈超音波検査	254	271	-17
5	前立腺腫瘍マーカー(PSA血液検査)	214	258	-44
6	経膈超音波検査【特別価格】	162	196	-34
7	ピロリ菌検査	150	159	-9
8	頭部CT検査	148	155	-7
9	女性検査セット(骨密度・腫瘍マーカー)	135	164	-29
10	肺腫瘍マーカー(血液検査)	117	139	-22
11	内臓脂肪測定CT検査	104	119	-15
12	心臓・血管セット(BNP・血管老化度)	94	86	+8
13	腹部セット(腹CT・腫瘍マーカー)	88	79	+9
14	胃内視鏡検査	83	78	+5
15	アレルギー検査【特別価格】	76	78	-2
16	COPD検査:セット価格	72	80	-8
17	子宮・卵巣腫瘍マーカー(血液検査)	65	80	-15
18	骨粗鬆症検査	60	70	-10
19	血管老化度検査	59	99	-40
20	胸部CT検査(ヘリカル)	51	69	-18

追加オプション TOP20(日帰りコース)

順位	検査名	今年度	前年度	前年比
1	乳房検査	2,125	2,131	-6
2	子宮検査	1,776	1,829	-53
3	前立腺腫瘍マーカー(PSA血液検査)	1,032	994	+38
4	肝・胆・膵・胃腸腫瘍マーカー(血液検査)	899	1,020	-121
5	経膈超音波検査【特別価格】	581	593	-12
6	肺腫瘍マーカー(血液検査)	572	615	-43
7	頸動脈超音波検査	490	531	-41
8	頭部CT検査	464	479	-15
9	ピロリ菌検査	388	414	-26
10	女性検査セット(骨密度・腫瘍マーカー)	332	334	-2
11	骨粗鬆症検査	328	297	+31
12	胸部CT検査(ヘリカル)	304	318	-14
13	心臓・血管セット(BNP・血管老化度)	281	184	+97
14	腹部セット(腹CT・腫瘍マーカー)	273	149	+124
15	子宮・卵巣腫瘍マーカー(血液検査)	262	284	-22
16	血管老化度検査	259	332	-73
17	内臓脂肪測定CT検査	204	242	-38
18	MMG1方向(徴収あり)	193	103	+90
19	胃内視鏡検査:Mi	182	133	+49
20	肝炎ウイルス検査(C型・HBs抗体)	170	140	+30

(6) 一泊・日帰り別判定項目集計(男性、2018年実績)

集計期間:2018年1月1日～2018年12月31日

注)日本人間ドック学会の疾病統計基準に従い、この資料では集計期間を年集計(1月～12月)としています。

一泊コース 男性 判定項目集計

年代別	39歳以下			40～49歳			50～59歳			60歳以上			総計		
異常なし(A+B)	3			7			1			0			11		
受診者数	90			288			396			213			987		
判定項目	C	D1(E)	D2	C	D1(E)	D2	C	D1(E)	D2	C	D1(E)	D2	C	D1(E)	D2
肥満	34	0	0	134	0	0	195	0	0	105	0	0	468	0	0
呼吸器疾患	5	1	2	31	0	2	81	8	15	68	6	5	185	15	24
高血圧	3	2	0	10	28	0	13	97	0	5	92	0	31	219	0
高コレステロール	20	3	0	82	21	0	113	22	0	52	8	0	267	54	0
高中性脂肪	35	3	0	113	34	0	143	63	0	56	53	0	347	153	0
高尿酸	9	2	0	32	19	0	47	48	0	19	34	0	107	103	0
心電図異常	13	0	0	71	2	4	142	6	2	122	20	4	348	28	10
食道疾患	3	0	0	14	0	5	31	0	3	9	0	3	57	0	11
胃疾患	22	0	1	89	0	16	147	0	17	76	0	9	334	0	43
十二指腸疾患	3	0	0	12	0	3	16	0	3	4	0	1	35	0	7
胆石・胆のうポリープ	21	0	0	79	0	0	109	0	1	60	0	0	269	0	1
肝機能異常(脂肪肝含)	38	4	3	149	14	9	243	20	15	144	6	2	574	44	29
糖尿病	23	1	0	106	21	0	193	42	1	116	37	0	438	101	1
血液疾患	13	0	0	35	0	1	66	1	1	36	2	1	150	3	3
便潜血	0	0	7	0	0	11	0	0	22	0	0	8	0	0	48
前立腺疾患	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	10	0	0	15
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳房疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の疾患	38	1	11	163	1	17	297	0	37	233	2	18	731	4	83
合 計	280	17	24	1,120	140	69	1,836	307	121	1,105	260	61	4,341	724	275

A…異常なし B…軽度異常あるも日常生活に支障なし C…軽度異常あり生活習慣改善を要す D1…要医療(E:現在治療中含む) D2…要精密検査

日帰りコース 男性 判定項目集計

年代別	39歳以下			40～49歳			50～59歳			60歳以上			総計		
異常なし(A+B)	71			42			17			1			131		
受診者数	645			1,218			1,177			629			3,669		
判定項目	C	D1(E)	D2	C	D1(E)	D2	C	D1(E)	D2	C	D1(E)	D2	C	D1(E)	D2
肥満	204	0	0	514	0	0	587	0	0	266	0	0	1,571	0	0
呼吸器疾患	36	5	6	102	12	10	165	22	14	157	14	18	460	53	48
高血圧	5	9	0	45	102	0	55	250	0	14	237	0	119	598	0
高コレステロール	100	17	0	281	58	0	292	51	0	149	17	0	822	143	0
高中性脂肪	178	21	0	433	108	0	386	168	0	180	139	0	1,177	436	0
高尿酸	74	27	0	121	89	0	103	122	0	43	90	0	341	328	0
心電図異常	63	0	4	148	8	4	245	29	2	214	36	6	670	73	16
食道疾患	19	0	2	53	0	4	44	0	3	39	0	2	155	0	11
胃疾患	127	0	10	372	0	40	425	0	43	247	0	20	1,171	0	113
十二指腸疾患	8	0	1	35	0	4	42	0	1	23	0	1	108	0	7
胆石・胆のうポリープ	139	0	3	349	0	3	370	0	3	213	0	0	1,071	0	9
肝機能異常(脂肪肝含)	251	20	9	620	56	21	715	33	31	405	11	10	1,991	120	71
糖尿病	29	5	0	150	44	0	263	100	0	177	95	0	619	244	0
血液疾患	77	1	2	175	1	5	171	2	3	109	7	4	532	11	14
便潜血	0	0	21	0	0	44	0	0	44	0	0	42	0	0	151
前立腺疾患	0	0	0	0	0	3	0	0	11	1	0	29	1	0	43
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳房疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の疾患	208	4	33	594	3	76	825	11	79	702	11	64	2,329	29	252
合 計	1,518	109	91	3,992	481	214	4,688	788	234	2,939	657	196	13,137	2,035	735

A…異常なし B…軽度異常あるも日常生活に支障なし C…軽度異常あり生活習慣改善を要す D1…要医療(E:現在治療中含む) D2…要精密検査

(7) 一泊・日帰り別判定項目集計(女性、2018年実績)

集計期間:2018年1月1日～2018年12月31日

注)日本人間ドック学会の疾病統計基準に従い、この資料では集計期間を年集計(1月～12月)としています。

一泊コース 女性 判定項目集計

年代別	39歳以下			40～49歳			50～59歳			60歳以上			総計		
異常なし(A+B)	5			5			1			0			11		
受診者数	57			204			274			203			738		
判定項目	C	D1(E)	D2	C	D1(E)	D2	C	D1(E)	D2	C	D1(E)	D2	C	D1(E)	D2
肥満	8	0	0	48	0	0	66	0	0	52	0	0	174	0	0
呼吸器疾患	3	2	0	11	3	2	19	5	6	41	6	2	74	16	10
高血圧	0	0	0	5	4	0	6	33	0	4	42	0	15	79	0
高コレステロール	6	1	0	40	9	0	102	43	0	78	20	0	226	73	0
高中性脂肪	3	2	0	40	7	0	91	36	0	58	56	0	192	101	0
高尿酸	0	0	0	3	0	0	2	1	0	6	0	0	11	1	0
心電図異常	8	0	0	38	2	2	83	0	5	98	6	4	227	8	11
食道疾患	2	0	0	5	0	0	11	0	0	11	0	1	29	0	1
胃疾患	15	0	4	89	0	5	119	0	13	93	0	8	316	0	30
十二指腸疾患	1	0	0	1	0	0	3	0	0	3	1	1	8	1	1
胆石・胆のうポリープ	8	0	0	38	0	0	74	0	0	57	0	0	177	0	0
肝機能異常(脂肪肝含)	12	0	0	83	0	3	112	4	5	104	3	2	311	7	10
糖尿病	16	1	0	46	3	0	95	7	0	94	16	0	251	27	0
血液疾患	8	1	0	41	9	2	31	3	2	27	2	0	107	15	4
便潜血	0	0	3	0	0	8	0	0	17	0	0	11	0	0	39
前立腺疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	7	2	3	43	3	12	53	4	12	33	1	4	136	10	31
乳房疾患	4	0	4	15	0	17	13	0	16	9	0	6	41	0	43
その他の疾患	29	0	6	105	0	15	192	7	23	186	5	20	512	12	64
合 計	130	9	20	651	40	66	1,072	143	99	954	158	59	2,807	350	244

A…異常なし B…軽度異常あるも日常生活に支障なし C…軽度異常あり生活習慣改善を要す D1…要医療(E:現在治療中含む) D2…要精密検査

日帰りコース 女性 判定項目集計

年代別	39歳以下			40～49歳			50～59歳			60歳以上			総計		
異常なし(A+B)	67			60			13			3			143		
受診者数	674			1,355			1,208			519			3,756		
判定項目	C	D1(E)	D2	C	D1(E)	D2	C	D1(E)	D2	C	D1(E)	D2	C	D1(E)	D2
肥満	79	0	0	243	0	0	273	0	0	116	0	0	711	0	0
呼吸器疾患	18	11	4	46	18	9	102	31	13	75	10	9	241	70	35
高血圧	3	1	0	22	27	0	44	129	0	23	115	0	92	272	0
高コレステロール	69	9	0	241	47	0	440	136	0	218	66	0	968	258	0
高中性脂肪	88	7	0	250	38	0	373	153	0	178	136	0	889	334	0
高尿酸	5	0	0	8	2	0	12	4	0	5	1	0	30	7	0
心電図異常	27	0	1	107	2	2	208	12	1	147	12	3	489	26	7
食道疾患	9	0	0	17	0	1	23	0	2	20	0	2	69	0	5
胃疾患	224	0	10	545	0	26	531	0	21	218	0	16	1,518	0	73
十二指腸疾患	5	0	0	6	0	1	12	0	2	17	0	1	40	0	4
胆石・胆のうポリープ	94	0	0	231	0	1	270	0	1	148	0	1	743	0	3
肝機能異常(脂肪肝含)	171	1	12	473	6	13	502	9	18	259	8	8	1,405	24	51
糖尿病	18	1	0	82	9	0	190	33	0	153	22	0	443	65	0
血液疾患	139	12	12	324	50	50	235	23	9	92	0	2	790	85	73
便潜血	0	0	23	0	0	59	0	0	40	0	0	23	0	0	145
前立腺疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	51	17	20	271	40	50	229	28	40	48	13	13	599	98	123
乳房疾患	6	0	32	40	0	97	49	0	44	12	0	15	107	0	188
その他の疾患	257	4	40	673	2	90	763	20	71	451	14	44	2,144	40	245
合 計	1,263	63	154	3,579	241	399	4,256	578	262	2,180	397	137	11,278	1,279	952

A…異常なし B…軽度異常あるも日常生活に支障なし C…軽度異常あり生活習慣改善を要す D1…要医療(E:現在治療中含む) D2…要精密検査

7. 施設業務年表

2018年度 施設業務年表

集計期間 :2018年1月1日～ 2018年12月31日

年・月	施設関係	その他
2018.04	日本人間ドック学会検査基本項目の追加改訂	日本人間ドック学会血液検査の基準値の変更
	人間ドック受診当日の特定保健指導実施の開始	日本総合健診医学会コントロールサーベイ (生化学・尿一般・血算)
		S・H コース +PET 検査プラン継続
2018.05		胃内視鏡検査枠の増加 (天神橋みやたけクリニック)
		日本総合健診医学会指導士取得 (大谷)
2017.07	勤怠システム「勤次郎」 導入	日本総合健診医学会コントロールサーベイ (生化学・血算)
2017.08		ストレスチェックの実施
		CS リーダー研修
2017.09	IHC 健康プログラム (一泊) 開始	日本総合健診医学会コントロールサーベイ (生化学・尿一般・血算)
		タニタ体組成計の設置
2017.10		胃内視鏡検査枠の増加 (天神橋みやたけクリニック)
2017.11		全国労働衛生団体連合 腹部超音波検査精度管理
		接遇マナー研修
		CT 装置ハードディスク交換
2018.12	人間ドック健診施設機能評価認定更新 受審	日本総合健診医学会コントロールサーベイ (生化学・尿一般・血算)
	IHC 健康プログラム全面的開始	大阪市定量協会検査 (身長・体重計・体組成計)
2019.01	人間ドック健診施設機能評価認定の更新承認	新健診システムの導入キックオフ
	(認定期間 2024 年 3 月末)	
2019.02		日本総合健診医学会コントロールサーベイ (胸部 XP・心電図)
		待ち時間調査実施
2019.03		感染予防研修会 / AED 講習会 / 個人情報保護関連研修会
		第二十三期 人間ドック受診者 9,073 名、その他健診 854 名、総合計 9,927 名

(4) 大道クリニック

目 次

1. 基本方針	333
2. 施設概要	333
3. 2018年度総括と2019年度に向けて	333
(1) 2018年度総括	333
(2) 2019年度に向けて	333
4. 受診者統計	334
5. 年表	335

1. 基本方針

「人工透析専門クリニックとして高品質の治療、心のこもったサービスを提供します」

大道クリニックでは、受診者に安心して治療を受けていただくために、長年蓄積してきたノウハウはもちろんのこと、高機能の透析管理装置・人口透析管理システムを導入しています。そして、常に勉強会を行い、スタッフのさらなるレベルアップを図っています。環境づくりや接遇、サービスの充実にも努めながら今後も地域の受診者に安心して透析医療を受けていただけるクリニックを目指してスタッフ一同、努力を継続していきます。

2. 施設概要

- 【名 称】 大道クリニック
- 【所在地】 〒536-0023 大阪市城東区東中浜1丁目4-25
- 【診療科目】 泌尿器科（人工透析）、内科（一般内科・睡眠時無呼吸症候群治療）、外科（整形外科・乳腺外科）
- 【開設者】 社会医療法人大道会 理事長 大道 道大
- 【管理者】 足立 典夫
- 【開設年月日】 2003年5月1日
- 【透析診療案内】 血液透析（HD）、血液濾過透析治療（HDF）
- 【設備】 透析ベッド40床、11型液晶 TV40台、DVD デッキ5台
- 【その他サービス】 送迎（無料、透析患者対象）
- 【各種指定】 健康保険法指定、国民健康保険法指定、労働者災害補償保険法指定、生活保護法指定、被爆者一般疾病医療機関指定、結核予防法指定、公害医療機関、指定自立支援医療機関

3. 2018年度総括と2019年度に向けて

（1）2018年度総括

透析部門、一般外来部門（一般内科・整形外科・乳腺外科）、SAS（睡眠時無呼吸症候群）部門を合わせた大道クリニック全体の医業収入は約4億7,700万円となり前年度比102.5%。医業利益は約5,100万円となった。収益の9割を占める透析部門の在籍患者数については、新規獲得14名、転出5名、逝去9名となっており期末時点で87名となり現状維持の状況となっています。

一般外来部門については、ボバース記念病院再編の一環で外来部門の4名の医師について段階的に移管を行い、9月から新しい診療枠での診察を開始しています。

SAS（睡眠時無呼吸症候群）については、昨年度は患者数の落ち込みが顕著であったが、新たな担当医をリクルートすることができたことで、積極的な診療体制でスタートし、期末時点で100名を超える患者数を確保できています。

（2）2019年度に向けて

医業収入の9割を占める透析部門について、患者数は安定的に推移していますが、徐々に独歩から車椅子へ移行する患者が増加するなど、新規・既存患者ともに高齢化の流れからADLの低下が顕著で、医師・看護師による患者の全体管理の難易度が増加しています。医療や介助の依存度が高まる中、一日でも長く自宅からの外来通院が継続でき、自立した生活が送れるように適切な医療を継続していきます。新規患者獲得については、継続して紹介

元となる法人外の医療機関への訪問の強化と、森之宮病院で稼働する透析室との法人内における連携策を模索していきます。

一般外来部門については、法人再編の一環で進められてきたボバース記念病院からの4名の医師の移管が完了しました。今後は安定した外来診療体制が継続できるように収支バランスについても精査していきます。

SAS（睡眠時無呼吸症候群）については、近隣の各種団体との協力体制を継続し、新たな獲得ルートの発掘にも取り組んでいきます。

2019年度も、大道クリニック職員が一体となり目標に向かって努力をしたいと思います。

4. 受診者統計

(1) 2018年度月別受診者延数（単位／人）

① 一般外来受診者延数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	前年同期実績
536	743	1,248	1,391	1,350	1,303	13,933	6,671
10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1,365	1,099	1,248	1,205	1,165	1,280		

② 人工透析科受診者延数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	前年同期実績
1,032	1,047	993	1,033	1,084	998	12,673	13,538
10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1,093	1,081	1,107	1,132	1,010	1,063		

③ SAS 外来受診者延数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	前年同期実績
75	80	80	80	76	86	1,008	845
10月	11月	12月	1月	2月	3月		
80	94	83	86	98	90		

④ SAS 入院受診者延数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	前年同期実績
1	3	1	3	3	3	38	64
10月	11月	12月	1月	2月	3月		
6	3	4	3	4	4		

(2) 2018年度人工透析科紹介元・転医先

(参考2017年度)

紹介元医療機関(2018年度)	人数
大阪市立総合医療センター	4
赤十字	3
大阪府立急性期総合医療センター	2
大手前病院	1
関西医科大学	1
森之宮病院	1
合 計	12

紹介元医療機関(2017年度)	人数
大阪府立急性期総合医療センター	2
大阪市立総合医療センター	2
NTT 西日本大阪病院	1
明生病院	1
大手前病院	1
東大阪病院	1
合 計	8

転医先医療機関(2018年度)	人数
小尾クリニック	1
合 計	1

転医先医療機関(2017年度)	人数
大森クリニック	1
城東中央病院	1
府外施設	2
合 計	4

5. 年表

年 月	
2002.11	大道クリニック新築工事着工 設計・施工大林組
2003.4	大道クリニック竣工式
2003.5	内覧会開催 モニター会・地域連合町会・地域開業医等 医療法の開設許可
2003.6	健康保険法指定医療機関 大道クリニック開院(無床診療所) 大阪府医師会・城東区医師会入会 診療科目 / 内科・泌尿器科(人工透析) 診療時間 / 内科外来 [月・水・金] 9:00～12:00、15:00～17:00 [火・土] 9:00～12:00 [木] 休診 人工透析 [月・水・金] 9:00～13:30、14:00～19:30 [火・木・土] 9:00～13:30
2003.11	在宅ケア科 大道病院より移管
2006.2	病室(3床)改修工事開始 在宅ケア室2階会議室へ移動
2006.3	改修工事終了
2006.4	無床診療所より有床診療所に変更(3床) 有床診療所入院基本料1を取得 内科外来 / 1診から2診制に変更 診察時間 / 内科外来 1診 [月・水・金] 9:00～12:00、15:00～17:00 [火・土] 9:00～12:00 [木] 休診 2診 [月～木] 9:00～12:00、15:00～17:00 ※木曜午後は18:30まで [金] 休診 [土] 9:00～12:00 診察内容 / 一般内科・睡眠時無呼吸症候群(SAS ※予約診) SAS 検査入院日 / 毎週木(各曜日2名限定)
2006.5	在宅ケア科 組織再編のためボバース記念病院へ移管

年 月	
2007.8	<p>SAS 外来縮小 診察時間 / 内科外来 1 診 [月・水・金] 9:00～12:00、15:00～17:00 [火・土] 9:00～12:00 [木] 休診 2 診 [木] 17:00～20:00 SAS 入院開始 / 木曜 20:00～金曜 7:00</p>
2008.4	<p>理事長大道學より大道道大へ交代 電子加算取得</p>
2008.12	<p>木曜日午前診療を開始 / 木曜日 9:00～12:00 透析設備一式交換（精製水製造装置・透析液供給装置・A、B 溶解装置・薬液、酢酸タンク等）</p>
2010.1	<p>社会医療法人大道会に名称変更（社会医療法人認可）</p>
2010.4	<p>診療報酬請求 電子請求開始</p>
2011.5	<p>透析装置オーバーホール実施</p>
2013.2	<p>人工透析装置コンソール入替え（40 台）</p>
2015.2	<p>透析装置オーバーホール実施</p>
2015.4	<p>RO 装置 新規入替</p>
2015.9	<p>透析液水質確保加算 2 取得</p>
2015.10	<p>輸液ポンプ・シリンジポンプ 施設毎の管理から全体管理へ変更</p>
2016.8	<p>I-HDF 方式での維持透析を一部にて新規取り組み開始</p>
2017.7	<p>ボバース記念病院 長谷川医師外来 移管</p>
2017.8	<p>SAS 担当医師 小川医師着任</p>
2018.5	<p>ボバース記念病院 糸原医師外来 移管</p>
2018.6	<p>ボバース記念病院 堀医師外来 移管</p>
2018.8	<p>ボバース記念病院 大道医師外来 移管</p>
2018.9	<p>ボバース記念病院 外来移管完了 診察時間 / 外来（一般内科、整形外科、乳腺外科、SAS） [月・火・水・金] 9:00～12:00、14:00～17:00 [木] 9:00～12:00、17:00～20:00 [土] 9:00～12:00</p>

(5) 森之宮クリニック

目 次

1. スタッフ・業務体制	341
2. 業務内容	341
3. 業務実績	341
(1) 2018 年度活動状況 総括	341
(2) 2018 年度受診者統計	343
① 検査件数の推移	343
② 月別検査件数	344
③ 検査目的別件数	345
④ 紹介元医療機関別件数	346
⑤ 病名別件数	347
4. 教育研修	348
5. 今後の展望	348

1. スタッフ・業務体制

所長(理事) 細木 拓野

【診療部】

部 長 細木 拓野
医 師 常 勤 1名
非常勤 11名

統括部長 上田 三夫

【診療技術部】

第一種放射線取扱主任者 1名
診療放射線技師 常勤 5名
非常勤 2名
看 護 師 常勤 6名
薬 剤 師 常勤 1名
非常勤 1名

【企画広報部】 常勤 11名
非常勤 2名

2019年3月末時点

2. 業務内容

(1) 基本理念

がん専門の診断施設として“心温かな医療”をめざします

(2) 基本方針

①がんの PET/CT 検査専門施設として、安全で質の高い診断を心がけます

②他の医療機関との連携を深め、患者さんに信頼される医療をめざします

③がん患者さんの立場を理解し、心温かな医療を推進します

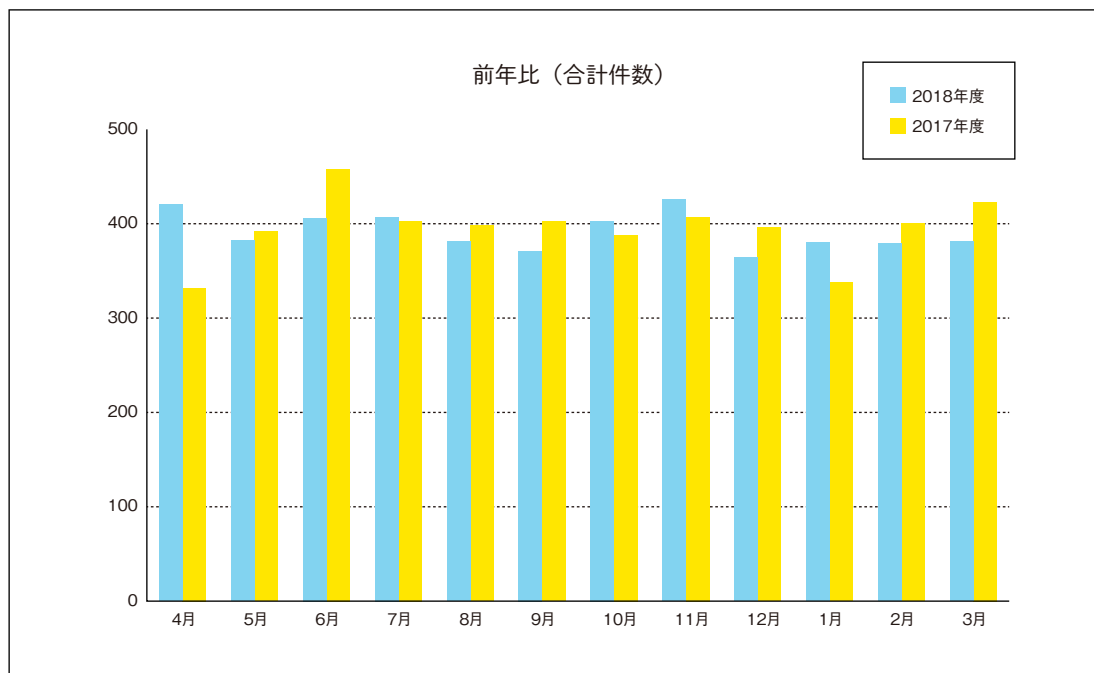
3. 業務実績

(1) 2018年度活動状況 総括

大阪国際がんセンターが移転2年を経過。依頼件数は従来の件数へ回復基調となる。他紹介元医療機関からの件数もほぼ前年並みに回復する。(4月～3月:前年比 99.2%)
但し、適用条件の厳格化(支払側)によるがん診療医師からの PET 検査依頼の萎縮傾向は続いている。

① 悪性根拠の弱い症例や鑑別診断の意味合いが強い症例に対する査定。

- ② 縦覧点検の強化。治療後6ヶ月以内の検査は治療判定効果とみなされ、査定対象となる。
- ③ PET 検査前に画像検査がなされていない症例の査定。(腫瘍マーカー上昇のみは不可)
- ④ 横覧点検による同月紹介元医療機関のレセプト病名の照会返戻が増加傾向にある。
⇒クリニック内での返戻処理に加えて他医療機関へのレセプト内容確認作業を実施。
減点件数(4月～2月) 2/2/7/1/2/0/5/8/3/5/8
返戻件数(同) 5/3/2/3/2/4/7/6/7/4/6
・新規検査(疾患追加)への取り組みを開始。
⇒大型血管炎・高安病への検査開始(保険診療)主として赤十字病院 血液内科より依頼
⇒アミロイド PET と遺伝子血液検査のセットでの実施(自費診療)3件
・大阪府、大阪国際がんセンター、大道会。3者による PET 事業勉強会の開始(7月より)
・メディカルツーリズムジャパンと契約。インバウンドへのアプローチ。
実施件数(月別推移)は以下のグラフを参照。



・総件数(4月～3月) 4,700件(事業計画:4,858件)

※昨年実績:4,737件 ※目標達成率:96.7 %

・月平均件数:392件/月 ※昨年実績:394件/月

・構成比率 大阪国際がんセンター: 58.9%(昨年 57.3%)

他 施 設: 31.1%(昨年 31.9%)

自 費: 10.0%(昨年10.0%)

(2) 2018年度受診者統計

① 検査件数の推移

PET 件数	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
総件数	2,965	4,266	4,883	5,682	6,326	6,355	6,532
保険 成人病センター	1,954	2,607	3,013	3,631	4,137	4,177	4,185
その他医療機関(※1)	513	1,108	1,251	1,434	1,644	1,762	1,874
自費 成人病センター人間ドック	98	132	116	102	109	93	85
その他検診(※2)	400	419	503	515	436	323	388

PET 件数 (2013年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
総件数	564	533	517	558	526	515	573	513	486	529	510	503	6,327	100%
保険 成人病センター	371	333	332	346	348	337	376	312	309	348	304	319	4,035	63.8%
その他医療機関(※1)	161	163	153	174	140	147	163	159	151	148	162	147	1,868	29.5%
自費 成人病センター人間ドック	3	13	7	9	7	8	0	6	2	8	8	10	81	1.3%
その他検診(※2)	29	24	25	29	31	23	34	36	24	25	36	27	343	5.4%

PET 件数 (2014年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
総件数	511	505	521	562	532	491	534	458	475	491	499	511	6,090	100%
保険 成人病センター	321	312	321	364	332	322	357	299	303	335	305	325	3,896	64.0%
その他医療機関(※1)	161	147	170	179	165	135	141	135	142	123	165	159	1,822	29.9%
自費 成人病センター人間ドック	6	12	4	7	6	4	4	4	9	10	2	6	74	1.2%
その他検診(※2)	23	34	26	12	29	30	32	20	21	23	27	21	298	4.9%

PET 件数 (2015年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
総件数	460	423	551	555	460	448	567	485	481	447	483	474	5,834	100%
保険 成人病センター	286	256	320	341	268	267	313	269	270	235	272	240	3,337	57.2%
その他医療機関(※1)	142	136	182	177	152	153	192	174	170	170	173	179	2,000	34.3%
自費 成人病センター人間ドック	6	5	4	7	7	6	5	9	7	12	7	4	79	1.4%
その他検診(※2)	26	26	45	30	33	22	57	33	34	30	31	51	418	7.2%

PET 件数 (2016年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
総件数	454	414	452	440	416	407	448	427	350	325	409	392	4,934	100%
保険 成人病センター	255	214	247	248	207	236	248	242	179	179	232	200	2,687	54.5%
その他医療機関(※1)	148	135	155	164	167	135	149	148	133	125	146	165	1,770	35.9%
自費 成人病センター人間ドック	9	7	12	16	9	3	6	4	6	6	5	1	84	1.7%
その他検診(※2)	42	58	38	12	33	33	45	33	32	15	26	26	393	8.0%

PET 件数 (2017年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
総件数	332	392	458	403	398	402	388	407	396	338	400	423	4,737	100%
保険 大阪国際がんセンター	183	211	241	239	203	228	217	221	224	195	219	246	2,627	55.5%
その他医療機関(※1)	117	131	149	117	142	138	132	139	132	115	138	138	1,588	33.5%
自費 大阪国際がんセンタードック	7	11	11	12	8	8	5	10	4	7	13	3	99	2.1%
その他検診(※2)	25	39	57	35	45	28	34	37	36	21	30	36	423	8.9%

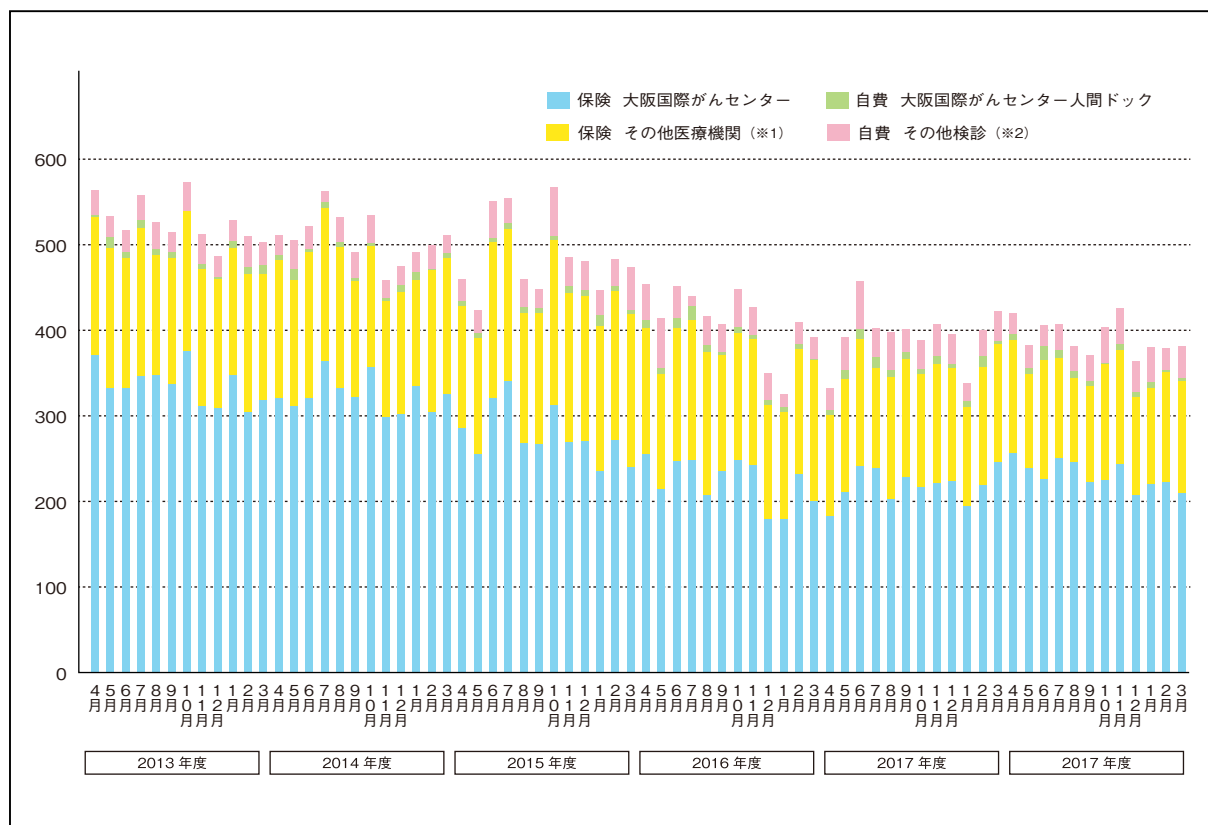
PET 件数 (2018年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
総件数	420	382	406	407	381	371	403	426	364	380	379	381	4,700	100%
保険 大阪国際がんセンター	256	239	226	251	246	223	225	244	207	220	223	210	2,770	58.9%
その他医療機関(※1)	133	109	139	116	98	112	135	133	115	112	128	130	1,460	31.1%
自費 大阪国際がんセンタードック	7	8	16	10	8	5	2	7	5	8	2	4	82	1.7%
その他検診(※2)	24	26	25	30	29	31	41	42	37	40	26	37	388	8.3%

※1 保険診療のうち大阪国際がんセンター以外の医療機関からのご紹介件数

※2 自費診療のうち、大阪国際がんセンター人間ドック以外の自費件数

● 開設からの合計件数

	件数	比率
総合計	69,631	100%
保険	63,150	90.7%
自費	6,481	9.3%

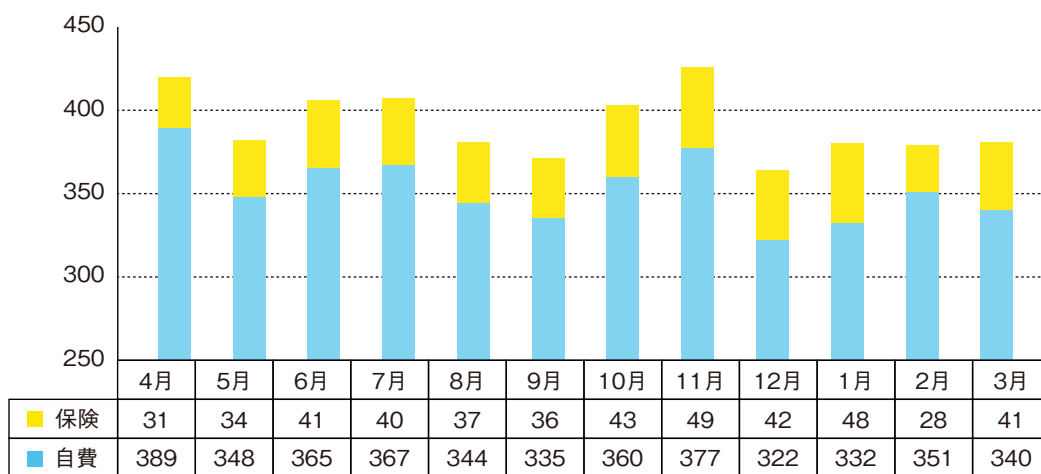


② 月別検査件数（保険、自費別）

(単位:件)

	2018年										2019年		
	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保険	4230	389	348	365	367	344	335	360	377	322	332	351	340
自費	470	31	34	41	40	37	36	43	49	42	48	28	41
合計	4700	420	382	406	407	381	371	403	426	364	380	379	381

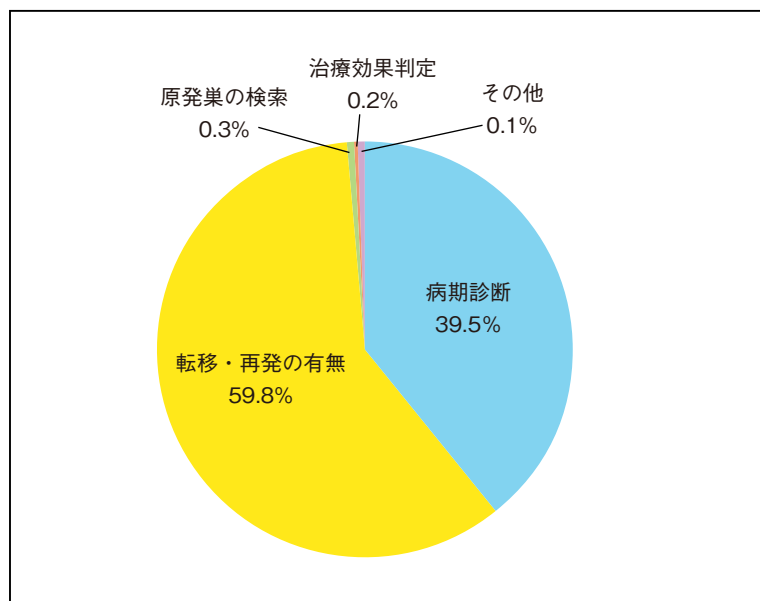
図1／検査件数（保険・自費別）



③ 検査目的別件数（保険診療・PET 検査依頼時）

（単位:件）

検査目的	合計	2018年										2019年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
病期診断	1,672	149	144	132	152	137	126	150	164	139	115	134	130	
転移・再発の有無	2,531	236	204	231	215	205	209	207	212	178	212	213	209	
原発巣の検索	11	3	0	0	0	0	0	3	0	0	3	1	1	
治療効果判定	10	0	0	1	0	1	0	0	1	2	2	3	0	
その他	6	1	0	1	0	1	0	0	0	3	0	0	0	
合 計	4,230	389	348	365	367	344	335	360	377	322	332	351	340	

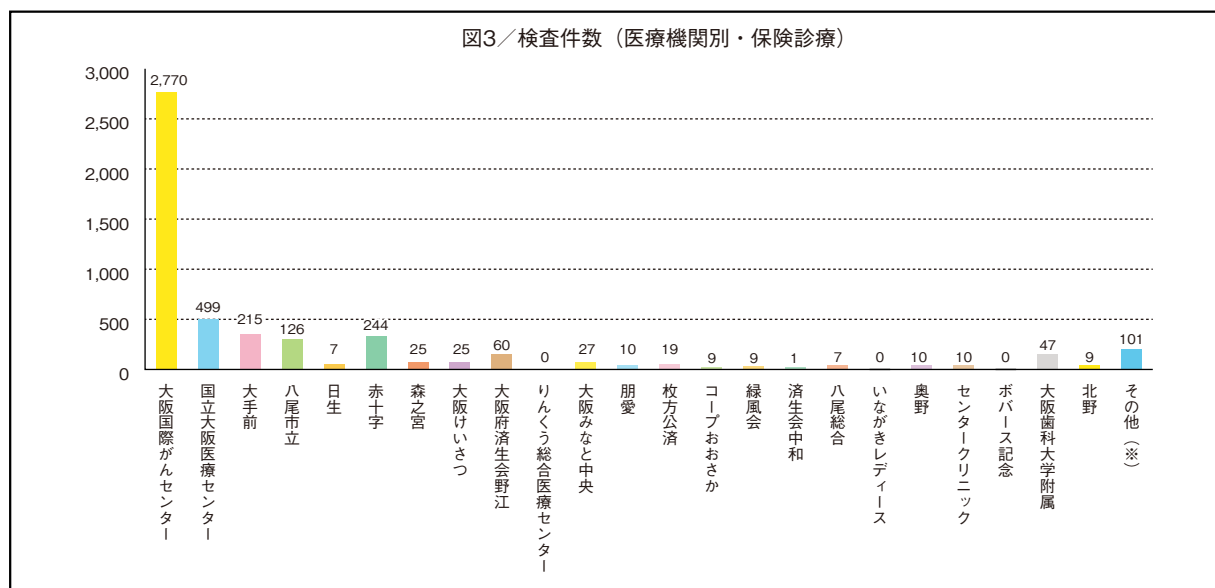


④ 紹介元医療機関別件数

(単位:件)

	合計	2018年										2019年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
大阪国際がんセンター	2,770	256	239	226	251	246	223	225	244	207	220	223	210	
国立大阪医療センター	499	45	36	45	40	26	39	43	52	42	42	41	48	
大手前	215	18	16	25	14	13	17	19	21	18	12	22	20	
八尾市立	126	13	12	12	5	11	10	16	12	11	7	13	4	
日生	7	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
赤十字	244	20	18	22	24	21	20	16	17	14	25	27	20	
森之宮	25	2	0	4	4	1	2	2	2	3	2	2	1	
大阪いさつ	25	2	0	3	3	2	0	4	2	3	3	1	2	
大阪府済生会野江	60	5	3	12	5	0	6	7	5	7	1	5	4	
りんくう総合医療センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大阪みなと中央	27	4	2	2	1	0	2	4	2	2	4	3	1	
朋愛	10	0	0	0	1	1	0	2	0	3	2	1	0	
枚方公済	19	1	0	0	2	2	1	5	1	1	2	1	3	
コープおおさか	9	0	1	0	2	2	0	1	0	2	0	1	0	
緑風会	9	1	1	1	0	0	0	1	0	0	1	1	3	
済生会中和	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
八尾総合	7	1	2	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	
いなぎレディース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
奥野	10	0	1	0	2	1	1	2	0	0	1	1	1	
センタークリニック	10	3	0	2	0	1	1	1	1	0	0	0	1	
ボバース記念	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大阪歯科大学附属	47	6	6	6	3	2	6	3	2	1	2	2	8	
北野	9	0	2	0	0	2	0	0	0	0	1	1	3	
その他(※)	101	6	8	5	9	12	6	7	16	8	7	6	11	
小計(その他医療機関)	1,460	133	109	139	116	98	112	135	133	115	112	128	130	
小計(保険診療)	4,230	389	348	365	367	344	335	360	377	322	332	351	340	
大阪国際がんセンタードック	82	7	8	16	10	8	5	2	7	5	8	2	4	
帝国ホテルクリニック	41	3	9	2	3	3	2	1	2	3	6	4	3	
芦屋三戸岡クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
自費	343	21	17	23	27	26	28	40	39	34	34	22	32	
アミロイドPET	4	-	-	-	-	-	1	0	1	0	0	0	2	
小計(自費診療)	470	31	34	41	40	37	36	43	49	42	48	28	41	
合計	4,700	420	382	406	407	381	371	403	426	364	380	379	381	

図3/検査件数(医療機関別・保険診療)



⑤ 病名別件数（保険診療・PET 検査依頼時）

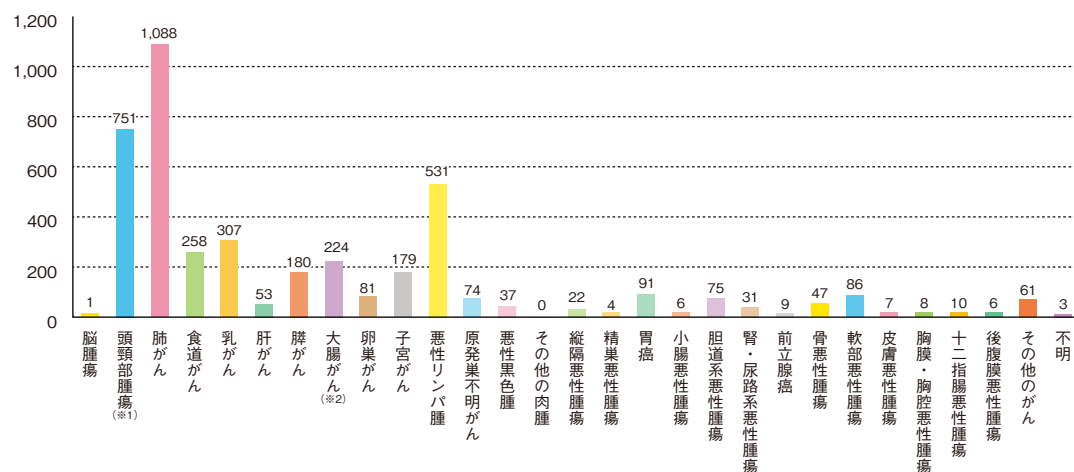
（単位:件）

	合計	2018年									2019年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
脳腫瘍	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頭頸部腫瘍（※1）	751	65	62	60	77	55	56	62	62	44	76	63	69
肺がん	1,088	108	79	96	89	106	86	85	103	90	69	78	99
食道がん	258	24	18	17	22	17	27	24	27	25	16	23	18
乳がん	307	31	25	20	27	29	18	29	29	26	24	24	25
肝がん	53	3	4	9	9	5	4	5	3	3	2	4	2
膵がん	180	15	14	17	19	16	18	29	9	12	9	13	9
大腸がん（※2）	224	22	16	16	18	18	27	18	26	18	19	14	12
卵巣がん	81	5	7	12	9	5	2	7	11	6	5	7	5
子宮がん	179	12	13	17	17	15	14	14	20	10	13	17	17
悪性リンパ腫	531	50	55	45	41	37	40	45	40	43	45	50	40
原発巣不明がん	74	8	11	8	2	4	4	6	5	4	8	8	6
悪性黒色腫	37	0	4	5	4	3	4	2	3	3	3	4	2
その他の肉腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
縦隔悪性腫瘍	22	2	4	3	0	3	2	0	0	2	1	3	2
精巣悪性腫瘍	4	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
胃癌	91	9	6	6	6	6	9	4	8	7	6	12	12
小腸悪性腫瘍	6	0	0	1	1	0	0	2	0	1	0	1	0
胆道系悪性腫瘍	75	2	3	5	10	4	8	7	9	7	8	7	5
腎・尿路系悪性腫瘍	31	2	2	4	3	0	1	2	3	4	3	5	2
前立腺癌	9	4	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	1
骨悪性腫瘍	47	4	4	7	3	1	0	4	3	6	7	4	4
軟部悪性腫瘍	86	10	14	11	5	7	5	10	6	4	6	3	5
皮膚悪性腫瘍	7	0	1	0	0	0	1	1	1	0	2	0	1
胸膜・胸腔悪性腫瘍	8	0	1	1	1	0	0	0	4	0	1	0	0
十二指腸悪性腫瘍	10	1	0	0	0	2	2	0	0	1	3	1	0
後腹膜悪性腫瘍	6	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0
その他のがん	61	9	3	3	3	7	6	4	3	5	6	8	4
不明	3	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
合計	4,230	389	348	365	367	344	335	360	377	322	332	351	340

※1 「頭頸部腫瘍」は甲状腺癌を含む

※2 「大腸がん」は直腸癌・結腸癌を含む

図4／病名別集計（保険診療・PET検査依頼時）



4. 教育研修

年 月	研 修 名 など
2018年4月14日	第77回日本医学放射線学会総会<横浜>（細木拓野）
2018年5月12日	第18回日本核医学会春季大会<東京>（細木拓野・渡辺晋一郎）
2018年5月26日	大阪国際がんセンター病診連携ネットワーク講演会（細木拓野・荒木美穂）
2018年8月18日	医療機関の放射線業務従事者のための放射線障害防止法講習会 <大阪科学技術センター>（大西邦和）
2018年8月24日	PET サマーセミナー 2018in 山口（細木拓野・荒木美穂・大西邦和・岡利充）
2018年10月5日	第54回日本医学放射線学会秋季臨床大会<福岡>（渡辺晋一郎）
2018年10月25日	大阪国際がんセンター病診連携ネットワーク講演会（細木拓野・荒木美穂・大西邦和）
2018年10月27日	大阪医療センター法円坂地域医療フォーラム（細木拓野・荒木美穂）
2018年11月15日	第58回日本核医学会学術総会<沖縄>（吉田香愛）
2018年12月15日	看護医療安全技術研修会2018「看護におけるヒューマンエラーの概念」<奈良>（川端元子）
2019年1月17日	PET 集中講義<神戸>（長友晴香）
2019年1月19日	第4回がん看護研修会アドバンスコース<大阪けいさつ病院>（吉本こずえ・世良眞弓）
2019年1月19日	大阪国際がんセンター大腸がんセミナー（細木拓野・荒木美穂・大西邦和・曾我芳光）
2019年2月22日	メディカルジャパン展<インテックス大阪>（曾我芳光）
2019年3月9日	大阪国際がんセンター頭頸部外科フォーラム（細木拓野・上田三夫・大西邦和）

5. 今後の展望

- ① 継続して、大阪大学医局（現教授退官後の医局フォロー）、各病院事務局、地域医療連携室との情報共有を行う。
- ② 検査依頼実績が減少している医療機関、診療科と情報交換と広報活動を行う。
⇒大阪国際がんセンター：病診連携ネットワーク講演会、区医師会：病院合同講演会等々の継続
- ③ がんセンター PET ブース（出張所）業務の継続（画像連携システム稼働2年目）
- ④ 過去に PET 検診において実績のある企業、個人を引き続き掘り起こす作業。自費検診は、保険診療における症状詳記作成業務を軽減出来る。
- ⑤ FDGPET での事業拡大（検査件数）は保険診療分野では上限件数に近づきつつある。
⇒新規開拓分野としてアミロイド PET（認知症）の臨床実績を広報する。（昨年度実績4件）
- ⑥ 4月、5月の10連休については4/30、5/2は通常運営（終日検査を実施）とする。
- ⑦ 放射線障害防止法改定に伴い、放射線安全管理委員会の充実。
- ⑧ 原子力規制庁の立ち入り検査への準備と対応を具体的に開始する。
- ⑨ 大阪府との契約に基づく2025年5月末までの運営の工程表を作成する。
- ⑩ 大阪府・大阪国際がんセンター・法人との3者 PET 事業勉強会の継続。
- ⑪ 旧成人病センター建物撤去に関して大阪府・大阪健康安全基盤研究所との個別協議の実質開始。
- ⑫ 検査件数は昨年度実績を基に算出（平日20/日）（土8人）昨年比：101.0%（年間）
- ⑬ 2019年度の実日数は前年比 平日-4日、土曜+1日。
- ⑭ 医療機器不具合（費用増加要因）への対応が喫緊の課題。
- ⑮ 2019/10～消費税8%⇒10%となるため自費健診関連の価格改定を行う。
- ⑯ Synthera 合成装置及び品質管理装置トキシトメーターの入れ替えを行う。
- ⑰ 保険診療、自費検診（腫瘍・アミロイド）共に継続して安心と安全に配慮した運営を行う。

(6) 介護老人保健施設 グリーンライフ

目 次

1. 職員配置と人員数	353
2. サービス体制（各介護事業サービス）	353
(1) 施設入所療養介護（ロングステイ）	353
(2) 短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護（ショートステイ）	353
(3) 通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション（デイケア）	353
(4) 訪問介護（ヘルパーステーション）	354
(5) 訪問リハビリテーション	354
3. 施設の基本理念	354
(1) 包括的ケアサービス	354
(2) リハビリテーション	354
(3) 在宅復帰	354
(4) 在宅生活支援	354
(5) 地域に根ざした施設	354
4. 各サービス・プロジェクトなどの報告	355
5. 入所および通所リハビリ利用者状況（2019年3月31日現在）	358
(1) 年齢の分布	358
(2) 要介護度の分布	359
(3) 寝たきり度の分布	360
(4) 認知症高齢者の日常生活自立度	362
6. 施設内研修	363
(1) 感染対策勉強会	363
(2) 褥瘡対策勉強会	363
(3) 臨床倫理・身体拘束勉強会	364
(4) 事故防止研修会	364
7. 2019年度 グリーンライフ事業計画	364

1. 職員配置と人員数

施設長 濱田 和孝

事務長 奥田 寛之

事務サービス部:事務長1 事務員3 支援相談員2 介護支援専門員1 管理栄養士1

診療部:医師1(1) 薬剤師(1)

療養サービス部1科:看護師1 介護福祉士6(2) 介護員(2)作業療法士4(1)

理学療法士4 言語聴覚士1

療養サービス部2科:看護師5 介護福祉士13 介護員(1)

療養サービス部3科:看護師5(2) 介護福祉士14 介護助手1

ヘルパーステーション:介護福祉士3 介護員(4)

※2019年3月時点 常勤・嘱託(非常勤)



2. サービス体制(各介護サービス)

(1) 施設入所療養介護(ロングステイ)

施設入所をしていただき、利用者に合わせたケアプラン(介護計画)を策定する。

家庭にいるような心地よい雰囲気の中で看護・介護・リハビリ・レクリエーションを行い、家庭復帰・自立支援のためのお手伝いを実施する。

(2) 短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護(ショートステイ)

家庭の都合(介護疲れ・冠婚葬祭・旅行など)で一時的に自宅での介護ができない場合、短期間でロングステイ(一般入所)と同じ介護サービスを実施する。

(3) 通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション(デイケア)

家庭で療養されている方が、施設において健康チェック、日常生活介護、リハビリ、レクリエーションなど1日の中で楽しい時間を過ごしていただく。希望により、食事・入浴・送迎のサービスも実施する。

(4) 訪問介護（ヘルパーステーション）

介護福祉士、ホームヘルパーが自宅へ訪問し、日常生活に必要なサービス（掃除・洗濯・買い物）や身体的な介護（食事・排泄・入浴）のお手伝いをする。

(5) 訪問リハビリテーション

当施設を退所された方を含め、地域で身体面や住宅環境で課題がありながらも在宅生活を送られている方に、実際の生活場面の中で日常生活の機能的な練習と介助指導や環境調整を適宜行い、自宅で安心して過ごせるよう自立支援、社会参加の向上を支援する。

3. 施設の基本理念

『わたしたちは、ご利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上をめざした援助を行います。また、ご家族や地域の方々、事業所と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。』

5つの役割

(1) 包括的ケアサービス

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅又は施設生活が過ごせるようチームで支援する。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供する。

(2) リハビリテーション

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを実施する。

(3) 在宅復帰

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努める。

(4) 在宅生活支援

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供するとともに、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努める。

(5) 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、様々なケアの相談に対応する。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担う。また、評価・情報公開を行い、サービスの向上に努める。

4. 各サービス・プロジェクトなどの報告

2018年度は、一日あたりの利用者数の目標を、施設入所87.5名、短期入所4.5名、通所リハ22.5名、訪問介護20.5件に設定し運営。2018年度の事業別の収益金額は〔表-1〕の様に推移し、合計目標の達成率は96.7%となり目標には到達しなかった。

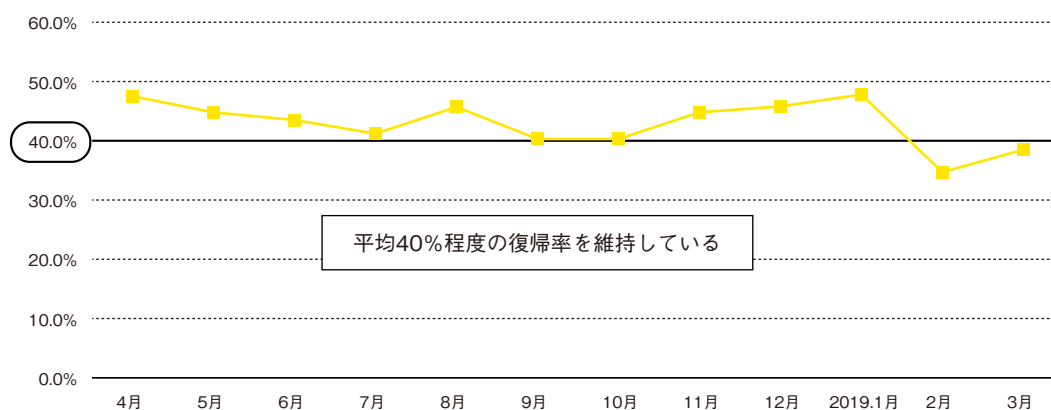
【表-1】 月間件数

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入所	88.0	86.0	84.8	86.0	87.6	83.3	82.3	82.2	80.6	82.0	89.8	89.0	85.1
短期入所	3.8	3.5	3.3	3.3	3.5	5.1	3.5	4.4	4.1	1.8	2.5	3.0	3.5
通所リハビリ	22.3	21.0	22.8	22.0	20.9	20.1	22.9	21.1	20.3	19.7	17.9	18.4	20.8
訪問介護	20.8	21.3	23.9	22.1	20.3	19.2	21.1	19.7	18.6	17.8	18.9	17.9	20.1
訪問リハビリ										2.0	3.0	4.0	3.0

【表-2】 事業別の結果

事業	単価目標 (円)			1日平均目標		
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率
一般入所	14,000	13,940	99.6%	87.5	85.1	97.3%
短期入所	16,100	16,312	101.3%	4.5	3.5	77.8%
通所リハ	12,600	12,331	97.9%	22.5	20.8	92.4%
訪問介護	3,300	3,123	94.6%	20.5	20.1	98.0%
訪問リハ	800	3,655	456.9%	3.0	3.0	100.0%

【図-I】 2018年度 グリーンライフ在宅復帰率の変遷



【表-3】入所期間と人数

年度 期間	2018	2017	2016
～1年	44	49	53
1年～2年	15	23	14
2年～3年	15	7	6
3年～4年	8	7	7
4年～5年	5	2	1
5年～6年	1	2	3
6年～7年	1	1	4
7年～	0	2	0
計	89	93	90

【表-4】退所先の分類

年度 退所先	2018	2017	2016
自宅	40	33	24
有料老人	9	10	5
特養	18	15	20
老健	1	3	3
療養病院	9	4	1
障害自立	0	1	1
看取り	5	4	8
死亡	1	1	6
治療入院	42	40	25
計	112	111	93

【表-5】入院者の疾病分類

年度 疾病名	2018	2017	2016
呼吸器	7	17	4
腎・尿路	6	1	3
糖尿病	0	0	0
心疾患	2	2	3
脳梗塞等	0	2	3
消化器	6	7	3
骨折	2	3	4
その他	20	6	3
検査	6	2	2
計	49	40	25

【表-5】入院者の疾病分類

年度 週	2018	2017	2016
～1W	1	4	2
1W～2W	6	1	5
2W～3W	11	7	1
3W～4W	6	4	0
4W以上	5	5	3
再入所計	29	21	11
再入所無	20	17	14
死亡	1	7	4
入院中	18	2	7
その他	1	8	3

(1) 施設入所

上半期は目標である87.5名／日が順調に推移できていたが、8月から入院者や特養退所者が増え、徐々に入所者を上回った。加えて、1月にインフルエンザが入所者から発生し、空床があるまま入退所とリハビリを全てストップした影響が年度末まで続いた（3月はインフルエンザ対策が終了し、入所者が回復した）。

在宅強化型老健に向け、在宅復帰率は2017年度から順調に上昇できた。平均で40%程度を維持している。効率的な判定会議とベッドコントロール会議が運用できている。

(2) 短期入所

短期入所は2017年度に続き好調を維持できている。年度を通じて4.5名／月を達成した。緊急ショートステイについても平均毎月1名の依頼を受けている。

(3) 通所リハビリテーション

上半期は目標値付近（22.5名／日）で推移していたが、下半期に入り長年利用していた方の終了（入院や死亡）、グリーンライフ施設入所での終了が相次いだ。結果的に21.0名／日平均となり目標は未達となった。新規利用者の獲得へ、年明けから広報活動の見直しを実施している。

(4) 訪問リハビリテーション

更なる地域への貢献、大道会流地域包括ケアシステムの一助として、2019年1月1日より「訪問リハビリテーショングリーンライフ」を新事業として開始した。リハビリ職員を増やさず開始しているため、まだ実施可能枠は少ないが、次年度以降少しずつ利用者（特にグリーンライフの入所や通所リハビリテーションを利用中の方）を増やしていく計画である。

(5) 訪問介護

上半期は目標値である20.5件／日を各月で達成した。しかし、常勤職員の異動、年明けには非常勤職員の体調不良が続き、下半期は低調が続いた。年度全体では21.0件／日となった。次年度、他部署から常勤職員を異動させ、人員を補充させる予定である。

〔表-3〕は、3月末日時点の入所者の状況である。年々長期入所者が減少している。また、1年未満の入所者が半数を占めてきている。リピート利用者確保など、在宅復帰支援の効果が出ている。

〔表-4〕は、退所先の分類である。在宅強化型老健に向け、自宅退所者は順調である。ただし、様々な状態の方を受け入れている影響で、療養病院への退所が増えていることが特徴として出てきている。

〔表-5〕は入院者の疾病別分類である。呼吸器、消化器系での入院が多い。

〔表-6〕は入院の期間である。4週間を超える長期入院が減るようにケアを実施した。

在宅復帰支援を強化するグリーンライフにおいて、リハビリの充実は外せない。今年度は、継続課題であった言語聴覚士の常勤化を達成することができた。法人内異動にて10月から言語聴覚士1名が常勤として勤務することとなり、「常勤の言語聴覚士が在籍する老健」を内外にPRすることを開始している。言語聴覚士が常勤となることで、今まで算定できなかった嚥下機能に関する加算も算定できるようになった。

また、介護職員や看護職員の人員が不足する中、今年度も多くの場面でボランティア（傾聴、整髪、エステ、ヨガ、ギター、踊り等）に助けていただいた。今後もボランティアを増やすべく、城東区社会福祉協議会との協働にて、当施設内でボランティア説明会等を実施していく。加算型老健、そして強化型老健の条件でもある「地域貢献活動」も継続、強化ができています。よつ葉カフェ（認知症カフェ）は新たなボランティアも含め、内容がより一層充実しており、家族交流会も福祉企業とのタイアップなど、グリーンライフだけでは手が届きにくい情報を地域住民へ提供することができた。

ア．介護技術向上プロジェクトによる「家族交流会」の報告

家族交流会は、入所・短期入所・通所・訪問介護の利用者と家族を対象に介護福祉士・看護師・リハビリ（理学療法士・作業療法士）職員が中心となり、在宅復帰および在宅生活継続のための様々な介助方法の支援や家族相談等の交流の場となるように開催した。

「家族交流会」

2018年 6月17日（日） 「ベッドでの体位交換 起き上がりのポイント」

2018年 11月18日（日） 「移乗を含む排泄介助について」・「福祉用具の紹介」

「介護プロジェクト勉強会」

2018年 5月・6月・7月 「スピーチロックと接遇」

2018年 10月・11月・12月 「ボディメカニクスとベッドからの起き上がり」

2019年 1月・2月・3月 「福祉用具レンタルと住宅改修の仕組みと制度」

イ．認知症プロジェクトによる「認知症カフェ（よつ葉カフェ）」の報告

2018年 4月23日（日） 「作品作り」を実施 16名参加

5月27日（日） 「体力測定」を実施 27名参加

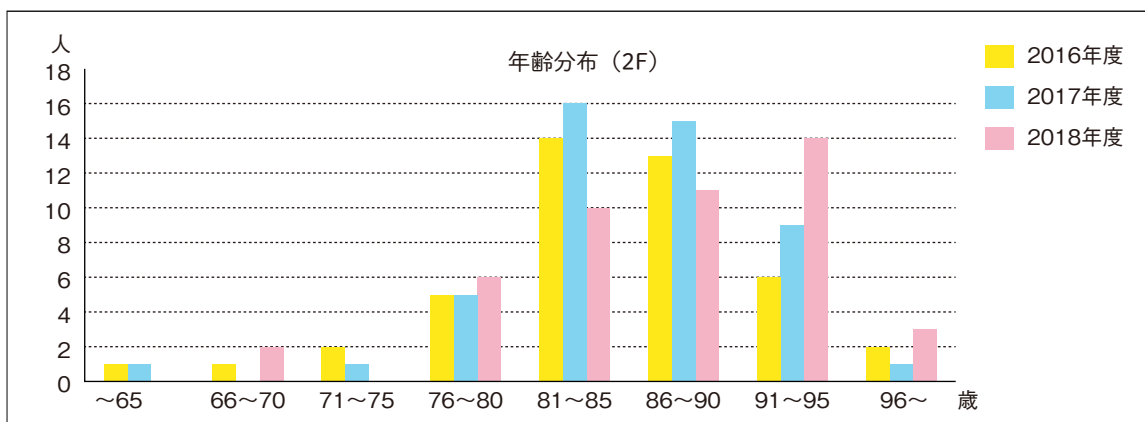
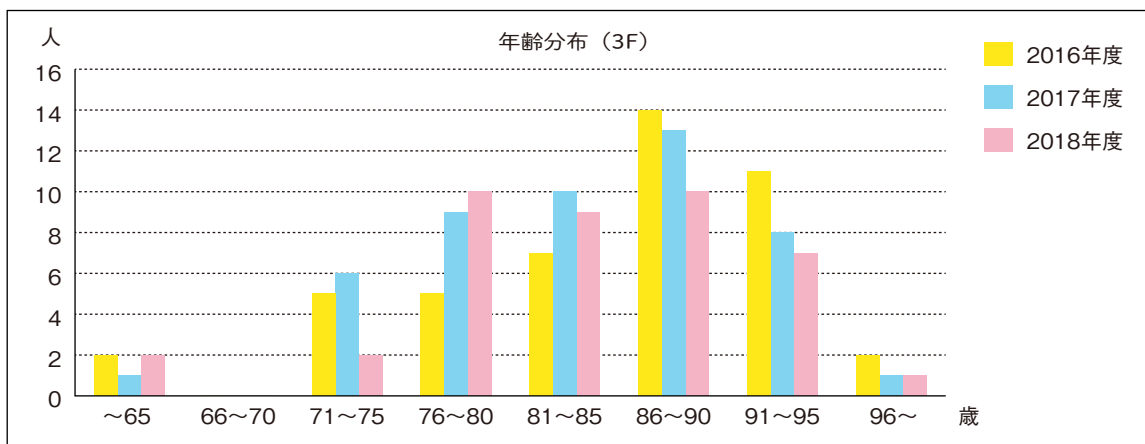
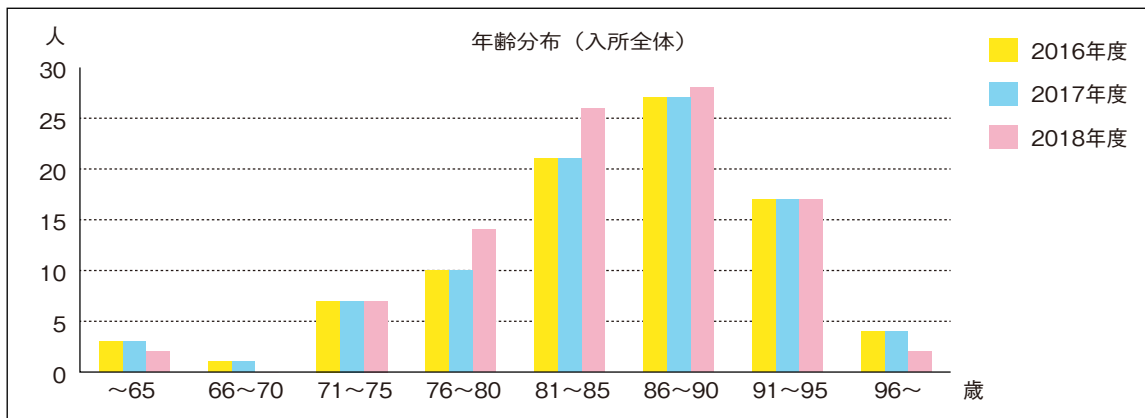
6月24日（日） 「昭和の時代を懐かしむ」を実施 25名参加

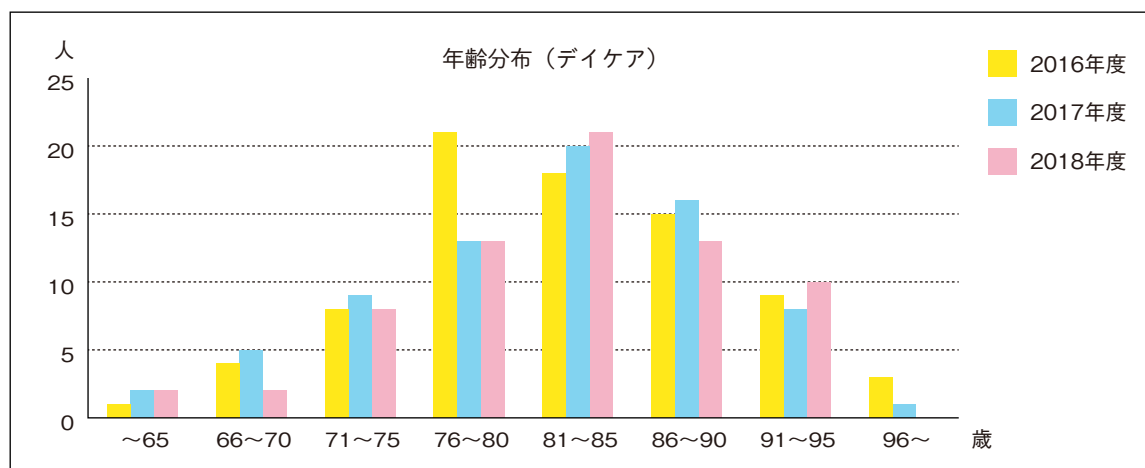
8月26日（日） 「うちわ作成」を実施 5名参加

2018年 9月24日(日) 「体力測定」を実施 10名参加
 10月28日(日) 「脳トレ」を実施 11名参加
 11月25日(日) 「エンディングノートを書いてみよう」を実施 26名参加
 12月23日(日) 「ウクレレコンサート」を実施 25名参加
 2019年 3月24日(日) 「フェルトで匂袋作成」を実施 21名参加

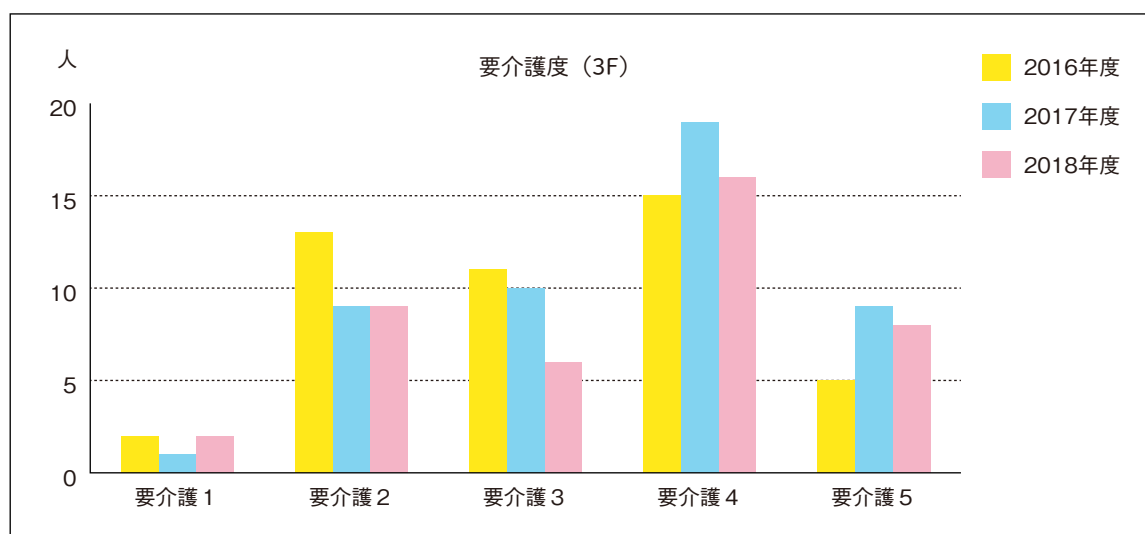
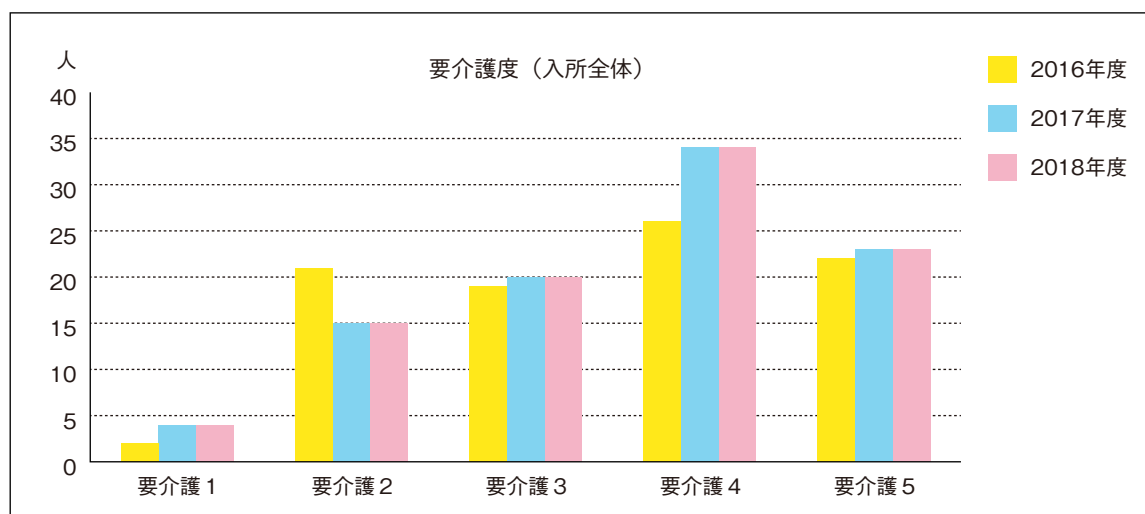
5. 入所および通所リハビリ利用者状況 (2019年3月31日現在)

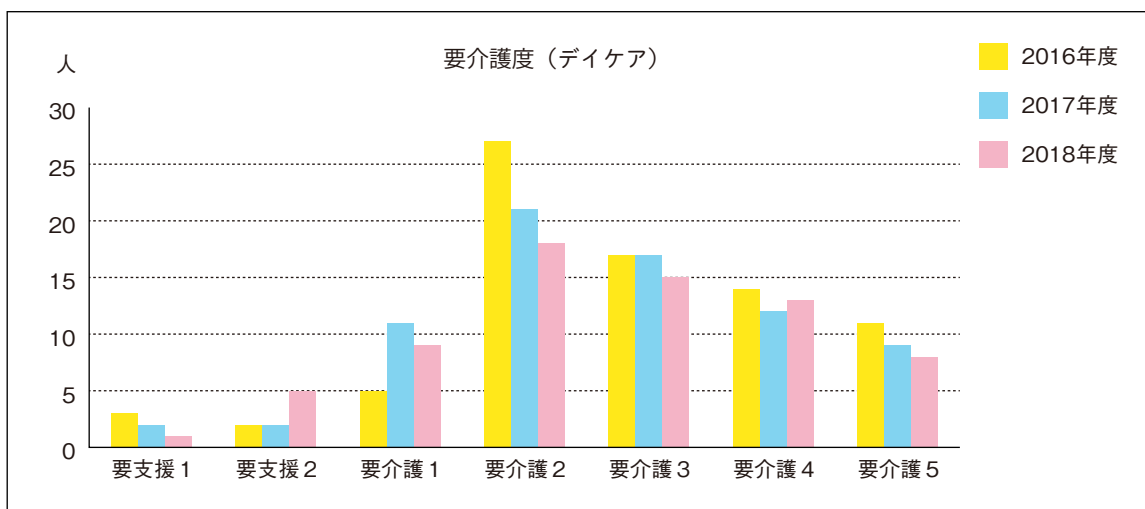
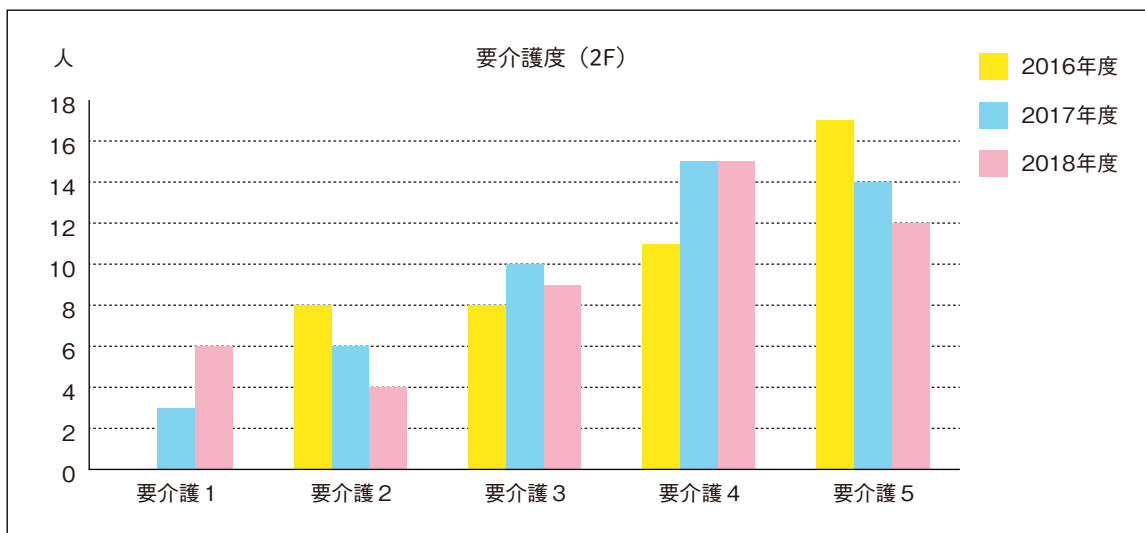
(1) 年齢の分布





(2) 要介護度の分布





(3) 寝たきり度の分布

J1 / 1人で交通手段利用して外出

A1 / 比較的多く外出（介助要）

B1 / 自力で車椅子に移乗

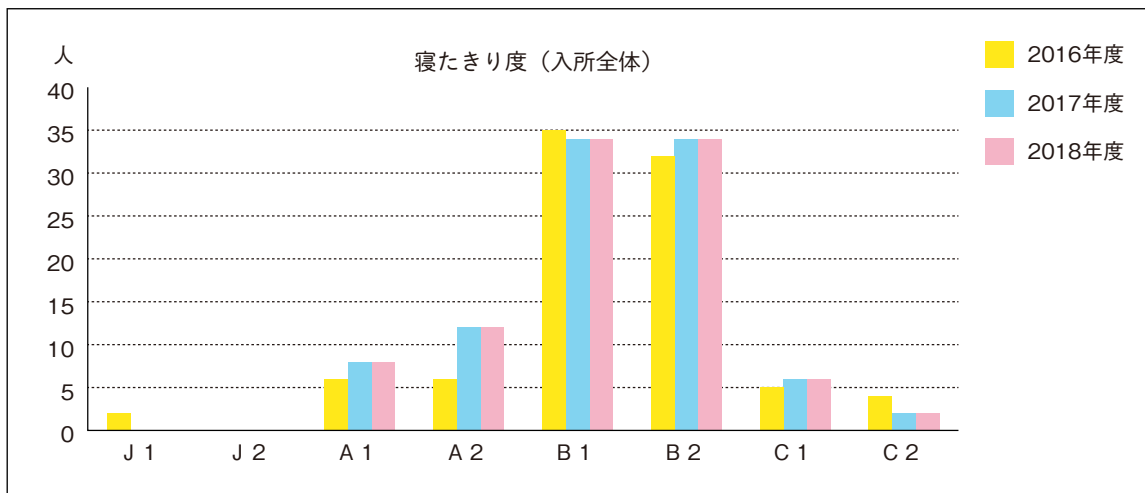
C1 / 寝たきり（寝返りできる）

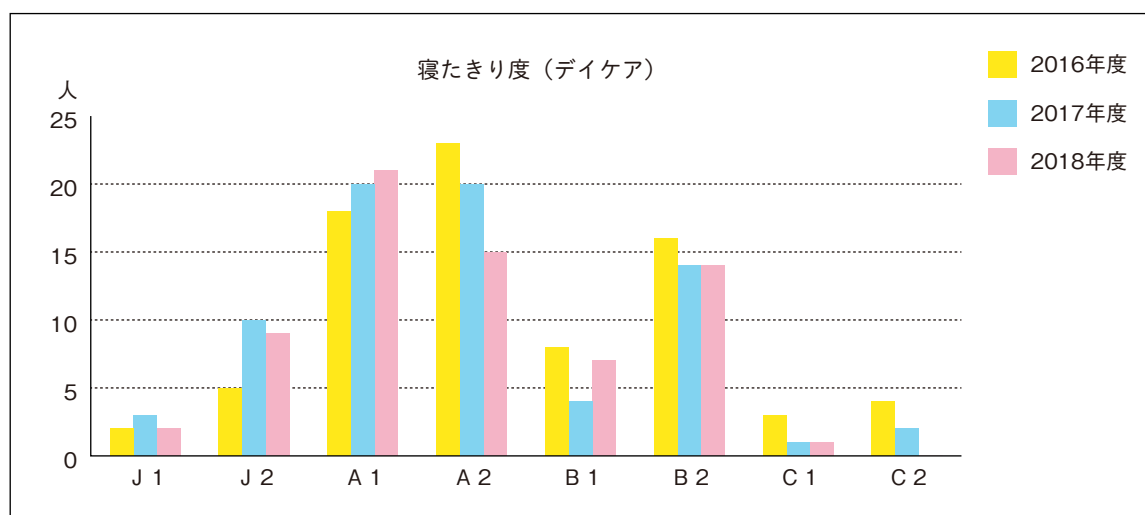
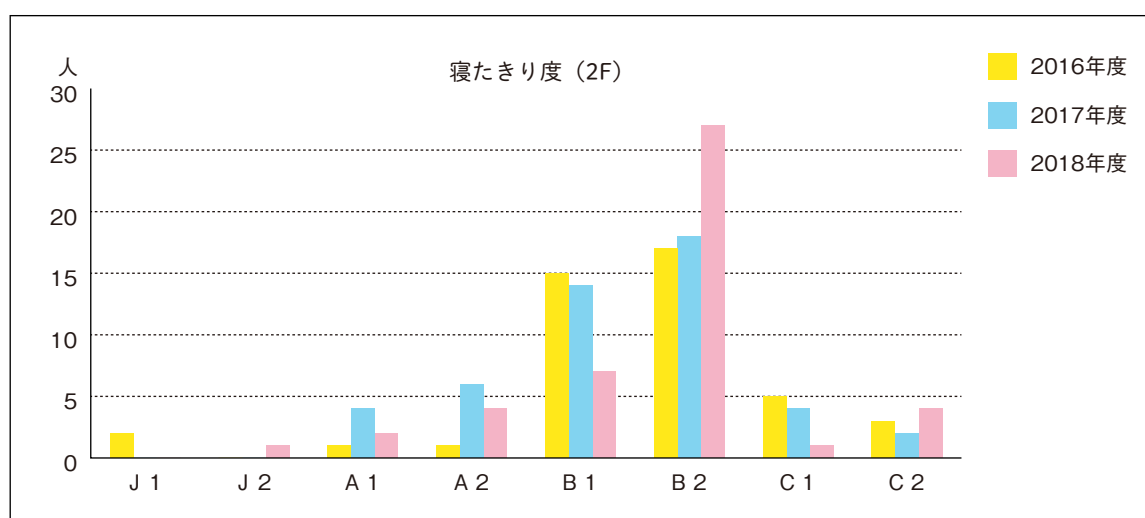
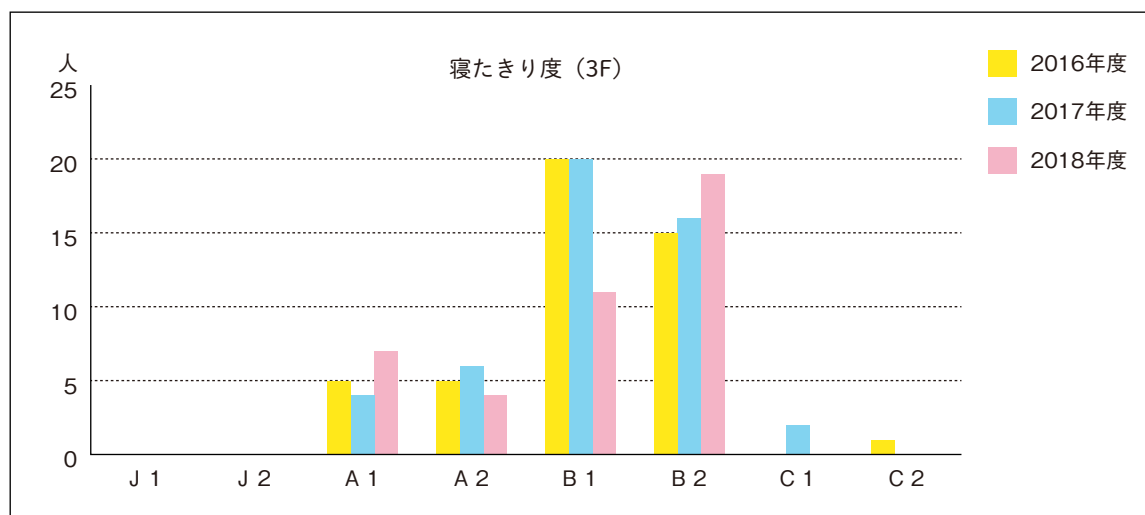
J2 / 1人で隣近所へ外出

A2 / 外出はまれ（介助あり）

B2 / 移乗に介助が必要

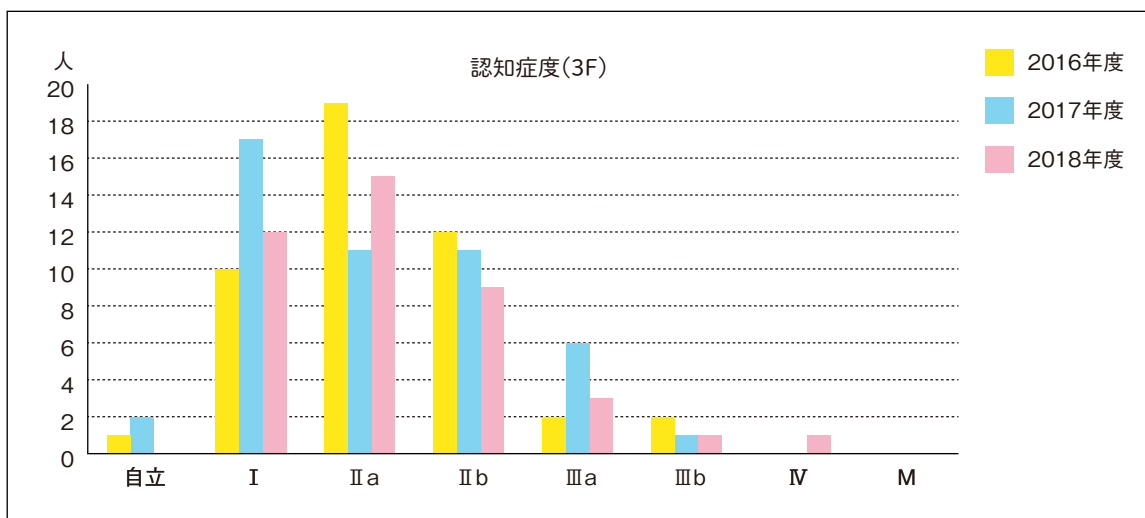
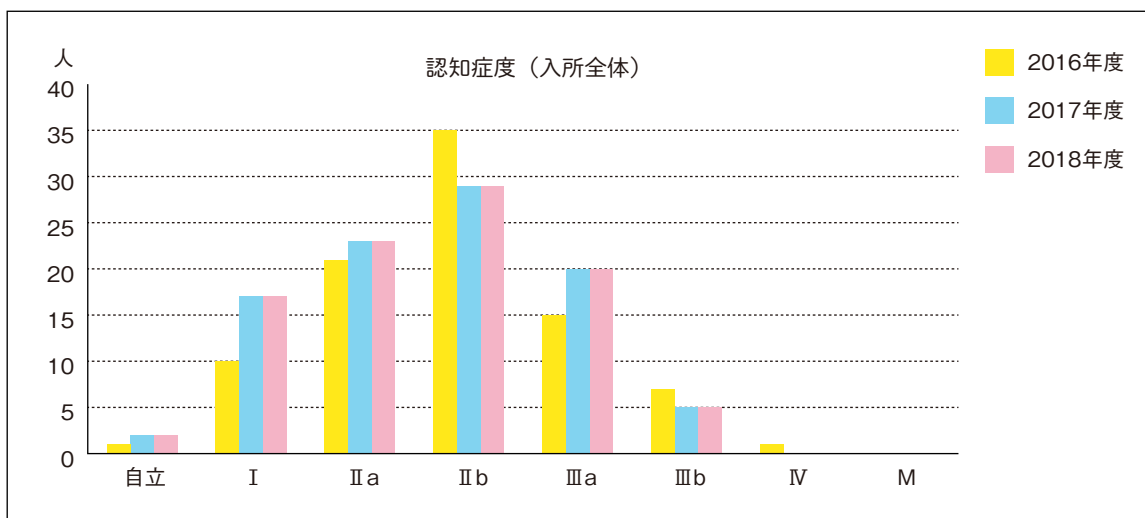
C2 / 寝たきり（寝返りできない）

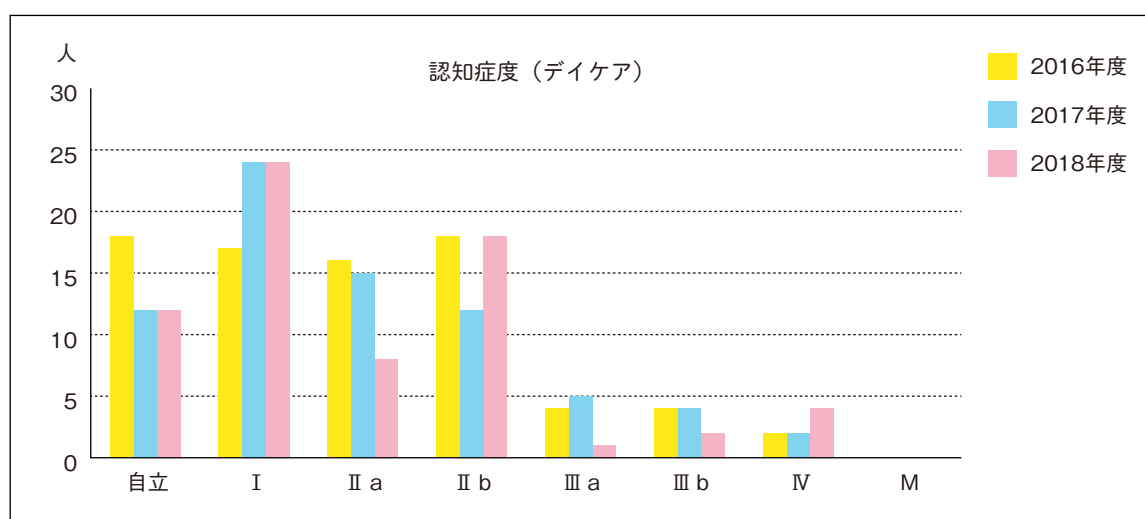
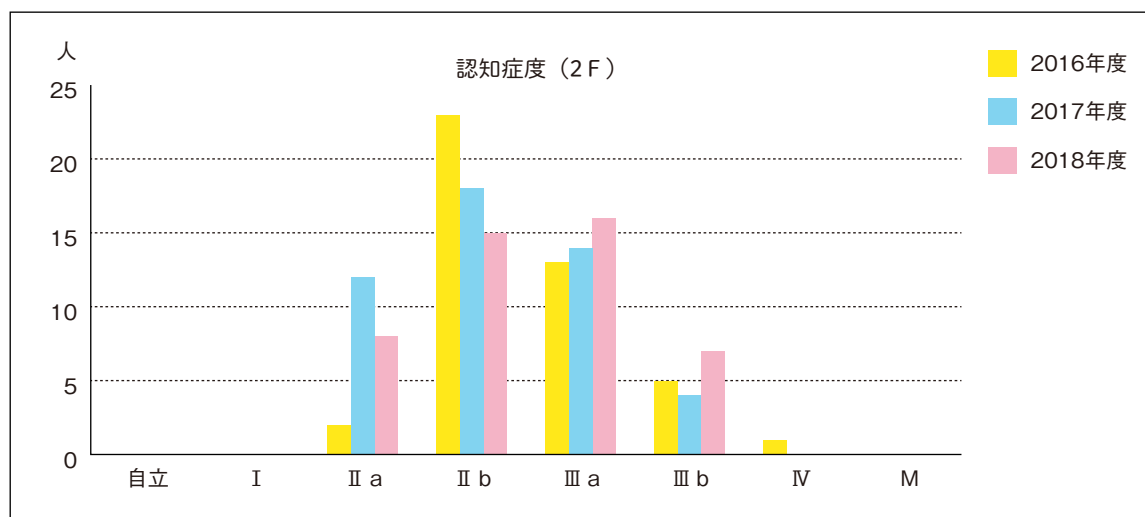




(4) 認知症高齢者の日常生活自立度

- I / ほぼ自立で一人暮らし可能
 II a / 家庭外のみ誰かの注意必要
 II b / 家庭内でも誰かの注意必要
 III a / 日常生活に支障あり、日中中心に介護が必要
 III b / 日常生活に支障あり、夜間も介護が必要
 IV / 日常生活に支障ある困難さが頻繁にあり、常に介護必要
 V / 周辺症状や身体状態が重篤で専門医療を必要とする





6. 施設内研修

(1) 感染対策勉強会

ア. 2018年6月14日（木）17:30～18:00

食中毒について

講師：グリーンライフ 介護福祉士 上田 正・看護師 新井 貴子

イ. 2018年10月9日（火）17:30～18:30

高齢者介護施設の感染対策

講師：森之宮病院 看護師 吉田 ひろみ

(2) 褥瘡対策勉強会

2018年9月14日（金）17:30～18:30

褥瘡の局部治療とスキンケア（講義後に利用者ラウンド）

講師：森之宮病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 正壽 佐和子

(3) 臨床倫理・身体拘束勉強会

ア. 2019年1月24日(木) 17:15 ~ 18:00

2018年度 人権と身体拘束廃止

講師: グリーンライフ 支援相談員 中島 弘貴

イ. 2019年3月22日(金) 17:30 ~ 18:00

高齢者虐待について

講師: グリーンライフ 介護福祉士 南山 裕美・大村 尚

(4) 事故防止研修会

ア. 2018年8月9日(木) 17:30 ~ 18:00

リスクマネジメントについて

講師: グリーンライフ 介護福祉士 岡田 浩志

イ. 2018年8月30日(木) 17:30 ~ 18:00

AEDを使用した救命措置の流れ

講師: グリーンライフ 看護師 越智 恵子・福田電子 佐々木氏

7. 2019年度 グリーンライフ事業計画

2019年3月25日 施設長 濱田 和孝

(1) 2018年度のまとめ

2018年度は、一日あたりの利用者数の目標を、施設入所87.5名、短期入所4.5名、通所リハ22.5名、訪問介護20.5件に設定し運営。2018年度の事業別の収益金額は〔表-1〕の様に推移し、合計目標の達成率は96.7%となり目標には到達しなかった。(4~2月実績+3月目標値)

2018年度、上半期はおおよそ目標値近くを推移していたが、下半期に入所総数が減少。1月にはインフルエンザの発生でさらに稼働率が下がった。2月から入所総数平均は90人台に回復している。在宅復帰率は、各月平均で40%以上を維持することができた。

〔表-1〕2018年度 事業ごとの収益推移〔3月は目標値を代用〕 (単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	38,687	38,896	36,829	38,441	39,570	35,893	36,389	35,424	35,973	35,445	36,720	39,297	447,564
短期	2,588	2,439	2,165	2,230	2,387	3,191	2,443	2,885	2,687	1,092	1,632	2,069	27,809
通所	7,360	7,573	7,763	7,568	7,441	6,437	7,926	7,045	6,421	6,017	5,296	7,739	84,587
訪介	1,846	2,011	2,137	2,004	1,906	1,760	2,023	1,827	1,723	1,524	1,609	2,126	22,497
訪リ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	124	176	50	347
合計	50,481	50,919	48,894	50,243	51,304	47,281	48,781	47,181	46,804	44,202	45,433	51,281	582,804
目標	49,220	51,232	49,563	51,213	51,545	49,558	51,545	49,917	50,833	50,238	46,326	51,281	602,471
達成率	102.5%	99.3%	98.6%	98.1%	99.5%	95.4%	94.6%	96.5%	92.0%	87.9%	98.0%	---	96.7%

〔表-2〕2018年度 収支〔本部 比較損益推移表より/2・3月費用は目標値を代用〕 (単位:千円)

	実績	目標	差	達成率	前年度	差	前年度比
医業収益	582,804	602,471	-19,667	96.7%	570,698	12,106	102.1%
医業費用	589,083	591,956	-2,873	99.5%	585,501	3,582	100.6%
医業利益	-6,279	10,513	-16,794	—	-14,803	8,524	—

(2) 2018年度の結果と反省

《達成事項》

- ・在宅復帰率について、平均40%以上を達成した（強化型老健への必須項目）。
- ・短期入所はインフルエンザ発生時以外は好調を維持。1日目標の4.5名を達成した。
- ・新規事業「訪問リハビリテーショングリーンライフ」を1月から開始。2月末で4人を対象としている。
- ・強化型老健に必須の「地域貢献活動」について、認知症カフェの運営が軌道に乗っている。
- ・報酬改定による「排せつケア」「褥瘡ケア」「栄養ケア」等の新加算の算定を開始できた。

《反省・課題》

- ・下半期に空床が多く発生。目標とした施設入所87.5人/日は未達となった（実績85.3人）。
- ・長期入所者のADL低下や、新規重症利用者受け入れで、1ヶ月平均4名以上が入院による退所。在宅復帰率・稼働率の低下要因となっている。
- ・3年以上の長期入所者は10名程度、特養を予定している入所者は引き続き10名近く入所中。
- ・通所リハ・訪問介護では入院を含め終了者が多数発生し、目標未達。
- ・新事業の訪問リハ開始も、リハ職員2名が入所、通所リハとの兼務。枠の振り分けが難しい。
- ・設備面で、入浴機器の故障が頻発し、前年度のエレベーター故障と同様に利用者からの苦情が発生。入所、通所リハともにサービスの質を落とさないために、利用者事情に合った特殊浴槽の購入を急ぐ。

(3) 2019年度の事業計画 ～在宅支援型老健から在宅強化型老健への移行～

2019年度、事業別の目標は「表-7」とした。入所と短期を合わせて毎日92名の入所者を維持させる。

2018年度は介護報酬改定により、強化型老健の条件が大きく変わり、その条件を達成するべく各部署が知恵を絞り合った1年となった。

2019年度「表-7・8・9」の目標数値の達成と「表-10」最下段に示す老健ポイント60点以上の維持を含めた、強化型老健移行への道筋について、以下に検討・課題項目を整理して計画を立案する。

[表-7]2019年度 目標設定 (単位:千円)

	収益 (千円)	1日平均	
一般入所	468,809	87.5	92.0 人
短期入所	27,745	4.5	
通所リハ	90,860	22.5 人	
訪問介護	23,634	20.0 件	
訪問リハ	1,952	3.0 件	

[参考] 2018年度 事業別の実績

	収益 (千円)	1日平均	
一般入所	447,564	87.5	92.0 人
短期入所	27,809	4.5	
通所リハ	84,587	22.5 人	
訪問介護	22,497	20.5 件	
訪問リハ	347	3.0 件	

訪問リハは1月事業開始

[表-8]2019年度目標と2018年度実績の比較

(単位:千円)

	合計	入 所	短期入所	通所リハ	訪問介護	訪問リハ
2019年度目標	613,000	468,809	27,745	90,860	23,634	1,952
2018年度実績	583,974	448,905	27,753	84,469	22,500	347
前年度比	104.9%	104.4%	99.9%	107.5%	105.0%	-

3月は目標値を代用

[表-9]2019年度収支計画

	合計 単位：千円
医業収益	613,001
医業費用	583,675
医業利益	29,326

1年間支援型老健のままの場合

[表-10]2018年度 強化型老健移行への必須3項目

[2018/3月は予測値]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
在宅復帰率(%)	47.5	44.8	43.5	41.2	45.7	40.3	40.3	44.8	45.8	47.8	34.7	41.0	40%以上の維持が必須
回転率(%)	13.1	13.0	12.0	14.0	13.9	13.4	10.9	9.7	10.5	9.3	12.0	9.3	10%以上の維持を目指す
老健ポイント(点)	56	56	56	63	68	68	68	60	68	63	68	61	60点以上が強化型の条件

(4) 検討・課題

キーワード:「強化型老健への移行の時期」・「介護・看護・支援相談員の人員確保」

- ・2018年度期首から、報酬改定にて大幅に変わった強化型老健への各条件達成に動いてきた。最も重要な項目である老健ポイントについて、訪問リハビリの開始を追い風に60点以上の確保ができています。

(老健ポイント:在宅復帰率や回転率、ケアの取り組みや人員体制の確保を10項目に分けて点数化)

課題である個別リハビリの充実(週3回)についても、リハビリ職員の増員が予定される2019年度5月から算定が可能の見込みである。

→5月の老健ポイントを含めた各条件の実績と、個別リハビリの実績で、6月に強化型老健の申請を行い、最短で7月の強化型老健移行を実現させたい。2年前は全く見えなかった強化型の背中に手が届いた。

- ・強化型老健へ移行ができて、継続できなければ意味がない。その為には、各職種の人員確保が引き続き重要なポイントとなる。特に介護・看護・支援相談員は人数を減少させているため、早期の人員体制の復帰が必須である(離職を防ぐ体制も強化する必要がある)。

(5) 2019年度に成すべきこと

《収益目標の達成と強化型老健の維持》

- ・在宅復帰率は毎月40%以上の維持が可能となりつつある。強化型老健を維持させるには、5～10%という高い回転率を保つ必要がある。加えて、2018年度も所々で発生した、入院による退所が複数重なった時に、リピート利用者をいかに活用して空床を素早く埋めるかがカギとなる。
- ・通所リハビリの利用者減、訪問介護の職員数の不安定を断ち切らねば、在宅サービス部門での収益の回復・安定が望めない。支援相談員だけではなく、各部署の科長、主任も外回り広報活動の実施を開始する。
- ・収益の安定と強化型老健の条件維持のためには、リピート利用者の確保がますます重要となる。グリーンライフのサービスだけではなく、大道会グループの在宅系サービス(地域の

大道会利用者）との連動をより強化して、利用者把握（対象者ごとのグループ内最適サービスの提案）の精度を上げ続ける必要がある。

《開設20年を迎えたグリーンライフが果たすべき地域支援の形》

- ・ 2018年9月に開設20周年となり、同年11月に記念式典を開催した。地域住民や法人外事業所等から多くの祝福の言葉をいただくと同時に、今後果たすべき役割と責任の大きさを感じる期間となった。
- ・ 定期開催が安定した認知症カフェと家族交流会の形を発展させ、地域住民や利用者家族にとって、更に有益な空間にできないか各チームと協議を深めていく。
- ・ 介護老人保健施設は地域にとってどのような施設であるべきか。グリーンライフ周辺の老健間の連動が不可欠。互いを高め合い、グリーンライフにしかできない機能を模索し続ける。

★在宅支援型から強化型老健へ、介護保険分野のハブ施設として更なる機能強化を図る★





(7) 在宅事業部

目 次

1. 在宅事業部 概要	373
(1) 在宅事業部 理念：「最期まで暮らしの価値を高める」	373
(2) 在宅事業部 組織図	373
(3) 事業所・事業体について	373
2. 2018年度 報告	373
3. 2019年度 目標	374
4. 2018年度 取組み・活動報告	374
(1) 訪問看護ステーションおおみち（訪問看護事業）	374
(2) 訪問看護ステーション東成おおみち（訪問看護事業）	378
(3) ケアプランセンター城東おおみち（居宅介護支援事業）	381
(4) ケアプランセンター東成おおみち（居宅介護支援事業）	383
(5) レンタルケアおおみち（福祉用具貸与・販売事業・住宅改修事業）	384
5. 統計報告（2018年度）	386
(1) 訪問看護ステーション（おおみち・東成おおみち・東中浜）	386
① 利用者数・訪問件数推移	386
② 年間相談件数	386
③ 介護度別分布（年度末時点）	386
④ 実習生受け入れ実績	387
⑤ 地域別分布	387
(2) ケアプランセンター（城東おおみち・東成おおみち）	388
① 利用者数・加算件数推移	388
② 相談件数年間集計	388
③ 介護度別分布（年度末時点）	389
④ 利用者地域別分布（年度末時点）	389
(3) レンタルケアおおみち	390
① 貸与・自費貸与・販売・利用者数	390
② 介護度分布（貸与利用者のみ）（年度末時点）	390
③ 利用者地域別分布（年度末時点）	390

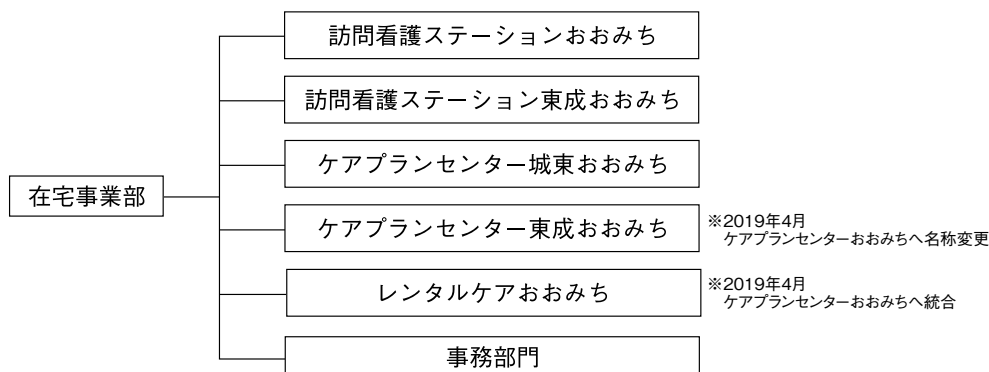
2018年度 在宅事業部 業績報告

1. 在宅事業部 概要

(1) ■在宅事業部 理念：「最期まで暮らしの価値を高める」

■2018年度事業目標：「成長と拡大」

(2) 在宅事業部 組織図



(3) 事業所・事業体について

2019年3月現在

事業所名	設立年	事業体	所在地
訪問看護ステーション おおみち	1996年11月	訪問看護 予防訪問看護	〒536-0023 大阪市城東区東中浜1-2-17-202 Tel：06-6967-1123
訪問看護ステーション 東成おおみち	2003年4月		〒537-0021 大阪市東成区東中本2-9-26 ジョイフル遠山1階 Tel：06-6977-8680
ケアプランセンター 城東おおみち	2001年10月	居宅介護支援	〒536-0023 大阪市城東区東中浜1-2-17-201 Tel：06-6964-5285
ケアプランセンター 東成おおみち	2003年4月		〒537-0021 大阪市東成区東中本2-9-26 ジョイフル遠山1階 Tel：06-4259-5311
レンタルケアおおみち	2007年11月	福祉用具貸与 特定福祉用具販売	〒536-0023 大阪市城東区東中浜1-2-17-201 Tel：06-6967-6250

2. 2018年度 報告

2018年度は介護保険制度の改正、介護報酬の改定があり、「自立支援・重度化防止」の概念が具体的に報酬の中へ盛り込まれ、一部のサービスにおいて軽度者の報酬が引き下げられた年であった。当部署としても、その影響は多少あったものの中重度者を多く受け入れてきた経緯もあり、収支への影響はさほど大きくなかった。一方、地域包括ケアを下支えする組織としては、組織の大規模化による経営基盤の安定が必須条件となり、このことは全国的に小規模事業者が多く閉鎖したことからよく見て取れる。事実、各省庁の審議会などでは、数年前から大規模化への梃切を推進する意見が散見されようになっている。

このような大規模化推奨の風潮が強まる中、当部署においても、2018年度は盤石な体制を構築するため、事業拡大に向けて具体的な準備をする年となった。城東区の訪問看護、ケアプラン

センター、福祉用具レンタルの3事業所は森之宮 UR 団地内に移転し、約400㎡の空間にこれら3事業所を移するという内容である。同様に東成区の訪問看護事業所においても移転なく職員の増員のみを行った。このような急激な職員の増員や組織の拡大には、情報共有の難しさを伴うが、これについては2018年度のうちにICT化の環境を整備した。さらに、最も重要な人財については、苦労しつつも看護師を中心に職員7名の採用に成功した。

これら、ハード、ソフト両面に対する先行投資のため、2018年度は若干のマイナス収支とはなったが、飛躍への第一歩を確実に踏み出せたことは大きな効果と自負している。健全、かつ、安定した経営基盤を構築することが、継続したサービス提供の条件であり、そのうえでそのサービスの質を高め続けることこそが、地域の期待に応えられる本来の地域包括ケアシステム構築の条件であると考えている。

3. 2019年度 目標

2019年4月には所在地を森之宮 UR 団地へ移し、同時に人員も増員する。より多くの地域の方々を支援するには夜間対応力の強化が必要となり、これには人員の増加を伴う。しかし、前述したように急激な組織の拡大は質の低下を招く危険性が非常に高くなるため、2019年は「サービスの質の維持、向上」を全部署の年間テーマとして掲げ活動する。これをより具現化するために多職種の横断的連携強化を図るべく、2019年度は「専門ケアチーム」を立ち上げる。

当部署ではケアマネジャー、看護師、リハビリテーション3職種、福祉用具専門相談員と多くの専門職が在籍している。よってこれらの強みを活かし、チームとして組織することでさらなるケアの質の向上を図ることが目的である。医療機関で診療科が分化してきたように、在宅サービスにおいても質を高めるためには分化が必要であると考え取り組む決意をした。在宅領域では比較的新しい取り組みであろう。具体的な専門チームの類型としては、「終末期・緩和ケア」、「認知症ケア」、「摂食嚥下栄養ケア」、「転倒予防」、「小児ケア」がある。これらは全て「快適な療養生活の質：QOL (quality of Life)」、あるいは、「人生の最終段階の質：QOD (quality of Death)」を左右する要因である。地域の方々の「暮らしの質」が少しでも向上するよう努めたい。公的保険サービス以外には、地域支援事業についても、これまで同様、積極的に行いたい。その内容としては、地域住民への直接的な支援（通いの場への参加）のみならず、介護家族や専門職を支援する活動、さらには、他団体、組織との協働による活動も視野に入れながら、「共生社会の実現」にも積極的に参画していきたい。

4. 2018年度 取り組み・活動報告

(1) 訪問看護ステーションおおみち(訪問看護事業)

① スタッフの体制（年度末日時点）

看護師：13名（常勤：9名 非常勤：4名）

セラピスト：7名（常勤：5名 非常勤：2名）

事務：3名

② 業務内容

指定訪問看護（健康保険法）

指定訪問看護（介護保険法）

指定介護予防サービス（介護予防訪問看護）

③ 業務実績

ア．訪問看護ステーション共通目標

『在宅で最期まで、その人らしい暮らしを支える』

- (ア) 看護の領域を広げ(小児看護(超重症児)・精神看護・認知症看護・呼吸器管理・災害看護)質の高い看護を提供できる
- (イ) 医療依存度の高い利用者を地域で支えるために医療・介護との連携
- (ウ) 地域に向け訪問看護の役割を推進できる
- (エ) 住み慣れた家・地域で安心して生活していただけて看取りができる
- (オ) 働き続けられる事業所づくり

イ．2018年度目標

「和(輪)を作り働きやすい環境づくり～質の高い看護が提供できる事業所を目指す～」

ウ．通年目標と取り組み

(ア) 財務の視点

目標件数・売上の達成

- ㊦ 相談には親切丁寧に対応し断らない
- ㊩ 法人外 CM との連携強化
- ㊭ 入院を回避できるように予防看護の実践：肺炎・脱水・便秘・転倒を予防
- ㊮ 機能強化型ステーション：癌末期・看取り・医療ニーズの高い(特別管理加算)利用者の獲得

【成果】

年間訪問目標：13,105件(看護：9,756件・リハ：3,349件)

年間訪問実績：13,064件(看護：9,460件 リハ：3,604件)

相談：127件(10.5件/月)新規：93件(7.6件/月)

中止：68件(5.6件/月)入院：119件(9.9件/月)看取り：12件

目標訪問1件単価(3月末)

訪問看護 介護：9,534円 予防：9,424円 医療：9,168円

訪問リハビリ 介護：10,169円 予防：2,583円 医療：8,527円

訪問1件単価実績(3月末)

訪問看護 介護：9,379円 予防：7,347円 医療：10,379円

訪問リハビリ 介護：8,559円 予防：7,426円 医療：8,530円

利用者：4月155名→2019年3月末：170名

【成果】

目標より看護件数：-296件・訪問リハビリは件数：255件増 全体で訪問：-41件となっている。売上：926,686円の増加となり訪問リハビリが大幅に伸びたため目標は達成できた。下期はセラピストの増員やサービス内容においてもST療法を提供できたことで利用者のニーズに応えることが出来ることが誘因となっている。

医療の訪問看護1件単価においては目標より1,211円の増加となっている。訪問看護割合も医療：29%（H29：19%）介護：71%（H29：80%）と医療の割合が増えてきた。原因は褥瘡処置・点滴管理・難病・脳性麻痺・精神疾患が増えてきている。事業所としての質の向上を目指すために機能強化型ステーションⅡの取得に取り組んできたが、看取り件数3件の不足があり達成は出来ていない。今後、重症児も算定要件にあるため小児訪問看護にも積極的取り組んでいく。

（イ）業務プロセス視点

医療依存度の高い（癌末期・看取り・重症度高い（小児））利用者を最期まで在宅で支えられることができる

- ㊦ 働き続けられる職場環境づくり：業務の見直し・残業減少・携帯の負担軽減
- ㊦ 安定した経営に向け訪問看護師・セラピストの獲得
- ㊦ 訪問看護稼働時間の適正化：1ヶ月=72.9時間稼働 訪問件数=80件
- ㊦ 業務の効率化：訪問動線の効率化・タブレットの活用・残業事前申請

【成果】

今年度は看護師4名の入職があり訪問看護師も13名 訪問セラピスト4名増加10名となり安定した経営に繋がった。訪問リハビリにおいてはST療法のサービスを提供できるようになり言語や嚥下に関するリハビリについての依頼が増えてきた。訪問の中でST療法を提供できることで利用者の生活（食べる）の質の向上へと繋がってきている。また、介護度や重症度の高い利用者の増加もあり、営業日以外での訪問も年間通し実施となった。緊急訪問も月25件、病状急変の相談も多くニーズに合わせた対応もでき安心した療養生活を支えることができた。反面、スタッフの負担は大きく夜間の緊急訪問後は安全な看護提供や健康面に配慮し勤務調整を行った。残業については2018年度より226時間増加となった。誘因としては、重症度が高くなると、他職種との連携も密になり残業も増える状況にあった。業務の効率を図るためにICT化にも取り組んだ。操作になれずデータ入力に時間がかかったが、情報共有も有効で記録面では効率的に運用ができてきている。有休取得は1人当たり10日間取得できているが個人差がある。スタッフ一人一人が楽しみを持ち働きやすい環境を整えることも課題にある。

（ウ）学習と成長の視点

1人1人が学びを積み重ねチームとして看護の質（知識・技術）が向上できる

- ㊦ 自己目標の設定：訪問看護師経験に合わせた研修計画
- ㊦ リスクマネジメント（安全・安心を提供できる）：ヒヤリハット・インシデントの報告共有・事例検討し学びを深める
- ㊦ 専門性の高い看護が提供できる：事業所の看護の強みを高める（緩和ケア・認知症・精神看護・小児看護）

【成果】

1人1人の看護知識技術が訪問看護師として成長に繋がり信頼できる看護となっている。計画的な研修への参加やリスクマネジメント（インシデント・ヒヤリハット）報告が行われ安全・安心に繋がる看護が提供できるように積極的に取り組んだ。緩和ケア・看取り3名、

精神看護（精神訪問看護基本療養算定）1名（合計9名）実習指導者講習会1名（合計4名）医療的ケア教員講習会2名（合計3名）2018年度は地震・水害等災害の多い年でもあり災害研修へも取り組んだ。医療保険の訪問は39%を占め看取りは12件、重症児の訪問看護の依頼も増え質の高い看護が求められてきている。月7.8件の新規受け入れあり先生から直接の依頼も多く信頼関係も構築できて来たと思う。

（エ）顧客の視点

住み慣れた家・地域で安心した生活を支えることができる

- ㊦ 生活看護を実践し体調を管理できる：食事・住まい・排泄・活動・睡眠
- ㊧ 地域との繋がりを強化し訪問看護を推進：地域との交流（ふれあい喫茶・家族の集い・CM 向け講習会の開催）
- ㊨ 住み慣れた家・地域で最期を迎えられる：誠実に心温まる看護

【成果】

入院119件月平均10件は入院となっている。誤嚥性肺炎や転倒での骨折が多くあった。終了75件（永眠：36件 入所：30件 自立：6件）超高齢独居で在宅困難や介護者の高齢化、家族の介護力の低下負担は入所へと繋がっている。永眠36件中看取りは12件に留まるが、その人らしく生きることにより添い支える看護を提供できた。地域との繋がりを大切に地域との交流に積極的に取り組み、小学生を対象に救急処置の講習会・ふれあい喫茶家族の集い・CM 講習会の開催訪問看護を推進できたと思う。

④ 教育研修

内 容	日 時	主 催	担当課員
新任訪問看護研修プログラム	4/9・10・11	大阪訪問看護ステーション協会	金城
介護保険集団指導	8/1	大阪市福祉局高齢者施策部事業	植田
介護保険集団指導（DVD）聴講	8/21	事業所内	スタッフ全員対象
質の高い在宅看取り	8/4・5	日本訪問看護財団	藤田
介護予防推進リーダー E-ランニング受講	9/8～9	日本理学療法士協会	寺田
実習指導者講習会	11/14～12/12	大阪府看護協会	川本
大阪小児在宅医療を考える	1/15	大阪市立総合医療センター	植田
【教育】 地域で取り組む新卒訪問看護師育成	1/7	大阪市立大学阿倍野キャンパス	植田
超重症児の看護の役割	12/17、2/22	事業所内（講師依頼）	スタッフ全員対象
精神訪問看護基本療養算定要件研修会	2/8～10	大阪訪問看護ステーション協会	金城
訪問看護災害研修	3/16	大阪府訪問看護ステーション協会	藤田

⑤ 今後の展望

2018年度は『和（輪）作り働きやすい環境づくり ～質の高い看護が提供できる事業所を目指す』を目標に取り組んだ。

訪問看護師やセラピストの増員があり地域のニーズに対応できるようになった。リハビリにおいてはST 療法を提供できるようになり、より生活の質の向上に繋がるリハビリを提供で

きたと考える。ST 療法が提供できることで訪問看護・訪問リハビリテーションの提供領域も広がり看護内容もより充実しリハビリと協働し質の高いケアを提供できる事業所となってきた。質の高い事業所として機能強化型Ⅱ訪問看護ステーション取得に向け取り組んでいる。超重症児が算定項目にあるため小児訪問看護の領域にも幅を広げ事業所の質の向上を図りたい。2019年度は訪問看護師3名・セラピスト3名の採用。事業拡大で3月末に事業所（森之宮第2団地6号棟）移転。訪問看護師16名・セラピスト10名・事務4名 大規模事業所となってきた。2019年度の目標は『和（輪）を作り心通い合う温かさのある職場づくり～質の高い看護・リハビリテーションが提供できる事業所を目指す～』とした。在宅事業部目標は『質の高いサービスを安定して提供できる組織作り』地域からも専門性の高い事業所としての役割も担ってくる。個人としての成長や事業所としての役割を担えるように専門性のある事業所として一人一人が学びの姿勢を持ち取り組んでいく必要がある。その人らしく最期まで生きることを支えられ意思決定を支援できる看護を目指し専門性の高い看護を提供でき安定した事業運営ができるよう取り組む。

（2）訪問看護ステーション東成おおみち（訪問看護事業）

① スタッフの体制（年度末日時点）

看護師：10名

セラピスト：3名

事務：2名

② 業務内容

指定訪問看護（健康保険法）

指定訪問看護（介護保険法）

指定介護予防サービス（介護予防訪問看護）

③ 業務実績

ア．2018年度目標

「和・気持ちがい・明るく・助け合い・気持ちよく働ける職場作り～質の高い看護ができる事業所を目指す～」

（ア）業務プロセスの視点

昨年度より残業が微減、有休取得横ばい、30分訪問は多いなりに減らす事ができた。営業せずとも新規依頼は順調。区の医療・介護実務者ワーキングに参加しており、人となりを知ってもらうことで依頼がある事と（介護保険制度改定講習の講師なども務めた）、課員の誠実できちんとした看護でリピーターが獲得できている。

（イ）学習と成長の視点

1名主任へ昇進したので管理業務の習得を行っている状況。ただし中堅が少ないので中堅育成が急務である。小児利用者が6名となり、特に日赤には小児・それ以外でも信頼していただけており急な依頼なども多い。現在小児科看護経験者の指導の下、他スタッフも小児科看護経験を必死に積んでいる日々である。2ステーション共同での研修（小児）も実施できた。

(ウ) 顧客の視点

看取りは11件であった。目標の15件に及ばなかったのは、介護のマンパワー不足（子1人で両親の介護をされている方の増加）なども多く影響しておりやむをえない部分も大きい。重症の依頼を下さる病院や居宅事業所にアピールも必要である。医療の訪問件数の割合は33.7%と過去最高であった。

入院件数が143件と過去最高であり、利用者の9割弱が一度は入院した事になる。（実際は数名の方が肺炎で入退院を繰り返されているケースや、森之宮病院の地域包括ケア病床活用、介護者の入院や体調不良での社会的入院や、レスパイト入院などが多い為）介入で入院数を減らせる所は減らし、退院の見込みがない場合早くから空き枠として新規利用者獲得に動く必要がある（今後は入院日数などでの評価も必要と考える）。

公的保険外活動としては地域住民向けに講習を実施できたことやさらには利用者家族に対しピアカンファレンスとしての機能を担う「家族の集い」「地域CM向け講習」も継続して実施できた。

(エ) 財務の視点

安定した経営ができた。今までで忙しくてもしばらくすると必ず訪れていた閑散期がほとんどなく経過した。

新規利用者は76（昨年66件）である。そして過去最高の利用者数165名を経験した。

看護・リハビリ共に目標達成・そして前年度の売り上げを超えることが出来た。

④ 教育研修

内 容	日 時	主 催	担当課員
精神訪問看護基本療養費算定要件研修会	4月12日	全国訪問看護事業協会	堀江
支えあう看護の力	4月13日	大阪府看護協会	古城
在宅医学会第20回記念大会	4月29・30日	日本在宅医学会	古城
多職種連携にかかる医療・介護・障がい福祉制度改正のワンポイント研修会	5月12日	東成区	竹島
協会指定管理者中央研修伝達講習会	5月19日	大阪府理学療法士協会	長澤
認知症ケア専門士研修	5月25・26日	認知症ケア学会	堀江・平尾・竹島
骨転移を知り、共に支える	6月14日	ワンピースの会	津田・高倉
緩和医療学会	6月15・16日	日本緩和医療学会	古城
NTT 西日本大阪病院 ストームチーム勉強会	6月19日・7月17日・ 9月18日・10月16日・ 11月20日・12月18日・ 1月15日・2月19日	NTT 西日本 HP 有楽園（教育 ST）	高倉
東成区病病・病診連携を考える会	6月30日	東成区医師会	竹島
医療・介護政策の動向と訪問看護	6月30日	大阪府訪問看護ステーション協会	竹島
訪問看護新任管理者研修会	7月13・14日	全国訪問看護事業協会	藤田
スキンケアセミナー	7月21日	看護協会 市東ブロック	古城・竹島
呼吸器研修	7月24日	フィリップス社	全スタッフ

内 容	日 時	主 催	担当課員
ボート造設公演	8月	明生会病院	津田
介護集団指導	8月1日	大阪市	竹島
呼吸器研修	8月3日	新生	全スタッフ
介護保険集団指導(DVD)聴講	8月8日	大阪市	全スタッフ
精神訪問看護基本療養費 算定用件研修会	8月10－12日	全国訪問看護事業協会	衛藤
重症心身障害学会	9月28・29日	重症心身障害学会	古城
看護倫理	9月29日	大阪府訪問看護ステーション協会	竹島・藤田
第9回近畿在宅医療推進フォーラム	10月6日	近畿在宅医療推進フォーラム 実行委員会・勇美記念財団	古城
怒りと上手に付き合う	10月17日	東成区地域包括	菅・古城・中野
処方薬乱用等の嗜癖のある人への 訪問看護	11月3日	大阪府立大学 NS-COプロジェクト	堀江
災害対策研修	11月10日	大阪府訪問看護ステーション協会	高倉・竹島
医療的ケアが必要な児の理解	11月10日	大阪府訪問看護ステーション協会	天野
小児の医療的ケアを学び 小児訪問看護の一步を踏み出そう	11月10日	大阪府訪問看護ステーション協会	藤田・遠江
在宅で死を迎える非ガン病態を 有する療養者と家族のケア	11月17日	大阪府立大学NS-COプロジェクト	堀江
ACPについて学び考える	11月17日	大阪市立大学医学部 看護学科 よつば会	古城
地域包括ケア推進リーダー研修会	11月18日	日本理学療法士協会	長澤・荒井
日本在宅看護学会	12月8日	在宅看護学会	古城
小児訪問看護研修会	12月15日	全国訪問看護事業協会	藤田・天野
小児在宅療養支援における 看護師の役割	12月20日	大阪発達総合療育センター	全スタッフ
介護予防推進リーダー研修会	12月28日	日本理学療法士協会	長澤・荒井
多職種連携会	1月19日	東成区	竹島・藤田・ 高倉・衛藤
大阪小児在宅医療を考える会	1月20日	大阪府医師会	古城
訪問看護実務研修	1月26日	大阪府訪問看護ステーション協会	芦田・日原
死の臨床研究会近畿支部大会	2月3日	死の臨床研究会	古城
精神訪問看護基本療養費 算定用件研修会	2月8－10日	大阪府訪問看護ステーション協会	古城
災害対策	2月14日	東成区医師会	竹島
浮腫に対しての治療	2月15日	国際がんセンター	堀江
浮腫の研修	2月15日	大阪国際がんセンター	高倉
重症心身障害児の理解	2月21日	大阪発達総合療育センター	全スタッフ
病院・在宅交流会	2月21日	大阪府訪問看護ステーション協会	藤田・高倉
在宅医療ことはじめ	2月22日	かさい医院	古城
訪問看護ステーションの災害対策	3月16日	大阪府訪問看護ステーション協会	竹島・高倉
大災害!自らを守り・家族と共に 助かるために	3月24日	大阪ライフサポート協会	古城

⑤ 今後の展望

2018年度も年間通しての黒字化を達成出来た。営業しなくても新規も得られた。地域からの信頼が得られている証である。しかし常に淘汰されるリスクはあるため、高い質の維持、生き残りをかけた対策は必須である。経営面でも重症者・小児の新規獲得は必要である。

看護師数が2名増える予定なので育成が急務である。そして人員が増えるからには実績をさらに進展させたい。健康ステーションまなぶの動向しだいでは当STも大規模化に進むかも知れずその検討も必要な一年となる。

また、超重症児の訪問看護・訪問リハビリ件数は増加しつつあり、日赤からの新規も確実に得られており、地域の小児科医ともパイプが出来ている。今後の安定した経営の為、立案した計画を徹底して実践する必要がある。もしボバース記念病院の小児科とも連動できれば病院にもステーションにも外来・入院リハビリ待機者や退院者の在宅療養支援ができるメリットがあると考ええる。

地域活動としては、昨年同様、区の医療・介護連携ワーキング、地域ケアマネジャー向け研修会の開催や憩いの家での血圧測定、介護予防体操、健康相談を引き続き実施していくことと、管理者が看護協会の役員となるため国・府・市の最新情報など在宅事業部・法人へ還元していきたい。

働き方改革が始まる一年であり、介護や子育てでフルに働けないとか緊急携帯当番の難しいスタッフを守ると共に、その対極でフルに働け、緊急携帯当番をしてくれているスタッフを守り、モチベーションを維持してもらうために制度の整備なども必要な、重要な一年となる。

職場環境については「お互い助け合う風土」がしっかり根付いており、「難しい事象でも何とかしよう」という意識もある。これらが機能し、2018年度も退職者がなかった。退職者0を更新し続けたい。

2019年度も『“和”気持ちが通い・明るく・助け合い気持ちよく働ける職場づくり～質の高い看護ができる事業所を目指す～』という目標の下、お互いを助け合い、質の維持を確保しながら、安定した経営が行えるように取り組んでいきたい。

(3) ケアプランセンター城東おおみち(居宅介護支援事業)

① スタッフの体制(年度末日時点)

ケアマネジャー 4名(うち、2名が主任ケアマネジャー)

② 業務内容

居宅介護支援事業

③ 業務実績

ア. 2018年度ケアプランセンター共通目標

マネジメントシステムの構築

イ. 2018年度事業所目標

「それぞれの責務を足元から見つめ直す」

ウ．通年目標と取り組み

(ア) 財務の視点

- ㊦ 給付件数の安定
 - ・新規相談に大道会のケアプランセンターとして連携して対応する
 - ・緊急な新規ケースにも対応できる
- ① 重度者割合 60%程度を維持
 - ・特定事業所Ⅱを維持
 - ・重度者割合を把握 ケアプランセンター東成おおみちと協働
- ㊧ 相談件数(目標:4件/月)・契約件数(内1件)獲得
 - ・大道会のケアプランセンターとして協働して受け入れする

(イ) 顧客の視点

- ㊦ ご利用者が安心できるケアプランセンターへ
 - ・担当者が不在でもご利用者が不安にならない対応ができる
 - ・事業所のケースは皆のケースと意識して対応する
- ① 地域包括支援センターとの連携強化
 - ・地域性を重視し、城陽包括と放出包括との関係を保つ

(ウ) 業務プロセスの視点

- ㊦ 大道会のケアプランセンターとして一体的な運営を行う
 - ・2つのケアプランセンターで協力し、断らない体制を作る
 - ・ケアプランセンター受付窓口を一本化
- ① マニュアルの見直しと改善
 - ・新人研修マニュアルの見直し
 - ・法定研修実習受け入れ
- ㊧ ひとりで抱え込まない体制づくり
 - ・ケースの共有度を上げる
 - ・相談しやすい環境を作る
- ㊥ 労働環境改善(残業時間を短縮し健康管理)
 - ・残業の事前申請と効率的で計画的な業務の遂行
 - ・シフト勤務や振替休日等の活用
 - ・担当件数の見直し

(エ) 学習と成長の視点

～気づき・学び・実行～

- ㊦ 事例検討会での学びを活かし、現場に取り組む
- ① 個人目標の明確化
 - ・自分のステップアップを確認できる研修計画を立てて実行する

④ 教育研修

ア．当事業所単体の利用者情報共有会議(週1回)

イ. ケアプランセンター東成おおみち、東中浜ケアプランセンター合同のケアマネ全体会議における制度改正等の情報共有（月1回）

ウ. 各ケアマネジャー個別の外部セミナー出席

⑤ 今後の展望

2018年度は売り上げでは達成率92%と目標を大きく下回った。要因は安定した人員が確保できずに、法人内からの依頼でもお断りすることがあった。新規利用者を終了利用者が上回る状態で経過していた。

2019年度は「黒字化」を目標にする。ケアプランセンター東成おおみちと統合し7名のケアマネジャーで運用をスタートさせる。昨年度の反省から安定した人員での運営を第一とする。離職者を出さずに、また増員も視野に入れて大道会のケアプランセンターとして運営できれば目標は達成できる見込みである。

また、ケアマネ自身が社会資源のひとつとして成長し、地域での暮らしの支え手となることは社会医療法人の役割でもあると認識し、所内の研修体制はもとより、新人ケアマネの育成に尽力できる事業所を目指す。

(4) ケアプランセンター東成おおみち(居宅介護支援事業)

① スタッフの体制（年度末日時点）

ケアマネジャー 3名（全員が主任ケアマネジャー）

② 業務内容

居宅介護支援事業

③ 業務実績

ア. 2018年度事業所目標

「支援経過への入力強化」

イ. 通年目標と取り組み

（ア）財務の視点

法人内のケアプランセンターと連携を図り、大道会ケアプランセンターとして一体的運営を行う

㊦ 法人内のケアプランセンターと連携を図る

① 新規紹介を断らない

（イ）顧客の視点

利用者をチーム（事業所）で支え、事業所の対応力を向上させる

㊦ 利用者情報共有会議・ミニ事例検討の実施および、サービス担当者会議への参加を通して、ケースの共有を図る

① 困難ケースの複数担当制の検討

(ウ) 業務プロセスの視点

全スタッフが笑顔で働ける体制を整える

㊦ 残業時間の削減

㊧ 必要な書類や資料がスムーズに取り出せる

(エ) 学習と成長の視点

内外ともに学びの機会を多く持ち、ケアマネジメントの質の向上を目指す

㊦ 事例検討会、各種学習会の開催等により、ケアマネジメントの質の向上を図る

㊧ 包括支援センター、各機関の研修へ積極的に参加する

④ 教育研修

当事業所単体の利用者情報共有会議、ケアプランセンター城東おおみちとの合同のケアマネ全体会議における事例検討（月1回）、各ケアマネジャー個別での外部セミナーへの出席

⑤ 今後の展望

2018年度は、特定事業所加算Ⅲの算定再開はできたが売上達成に繋げる事ができなかった。大阪市の要介護認定者の軽度者判定の割合が増えており、特別養護老人ホームの新設も増えている。そのため次年度に向けては、ケアプランセンター城東おおみちと統合し「ケアプランセンターおおみち」として大規模な居宅介護支援事業所として運営を行っていくことになる。

(5) レンタルケアおおみち(福祉用具貸与・販売事業・住宅改修事業)

① スタッフ体制

管理者1名（福祉用具専門相談員 兼務）

福祉用具専門相談員 3名（常勤2名・非常勤1名）

② 業務内容

福祉用具貸与・特定福祉用具販売事業、介護用品販売事業・住宅改修事業

利用者の居宅サービス計画に基づき、福祉用具の貸与・特定福祉用具販売

福祉用具（特定福祉用具）サービス計画書作成・交付

福祉用具・介護用品の相談、情報提供

福祉用具の機能・安全性・衛生状態等に関する定期点検、指導、修理

住宅改修現地調査立ち合い・見積もり作成・申請代行・着工立ち合い

介護給付費等の請求事務及び通信連絡事務等

③ 業務実績

ア. 2018年度事業所目標

「繋がり、信頼を深め選ばれる貸与事業所を目指す」

イ. 目標と取り組み

(ア) 財務の視点

㊦ 新規・再開契約 92件（目標108件）

- ① 需要が伸びる分野のアイテムを開拓
他社では取り扱い実績のない在宅向け見守り機器を新規契約

(イ) 顧客の視点

- ㊦ 繋がりを深める
毎月の実績、モニタリング報告を訪問で行うことにより顔と顔の繋がりを構築し
知名度と信頼を深めた
- ① 定期訪問
施設への定期訪問実施により販売依頼件数増加

(ウ) 業務プロセスの視点

- ㊦ 企画&広報活動の充実
イベントを通じて知名度と繋がりをより深める
上期3回、下期1回地域ケアマネジャー・セラピスト向けイベント開催
職員限定キャンペーン(ルルド)2日間実施

(エ) 学習と成長の視点

- ㊦ 利用者それぞれの日常生活に視点を置く
訪問セラピストによるOJT研修を年間41回実施

④ 教育研修

外部研修

- 「全国平均貸与価格・上限設定・選定提案導入後の取り組み」
- 「認知症についての知識と関わり方のコツ」
- 「福祉、介護サービス従事者に求められる法令遵守」
- 「高齢者虐待の現状と虐待事例から考える支援のあり方」
- 「Word・PowerPointでOK!! 魅力が伝わるチラシの作り方」
- 「FBショップ会 ふれあいネット2019」
- 「各メーカー新商品展示会」
- 「バリアフリー展2018」

⑤ 今後の展望

2018年度は主にイベント開催に力を入れ、地域ケアマネジャーとの繋がりを強化を図った。法人内居宅依存型だった新規依頼も少しずつではあるが、法人外居宅からの依頼に繋げることが出来た。今後も繋がり、信頼を深め地域から必要とされる貸与事業所を目指す。また安定した経営体制の確立のため時間管理を意識し業務効率、残業時間削減を心掛け引き続き費用の縮減に努めていきたい。

2019年度事業所目標

- 「地域ニーズに対応できる事業所の構築」
- ～必要とされる事業所を目指す～

(ア) 財務の視点

- ㊦ 上期新規・再開契約54件獲得を目指す

(イ) 顧客の視点

⑦ 排泄関連の課題を解決し利用者、介護者の負担軽減に繋げる

(ウ) 業務プロセスの視点

⑦ 残業時間削減

(エ) 学習と成長の視点

⑦ 専門性の向上

5. 統計報告(2018年度)

(1) 訪問看護ステーション(おおみち・東成おおみち)

① 2018年度 利用者数・訪問件数推移

		2018.4	2018.5	2018.6	2018.7	2018.8	2018.9	2018.10	2018.11	2018.12	2019.1	2019.2	2019.3	合計	平均 / 月	
新規利用者数	ST おおみち	10	4	7	11	3	6	6	12	9	10	10	7	95	7.9	
	ST 東成	7	6	7	15	0	4	5	5	7	6	3	3	68	5.7	
	合計	17	10	14	26	3	10	11	17	16	16	13	10	163	13.6	
終了利用者数	ST おおみち	5	10	1	6	9	5	0	5	8	4	10	12	75	6.3	
	ST 東成	5	9	12	3	0	9	5	3	4	4	3	8	65	5.4	
	合計	10	19	13	9	9	14	5	8	12	8	13	20	140	11.7	
訪問件数	介護保険 訪問看護 延べ数	ST おおみち	504	558	498	494	513	442	473	480	491	469	488	507	5,917	493.1
		ST 東成	388	419	413	452	463	408	461	444	439	425	386	404	5,102	425.2
		合計	892	977	911	946	976	850	934	924	930	894	874	911	11,019	918.3
	介護保険 訪問リハ 延べ数	ST おおみち	162	185	181	178	184	156	205	212	213	223	221	236	2,356	196.3
		ST 東成	157	180	173	181	179	150	184	188	170	178	143	157	2,040	170.0
		合計	319	365	354	359	363	306	389	400	383	401	364	393	4,396	366.3
	医療保険 訪問看護＋ 訪問リハ 延べ数	ST おおみち	374	352	339	408	378	402	490	444	392	360	412	438	4,789	399.1
		ST 東成	242	291	250	223	282	252	295	314	350	311	315	345	3,470	289.2
		合計	616	643	589	631	660	654	785	758	742	671	727	783	8,259	688.3
訪問件数 総計	ST おおみち	1,040	1,095	1,018	1,080	1,075	1,000	1,168	1,136	1,096	1,052	1,121	1,181	13,062	1088.5	
	ST 東成	787	890	836	856	924	810	940	946	959	914	844	906	10,612	884.3	
	合計	1,827	1,985	1,854	1,936	1,999	1,810	2,108	2,082	2,055	1,966	1,965	2,087	23,674	1972.8	

② 2018年度年間相談件数

		ST おおみち	ST 東成	合計	%
CM	法人内	13	6	19	10.0%
	法人外	46	39	85	44.7%
MSW	法人内	14	2	16	8.4%
	法人外	15	13	28	14.7%
医師	法人内	1	0	1	0.5%
	法人外	15	15	30	15.8%
その他		9	2	11	5.8%
合計		113	77	190	100.0%

③ 2018年度 介護度別分布(年度末時点)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	医療	合計
ST おおみち	8	10	15	27	20	18	21	47	166
ST 東成	5	12	18	23	23	21	21	39	162
合計	13	22	33	50	43	39	42	86	328

④ 2018年度 実習受け入れ実績

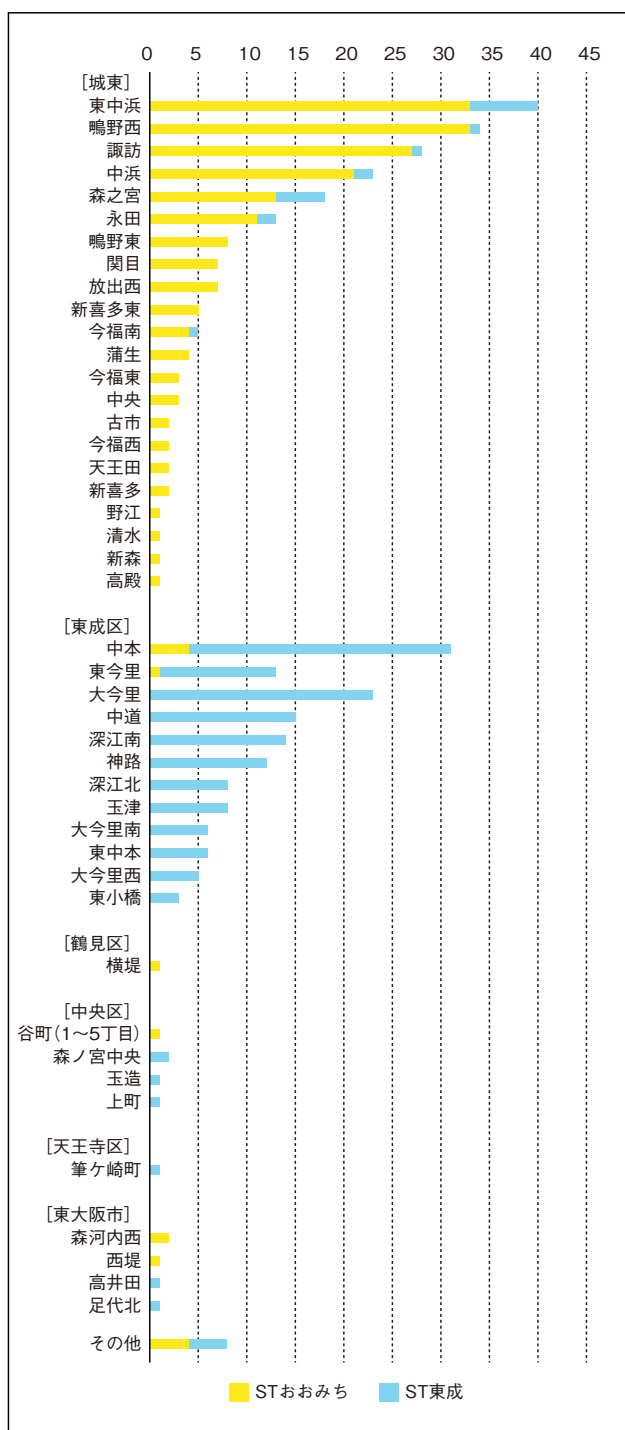
学 校 名	対象学生	受入人数
大阪府病院協会看護専門学校	2年課程通信制	12
大阪信愛女学院短期大学	看護学科	10
大阪府病院協会看護専門学校	3年課程	6

その他

大阪府立大学地域保健学域総合リハビリテーション学類理学療法専攻 1名

⑤ 2018年度 地域別分布

地域	ST おおみち	ST 東成	総計
[城 東]			
東中浜	33	7	
鳴野西	33	1	
諏訪	27	1	
中浜	21	2	
森之宮	13	5	
永田	11	2	
鳴野東	8		
関目	7		
放出西	7		
新喜多東	5		
今福南	4	1	
蒲生	4		
今福東	3		
中央	3		
古市	2		
今福西	2		
天王田	2		
新喜多	2		
野江	1		
清水	1		
新森	1		
高殿	1		
[東 成 区]			
中本	4	27	
東今里	1	12	
大今里		23	
中道		15	
深江南		14	
神路		12	
深江北		8	
玉津		8	
大今里南		6	
東中本		6	
大今里西		5	
東小橋		3	
[鶴見区]			
横堤	1		
[中 央 区]			
谷町(1～5丁目)	1		
森ノ宮中央		2	
玉造		1	
上町		1	
[天 王 寺 区]			
筆ヶ崎町		1	
[東 大 阪 市]			
森河内西	2		
西堤	1		
高井田		1	
足代北		1	
その他	4	4	
	205	169	0



(2) ケアプランセンター(城東おおみち・東成おおみち・東中浜)

① 2018年度 利用者数・加算件数推移

			2018.4	2018.5	2018.6	2018.7	2018.8	2018.9	2018.10	2018.11	2018.12	2019.1	2019.2	2019.3	合計	平均 / 月
利用者数	要介護者数	城東	104	103	102	105	107	97	96	100	94	88	89	92	1,177	98
		東成	55	53	53	54	58	58	64	62	76	71	66	72	742	62
		東中浜	18	15	10										43	14
		合計	177	171	165	159	165	155	160	162	170	159	155	164	1,962	174
	予防者数	城東	5	5	5	5	5	6	6	3	6	4	4	6	60	5
		東成	12	11	11	12	12	17	17	16	15	16	13	12	164	14
		東中浜	0	0	0										0	0
		合計	17	16	16	17	17	23	23	19	21	20	17	18	224	19
	合計	城東	109	108	107	110	112	103	102	103	100	92	93	98	1,237	103
		東成	67	64	64	66	70	75	81	78	91	87	79	84	906	76
		東中浜	18	15	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	14
		合計	194	187	181	176	182	178	183	181	191	179	172	182	2,186	193
加算	入院時連携Ⅰ	城東	6	6	3	3	5	1	4	4	4	4	2	2	44	4
		東成	3	1	0	3	3	1	5	4	4	3	4	1	32	3
		東中浜	1	0	0										1	0
		合計	10	7	3	6	8	2	9	8	8	7	6	3	77	6
	入院時連携Ⅱ	城東	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	2	7	1
		東成	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		東中浜	0	0	0										0	0
		合計	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1	2	8	1
	退院・退所	城東	4	3	2	3	2	0	3	6	1	3	1	1	29	2
		東成	1	2	0	2	2	3	6	1	5	0	1	4	27	2
		東中浜	2	0	0										2	1
		合計	7	5	2	5	4	3	9	7	6	3	2	5	58	5
	初回加算	城東	1	0	0	1	3	0	1	0	0	2	1	4	13	1
		東成	2	0	1	3	6	6	1	3	6	4	0	2	34	3
		東中浜	0	0	0										0	0
		合計	3	0	1	4	9	6	2	3	6	6	1	6	47	4

② 2018年度 相談件数年間集計

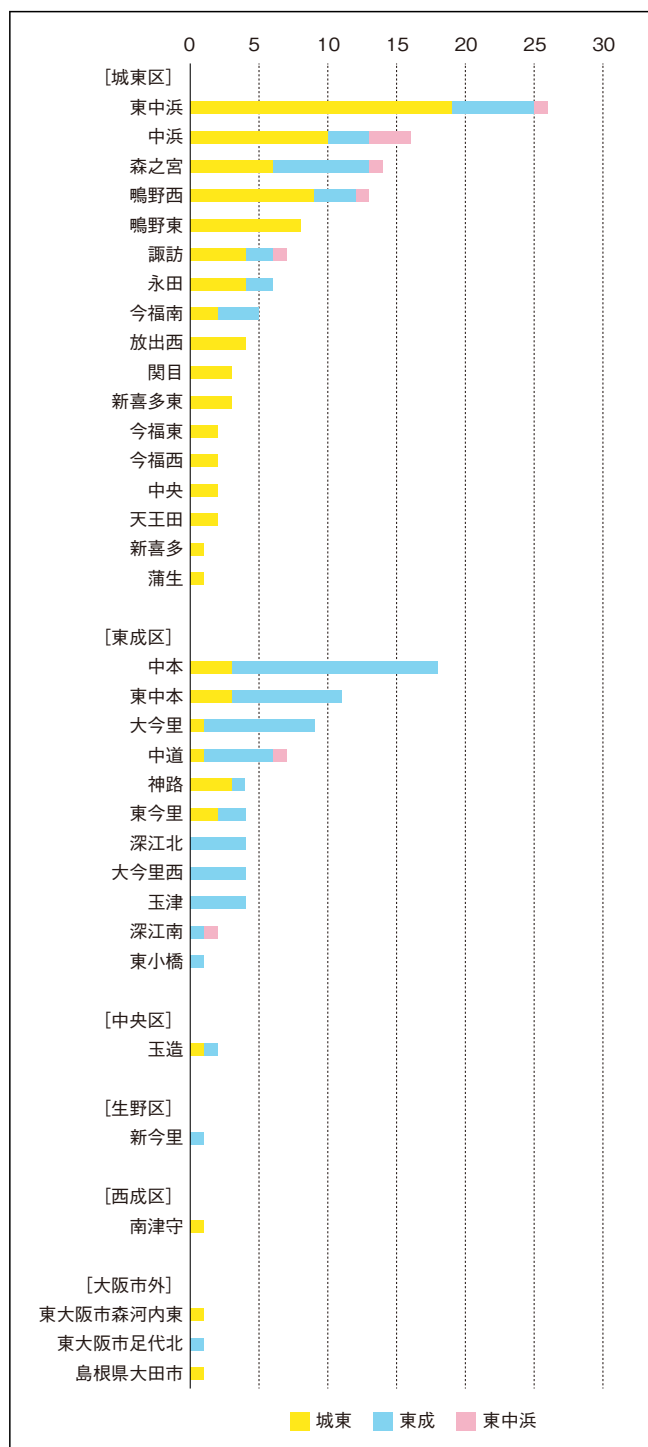
	城東	東成	東中浜	合計
森之宮病院	16	4	0	20
ボバース記念病院	0	0	0	0
ボバース記念病院(在宅ケア科)	0	0	0	0
病院(法人外)	5	7	0	12
グリーンライフ	0	2	0	2
大道クリニック	0	0	0	0
診療所(法人外)	0	0	0	0
ケアプランセンター城東おおみち	0	12	0	12
ケアプランセンター東成おおみち	0	0	0	0
東中浜ケアプランセンター	0	0	0	0
居宅介護事業所(法人外)	0	8	0	8
訪問看護ステーションおおみち	1	2	0	3
訪問看護ステーション東成おおみち	0	6	0	6
レンタルケア	0	0	0	0
地域包括支援センター	13	14	0	27
再来	0	0	0	0
本人・家族	9	10	0	19
地域住民・モニター会	0	0	0	0
その他	0	5	0	5
合 計	44	70	0	114

③ 2018年度 介護度別分布（年度末時点）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総計
城東	3	2	13	24	18	20	19	99
東成	5	5	15	28	10	10	7	80
東中浜	0	0	3	3	1	2	0	9
合計	8	7	31	55	29	32	26	188

④ 2018年度 利用者地域別分布（年度末時点）

地域	城東	東成	東中浜	総計
[城東区]				
東中浜	19	6	1	26
中浜	10	3	3	16
森之宮	6	7	1	14
鳴野西	9	3	1	13
鳴野東	8			8
諏訪	4	2	1	7
永田	4	2		6
今福南	2	3		5
放出西	4			4
関目	3			3
新喜多東	3			3
今福東	2			2
今福西	2			2
中央	2			2
天王田	2			2
新喜多	1			1
蒲生	1			1
[東成区]				
中本	3	15		18
東中本	3	8		11
大今里	1	8		9
中道	1	5	1	7
神路	3	1		4
東今里	2	2		4
深江北		4		4
大今里西		4		4
玉津		4		4
深江南		1	1	2
東小橋		1		1
[中央区]				
玉造	1	1		2
[生野区]				
新今里		1		1
[西成区]				
南津守	1			1
[大阪市内]				
東大阪市森河内東	1			1
東大阪市足代北		1		1
島根県大田市	1			1
総計	99	82	9	190



(3) レンタルケアおおみち

① 2018年度 貸与・自費貸与・販売・利用者数

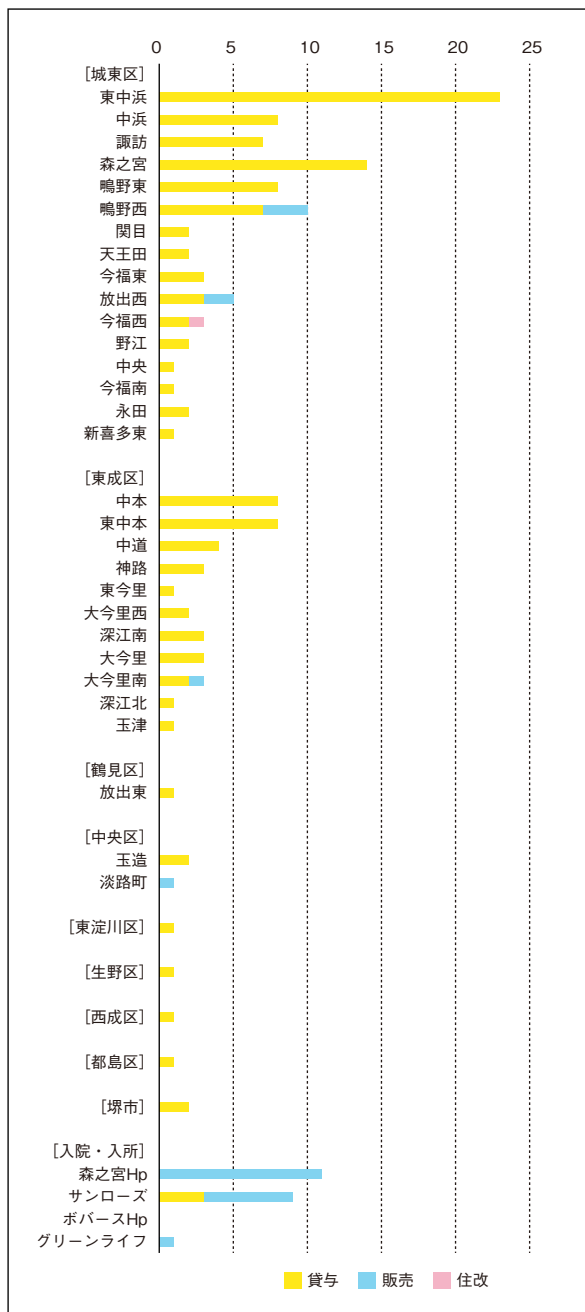
	2018.4	2018.5	2018.6	2018.7	2018.8	2018.9	2018.10	2018.11	2018.12	2019.1	2019.2	2019.3	合計	平均/月
貸与	123	117	113	119	122	122	125	126	120	118	117	118	1440	120.0
自費貸与	13	13	12	13	13	13	12	10	11	13	15	16	154	12.8
販売	16	29	22	23	27	22	21	30	29	25	28	25	297	24.8
住宅改修	2	0	0	2	2	1	1	0	0	1	1	1	11	0.9
合計	154	159	147	157	164	158	159	166	160	157	161	160	1902	158.5

② 2018年度 介護度分布（貸与利用者のみ）（年度末時点）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
貸与利用者	7	9	14	31	18	19	19	117
							区変中	1

③ 2018年度 利用者地域別分布（年度末時点）

市区	貸与	販売	住改	総計
〔城東区〕				
東中浜	23			23
中浜	8			8
諏訪	7			7
森之宮	14			14
鳴野東	8			8
鳴野西	7	3		10
関目	2			2
天王田	2			2
今福東	3			3
放出西	3	2		5
今福西	2		1	3
野江	2			2
中央	1			1
今福南	1			1
永田	2			2
新喜多東	1			1
〔東成区〕				
中本	8			8
東中本	8			8
中道	4			4
神路	3			3
東今里	1			1
大今里西	2			2
深江南	3			3
大今里	3			3
大今里南	2	1		3
深江北	1			1
玉津	1			1
〔鶴見区〕				
放出東	1			1
〔中央区〕				
玉造	2			2
淡路町		1		1
〔東淀川区〕				
〔生野区〕	1			1
〔西成区〕				
〔都島区〕	1			1
〔堺市〕	2			2
〔入院・入所〕				
森之宮 Hp		11		11
サンローズ	3	6		9
ボバース Hp				0
グリーンライフ		1		1
	134	25	1	160



4. 法人内教育研修活動実績

(1) 本部

本部法人外研修参加状況

新入職員研修

キャリア入職者研修

昇進者研修

未来創造プロジェクト

(2) 神経リハビリテーション研究部

(3) ボバーズ講習会活動

(4) 健康教室

(1) 本部

本部法人外研修参加状況

新入職員研修

キャリア入職者研修

昇進者研修

未来創造プロジェクト

本部法人外研修参加状況

開催日	研修名	目的
2018.5.15	情報化時代の ICT 基礎（前編）	システム基礎技術・基盤テクノロジーの基礎習得
2018.6.7	DC 新任担当者向け説明会・DC 情報連絡会	確定拠出年金制度・事務の基礎知識、制度の概要や事務、スケジュールなど2018年5月の DC 制度改正についての情報収集
2018.6.8	2018 年度 算定基礎届事務説明会	算定基礎届に関する事務業務についての説明
2018.6.9	HIS 広報プランナー（PL）認定「実践講座」シリーズ	広報業務向上と知識を深める為
2018.6.12	第 66 回 大阪労働大学講座	労働法とは～労働者・使用者の概念
2018.6.27～29	第 66 回 大阪労働大学講座	賃金・退職金・賞与をめぐる法的諸問題について
2018.6.28	「標準報酬変更届」作成に係る事務説明会	大阪府病院企業年金基金移行に伴う提出書類の事務説明会
2018.7.3	第 66 回 大阪労働大学講座	労働時間法制をめぐる法的諸問題
2018.7.9	「診療報酬・介護報酬改定の影響と対策」に関する研修会	急性期あるいは回復期リハ病棟をもつ病院における診療報酬、介護報酬改定の影響と、講じられている対策を学ぶことを目的とする
2018.7.9	ニッセイ 福利厚生セミナー	職員のキャリア自律の意識形成、企業の人材育成および働き方改革の考え方について学ぶことを目的とする
2018.7.9、13	第 66 回 大阪労働大学講座	労働条件の不利益変更など就業規則をめぐる法的諸問題を学ぶことを目的とする
2018.7.17、19	第 66 回 大阪労働大学講座「解雇及び労働契約の終了」	解雇および退職、定年等の労働契約の終了について学ぶことを目的とする
2018.7.18	第 177 回医療情報システム研究会	DPC データの活用による経営戦略の立案について学ぶ
2018.8.1	2018 年度 城東社会保険委員会総会	事業計画説明、事務手続き説明など
2018.8.2	デジタル広報講座	広報業務向上と知識を深める為
2018.8.9	シャープ楽々サイネージ体験セミナー	サイネージの使用方法を学ぶ
2018.8.30～31	大阪労働大学講座 社会保険	労使関係と賃金決定・業務管理の課題について学ぶ
2018.9.8～9	第 15 回全国病院広報実務者会議 in KOBE	広報業務向上と知識を深める為
2018.9.11～28	2018 年度 簿記教室	簿記の基礎知識等を学ぶため
2018.9.12	労務担当者のための傷病手当金セミナー	傷病手当金の実務、精神障害の労災認定について
2018.9.21	労働契約等解説セミナー 2018	労働契約法をはじめとした労働関係法令上の基礎、無期転換ルール、副業・兼業の促進について
2018.9.27	初歩から学ぶ労働基準法【労働時間法制の見直し（概要）講座】	労働基準法の基礎について再度学び、来年度の法改正のポイントを押さえる
2018.9.27	「働き方改革」の実践セミナー～いま病院に注目される健康経営のポイントとは～	医療法人が働き方改革に取り組むにあたり、健康経営の視点から学ぶことを目的とする
2018.10.3～17	法人税基礎講座	実務に活かす法人税、法人税の基礎講座
2018.10.4～5	2018 年度 医療安全管理者養成研修会 専門コース	医療安全管理者として医療安全についての研修を企画・運営する能力を養い、医療安全の情報収集・分析・対策立案、評価等の実務的なスキルアップの為
2018.10.19	広報担当者養成講座	広報業務向上と知識を深める為
2018.10.26	働き方改革関連法の概念～相談事例とその対応について	大阪労働局の統括労働紛争調整官の講義聴講
2018.11.9～10	2018 年度ホスピタルセミナー	消費税増税に関する情報収集・情報交換
2018.11.7～9	第 3 回 関西 総務・人事・経理ワールド オフィス防災 EXPO	法人における BCP 策定にあたり、最前線の取り組みを行っている企業の情報を学ぶことを目的とする

開催日	研修名	目的
2018.11.15	大阪府社会保険労務士会 医療労務コンサルタント研修	医療業界における労務管理の特殊性と実務に関する知識習得のため
2018.11.16	ブランディング視点から見た選ばれるための病院づくり	広報業務向上と知識を深める為
2018.11.26	AJS 株式会社 個別相談会 @ グランフロント大阪	他社の人事評価運営を学ぶため
2018.12.7	2018年度 厚生労働省委託事業 労働契約等解説セミナー 2018	労働契約について基本的知識を深めるため
2018.12.12	社会保険～給与控除から納付までの実務	「社会保険の基本」、「保険料の額の決定」、「給与からの控除」、「社会保険料の納付」の受講のため
2019.1.18	「働き方改革」推進セミナー	働き方改革関連法、労基署の臨検監督の実態などを知り、法人としての対応策を学ぶ
2019.1.24	第3回関西 Web& デジタルマーケティング EXPO	デジタルブック導入に伴う情報収集
2019.1.24	入門セミナー「数値を見るだけでなく、サイト改善に活かすためのウェブ解析」	セミナー受講で広報業務向上と知識を深める為
2019.1.28	雇用保険事務担当者研修会	雇用保険に関する事務手続き、雇用保険給付、労働基準監督署からのお知らせについての受講のため
2019.1.28	決算期別 法人税等説明会	決算期別説明会（法人税・消費税、源泉所得税の改正について）軽減税率制度説明会
2019.1.31～2.1	消防設備点検資格者再講習受講（1種・2種）	消防設備点検資格者に対し、消防法改正に伴う知識の向上を図るため（5年に1回再講習が義務付けられているため）
2019.2.6	パワーハラスメントについての研修会	パワーハラスメントについて学び、より適切な職場づくりにつなげる
2019.2.8	”Google 広告”における AI 活用セミナー	リスティングの広告効果をあげる為
2019.2.8	働き方改革の最新事情 労務対策の動向から新たな課題対策まで	省令・指針の最新情報から読み解く「新たな働き方改革の課題」 長時間労働の是正・最新事情を受講のため
2019.2.12	障害者雇用納付金制度事務説明会	障害者雇用納付金制度について学ぶ
2019.2.19	QI プロジェクト2018フィードバック説明会	QI プロジェクトに関する取り組みの情報収集
2019.2.19	社員一人ひとりの生産性向上へ向けた従業員教育のご案内	働き方改革への今後の取り組みに活かすため
2019.2.20	メディカルジャパン 地域包括ケア EXPO	地域包括ケアシステムについて学ぶため
2019.2.20～22	メディカルジャパン 病院運営支援 EXPO	セミナー受講による業務向上と知識を深める為
2019.2.22	「働き方改革」に関する研修会	労働基準法改正に関する情報収集をし、理解を深め、法人内規定、運用変更業務に役立てる為
2019.3.29	医療法改正に伴う医療法人における会計監査人監査への対応について	会計監査に関する知識習得のため

～新入職員研修～

日程	内容	担当講師等	時間
第1日目	人事課オリエンテーション 新人研修を受講するにあたって、自己紹介	本部 管理部 人事課	75分
	経営トップから新人に望むこと	大道理事長	50分
	新生ボバース記念病院が目指すもの	ボバース記念病院 荒井院長	40分
	PET とは - 我が国初の官民協調事業 -	森之宮クリニック 上田部長	30分
	人工透析・SAS について	大道クリニック 片山事務長	20分
	メンタルヘルスケアについて	帝国ホテルクリニック 沖永医長	40分
第2日目	接遇講習～敬語の使い方～ - 社会人の基本 -	森之宮病院 理事長秘書 川谷主任 (医療コンシェルジュ)	50分
	両病院歯科の特長・強み	森之宮病院 歯科診療部 旭部長	25分
	大道会未来創造プロジェクトの取組み	本部 井山理事	50分
	診療報酬・保険のしくみ ～あなたが受診するときのために～	森之宮病院 事務部 水谷課長	20分
	接遇講習～患者と顧客対応の実践～ - 社会人の基本 -	森之宮クリニック 企画広報部 荒木課長 (医療コンシェルジュ)	100分
	医療機関における防犯・防災について	本部 渉外担当 峰部長・三登課長	30分
	防犯について	城東警察署	50分
	防災について	城東消防署	50分
第3日目	新人に望む10のポイント 社会医療法人の使命と役割	本部 天野常務理事	50分
	トレーナー講義① 「コミュニケーションの大切さとポイント」	森之宮病院 リハビリテーション部 稲葉主任 介護老人保健施設グリーンライフ 療養サービス部 岡田主任 森之宮病院 看護部 正壽副部長 森之宮病院 事務部 下里主任	350分
	トレーナー講義② 「コミュニケーションの基礎」	森之宮病院 リハビリテーション部 神尾主任 森之宮病院 医療社会事業課 佐藤主任 森之宮病院 看護部 正壽副部長 森之宮病院 事務部 下里主任	
第4日目	森之宮病院が目指すもの	宮井副理事長	50分
	地域包括ケアとは - 大道会の地域支援事業 -	森之宮病院 診療部 医療社会事業課 藤井副部長	40分
	院内感染について ヘルスケア分野職員の心構え	森之宮病院 看護部 吉田科長 (感染管理認定看護師)	20分
	大道会在宅事業部の現状と将来展望	在宅事業部 安井統括部長	30分
	個人情報保護、就業規則、ハラスメント、人権、 社会保険について	本部管理部人事課 上野課長	45分
	介護老人保健施設グリーンライフについて	グリーンライフ 濱田施設長	40分

～ キャリア入職者研修会 ～

中途入職者を対象に、社会医療法人 大道会の概要、経営方針、入職者に期待する事柄等を説明する事で、職場定着を促進する事を目的に、毎月第1火曜日に実施。

内容	担当講師等	時間
(1) 新入職者に望む10のポイント (2) 社会医療法人大道会の概要 (3) 経営理念その他	本部 天野常務理事	60分
防犯・防災について ～病院内での事例を踏まえて～	本部 渉外担当 三登課長・峰部長	30分
接遇講習 ～ヘルスケア分野における接遇の基本と実践～	森之宮クリニック企画広報部 荒木課長	50分
個人情報保護管理規定・就業規則・労働時間管理について	本部管理部人事課 上野課長	50分

(2018年度 開催日・参加人数)

開催日	参加人数
2018.4.3	中止
2018.5.8	19名
2018.6.5	7名
2018.7.3	9名
2018.8.7	7名
2018.9.13	11名
2018.10.2	8名
2018.11.6	10名
2018.12.4	5名
2019.1.8	5名
2019.2.5	7名
2019.3.5	9名

社会医療法人大道会では、毎月第1火曜日に、「キャリア入職者研修会」を実施している。キャリア入職者とは、新規学卒者でないいわゆる中途採用者の事を指すが、我々ヘルスケア分野の業種においては、看護職をはじめとして中途採用者が多く存在するのが特徴であり、入職者全体に占める割合も無視できない。この研修会是这样したキャリア入職者に対し、入職に際して、当会の概要、経営方針、入職者に期待する事柄等を説明する事で方針を理解し、職場定着を促進する事を目的としている。内容は、4人の講師が分担し、まず常務理事から中長期経営方針・入職者に望む10の項目・当会の概要等、基本的な事項について説明し、次に渉外担当部長から施設内外における治安に関する注意点やトラブルに巻き込まれない為の私生活に関するアドバイスを。更に接遇講習として、医療コンシェルジュの資格を有する女性課長から日頃の接遇について、当会入職を契機に再考する機会を提供し、最後に総務担当者から就業規則、従業員倫理規定等の当会の制度について説明を行っている。毎月第1火曜日を実施日と定め、前月の入職者（当会の正職員・パート職員の他、派遣職員や協力業者として当会の施設に勤務する者も含む）が例え1名でもいれば実施する事としている。これは、当会に関わる全ての職員が共通の認識の下に利用者様・お客様と接し、業務にあたってもらいたいとの思いからである。

入職後の早期に、経営トップ層の考えや法人の取り組み、入職者に何を求めるか等の事項を周知し、また日頃の行動に考察の機会を与える事で、キャリア入職者が再び「初心」を取り戻し、当会職員として高いモチベーションと誇りを持って業務に精励して頂く為の動機づけとなっており、その効果は大きい。

～ 昇進者研修会 ～

新規主任昇進者を対象に、昨今の医療業界や当会を取り巻く環境、昇進に際する心構え等を説明し、管理者としての意識向上を図る事を目的に、上期・下期の年2回開催。

主たる内容	担当講師	時間
我が国の医療介護政策の方向性と3C 時代（競争・選択・淘汰）の役職者の対応	本部・天野常務理事	120 分

（2018年度 開催日・参加人数）

開催日	参加人数
2018.5.17	17 名
2018.11.28	10 名

2018年度未来創造プロジェクトについて

大道会ではより強固な組織づくりをめざし、「みんなで創ろう、みんなの未来」というスローガンのもと、複数のワーキングに取り組んでいる。これは、法人を挙げた取組であり、大道会の未来を創造する原動力になるものである。ここでは2018年度の取り組みを中心に紹介する。

2010年から中間管理職を対象とした、「課題解決スキル強化ワーキング」がスタートした。ロジカルシンキングなどの手法を使って、課題発見から分析、解決策の立案までを学ぶ研修内容で、受講者の中から、10名のトレーナー候補が選拔され、トレーニングののち講師として2013年10月から法人内の約150名の管理職を対象に、研修を実施した。2018年度は前年育成開始した第2期トレーナーが第1期トレーナーと協働しトレーナーデビューを果たした。

2013年1月からは、人事制度を根幹から見直す「人事制度改良ワーキング」が発足した。このワーキングは社会医療法人大道会が目指す姿を実現するための人事制度を「目指す姿の具体化」、「組織要件・人材要件の再定義」、「人事制度の再構築」、「人事制度を機能させる仕組みの構築」、「プロジェクトメンバーの経営視点の強化」を行うことにより改良することが目的である。組織で必要とされる人材要件、職種別の等級基準に基づく人事考課表が完成し、2015年10月には新たな考課基準に基づく人事考課が実施された。2016年度は新たな報酬体系に基づく移行が行われた。今後は、採用や教育などの人事のソフト面の仕組み構築を予定しており、2016年度は試行的に事務総合職のインターンシップを実施した。人事考課の効率的な運用、職員の成長サポート、並びに職員情報の一元管理の視点からシステム開発を進めている。

「人事制度改良ワーキング」の中で論理的かつ、根拠に基づいた意思決定機構や、それを支える経営企画機能の必要性が議論された。これを受け、2013年10月から約1年間、若手の事務系職員10名を対象とし「データ分析スキル強化ワーキング」を実施した。政治や経済などさまざまな社会情勢と経営資源、大道会の強み・弱みを把握し、経営層が適格な判断に必要な科学的根拠を提示できるデータ分析力を身につけることを目標に取り組んだ。2017年度は法人内のシステム・情報の一元管理を目的に本部事務局内に医療情報部を立ち上げた。

2014年4月より「経営戦略策定ワーキング」をスタートし、テーマとし脳性麻痺患者に対する医療提供体制の構築について議論を行った。大道会では長年、小児の脳性麻痺患者に対しては一定水準の医療提供を行ってきたが、これを成人・在宅に拡大することを決定した。2016年度に立ち上げた法人再編委員会において森之宮病院・ボバース記念病院・大道クリニックの機能の見直しが検討され、ボバース記念病院は脳性麻痺患者を中心とする障害者の為の病院とすることが決定した。病院機能の見直しに伴い、2018年度にはハード面・ソフト面の検討を行いボバース記念病院・森之宮病院の大幅な改修を行った。

又、大道会流の地域ケアシステムの構築もテーマとして取り上げ、訪問看護ステーションの拡大、並びにケアプランセンターを統合し、2019年4月からは健康ステーション「まなぶ」として大道会流の地域包括ケアの柱となるべく期待されている。

法人再編委員会と同時期に立ち上げた法人リハ統括会議においては、長年大道会の強みとして機能してきたリハビリテーション部門の在宅・介護部門への事業展開や、前段で触れた病院機能の変更に伴う、人員の異動計画・教育計画が検討されている。

これら複数のワーキングを総称して「未来創造プロジェクト」と呼んでいる。今後は経営企画機能を充実するといった観点から各種会議体の統廃合を計画している。

(2) 神経リハビリテーション研究部

① スタッフ・研究体制

部長：宮井一郎

研究員：矢倉一、畠中めぐみ、吉岡知美、長廻倫子、河野悌司、藤本宏明、乙宗宏範、平松佑一、荒井洋、小倉加恵子、服部憲明（非常勤）

顧問：久保田競

本研究部は1999年10月1日に設立され、以後一貫して中枢神経系損傷による運動、言語、嚥下、認知などの障害を改善できる脳の可塑的变化を促進させる方法論を考える神経リハビリテーションの立場から研究活動を行っている。とくに脳機能画像に関する設備や技術は充実しており、リハビリテーション評価だけでなく、ニューロフィードバックと呼ばれるリハビリテーション介入としての治療機器開発を行っている。一昨年度からは国立研究開発法人情報通信研究機構の研究助成金による上肢機能および歩行支援用のリハビリテーションロボット開発をATRと共同で開始した。トヨタ自動車と理化学研究所との共同研究の具体的な成果物として、脳波の大局的同期が機能回復の指標になるという成果に基づき、局所同期の臨床的意義についてもデータを集積している。

② 研究テーマ

ア．機能的MRI(fMRI)や機能的近赤外線分光計(fNIRS)を用いた脳卒中後の機能回復の脳内機構解明

イ．fMRIやfNIRSによる脳情報のリアルタイムフィードバックを用いたBrain-machine interface技術によるリハビリテーションの開発

ウ．脊髄小脳変性症に対する集中リハビリテーションの効果に関する研究

エ．脳波情報を用いた脳卒中後の脳内ネットワークの変化に関する研究

オ．非侵襲的計測法による歩行の評価方法の確立

カ．外骨格ロボットと脳機能ニューロフィードバックによる身体および認知・感覚運動機能のICTを活用したリハビリテーションシステムの開発

キ．脳卒中・脊髄小脳変性症患者の運動学習に関する研究

③ 共同研究

ア．大阪大学神経内科 厚生労働科学研究委託事業（障害者対策総合研究開発事業）「近赤外分光装置によるニューロフィードバック技術を応用した脳卒中及び神経難病の機能改善に寄与する新しいリハビリテーションシステムの開発に関する研究」

イ．慶応義塾大学リハビリテーション科 未来医療を実現する先端医療機器・システムの研究開発、先端医療機器の開発／麻痺した運動や知覚の機能を回復する医療機器・システムの研究開発

ウ．国際電気通信基礎技術研究所（ATR）外骨格ロボットと脳機能ニューロフィードバックによる身体および認知・感覚運動機能のICTを活用したリハビリテーションシステムの開発

エ．トヨタ自動車株式会社 パートナーロボット部、理化学研究所 脳科学総合研究センター「ニューロフィードバックリハビリ」に関する共同研究

オ．玉川大学脳科学研究所：非侵襲的動作解析による運動障害の客観的評価法の確立とリハビリテーションへの応用のための基礎的検討

カ．回復期リハビリテーション病棟協会：実態調査解析

④ 研究助成金

ア. 宮井一郎

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）未来医療を実現する先端医療機器・システムの研究開発 分担研究者
 先端医療機器の開発 麻痺した運動や知覚の機能を回復する医療機器・システムの研究開発

イ. 宮井一郎

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 分担研究者
 運動失調症の医療基盤に関する調査研究

ウ. 宮井一郎

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）脳機能補完による高齢者・障がい者の機能回復支援技術の研究開発 分担研究者
 外骨格ロボットと脳機能ニューロフィードバックによる身体および認知・感覚運動機能の ICT を活用したリハビリテーションシステムの開発

エ. 宮井一郎

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 神経難病における中枢神経感作のメカニズム研究とアンメットニーズに応える革新的治療法の開発 分担研究者
 脊髄小脳変性症を含む神経疾患における運動感覚障害の検討

オ. 宮井一郎

日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究（B） 分担研究者
 片麻痺患者への理学療法士の介入の解明とリハビリテーションシステムへの応用

カ. 河野悌司, 宮井一郎, 服部憲明

トヨタ自動車株式会社 理化学研究所 共同研究助成金
 「ニューロフィードバックリハビリ」に関する共同研究

キ. 荒井洋

日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究（C） 分担研究者
 早産時臨床的核黄疸において遺伝素因は危険因子となるか？

ク. 荒井洋

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）難治性疾患実用化研究事業 分担研究者
 早産児核黄疸の包括的診療ガイドラインの作成

ケ．小倉加恵子

日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究代表者
脳性麻痺児の読み書き・計算における強みと弱み及びその神経基盤の解明

コ．小倉加恵子

厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 分担研究者
乳幼児健康診査に関する 疫学的・医療経済学的検討に関する研究

サ．小倉加恵子

国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED) 障害者対策総合研究開発事業
主任研究者
障害児家族の適切な親子分離をはかり親子それぞれの社会的自立を促すための支援パッケージ開発に関する研究

シ．小倉加恵子

厚生労働科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業 研究協力者
高次脳機能障害者の社会的行動障害による社会参加困難への対応に関する研究

ス．小倉加恵子

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 研究協力者
希少難治性てんかんのレジストリ構築による総合的研究

セ．服部憲明

日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究代表者
脳内ネットワーク解析による脳卒中患者の心理特性と機能回復の関係についての検討

⑤ 研究者支援

文部科学省の科学研究費補助金取扱規程に基づき、公的研究費適正使用のための研究者支援および監査をおこなった。

⑥ 臨床研究に関する情報公開

疫学研究に関する倫理指針に基づき、ホームページに情報を公開した。

⑦ 学会発表・論文

年報業績集参照

(3) ボバーズ講習会活動

① 脳卒中後遺症者へのボバースアプローチ3週間認定基礎講習会

ア. 主催 社会医療法人 大道会

イ. 目的 脳性まひ治療とともに成人中枢神経疾患患者に対しても、“中枢神経系の損傷によって生じる神経性及び非神経性による生活機能の困難さに対して発達・回復過程における姿勢・運動の制御や運動学習理論の応用及び臨床的経験に基づく問題解決的なアプローチ”を通して独自の体系を樹立した英国のBobath夫妻の卓説した業績は世界的に広く認められている。

本講習会は国際ボバースインストラクター会議で定められた形式と内容によるもので、彼等の概念、理論及び実技を伝達指導し、我が国における脳卒中後遺症者に対するリハビリテーションの内容を高めようとするものである。なお、講習会修了者にはInternational Certification of Bobath Therapistが授与される。

ウ. 期間 3週間（前期2週間、後期1週間）

エ. 対象者 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師の有資格者で、1年以上の脳卒中後遺症者の治療経験を持つ者

オ. 講師

紀伊 克昌 森之宮病院名誉副院長（理学療法士）
（ボバース法国際公認シニアインストラクター）

大橋 知行 社会福祉法人山水学園特別養護老人ホームサンローズ理事長
（理学療法士）（ボバース法国際公認インストラクター）

小室 幸芳 森之宮病院リハビリテーション部副部長（作業療法士）
（ボバース法国際公認インストラクター）

高橋 幸治 森之宮病院リハビリテーション部科長学療法士）
（ボバース法国際公認インストラクター）

中窪 美佐緒 森之宮病院リハビリテーション部 非常勤（理学療法士）
（ボバース法国際公認インストラクター）

椎名 英貴 森之宮病院リハビリテーション部部長（言語聴覚士）
（ボバース法公認専任講師）

木野本 誠 大阪発達総合療育センター（理学療法士）
（ボバース法国際公認インストラクター）

2018年度

コース名	開催場所	開催期間	コースリーダー	Co-insutoractor
第93回	森之宮病院	2018年05月21日(月)～ 2018年06月01日(金)	高橋 幸治	紀伊 克昌 大橋 知行 中窪 美佐緒
		2018年08月20日(月)～ 2018年08月24日(金)		

コース名	開催場所	開催期間	コースリーダー	Co-insutoractor
第94回	森之宮病院	2018年07月17日(火)～ 2018年07月30日(月)	中窪 美佐緒	紀伊 克昌 小室 幸芳 高橋 幸治
		2018年01月29日(月)～ 2018年02月02日(金)		
第95回	森之宮病院	2018年10月22日(月)～ 2018年11月02日(金)	小室 幸芳	紀伊 克昌 木野本 誠
		2019年03月11日(月)～ 2019年03月15日(金)		

② 近代ボバース概念小児領域8週間 認定基礎講習会

ア. 主催 社会医療法人 大道会

イ. 目的 脳性まひ治療とともに成人中枢神経疾患患者に対しても、“中枢神経系の損傷によって生じる神経性及び非神経性による生活機能の困難さに対して発達・回復過程における姿勢・運動の制御や運動学習理論の応用及び臨床的経験に基づく問題解決的なアプローチ”を通して独自の体系を樹立した英国の Bobath 夫妻の卓説した業績は世界的に広く認められている。

本講習会は国際ボバースインストラクター会議で定められた形式と内容によるもので、彼等の概念、理論及び実技を伝達指導し、我が国における脳卒中後遺症者に対するリハビリテーションの内容を高めようとするものである。なお、講習会修了者には International Certification of Bobath Therapist が授与される。

ウ. 期間 8週間

エ. 対象者

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師の有資格者で、1年以上の脳性麻痺児の治療経験を持つ者

オ. 講師

紀伊 克昌 森之宮病院名誉副院長(理学療法士)

(ボバース法国際公認シニアインストラクター)

山本 裕子 ボバース記念病院リハビリテーション部理学療法科科長

(理学療法士)(小児ボバース法公認インストラクター)

吉田 真司 ボバース記念病院リハビリテーション部理学療法科主任(理学療法士)

小児ボバース法公認インストラクター)

永島 智里 ボバース記念病院(理学療法士)

(小児ボバース法公認インストラクター)

荒井 洋 ボバース記念病院院長(小児神経科)

(小児ボバース法公認専任講師)

鈴木 恒彦 大阪発達総合療育センターセンター長(整形外科)

(小児ボバース法公認専任講師)

- 小室 幸芳 森之宮病院リハビリテーション部副部長（作業療法士）
（小児ボバース法公認専任講師）
- 木瀬 憲司 ボバース記念病院リハビリテーション部副部長
（作業療法士）（小児ボバース法公認専任講師）
- 椎名 英貴 森之宮病院リハビリテーション部部長（言語聴覚士）
（ボバース法専任講師）
- 日浦 伸祐 大阪発達総合療育センター（理学療法士）
（小児ボバース法公認インストラクター）
- 木野本 誠 大阪発達総合療育センター（理学療法士）
（小児ボバース法公認インストラクター）
- 佐藤 邦洋 大阪発達総合療育センター（理学療法士）
（小児ボバース法公認インストラクター）
- 客員講師
- 平井 聡里 ボバース記念病院（医師 小児神経科）
- 吹上 謙一 ボバース記念病院（医師 整形外科）
- 小松 友子 森之宮病院 非常勤（臨床心理士）

2018年度

コース名	開催場所	開催期間	コースリーダー	Co-insutoractor
第93回	ボバース記念病院	2019年01月14日（月）～ 2019年03月08日（金）	紀伊 克昌	山本 裕子 吉田 真司

(4) 健康教室

① 健康教室

ア. 主 催

社会医療法人大道会（健康教室運営委員会）

イ. 目 的

健康教室を開催し「疾病やその予防」「健康や栄養に関する指導」「医療情報」など、友の会会員（※）を対象に講演を行う。

この啓発活動により、地域社会や地域住民への健康増進が図れること、これを目的とする。

（※）友の会発足の経緯は、1978年頃より実施されていた健康教室。

この受講者の中心になる世話人の労により、相互の親睦を図ることを目的として1985年4月に結成されたのが「健康教室・友の会」である。

ウ. 期 間

原則として、毎月1回・第4木曜日

時間は13:30～15:00（但し、6月・12月は別途）

6月は、健康教室・友の会・会員相互の親睦を図る目的で、日帰り旅行を実施する。

エ. 対 象 者

健康教室友の会会員

健康について関心がある地域の方々

オ. 講 師

基本的に法人内病院（ボバース記念病院・森之宮病院）の各診療科の医師・歯科医師、または各部署【看護部、リハビリテーション部（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）、医療社会事業課、診療技術部（検査科・画像診断科・薬剤科・栄養サービス科）、歯科診療部】、その他法人スタッフ（在宅事業部、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム）が講師を担当して行う。

但し、外部講師の招聘も限定しない。

2018年度 社会医療法人大道会 健康教室 年間実績表

2018年4月1日 ～ 2019年3月31日

開催回数	開催日	60分講演 (13:30～14:30)	30分講演 (14:30～15:00)	参加人数 (内初参加)
第326回	4月26日(木)	城東区役所 保健福祉課 保健師 / 藤原 早苗様 「こころの健康づくり」	ボバース記念病院 看護部 介護福祉士 / 三好 和枝 他 「生活の中の腰痛予防対策」	51名 (1名)
第327回	5月24日(木)	(株)エクシング 音楽健康療法士 / 馬場 悠様 「歌って動いて、元気なからだ♪」	ボバース記念病院 医療相談室 課長 / 岸 伸江 「住み慣れた地域で自分らしく暮らす」 ～地域包括ケアシステムとは～	49名 (1名)
第29回	6月26日(火)	親睦旅行 おごと温泉(滋賀県大津市) 琵琶湖パレイ → 琵琶湖テラス → おごと温泉 → 寿長生の郷 叶匠寿庵		30名
第328回	7月26日(木)	森之宮クリニック 副部長 / 橋口 元 「森之宮クリニック・ペットセンターについて」 ～開設後12年の実績と今後の展望～	(株)H+B ライフサイエンス 管理栄養士 / 金谷 朋恵様 「便秘や腸内細菌」	36名 (1名)
第329回	8月23日(木)	森之宮病院 歯科診療部 歯科医師 / 猪飼 祥子 「口腔乾燥症」 ～「健口」から「健康」～	森之宮病院 歯科診療部 歯科衛生士 / 村上 智美 「いつまでもおいしく食べるために!」 簡単にできるお口のリハビリテーション	42名 (0名)
第330回	9月27日(木)	サラヤ(株) 食品事業開発本部 ニュートリショングループ / 吉田 智様 「食後高血糖を予防する食生活」	森之宮病院 リハビリテーション部 作業療法科 主任 / 渡辺 英利 「骨折と介護予防」 ～うでの骨折を中心に～	44名 (2名)
第331回	10月25日(木)	大塚製薬(株) 販売促進担当 / 佐伯 輝彦様 「サプリメントの上手なとりかた」	森之宮病院 栄養サービス科 管理栄養士 / 内野 亜希 「加齢による筋肉減少を防ぐ食事について」	49名 (2名)
第332回	11月22日(木)	大阪市城東区役所 保健福祉課 保健師 小川 理乙子様 「いきいき・かみかみ百歳体操って何?」 ～みんなでできる介護予防～		47名 (0名)
第333回	12月20日(木)	森之宮病院 リハビリテーション部 理学療法科 主任 / 山田 良 「転ばぬ先の転倒予防」	森之宮病院 看護部科長 / 中島 ゆかり 主任 / 坂本 理恵 「脳梗塞・脳出血(脳卒中)にならないために」	41名 (0名)
第334回	1月24日(木)	大道 道大理事長 「年始挨拶」	大阪市生涯学習インストラクター 平田 頼子様 「音楽療法で心身ともにリフレッシュ!」	47名 (3名)
第335回	2月28日(木)	グリーンライフ 事務サービス部主任・支援相談員 / 中島 弘貴 「介護保険と施設機能」 ～施設の利用を学ぶ～	在宅事業部 訪問看護ステーションおおみち 作業療法士 主任 / 加藤 巧 「認知症予防体操のご紹介」	37名 (2名)
		グリーンライフ 事務サービス部 管理栄養士 / 田井 知絵 「風邪に負けない!」 ～肺炎を予防する食事～		
第336回	3月28日(木)	森之宮病院 診療部 循環器内科 医師 / 名方 剛 「動脈硬化について」	森之宮病院 診療部 医療社会事業課(医療相談室) 副部長 / 藤井 由記代 「医療相談室のご紹介」	42名 (0名)

5. 学術業績一覧

- (1) 学会発表
- (2) 講演会・研修会講師
- (3) 論文発表
- (4) 著書
- (5) 研究助成金

(1) 学会発表

神経リハビリテーション研究部

1. 平松佑一, 服部憲明, 藤本宏明, 乙宗宏範, 畠中めぐみ, 矢倉一, 宮井一郎.
脊髄小脳変性症における重症度の違いが短期集中リハ効果に与える影響.
第9回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会. 2018年5月12日. 岩手.
2. 河野悌司, 服部憲明, 畠中めぐみ, 宇野裕, 矢倉一, 藤本宏明, 乙宗宏範, 北城圭一, 宮井一郎.
脳卒中後の失語症評価における脳波位相同期の有用性.
第9回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会. 2018年5月12日. 岩手.
3. Kogami H, An Q, Yang N,
Yamakawa H, Tamura Y,
Yamashita A, Asama H,
Shimoda S, Yamasaki H,
Itkonen M, Alnajjar F, Hattori N,
Kinomoto M, Takahashi K, Fujii T,
Otomune H, Miyai I.
Effect of Physical Therapy on Muscle Synergy Structure during Standing-up Motion of Hemiplegic Patients.
International Conference on Robotics and Automation 2018. 2018年5月22日.
オーストラリア・ブリスベン.
4. Kogami H, An Q, Yang N,
Yamakawa H, Tamura Y,
Yamashita A, Asama H,
Shimoda S, Yamasaki H,
Itkonen M, Alnajjar F, Hattori N,
Kinomoto M, Takahashi K, Fujii T,
Otomune H, Miyai I.
Muscle Activity Analysis of Physical Therapist Intervention during Standing-up Motion of Hemiplegic Patients.
CogRob-CoRo Joint Workshop. 2018年5月25日. オーストラリア・ブリスベン.
5. 河野悌司, 服部憲明, 畠中めぐみ, 宇野裕, 矢倉一, 藤本宏明, 吉岡知美, 長廻倫子, 乙宗宏範, 北城圭一, 宮井一郎.
脳波位相同期による脳卒中後の失語症評価.
第59回日本神経学会学術大会. 2018年5月25日. 北海道.
6. 畠中めぐみ, 古川淳一郎, 寺前達也, 神尾昭宏, 平松佑一, 服部憲明, 乙宗宏範, 藤本宏明, 河野悌司, 河原田倫子, 吉岡知美, 矢倉一, 野田智之, 宮井一郎, 森本淳.
脳卒中患者に対する上肢外骨格ロボット端末適用の臨床的検証.
第55回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2018年6月28日. 福岡.
7. 河野悌司, 服部憲明, 畠中めぐみ, 宇野裕, 矢倉一, 藤本宏明, 吉岡知美, 長廻倫子, 北城圭一, 宮井一郎.
脳卒中後の運動回復における脳波位相同期指数の有用性に関する検討.
第55回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2018年6月29日. 福岡.
8. 平松佑一, 服部憲明, 乙宗宏範, 藤本宏明, 畠中めぐみ, 矢倉一, 宮井一郎.
脊髄小脳変性症・多系統萎縮症に対する短期集中リハ効果の重症度別検討.
第55回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2018年6月29日. 福岡.
9. 矢倉一, 宮井一郎, 畠中めぐみ, 河野悌司, 藤本宏明, 吉岡知美, 長廻倫子, 乙宗宏範.
回復期リハビリテーション病棟へ入院した脳卒中患者の再発例の転帰.
第55回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2018年6月30日. 福岡.

10. 河野悌司, 服部憲明, 宇野裕, 畠中めぐみ, 矢倉一, 藤本宏明, 吉岡知美, 長廻倫子, 乙宗宏範, 北城圭一, 宮井一郎.
脳波位相同期指数 (PSI) による脳卒中後の失語症評価.
大阪大学大学院 神経内科研究発表会. 2018年9月29日. 大阪.
11. Kawano T, Hattori N, Hatakenaka M, Uno Y, Yagura H, Fujimoto H, Yoshioka T, Nagasako M, Otomune H, Kitajo K, Miyai I.
Comparison of EEG synchrony measures for post-stroke neurorehabilitation.
IEEE SMC2018. 2018年10月8日. 宮崎.
12. Okazaki Y, Hattori N, Kawano T, Hatakenaka M, Miyai I, Kitajo K.
Flexible brain networks during stroke recovery.
第48回北米神経科学会. 2018年11月3日. アメリカ・サンディエゴ.
13. Kawano T, Hattori N, Uno Y, Hatakenaka M, Yagura H, Fujimoto H, Yoshioka T, Nagasako M, Otomune H, Mochizuki H, Kitajo K, Miyai I.
Assessment of neural networks related to post-stroke aphasia with the EEG phase synchrony index.
第48回北米神経科学会. 2018年11月7日. アメリカ・サンディエゴ.
14. An Q, Kogami H, Yang N, Yamakawa H, Tamura Y, Yamasaki H, Itkonen M, Shibata-Alnajjar F, Shimoda S, Hattori N, Kinomoto M, Takahashi K, Fujii T, Otomune H, Miyai I, Yamashita A, Asama H.
Rehabilitation Intervention of Physical Therapists Improves Muscle Synergy during Standing-up Motion of Stroke Patients.
The 2nd International Symposium on Embodied-Brain Systems Science (EmboSS 2018). 2018年12月6日. 大阪.
15. Kogami H, An Q, Yang N, Yamakawa H, Tamura Y, Yamasaki H, Itkonen M, Shibata-Alnajjar F, Shimoda S, Hattori N, Kinomoto M, Takahashi K, Fujii T, Otomune H, Miyai I, Yamashita A, Asama H.
Effect of Physical Therapy on Joint Angle of Hemiplegic Patients during Standing-up Motion.
The 2nd International Symposium on Embodied-Brain Systems Science (EmboSS 2018). 2018年12月6日. 大阪.
16. 宮井一郎, 平松佑一, 藤本宏明, 乙宗宏範, 畠中めぐみ, 矢倉一, 服部憲明.
短期集中リハビリテーションにおける Goal Attainment Scale (GAS) の活用.
平成30年度 厚生労働省 難治性疾患等政策研究事業「運動失調症の医療基盤に関する調査研究」研究報告会. 2019年1月10日. 東京.
17. 河野悌司, 服部憲明, 宇野裕, 畠中めぐみ, 矢倉一, 藤本宏明, 吉岡知美, 長廻倫子, 乙宗宏範, 望月秀樹, 北城圭一, 宮井一郎.
脳波位相同期指数による脳卒中後の失語症評価.
第45回日本リハビリテーション医学会 近畿地方会学術集会. 2019年3月9日. 大阪.
18. 藤本宏明, 乙宗宏範, 畠中めぐみ, 平松佑一, 河野悌司, 矢倉一, 服部憲明, 宮井一郎.

脊髄小脳変性症患者に対するリハビリテーション治療による上肢巧緻運動障害の評価法についての検討.

第45回日本リハビリテーション医学会 近畿地方会学術集会. 2019年3月9日. 大阪.

19. 平松佑一, 藤本宏明, 乙宗宏範, 畠中めぐみ, 矢倉一, 服部憲明, 宮井一郎.

脊髄小脳変性症・多系統萎縮症に対する短期集中リハビリテーションが活動や参加に与える効果.

第45回日本リハビリテーション医学会 近畿地方会学術集会. 2019年3月9日. 大阪.

20. 服部憲明, 小久保香江, 平松佑一, 藤本宏明, 河野悌司, 畠中めぐみ, 矢倉一, 望月秀樹, 宮井一郎.

脳梗塞患者の心理特性と片麻痺回復の関連について.

第44回日本脳卒中学会学術集会. 2019年3月23日. 神奈川.

森之宮病院 診療部 心臓血管センター

1. 山上将央, 福永匡史, 西村真知子, 藤原玲子, 名方剛, 元木学, 川崎大三.

大腿-膝窩動脈バイパス閉塞症例のCLI治療に難渋した1例.

近畿心臓血管治療ジョイントライブ (KCJL) 2018. 2018年4月13日. 大阪.

2. 赤井淳, 加藤雅明, 稲葉雄亮, 元木学, 大久保修和.

B型大動脈解離に対するステントグラフト内挿術後、慢性期における Stent graft migration の検討.

第46回日本血管外科学会学術総会. 2018年5月11日. 山形.

3. 山上将央, 福永匡史, 西村真知子, 藤原玲子, 名方剛, 川崎大三.

V.A.C.ULTA 型陰圧管理維持装置の重症虚血肢治療に対する可能性の検討.

第10回日本下肢救済・足病学会学術集会. 2018年7月13日. 北海道.

4. 川崎大三.

大腿膝窩動脈病変に対する実臨床でのDCBの役割とその使い方.

第10回日本下肢救済・足病学会学術集会. 2018年7月14日. 北海道.

5. 西庵邦彦.

SFA CTO に対し EVT 後、SFV 閉塞から肺血栓塞栓症を発症した症例.

循環器診療ステップアップ・セミナー. 2018年7月14日. 大阪.

6. 木村賢.

森之宮病院の平成30年度上半期症例について.

東京大学血管外科症例検討会. 2018年7月21日. 東京.

7. 福永匡史.

組織欠損有する重症虚血肢に対する早期血行再建術の有用性.

第27回日本心臓血管インターベンション治療学会 (CVIT2018). 2018年8月4日. 兵庫.

8. 川崎大三.

止血デバイス使用時の工夫、使い分けについて.

第27回日本心臓血管インターベンション治療学会 (CVIT2018). 2018年8月4日. 兵庫.

9. 川崎大三.

SFA Intervention へのこだわり.

第13回 Japan Endovascular Symposium. 2018年8月22日. 東京.

10. 西庵邦彦, 西堀祥晴.
Extension Catheter (Guide Liner, Guide Plus) の使用状況調査.
第66回日本心臓病学会学術集会. 2018年9月7日. 大阪.
11. Yamagami M, Fukunaga M, Nishian K, Fujiwara R, Nakata T, Kawasaki D.
Three Challenging Cases of Endovascular Treatment via Collateral Flow from Deep Femoral Artery.
CCT2018. 2018年10月25日. 兵庫.
12. 山上将央, 福永匡史, 西庵邦彦, 藤原玲子, 名方剛, 川崎大三.
限局皮膚硬化型全身性強皮症に併発した重症下肢虚血肢に対して我々は何がで
きるのか?.
第48回日本創傷治癒学会. 2018年11月
30日. 東京.
13. Nakata T, Kawasaki D, Fukunaga M, Nishimura M, Fujiwara R, Yamagami M, Nishian K.
Comparison between Long Stenting and Proximal Spot Stenting for Long Chronic Total Occlusion of the Femoropopliteal Artery.
CPAC2018. 2018年11月30日. 愛知.
14. 福永匡史.
内科医でも出来る Wound Management.
JET2019. 2019年2月22日. 東京.
15. 福永匡史.
BK 治療は何回繰り返しさえいいの?.
JET2019. 2019年2月23日. 東京.
16. 山上将央.
完全血行再建困難例に対する流出路病変への血管内治療の有用性.
第8回 KoPIC. 2019年2月28日. 大阪.
17. 福永匡史, 西村真知子, 名方剛, 山上将央, 藤原玲子, 川崎大三.
Clinical Effect of Planned Endovascular Therapy for Critical Limb Ischemia Patients with Tissue Loss.
第83回日本循環器学会学術集会. 2019年3月29日. 神奈川.
18. 山上将央, 福永匡史, 西庵邦彦, 西村真知子, 藤原玲子, 名方剛, 川崎大三.
Outcomes of Endovascular Treatment for Patients with Scleroderma.
第83回日本循環器学会学術集会. 2019年3月31日. 神奈川.

森之宮病院 診療部 乳腺センター (乳腺・内分泌外科、形成外科)

1. 藤原貴史, 矢野健二, 丹治芳郎, 野村昌哉.
人工物を用いた一次二期乳房再建における上胸部組織拡張量と乳頭偏位の関係.
第61回日本形成外科学会総会・学術集会. 2018年4月12日. 福岡.
2. 藤原貴史, 矢野健二, 丹治芳郎, 野村昌哉.
人工物を用いた一次二期乳房再建における上胸部組織拡張量と乳頭偏位の関係.
第26回日本乳癌学会学術総会. 2018年5月18日. 京都.
3. 藤原貴史, 矢野健二, 丹治芳郎.
脂肪注入が乳癌初期治療後フォローアップに及ぼす影響.
第6回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会. 2018年9月20日. 大阪.
4. 藤原貴史, 矢野健二, 丹治芳郎.
人工物を用いた一次二期乳房再建におけ

る上胸部組織拡張量と乳頭偏位の関係.
第16回日本乳癌学会近畿地方会. 2018
年12月15日. 大阪.

森之宮病院 診療部 小児整形外科

1. 柴田徹, 吹上謙一, 奥野杏子, 松山元昭.
脳性麻痺に対するボツリヌス治療.
第5回日本ボツリヌス治療学会学術大会.
2018年9月21日. 東京.

森之宮病院 診療部 小児神経科

1. 平井聡里, 北井征宏, 小倉加恵子, 大村
馨代, 荒井洋.
著名な基底核萎縮を主体とする超早期産
児の新たな脳性麻痺の一群.
第60回日本小児神経学会学術集会.
2018年5月31日. 千葉.
2. 北井征宏, 小倉加恵子, 大村馨代, 平井
聡里, 荒井洋.
アトピー型脳性麻痺における病態別コ
ミュニケーション、嚥下機能に関する検討.
第60回日本小児神経学会学術集会.
2018年5月31日. 千葉.
3. 平井聡里.
超早産児における著明な線条体萎縮を伴
う新たな脳性麻痺の一群.
第2回脳性麻痺・小児運動障害セミナー
(仙台セミナー). 2018年7月22日. 宮城.
4. 廣恒実加, 下野九理子, 林良子, 青天目
信, 大藺恵一.
過緊張のためるい癱となり、ボツリヌス
(BTX) 療法を行ったDRPLAの女児例.
第5回日本ボツリヌス治療学会学術大会.
2018年9月21日. 東京.

森之宮病院 診療部 麻酔・ペインクリニック科

1. 鈴木高広, 西村泰彦.
経皮的内視鏡下脊椎手術時における麻
酔の工夫.
第8回低侵襲・内視鏡脊髄神経外科研
究会. 2018年7月14日. 東京.
2. 池村彩華, 植田一吉, 松山恭悠, 岩倉健夫.
ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術に
おける皮下気腫への取り組み.
日本麻酔科学会 第64回関西支部学術
集会. 2018年9月1日. 大阪.

森之宮病院 歯科診療部・ボバース記念病院 歯科診療部

1. 旭吉直, 大道士郎, 畑中有希, 宮本順美.
当院における小児の全身麻酔, 静脈内鎮
静下歯科治療後の合併症に関する調査.
第56回日本小児歯科学会大会. 2018年
5月10日. 大阪.
2. 旭吉直, 畑中有希, 宮本順美, 青野陽,
大道士郎.
高齢障害者に対して当院で実施した全身
麻酔下歯科治療.
日本老年歯科医学会第29回学術大会.
2018年6月22日. 東京.
3. 畑中有希, 中廣晴夏, 日高愛恵, 村川智美,
和田結衣, 梅川麻美, 大平千尋, 宮本順美.
歯科診療室における一次救命処置トレ
ーニングの質的向上の試み.
日本歯科衛生学会第13回学術大会.
2018年9月16日. 福岡.
4. Ikuko DEKI, Yuki HATANAKA,
Yukimi MIYAMOTO, Shoko IKAI,
Yoshinao ASAHI, Shiro OMICHI,
Hitoshi NIWA(Department of Dental

- Anesthesiology, Osaka University Graduate School of Dentistry).
Effects of briefing on job performance of dental staff providing general anesthesia for patients with disabilities.
The 15th International Dental Congress on Anesthesia, Sedation and Pain Control (IFDAS 2018). 2018年10月6日. 奈良.
5. Shoko IKAI, Yuki HATANAKA, Yukimi MIYAMOTO, Ikuko Deki, Yoshinao ASAHI, Shiro OMICHI, Hiroshi NIWA(Department of Dental Anesthesiology, Osaka University Graduate School of Dentistry).
Loss of a premolar tooth just before laryngeal mask airway insertion.
The 15th International Dental Congress on Anesthesia, Sedation and Pain Control (IFDAS 2018). 2018年10月6日. 奈良.
 6. Yoshinao ASAHI, Yuki HATANAKA, Yukimi MIYAMOTO, Shoko IKAI, Ikuko DEKI, Shiro OMICHI, Hitoshi NIWA(Department of Dental Anesthesiology, Osaka University Graduate School of Dentistry).
Optimal timing of laryngeal mask airway removal after performing dental treatment of disabled patients under general anesthesia.
The 15th International Dental Congress on Anesthesia, Sedation and Pain Control (IFDAS 2018). 2018年10月7日. 奈良.
 7. 旭吉直, 畑中有希, 宮本順美, 猪飼祥子, 出来以久子, 青野陽, 大道士郎.
病院歯科に関して当院新入職者に対して実施した意識調査.
第35回日本障害者歯科学会総会および学術大会. 2018年11月17日. 東京.
 8. 青野陽, 畑中有希, 宮本順美, 出来以久子, 旭吉直, 大道士郎.
Sotos 症候群を有する患者の歯科治療経験.
第35回日本障害者歯科学会総会および学術大会. 2018年11月17日. 東京.
 9. 旭吉直, 大道士郎.
障害児の全身麻酔下歯科治療におけるラリンジアルマスクエアウェイ除去のタイミング.
第7回日本小児診療多職種研究会. 2018年11月25日. 福岡.
 10. 旭吉直, 畑中有希, 宮本順美, 出来以久子, 青野陽, 高崎義人, 大道士郎.
Pallister-Killian 症候群を有する患者の全身麻酔下歯科治療経験.
第28回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会. 2019年3月3日. 千葉.
 11. 高崎義人, 兵頭美穂, 猪飼祥子, 旭吉直, 大道士郎.
Obgeweser II法骨切り術後の知覚回復過程 - 特に自覚症状の記録・記載方法についての1考察 -.
第23回口腔顔面神経機能学会学術大会. 2019年3月9日. 長野.

森之宮病院 看護部

1. 吉田ひろみ.
非流行期のインフルエンザアウトブレイクから学んだこと.
第7回 日本感染管理ネットワーク学術集会. 2018年5月26日. 宮城.

2. 坂本理恵.
同時期に別病院に緊急入院となった高齢夫婦の退院調整で効果的だったこと ～法人内連携がうまくいった要因～.
リハビリテーション・ケア合同研究大会米子2018. 2018年10月3日. 鳥取.
3. 阪上良.
入浴介助から考える介護福祉士の役割～チーム医療の中で私達に出来ること～.
リハビリテーション・ケア合同研究大会米子2018. 2018年10月4日. 鳥取.
4. 松本香乃, 江木千恵子, 吉村仁美.
脳血管疾患患者の整容に鏡を取り入れることによる ADL 変化.
回復期リハビリテーション病棟協会 第33回研究大会 in 舞浜・千葉. 2019年2月21日. 千葉.

森之宮病院 診療部 医療社会事業課

1. 藤井由記代, 杉浦美保, 柴田まゆみ, 福岡幸代, 安井学, 椎名英貴, 奥村栄子, 田中貫志, 水谷理恵, 吉田誠, 宮井一郎, 大道道大.
森之宮地域における地域活動について.
リハビリテーション・ケア合同研究大会 米子2018. 2018年10月2日. 鳥取.
2. 枝川奈朋佳, 久繁迪子, 藤原恵子, 鷺山恵美, 沼田みゆき, 周藤江里子, 丸田加奈子, 高井一貴, 佐藤美香, 藤井由記代.
就労支援に関する一考察.
回復期リハビリテーション病棟協会第33回研究大会 in 舞浜・千葉. 2019年2月21日. 千葉.

森之宮病院 診療部 医療クラーク科

1. 金子恵理香, 赤間恵梨香.

森之宮病院の臨床研究に対する医療クラークの関わり.

Japan Endovascular Treatment Conference 2018. 2018年2月23日. 大阪.

2. 片上侑香, 下村泰子.
森之宮病院における医師事務作業補助者の32時間研修内製化の取り組み.
日本医師事務作業補助研究会. 2018年9月15日. 広島.

森之宮病院 リハビリテーション部

1. 高松賢司, 平松佑一, 藤田暢一, 荒木和子, 木瀬憲司.
回リハ病棟入院時から訪リハ終了時までの脳卒中患者の FIM 運動項目と下位項目の改善の特徴について.
第12回訪問リハビリテーション協会学術大会. 2018年6月16日. 福岡.
2. 堀本みづき, 藤井崇典.
線条体黒質変性症患者の足部クリアランス改善に向けて介入を行った一症例.
第30回大阪府理学療法学術大会. 2018年7月1日. 大阪.
3. 森正志, 平松佑一, 中山瑞希, 井上綾, 佐藤玲名, 北岡大征, 服部憲明, 福永匡史.
皮膚灌流圧からみた運動療法の選択～健康者による姿勢、運動方法からの検討～.
第24回日本心臓リハビリテーション学会. 2018年7月14日. 神奈川.
4. 入江泰司, 三浦教一.
回復期リハビリテーションのゴールは退院だけじゃない。先の生活も見据える! 脳卒中を再発した片麻痺患者に対してチームアプローチした症例.
第38回 近畿作業療学会. 2018年7月22日. 大阪.

5. 小谷真以, 三浦正樹.
知覚と運動の関係に着目した脊髄動静脈
瘻の一症例.
第8回日本ボバース研究会学術大会.
2018年7月29日. 大阪.
6. 神尾昭宏, 鈴木淳也, 大東哲也, 小橋憲
侍, 橋本佳奈, 井高勇介, 山本裕子, 岡
田泰子, 永島智里.
脳性麻痺児に使用する座付歩行器の座
面の改良が与える影響.
第8回日本ボバース研究会学術大会. 2018
年7月29日. 大阪.
7. 神尾昭宏, 鈴木淳也, 井高勇介, 橋本佳
奈, 永島智里.
脳性麻痺児に使用する歩行器改良の効果.
第52回日本作業療法学会. 2018年9月7
日～9日. 愛知.
8. 青木良太, 椎名英貴.
当院言語療法科における集団コミュニケー
ション療法の実際.
リハビリテーション・ケア合同研究大会 米
子2018. 2018年10月3日～4日. 鳥取.
9. 吉田藍香.
多職種連携による業務の質的向上を目指
した取り組み ～食事支援体制の検討～.
リハビリテーション・ケア合同研究大会 米
子2018. 2018年10月3日～4日. 鳥取.
10. 田邊憲二, 平松佑一, 矢倉一.
脳幹出血による運動失調と変形性膝関節
症を有する一症例.
第16回日本神経理学療法学会学術大会.
2018年11月10日～11日. 大阪.
11. 佃みき, 神尾昭宏.
痺れの主観的尺度に着目して、痺れの緩
和方法と自主練習を検討した一症例.
第33回大阪府作業療法学会. 2018年12
月2日. 大阪.
12. 七浦佑輔, 神尾昭宏.
脳卒中片麻痺患者のトイレ動作自立 ～非
麻痺側体幹に着目して～.
第33回大阪府作業療法学会. 2018年12
月2日. 大阪.
13. 宮浦翔子.
自主練習の定着を図ったことで治療効果
が持続し洗体動作が自立となった1例.
第33回大阪府作業療法学会. 2018年12
月2日. 大阪.
14. 入江泰司.
どこでもお手軽座位保持椅子.
第33回大阪府作業療法士学会. 2018年
12月2日. 大阪.
15. 島恵.
脳性まひ児に対する入院理学療法の効果
-GMFM からの検討-.
第5回日本小児理学療法学会学術集会.
2018年12月23日. 大阪.
16. 藤井美希.
左被殻出血により重度右片麻痺・全失語
を呈した一症例 - 立ち上がり動作の改善
に向けた検討 -.
第10回大阪市北ブロック新人症例発表
会. 2019年1月27日. 大阪.
17. 中山みのり.
屋内独歩自立を目指した症例 - 臨床推論
に基づいて -.
第10回大阪市北ブロック新人症例発表
会. 2019年1月27日. 大阪.
18. 中田明里.
前頭葉出血により重度の発動性低下を呈

- した一症例。
第10回大阪市北ブロック新人症例発表会。2019年1月27日。大阪。
19. 相原和樹。
足部痙性に着目し介入したことで歩容が改善し、杖歩行獲得に至った一症例。
第11回大阪市北ブロック新人症例発表会。2019年1月28日。大阪。
20. 木田由真。
専従セラピストと看護師との移乗動作指導の有用性。
回復期リハビリテーション病棟協会第33回研究大会 in 千葉・舞浜。2019年2月21日～22日。千葉。
21. 武田悦太郎, 木田由真, 吉田真, 島恵。
早期からの移乗動作指導と移乗 FIM 取得の関係性。
回復期リハビリテーション病棟協会第33回研究大会 in 千葉・舞浜。2019年2月21日～22日。千葉。
22. 岩下夏希, 藤田良樹。
段階的な目標設定により 屋内歩行自立を獲得した一症例。
回復期リハビリテーション病棟協会第33回研究大会 in 千葉・舞浜。2019年2月21日～22日。千葉。
23. 神尾昭宏, 砂古口雅子, 多田雅子, 諸石真由夏, 小室幸芳。
高次脳機能障害患者に対するイブニングセラピーの効果 - 同居家族への介助指導が及ぼす影響 -。
回復期リハビリテーション病棟協会第33回研究大会 in 千葉・舞浜。2019年2月21日～22日。千葉。
24. 田邊憲二, 平松佑一, 野口雅矢, 前垣貴之, 服部憲明。
移乗動作評価シートの信頼性について。
第45回日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会。2019年3月9日。大阪。
25. 藤田暢一, 藤本宏明, 乙宗宏範, 平松佑一, 畠中めぐみ, 服部憲明, 宮井一郎。
短期集中リハビリテーション治療と自宅訪問指導によって、転倒が長期に予防できた脊髄小脳変性症の一例。
第45回日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会。2019年3月9日。大阪。
26. 神尾昭宏, 畠中めぐみ, 服部憲明, 宮井一郎。
脳卒中後片麻痺に対する随意運動介助型電気刺激装置 (IVES) 併用下課題指向型アプローチの経験。
第45回日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会。2019年3月9日。大阪。
27. 森正志, 平松佑一, 中山瑞希, 井上綾, 佐藤玲名, 北岡大征, 服部憲明, 福永匡史。
姿勢の違いで足関節底屈運動後の皮膚血流量は異なるのか?—健常成人と重症下肢虚血患者での検討—。
第45回日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会。2019年3月9日。大阪。
28. 三浦教一, 畠中めぐみ, 藤本宏明, 平松佑一, 乙宗宏範, 河野悌司, 矢倉一, 服部憲明, 宮井一郎。
Goal Attainment Scale(GAS) をリハビリテーション目標設定に導入した脊髄小脳変性症の1例。
第45回日本リハビリテーション医学会 近畿地方会学術集会。2019年3月9日。大阪。
29. 森和実, 平松佑一, 藤本宏明, 乙宗宏範, 畠中めぐみ, 高橋幸治, 服部憲明, 宮井一郎。

Goal Attainment Scale(GAS)を歩容の改善の定量化に活用した脊髄小脳変性症患者の1例.

第45回日本リハビリテーション医学会 近畿地方会学術集会. 2019年3月9日. 大阪.

森之宮病院 診療技術部 栄養サービス科

1. 高間正恵, 北川知佳, 塩塚洋子, 菅貴子, 井上由梨, 中村彩子, 吉田ひろみ, 畠中めぐみ.
給食委託業者のノロウイルス無症状病原体保有者発生時の対応経験から.
第68回日本病院学会. 2018年6月28日. 石川.

森之宮病院 事務部 庶務課

1. 奥田陽子.
医師事務作業補助者のコミュニケーション研修の効果測定 - 多視点・構造化の導入例 -.
第20回日本医療マネジメント学会学術総会. 2018年6月9日. 北海道.

ボバース記念病院 診療部 小児神経科

1. 小倉加恵子, 市川宏伸.
小児医療と福祉との連携: 福祉関連施設における医療の課題整理.
第65回日本小児保健協会学術集会. 2018年6月15日. 鳥取.
2. 小倉加恵子, 荒井洋, 柴田徹.
青年・成人期脳性麻痺者の実態調査を通じた幼児期からの自立に向けた課題整理.
日本リハビリテーション医学会 第55回学術集会. 2018年6月30日. 福岡.
3. 荒井洋.
早期産児慢性ビリルビン脳症の臨床的特徴.

第33回日本大脳基底核研究会. 2018年8月25日. 東京.

4. 荒井洋, 北井征宏, 水谷聡, 奥山直美, 小倉加恵子, 平井聡里.
脳性麻痺児に対する包括的治療プログラムの長期効果に関する前方視的研究.
第64回日本小児神経学会近畿地方会. 2018年10月20日. 兵庫.

ボバース記念病院 診療部 小児整形外科

1. 奥野杏子, 田中啓之, 岡田潔, 岡久仁洋, 村瀬剛, 吉川秀樹.
副神経損傷による肩関節挙上制限に対して筋移行術を行った1例.
第131回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会. 2018年10月5日. 岡山.
2. 奥野杏子, 柴田徹, 吹上謙一, 松山元昭, 安田昌樹.
高齢者の脆弱性骨盤骨折で術後再骨折を生じた1例.
第45回日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会. 2019年3月9日. 大阪.

ボバース記念病院 看護部

1. 八木祐季奈, 稼農悦子, 前田裕幸.
充実感のある入院生活への第1歩 CP 患者へ週末の過ごし方について考える.
日本リハビリテーション看護学会第30回学術大会. 2018年11月23日~24日. 富山.

ボバース記念病院 リハビリテーション部

1. 小川真太郎.
グループリハビリテーション介入により立位・歩行の恐怖心が軽減し ADL の質の向上に繋がった片麻痺者の一症例.
第38回全国デイ・ケア研究大会2018 in

つくば . 2018年7月14日 . 千葉 .

2. 神尾昭宏 , 鈴木淳也 , 大東哲也 , 小橋憲侍 , 橋本佳奈 , 井高勇介 , 山本裕子 , 岡田泰子 , 永島智里 .

脳性麻痺児に使用する座付歩行器の座面の改良が与える影響 .

第8回日本ボバース研究会学術大会 . 2018年7月29日 . 大阪 .

3. 神尾昭宏 , 鈴木淳也 , 井高勇介 , 橋本佳奈 , 永島智里 .

脳性麻痺児に使用する歩行器改良の効果 .

第52回日本作業療法学会 . 2018年9月7日～9日 . 愛知 .

(2) 講演会・研修会講師

※パネリスト、シンポジストの場合は
注記しています。

神経リハビリテーション研究部

1. 宮井一郎.
脳卒中後の運動機能回復における Neuro modulation の役割 (シンポジスト).
第9回日本ニューロリハビリテーション学会
学術集会. 2018年5月12日. 岩手.
2. 宮井一郎.
脳血管リハビリテーション.
第14回回復期リハ病棟専従医師研修会.
2018年5月13日. 東京.
3. 宮井一郎.
診療報酬・介護報酬同時改定を踏まえた
病院経営戦略を考える「回復期リハビリ
テーション病棟を中心に」.
3RD Management Web Live Seminar.
2018年5月16日. 東京.
4. 宮井一郎.
脳卒中後の運動機能回復促進に対する
生体信号の活用 (シンポジスト).
第59回日本神経学会学術大会. 2018年
5月25日. 北海道.
5. 宮井一郎.
脳卒中後の機能回復のバイオマーカーとそ
のモデレーション (シンポジスト).
第55回日本リハビリテーション医学会学術
集会. 2018年6月30日. 福岡.
6. 宮井一郎.
回復期リハビリテーション病棟のアウトカム
向上のために何が必要か? ～脳卒中を中心
に～.
広島県回復期リハビリテーションの会 平
成30年度第1回研修会. 2018年7月11日.
広島.
7. 宮井一郎.
脳卒中の理解.
平成30年度回復期セラピストマネージャー
コース 第9期. 2018年7月21日. 東京.
8. 宮井一郎.
脳血管リハビリテーション.
第15回回復期リハ病棟専従医師研修会.
2018年9月29日. 東京.
9. 畠中めぐみ.
回復期リハ病棟における感染管理の実際
～医師の立場から～ (パネリスト).
第7回回復期リハビリテーション病棟協会
リスクマネジメント研修会. 2018年10月14
日. 東京.
10. 宮井一郎.
Asian attitude of Neurorehabilitation
from Medical viewpoint.
Internatinal Conferens on Neuroreha
bilitation 2018. 2018年10月16日. イタリア・
ピサ.
11. 宮井一郎.
回復期リハビリテーションについて.
大阪脳卒中医療連携ネットワーク 10周
年記念イベント. 2018年10月28日. 大阪.
12. 宮井一郎.
ニューロリハビリテーションは機能回復の生
物学的運命を変えることができるか.
ニューロリハビリテーション シンポジウム2018
「介入研究のフロンティア」. 2018年11
月17日. 東京.
13. 宮井一郎.
神経リハビリテーションの現状と課題.
滋賀脳神経疾患治療研究会. 2018年12
月7日. 滋賀.

14. 宮井一郎.
脳血管リハビリテーション.
第16回復期リハ病棟専従医師研修会.
2018年12月22日. 東京.
15. 宮井一郎.
最善な地域連携の取り組みとは? (パネリスト).
Osaka City Stroke Forum ～脳卒中病
診連携について. 2019年1月31日. 大阪.
16. 宮井一郎.
回復期リハビリテーション病棟実態調査の
活用～2018.
回復期リハビリテーション病棟協会 第33
回研究大会. 2019年2月22日. 千葉.
17. 宮井一郎.
脳機能計測と脳卒中リハのパラダイムシフト.
高崎健康福祉大学 公開講座 脳機能
計測とニューロリハビリテーション - 神経
科学の最新の知見と研究の進むべき道 -.
2019年3月14日. 群馬.
18. 宮井一郎.
脳卒中リハビリテーションにおけるバイオ
マーカーの活用 (シンポジスト).
第44回日本脳卒中学会学術集会 シンポ
ジウム「脳の可塑性から考える脳卒中リハ
ビリテーション」. 2019年3月22日. 神奈川.
2. 大道道大.
地域包括ケアシステムにおける病院の役
割.
日本医業経営コンサルタント協会 地域研
究交流会. 2018年10月11日. 奈良.
3. 大道道大.
病院医療のありかたを考えよう 病院・地域・
歴史的変遷そして地域医療連携のあるべ
き姿.
大阪地域医療連携合同協議会 連携実
務者のためのスキルアップ研修2018. 2019
年2月6日. 大阪.
4. 大道道大.
平成30年度診療報酬・介護報酬改定を
受けて.
日本医業経営コンサルタント協会 平成30
年度継続研修. 2019年2月9日. 京都.
5. 大道道大.
医療機関における電波の安全使用のため
の人材育成の現状 (パネリスト).
総務省・電波環境協議会 医療機関に
おける安心・安全な電波利活用促進シン
ポジウム. 2019年2月28日. 東京.

森之宮病院 診療部 外科

1. 大道道大.
地域医療計画と地域包括ケアシステム
そして病院の役割 病院経営の基本.
病院経営セミナー ～クリニカルパスから
医療と経営の質改善を考える～. 2018年
8月31日. 大阪.
2. 福永匡史.
FFR の臨床での活用について.
FFR Work shop in Kawasaki Hospital.
2018年4月10日. 兵庫.

森之宮病院 診療部 心臓血管センター

1. 加藤雅明.
講演「慢性予後を考慮した EVAR のデ
バイス選択」.
第118回日本外科学会. 2018年4月7日.
東京.

3. 川崎大三 .
「DCB」 「Function required for BNS
～ Transition of treatment ～」 .
近畿心血管治療ジョイントライブ (KCJL)
2018. 2018年4月13日 . 大阪 .
4. 元木学 .
意外と使える AZUR シリーズ。特徴と使
い分け .
第46回日本血管外科学会学術総会 .
2018年5月9日 . 山形 .
5. 川崎大三 .
膝下単独病変による間欠性跛行症例に対
して血行再建術を検討すべきである .
第46回日本血管外科学会学術総会 .
2018年5月9日 . 山形 .
6. 加藤雅明 .
コーヒブレイクセミナー 「ステントグラフト
内挿術の現状と IVUS の有用性」 .
第46回日本血管外科学会総会 . 2018年
5月9日 . 山形 .
7. 加藤雅明 .
エンボリ .
Vacular Surgery Colloquium. 2018年5
月9日 . 山形 .
8. 加藤雅明 .
Uncomplicated type B の治療ストラテ
ジー (シンポジスト) .
第46回日本血管外科学会総会 . 2018年
5月11日 . 山形 .
9. 川崎大三 .
実臨床での DCB の立ち位置、使い方 .
ADATARA Live Demonstraion2018.
2018年6月7日 . 福島 .
10. 加藤雅明 .
Effect of stroke prevention techniques
in hybrid arch repair.
International symposium of
Endovascular Arch Repair in Osaka.
2018年6月9日 . 大阪 .
11. 川崎大三 .
循環器内科医の CLI 治療への挑戦 .
第4回循環器チーム医療研究会 . 2018年
6月9日 . 大阪 .
12. 名方剛 .
Short inflation is enough.
LEVEL5. 2018年6月17日 . 大阪 .
13. 福永匡史 .
BK 治療における Corsair Armet の有用
性 .
LEVEL5. 2018年6月17日 . 大阪 .
14. 福永匡史 .
ランチョンセミナー 「末梢血管治療におけ
る IVUS 今後の展望」 .
第125回日本循環器学会近畿地方会 .
2018年6月30日 . 大阪 .
15. 福永匡史 .
最新の CTO EVT、抗血小板療法 .
第7回 KoPIC. 2018年7月26日 . 兵庫 .
16. 川崎大三 .
コーヒブレイクセミナー 「Effective tool
to optimize Drug Coated Balloon」 .
第27回日本心血管インターベンション治療
学会 (CVIT2018) . 2018年8月3日 . 兵庫 .
17. 加藤雅明 .
Effect of stroke prevention techniques
in hybrid aortic arch repair(シンポジス
ト) .

- ICA2018. 2018年8月21日. 東京.
18. 加藤雅明.
B型大動脈解離に対するTEVAR・急性期.
JES2018. 2018年8月22日. 東京.
19. 加藤雅明.
ランチョンセミナー「Zenith Alpha Thoracic ~ Low Profile Device のメリットとは何か~」.
JES2018. 2018年8月23日. 東京.
20. 加藤雅明.
ショートレクチャー「弓部大動脈瘤の脳Protection」.
JES2018. 2018年8月23日. 東京.
21. 加藤雅明.
New device:TEVAR(シンポジスト).
JES2018. 2018年8月23日. 東京.
22. 加藤雅明.
ステントグラフト治療の問題点と今後の展開.
第4回 Leading Edge Conference on Endovascular Therapy. 2018年8月25日. 兵庫.
23. 川崎大三.
To Leave more option for the re-EVT in the future from Make it open & Keep it open---every femoro-popliteal lesion---.
第8回 VIVA 広島. 2018年9月14日. 広島.
24. 川崎大三.
IVUS Guided Recanalization for the Infrainguinal Chronic Total Occlusion.
TCT2018. 2018年9月21日. アメリカ・サンディエゴ.
25. 加藤雅明.
ステントグラフトハンズオンセミナー「AAA、EVERについて」.
第26回日本血管外科学会関東甲信越地方会. 2018年9月22日. 栃木.
26. 加藤雅明.
アフタヌーンセミナー「大動脈瘤、大動脈解離に対するステントグラフト治療~現状と今後~」.
第26回日本血管外科学会関東甲信越地方会. 2018年9月22日. 栃木.
27. 加藤雅明.
ディベーター「Uncomplicated B型急性解離:TEVAR vs Medication」.
第71回日本胸部学会定期学術集会. 2018年9月22日. 東京.
28. 加藤雅明.
大動脈解離に対するステントグラフト治療.
第5回 KEIO Aortic Technology Symposium. 2018年10月6日. 東京.
29. 加藤雅明.
ステントグラフトの現状と将来展望 + 動脈瘤について.
テルモ株式会社 社内講演会. 2018年11月9日. 大阪.
30. 福永匡史.
カテだけやってる訳じゃありません(シンポジスト).
ARIA2018. 2018年11月23日. 福岡.
31. 川崎大三.
FP Lesion 治療における Supera の位置づけ(シンポジスト).
ARIA2018. 2018年11月23日. 福岡.

32. 川崎大三 .
私の DCB の使い方 .
ARIA2018. 2018 年 11 月 23 日 . 福岡 .
33. 川崎大三 .
ランチョンセミナー 「What kind of lesion, Eluvia shows best performance」 .
ARIA2018. 2018 年 11 月 24 日 . 福岡 .
34. 川崎大三 .
意外と大切 !? 穿刺部のケアと止血デバイスの使用工夫 (シンポジスト).
CPAC2018. 2018 年 11 月 30 日 . 愛知 .
35. 川崎大三 .
ランチョンセミナー 「DCB 時代のイメージングガイド EVT ～至適デバイスを再考する～」 .
CPAC2018. 2018 年 12 月 1 日 . 愛知 .
36. 福永匡史 .
当院における walking salvage への挑戦 .
阪神 VACU lta コンセンサスセミナー .
2018 年 12 月 8 日 . 兵庫 .
37. 加藤雅明 .
EVAR,TEVAR の問題点とその解決策 .
第 99 回三重心臓病講演会 . 2018 年 12 月 22 日 . 三重 .
38. 川崎大三 .
IVUS guided intraluminal wiring for peripheral CTO lesion.
LINC2019. 2019 年 1 月 23 日 . ドイツ・ライプツヒ .
39. 川崎大三 .
SFA 治療における最適なデバイスの選択とは ? .
第 59 回京滋奈良 Interventional Cardiology 研究会 . 2019 年 2 月 2 日 . 京都 .
40. 名方剛 .
第 32 回 CVIT 近畿地方会 .
ランチョンセミナー 「穿刺部評価と止血デバイスの使い分けについて」 . 2019 年 2 月 9 日 . 大阪 .
41. 福永匡史 .
ランチョンセミナー 「循環器内科医による Walking Salvage への挑戦」 .
第 17 回日本フットケア学会年次学術集会 .
2019 年 2 月 9 日 . 愛知 .
42. 加藤雅明 .
日本ステントグラフト実施基準管理委員会追跡調査報告 : 大動脈解離に対する TEVAR.
第 49 回日本心臓外科学会 . 2019 年 2 月 13 日 . 岡山 .
43. 川崎大三 .
心臓領域からみた抗血小板療法 .
ATIS Exchange Web Conference.
2019 年 2 月 20 日 . 東京 .
44. 加藤雅明 .
Long term outcomes of Endovascular therapy from Japan experience: Treatment strategies for long term outcomes.
Medtronic Endovascular Masters Japan Meeting 2019. 2019 年 2 月 23 日 . 東京 .
45. 福永匡史 .
モーニングセミナー 「循環器内科医による Walking Salvage への挑戦」 .
JET2019. 2019 年 2 月 23 日 . 東京 .
46. 加藤雅明 .
慢性解離 (解離性大動脈瘤を含む) 適応承認後の今後の展望 .

日本ゴア社内勉強会 . 2019年3月8日 . 東京 .

47. 川崎大三 .
Current approaches for BTK interventions in CLI(パネリスト).
LINK Asia-Pacific2019. 2019年3月12日 .
中国・香港 .
48. 川崎大三 .
Lutonix BK IDE:6-month results in Japanese hemodialysis patients.
LINK Asia-Pacific2019. 2019年3月12日 .
中国・香港 .
49. 加藤雅明 .
changing treatment strategy for type B aortic dissection.
第83回日本循環器学会学術集会 . 2019年3月31日 . 神奈川 .

森之宮病院 歯科診療部・ボバース記念病院 歯科診療部

1. 旭吉直 .
AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース
(大阪ライフサポート協会主催) インストラクター .
2018年10月21日 . 兵庫 .
2. 高崎義人 .
第23回口腔顔面神経機能学会 . 学術大会アドバンスセミナー . 2019年3月9日 . 長野 .
3. 旭吉直 .
AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース
(大阪ライフサポート協会主催) インストラクター .
2019年3月16日 . 大阪 .

森之宮病院 看護部

1. 正壽佐和子 .
ストーマケア、創傷管理、失禁等の基礎知識について(実習・演習含む).
第40回 関西ストーマケア講習会 (大阪会場). 2018年8月11日 . 大阪 .
2. 正壽佐和子 .
ストーマ・瘻孔のスキンケア .
大阪府看護協会短期研修 . 2018年8月31日～9月3日 . 大阪 .
3. 西村はるよ .
関連医学① 介護実習 .
兵庫歯科学院専門学校 . 2018年10月1・15日 , 11月14日 , 12月13日 . 兵庫 .
4. 正壽佐和子 .
褥瘡・排泄ケアのポイントとグループワーク .
公益社団法人大阪介護老人保健施設協会 リスクマネジメントと褥瘡排泄ケア研修会 . 2018年10月2日 . 大阪 .
5. 正壽佐和子 .
在宅褥瘡管理 : この方法で褥瘡なおるかな ?!
日本褥瘡学会 第12回大阪在宅褥瘡医療セミナー . 2019年1月20日 . 大阪 .
6. 坂本理恵 , 中島ゆかり .
脳卒中患者さんの退院支援 ～大阪脳卒中医療連携ネットワーク内 認定看護師ワーキンググループ作成のパンフレットを用いて .
日本脳神経看護研究学会 関西地方部会 関西脳神経看護セミナー . 2019年2月16日 . 大阪 .
7. 正壽佐和子 .
未来を拓く地域包括ケアイノベーションシン

ポジウム.

第16回 日本褥瘡学会近畿地方会学術集会 (シンポジスト). 2019年3月10日. 兵庫.

森之宮病院 診療部 医療社会事業課

1. 藤井由記代.
回復期リハビリテーション病棟におけるソーシャルワーク.
回復期リハビリテーション病棟協会 専従医
研修会. 2018年5月13日. 東京.
2. 藤井由記代.
医療機関におけるソーシャルワーカーの活
動.
大阪府立大学 地域保健学域 教育福祉
学類. 2018年5月23日. 大阪.
3. 佐藤美香.
リハビリテーションにおけるソーシャルワーク.
大阪府立大学 地域保健学域 教育福祉
学類 医療福祉論. 2018年6月11日. 大阪.
4. 藤井由記代.
回復期リハビリテーション病棟ソーシャル
ワーカーの基本.
回復期リハビリテーション病棟協会ソーシャ
ルワーカー基礎研修. 2018年7月14日.
東京.
5. 藤井由記代.
回復期リハビリテーション病棟におけるソー
シャルワーク.
回復期リハビリテーション病棟協会 専従医
研修会. 2018年9月30日. 東京.
6. 藤井由記代.
社会福祉士 (ソーシャルワーカー) の役割
と協働.
2018年度大阪府補助金事業 退院支援
強化研修. 2018年10月13日. 大阪.
7. 藤井由記代.
他職種から学ぶ～これでカンファレンスも怖
くない～.
回復期リハビリテーション病棟協会 管理栄
養士スキルアップセミナー. 2018年10月20
日. 東京.
8. 藤井由記代.
大阪脳卒中医療連携ネットワーク活動報
告.
大阪脳卒中医療連携ネットワーク10周年
記念事業. 2018年10月28日. 大阪.
9. 藤井由記代.
知っておこう病院の仕組み～みんなどんな
ことに困っているの?～.
2018年度大阪府地域福祉振興助成金事
業 あなたが主役・元気に暮らせるまちづく
り. 2018年11月7日. 大阪.
10. 藤井由記代.
高齢者医療について.
城東区地域福祉ビジョン推進チーム 高齢
者支援専門部会. 2018年11月16日. 大阪.
11. 藤井由記代.
知っておきたい病院の仕組み ～医療相談
室の実践と高齢者医療～.
団地の寺子屋. 2018年12月7日. 大阪.
12. 藤井由記代.
医療機関のかかり方と医療相談室の実
践.
(株) ハート介護サービス 介護支援専門
員研修会. 2018年12月12日. 大阪.
13. 久繁迪子.
リハビリテーションにおけるソーシャルワーク.
大阪医療ソーシャルワーカー協会初任者
研修. 2018年12月19日. 大阪.

14. 藤井由記代.
回復期リハビリテーション病棟におけるソーシャルワーク.
回復期リハビリテーション病棟協会 専従医
研修会. 2018年12月23日. 東京.
15. 藤井由記代.
回復期リハビリテーション病棟におけるソー
シャルワーク・森之宮病院医療相談室の
実践.
富山県回復期リハビリテーション病棟研究
大会. 2019年2月9日. 富山.
16. 藤井由記代.
今、回復期リハビリテーション病棟ソーシャ
ルワーカーに伝えたいこと・提言したいこと
～就労支援～(シンポジスト).
回復期リハビリテーション病棟協会第33回
研究大会 in 舞浜・千葉. 2019年2月22日.
千葉.
17. 藤井由記代.
社会福祉士に求められる質向上の取り組
み～患者さんの暮らしの安心を高めるソー
シャルワーク～.
鳥取県社会福祉士会 保健医療委員会
研修会. 2019年3月2日. 鳥取.
- 年5月20日. 東京.
3. 三浦教一.
SCD に対するリハビリテーション.
第59回日本神経学会(シンポジスト). 2018
年5月26日. 北海道.
4. 椎名英貴.
失語症の嚥下障害.
愛知県言語聴覚士協会 学術集会. 2018
年6月11日. 愛知.
5. 椎名英貴.
脳性麻痺の療育における ST の役割.
第4回三重県小児セラピー研修会. 2018
年6月17日. 三重.
6. 椎名英貴.
Dysarthria における発話へのアプローチ.
平成30年石川県士会研修会. 2018年8
月19日. 石川.
7. 椎名英貴.
小児の摂食嚥下障害.
日本言語聴覚士協会 認定講習会 摂食
嚥下障害. 2018年8月25日. 愛知.
8. 椎名英貴.
小児の摂食嚥下障害.
こどもの発達を考える ST の会. 2018年10
月7日. 大阪.
9. 椎名英貴.
Dysarthria の評価.
第63回日本音声言語医学会(シンポジス
ト). 2018年10月12日. 福岡.
10. 椎名英貴.
市中病院における嚥下障害の対応.
第63回日本音声言語医学会 ポストコング
レスセミナー. 2018年10月13日. 福岡.

森之宮病院 リハビリテーション部

1. 椎名英貴.
回復期病棟における摂食嚥下障害.
日本言語聴覚士協会 現任者講習会 回
復期リハビリ病棟の言語聴覚療法. 2018
年5月19日. 東京.
2. 椎名英貴.
回復期病棟における Dysarthria 評価と
治療.
日本言語聴覚士協会 現任者講習会 回
復期リハビリ病棟の言語聴覚療法. 2018

11. 椎名英貴.
脳性麻痺児のコミュニケーション AAC を
中心に.
平成30年度セラピストスキルアップ研修会
三重県立子ども心身発達医療センター.
2018年11月18日. 三重.
12. 椎名英貴.
タイプ別 訓練のポイントと留意点.
日本言語聴覚士協会 認定講習会 成人
発声構音障害. 2019年1月26日. 東京.
13. 椎名英貴.
姿勢や呼吸へのアプローチ.
日本言語聴覚士協会 認定講習会 成人
発声構音障害. 2019年1月26日. 東京.
5. 小倉加恵子.
育てにくさに寄り添う支援～4つの要因とそ
の対応.
厚生労働省主催 平成30年度 育てに
くさを感じる親に寄り添う支援についての
研修. 2018年7月13日. 宮城.
6. 小倉加恵子.
育てにくさに寄り添う支援～4つの要因とそ
の対応.
厚生労働省主催 平成30年度 育てに
くさを感じる親に寄り添う支援についての
研修. 2018年7月20日. 福岡.

ボバース記念病院 診療部 小児神経科

1. 小倉加恵子.
発達障害と子どもの睡眠.
第67回大阪小児保健研究会. 2018年5
月12日. 大阪.
2. 荒井洋.
重症心身障害児者に対するチーム医療
(シンポジスト).
平成30年度日本重症心身障害福祉協会
全国施設協議会. 2018年5月23日. 兵庫.
3. 小倉加恵子.
学会と社会(学会委員会企画2: 長期計
画ワークショップ 長期計画委員会企画
2035年の小児神経科医)(パネリスト).
第60回日本小児神経学会学術集会.
2018年5月31日. 千葉.
4. 小倉加恵子.
発達の多様性～Bio-Psyco-social からみ
た理解と支援(シンポジウム13: 発達の多
様性)(シンポジスト).
7. 荒井洋.
早期産児の発達特徴.
新生児室勤務のセラピスト・看護師のため
のショートコース. 2018年8月18日. 大阪.
8. 荒井洋.
核黄疸の再来から学ぶ一連携・交流こそ
が医療を変える.
とことん新生児セミナー 2018. 2018年9月9
日 大阪.
9. 荒井洋.
早産児の核黄疸 -21世紀の難病.
第17回日本新生児黄疸管理研究会.
2018年10月6日. 茨城.
10. 荒井洋.
歩けたってタイヘン! 麻痺だけじゃない脳性
麻痺の悩み.
第2回出口記念こどもの脳と心の発達研
究所講演会. 2019年1月26日. 長崎.
11. 荒井洋.
脳性麻痺に対する包括的な介入.

脳性麻痺診療の未来を考える CP フォーラム . 2019 年 3 月 2 日 . 大阪 .

12. 小倉加恵子 .

障害児親子それぞれの社会的自立に向けた新たな取り組み .

第 45 回日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会 . 2019 年 3 月 9 日 . 大阪

(3) 論文発表

神経リハビリテーション研究部

1. Houkin K, Shichinohe H, Abe K, Arato T, Dezawa M, Honmou O, Horie N, Katayama Y, Kudo K, Kuroda S, Matsuyama T, Miyai I, Nagata I, Niizuma K, Sakushima K, Sasaki M, Sato N, Sawanobori K, Suda S, Taguchi A, Tominaga T, Yamamoto H, Yamashita T, Yoshimine T. Accelerating Cell Therapy for Stroke in Japan:Regulatory Framework and Guidelines on Development of Cell-Based Products. Stroke. 2018;494 145-152.
2. 藤本宏明, 宮井一郎. ヒトにおける歩行と姿勢制御の神経機構. リハ医学 (Jpn J Rehabil Med). 2018;55 (9) : 724-729.
3. 宮井一郎. 実態調査からみた回復期リハ病棟のあり方. 回復期リハビリテーション. 2018;17(1): 27-29.
4. 宮井一郎. 地域包括ケア時代に向けて回復期機能を考える. 回復期リハビリテーション. 2018;17(1): 40-45.
5. 畠中めぐみ, 宮井一郎. 脳卒中リハビリテーション. Medical Rehabilitation. 2018;222 42-47.
6. 藤本宏明, 宮井一郎. 片麻痺歩行練習における課題指向型リハビリテーション. Clinical Rehabilitation. 2018;55 532-537.
7. 服部憲明, 宮井一郎. 脳卒中の病巣解析による予後予測の動向. 総合リハビリテーション. 2018;46(7):601-607.
8. 服部憲明, 宮井一郎. イメージングを活用したニューロリハビリテーションの現在と展望. BIO Clinica. 2018;33(14):30-34.
9. 高山仁子, 西岡心大, 岡本隆嗣, 漆原真姫, 桐谷裕美子, 新谷恵子, 中込弘美, 肱岡澄, 渡邊美鈴, 菅原英和, 石川誠, 宮井一郎, 園田茂. 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者の摂食嚥下障害と栄養状態の多施設実態調査. Japanese Journal of Comprehensive Rehabilitation Science. 2018;9:11-21.
10. 三浦教一, 畠中めぐみ, 乙宗宏範, 藤本宏明, 平松佑一, 服部憲明, 宮井一郎. 在宅生活に活かすための短期入院集中リハビリテーション. 難病と在宅ケア. 2018;24(9):26-30.
11. 河野悌司, 宮井一郎. 運動機能: 脳波バイオマーカーによる脳卒中患者の ADL 評価. Clinical Rehabilitation. 2019;28(1):81-84.
12. Kawano T, Hattori N, Hatakenaka M, Uno Y, Yagura H, Fujimoto H, Yoshioka T, Nagasako M, Otomune H, Kitajo K, Miyai I. Comparison of EEG Synchrony Measures for Post-Stroke Neurorehabilitation. 2018 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics (SMC). 2018;35-38.

森之宮病院 診療部 心臓血管センター

1. Akihiro Hosaka, Manabu Motoki, Masaaki Kato, Hiroko Sugai, Nobukazu Ohkubo.
Quantification of aortic shagginess as a predictive factor of perioperative stroke and long-term prognosis after endovascular treatment of aortic arch disease.
Journal of Vascular Surgery. 2018 1-9.

森之宮病院 診療部 麻酔・ペインクリニック科

1. 池村彩華, 植田一吉, 松山恭悠, 岩倉健夫, 川合祐介, 鈴木高広.
気管気管支および永久気管孔合併患者に対する左主気管支切除術の麻酔経験.
麻酔. 2018;67(12):1283-1286.

森之宮病院 診療部 泌尿器科

1. Suzuki T, Otsuka A, Ito Y, Yamada S, Miyake H, Ozono S.
Isosamidin, an extract of Peucedanum japonicum, inhibits phenylephrine-mediated contractions of the human prostate in vitro.
Phytotherapy Research. 2018;32(5) 949-952.
2. 古井辰郎, 高井泰, 木村文則, 北島道夫, 中塚幹也, 森重健一郎, 山本一仁, 橋本大哉, 松本公一, 大園誠一郎, 堀部敬三, 鈴木直.
本邦における AYA 世代がん患者に対する妊孕性に関する支援体制 ―がん専門医調査の結果より―.
癌と化学療法. 2018;45(5) 841-846.
3. Ozono S, Tsukamoto T, Naito S, Horie

S, Ohashi Y, Uemura H, Yokomizo Y, Fukasawa S, Kusuoka H, Akazawa R, Saito M, Akaza H.

Efficacy and safety of 3-month dosing regimen of degarelix in Japanese subjects with prostate cancer: A phase III study.
Cancer Science. 2018;109(6):1920-1929.

4. 大園誠一郎, 大家基嗣, 西山博之, 窪田吉信, 塚本泰司, 内藤誠二, 赤座英之.
腎盂尿管癌に対する BCG の上部尿路注入療法に関する実態調査.
泌尿器外科. 2018;316(6):985-988.
5. Kojima T, Nishiyama H, Ozono S, Hinotsu S, Keino N, Yamaguchi A, Sakai H, Enomoto Y, Horie S, Fujimoto K, Matsuyama H, Okamura T, Kanimoto Y, Oya M, Nonomura N, Naito S, Akaza H.
Clinical evaluation of two consecutive UroVysion fluorescence in situ hybridization tests to detect intravesical recurrence of bladder cancer: a prospective blinded comparative study in Japan.
International Journal of Clinical Oncology. 2018;23(6):1140-1147.
6. Ohara A, Furui T, Shimizu C, Ozono S, Yamamoto K, Kawai A, Tatara R, Higuchi A, Horibe K.
Current situation of cancer among adolescents and young adults in Japan.
International Journal of Clinical Oncology. 2018;23(6):1201-1211.
7. Nakai Y, Inoue K, Tsuzuki T, Shimamoto T, Shuin T, Nagao K, Matsuyama H, Oyama M, Furuse H,

- Ozono S, Miyake M, Fujimoto K.
Oral 5-aminolevulinic acid-mediated photodynamic diagnosis using fluorescence cystoscopy for non-muscle-invasive bladder cancer: A multicenter phase III study.
International Journal of Urology. 2018;25(8):723-729.
8. 赤座英之, 大園誠一郎, 高橋俊二, 西山博之.
座談会 尿路上皮癌における薬物治療の最前線「転移性尿路上皮癌治療の新展開」.
泌尿器外科. 2018;31(7):1029-1042.
9. Hinotsu S, Namiki M, Ozono S, Akaza H.
NCCN Asia Consensus Statement prostate cancer.
Japanese Journal of Clinical Oncology. 2018;48(11): 964-965.
10. Ohara A, Furui T, Shimizu C, Ozono S, Yamamoto K, Kawai A, Tatara R, Higuchi A, Horibe K.
Current situation of cancer among adolescents and young adults in Japan.
International Journal of Clinical Oncology. 2018;23(6):1212-1216.
11. Ito K, Mikami S, Tatsugami K, Masumori N, Shinohara N, Kondo T, Nakanishi S, Nagashima Y, Eto M, Kamba T, Kuroda N, Tomita Y, Matsuyama H, Onishi T, Tsushima T, Nakazawa H, Oya M, Ozono S, Naito S, Asano T.
Clinical Outcomes in Patients With Metastatic Papillary Renal-Cell Carcinoma: A Multi-Institutional Study in Japan.
Clinical Genitourinary Cancer. 2018;16(6):e1201-e1214.
- 森之宮病院 歯科診療部**
ボバース記念病院 歯科診療部
1. 大道士郎, 旭吉直.
迷走神経刺激法によるてんかん治療中の脳性麻痺患者の全身麻酔下歯科治療経験.
大阪府歯科医師会雑誌. 2019;760:92-93.
- 森之宮病院 看護部**
1. 正壽佐和子.
第4回(平成28年度)日本褥瘡学会実態調査委員会報告1 療養場所別自重関連褥瘡と医療関連機器圧迫創傷を併せた「褥瘡」の有病率,有病者の特徴,部位・重症度.
日本褥瘡学会誌 20. 2018;20(4):423-445.
2. 正壽佐和子.
第4回(平成28年度)日本褥瘡学会実態調査委員会報告2 療養場所別自重関連褥瘡の有病率,有病者の特徴,部位・重症度およびケアと局所管理.
日本褥瘡学会誌 20. 2018;20(4):446-485.
3. 正壽佐和子.
第4回(平成28年度)日本褥瘡学会実態調査委員会報告3 療養場所別医療関連機器圧迫創傷の有病率,有病者の特徴,部位・重症度,発生関連機器.
日本褥瘡学会誌 20. 2018;20(4):486-502.
- 森之宮病院 診療部 医療社会事業課**
1. 藤井由記代.
その人らしい暮らしを支える.
回復期リハビリテーション. 2018;(64):3.

2. 藤井由記代 . 周産期医学 . 2018;48(9):1235-1238.
社会資源の活用術 .
脳の看護実践 . 2019;4(3):21-27.

森之宮病院 リハビリテーション部

1. 三浦教一 .
在宅生活に活かすための短期集中リハビリテーション .
月刊 難病と在宅ケア 2018年12月号 .
2018;24(9):26-30.
2. 椎名英貴 .
脳性麻痺の言語聴覚療法 .
Monthly Book Medical Rehabilitation.
2019;232:45-51.

森之宮病院 事務部 庶務課

1. 奥田陽子 .
職員が生き生きと働ける職場づくり 医師事務作業補助者のコミュニケーション研修に多視点・構造化を導入した一例 .
病院羅針盤 . 2018;9(128):44-49.

ボバース記念病院 診療部 小児神経科

1. 永田雅子 , 田中恭子 , 荒井洋 , 星野陸夫 , 大竹明 .
小児医療領域における大学の倫理的教育の現状と課題 .
日本小児科学会雑誌 . 2018;122(5):967-972.
2. 小倉加恵子 .
運動発達・精神発達の促し方 .
小児内科 . 2018;50(6):981-985.
3. 荒井洋 .
超早産児の慢性ビリルビン脳症の診断 , 臨床的特徴と治療について解説してください .

(4) 著書

神経リハビリテーション研究部

1. 宮井一郎.
リハビリテーション・福祉サービス.
脊髄小脳変性症・多系統萎縮症 診療
ガイドライン2018. 257-275. 南江堂 .2018
年6月.
2. 宮井一郎.
トレッドミルを用いたリハビリテーションとは？.
パーキンソン病の医学的リハビリテーション.
53-58. 日本医事新報社 . 2018年11月.

森之宮病院 診療部 心臓血管センター

1. 加藤雅明.
松村論文に対する Editorial Comment.
心臓 . 411. 日本心臓財団 . 2018年4月.
2. 加藤雅明.
胸部大動脈治療を支えるテクノロジー : ス
テントグラフト.
胸部外科を支えるテクノロジー up to date.
808-809. 南江堂 . 2018年9月.
3. 加藤雅明.
ステントグラフトに使われるテクノロジー .
Lisa. 964-969. メディカル・サイエンス・イン
ターナショナル . 2018年9月.
4. 加藤雅明, 元木学, 磯田竜太郎, 赤井隆
文, 赤井淳, 木村賢, 大久保修和.
慢性 B 型大動脈解離に対するステントグラ
フト治療.
脈管学: 日本脈管学会機関誌: the
journal of Japanese College of Angiolo
gy. 215-220. 脈管学会 . 2018年12月.
5. 加藤雅明.
大動脈解離の血管内治療.
Medical Practice 「動脈・静脈疾患」.

455-459. 東京 文光堂 本郷 . 2019年3月.

森之宮病院 診療部 泌尿器科

1. 大園誠一郎.
第10回 BCG 注入療法研究会記録.
泌尿器科第31巻4号 . 430. 医学図書出
版株式会社 . 2018年.
2. 三宅秀明, 杉山貴之, 大園誠一郎.
腎癌診療のガイドライン2017年版: 改訂の
ポイント.
Urology Today Vol.25, No.2. 10-11. リッチ
ヒルメディカル . 2018年.
3. 大園誠一郎, 山田篤.
前立腺肥大症・排尿障害治療薬.
治療薬ハンドブック2019 薬剤選択の処
方のポイント. 801-816. じほう . 2019年1月.

森之宮病院 看護部

1. 安福偉子.
回復期リハビリテーション病棟協会 回復期
リハビリテーション看護師.
リハビリナース . 247-249. MC メディカ出版 .
2018年5月.
2. 新井直子.
血管手術の周術期看護 腹部大動脈瘤手
術 (ステントグラフト内挿術).
手術看護エキスパート . 69-73. 日総研 .
2018年7月.
3. 中島ゆかり.
その人らしい生活の再構築 状態に合わせ
たリハビリテーション看護.
脳の看護実践 . 28-33. 日総研 . 2018年7月.
4. 柴田まゆみ.
主任・科長が率先することが大事! 部署
での超過勤務を削減するための業務の工

夫と働きかけや声かけ。
主任看護師 管理・教育・業務 . 6-11. 日
総研 . 2018年9月 .

愛し、愛された女性の物語 . 1-254.
シービーアール . 2018年11月 .

5. 西村はるよ .
家族とのかかわりについての看護記録の
書き方 .
リハビリナース . 163-176.MC メディカ出版 .
2018年9月 .
6. 庄司幸代 , 柳谷加奈 .
脳卒中片麻痺患者の手洗い啓発 - スタッ
フへの意識調査とその後の活動 - .
機関誌「回復期リハビリテーション」 . 48-
50. 回復期リハビリテーション病棟協会 .
2018年10月 .

森之宮病院 診療部 医療社会事業課

1. 隅田好美 , 黒田研二 , 藤井博志 , 藤井由
記代ほか .
脳卒中の人への退院支援と多職種連携 .
よくわかる地域包括ケア . 150-151. ミネル
ヴァ書房 . 2018年4月 .

森之宮病院 リハビリテーション部

1. 小谷真以 , 神尾昭宏 .
クリーニング店再開を目指した関わり .
リハビリナース Vol.12 No.2 2019. 139-145.
メディカ出版 . 2019年2月 .

ボバース記念病院 リハビリテーション部

1. 著 / ジェイ・シュライコーン 訳 / 古澤正道 ,
ラトン桃子 .
伝記 シグネブルンストローム 理学療法の
先駆者、臨床の大家そして誰よりも人々を
愛し、愛された女性の物語 .
伝記 シグネブルンストローム 理学療法の
先駆者、臨床の大家そして誰よりも人々を

(5) 研究助成金

神経リハビリテーション研究部

1. 宮井一郎
国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 未来医療を実現する先端医療機器・システムの研究開発 分担研究者
先端医療機器の開発 麻痺した運動や知覚の機能を回復する医療機器・システムの研究開発
2. 宮井一郎
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 分担研究者
運動失調症の医療基盤に関する調査研究
3. 宮井一郎
国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT) 脳機能補完による高齢者・障がい者の機能回復支援技術の研究開発 分担研究者
外骨格ロボットと脳機能ニューロフィードバックによる身体および認知・感覚運動機能の ICT を活用したリハビリテーションシステムの開発
4. 宮井一郎
厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 神経難病における中枢神経感作のメカニズム研究とアンメットニーズに応える革新的治療法の開発 分担研究者
脊髄小脳変性症を含む神経疾患における運動感覚障害の検討
5. 宮井一郎
日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (B) 分担研究者
片麻痺患者への理学療法士の介入の解明とリハビリテーションシステムへの応用
6. 河野悌司, 宮井一郎, 服部憲明
トヨタ自動車株式会社 理化学研究所 共同研究助成金
「ニューロフィードバックリハビリ」に関する共同研究
7. 荒井洋
日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 分担研究者
早産時臨床的核黄疸において遺伝素因は危険因子となるか?
8. 荒井洋
国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 難治性疾患実用化研究事業 分担研究者
早産児核黄疸の包括的診療ガイドラインの作成
9. 小倉加恵子
日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 研究代表者
脳性麻痺児の読み書き・計算における強みと弱み及びその神経基盤の解明
10. 小倉加恵子
厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 分担研究者
乳幼児健康診査に関する 疫学的・医療経済学的検討に関する研究
11. 小倉加恵子
国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 障害者対策総合研究開発事業 主任研究者
障害児家族の適切な親子分離をはかり親子それぞれの社会的自立を促すための支援パッケージ開発に関する研究

12. 小倉加恵子

厚生労働科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業 研究協力者
高次脳機能障害者の社会的行動障害による社会参加困難への対応に関する研究

13. 小倉加恵子

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 研究協力者
希少難治性てんかんのレジストリ構築による総合的研究

14. 服部憲明

日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究代表者
脳内ネットワーク解析による脳卒中患者の心理特性と機能回復の関係についての検討

6. 法人内表彰授与実績

授与日	種類	対象部署	対象となった功績等
2018.11.1	チーム功労賞	森之宮病院 リハビリテーション部、看護部、診療技術部 栄養サービス課、診療部 医療社会事業課（10名）	大阪脳卒中医療連携ネットワーク10周年記念事業に向け、ポスター作成や当日の広報活動をボランティアで行い、当院の回りハ病棟の取り組みを分かりやすく参加者に伝えた。若手職員の思いや実践を評価して。
2018.11.28	チーム功労賞	森之宮病院 看護部（3名）	第47回城東区自衛消防協議会技術競技大会において女子消火器競技の部で見事優勝したことを評価して。
2018.12.26	チーム功労賞	森之宮病院 診療部 地域医療連携室（6名）	大阪国際がんセンター移転に伴い、MR 検査予約が減少した際に診療所の受付スタッフへ本日の検査空き状況のPRを行った。その結果、当日検査紹介を増やし、MR 検査紹介確保に繋がったことを評価して。
2018.12.26	チーム功労賞	森之宮病院 診療技術部（18名）	診療所から検査紹介患者の検査結果を画像診断科と地域連携室で直接お届けし、さらに検査結果の説明希望があれば技師が説明を行った。これらの細やかな対応を評価して。
2019.2.19	チーム功労賞	森之宮病院 リハビリテーション部、看護部、ボバース記念病院 事務部、看護部（7名）	通所リハの実施主体を森之宮病院へ移行する事に伴って発生する膨大な業務や利用者への丁寧な説明を円滑に行ったことを評価して。
2019.3.20	チーム功労賞	大道クリニック 事務サービス課、ボバース記念病院・森之宮病院 診療技術部（11名）	無呼吸症候群の治療推進による管理患者100名の目標人数達成の為。

2019.4.1 平成30年度 年報 第34版

監修 社会医療法人 大道会
大阪市城東区東中浜1-5-1

TEL/06(6962)9621

FAX/06(6953)2233